

The Japan Foundation

平成19年度(2007年度)事業実績

平成19年度（2007年度）事業実績

平成19年度（2007年度）国際交流基金 事業実績 目次

平成19年度（2007年度）国際交流基金 事業実績

| | |
|--|--|
| <p>目次 3</p> <p>注 6</p> <p>地域分類・国名表記一覧 7</p> <p>事項別事業費一覧 8</p> <p><文化芸術交流事業に必要な経費> 11</p> <p>文化協力事業費 11</p> <p>人物交流事業費 12</p> <p> 1. 文化協力（派遣） 12</p> <p>催し等事業費 13</p> <p> 1. 文化協力（主催） 13</p> <p> 2. 文化協力（助成） 13</p> <p>文化事業費 16</p> <p>人物交流事業費 17</p> <p> 1. 文化人短期招へい 17</p> <p>催し等事業費 20</p> <p> 1. 日本文化紹介派遣（主催） 20</p> <p> 2. 日本文化紹介派遣（助成） 25</p> <p>市民青少年交流事業費 32</p> <p>人物交流事業費 33</p> <p> 1. 中学高校教員交流（招へい） 33</p> <p> 2. 中学高校教員交流（派遣） 35</p> <p> 3. 開高健記念アジア作家招へい 35</p> <p> 4. 文化交流企画運営補助（JFボランティア） 36</p> <p>催し等事業費 37</p> <p> 1. 市民青少年交流（主催/派遣） 37</p> <p> 2. 市民青少年交流（主催/招へい） 38</p> <p> 3. 市民青少年交流（助成） 39</p> <p> 4. 異文化理解ワークショップ 55</p> <p>企画開発費 58</p> <p>催し等事業費 59</p> <p> 1. 事業開発（催し） 59</p> <p>文化資料事業費 59</p> <p> 1. 事業開発（文化資料） 59</p> <p>造形美術事業費 60</p> <p>人物交流事業費 61</p> <p> 1. 受託事業 61</p> <p>催し等事業費 61</p> <p> 1. 国際展（国際展参加） 61</p> <p> 2. 海外展（企画展） 62</p> <p> 3. 海外展（巡回展） 63</p> <p> 4. 海外展（助成） 71</p> <p> 5. 国内展（助成） 78</p> <p> 6. 造形美術情報交流（催し） 79</p> <p>催し等事業費（トリエンナーレ） 80</p> <p> 1. 国際展（トリエンナーレ） 80</p> | <p>舞台芸術事業費 81</p> <p>人物交流事業費 82</p> <p> 1. 舞台芸術情報交流（派遣） 82</p> <p> 2. 舞台芸術情報交流（招へい） 83</p> <p> 3. 内田奨学金フェロースシップ（招へい） 84</p> <p>催し等事業費 85</p> <p> 1. 海外公演（主催） 85</p> <p> 2. 海外公演（助成） 90</p> <p> 3. 国際舞台芸術共同制作 115</p> <p> 4. 国内公演（助成） 116</p> <p> 5. 舞台芸術情報交流（催し） 118</p> <p>映像出版事業費 120</p> <p>人物交流事業費 121</p> <p> 1. 映像出版情報交流（招へい） 121</p> <p> 2. アニメ文化大使 121</p> <p>催し等事業費 121</p> <p> 1. 海外日本映画際（主催） 121</p> <p> 2. 海外日本映画際（助成） 125</p> <p> 3. 国内映画際（主催） 130</p> <p> 4. 国内映画際（助成） 131</p> <p> 5. 日本マンガ大賞 132</p> <p> 6. 映画出版情報交流（催し） 133</p> <p>文化資料事業費 133</p> <p> 1. テレビ番組交流促進 133</p> <p> 2. フィルムライブラリー充実（本部） 136</p> <p> 3. フィルムライブラリー充実（海外） 136</p> <p> 4. 国際図書展参加 137</p> <p> 5. 映像出版情報交流（文化資料） 139</p> <p>日本研究事業費 139</p> <p> 1. 映画・テレビ番組制作（助成） 139</p> <p> 2. 出版・翻訳（主催） 141</p> <p> 3. 出版・翻訳（助成） 141</p> <p><日本語普及事業に必要な経費> 145</p> <p>日本語事業費 145</p> <p>日本語企画調整費 146</p> <p> 1. 海外日本語教育機関等調査 146</p> <p> 2. 日本語教育情報交流 146</p> <p> 3. 海外日本語教育支援NGO助成 147</p> <p> 4. 日本語教育企画開発型事業 148</p> <p>日本語派遣・助成費 148</p> <p> 1. 日本語教育専門家派遣（専門家） 148</p> <p> 2. 日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家） 155</p> <p> 3. 日本語教育学会助成 157</p> <p> 4. 日本語教育機関支援（専任講師給与助成） 158</p> <p> 5. 日本語教育機関支援（現地講師謝金助成） 158</p> <p> 6. 日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成） 160</p> <p> 7. 日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成） 166</p> |
|--|--|

| | | | |
|------------------------------------|-----|--------------------------------|-----|
| 8. 日本語教育専門家派遣 (JFボランティア・指導助手) … | 168 | 3. 交流拠点設置運営事業 (催し) …………… | 201 |
| 9. 日本語教育専門家派遣 (JFボランティア・シニア客員教授) … | 169 | 文化資料事業費 …………… | 202 |
| 日本語能力試験費 …………… | 170 | 1. ネットワーク整備事業 (文化資料) …………… | 202 |
| 1. 日本語能力試験実施 …………… | 170 | 米州交流事業費 …………… | 203 |
| 2. 評価開発 …………… | 171 | 日本研究事業費 …………… | 204 |
| 附属機関日本語国際センター事業費 …………… | 172 | 1. 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [米] …… | 204 |
| 研修事業費 …………… | 173 | 2. 日本研究教員拡充助成 [米] …………… | 204 |
| 1. 指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者) … | 173 | 3. 日本研究リサーチ・会議 (助成) [米] …… | 205 |
| 2. 指導的日本語教師の養成 (海外日本語教師上級研修) … | 175 | 4. 日本研究組織強化支援 (助成) [米] …… | 205 |
| 3. 海外日本語教師研修 (長期) …………… | 176 | 5. 日本研究図書拡充 [米] …………… | 206 |
| 4. 海外日本語教師研修 (短期) …………… | 177 | 6. 日本研究組織強化支援 (その他) [米] …… | 206 |
| 5. 海外日本語教師研修 (在外邦人) …………… | 178 | 人物交流事業費 …………… | 207 |
| 6. 海外日本語教師研修 (国別) …………… | 179 | 1. 小測フェローシップ (派遣) …………… | 207 |
| 7. 受託研修 (日) …………… | 179 | 2. 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [米] … | 207 |
| 8. 地域交流研修 (日) …………… | 180 | 3. 日本研究フェローシップ (論文執筆) [米] …… | 209 |
| 制作事業費 …………… | 180 | 4. 日本研究フェローシップ (短期) [米] …… | 211 |
| 1. 日本語教材自主制作・普及 …………… | 180 | 催し等事業費 …………… | 212 |
| 2. 日本語教材制作支援 (助成) …………… | 182 | 1. 知的交流会議 (主催) [米] …………… | 212 |
| 3. 日本語教材寄贈 …………… | 183 | 2. 知的交流会議 (助成) [米] …………… | 213 |
| 4. 図書館運営 (日) …………… | 184 | 文化資料事業費 …………… | 214 |
| 関西国際センター事業費 …………… | 185 | 1. 図書寄贈 [米] …………… | 214 |
| 研修事業費 …………… | 186 | アジア・大洋州交流事業費 …………… | 216 |
| 1. 図書館運営 (関) …………… | 186 | 日本研究事業費 …………… | 217 |
| 2. 専門日本語研修 (外交官) …………… | 186 | 1. 日米研究調査 [ア] …………… | 217 |
| 3. 専門日本語研修 (公務員) …………… | 187 | 2. 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [ア] …… | 217 |
| 4. 専門日本語研修 (司書) …………… | 188 | 3. 日本研究客員教授派遣 (経費助成) [ア] …… | 218 |
| 5. 専門日本語研修 (研究者・大学院生) …… | 188 | 4. 日本研究リサーチ・会議 (助成) [ア] …… | 218 |
| 6. 日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者) …… | 190 | 5. 東南アジア元日本留学生生活動支援 …… | 219 |
| 7. 日本語学習者訪日研修 (大学生) …… | 191 | 6. 北京日本学術研究センター派遣 (北外) …… | 220 |
| 8. 日本語学習者訪日研修 (高校生) …… | 192 | 7. 北京日本学術研究センター派遣 (北大) …… | 221 |
| 9. アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修 … | 193 | 8. 北京日本学術研究センター招へい (北外) …… | 222 |
| 10. 地域交流研修 (関) …………… | 193 | 9. 北京日本学術研究センター招へい (北大) …… | 223 |
| 11. 受託研修 (関) …………… | 194 | 10. 北京日本学術研究センター研究支援 (北外) …… | 223 |
| 12. 日本語教育協力事業 …………… | 195 | 11. 北京日本学術研究センター研究支援 (北大) …… | 224 |
| <日本研究・知的交流事業に必要な経費> …………… | 196 | 12. 日本研究図書拡充 [ア] …………… | 224 |
| 企画開発費 …………… | 196 | 13. 日本研究機関支援 (その他) [ア] …… | 225 |
| 日本研究事業費 …………… | 197 | 14. 日本研究組織強化支援 (助成) [ア] …… | 226 |
| 1. 日本研究ウェブサイト運営 …………… | 197 | 人物交流事業費 …………… | 227 |
| 文化資料事業費 …………… | 197 | 1. 受託事業 [ア] …………… | 227 |
| 1. 日本研究基本図書目録 …………… | 197 | 2. 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [ア] …… | 230 |
| 2. 図書寄贈 [企] …………… | 197 | 3. 日本研究フェローシップ (論文執筆者) [ア] …… | 233 |
| 日中交流事業費 …………… | 198 | 4. 日本研究フェローシップ (社会科学院研究生院) …… | 236 |
| 人物交流事業費 …………… | 199 | 5. 日本研究フェローシップ (短期) [ア] …… | 236 |
| 1. 受託事業 …………… | 199 | 6. 日本研究フェローシップ (高砂熱学工業) …… | 237 |
| 2. 高校生等招へい事業 …………… | 199 | 7. 知的リーダー交流 (招へい) [ア] …… | 237 |
| 3. 交流拠点設置運営事業 (招へい) …… | 200 | 8. 知的リーダー交流 (派遣) [ア] …… | 238 |
| 催し等事業費 …………… | 200 | 9. 知的交流フェローシップ (招へい) [ア] …… | 238 |
| 1. ネットワーク整備事業 (催し・主催) …… | 200 | 10. 知的交流フェローシップ (派遣) [ア] …… | 238 |
| 2. ネットワーク整備事業 (催し・助成) …… | 200 | 催し等事業費 …………… | 239 |
| | | 1. 知的交流会議 (助成) [ア] …………… | 239 |
| | | 2. 知的交流会議 (企画参画助成) [ア] …… | 245 |

| | | | |
|---|-----|------------------------|-----|
| 3. 知的交流会議（主催）〔ア〕 | 246 | 2. 年次報告 | 290 |
| 4. アジア地域研究センター支援（催し等） | 248 | 3. インターネット | 290 |
| 文化資料事業費 | 248 | 4. JFサポーターズクラブ | 291 |
| 1. 図書寄贈〔ア〕 | 248 | 調査研究費 | 291 |
| 欧州・中東・アフリカ交流事業費 | 250 | 1. JFICライブラリー | 291 |
| 日本研究事業費 | 251 | 2. 国際交流顕彰事業（基金賞・奨励賞） | 291 |
| 1. 日本研究客員教授派遣（自主企画）〔欧〕 | 251 | 3. 国際交流顕彰事業（地球市民賞） | 292 |
| 2. 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔欧〕 | 251 | 企画・評価費 | 294 |
| 3. 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔欧〕 | 252 | 調査研究費 | 295 |
| 4. 日本研究教員拡充助成〔欧〕 | 252 | 1. 調査研究 | 295 |
| 5. 日本研究リサーチ・会議（助成）〔欧〕 | 253 | 2. 事業評価（企） | 295 |
| 6. 日本研究組織強化支援（助成）〔欧〕 | 253 | 文化事情調査費 | 296 |
| 7. 日本研究図書拡充〔欧〕 | 254 | 調査研究費 | 297 |
| 8. 日本研究機関支援（その他）〔欧〕 | 254 | 1. 文化事情調査 | 297 |
| 人物交流事業費 | 255 | 国際文化交流研究センター事業費 | 298 |
| 1. 日本研究フェロシップ（学者・研究者）〔欧〕 | 255 | 調査研究費 | 299 |
| 2. 日本研究フェロシップ（論文執筆）〔欧〕 | 257 | 1. 調査研究 | 299 |
| 3. 日本研究フェロシップ（短期）〔欧〕 | 259 | <在外事業に必要な経費> | 300 |
| 4. 知的交流フェロシップ（派遣）〔欧〕 | 260 | <文化交流施設等協力事業に必要な経費> | 450 |
| 5. 知的交流フェロシップ（招へい）〔欧〕 | 261 | 文化交流施設等協力事業費 | 450 |
| 催し等事業費 | 264 | 文化交流施設等協力事業費 | 451 |
| 1. 知的交流会議（主催）〔欧〕 | 264 | 1. 人物交流特定寄附 | 451 |
| 2. 知的交流会議（助成）〔欧〕 | 265 | 2. 日本研究特定寄附 | 451 |
| 文化資料事業費 | 269 | 3. 日本語特定寄附 | 453 |
| 1. 図書寄贈〔欧〕 | 269 | 4. 催し等特定寄附 | 453 |
| 日米知的交流推進費 | 272 | 5. 文化紹介特定寄附 | 455 |
| 人物交流事業費 | 273 | 6. 文化交流施設等特定寄附 | 455 |
| 1. 安倍フェロシップ | 273 | <調査研究および情報提供事業等に必要な経費> | 288 |
| 催し等事業費 | 274 | 情報センター事業費 | 288 |
| 1. 知的交流支援（助成） | 274 | 催し等事業費 | 289 |
| 2. 知的交流支援（助成）：ニューヨーク日米センター小規模助成 | 277 | 1. 国内連携促進 | 289 |
| 3. 知的交流支援（主催） | 278 | 文化資料事業費 | 289 |
| 4. 知的交流支援（主催）：ニューヨーク日米センター企画開発事業 | 281 | 1. 定期刊行物 | 289 |
| 日米市民対話推進費 | 282 | | |
| 人物交流事業費 | 283 | | |
| 1. 日米センターNPOフェロシップ | 283 | | |
| 2. 市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI） | 283 | | |
| 催し等事業費 | 284 | | |
| 1. 市民交流支援（市民交流/教育アウトリーチ支援・助成） | 284 | | |
| 2. 市民交流・教育アウトリーチ支援（助成）： ニューヨーク日米センター小規模助成（教育アウトリーチ：南部・中西部特別助成） | 285 | | |
| 3. 市民交流・教育アウトリーチ支援（助成）： ニューヨーク日米センター小規模助成（教育助成） | 287 | | |

(注)

1. 期 間

- (1) 本書で扱う事業実績は、事業の実施期間が2007事業年度（2007年4月1日～2008年3月31日）内のもの、および実施期間の一部がこの年度にかかっているものを対象としている。
- (2) 各事業の実施期間は次による。
 - ・人物の派遣・招へい：派遣期間または招へい期間
 - ・展覧会／公演／映画祭／セミナー等の実施：開催期間（開催日）または総巡回期間
 - ・上記を除く助成事業：助成対象期間
 - ・調査：調査実施期間
 - ・出版物の刊行：発行日

2. 地域・国

- (1) 地域分類および国名表記は別表のとおりである。
- (2) 各事業の実施対象国は次による。
 - ・人物の派遣：派遣先国
 - ・人物の招へい：被招へい者の居住国
 - ・展覧会／公演／映画祭等の実施
 - 海外で実施される場合：実施国
 - 国内で実施される場合：参加国またはテーマ国
 - ・リサーチ／会議／セミナー等の実施
 - 主催事業の場合：参加国またはテーマ国
 - 助成事業の場合：助成対象者（団体）所在国
 - ・図書／フィルム等の寄贈・配布：寄贈・配布先国
 - ・出版物の刊行：配布先国
 - ・上記を除く助成事業：助成対象者（団体）所在国

3. 海外事務所の事業

海外事務所の経費は、支出時のレートで円換算し、小数点以下は切り捨てた。

※2001年度より、本書で扱う事業実績額は、プロジェクトごとにまとめている。

(別表) 地域分類・国名表記一覧(2007年度事業用)

(平成20年11月現在)

| 大 地 域 区 分 | 小 地 域 区 分 | 国 名 (通 称、五 十 音 順) |
|-----------|-----------|--|
| アジア地域 | 東アジア地域 | 韓国、中国、日本、モンゴル |
| | 東南アジア地域 | インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス |
| | 南アジア地域 | インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ |
| 大洋州地域 | 大洋州地域 | オーストラリア、キリバス、サモア、ソロモン、ツバル、トンガ、ナウル、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア |
| 米州地域 | 北米地域 | カナダ、米国 |
| | 中米地域 | アンティグア・バーブーダ、エルサルバドル、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント、セントルシア、ドミニカ、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ホンジュラス、メキシコ |
| | 南米地域 | アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア |
| 欧州地域 | 西欧地域 | アイスランド、アイルランド、アンドラ、イタリア、英国、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、サンマリノ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、バチカン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、マルタ、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ |
| | 東欧地域 | アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、グルジア、クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア |
| 中東地域 | 中東地域 | アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン |
| | 北アフリカ地域 | アルジェリア、エジプト、スーダン、チュニジア、モロッコ、リビア |
| アフリカ地域 | アフリカ地域 | アンゴラ、ウガンダ、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カーボヴェルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジンバブエ、スワジランド、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、モーリシャス、モーリタニア、モザンビーク、リベリア、ルワンダ、レソト |

| | |
|-----------------------|----------------------|
| 文化芸術交流事業に必要な経費 | 2,177,383,853 |
|-----------------------|----------------------|

| | |
|--------------------------|-------------|
| 文化協力事業費 | 35,618,004 |
| 1. 人物交流事業費 | 13,289,568 |
| 2. 催し等事業費 | 19,284,920 |
| 共通経費等 | 3,043,516 |
| 文化事業費 | 201,449,695 |
| 1. 人物交流事業費 | 64,301,615 |
| 2. 催し等事業費 | 98,073,764 |
| 共通経費等 | 39,074,316 |
| 市民青少年交流事業費 | 287,053,947 |
| 1. 人物交流事業費 | 141,969,590 |
| 2. 催し等事業費 | 136,965,244 |
| 共通経費等 | 8,119,113 |
| 企画開発費 | 22,992,658 |
| 1. 催し等事業費 | 13,157,930 |
| 2. 文化資料事業費 | 6,526,091 |
| 共通経費等 | 3,308,637 |
| 造形美術事業費 | 551,228,794 |
| 1. 人物交流事業費 | 4,624,185 |
| 2. 催し等事業費 | 464,403,122 |
| 3. 催し等事業費（トリエンナーレ） | 7,605,970 |
| 共通経費等 | 74,595,517 |
| 舞台芸術事業費 | 525,615,158 |
| 1. 人物交流事業費 | 13,863,869 |
| 2. 催し等事業費 | 496,248,262 |
| 共通経費等 | 15,503,027 |
| 映像出版事業費 | 548,410,333 |
| 1. 人物交流事業費 | 6,906,910 |
| 2. 催し等事業費 | 115,583,969 |
| 3. 文化資料事業費 | 365,838,971 |
| 4. 日本研究事業費 | 54,591,589 |
| 共通経費等 | 5,488,894 |
| 国際会議場運営事業費 | 5,015,264 |

| | |
|----------------------|----------------------|
| 日本語普及事業に必要な経費 | 3,506,647,280 |
|----------------------|----------------------|

| | |
|--------------------|---------------|
| 日本語事業費 | 1,651,848,599 |
| 1. 日本語企画調整費 | 76,759,063 |
| 2. 日本語派遣・助成費 | 1,198,542,121 |

| | |
|-------------------------|----------------------|
| 3. 日本語能力試験費 | 257,260,619 |
| 共通経費等 | 119,286,796 |
| 附属機関日本語国際センター事業費 | 1,021,743,115 |
| 1. 研修事業費 | 285,182,394 |
| 2. 制作事業費 | 192,821,051 |
| 共通経費等 | 543,739,670 |
| 附属機関関西国際センター事業費 | 833,055,566 |
| 1. 研修事業費 | 339,491,460 |
| 共通経費等 | 493,564,106 |

| | |
|--------------------------|----------------------|
| 日本研究・知的交流事業に必要な経費 | 2,158,207,478 |
|--------------------------|----------------------|

| | |
|------------------------|--------------------|
| 企画開発費 | 94,434,682 |
| 1. 日本研究事業費 | 824,625 |
| 2. 文化資料事業費 | 4,753,538 |
| 共通経費等 | 88,856,519 |
| 日中交流センター事業費 | 215,267,554 |
| 1. 人物交流事業費 | 105,120,761 |
| 2. 催し等事業費 | 38,850,966 |
| 3. 文化資料事業費 | 21,572,309 |
| 共通経費等 | 49,723,518 |
| カルコン事務局運営費 | 1,783,683 |
| 米州交流事業費 | 225,169,362 |
| 1. 日本研究事業費 | 77,036,061 |
| 2. 人物交流事業費 | 125,289,753 |
| 3. 催し等事業費 | 12,966,955 |
| 4. 文化資料事業費 | 9,605,220 |
| 共通経費等 | 271,373 |
| アジア・大洋州交流事業費 | 623,848,906 |
| 1. 日本研究事業費 | 240,188,947 |
| 2. 人物交流事業費 | 218,495,081 |
| 3. 催し等事業費 | 120,342,446 |
| 4. 文化資料事業費 | 12,316,298 |
| 共通経費等 | 32,506,134 |
| 欧州・中東・アフリカ交流事業費 | 360,829,344 |
| 1. 日本研究事業費 | 85,895,353 |
| 2. 人物交流事業費 | 158,939,102 |
| 3. 催し等事業費 | 76,309,565 |
| 4. 文化資料事業費 | 20,674,616 |
| 共通経費等 | 19,010,708 |
| 日米センター運営管理費 | 126,544,827 |

| | |
|------------|-------------|
| 日米知的交流推進費 | 411,251,019 |
| 1. 人物交流事業費 | 210,823,699 |
| 2. 催し等事業費 | 195,703,644 |
| 共通経費等 | 4,723,676 |

| | |
|------------|------------|
| 日米市民対話推進費 | 99,078,101 |
| 1. 人物交流事業費 | 56,170,831 |
| 2. 催し等事業費 | 38,425,634 |
| 共通経費等 | 4,481,636 |

| | |
|---------------------|-------------|
| 調査研究及び情報提供事業等に必要な経費 | 490,491,905 |
|---------------------|-------------|

| | |
|------------|-------------|
| 情報センター事業費 | 426,112,056 |
| 1. 催し等事業費 | 2,673,420 |
| 2. 文化資料事業費 | 82,894,711 |
| 3. 調査研究費 | 83,973,053 |
| 共通経費等 | 256,570,872 |

| | |
|----------|------------|
| 企画・評価費 | 16,390,846 |
| 1. 調査研究費 | 4,166,080 |
| 共通経費等 | 12,224,766 |

| | |
|----------|------------|
| 文化事情調査費 | 25,723,823 |
| 1. 調査研究費 | 14,692,499 |
| 共通経費等 | 11,031,324 |

| | |
|-----------------|------------|
| 国際文化交流研究センター事業費 | 22,265,180 |
| 1. 調査研究費 | 9,084,569 |
| 共通経費等 | 13,180,611 |

| | |
|------------|---------------|
| 在外事業に必要な経費 | 4,033,302,288 |
|------------|---------------|

| | |
|----------|---------------|
| 在外事業費 | 3,166,664,394 |
| 1. 在外事業費 | 2,835,279,839 |
| 共通経費等 | 331,384,555 |

| | |
|-----|-------------|
| 人件費 | 866,637,894 |
|-----|-------------|

| | |
|-------------------|---------------|
| 文化交流施設等協力事業に必要な経費 | 1,092,739,550 |
|-------------------|---------------|

| | |
|-----------------|---------------|
| 文化交流施設等協力事業費 | 1,092,739,550 |
| 1. 文化交流施設等協力事業費 | 1,091,689,260 |
| 共通経費等 | 1,050,290 |

| | |
|-------|----------------|
| 事業費総計 | 13,458,772,354 |
|-------|----------------|

文化芸術交流事業に必要な経費

文化協力事業費

1. 人物交流事業費
 - (1) 文化協力（派遣）
2. 催し等事業費
 - (1) 文化協力（主催）
 - (2) 文化協力（助成）

文化協力事業費

人物交流事業費 (1)文化協力 (派遣)

主にODA対象国における現代の文化・芸術・スポーツ等の活動を振興し、諸分野の人材育成を支援するために、専門家の派遣を行う。

合計額 13,289,568 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------|---|---|------|--------------------|-----------------------|--|
| 1 | 日本画セミナー・ワークショップ | 田渕 俊夫 ユウ・ヨンゴ 狩俣 公介 | 東京藝術大学副学長、文化財保有学・日本画研究室教授、日本画家 東京芸術大学文化財保有学日本画研究室助教授、日本画家 東京藝術大学文化財保有学・日本画研究室教育研究助手、日本画家 | モンゴル | | 07.10.22～ 07.10.28 | 田渕俊夫（東京藝術大学副学長）、ユウ・ヨンゴ（東京芸術大学文化財保有学日本画研究室助教授、日本画家）及び狩俣公介（東京藝術大学日本画研究室教育研究助手）をウランバートルに派遣し、モンゴルの造形美術家に対して日本画の歴史、技法等に関するセミナー及びワークショップを実施。 |
| 2 | タンロン遺跡保存・修復 | 上野 邦一 西村 康 西村 昌也 坪井 善明 桃木 至朗 蓮田 隆志 | 奈良女子大学生活環境学部 COE特任教授 ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所長 関西大学 COE特任助教授 早稲田大学政治経済学部 教授 大阪大学大学院 文学研究科 教授 大阪大学 非常勤講師 | ベトナム | ハノイ古城・コーロア遺跡保存センター | 07.04.01～ 08.03.31 | 前年度の調査・支援に引き続き、上野邦一（奈良女子大学生活環境学部COE特任教授）ら日本人専門家を派遣し、タンロン遺跡遺構再精査、再精査研修、歴史調査、保存修復機材研修等を実施。 |

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------|--------------------------------|--|---------------------|--|-----------------------|---|
| 3 | デジタルアニメ人材育成 | 新海 誠 川口 典孝 角南 一城 | アニメ作家・監督 (株) コミックス・ウェブ・フィルム代表取締役 (株) コミックス・ウェブ・フィルム取締役・プロデューサー | カタール シリア ヨルダン | カタール大学 カーネギー・メロン大学(カスール) ダマスカス文化首都祭実行委員会(シリア) 紅海映画大学院(ヨルダン) 王立映画協会(ヨルダン) | 08.01.15～ 08.02.13 | 少人数によるデジタルアニメ制作分野での人材育成のため、新海誠(アニメ監督)、川口典孝(株式会社コミックス・ウェブ・フィルム代表取締役社長)、角南一城(株式会社コミックス・ウェブ・フィルム取締役・プロデューサー)をアンマン(新海・川口)、ドーハ(新海・角南)、ダマスカス(新海・角南)に巡回派遣し、アニメ制作ワークショップ、作品上映会、アニメ制作やアニメ産業に関する講演等を実施。 |

| | |
|--------|-------------|
| 催し等事業費 | (1)文化協力(主催) |
|--------|-------------|

海外の無形及び有形の文化財保存に協力するため、専門家の派遣・招へい、国際共同研究、専門家会議、セミナー・ワークショップ等を実施する。

合計額 2,741,084 円

| | 事業名 | 国 | 関連機関名称 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------|------|-----------|-----------------------|---|
| 1 | 国立博物館紀要翻訳出版援助 | ブータン | ブータン国立博物館 | 07.04.01～ 08.03.31 | ブータン国立博物館発行のブータンの歴史・文化に関する紀要制作支援のため、その完全英語版及び完全ゾンカ語版の翻訳にかかる現地経費を負担。 |

| | |
|--------|-------------|
| 催し等事業費 | (2)文化協力(助成) |
|--------|-------------|

海外の無形及び有形の文化財保存に協力する日本の機関が実施するため国際共同事業に対し経費の一部を助成する。

合計額 16,543,836 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------------------|---------------------------|------------------------|----|-----|-----------------------|--|
| 1 | 日本-ラオス共同によるオブジェクトシアター作品の創作とラオス公演の試み | あさぬまちずこ ラタナコーン・インシエンマイ | パントマイマー カボーン・ラーオ演出家 | | ラオス | 07.04.26～ 07.07.11 | あさぬまちずこ(パントマイマー)とラオスのラタナコーン・インシエンマイ(オブジェクトシアター「カボーン・ラーオ」演出家)とのコラボレート作品創作及びそのラオス国内巡回公演、並びにあおきたかし(舞台監督)による舞台技術ワークショップ開催に対し、経費の一部を助成。 |

文化協力事業費

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--|----|----|---|------------|-----------------------|--|
| 2 | バリヒン ドゥ伝統儀 礼舞踊 「チャロン アラング～ ランダの 舞」保存事 業 | | | 藝術・言語 セラピー研 究所「青い 丘」 | インドネシ ア | 07.07.30～ 07.08.11 | 秘儀性が極めて高く高度な技術と 修練を要するバリ・ヒンドゥ伝統 儀礼舞踊「チャロンアラング～ラ ンダの舞」を有資格者の川手鷹彦 (ヒンドゥ僧侶)が現地の一座と 共同で舞い、その演舞、一座の風 景、村の人々の暮らし等を学術資 料・治癒教育用教材として活用す るためDVDに記録保存した企画 に対し、経費の一部を助成。 |
| 3 | ベトナム新 文化財保護 法適用第一 号 ドンラ ム村農集落 保存修復技 術向上計画 | | | 昭和女子大 学 | ベトナム | 07.04.01～ 08.03.31 | 2003年3月に日本文化庁とベトナ ム文化情報省の間で締結されたド ンラム村農集落保存国際協力協 定に基づき、昭和女子大学が保存 技術者を派遣し、現地専門家を交 えたワークショップを通して民家 保存修復計画を作成する企画に対 して、経費の一部を助成。 |
| 4 | マレーシア 建国50周年 「文化の保 存」実技講 習事業-日 本の伝統修 復 | | | マレーシア 国立美術館 非営利法人 アートコン サベシヨ ンラボラト リー | マレーシア | 08.03.15～ 08.03.28 | マレーシア政府からの要請に基づ き、非営利法人アートコンサベイ ションラボラトリーが現地国立美 術館・博物館・文化省保存担当官 等を対象に文化財保存修復技術講 習（講義、共同実習、テキスト作 成）を実施する企画に対し、経費 の一部を助成。 |
| 5 | ユネスコ文 化遺産保存 日本信託基 金プロジェクト「アン コール・ト ム バイヨ ン遺跡保 存」 | | | アプサラ機 構 早稲田大学 | カンボジア | 07.04.16～ 08.03.31 | 2005年4月に終了した修復保存プ ロジェクト第2フェーズ内で完成 した「バイヨン寺院保存修復マス タープラン」を基に、早稲田大学 が日本から修復専門家を派遣し、 南経蔵修復計画策定・部分的解 体・再構築、バスレリーフ劣化原 因調査・保存計画策定、中央塔地 盤調査・保存計画策定等を中心に 引き続き修復を実施する企画に対 し、経費の一部を助成。 |
| 6 | アサ古文書 館所蔵ネ パール貴重 文献「泥封 印付巻物型 貝葉写本」 修復・保 存・デジタ ル化プロ ジェクト | | | アサ古文書 館 アジア文化 財保存修復 会 | ネパール | 07.11.10～ 07.12.22 | アサ古文書館所蔵歴史貴重文献の 泥封印付巻物型貝葉写本コレク ション約1200点のデジタル化及び その保存修復協力援助（3年計画） の3年目。アジア文化財保存修復 会が、これまでに終了した800点 に続いて、残り400点の保存修復、 デジタル化作業、同館現収蔵室と 新収蔵庫の保存環境改善に取り組 む企画に対し、経費の一部を助成。 |

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------------------|-------|-------------------------------------|-------------------------------|---------|-----------------------|---|
| 7 | グアテマラ 世界遺産調査保存計画 フォローアップ | 中村 誠一 | マヤ考古学 研究者 | グアテマラ 文化自然遺産局 ティ カル国立公園 | グアテマラ | 07.06.03～ 08.02.29 | 平成16・17年度に国際交流基金主催事業として実施したティカル・キリグア遺跡保存・調査のフォローアップとして、中村誠一（マヤ考古学研究者）が、引き続き、ティカル遺跡北のアクロポリス保存プロジェクト立案等を実施する企画に対して、経費の一部を助成。 |
| 8 | ウズベキスタン国立歴史博物館 展示カタログ共同制作 | 堀 暁 | 前古代オリエント博物館 研究部長・中央アジア考古学 専門家 | ウズベキスタン国立歴史博物館 | ウズベキスタン | 07.09.07～ 08.04.30 | 堀暁（前古代オリエント博物館研究部長・中央アジア考古学専門家）が、ウズベキスタン国立歴史博物館所蔵品400点の調査及びデジタル写真撮影を行い、同博物館と協力の上、ウズベク語、英語、ロシア語、日本語の4か国語による展示カタログを作成し、同館がウズベキスタン国民向け小冊子作成支援を行う企画に対して、経費の一部を助成。 |

文化芸術交流事業に必要な経費

文化事業費

1. 人物交流事業費
 - (1) 文化人短期招へい
2. 催し等事業費
 - (1) 日本文化紹介派遣（主催）
 - (2) 日本文化紹介派遣（助成）

人物交流事業費 (1)文化人短期招へい

海外の文化の諸分野において指導的立場にある者、日本と当該国の文化交流の上で貢献が期待できる者を招へいし、日本の実情視察、日本側文化人、関係分野の専門家等との意見交換等の機会を提供する。

合計額 64,301,615 円

| | 氏名 | 現職 | 在住国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------|-------------------|---------|-----------------------|---|
| 1 | KIM, Hoon | 作家 | 韓国 | 08.03.02～ 08.03.12 | 日本近代化の過程で形成された伊藤博文の思想・世界観・活躍に関する調査、及び明治維新時代に活躍した日本人の精神性やその時代の社会についての理解を促進するため日本国内関係者・関係機関・関係地訪問、並びに日本文化・社会事情視察。 |
| 2 | RINCHIN, Ganbat | 作家、ジャーナリスト | モンゴル | 07.10.03～ 07.10.17 | 日本の作家・モンゴル文学者との意見交換、自著『生きてゆかなければ』の続編執筆のためのモンゴル抑留者からの取材、及び日本文化・社会事情視察。 |
| 3 | KUSUMO, Anna | クローラ財団ディレクター | インドネシア | 08.03.02～ 08.03.16 | 日本の舞台芸術関係者（アート・マネージャー、プレゼンター、アーティスト等）との面談及び今後のコラボレーション等の可能性についての協議、コンテンポラリー・パフォーミングアーツ国際ネットワーク会議（IETM@TPAM）出席、並びに日本文化・社会事情視察。 |
| 4 | ISMAIL, Roslisham | 現代美術家 | マレーシア | 07.10.02～ 07.10.16 | 日本各地の現代美術美術館・ギャラリー訪問、アーティスト・イン・レジデンス・プログラム実施機関訪問、日本の同世代アーティスト・キュレーターとの面談、及び日本文化・社会事情視察。 |
| 5 | SUNGHITAKUL, Arak | タイ文化省芸術局 局長 | タイ | 07.08.20～ 07.08.26 | 芸術・文化関係者との意見交換、博物館等各種文化施設訪問、文化財保存関係活動視察、及び日本文化・社会事情視察。 |
| 6 | JADHAV, Narendra | プーネ大学 副学長 | インド | 08.03.01～ 08.03.08 | 日印交流発展のための大学・研究機関関係者との意見交換、プーネ大学日本語学科学士・修士コース設置のための関係者との意見交換・日本語教育に関する理解促進、及び日本文化・社会事情視察。 |
| 7 | COETZEE, John Maxwell | 作家、アデレード大学 名誉研究員 | オーストラリア | 07.12.05～ 07.12.18 | 2003年度ノーベル文学賞受賞者。日本の歴史的な土地訪問、人間国宝・日本伝統工芸士等との面会、自著の朗読会開催（東京大学と共催）及び日本の文学関係者との交流、並びに日本文化・社会事情視察。 |
| 8 | HACKETT, Jeanette | カーティン工科大学 副理事長兼学長 | オーストラリア | 07.11.23～ 07.12.02 | 日本の大学の国際化への取組み・諸外国との学術交流事情・交換留学生の受入れの現状・留学生用カリキュラムや福利厚生等に関する視察及び関係者との面談、並びに日本文化・社会事情視察。 |

文化事業費

| | 氏名 | 現職 | 在住国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------|--------------------------------------|---------|-----------------------|---|
| 9 | ROBINSON, Chris | オタワアニメーション国際フェスティバル 芸術監督 | カナダ | 08.01.22～ 08.02.02 | 広島国際アニメーションフェスティバル事務局他、日本のアニメーション・映画関係者との面談及び人的ネットワークの構築、並びに日本文化・社会事情視察。 |
| 10 | URENA RIB, Fernando Enrique | 画家、彫刻家、作家 | ドミニカ共和国 | 07.10.02～ 07.10.21 | 日本のラテン・アメリカ美術研究者との面談、日本国内美術館等訪問、日本の伝統文化・色彩等に関する理解促進のための関係地訪問、及び日本文化・社会事情視察。 |
| 11 | EURAQUE, Dario Aquiles | 国立人類学歴史学研究所 所長 | ホンジュラス | 07.11.04～ 07.11.18 | 日本のラテン・アメリカ史・考古学・人類学分野の研究者との面談及び研究機関・博物館等訪問、並びに日本文化・社会事情視察。 |
| 12 | PADRAO MUNDELL, Ana Paula | ブラジル・テレビ・システムアンカー兼編集長 | ブラジル | 07.11.11～ 07.11.19 | 2008年日伯交流年に向けた特別企画テレビ番組作成のための取材、関係者との意見交換、及び日本文化・社会事情視察。 |
| 13 | CARNEIRO DA CUNHA, Marcelo | 作家、映画作家 / プラノ・トリオ・コミュニケーション社 共同経営者 | ブラジル | 07.12.01～ 07.12.15 | 日本を舞台とする作品創作のための日本の社会・習慣・社会現象等調査、日本人作家・映画関係者との意見交換、及び日本文化・社会事情視察。 |
| 14 | ABREU, Jose Antonio | ベネズエラ青少年児童交響楽団代表 | ベネズエラ | 08.03.20～ 08.03.25 | 日本の青少年交響楽団等音楽関係者との意見・情報交換、日本の主要なオーケストラ・ホール視察、及び日本文化・社会事情視察。梶本音楽事務所と講演会を共催。 |
| 15 | KRYSTOF, Doris | デュッセルドルフK21ノルトライン・ウェストファーレン州立美術館 学芸員 | ドイツ | 07.10.29～ 07.11.11 | 日本各地の現代美術館訪問及びキュレーター・芸術家との意見交換、並びに日本文化・社会事情視察。 |
| 16 | CHASE, Michael | パリ市立劇場 総務代表 | フランス | 08.02.23～ 08.03.02 | 日本の舞台芸術関係者との意見交換、日本の舞台芸術の現況視察、及び日本文化・社会事情視察。 |
| 17 | MATULSKI, Raman | ベラルーシ国立中央図書館 館長 | ベラルーシ | 07.10.21～ 07.10.27 | 日本の図書館視察及び図書館情報学関係者との意見交換、日・ベラルーシ中央図書館交流のため関係者との協議、並びに日本文化・社会事情視察。 |
| 18 | MARIC, Zoran | NPOマルチ・カルチャー所属コンサート プロモーター | クロアチア | 08.02.21～ 08.03.06 | 海外公演を希望する日本の芸術関係機関・パフォーマーとの面談及び関係者・関係機関とのネットワーク構築、並びに日本文化・社会事情視察。 |

| | 氏名 | 現職 | 在住国 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---|---------|-----------------------|--|
| 19 | MWAMPEMBWA, Godfrey | 政治風刺漫画家 | ケニア | 07.07.01～ 07.07.15 | 日本の漫画・アニメ事情視察及びアニメ監督・プロデューサー・漫画家・大学漫画学科教授等関係者との意見交換、日本のアフリカ研究者との面談、寺社仏閣・祭り・武道・現代都市等含めた日本の文化・社会事情視察。アフリカの民主化と漫画に関する講演会実施。 |
| 20 | YAMAMOTO, Michiko | ufoピクチャーズプロデューサー、脚本家 | フィリピン | 07.05.18～ 07.06.01 | 新作映画脚本執筆のための劇団「あけぼの」(ジャパニーズ・フィリピーノ・チルドレンの子供たち8名から劇団)のミュージカル日本公演ツアー同行取材(子供たちの日本人との交流や父親探しの旅に関する調査)。 |
| 21 | REY ROSA, Rodrigo | 作家 | グアテマラ | 07.10.23～ 07.11.04 | 日本の出版関係者、作家、文学研究者との面談、及び日本の伝統・文化・習慣理解促進のための日本の文化・社会事情視察。東京大学と講演会共催。 |
| 22 | MWANSOKO, Hermas J.M. | タンザニア情報・文化・スポーツ省文化局 局長 | タンザニア | 07.09.02～ 07.09.16 | 日本のタンザニア研究者・アフリカ研究者及び言語学研究者との面談、関連研究機関訪問、並びに日本の文化・社会事情視察。 |
| 23 | Lisabona Rahman | インドネシア芸術評議会キネフォーラム プログラム・マネージャー | インドネシア | 07.11.15～ 07.11.29 | インドネシア、インド、オーストラリア、フィリピン4か国からそれぞれの国における国際映画祭でプログラミングを担当する若手責任者・実務担当者を各1名ずつ招聘の上、グループで日本の映画事情等を調査。具体的には、東京フィルメックス視察、日本の映画研究者・映画祭関係者・プロデューサー等関係者との面談、及び日本文化・社会事情視察。 |
| | Joselito Villanueva Acosta Shai Maria Heredia | シネマニラ国際映画祭 国際部門プログラマー エクスペリメンタ国際実験映画祭 ディレクター | フィリピン | | |
| | David Andrew Cowper Rose | ブリスベン国際映画祭 フェスティバル・ディレクター | オーストラリア | | |
| 24 | HUSEYIN, Bagci | 中東工科大学経済行政学部国際関係学科 | トルコ | 08.01.15～ 08.01.25 | 日本の中東研究者・外交政策研究者との意見交換、及び日本の文化・社会事情視察。トルコの内政・外政に関する講演会を中東調査会と共催。 |
| 25 | URIBE, Diana | 歴史家・ジャーナリスト | コロンビア | 08.02.13～ 08.02.27 | コロンビア・ラジオ日本特集番組制作のため、日本の歴史・風土・習慣・伝統文化についての更なる理解促進を目的とした、日本の歴史研究者等との面談、及び日本の文化・社会事情視察。 |
| 26 | TANAKA GONDO, Ricardo Martin | ペルー問題研究所 前所長 | ペルー | 08.03.03～ 08.03.14 | 日本とペルーの政党政治の比較のため日本の研究者との面談、及び日本の文化・社会事情視察。 |

文化事業費

催し等事業費 (1)日本文化紹介派遣 (主催)

海外に日本の文化人やスポーツ専門家を派遣し、日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップ等を行う。(音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く)

合計額 73,671,046 円

| 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|--------|--|--|-------------------------|-----------------------|--|
| 1 食文化 | 石毛 直道 奥村 彪生 | 国立民族学博物館 名誉教授 道楽亭主宰 | ブラジル | 07.04.17～ 07.04.29 | 石毛直道(国立民族学博物館名誉教授)及び奥村彪生(料理スタジオ道楽亭主宰)を、サンパウロ、リオデジャネイロ、ブラジリアに巡回派遣し、日本の食文化に関する講演及び和食調理デモンストレーションを実施。 |
| 2 生け花 | 笹山 安文 石渡 雅史 | 財団法人池坊華道会 教授 | ミャンマー バングラデシュ | 07.05.28～ 07.06.07 | 笹山安文(財団法人池坊華道会教授)及び石渡雅史(財団法人池坊華道会教授)をヤンゴン及びダッカに巡回派遣し、生け花のデモンストレーションとワークショップを実施。 |
| 3 アニメ | 山村 浩二 | アニメーション作家 | ロシア | 07.06.09～ 07.06.15 | 山村浩二(アニメーション作家・監督)をモスクワに派遣。2007年6月にモスクワで開催される第2回モスクワ国際オープン図書展における特別企画『ロシアにおける俳句の発見』にてレクチャー、ワークショップを実施。 |
| 4 デザイン | 川上 元美 | デザイナー・多摩美術大学客員 教授 | 韓国 | 08.03.04～ 08.03.07 | 川上元美(デザイナー、多摩美術大学客員教授)をソウル(弘益大学校)及び釜山(東亜大学校)に巡回派遣し、家具を中心に幅広い分野におけるデザインについての講演を実施。 |
| 5 能 | 金春 安明 金春 寿美子 森 瑞枝 | シテ方金春流八十世宗家 シテ方金春流マネージャー シテ方金春流 | 中国 | 07.11.06～ 07.11.14 | 金春安明(シテ方金春流八十世宗家)他計3名を派遣し、北京、上海、重慶において一般市民向けにレクチャー・デモンストレーションを実施。 |
| 6 歌舞伎 | 中村 京蔵 中村 又之助 高久 照敏 武村 将平 細野 裕二 | 歌舞伎役者 歌舞伎役者 (有)マス・ウェルズ 松竹衣裳株式会社 東京鴨治床山株式会社 | インドネシア フィリピン | 08.02.04～ 08.02.15 | 中村京蔵(歌舞伎役者)、中村又之助(歌舞伎役者)他歌舞伎専門家計5名をジャカルタ、デンパサール、マニラに巡回派遣し、歌舞伎に関するレクチャー及び歌舞伎舞踊のデモンストレーションを実施。 |
| 7 和風 | 大橋 栄二 大橋 瑛子 | 日本風の会世話人 日本風の会 | シンガポール ブルネイ マレーシア | 07.07.20～ 07.08.02 | 大橋栄二(日本風の会世話人)及び大橋瑛子(日本風の会)をコタバル、トレンガス、クアンタン、シンガポール、バンドルスリブガワンに巡回派遣し、和風の制作ワークショップ及び風揚げデモンストレーションを実施。 |

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----|--------|---------|-----|-----------------------|--|
| 8 | 俳句 | 宮下 恵美子 | 俳人 | インド | 07.11.10～ 07.11.18 | 宮下恵美子（俳人）をデリー及びコルカタに巡回派遣し、俳句に関する講演及びワークショップを実施。 |
| 9 | 折り紙 | 神谷 哲史 | おりがみはうす | カナダ | 08.01.20～ 08.02.02 | 神谷哲史（おりがみはうす）をトロント、オタワ、ハリファックス、バンクーバーに巡回派遣し、折り紙に関するレクチャー・デモンストレーション及びワークショップを実施。 |
| 10 | 映画 | 東 陽一 | 映画監督 | チリ | 07.07.22～ 07.07.29 | 東陽一（映画監督）をサンティアゴ（日本映画祭）及びタルカに巡回派遣し、日本映画に関する講演及び監督作品『わたしのグランパ』上映会を実施。 |

文化事業費

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----|---|---|---------------------------|-----------------------|--|
| 11 | 古武道 | 赤木 勇 神田 耕史 佐原 雅夫 佐原 勢津子 福島 祐紀洋 黒石 肇 竹内 藤一郎 坂手 雅夫 大谷 崇正 菊川 顕 竹内 教子 | 居合道無双直伝英信流教士七段、タックコンサルタント株式会社 居合道無双直伝英信流錬士六段、津山市水道局 居合道無双直伝英信流錬士七段 居合道無双直伝英信流錬士六段 剣道教士七段、社団法人岡山県雇用開発協会おかやま若者就職支援センター 剣道教士七段、岡山県立津山東高等学校 柔術竹之内流宗家、岡山商科大学 柔術竹之内流四段、向上館道場主、有限会社サカテ代表 柔道六段、岡山商科大学 柔道三段、岡山商業大学 柔術竹之内流二段、ノートルダム清心女子大学 | キューバ コスタリカ バルバドス | 07.11.20～ 07.12.02 | 坂手雅夫（柔術竹之内流四段、向上館道場主）他計11名の居合道、剣道、柔道、柔術の専門家をブリッジタウン、サンホセ、ハバナに巡回派遣し、古武道のデモンストレーションを実施。 |
| 12 | 生け花 | 岡崎 忍 森 彩琳 | いけばな師範、財団法人草月会 評議員 いけばな師範、財団法人草月会 | ドミニカ共和国 コロンビア ベネズエラ | 08.02.20～ 08.03.11 | 岡崎（河浦）忍（いけばな師範、財団法人草月会評議員）及び森彩琳（浩司）（財団法人草月会）をボゴタ、メデリン、カラカス、サントドミンゴに巡回派遣し、生け花に関するレクチャー・デモンストレーションを実施。 |

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------|---|--|---------------------------------|-----------------------|--|
| 13 | 絵本 | 五味 太郎 内海 陽子 | 絵本作家 編集者・マ ネージャー | メキシコ | 07.11.19～ 07.12.05 | 五味太郎（絵本作家）他絵本制作専門 家計2名をメキシコシティ及びグアダ ラハラに巡回派遣し、絵本制作に関す るレクチャー・デモンストレーション 及びワークショップを実施。 |
| 14 | アニメ | 陶山 恵 | アニメ研究 者、東京工芸 大学芸術学部 アニメーショ ン学科講師 | スペイン ポルトガル ルクセンブル ク | 07.11.01～ 07.11.14 | 陶山恵（アニメ研究者、東京工芸大学 芸術学部アニメーション学科講師）を バルセロナ、リスボン、コインブラ、 アヴェイロ、ルクセンブルクに巡回派 遣し、アニメに関する講演を実施。 |
| 15 | アニメ | 津堅 信之 | アニメーショ ン史研究者、 京都精華大学 講師、大阪芸 術大学講師 | アイスランド アイルランド | 07.09.26～ 07.10.05 | 津堅信之（アニメーション史研究者、 京都精華大学・大阪芸術大学講師）を ダブリン及びレイキャビックに巡回派 遣し、『日本アニメの歴史と今後の可 能性』、『なぜ日本アニメが近年世界で パワーを持ちえたか』をテーマとする 講演会を実施。 |
| 16 | 映像民族誌 | 大森 康宏 | 立命館大学 教授、国立民 族学博物館 名誉教授 | オーストリア ハンガリー | 07.11.15～ 07.11.23 | 大森康宏（立命館大学教授、国立民族 学博物館名誉教授）をウィーン及びブ ダペストに巡回派遣し、映像民族誌に 関する講演及び上映会を実施。 |
| 17 | 剣道 | 古田 坦 遠藤 正明 宮原 昇治 吉村 哲夫 | 剣道範士八 段、財団法人 山口県剣道連 盟会長 剣道教士八 段、警視庁 剣道教士八 段、静岡県立 吉原工業高等 学校教諭 剣道教士八 段、東海大学 教授 | クロアチア スロベニア セルビア ポーランド | 07.11.06～ 07.11.19 | 古田坦（剣道範士八段、財団法人山口 県剣道連盟会長）他計4名の剣士をベ オグラード、ザグレブ、リュブリャナ、 ワルシャワに巡回派遣し、剣道のデモ ンストレーション及び指導を実施。 |

文化事業費

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----|-----------------------------------|--|-------------------|-----------------------|--|
| 18 | 空手 | 荒川 通 柏谷 均 若杉 秀樹 渡邊 純一 | 空手範士九段、財団法人全日本空手道連盟 相談役 空手五段、ワールド松濤館空手道連盟 指導員 空手錬士五段、愛豊不動産管理有限会社 空手六段、有限会社八正道 代表取締役 | ウズベキスタン カザフスタン | 07.10.05～ 07.10.17 | 荒川通（空手範士九段、財団法人全日本空手道連盟相談役）他計4名の空手家をタシケント、サマルカンド、アルマティ、アスタナに巡回派遣し、空手のデモンストレーション及び指導を実施。 |
| 19 | 建築 | 小嶋 一浩 | 建築家、株式会社シーラカンスアンドアソシエーツ 代表取締役 | イラン | 07.06.12～ 07.06.16 | 小嶋一浩（建築家、株式会社シーラカンス アンド アソシエーツ代表取締役）をテヘランに派遣し、基金巡回展「パラレル・ニッポン現代日本建築展1996-2006」に併せて自身の作品及び日本の建築に関する講演を実施。 |
| 20 | 柔道 | 佐原 恭輔 真喜志 慶治 中野 陽一 西野 公章 | 柔道八段、長崎県警察 柔道六段、警視庁 柔道五段、兵庫県警察 柔道三段、群馬総合ガードシステム株式会社 | リビア エチオピア | 07.03.01～ 08.03.12 | 佐原恭輔（柔道八段、長崎県警察）他計4名の柔道家をトリポリ及びアデイスアベバに巡回派遣し、柔道のデモンストレーション及び指導を実施。 |
| 21 | 柔道 | 黒田 一彦 鉄谷 竜三 小室 宏二 手塚 勝彦 | 柔道七段、警察大学校助教授 柔道六段、警視庁 柔道五段、財団法人講道館 指導部 柔道五段、埼玉県警察 | タンザニア モザンビーク | 07.08.01～ 07.08.13 | 黒田一彦（柔道七段、警察大学校助教授）他計4名の柔道家ををガルエスサラーム及びマプトに巡回派遣し、柔道のデモンストレーション及び指導を実施。 |

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----|------------------------------------|---|------------------------|-----------------------|--|
| 22 | 柔道 | 川内谷 一志 大村 恭一 村元 辰寛 中川 慎太郎 | 柔道五段、大分工業高等専門学校 准教授 柔道五段、静岡県警察 柔道五段、旭化成株式会社 柔道五段、香川県警察 | キルギスタジキスタン トルクメニスタン | 07.10.14～ 07.10.30 | 川内谷一志（柔道五段、大分工業高等専門学校准教授）他計4名の柔道家をビシュケク、デシャンベ、アシガバッドに巡回派遣し、柔道のデモンストレーション及び指導を実施。 |
| 23 | アニメ | 渡辺 信一郎 | アニメ監督 | アラブ首長国連邦 | 08.03.24～ 08.03.29 | 渡辺信一郎（アニメ監督）をアブダビ及びドバイに巡回派遣し、アニメ作品に関する講演及び監督作品『Genius Party』等の上映会を実施。 |
| 24 | 邦楽 | 峯岸 一水 | 一弦琴奏者 | ベトナム | 08.03.08～ 08.03.11 | 峯岸一水（一絃琴奏者）をハノイに派遣し、邦楽のデモンストレーションを実施。ベトナム文化交流センター開所記念事業。 |

| | |
|--------|------------------|
| 催し等事業費 | (2) 日本文化紹介派遣（助成） |
|--------|------------------|

海外において日本の文化人やスポーツ専門化が日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップ等を行う事業に対し、助成を行う。（音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く）
合計額 24,402,718 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 申請団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|--------------|---------|-----------------|-----------------------|--|
| 1 | 富家 真理 | 画家 | 米国 | | 07.04.10～ 07.04.22 | 米国ワシントンにおいて、江戸の和と心の精神を浮世絵を通じてデモンストレーションとレクチャーで日本文化と心を伝えることを目的に、本人が描いた「現代浮世絵・絵灯籠」の舞台で日本文化と音と和の世界をレクチャーを実施。 |
| 2 | 浅葉 克己 | グラフィック・デザイナー | オーストラリア | 東京タイポディレクターズクラブ | 07.04.10～ 07.04.14 | グラフィックデザイン展開催に伴い、日本を代表とする3名のグラフィックデザイナーと展覧会キュレーターによる講演会およびワークショップを開催。浅葉氏が筆を使ってのワークショップを開催。伝統芸術である書の紹介及び、書が現代日本のデザインにも非常に有効な伝統文化であるかを伝えた。 |
| 3 | 天童 大人 | 日本ペンクラブ会員、詩人 | セネガル | | 07.05.13～ 07.05.23 | セネガルで開催されたアフリカ巡回国際詩祭に招へいを受け現地で日本語の詩を発表し、専門家によるディスカッションを実施。 |

文化事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 申請団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------|------------------|--------------|-------------|-----------------------|--|
| 4 | 村井 健 | 日露演劇会議 事務局長 | ロシア | | 07.05.12～ 07.05.31 | ロシアのノボシビルスク、オムスクにおいて、2人の講師が古代からの日本演劇についての講演および日本の歴史についての講演を実施。 |
| 5 | 田口 犬男 | 詩人 | ボスニア・ヘルツェゴビナ | | 07.05.09～ 07.05.15 | サラエヴォの詩祭「Sarajevo Poetry Days」において、ポエトリー・リーディングおよびパネル・ディスカッションを実施。 |
| 6 | 森 鶏二 | (社)日本将棋連盟 棋士 | 中国 | | 07.05.16～ 07.05.21 | 上海に将棋専門棋士を派遣し、日本の伝統文化の一つである「将棋」を中国で紹介するとともに、普及活動のみならず技術の向上を図る。将棋大会会場や学校を訪問し、視察、指導を行った。 |
| 7 | 橋本 巖 | 全日本空手道連盟糸東会代表 | 中国 | 全日本空手道連盟糸東会 | 07.07.15～ 07.07.17 | 中国における全国大会の指導、審判、役員として参加。一行14名。デモンストラレーション演武に協力。 |
| 8 | 武安 義光 | (財)全日本剣道連盟会長 | タイ | (財)全日本剣道連盟 | 07.12.12～ 07.12.16 | 日本・タイ修好120周年の2007年にバンコクを訪問し日本文化の紹介を兼ねた演武会を催すとともに現地剣道愛好家を指導。 |
| 9 | 細野 葉霞 | (財)草月会 いけばな師範 | インド | | 07.09.16～ 07.10.01 | インド・ニューデリー、ボンベイにおいて生け花のデモンストラレーションとワークショップを開催。 |
| 10 | 会田 雄亮 | 東北芸術工科大学 名誉教授 | オーストラリア | | 07.10.01～ 07.10.13 | 日本の陶芸がいかにオーストラリア陶芸に大きく影響を与えてきたか、1950年代からの歩みとこれからの世界の環境造形、デザイン、都市計画の流れと未来に関するシンポジウムに参加。 |
| 11 | 樋口 隆成 | 合気道武産会 理事長 | 米国 | 合気道武産会 | 07.06.06～ 07.06.13 | 合気道を通じた若者への日本文化の紹介を目的として、一行4名により、合気道の技術講習会を米国カリフォルニア州数か所で実施。特に高校生及び大学生に広く合気道を指導している機関(道場)にて、講習会及び指導会を実施。 |
| 12 | 平澤 剛 | 明治学院大学 講師 | ドイツ | | 07.04.19～ 07.04.22 | 世界で最も大規模な日本映画専門の映画祭日本コネクション(フランクフルト・フィルムミュージアムにおいて開催)シンポジウムとワークショップに参加し、ディスカッション等を実施。 |

| | 氏名 | 現職 | 国 | 申請団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------|--|
| 13 | 渡辺 真也 | インディペン デント・キュ レーター | 米国 | | 07.04.23～ 07.04.28 | 「アトミック・サンシャイン-9条と 日本」実行委員会とアジア・ソサエ ティーが主催する憲法9条に関するパ ネル・ディスカッションに参加。この イベントは日本国憲法の第九条の是非 を、GHQ憲法起草メンバー、アメリカ 側の軍事関係者、日本で活動するアメ リカのドキュメンタリー映画監督、更 に日本を代表するパネリストが論じた もの。 |
| 14 | 原田 広美 | 舞踏評論家 | クロアチア ポーランド オーストリア | | 07.05.28～ 07.06.19 | クロアチアのラビンとザグレブ大学、 ポーランドのクラクフ、オーストリア のウィーンにおいて舞踏レクチャーと ワークショップを実施。 |
| 15 | 笹岡 隆甫 | 未生流笹岡家 元嗣 | バルー | | 07.06.23～ 07.06.30 | 日本における華道の歴史とその現状を 概要紹介するとともに未生流のデモン ストレーションを実施。現地で実施さ れている生花教室ならびにガーデニン グ・クラブ会員の作品と併設して花展 を開催。一行8名。 |
| 16 | 村田 吉弘 | 日本料理アカ デミー理事長 | 米国 | 特定非営利活 動法人日本料 理アカデミー | 07.10.18～ 07.10.25 | ニューヨークにおいて日本料理の食文 化体系を、講習、公開ワークショップ 形式の試食、シンポジウムなどを通じ て発信した事業。異なる食文化間の双 方向的な対話、発見、議論、学びを創 出。講習においては日本文化の歴史的 背景、地理的特性、出汁などの基本的 な味の構造を紹介。さらに、本格的な 会席料理の代表的な料理法なども紹 介。 |
| 17 | 新井 庸弘 | (財)少林寺 拳法連盟会長 | チリ ブラジル | (財)少林寺 拳法連盟 | 07.06.05～ 07.06.19 | ブラジル・チリの両国において、一行 3名より少林寺拳法の一般公開のデモ ンストレーションを実施。 |
| 18 | 岡田茉莉子 吉田 喜重 土肥 秀行 | 女優 映画監督 大学教員 | イタリア | | 08.03.05～ 08.03.21 | 2007年初頭に国際交流基金の翻訳・出 版助成を受けてイタリアで発表される 吉田喜重著「小津安二郎の反映画」に ついての吉田喜重監督及び岡田茉莉子 氏による講演と小津映画等の上映を、 ローマ文化会館、ヴェネツィア大学で 実施。本の翻訳者である土肥氏が通訳 をつとめた。 |
| 19 | マルコ マル フィー | 九道場館長 | スイス | | 07.06.09～ 07.06.24 | 沖縄伝統の古武道・空手である又吉古 武道・硬軟流空手の指導、普及をスイ ス・ベルンで実施。日本から古武道家 3名をベルンに招へい。 |

文化事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 申請団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------|----------------|-------|-------------|-----------------------|--|
| 20 | 金井 勝 | 映像作家 | ドイツ | | 07.05.03～ 07.05.08 | 「シュールレアリズムの映像詩人」といわれる映像作家・金井勝監督の回顧上映会がオーバーハウ国際短編映画祭で開催され、監督自身が参加し、また、ケルン文化会館でも講演と作品紹介を実施。 |
| 21 | 村木 享子 | 書家 | ドイツ | | 07.08.06～ 07.08.27 | ハンブルグ美術工芸博物館において書道のレクチャー・デモンストレーション・ワークショップを実施。 |
| 22 | 長谷川 仁美 | ミアカビデオアーカイブ代表 | 英国 | | 07.05.16～ 07.06.13 | ロンドンのNPO機関LUXとの交換プロジェクトとして、日本人作家10名の映像作品の紹介とレクチャーを実施。 |
| 23 | 茂山 七五三 | 茂山千五郎家京都能楽会理事長 | チェコ | | 07.07.17～ 07.08.12 | チェコ・プラハにおいて狂言ワークショップを開催。狂言の伝統的な稽古の方法も併せて紹介し、さらに狂言公演に際し、必要な装束や舞台準備についての指導も行った。 |
| 24 | 西川 勝篤 | 茶道教授 | ロシア | | 07.06.07～ 07.06.18 | モスクワの日本庭園で行われる「茶の湯」主催のお茶会に参加し、ロシア人の活動を支援。また、サンクトペテルブルグで「茶の湯」が主催する初めての茶会を支援。一行6名。 |
| 25 | 石本 寛治 | 日本トルコ民間交流協会会長 | トルコ | 日本トルコ民間交流協会 | 07.05.20～ 07.05.28 | アクサヒール市の日本庭園の開園式を兼ねて日本文化祭を開催。また、イスタンブールでもイスタンブール市の日本庭園を中心に日本文化祭を開催。お茶会、折り紙展示と教室、生け花展示と教室、書道展示と教室、木目込み人形展示と貝根付教室、布草履づくり教室、着物紹介教室並びにショー、和菓子づくり教室（茶巾絞り）、日本の子供遊びコーナー、舞台により伝統文化紹介（和太鼓、武術演舞、着物ショー）を実施。 |
| 26 | 橋口 譲二 | (有)ミトローバ代表取締役 | ベトナム | | 07.08.10～ 07.09.03 | 写真家一行4人により、フーイエンおよびホーチミンにおいて、写真のワークショップおよび現地の参加者たちとの写真、絵画のコラボレーションを行うことにより、「今を生きる」相互理解を図った。また、日本語を学ぶベトナム人学生との交流のため、朗読や上映も実施。 |
| 27 | 井上 貴勝 | 琉球古武術保存振興会会長 | 南アフリカ | 琉球古武術保存振興会 | 07.08.10～ 07.08.16 | 琉球古武術を通じて、心技両面の国際交流・親善を深めることを目的として、一行約40名によりセミナーと演武会と体験交流会を実施。 |

| | 氏名 | 現職 | 国 | 申請団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------|----------------------|--------|----------------|-----------------------|--|
| 28 | 原茂 又造 | 江戸独楽職人 | インド | | 07.11.16～ 07.11.27 | インドの国民に日本文化を紹介することを目的として、江戸木版画(浮世絵)、江戸独楽、江戸凧などの職人10名が、インド・チェンナイにおいて展示、パフォーマンス・ワークショップを実施。 |
| 29 | 小林 正道 | 大江戸助六太鼓宗家 | 米国 | | 07.08.08～ 07.08.13 | 隔年で開催される北米の和太鼓界の最新情報交換の場である北米太鼓会議(シアトル)において、助六太鼓宗家など一行5名による、日本の古典音楽の中の和太鼓発展史および和太鼓打法の講義・デモンストレーション・ワークショップを実施。 |
| 30 | 蝦名 文昭 | (社)青森コンベンション協会会長 | 米国 | (社)青森コンベンション協会 | 07.08.15～ 07.08.18 | ロサンゼルス・リトルトーキョーにおいて、北米最大の日系人祭りの一部として、青森ねぶたの講演と制作実演を実施。 |
| 31 | 日詰 明男 | 造形作家 | コスタリカ | | 07.08.01～ 07.09.01 | 竹を使って幾何学的な野外彫刻作品を制作し、制作を通してエコロジー、数学、幾何学造形、音楽などにつながる竹建築を紹介。 |
| 32 | 野田 浩太郎 | 福岡県立筑紫台高等学校教員 | ベネズエラ | | 07.08.01～ 07.08.15 | ベネズエラのカラカスにおいて、2名の柔道家によるデモンストレーションと指導を実施。 |
| 33 | 山中 典士 | (社)全日本きものコンサルタント協会会長 | オーストリア | | 07.08.20～ 07.08.28 | 主にオーストリア・インスブルックにおいて、きものパレード、皇帝舞踏会への参加、きもの文化・装道講演ときものショーなどを実施。 |
| 34 | 広井 政昭 | 江戸独楽職人 | デンマーク | | 07.09.15～ 07.09.22 | 伝統の江戸からくり独楽のレクチャー・デモンストレーションをデンマークの大使館広報文化センター、アンデルセン博物館、国立博物館などで実施。 |
| 35 | 石上 清文 | 極真会館福岡支部長 | ドイツ | | 07.10.22～ 07.10.31 | ドイツで行われた「人文科学年」の行事に参加。ポッフムおよびボンにおいて極心空手のデモンストレーションを実施。 |
| 36 | 柳生 耕一 | 柳生会会長 | ドイツ | 柳生会 | 07.10.22～ 07.10.31 | ドイツで行われた「人文科学年」の行事に参加。「柳生新陰兵法剣術」の演武と講演をポッフムとボンで実施。 |

文化事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 申請団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------|-------------|-----------------|-----------|-----------------------|--|
| 37 | 高谷 史郎 | アーティスト | ドイツ | | 07.10.17～ 07.11.01 | ベルリンにおける国際メディアアート展「Vom Funken zum Pixel」展において作品を展示するとともに、シンポジウムに参加。ケルンにおいて講演「日本のメディアアート・ダムタイプの活動を通じて」を実施。 |
| 38 | 田村 正 | 製紙業、紙匠 | フランス | | 07.10.15～ 07.11.05 | フランスのラ・ロシェルとパリ日仏文化会館において、「和紙の紹介」「和紙と日本人」をテーマにした講演、レクデモ、体験、ちぎり絵展示、デモ体験、紙漉きのレクデモを実施。 |
| 39 | 西村 卓 | 同志社大学副学長 | 英国 | | 07.11.05～ 07.11.10 | ロンドン大学SOASと同志社大学との共催により、ロンドンにおいて京都の伝統工芸（今日唐紙の唐長の千田堅吉と一澤帆布の一澤新三郎）の展覧会およびシンポジウムを実施。 |
| 40 | 吉積 信彦 | 和風製作専門家 | リビア | | 07.09.03～ 07.09.06 | リビアの小中学校や障害者センターなどで、和風の製作および風揚げの実演を実施。 |
| 41 | 尾上 國子 | NPO法人阿久伊羅理事 | フィンランド ウクライナ | NPO法人阿久伊羅 | 07.10.21～ 07.10.29 | フィンランド・ヘルシンキとウクライナ・キエフにおいて日本舞踊と邦楽のレクチャー・デモンストレーションを実施。団員4名。 |
| 42 | 香取 琴水 | (法)国際墨画会・会長 | ポーランド | | 07.11.14～ 07.11.22 | 日本・ポーランド国交回復50周年を記念し、水墨画、日本画、書、陶芸、染織作品を展示、水墨画の講演とデモンストレーションを実施。 |
| 43 | 井上 裕 | (財)日本武道館理事長 | ポーランド | (財)日本武道館 | 07.10.27～ 07.11.02 | 日本とポーランド国交50周年を記念して日本の伝統文化の紹介と両国の友好・親善・相互理解のために、ジャパンウィーク2007年ポーランド・ワルシャワに日本武道代表団を派遣し、武道演武会やワークショップを実施。一行73名。 |
| 44 | 宮本 範子 | 古流東洋会家元 | エチオピア | | 07.09.09～ 07.09.20 | エチオピア ミレニアム200年祭への参加。一行5人により、花人が花を活性、歌人が和歌を詠むなど花と作法の披露。日本伝統文化の生け花デモンストレーション、ワークショップを実施。 |
| 45 | 平岩 共代 | 金属工芸家 | 韓国 | | 07.12.09～ 07.12.18 | 個展と展覧会会場でのアーティスト、学生、一般向けのレクチャーをソウル市内大学で実施。 |

| | 氏名 | 現職 | 国 | 申請団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------|-----------------|--------|---------------|-----------------------|--|
| 46 | 武藤 大祐 | 桜美林大学非常勤講師 | インドネシア | | 07.12.05～ 07.12.09 | ダンス・フェスティバルにおいて日本のコンテンポラリー・ダンスについてのレクチャーを実施。特に有望な若手振付家を対象に日本のコンテンポラリー・ダンスの手法を体系的に紹介。 |
| 47 | 天野 宗恵 | NPO法人いちごいちえ理事長 | 米国 | NPO法人いちごいちえ | 07.12.01～ 07.12.05 | 2名、茶道のレクチャーと祇園精舎や桜吹雪の演奏を背景に茶道のお手前を披露。視覚と聴覚で日本的なものを披露し、茶道の背景になる日本的な精神文化を伝えた。 |
| 48 | 三原 董充 | 益田市石見神楽神和会会長 | ブラジル | 益田市石見神楽神和会 | 08.01.16～ 08.02.02 | ブラジル神楽団の活性化と指導に協力するため、サンパウロにおいて、石見神楽のワークショップを子供達向けや福祉施設で実施。一行4名 |
| 49 | 木村 草之介 | 裏千家淡交会英国出張所駐在講師 | アイスランド | | 08.01.24～ 08.01.31 | アイスランド大学における恒例のジャパンフェスティバルに参加し、アイスランドの要人に官邸または経済団体において茶道紹介を実施。 |
| 50 | 間瀬 藤江 | 木のリトグラフ展実行委員会代表 | イタリア | 木のリトグラフ展実行委員会 | 08.01.28～ 08.02.07 | 版画家集団によりローマ（日本文化会館等）、フィルメロ、フィレンツェにおいて、木を使ったリトグラフ展およびワークショップを実施。 |
| 51 | スティーブ サラザン | フリーランスキュレーター | フランス | | 08.03.07～ 08.03.15 | フランスのクレルモンフェランで開かれた「VIDEO FORMES 2008」において、出光真子、岡田裕子、近藤聡乃の作品紹介と講演会を行い、スティーブ・サラザン氏が解説。 |
| 52 | 中牧 弘允 | 国立民族学博物館教授 | フランス | | 07.12.14～ 07.12.23 | フランス日本研究学会（於パリ第7大学）、リヨン第3大学、アルザス地方（コルマール欧州日本学研究所およびストラスブール大学）において、「日本の会社に宿る神仏—マネージメントと宗教文化人類学」と題する講演を実施。 |
| 53 | 土井 道子 | 箏奏者 | アルジェリア | | 07.11.25～ 07.12.02 | アルジェにおいて、一般市民を対象とした邦楽レクチャーとデモンストレーションを実施。また、邦楽の歴史、独特の旋律、和楽器の音と魅力、大和楽の特徴についてレクチャーを行った。 |
| 54 | 今井 俊堯 | 画家 | カメルーン | | 07.11.11～ 07.12.17 | カメルーンにおいて、自然の素材（木・土・草花）を絵画、彫刻にそのまま取り入れる手法の若手芸術家との交流、共催の展覧会、展示会、ワークショップ、市民参加型のデモンストレーションを実施。 |

文化芸術交流事業に必要な経費

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 中学高校教員交流（招へい）
- (2) 中学高校教員交流（派遣）
- (3) 開高健記念アジア作家招へい
- (4) 文化交流企画運営補助（JFボランティア）

2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流（主催/派遣）
- (2) 市民青少年交流（主催/招へい）
- (3) 市民青少年交流（助成）
- (4) 異文化理解ワークショップ

市民青少年交流事業費

人物交流事業費 (1) 中学高校教員交流 (招へい)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで招へいし、研修、視察の機会を提供する。

合計額 122,605,621 円

| | 事業名 | 国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------|---|--|-----------------------|--|
| 1 | 中高教員グループ (第1) | モンゴル 東ティモール ブルネイ マレーシア ミャンマー ラオス バングラデシュ ベルギー ポルトガル ルクセンブルク ポーランド ボスニア・ヘルツェゴビナ マケドニア ルーマニア サウジアラビア シリア パレスチナ ヨルダン レバノン ナイジェリア マダガスカル マラウイ 南アフリカ モザンビーク | 3 3 3 5 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 | 07.06.21～ 07.07.04 | 各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供（訪問自治体：新潟県、福島県、奈良県） |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------|--|---|-----------------------|--|
| 2 | 中高教員グループ（第2） | タイ フィリピン インド ブータン オーストラリア パラオ フィジー ミクロネシア パナマ ホンジュラス メキシコ ブラジル ベネズエラ ペルー ボリビア イタリア 英国 ドイツ フィンランド フランス エストニア ハンガリー ラトビア リトアニア ロシア セネガル | 3 3 5 3 5 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 5 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 | 07.12.06～ 07.12.19 | 各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供（訪問自治体：東京都、京都市、愛媛県） |
| 3 | 中高教員グループ（インドネシア） | インドネシア | 15 | 07.07.05～ 07.07.18 | インドネシアにおける青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供。訪問先は大阪市 |
| 4 | 中高教員グループ（韓国） | 韓国 | 25 | 07.10.03～ 07.10.16 | 韓国における日本理解及び日韓文化交流を促進することを目的として、韓国の教員等を招へいし日本の文化と社会に関する理解を深める機会を提供（訪問自治体：大阪市） |

市民青少年交流事業費

人物交流事業費 (2) 中学高校教員交流 (派遣)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで派遣する。

合計額 754,999 円

| | 事業名 | 国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------|----|------|-----------------------|---|
| 1 | 韓日教育者交流 事前研修 | 韓国 | 25 | 07.10.23～ 07.10.24 | 韓国国際交流財団との相互交流プログラムの一環として、日本の中学・高校の社会科教員の韓国研修の渡航前オリエンテーションを実施 |

人物交流事業費 (3) 開高健記念アジア作家招へい

日本では紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民へ紹介するとともに、文学関係者間の交流を促進するため、アジアから作家を招へいし、日本各地で講演会等を実施する。

合計額 4,503,849 円

| | 事業名 | 関連人物姓名 | 在住国 | 都市 | 場所名 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------|--------|-----|-------------------------|---|-----------------------|--|
| 1 | 第17回開高健記念アジア作家招聘事業 | 李鋭 | 中国 | 東京 仙台市 大阪市 函館市 | 国際交流基金 仙台文学館 大阪国際交流センター 函館市中央図書館 | 07.11.02～ 07.11.15 | 平成元年に逝去した作家・開高健氏の遺族から寄せられた寄附をもとに、平成2年から実施しているアジア作家の講演会シリーズを引き続き実施する。アジアから作家・文学関係者1名を約2週間日本に招へいし、講演会を実施するとともに、日本の文学関係者との意見交換・対話の場を設けることにより、日本で紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民に紹介し、日本とアジアの文学関係者同士の交流を促進することを目的とする。19年度は、19年が「日中文化・スポーツ交流年」であることにも鑑み、中国のノーベル文学賞候補作家である李鋭（リ・ルエイ）氏を招へいし、大阪（大阪国際交流センター）、仙台（仙台市市民文化事業団）、函館（北海道国際交流センター）、東京（基金）にて講演会を実施 |

市民青少年交流事業費

人物交流事業費 (4)文化交流企画運営補助 (JFボランティア)

日本との文化交流活動を主たる業務としている海外の非営利団体へ市民ボランティアを派遣し、企画運営補助業務を行なう。

合計額 14,105,121 円

| | 氏名 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|-------|--------------------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 尾上 智子 | フィリピン | フィリピン日系人互助財団附属研修センター 財団法人北ルソン比日基金 | 07.04.05～ 08.02.29 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 2 | 塩沢 祥子 | エジプト | エジプト日本語振興会 | 06.11.10～ 07.11.09 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 3 | 河嶋 佳子 | ドイツ | ベルリン日独センター | 06.09.01～ 07.08.31 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 4 | 岩下 貴卓 | インド | インド文部省留學生協会 (MOSAI) | 07.09.27～ 08.09.26 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 5 | 榮谷 泰子 | ドイツ | ベルリン日独センター | 07.09.01～ 08.08.31 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 6 | 中井 仙丈 | タイ | チェンマイ大学・日本センター | 07.10.01～ 08.12.31 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 7 | 慶野 温子 | 英国 | 大和日英基金 (英国) | 08.01.02～ 08.12.28 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |

催し等事業費 (1)市民青少年交流 (主催/派遣)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家を日本から派遣し、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。
合計額 4,123,601 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------|---|--|----|-----------------------|--|
| 1 | 韓国青少年問題関係者グループ(派遣) | 磯田 浩司 工藤 啓 山本 正登 山本 繁 山本 和香子 塚本 竜也 | グッド！代表 特定非営利活動法人「育て上げ」ネット理事長 K2インターナショナルオーストラリア統括責任者 NPOコトバノアトリエ代表理事 たちかわサポートステーションセンター長 特定非営利活動法人NICE(日本国際ワークキャンプセンター)事務局長 | 韓国 | 08.03.03～ 08.03.08 | 日韓両国が共有する社会的課題を中心としたNPO/市民団体間の交流強化を目指し、若者の就労支援NPO団体の実務者をグループで韓国へ派遣し、韓国の同分野の市民団体関係者との意見交換や現場視察などを行う。市民団体の活動状況、および、市民団体を取り巻く環境等について把握し、両国の市民レベルにおける交流活性化を促進するとともに、事業体験の共有を通じて参加者(団体)間のネットワークを形成・強化する事業 |

市民青少年交流事業費

催し等事業費 (2)市民青少年交流 (主催/招へい)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家を日本に招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。
合計額 7,532,683 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------|---|---|------|-----------------------|--|
| 1 | ベトナム文化交流関係者グループ招へい | BUI Hoang Quang LE Long Duc LE Ngoc Ding LE Phuong Thi Hoai NGO Khoi Hoang Van NGUYEN Anh My NGUYEN Huong Thi Thu NGUYEN Yen Thi Thu PHAM Bing Thi PHAN Dung Tien TRAN Hai Van TRAN Nam Thanh TRAN Van Viet | 外務省外交団サービス局 General Director ベトナム教育訓練省 Chief Officer 文化スポーツ観光省 Deputy Director 文化スポーツ観光省 Director ダナン市外務局 Director ハノイ市文化情報局 Officer ベトナム外務省 Officer 教育訓練省・教育カリキュラム戦略研究所 Officer ベトナム財務省 Chief Officer トア・ティエン・フエ省文化情報局 Director 文化スポーツ観光省 Officer ホーチミン市文化情報局 Executive Officer 労働新聞 Journalist | ベトナム | 07.12.04～ 07.12.13 | ベトナム文化交流支援センターの開設記念事業の一環として、日本とベトナム両国の相互理解の促進ならびに、日越交流に関する関係者間のネットワーク形成と新たな日越交流事業の発展に資することを目的として、日越交流に携るベトナム行政機関の実務レベル担当者及び研究者をグループで招へいし、関係諸機関の視察や日本側で同分野に係る専門家等との情報・意見交換の機会を提供する。また、文化交流支援センターを拠点としたベトナムにおける日本語事業の展開に益する人材及び環境を涵養するため、日本語国際センター、関西国際センターを訪問し、研修事業の視察、講師や職員との意見交換を実施 |

市民青少年交流事業費

催し等事業費 (3)市民青少年交流 (助成)

日本と海外の市民レベルにおける相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 91,657,805 円

| 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|--------------------------|-----------------------|----------------|-----------------------|---|
| 1 伝承芸能・沼田祇園囃子による国際交流 | 沼田祇園囃子保存会連合会 | ドイツ | 07.10.13～ 07.10.19 | 重要民俗文化財「沼田祇園囃子」を伝承練磨する保存会の中で、未来を担う子供達を含めて国際姉妹都市、ドイツ・フュッセン市に派遣し、市民にお囃子を披露すると共に、現地の学校で、特別授業を実施し、日本の祭囃子を媒介として日本文化への理解を求めつつ、友好の輪を広めると共に、情操教育と国際感覚の醸成を図る事業 |
| 2 第23回日韓学生フォーラム | 第23回日韓学生フォーラム | 韓国 | 07.08.05～ 07.08.19 | 日本にて、日韓の学生が2週間寝食を共にし、共通の経験を分かち合うと共に、日韓問題に関する各個人のプレゼンテーション、フィールドトリップ、全体討論などのプログラムを実施 |
| 3 日中独トライアングル音楽交流事業 | 特定非営利活動法人 鳴門「第九」を歌う会 | 中国 ドイツ | 08.03.28～ 08.03.31 | 鳴門市、中国・青島市、ドイツ・リューネブルク市の3市トライアングル交流の一環として、平和と友愛のシンボルである『ベートーベン「第九」交響曲演奏会』と音楽をテーマとした交流シンポジウムを開催 |
| 4 タイ・ラオス・日本の中学生の生活文化交流 | 日本国際交流センター | タイ ラオス | 07.07.28～ 07.08.05 | タイ・ラオス・日本の中学生がタイの農村地帯の民家で生活を共にしながら文化、生活、教育についての相互理解を図る。最終日には「3カ国中学生会議」を開催して成果を発表すると共に、将来に向けて連携の道話し合う。帰国後は各学校にて報告会を開催し、多くの子ども達に交流内容を紹介 |
| 5 07平和をつくる子ども交流プロジェクト | 特定非営利活動法人 聖地の子どもを支える会 | イスラエル パレスチナ | 07.07.31～ 07.08.15 | 紛争に苦しむイスラエル・パレスチナの若者と日本の若者が日本（特に原爆被災地）で、対話と交流をとおして戦争と平和を学び、民族・宗教の違いや敵意を超えて友情を育み、将来手を携えて「平和の働き人」となることを企図した事業を実施 |
| 6 日本・ハンガリー保育実践交流 | 特定非営利活動法人 コダーイ芸術教育研究所 | ハンガリー | 07.10.11～ 07.10.24 | ハンガリーの保育者を招聘し、乳幼児の教育理論及び実践に関してセミナー、ワークショップに参加する日本人保育者と意見交換を実施 |
| 7 絵本振興のための日本・スリランカ文化交流事業 | スリランカの教育を支援する会 | スリランカ | 07.11.01～ 07.11.08 | 会員5名と講師2名が現地パートナーと共に、コロンボで5日間の絵本に関するワークショップを実施。これまでの活動の成果であるスリランカ人作家の作品を、日本とスリランカで出版する意義について講演会を開催する他、ストーリーテリング（おはなし会）を行い、こどもたちと絵本をむすぶ活動を展開 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|------------------------|----------|-----------------------|---|
| 8 | パレスチナ難民との交流による異文化理解 | NPO法人 学習創造フォーラム | エジプト | 07.07.19～ 07.07.30 | 異文化交流学習を実施したパレスチナ難民と日本の教師・子どもがエジプトで開催されるiEARN国際会議&コースサミットに参加してさらに相互理解を深めると共に、世界中から集まった人たちと異文化理解について議論を行う。また、これが今後学校での国際交流学習につながるよう交流学習モデルプランを作成 |
| 9 | (日米交流における)蓮子の会-伝統とくらしの書画展 | 蓮子の会(書道会) | 米国 | 07.05.24～ 07.05.30 | 蓮子の会会員及びその賛同者がニューヨークの日本クラブにおいて書を通して市民文化交流を行う。書道作品の展示とともに、書き方の指導をしたりするデモンストレーションやワークショップなどを実施 |
| 10 | 日伊青年演劇交流:ローマ Kyogen一座・ミラノ喜劇一座 日本ツアーと狂言師との交流 | 日伊青年演劇交流実行委員会 | イタリア | 07.06.10～ 07.07.01 | ローマ大学イタリア人学生による翻案新作狂言の上演と狂言師との共演、意見交換と交流。イタリア人学生を招へいし狂言の稽古を積んだ後、日本各地で公演を行うほか、プロの狂言師との交流を実施 |
| 11 | ホームレス・アート国際フェスティバルへの参加と交流活動 | 特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋 | 英国 | 07.07.25～ 07.07.29 | ロンドン市内で開催されるホームレスをはじめとした社会的少数者による国際芸術祭に参加し、アートをきっかけに地元はもとより世界中から集まる団体や当事者と対話を図る。交流を通じ、草の根で活動する市民団体同士の世界的ネットワークを築き、社会問題を解決する手法を共有 |
| 12 | 初等教育教諭へのパネルシアター研修 | パネルシアター研究会 TEP | インド | 07.08.23～ 07.08.31 | インドにて初等教育に従事する先生方や関係者を対象にパネルシアターの技術の研修を行い、これを教育の現場で活かしてもらい、幼児・児童の情操教育に役立ててもらおう事業 |
| 13 | 第4回日韓アジア教育国際会議 | NPO法人日韓・アジア教育文化センター | 韓国 中国 | 07.08.05～ 07.08.07 | アジアにおける教育・文化について、日本語・日本文化を糸口に、日本・韓国・中国・台湾地域の教員・学生が交流。モノリンガル・バイリンガルとアイデンティティ「言葉・人が生きること」を主題に、日韓中の若者と教員が香港に会し、公開の会議を実施 |
| 14 | 街角コンサート in 全州&ソウル | マイスター ブラス カルテット | 韓国 | 07.05.23～ 07.05.30 | 日本の金管四重奏「マイスターブラスカルテット」がソウル市及び全州市(その周辺都市も含む)で、広場や公園、観光地等、野外を中心に「街角コンサート」を実施。学校訪問や韓国人演奏者との共演や、演奏後には市民との交流も実施 |
| 15 | 第9回・第10回 日韓高校生交流キャンプ | 社団法人 日韓経済協会 | 韓国 | 07.08.05～ 08.02.14 | 1回のキャンプで日韓両国の高校生各40名計80名を集め、合宿形態で日韓混成チームを作り、日韓文化に関わるビジネス企画を立てて発表。この共同作業を通じて日韓の若者による密度の濃い交流を促進 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|--------------------------------|-------|-----------------------|--|
| 16 | 写真の町・日中写真文化交流事業 | 東川町国際文化交流協会 (HIACC) | 中国 | 07.05.23～ 07.12.31 | 22年にわたり国内唯一の「写真の町」として写真文化を核として国際的な交流を進めてきた申請機関が、日中文化・スポーツ交流年にあたり、中国大連との合同撮影会・交流セミナー・写真展の開催を通じ、国際交流、相互理解と交流を深める事業 |
| 17 | インドネシアに届け！空飛ぶ車いす | 大森学園高校「空飛ぶ車いす」ボランティア部 | スリランカ | 07.04.01～ 08.03.31 | これまでに日本の高校生がインドネシアに贈った274台の車いすにも故障、パンクが発生。車いす寄贈の継続とともに、現地修理を可能にするためタイヤ、部品などを送り、日本から技術者を派遣し修理工房の立ち上げを準備 |
| 18 | 日韓ユースボランティアキャンプ | 財団法人福岡YWCA | 韓国 | 07.08.05～ 07.08.11 | 韓国・晋州市の中高生と、福岡近隣の中高生が、福岡の福祉施設でボランティア活動を行い、共に学び活動することを通して、相互理解を促進 |
| 19 | 日タイ修好120周年記念プログラム 佐賀県とタイの子ども達 | 財団法人佐賀県国際交流協会 | タイ | 07.11.26～ 07.12.04 | 佐賀県内の民間国際交流団体が奨学金給付等で支援しているタイの青少年等を佐賀県に招へいし、セミナーの開催を通じて県民に広くタイとの国際交流・協力の現状や必要性を伝え、国際交流・協力の担い手の拡充を図る。また、ワークショップを開催してタイとの交流や支援を続けている県民との交流の機会をつくり、相互理解を促進 |
| 20 | 日本タイ聴覚障害者文化交流プロジェクト | 特定非営利活動法人NPOアジアマインド | タイ | 07.04.01～ 08.03.31 | 両国ろう学校生徒、ろう者大学生、手話サークル関係者、ろう者社会人の交換交流。両国参加生徒に対する国際理解、国際交流、ボランティア活動指導と両国ろう者リーダー養成。学校施設、オリンピックセンターを利用し文化交流シンポジウムを開催 |
| 21 | 「韓国の友だち、アンニョンハセヨ！」-小学生ホームステイ交流2007- | 特定非営利活動法人 多言語広場 CELULAS (セルラス) | 韓国 | 07.08.01～ 07.08.07 | 日韓友好の実現のため、小学5・6年生25名と小学校教師3名を公募し、韓国の小学生のいる一般家庭で(先生は先生のお宅で)4泊5日のホームステイと、日韓青少年交流ワークショップを共同開催。また事前、事後活動でも、韓国人留学生や在日韓国家庭との交流を促進 |
| 22 | 日伯ブラジル人交流プロジェクト | NPO法人 ABCジャパン | ブラジル | 07.06.18～ 07.07.24 | 2008年日本人移民100年及び在日ブラジル人20年を機会に、日本での生活体験から見た日本像と日伯の未来についての提言を通じ、ブラジルの日系へ社会と日本のブラジル人コミュニティーの理解を深める。日本とブラジルの未来像を歴史的体験も踏まえ100周年+20年を日本にとってもブラジルにとっても意義あるものにするためのプロジェクト |
| 23 | 2007日米中学生異文化理解交流キャンプ | 浜田国際交流協会 | 米国 | 07.05.01～ 07.12.31 | 日米の中学生が相互に相手国を訪問し、ホームステイをしながら文化・習慣を体験し、異文化理解の必要性と世界平和の将来的模索を討論し広く市民に訴える事業 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|-------------------------|---------------|-----------------------|---|
| 24 | 美大生による無形文化遺産ワークショップ | 女子美術大学 | 全世界区分困難 | 07.07.02～ 07.07.06 | 日本の美術大学生と外国の美術大学生が無形文化遺産とその保護条約を広報するプロモーション・ビデオ、アニメーション、パンフレット、ポスター等を制作し、若者の国際的ネットワークの構築と事業成果の世界的波及を目指す。国内外の大学生、教員、一般聴衆向けに、講演会、シンポジウム、実演を同時開催 |
| 25 | アートリンク・プロジェクト日米共同フォーラム | 特定非営利活動法人ハート・アート・おokayま | 米国 | 07.04.01～ 07.09.30 | NPOクリエイティブクレイとハート・アート・おokayまのアートリンクの作品、及び障害のある参加者自身やアーティストの相互交流を行い、プロジェクトの実践を通して「創造性と他者との関係性」をキーワードにしたフォーラムを実施 |
| 26 | 病院におけるアトリエ活動-日仏交流2007年 | 無限責任中間法人N&A 'M | フランス | 07.04.01～ 07.06.30 | 国立病院機構徳島病院内にてフランス人アーティストを迎え、アート・ワークショップや患者との共同芸術作品制作、その他展覧会を実施。また、フランスにおいて、日本人アーティストが病院とアトリエで同様の芸術活動を実施 |
| 27 | 世界青少年武徳祭 国際青少年サミット | 大日本武徳会 | 米国 | 07.07.28～ 07.08.05 | 世界各国から青少年が多数集まり、武道を通じて、またサミットでの積極的な対話を通じて異文化理解を促進し、青少年育成を図る事業 |
| 28 | 「センセイ」プロジェクト・日本の教育制度における自然科学およびIT技術 | イタリア文化会館 | イタリア | 07.10.21～ 07.10.28 | イタリアと日本の教師、生徒の交流を通じて、優れた自然科学教育の普及、向上を図る。具体的にはイタリアの教員数名を日本に招へいし、日本の自然科学・IT技術に関する教育制度の現状を視察するとともに、今後の姉妹都市提携合意も目的とする事業 |
| 29 | 日中韓共同映画製作への相互理解促進事業 | NPO法人 横浜アートプロジェクト | 韓国 中国 | 07.04.01～ 08.01.31 | 日中韓三国共同による横浜開港150周年記念映画製作の準備段階として、市場形成や若手の映像制作振興に効果的につながるよう相互理解を促進する為のワークショップ、レクチャー、シンポジウムを開催し、実際のショートフィルム制作、ストーリーミング配信等を実施 |
| 30 | 姉妹都市青少年の課題解決型交流と大会参加 | 特定非営利活動法人 日本未来問題解決プログラム | オーストラリア 米国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 姉妹都市の青少年が課題解決（例：双方都市の地球温暖化比較調査の完遂）に協力しあう交流を行い、世界大会での共同発表後、課題解決型交流の振り返り・シンポジウムを開催。また課題解決の世界大会コンテストに青少年が参加し、スキルと交流経験を積むことで、今後姉妹都市間課題解決交流事業を促進 |
| 31 | 南北 코리아 と日本のともだち展 | 南北 코리아 と日本のともだち展実行委員会 | 韓国 | 07.06.27～ 07.12.31 | 北東アジア地域の平和構築に寄与するため、韓国、北朝鮮、日本（在日コリアン含む）で子どもたちの絵画を募集して一つの会場に展示。また、子どもたちの相互理解を進めるため、未来の平和に向けた交流ワークショップを実施 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------|-----------------------|------------|-----------------------|--|
| 32 | 日韓海峡圏学生サミット2007 | 日韓海峡圏学生サミット実行委員会 | 韓国 | 07.07.01～ 07.10.29 | 日韓両国の若者10名が、玄界灘次世代ネットワークと日韓新時代の未来について議論を交わし、「日韓海峡圏共同体構築」の可能性を模索。併せて、日韓間で懸案となっている歴史認識問題を解決する一つの方策として、日韓両国学生10名が近代資料共有を目指して、韓国群山市においてオーラルヒストリー調査を実施 |
| 33 | 青少年の防災学習国際交流事業 | 防災世界子ども会議プロジェクト実行委員会 | 全世界区分困難 | 07.07.21～ 07.07.26 | 日本の高校生を含む海外の中高生が、エジプトのカイロで開催される第10回アイアンユースサミットで、防災学習の成果を発表し、交流を通して芽生えた絆を大切に国際的な防災教育ネットワークを拡張 |
| 34 | 日中学生会議第26回中国開催 | 日中学生会議 | 中国 | 07.08.16～ 07.08.30 | 日本と中国の学生が知的交流・文化交流を深めることで異文化における理解の構築をめざす事業 |
| 35 | JAPANTRIP 2007 | 日中学生交流団体freebird | 中国 | 07.08.17～ 07.08.29 | 中国の大学生を日本に招き、日中の大学生が2週間の共同生活を通じ相互理解を目指す。日本の代表的な都市である東京と京都にて「文化」をテーマに討論を中心とした交流を実施 |
| 36 | アフリカひろば～わたしが語るリアルアフリカ～ | 特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会 | アフリカ地域区分困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | アフリカに興味を感じた人を対象に、より深くアフリカを理解してもらうために、アフリカの様々な実像をバランスよく理解できるような内容の講座を開催。参加者が自発的にアフリカについて学ぶようになり、また、周囲の人にアフリカの実像を自ら伝えていくことを促進 |
| 37 | 国際理解講座「ひろしまアジア塾」開催事業 | 財団法人 ひろしま国際センター | アジア地域区分困難 | 07.05.16～ 08.02.27 | アジア・太平洋地域の政治・経済・文化・歴史等について、大学教官等専門的な講師による定期的な講義・ゼミナールを行う。また、NGO/NPOの実務に触れ、NGO活動を推進するリーダー的人材の育成を図る事業 |
| 38 | 国際ボランティア・カレッジ運営事業 | 特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会 | カンボジア | 07.04.01～ 08.03.31 | 申請機関のこれまでの共働学習経験や国際協力・理解・多文化共生など実践的な専門知識を活かして、グローバル社会で生きることを志す次代を担う若者からシニア世代を対象に、「国際ボランティア・カレッジ」と称する国際NGOならではの新しい学びの場を提供 |
| 39 | 『青少年のための地球市民講座－「多文化共生講座」』 | (財)横浜市国際交流協会 | 全世界区分困難 | 07.07.07～ 07.11.18 | 青少年を対象に市内の小学校や大学、ボランティア団体との連携・協力を得て、世界の150の国と地域の外国籍市民が暮らしている横浜の多文化共生社会の実情を理解し、ボランティア活動を通じて地域社会を体験しながら世界と地域とのつながりを肌で感じ、具体的行動をもって課題解決にむけ活動できる青少年の人材の育成をめざす事業 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------|----------------------|----------|-----------------------|--|
| 40 | 日本の将来を考える－在日ベトナム人のこれまでとこれから－ | NGO ベトナム in KOBE | ベトナム | 07.04.01～ 08.03.30 | ベトナムのこと、在日ベトナム人のことをより多くの日本人に知ってもらうため、在日ベトナム人が生活の中で抱える問題について、日本人や日本社会が抱える問題とどのような部分が共通しているか、異なっているか、それはなぜなのかを考える場とする。ベトナム人の視点、ベトナム人の意見を積極的に反映させるセミナー |
| 41 | 北海道・東北・韓国民間団体交流ネットワーク構築事業 | NPO法人ふくかんねっと | 韓国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 5月下旬頃、北海道・東北、韓国の民間団体の代表者を招き、福島市においてそれぞれの民間団体が抱える問題についてのパネルディスカッション及び民間交流団体の結成式などを内容としたフォーラムを開催し、韓国と日本との民間交流ネットワークを構築 |
| 42 | アラブ・フェスティバル2008 | アラブ・アジア文化交流協会(アーダード) | 中東地域区分困難 | 08.03.19～ 08.03.23 | アラブメディアにおいて活躍されている代表的な女性と、現代音楽の団体を日本に招き、東京と京都にて学問的なフォーラムを開き、日本側の専門家との交流の機会を設けるとともに、音楽イベントを実施 |
| 43 | フジヤマ太鼓日本研修 | フジヤマ財団 | インドネシア | 07.04.28～ 07.05.13 | インドネシアで日本の太鼓演奏活動を行う団体のメンバーが訪日し、広島太鼓演奏家の演奏を見学するとともに、指導を受け、太鼓の技術や太鼓の専門家としての組織の形成について学ぶ事業 |
| 44 | 日本の在宅サービスの現場訪問 | 韓国在家老人福祉協会 | 韓国 | 07.07.15～ 07.07.19 | コミュニティの活性化に寄与している韓国各地の優秀な社会福祉士で、現場での勤務経歴が5年以上あり、訪日経験のない22名を選抜し、日本の老人福祉の現場を視察する。韓国では2008年7月から老人長期療養保険制度が始まるため、社会福祉士も準備が必要となっているが、既に介護保険制度が実施されている日本の在宅福祉の現場を直接観て、日本の介護の状況について理解を深め、韓国の老人福祉に適用可能な情報や技術を学び、韓国の実情にあわせた在宅サービスの検討・企画を進める事業 |
| 45 | ボイス・オブ・SWCU 訪日事業 | サチャワチャナ・キリスト大学 | インドネシア | 07.07.27～ 07.08.05 | 第23回宝塚国際室内合唱コンクールに参加し、インドネシアの民族音楽を紹介する。また、関西学院大学を訪問し、インドネシアの音楽を紹介するとともに、同大学のグリークラブと共演する。さらに日本文化に触れ、相互理解を深める事業 |
| 46 | 韓日交流と東アジアの共同繁栄のためのシンポジウム | 社団法人釜山韓日文化交流協会 | 韓国 | 07.08.16～ 07.08.25 | 韓国慶尚南道の4大学の学生が山口、広島を訪問し、山口大学等の日本の学生と交流する事業。参加者である学生が主体となり、互いの文化体験や、広島平和資料館等の歴史施設などの訪問、地域の人々との触れ合いや、シンポジウム、討論等の交流事業を通じて、日韓学生の相互理解交流活動を実施 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------------------|-----------------------|----|-----------------------|---|
| 47 | 日韓共同開催文化交流事業 日韓交流お祭り 2007 in Seoul | 日本スポーツバトン協会 | 韓国 | 07.10.20～ 07.10.21 | 日本人と韓国人が一緒になって作り上げる、日韓合同の交流事業「日韓交流お祭り2007」パレードに参加する。また、ヨンガン女子情報高等学校との交流も実施 |
| 48 | 日韓青年人権ワークキャンプ イン晋州 | 国際交流青年実行委員会 | 韓国 | 07.10.01～ 08.03.30 | 人権問題をテーマにした日韓青年の交流活動をおこなう。勉強部屋や現地学習、人権問題に関心を持つ韓国大学生との意見交流や共同作業（ワークショップ）を通して交流をはかり、ひとりひとりの立場から、より良い日韓関係を作り、連帯につなげていく事業 |
| 49 | Study Trip from Korea to Japan 2007 | 日本アジア法学生協会 | 韓国 | 07.08.15～ 07.08.23 | 日本の法学生約50名が、韓国の法学生約20名を東京に招き、日韓の間に存在する様々な問題について議論を交わし、共通認識の構築を目指す。また、文化交流を通じてお互いの理解を深め、協調性と友好性の促進を図る事業 |
| 50 | 日韓友好交流ボランティアワークキャンプ | グッド! | 韓国 | 07.08.15～ 07.08.29 | 韓国の田舎の村にて、日本人と韓国人の若者が協力して、農作業、村のモニュメントづくりなど、村の仕事を手伝う。村での共同生活、共同作業を通じて、日韓の若者の成長と相互理解を目指すとともに、日韓の若者と村人との交流を図る事業 |
| 51 | 第11回東アジア大学生平和・人権キャンプ in 光州 | 東アジア大学生平和・人権キャンプ実行委員会 | 韓国 | 07.08.18～ 07.08.22 | 日本側の大学生約40名と韓国側の大学生約40名、合わせて80名が韓国・光州にて、「21世紀の平和、人権/5・18の過去、現在、そして未来」のテーマのもとで、現場で活躍する講師による講義や、フィールドワーク、さらには、参加者同士の討論、シンポジウムなどを実施 |
| 52 | 市民スポーツとスポーツボランティア会議 | スポーキンクラブ | 中国 | 07.08.27～ 07.09.02 | 2008年北京オリンピックを前に、日本の代表15名と中国の代表約40名が市民スポーツおよびスポーツボランティアについての議論を実施。その他、生涯を通じて楽しめる両国のスポーツを互いに紹介しあい、体験する事業 |
| 53 | 日中地域づくり交流会議 | 内モンゴル大草原交流館運営委員会 | 中国 | 07.08.04～ 07.08.08 | 内モンゴルで砂漠化防止による村づくりを実践している住民と、鳥取県智頭町で地域活性化を實踐する住民組織、中国各地で地域づくりを實踐・研究しているNGO組織による交流会議を開催。内モンゴルでの地域づくり現場を視察した上で、環境保全と地域づくりに関して、それぞれの実践に基づいた議論を実施 |
| 54 | 日中の就労を通して将来社会を創造する学生交流ワークショップ事業（パート2） | 特定非営利活動法人 日中環境経済センター | 中国 | 08.02.16～ 08.02.23 | 日本と中国の大学生男女各4名2グループ、計16名の研究生による中国浙江省杭州市内に於ける9日間の将来の社会像づくりのための合宿形式による雇用調査及びグループ研究事業。併せて、事業成果発表フォーラムの開催。 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|---|
| 55 | 日本中国写真芸術研究会訪中団 | 日本中国写真芸術研究会 | 中国 | 07.09.19～ 07.09.25 | 中国平遥国際撮影大展に参加し、日本中国写真芸術研究会会員の作品を展示すると共に、写真文化に関する講演を行う。中国はもとより各国写真家（40カ国）と写真芸術を通して国際交流を实践 |
| 56 | 東アジアを繋ぐEco-Project～中国黄土高原緑化事業～ | 特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会 | 韓国 中国 | 07.09.03～ 07.09.17 | 「環境問題」をテーマに、日中韓の若者たちが集い、語らい、共に汗を流す、次世代リーダーたちの交流プロジェクト。砂漠化が進む黄土高原において、植林活動を通じ、寝食を共にし、汗を流し、交流を深めることで、未来志向の東アジアネットワークの構築を目指す事業 |
| 57 | 日本の伝統文化「てまり」を通じたベトナムとの交流 | NPO法人 日本てまり文化振興協会 | ベトナム | 07.10.02～ 07.10.06 | 日本独特の伝統文化てまりをベトナムの青少年・一般市民に講習を通じて体験してもらい、日本文化への関心を深めてもらう。総領事館の協力を得て、ホーチミン市にある日本人材協力センターでの展示、講習を実施し、日越文化交流を促進 |
| 58 | 高校生のためのネグロスワークキャンプ | アジア学院 | フィリピン | 07.08.13～ 07.08.25 | 日本とフィリピンの高校生が「自然と人」の、また「人と人」の共生について理解を深めることを目的としてフィリピン農村で共に過ごし、循環型農場での共同作業、村のサトウキビ農家でのホームステイ、学校訪問・交流を実施 |
| 59 | 留学生ホストファミリー交流25周年イベント | 特定非営利活動法人 留学生ホストファミリー交流センター | インドネシア タイ マレーシア | 07.09.29～ 07.09.30 | 「アジアの新しい歴史をともに紡ごう－卒業留学生と共に語り合う共通の未来像－」をテーマに地球市民記念フォーラムを開催するとともに、インドネシアと日本の未来を伝統楽器でつなぐコンサートを開催 |
| 60 | 地雷原をグリーンベルトに変えよう | アジアの地雷・不発弾被害を伝える会 | カンボジア | 07.09.06～ 07.09.13 | カンボジアのパンティミンチュエイ州マライで『地雷原をグリーンベルトに』の合言葉のもと活動している「アジアの地雷・不発弾被害を伝える会」が主催するコンサートに、地雷被害者を招へいし講演を通して、カンボジア復興支援への理解を深める事業 |
| 61 | 国際交流第18回タイボランティア活動 | 栃工高国際ボランティアネットワーク | タイ | 07.12.08～ 07.12.15 | 栃木工業高校の生徒・職員がタイ王国のリハビリテーションセンター等の施設や小学校を訪問し、交流会や車いす修理活動を通じて、国際交流を図る事業 |
| 62 | 福岡市・バンコク市における「まちづくり市民人材育成・活動交流事業」 | 財団法人福岡アジア都市研究所 | タイ | 07.12.12～ 07.12.16 | まちづくり活動に自発的に参加し、市民によるまちづくり文化の醸成と普及にも積極的に取り組む市民青少年を、福岡市からバンコク市に派遣し、ワークショップ等を通じ、現地の市民との交流を深めることによって、両市のまちづくり人材の育成・スキルアップと市民レベルのまちづくり人材ネットワークの形成をはかる事業 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------|-------------------------|-------|-----------------------|---|
| 63 | 日印交流年事業 日印友好ユース サミット | 社団法人アジア 協会アジア友の 会 | インド | 07.08.08～ 07.11.01 | エッセイコンテストで選ばれた日本の青少年 と、インド国内からの参加者、日本人スタッフ、 サミット講師をカルナータカ州ビジャプール地 区の日印友好学園コスモニケタンに招き、「地 球の未来のために私たちは何をすべきか」を テーマにディスカッションを行い、アクション プランを作成。また、早魃地に植林を行い、交 流を育む。ボランティアリーダーシップ研修も 行い、日印の将来を担う人材を育成 |
| 64 | 日本・ネパー ル・ユース交流 プログラム | 特定非営利活動 法人地球の木 | ネパール | 08.02.20～ 08.02.29 | ネパールで活発な地域活動を行うユースクラブ Helpful Student Clubのメンバーを日本に招 き、日本の若者との交流を行う。テーマを「社 会における若者の役割と国際交流の必要性」と し、合宿、ワークショップなどを通して、地域 を変える力を学び、互いの文化や社会について の意見交換を実施 |
| 65 | スリランカ津波 被害地域の子供 教育改善事業 | ゆつつら～と街 角大学委員会 | スリランカ | 07.10.20～ 07.10.29 | 2004年の津波被害が大きかったスリランカ南東 部のアンバラントタ高校に佐賀市民の協力で2 階建ての図書館が建設された。そこで同校校 長、教員、保護者を日本に招待し、津波等の自 然災害の知識と日本の学校、家庭、地域での防 災対策について学んでもらい、スリランカの子 供たちの教育に役立ててもらおう事業 |
| 66 | ラマチャンドラ ンとインド視覚 文化伝統 | 国際識字文化セ ンター (ICLC) | インド | 07.10.28～ 07.11.15 | 日本では絵本作家として絶大な人気をもつ、イ ンド現代美術界巨匠ラマチャンドランの美術展 (2009年に実施予定)に先立ち、美術展では扱え ない絵本の世界とその人物像を多角的に紹介 し、日本の子どもや若手イラストレーター、一 般の人々が、インドの視覚伝統の新しい側面に 触れられるような展覧会、ワークショップ、講 演会、交流会を開催 |
| 67 | 日仏俳句交流会 (俳句 de Haiku) | 一茶の俳句コン サート実行委員 会 | フランス | 07.10.06～ 07.10.11 | 俳句を通じて日仏の人々の交流を深め、俳句を 身近な物として親んでもらう。交流会に協力 してくれる『ボランティア』を募集し、①展示 ②対談、講演会③俳句コンサート④俳句コン クール等の多くのプログラムを実施 |
| 68 | 第1回日本ノル ウェー学生 フォーラム | 日本ノルウェー 学生フォーラム | ノルウェー | 07.09.05～ 07.09.15 | 2007年9月に行われるノルウェー科学技術大学 (NTNU)の日本セミナーに併せて、同大学で のノルウェー・日本教育シンポジウム、両国の 教育政策に関してのパネルディスカッション、 日本紹介イベントを開催。また、ノルウェー教 育研究省訪問、ノルウェーの中学校への訪問等 も実施 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|-------------------------------|----------------|-----------------------|---|
| 69 | キャンプ ベルリン | 広島アートプロジェクト実行委員会 | ドイツ | 08.02.02～ 08.02.10 | 歴史の傷跡を残しつつ都市の再開発が進むベルリンに、人類初の被爆を経験した広島から若手アーティストが赴いて、広島の世界遺産と都市空間を再解釈する作品およびインスタレーションの提示を行う。歴史と都市空間の問題を、現代の芸術表現を通して考察し国外への発信をおこない、人間の移動による多様な交流の広がりを目指す事業 |
| 70 | 第3回日本・ラトビア指揮者交流プロジェクト | 日本ラトビア音楽協会 | ラトビア | 07.10.26～ 07.11.04 | 日本・ラトビア両国の合唱指揮者が交互にそれぞれの相手国を訪れ、『日本人の心とメロディー』をテーマに、自国の合唱曲を相手国の青少年に対し指導し、青少年レベルの相互理解を促進する事業 |
| 71 | SICE2007「The ART BAR」 | 特定非営利活動法人 ピットアーツインターナショナル | ボスニア・ヘルツェゴビナ | 07.08.01～ 07.08.21 | サラエボにおいて、ボスニア、日本、EU各国のアーティストが集い、アーティストインレジデンスを行うとともに、過去5年間にサラエボで行われた、ボスニア、日本、EUの若手芸術家の交流と展示の記録集を制作 |
| 72 | 国際文化交流フェスティバル：国境なき世界「飛翔」2007 | 六軒丁睦 | クロアチア | 07.08.27～ 07.09.01 | クロアチアのオシエック市にあっては、戦禍は大きく、青少年の育成に大きなダメージを与えた。そこでユースオーガニゼーション「ブレザ」は青少年の健全育成を目的として、毎年子供達のための国際文化交流フェスティバルを主催・開催してきた。本年度は10ヶ国のワークショップが既に企画されており、その一つとして仙台の「雀踊り」を子供達に体験学習してもらう事業 |
| 73 | アフガンデジタルコンテンツワークショップ | NPO法人クロスアーツ | アフガニスタン | 07.11.06～ 08.02.17 | アフガニスタンの映画監督と若手の映像クリエイターを日本に招聘し、日本の最先端技術ハイビジョンをアフガンの映画制作に導入するためのコストダウンの方法を紹介し、日本のプロフェッショナルによるハイビジョンを活用した映画の撮影編集ワークフローを伝えるワークショップを実施 |
| 74 | パレスチナ・イスラエル・日本市民交流事業 宗教者間対話を通して考える中東和平 | 特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター (JVC) | イスラエル パレスチナ | 07.11.09～ 07.11.19 | 解決の糸口が見出せないパレスチナ問題において、平和を希求する人々による対話・交流の持つ意味は大きい。宗教は対立ではなく、平和のための役割は大きい。イスラーム、ユダヤ教、キリスト教の学識者を日本に招聘し、NGO活動等にも関わる仏教者との対話、学識者間の交流、市民が参加するシンポジウム等を開催 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|--------------------------|----------------|-----------------------|---|
| 75 | 第五回日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議 | 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議 | イスラエル パレスチナ | 07.08.10～ 07.08.28 | 現地では交流の機会を持つことが難しいイスラエル・パレスチナ人学生を日本に招致し合宿形式による会議を開催。日本人・イスラエル人・パレスチナ人学生の相互理解ならびに信頼の醸成を図る。また、「遠くの出来事」と捉えられがちなイスラエル・パレスチナ問題への関心を日本社会において喚起する。 |
| 76 | パレスチナと日本、次世代育成の共通の課題と解決への協働 | 特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン | パレスチナ | 07.09.01～ 08.03.31 | パレスチナ（ヨルダン川西岸およびレバノンの難民キャンプ）から教育関係者、心理関係者を日本に招き、日本の専門家と研究会やシンポジウムを持つほか、各地で幅広い層の市民や若い世代との交流を行う。双方の青少年の抱える課題を理解しあい、より専門的な視点から共通する問題の解決策を探る。 |
| 77 | 日本アラブ青年対話 | 日本中東学生会議 | シリア ヨルダン | 07.10.30～ 07.11.07 | 東京の大学生とアラブ諸国からの招聘者、東京在住の中東諸国出身者が「宗教の多様性」と「メディアの役割」についての議論を実施。また、日本にある関係施設を見学し、議論に反映させる事業 |
| 78 | 日本ケニア学生会議第8期本会議 | 日本ケニア学生会議 | ケニア | 07.08.09～ 07.08.28 | ケニア人学生を日本に招き、「農村と都市」をテーマに、そのあるべき姿を7つの分科会を通して議論。様々な国際問題の議論や、ホームステイ、アフリカンフェア、路上生活者との交流などの企画を通して交流を深める事業 |
| 79 | 2007年ウガンダ国際ワークキャンプ | エイズ孤児支援NGO・PLAS | ウガンダ | 07.07.26～ 07.08.18 | ウガンダ共和国首都付近のスラムにて現地の若者と共にワークキャンプを開催。エイズ予防啓発や、地域の小学生との学芸会、学校での日本文化の紹介授業、学校設備の整備等を行う。また今後地域にとって何が必要かを同世代の日本人とウガンダ人ボランティアが議論 |
| 80 | スポーツ文化の社会的役割に関するアジア・フランス交流 | NPO法人スマイルクラブ | フランス | 07.12.09～ 07.12.15 | 日本とフランスのスポーツに関する団体や専門家との文化交流をワークショップ形式で実施。スポーツが社会において果たす役割について意見交換を行い、意見交換の結果はアジアの団体に伝え、アジアとフランス間の交流を促進 |
| 81 | 音楽を通じた国際交流のためのコンサート、公開講座とディスカッション | 大阪国際音楽振興会 | 全世界区分困難 | 07.08.17～ 07.10.08 | 大阪国際音楽コンクールの国内審査員とフランス、イタリア、オーストリア、タイ、韓国などの海外審査員と市民によって行なわれるパネルディスカッション、及び、公開レッスン、デュオコンサート |
| 82 | 海外の映像作家達によるワイルドライフ映像を通して自然・生命を考えるシンポジウム | NPO法人地球映像ネットワーク | 全世界区分困難 | 07.08.23～ 07.08.26 | 世界自然野生生物映像祭で、海外審査員を務める映像作家3名それぞれが撮った映像を上映した後、作成秘話や、どのような思いで撮ったかなど、観客と分かち合うことを通して、日本で馴染みの薄いフィルムメーカーという生き方、地球の美しさを紹介 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------------|-------------------------|-----------|-----------------------|--|
| 83 | 第四回世界俳句協会大会 | 無限責任中間法人世界俳句協会 | 全世界区分困難 | 07.09.14～ 07.09.16 | 人種・宗教・性・経済・政治など異なる世界各国の俳人、詩人が文化的価値観の違いを超えて一同に会する。今回は13カ国が日本に集合。自作俳句の朗読、講演、ジュニア俳句や俳画のコンテスト等とおして、互いの理解を深め合う事業 |
| 84 | IAVEアジア太平洋地域ボランティア会議 | 特定非営利活動法人愛・地球ボランティアセンター | 全世界区分困難 | 07.12.07～ 07.12.11 | アジア太平洋地域のIAVE (International Association for Volunteer Effort) 会員が集まり、ボランティア活動発展のために課題や提言を共有し、お互いの絆を深める。また、会員以外の青少年等にも広く参加を呼びかけ、開催国・地域におけるボランティア文化の創造に寄与する事業 |
| 85 | フォーカス オン ジャパン 2007 | 財団法人国際文化フォーラム | 全世界区分困難 | 07.08.03～ 07.08.11 | 海外と日本から各8名合計16名の高校生が、4名ずつ4つのチームに分かれて日本国内4カ所を訪問し、各地の高校写真部の協力を得ながら、共同作業で人々の姿と暮らしを写真とエッセイからなる作品に仕上げ、世界に発信するプロジェクト |
| 86 | DV根絶女性フォーラム&シェルターシンポ | 特定非営利活動法人全国女性シェルターネット | アジア地域区分困難 | 07.11.23～ 07.11.25 | 女性に対する暴力は世界中で最も深刻な課題であり、アジアでの人身売買、経済的・性的搾取も過酷の度を増している。アジア各国のDV被害支援・NGO等が一同に会する国際フォーラムを契機に課題を共有化し、ネットワーキングすることにより、暴力の根絶を目指す事業 |
| 87 | エコビレッジ国際会議 TOKYO2007 | NPO法人ビーグッドカフェ | 全世界区分困難 | 07.11.23～ 07.11.24 | 世界で広がる持続可能なライフスタイルモデルである「エコビレッジ」について、デンマーク、フィリピン、メキシコの事例を紹介しつつ、エコビレッジづくりを成功させるための条件を考え、日本におけるエコビレッジ建設と運営の道筋を検討する会議 |
| 88 | 「異文化理解」講座－インドの染織文化に親しむ | 財団法人 日本民藝館 | インド | 07.10.04～ 07.12.02 | 日印交流年を記念し、インドの染織文化を多角的に紹介するため、インドなどから研究者や職人を招へいし、講演会やワークショップを開催することで、インドの伝統的な生活文化に親しみ、異文化理解の促進を図る事業 |
| 89 | カニニ（ウルルからの報告）－今だから伝えたい4万年のメッセージー | 能古映画サークル | オーストラリア | 07.11.02～ 07.11.04 | 4万年前の文明をそのままの形で継承してきたと言われるオーストラリア先住民。彼らの歴史と現状を紹介したドキュメンタリー映画を上映し、監督、副監督（主演）を招へいし、講演会を行う。現代人が失ったかけがえのないものは、何だったのか、文化伝承の先人が、現代への警鐘と未来への展望を語る事業 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------|--|------------|-----------------------|---|
| 90 | 関西アフリカ理解セミナー | 特定非営利活動法人アフリック・アフリカ | アフリカ地域区分困難 | 07.09.27～ 07.12.15 | アフリカ理解を目的とした活動を行っている関西のNPO、ユース団体と協力して、2回の連続セミナーを実施する。1回目はアフリカ映画上映、写真展の開催及び学識者の講演を実施し、2回目は関西在住の市民、とりわけ若者のアフリカ理解を深めるため、ユース団体との共催によるシンポジウムを実施 |
| 91 | 日独ユースサミット | 日独青少年協会 | ドイツ | 07.08.16～ 07.08.18 | 「わたしたちの未来を創る：これからの10年はどうなるか」をテーマに、日独の学生各60名程度が、東京にて、4カテゴリー12のトピックスでグループ作業や議論を行い、プレゼンテーションを行う事業 |
| 92 | キャピトル大学－創価大学 文化交流・研修事業 | キャピトル大学 | フィリピン | 07.09.09～ 07.09.16 | フィリピン、ミンダナオ島にあるキャピトル大学の学生と指導教官が訪日し、創価大学にて日本の文化・社会に関する講義と日本語教育の授業を受けるとともに、同大学生と交流し、社会、教育、健康、平和等に関してパネルディスカッションを行う。またホームステイや医療機関の訪問、中高生との交流も実施 |
| 93 | 日本体験プログラム | アテネオ・デ・マニラ大学 (Ateneo de Manila University) | フィリピン | 07.10.22～ 07.11.04 | フィリピンにおける日本研究の拠点機関であるアテネオ・デ・マニラ大学の5つのキャンパス(マニラ、カガヤンデオロ、ダバオ、ナーガ、ザンボアンガ)から選ばれた学生と教官が福岡を訪問し、提携関係にある九州大学で日本の文化・社会に関する講義と日本語教育の授業を受け、同大学の学生との交流会も実施。また、福岡地域で文化体験のための小旅行も実施 |
| 94 | DAWN訪日研修 | 女性のための行動ネットワーク (Development Action for Women Network (DAWN)) | フィリピン | 07.10.12～ 07.10.25 | 日本に出稼ぎ時に受けた経済的、精神的ダメージを受けた女性へのカウンセリングや職業訓練に実績をあげているNPOのメンバーが訪日し、日本側の関連団体と活動の成果を共有し、ネットワーク形成を進め、また、フェアトレードのネットワークのためのマーケット調査を行い、今後の活動基盤を確立していく事業 |
| 95 | 演劇、美術、日仏交流史発表による国際交流 | ジュール・フェリー高校 | フランス | 07.10.18～ 07.11.01 | 日本語を学ぶジュール・フェリー高校の学生が訪日し、フランス語教育を取り入れている兵庫県の高校生と演劇、美術、日仏交流史という3種の事業を通じて国際交流を行う。また、来年の日仏交流150周年に向けて、兵庫県の文化施設、企業等も訪問し、幅広い市民交流を実施 |
| 96 | 日仏青少年交流 (一関－グルノーブル) | パルマンチュエ・フェンシング・クラブ | フランス | 07.11.01～ 07.11.11 | 2006年にグルノーブル市にある申請機関がフェンシングの盛んな岩手県立第二高校の学生を招いたことをきっかけとして、今回は同高校が受け入れ機関となり、グルノーブル市の高校生が訪日し、フェンシングを通じた交流を実施 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|-----|-----------------------------|---------------------------|-------|-----------------------|---|
| 97 | シフティング・ボーダーズ | ミュンヘン芸術大学写真学科 | ドイツ | 07.11.26～ 07.12.13 | ドイツの学生15名及び指導教官が、沖縄を訪問し、沖縄県立芸術大学の学生と交流し、沖縄の文化に触れ、「Shifting Borders」と題した共同展の準備を進める。また、東京も訪問し、美術館、ギャラリー等をたずね、また日本の現代建築や寺院等の伝統的な文化など様々な面に接し、写真撮影を行う。帰国後、作品展をミュンヘンのゲーテ・インスティテュートで開催 |
| 98 | 第2回 日韓学生未来会議 | 日韓学生未来会議 | 韓国 | 08.02.12～ 08.02.16 | (社)日韓経済協会主催の「日韓高校生交流キャンプ」参加経験者有志による日韓双方のOB会団体が、高校生キャンプで培った信頼関係を基に更に深い交流と意見交換を行う場として「日韓学生未来会議」を主催している。2007年2月に実施した第1回の結果を踏まえ、「第2回日韓学生未来会議」を学生主体で開催・運営することで交流を発展させる事業 |
| 99 | 第40回 日韓学生会議 | 日本国際学生協会 | 韓国 | 07.12.22～ 07.12.27 | 日韓両国の関係を憂える学生の手により、両国の相互理解の促進と国際平和への貢献のため、ディスカッションを実施し、また文化紹介を始めとする企画を通して、友好関係を深める事業 |
| 100 | 日中高校生社会貢献交流事業 | 財団法人日本青少年研究所 | 中国 | 08.03.21～ 08.03.28 | 当研究所はボランティア活動やクラブ活動で活躍している高校生を奨励する「いきいき活動奨励賞」事業を行っている。この「いきいき活動奨励賞」の最優秀賞7名が中国訪問し、中国の高校でその活動を発表し、中国の高校生と交流する。このボランティア活動やクラブ活動の交流を通して、日中高校生の社会貢献の意識を高め、相互理解と友好を図ろうとする事業 |
| 101 | CLCA子ども能楽蘇州公演と蘇州市の子どもたちとの交流 | 特定非営利活動法人子どもと生活文化協会 | 中国 | 08.03.17～ 08.03.20 | 日本の伝統芸能の能・狂言の継承活動に取り組んでいるCLCAの子どもたちが蘇州市にて能楽を上演し、同時に中国の伝統芸能である昆劇を習っている蘇州市の子どもたちも昆劇を上演して交流を行う。伝統芸能の上演を通じて互いの文化の理解を深め合うとともに、能楽師の先生によるワークショップにより日本文化に対する理解を深める事業 |
| 102 | コーディリエラ・エコ・ユース・サミット | 特定非営利活動法人プレイバック・シアターらしんばん | フィリピン | 07.11.30～ 07.12.15 | 北ルソン山岳地方5州の先住民族若者グループが、コミュニティ・シアターを通して環境問題を表現し、その解決策を探る。異なった民族の若者たちの交流とネットワーク作り、コミュニティ・リーダーとしての育成・教育を目的とし、日本の専門家を招待し、コミュニティ・シアターのワークショップなどを実施 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|-----|------------------------------|-------------------------|---------------|-----------------------|---|
| 103 | 2008年「日本・パキスタン学生スタディツアー」 | 特定非営利活動法人ヒマラヤン・グリーン・クラブ | パキスタン | 08.03.14～ 08.03.28 | 日本の学生が、スカルド市で8日間開催する「学生・文化と植林の交流会議」で、現地の学生と「お互いの文化」と「温暖化対策としての植林」についての討論を実施。その他、近郊の村で「一般家庭にホームステイ」をして、お互いの文化や生活環境の相違点、類似点を知る事業 |
| 104 | 日印友好ユースサミット イン ジャパン | 社団法人アジア協会アジア友の会 | インド | 07.12.12～ 07.12.19 | インドで開催された日印交流年事業「日印友好ユースサミット」にて、日印合同で決定された行動指針と友好関係をより多くの日本の青少年たちに広め、将来の日本とインドの友好協力関係を担い、世界に貢献できる人材をより多く育成するため、日印友好ユースサミット イン ジャパンを開催。また、エッセイコンテストと、インドで開催されたサミットに携わった学校を訪問し、学生との交流を深める事業 |
| 105 | 2008年模擬国連会議全米大会第25代日本代表団派遣事業 | 2008年模擬国連委員会 | 米国 | 08.03.10～ 08.03.31 | 模擬国連会議では、各参加者が一国の大使を担当し、国連会議のシミュレーションを行う。本活動は1923年にハーバード大学の学生により開催され、現在、毎年世界中の学生が参加し実施されている。当事業は第25代の日本代表団を、米国で開催される本大会へ派遣する事業 |
| 106 | スイス・ローザンヌ市での国際文化交流 | 特定非営利活動法人はれたりくもったり | スイス | 08.02.18～ 08.02.23 | スイス・ローザンヌ市のアール・ブリュット・コレクションにおいて開催される展覧会「日本のアウトサイダー・アート展」の開催期間中に、日本の出展作家及び関係者が、当美術館に訪れ、「アウトサイダー・アート(=アール・ブリュット)」についての議論・対話を通して交流を実施 |
| 107 | 日本とスイスのアウトサイダー・アートに関する意見交換 | 特定非営利活動法人 LapoLapoLa | スイス | 08.01.12～ 08.01.20 | 北海道立旭川美術館において開催される展覧会「アール・ブリュット・コレクションと日本のアウトサイダー・アート」の開催期間中、日本の市民とスイスのアール・ブリュット・コレクション館長・学芸員が、「アウトサイダー・アート(=アール・ブリュット)」についての議論・対話を実施 |
| 108 | 出雲－パレスチナ・プロジェクト | 出雲とベツレヘム－音楽のかけはし | イスラエル ヨルダン | 08.02.21～ 08.02.28 | ベツレヘムを訪問し、ベツレヘム音楽アカデミーと、室内楽演奏会の開催、現地の若手音楽家に対する指導、コンサートでの共演、現地の子どもとワークショップを実施、日本の音楽や文化、出雲についてのレクチャーを実施。演目は、サリーム・ゾグビ氏が木村恵理に献呈した曲のほか、日本歌曲など |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|-----|-------------------------------|--------------------------|-----------|-----------------------|--|
| 109 | 日本エチオピア学生会議 第2期本会議 | 日本エチオピア学生会議 | エチオピア | 08.02.28～ 08.03.18 | 日本人学生がエチオピアへ訪問し、JICAプロジェクト、草の根支援NGO、コーヒー農園を訪問することで、世界最貧国エチオピアの現状を知る。そうしたエチオピアの現状を知った上で、現地の学生との様々な国際問題の議論、生まれ故郷への訪問を通じて、交流し、その結果を日本国内で報告 |
| 110 | チャイルドヘルプライン・アジア会議 | 特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター | アジア地域区分困難 | 07.12.01～ 08.03.31 | CHIアジアパシフィック会議への参加を通して、アジア地域のチャイルドライン実施団体との交流を深める。また開催国タイのスラムの子ども（特にストリートチルドレンや虐待を受けた子どもなど）への取り組みを学び、子どもに対する日本と異なるヘルプやサポートの取り組みを知り、日本の活動に活かす事業 |
| 111 | 第3回21世紀ミュージアム・サミット | 財団法人 かながわ国際交流財団 | 全世界区分困難 | 08.03.21～ 08.03.22 | リーダーシップを担う美術館長、政策担当者やアートマネジメント関係者を対象に、変革期にあるミュージアムのチェンジ・マネジメントを実現するための新しいものの見方や考え方を、欧米、アジア地域の美術館長らの基調講演における事例から抽出し、日本の現状に資することを目指すリーダーシップ・セミナー |
| 112 | 平成19年度「地球市民講座」 | (財)福岡国際交流協会 | ロシア | 08.02.06～ 08.03.05 | 市民を対象に世界の国や地域の社会、文化事情や地球上で起こっている様々な問題等への理解をより深めるため、専門家を招き、シリーズで開催する「地球市民講座」を開催。本年度のテーマは「隣人、ロシア～新しいロシアと日本の関係」 |
| 113 | ここから始める国際交流・小さな世界旅行 | NPO法人ル・バトー | 全世界区分困難 | 08.01.27 | 主に子供及び保護者を対象に、世界各国を紹介したブースをオリジナルパスポートを持って擬似旅行してもらい、またワークショップやクイズラリーなどを通して楽しみながら異文化及び世界の現状に触れ理解を深める事業 |
| 114 | シンポジウム：トルコの今について語ろう | 財団法人 中近東文化センター | トルコ | 08.01.27～ 08.02.10 | 「日本とトルコ友好の架け橋—エルトゥールル号回顧」展開催に合わせて、トルコに関するシンポジウム「トルコはEUに入れるのか、否か」と「トルコのものさし、日本のものさし—トルコと日本の異文化接点を探る」を開催 |
| 115 | 国境なき子どもたち10周年記念公開講座『シリーズ アジア』 | 特定非営利活動法人国境なき子どもたち (KnK) | アジア地域区分困難 | 07.12.15～ 08.03.15 | 申請団体が設立10周年を記念し、同団体が活動を展開しているアジア8カ国の社会・文化事情に精通した方をゲスト講師として迎え、アジアに対する理解を深めてもらうことを目的に、一般市民を対象とした公開講座を東京で開催 |

市民青少年交流事業費

| 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----------------------------|----------|------------|-----------------------|---|
| 116 台湾高校生交流事業 | 財団法人交流協会 | 東アジア地域区分困難 | 08.02.13～ 08.02.20 | 台湾の高校生を招へいし、高校生間の交流や文化体験を通じ、台湾の若い世代における対日理解の促進を図るとともに、日本の若者にも台湾の高校生と接する機会を設け、相互理解共有者としての礎を創る事業 |
| 117 ettedaチームのTETSUSON展示参加 | etteda | 韓国 | 08.03.12～ 08.03.17 | 韓国の芸術関連の大学生約40人が訪日し、日本やその他海外のデザイン、建築、芸術専攻の学生と合同で、東京の浅草でTETSUSON2008展を開催する。また、トークセッションを実施するとともに、意見交換を行い、今後の交流を促進 |

催し等事業費 (4)異文化理解ワークショップ

日本におけるより正確で深い異文化理解促進のため、公開講座や巡回展示を実施する。

合計額 33,651,155 円

| 事業名 | 場所国 | 都市 | 場所名 | 期間 | 事業内容 |
|-----------|--|---|---|-----------------------|--|
| 1 第11回漫画展 | 日本 ブルネイ マレーシア インド | 大阪市 知立市 名古屋市 バンドルスリ ブガワン イポー クアラ・トレ ンガス クアラルン プール コタ・キナバ ル ジョホール・ バル ニューデリー | 大阪国際交流 センターギャ ラリー 知立市中央公 民館 あいち国際プ ラザ アイリ スルーム ブルネイ博物 館 ペラ州立図書 館 トレンガス州 立図書館 国立図書館 サバ・アート ギャラリー ジャヤ ジャ スコ トップ ロウ ベイ店 ニューデリー 日本文化セン ター多目的 ホール | 07.04.01～ 08.03.31 | 平成18年度に開催したアジア10カ国 (バングラデシュ、中国、インド、イン ドネシア、日本、マレーシア、フィリ ピン、スリランカ、タイ、ベトナム) の新聞、雑誌などの第一線で活躍中の 諷刺漫画家10名が諷刺とユーモアで描 いた「第11回アジア漫画展－アジアの 若者文化」(作品77点)を昨年度に引き 続き、知立市、名古屋市及びマレーシ ア、インド、ブルネイに巡回 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 場所国 | 都市 | 場所名 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------|---|---|--|-----------------------|---|
| 2 | 第10回漫画展 | 韓国 中国 カンボジア タイ フィリピン インド | ソウル 昆明 済南 プノンペン ナコンシータ マラート バンコク ケソン パサイ マンダルーヨン ニューデリー | ソウル貿易展示場 雲南省民族博物館 山東省工芸美術学院美術館 カンボジア日本人材開発センター 学習センター バンコク日本文化センター アート・スペース ザ・プロック・ノース・エドザ、 ショッピング・センター SMモール・オブ・アジア、 ショッピング・センター ポーディアム、 ショッピング・センター 日本文化センター岡倉天心ギャラリー | 07.04.01～ 08.03.31 | 平成17年度に開催したアジア10カ国（カンボジア、中国、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）の新聞・雑誌などの第一線で活躍中の諷刺漫画家10名が諷刺とユーモアで描いた「第10回アジア漫画展－アジアの環境問題」(作品77点)を昨年度に引き続き、韓国、タイ、カンボジア、中国、フィリピン、インドに巡回 |

| | 事業名 | 場所国 | 都市 | 場所名 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------|---------|----|-------------------|-----------------------|---|
| 3 | 異文化理解講座 | 全世界区分困難 | 東京 | 国際交流基金 国際会議場ほか | 07.04.01～ 08.03.31 | 諸外国の社会・文化事情やその歴史的背景などについてのより深い関心と正確な理解を促し、且つ、当該地域の社会・文化・芸術等に関する基本的な知識・情報をも体系的に提供することを目的として、一般市民向け講座を実施。今年度は、アジア理解講座として、第1期に「ファッションがつくるインド」、第2期に「インド・神話と芸能：神々を演じる人々」、「アジアの人口問題」、第3期に「アジアの〈こころ〉と〈からだ〉：医療人類学からのアプローチ」を実施。中東理解講座として、第1期に「文明の十字路・コーカサスの諸相」、「中東の新しい経済」、第2期に「シリアとレバノンで何が起きているのか：中東地域情勢の意味に迫る」、第3期に「文化遺産保存と考古学の間で：西アジア・中央アジアの遺跡から」を実施。中南米理解講座として、第1期に「先住民族文化の現在：ルーツ・変容・声」、第2期に「キューバのすべて」、第3期に「BRICsブラジルからのメッセージ：多様性が創る未来」、「中南米の音楽Ⅱ：歌・踊り・祝宴を生きるひとびと」を実施。 |
| 4 | 異文化理解講座出版 | 全世界区分困難 | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 異文化理解講座の内容を書籍化して市販流通させることにより、広く一般の人々に同講座の情報を提供する。山川出版社との共催により、『中国の外交－自己認識と課題』、『民衆のイスラーム－スーフィー・聖者・精霊の世界』、『現代中米・カリブを読む－政治・経済・国際関係』を、東京堂出版との共催により、『アラブ・ミュージック－その深遠なる魅力に迫る』を出版。 |

文化芸術交流事業に必要な経費

企画開発費

1. 催し等事業費
 - (1) 事業開発（催し）
2. 文化資料事業費
 - (1) 事業開発（文化資料）

催し等事業費 (1)事業開発 (催し)

企業等と連携した新規事業、及び従来の枠組みや発想にとられない部門横断型事業の開発と実施。
合計額 13,157,930 円

| | 事業名 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------|--|-----------------------|--|
| 1 | 食文化紹介事業 | フランス | 07.04.17～ 08.03.31 | 国際文化会館との共催で、ロイヤルパークホテルの協力により文学作品の中の料理を再現。その作品の登場人物、作者に新しい光をあてることによる異文化理解の促進。平成19年度は、フランス文学を取り上げて実施。 |
| 2 | CSR事業 | 中国 タイ インド メキシコ 英国 ドイツ フランス | 07.04.17～ 08.03.31 | 海外の日系企業のCSR活動（社会貢献活動）と国際交流基金事業との連携を推進する事業。 ●海外の日系企業による社会貢献活動調査の実施(中国、韓国、英国、フランス、ドイツ、タイ、インド、メキシコ) ●調査結果の報告会実施（中国） |

文化資料事業費 (1)事業開発 (文化資料)

国際交流基金広報グッズの開発、及び調査報告書等出版物の制作。
合計額 6,526,091 円

| | 事業名 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------|----------|-----------------------|---|
| 1 | 商品開発事業 | 全世界区分困難 | 07.04.17～ 08.03.31 | 国際交流基金の持つ知的所有権を使った、広報グッズの作成。 平成19年度製品：オリジナル手ぬぐい（5種類） |
| 2 | CSR事業 | 韓国 中国 | 07.04.17～ 08.03.31 | 海外の日系企業のCSR活動（社会貢献活動）と国際交流基金事業との連携を推進する事業。海外の日系企業による社会貢献活動の調査結果にもとづく報告書を作成。 報告書作成国：中国、韓国 |

文化芸術交流事業に必要な経費

造形美術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業

2. 催し等事業費

- (1) 国際展（国際展参加）
- (2) 海外展（企画展）
- (3) 海外展（巡回展）
- (4) 海外展（助成）
- (5) 国内展（助成）
- (6) 造形美術情報交流（催し）

3. 催し等事業費（トリエンナーレ）

- (1) 国際展（トリエンナーレ）

人物交流事業費 (1) 受託事業

造形美術分野での国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 4,624,185 円

| | 事業名 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------|---|-----------------------|---|
| 1 | 東アジアクリエーター招へい | インド インドネシア オーストラリア カンボジア シンガポール タイ ニュージーランド フィリピン ブルネイ ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス | 07.08.01～ 08.07.31 | アジア・大洋州の13カ国から、アート、デザイン、ファッション等創造的な活動に従事する若手のクリエーターを日本に招へいし、制作や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図る。19年度は受入機関調査等、招聘準備を実施。 |

催し等事業費 (1) 国際展 (国際展参加)

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 40,973,966 円

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------|---------|--------|---------------------|-----------------------|---|
| 1 | 第52回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展 | イタリア | ヴェネツィア | カステロ公園 内日本館 | 07.06.10～ 07.11.21 | コミッショナーに港千尋を迎え「わたしたちの過去に、未来はあるのかー The Dark Face of the Light」をテーマに岡部昌生のフロッタージュ（擦り取り）作品を中心に展示。あわせて、学生・市民とともにワークショップを実施 |
| 2 | 第13回バンガラデシュ・ビエンナーレ（準備） | バンガラデシュ | | | | 植松由佳（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館学芸員）をコミッショナーに、日本の現代美術を紹介。会期が2008年11月に延期されたため、本年度は準備業務のみ実施 |
| 3 | 第11回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展（準備） | イタリア | ヴェネツィア | ヴェネチア市 ジャルディーニ地区 | | 五十嵐太郎（建築批評家、東北大学准教授）をコミッショナーに迎え、「EXTREME NATURE -SMALL PAVILIONS-」をテーマに、現代日本建築の最先端を紹介する。参加作家は石上純也（建築家）、大場秀章（植物学者）の両氏（平成20年度実施事業の準備業務） |

造形美術事業費

催し等事業費 (2) 海外展(企画展)

海外の美術館・博物館等との共催により、日本の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 240,586,764 円

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|------|--------------------------------------|--|--|--|
| 1 | アジアのキュビズム展 (パリ) | フランス | パリ | パリ日本文化会館 | 07.05.16～ 07.07.07 | 平成17年度～18年度にかけて、東京、ソウル、シンガポールで開催した同展を、キュビズム発祥の地パリにて展示。アジアで受容され独自の展開を遂げたキュビズムをフランスで紹介するとともに、アジアの文化的アイデンティティーの問題をより客観的に検証した。 |
| 2 | わざの美展 | 英国 | ロンドン | 大英博物館 Hotung Gallery | 07.07.19～ 07.10.21 | 人間国宝を中心とした日本の伝統工芸を代表する作家111名による、代表的な作品112点を展示。また会期中にワークショップ等の交流事業を実施した。 |
| 3 | インドにおける現代美術展 | インド | ニューデリー ムンバイ (ボンベイ) ムンバイ (ボンベイ) | ニューデリー国立近代美術館 チャットルジー・ギャラリー プロジェクト88 | 07.10.12～ 07.11.11 07.11.21～ 07.12.05 07.11.21～ 07.12.15 | 「消失点」というテーマのもとで、社会的背景や身体的条件を意識しつつ日本の現代美術を紹介した。 |
| 4 | 美麗新世界展 | 中国 | 北京 広州 | インターアーツセンター 長征空間 (Long March Space) 東京画廊 (B.T.A.P.) 広東美術館 | 07.09.25～ 07.10.21 07.09.25～ 07.10.21 07.09.25～ 07.10.21 07.12.25～ 08.01.20 | 「美しきリアル・ワールド」「新環境」「世界の終焉と未来世界」という構成で、岡崎京子、大友克洋らのマンガ・アニメーションから、草間弥生、宮島達男、奈良美智等の美術作家にいたるまで、現代日本の多層的に広がる価値体系や創造性を浮き彫りにした。キュレータは片岡真実(森美術館)と住友文彦(東京都現代美術館)、キム・ソンジョン(インディペンデント・キュレータ、韓国) |
| 5 | H20日伯現代美術展(準備) | | | | | 2008年にブラジルで、「ライフがフォームになるとき」というテーマのもとに日伯現代美術展を開催するための準備を行なった。 |
| 6 | H20パリデザイン展(準備) | | | | | 2008年10月～2009年1月にパリ日本文化会館で実施する展覧会「WA-和：今日の日本のデザインにおける調和の精神」展の準備業務を実施した。 |
| 7 | H20日インドネシア美術展(準備) | | | | | 2008年インドネシアで開催する美術展のための準備を行なった。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|---|--|---|----|----|----|---|
| 8 | H18Rapt!- Contemporary Art from Japan (事後) | | | | | 平成18年に実施した「Rapt!- Contemporary Art from Japan」の事後業務を行なった。 |

| | |
|--------|-------------|
| 催し等事業費 | (3)海外展(巡回展) |
|--------|-------------|

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化に紹介する展示セットを海外諸国に巡回し、主催する。

合計額 129,568,760 円

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------|--------------|-------------------------|--|-----------------------|--|
| 1 | 新世代アーティスト展 | 英国 | ウォルヴァーハンプトン | ウォルヴァーハンプトン・アートギャラリー | 08.03.01～ 08.04.26 | モノづくりへの丹念な取り組みという視点から、福井篤、廣瀬智央、明和電機等11人の現代美術作家の絵画、彫刻、インスタレーション、写真、ビデオ作品を紹介 |
| | | スペイン | サンタクルス・デ・テネリフェ マドリード | カナリア金融公庫芸術ホール マドリード・ヨーロッパ・デザイン学校 | 07.09.04～ 07.09.25 | |
| | | ドイツ | ライプツィヒ | 現代アートのスペース「シュピネライ」 | 07.10.04～ 07.10.31 | |
| | | エストニア | ハーブサル | ハーブサル文化センター | 07.11.15～ 07.12.20 | |
| | | ボスニア・ヘルツェゴビナ | バニャ ルカ サラエボ | RS現代アート美術館 コレギウム・アーティスティクム | 07.07.13～ 07.08.16 | |
| | | | | | 07.06.05～ 07.06.15 | |
| 2 | 伝統陶芸展 | 米国 | ラス・ヴェガス | 南ネバタコ コミュニティカレッジ・シャイアンキャンパス・パフォーミング アーツセンター・ファイ ンアートギャラリー | 07.06.21～ 07.06.30 | 河井寛二郎、濱田庄司など日本の陶芸を世界に知らしめた故人陶芸家の作品(黒釉面取錆流掛花瓶、柿釉抜絵皿など)と日本の伝統陶芸界の第一線で活躍している作家の作品64点から構成された現代日本陶芸の動向を紹介 |
| | | ワシントン | 在米大広報文化センター | | 07.04.09～ 07.05.18 | |
| | | ドミニカ共和国 | サントドミンゴ | ドミニカ人類博物館 | 07.10.09～ 07.12.14 | |
| | | メキシコ | ハラッパ | ハラッパ人類学博物館 | 08.01.31～ 08.03.12 | |
| | | | | | 07.07.27～ 07.09.09 | |

造形美術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------|---|---|--|--|--|
| 3 | 写楽再見展 | オランダ ギリシャ ブルガリア カタール 南アフリカ | ライデン アテネ ソフィア ドーハ プレトリア | シーボルトハウス メリナ メルクーリ文化センター 国立海外美術館 ユース・クリエティブ・アート・センター 国立文化歴史博物館 | 08.01.25～ 08.02.24 07.07.05～ 07.07.25 07.11.15～ 07.11.30 08.03.10～ 08.03.23 07.09.19～ 07.10.05 | 歌舞伎役者を描いた独特の大首絵で有名な江戸時代の浮世絵師、東洲斎写楽をテーマに、現代の作家たちが柔軟な着想と確かな表現で再解釈した作品を紹介 |
| 4 | 日本人形展E | ドイツ フランス アゼルバイジャン スロベニア セルビア モンテネグロ ルーマニア | ホフハイム・アム・タウヌス マーシー・レトワル リヨン バクー リュブリャナ ノヴィ・サド ポドゴリツァ ティミショアラ | ホフハイム・アム・タウヌス市ホール ラクロワ・ラヴァル博物館 織物・装飾博物館 アゼルバイジャン国立絨毯民族芸術博物館 スロベニア民族博物館 ヴォイヴォディナ博物館 モンテネグロ現代美術館 西大学造形美術学科マンサルダ・ギャラリー | 07.04.01～ 07.04.15 08.01.18～ 08.02.10 08.02.20～ 08.03.16 07.06.01～ 07.06.30 07.09.13～ 07.10.24 07.12.05～ 07.12.16 07.11.15～ 07.11.27 08.03.28～ 08.04.20 | 日本古来の風習に育まれた「雛人形」、「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」、「文楽・歌舞伎人形」、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介 |
| 5 | 日本人形展F | ベネズエラ ペルー ボリビア | カラカス リマ ラパス | コープバンカ文化センター 国立博物館 国立美術館 | 08.02.19～ 08.03.02 07.11.14～ 07.12.16 07.05.09～ 07.06.03 | 日本古来の風習に育まれた「雛人形」、「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」、「文楽・歌舞伎人形」、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------|----------|----------|--------------------------|-----------------------|--|
| 6 | 手仕事のかたち展 | ノルウェー | リッレハンメル | マイハウゲン | 07.05.29～ 07.06.30 | 日々の暮らしの中で育まれてきた伝統的工芸品(陶芸、染織、金工、漆工、木竹工、紙など)と、各地の工房で伝統的な技術を用いつつ創造性豊かな作品を生み出している工芸作家の作品90点を紹介 |
| | | マケドニア | スコピエ | スコピエ市立博物館 | 07.09.29～ 07.10.14 | |
| | | アラブ首長国連邦 | アブダビ | アブダビ文化財団 | 08.01.14～ 08.01.22 | |
| | | エジプト | アレキサンドリア | アレキサンドリア・セクター・オブ・アーツ | 07.07.21～ 07.08.05 | |
| | | | カイロ | ゲジーラ・アート・セクター | 07.08.08～ 07.08.20 | |
| | | エチオピア | アデイスアベバ | エチオピア国立博物館 | 08.03.04～ 08.03.17 | |
| | | セネガル | ダカール | IFANアフリカ美術博物館 | 07.11.13～ 07.12.14 | |
| 7 | 日本のクレイワーク展 | イタリア | ローマ | ローマ日本文化会館 | 07.05.23～ 07.07.06 | 50年代から90年代までのクレイワーク(陶を素材にした立体造形)の代表的な作家29名の作品44点を紹介 |
| | | フランス | マルセイユ | メゾン・ドゥ・ランチザナ・エ・デ・メチエ・ダール | 08.03.06～ 08.04.05 | |
| | | クロアチア | ザグレブ | HAZU彫刻美術館 | 08.01.09～ 08.01.30 | |
| | | | ヴァラジュディン | ヴァラジュディン市立美術館 | 08.02.02～ 08.02.24 | |
| | | チェコ | ブルノ | モラビア・ギャラリー | 07.09.06～ 07.11.04 | |
| | | ベラルーシ | ミンスク | ベラルーシ共和国国立美術館 | 07.11.14～ 07.11.28 | |
| | | | グロドノ | グロドノ国立歴史考古学博物館 | 07.12.04～ 07.12.18 | |

造形美術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------|-------|--------------------|--------------------------------|--|--|
| 8 | 日本の版画展 | グアテマラ | グアテマラシティ アンティグア | 近代美術館 ホテル・カサ・サント・ドミンゴ美術館 | 07.07.10～ 07.07.29 07.08.04～ 07.08.19 | 1950年代から90年代までの日本の現代版画を作家46名の作品75点を通じて紹介 |
| | | コスタリカ | サンホセ | カルデロン・グアルディア美術館 | 07.11.27～ 08.01.04 | |
| | | エクアドル | キト | エクアドル国立文化会館 | 08.02.06～ 08.02.29 | |
| | | パラグアイ | アスンシオン | パラグアイ日本人造りセンター | 07.09.01～ 07.09.28 | |
| | | スペイン | サラゴサ | ホアキン・ロンカル・文化センター | 07.05.10～ 07.06.02 | |
| | | | アリカンテ | アリカンテ大学博物館 | 07.06.08～ 07.06.25 | |
| 9 | こけし展B | 米国 | ポートランド | 日本庭園 | 07.04.06～ 07.04.27 | 日本の代表的な郷土人形であるこけしの様式・技法等の特色を作品約70点により、総合的に紹介 |
| 10 | 自然に潜む日本展 | タイ | バンコク チェンマイ | サイアムソサエティー チェンマイ大学アートミュージアム | 07.11.29～ 07.12.21 08.01.09～ 08.01.31 | 写真家・矢萩喜従郎の写真作品を中心に日本の風景をモノクロの写真85点で紹介 |
| | | ネパール | カトマンズ | 在ネパール大使館多目的ホール | 08.03.05～ 08.03.19 | |
| | | メキシコ | ハラッパ | ベラクルス州立大学美術学部 | 07.04.24～ 07.06.29 | |
| | | ウルグアイ | モンテビデオ | モンテビデオ県庁ホール | 07.08.13～ 07.08.26 | |
| | | | コロニア | コロニア県庁バステイオン・デ・カルメン劇場ホール | 07.09.27～ 07.10.16 | |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------|----------------------------------|---|--|---|--|
| 11 | 現代日本の陶磁器展 | 中国 タイ フィリピン オーストラリア | 香港 チェンマイ バギオ ドウマゲッ テイ マニラ マニングハム シドニー サウス・パ ース ブリズベン | 香港大学美術 博物館 チェンマイ国 立美術館 タマワン・ アーティス ト・ビレッジ シリマン大 学、ナショナ ル・プレス・ クラブ アヤラ美術館 マニングハ ム・ギャラ リー シドニー日本 文化センター ギャラリー ヘリテージ・ ハウス文化セ ンター クイーンズラ ンド工科大学 美術館 | 08.02.19～ 08.03.30 07.04.05～ 07.04.26 07.06.09～ 07.06.16 07.07.01～ 07.07.11 07.07.16～ 08.08.05 07.09.05～ 07.09.29 07.10.09～ 07.10.26 07.11.14～ 07.11.27 07.12.13～ 09.01.20 | 伝統を引継ぎ、有田・唐津、萩、備前、 京都、久谷、瀬戸・美濃、益子の窯場で 優れた作品を制作している若手作家の 作品を紹介 |
| 12 | 現代日本の工芸展 | ロシア | ユジノサハリ ンスク ウラジオスト ク ハバロフスク ノボシビルス ク モスクワ サンクトペテ ルブルグ アレキサンド リア | サハリン州立 美術館 アルセーニエ フ博物館 極東美術館 ノボシビルス ク国立美術館 ギャラリーベ リャエヴォ メンシコフ宮 殿（エルミ タージュ美術 館分館） アレキサンド リア美術館 | 07.05.17～ 07.05.31 07.08.31～ 07.09.30 07.10.17～ 07.10.31 07.11.09～ 07.11.25 07.12.06～ 07.12.23 08.02.19～ 08.03.02 08.03.27～ 08.04.14 | 陶器、竹細工、漆、ガラス、石など幅 広い素材を用いて制作された工芸作品 を、華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥 のテーマに分類して紹介 |

造形美術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------|--------------|--------------|--------------------------------------|-----------------------|---|
| 13 | 熊本アートポ リス展 | 韓国 | 済州 | 在済州日本国 総領事館 公 報文化セン ター | 07.08.27～ 07.09.05 | 自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介 |
| | | | 釜山広域市 | 東西大学校 小郷ギャラ リー | 07.09.11～ 07.09.20 | |
| | | | 全北 | 道立全北立美 術館 | 07.10.12～ 07.11.18 | |
| | | | ソウル | 在韩国日本国 大使館公報文 化院シルク ギャラリー | 07.11.21～ 07.11.30 | |
| | | ベトナム | ホーチミン | 青年文化会館 | 07.04.08～ 07.04.22 | |
| | | | ハノイ | 越日人材協力 センター | 07.05.11～ 07.05.25 | |
| | | インド | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター | 07.12.18～ 07.12.27 | |
| | | | コルカタ | スワブミ・ヘ リテージ・プ ラザ | 08.01.05～ 08.01.11 | |
| | | | チェンナイ | ラリット・カ ラ・アカデ ミー | 08.01.29～ 08.02.04 | |
| | | | プネ | バルバレダル バ ラング マンデル (シ バジナガル) | 08.02.11～ 08.02.17 | |
| | | ニュージーラ ンド | オークランド | ガス・フィッ シャー・ギャ ラリー | 08.03.26～ 08.04.01 | |
| 14 | スピリトを写 す展 | インドネシア | バンドン | スラサール・ スナリヨ・ アートスペー ス | 08.01.18～ 08.02.10 | |
| | | | ジャカルタ | ジャカルタ日 本文化セン ター | 08.02.29～ 08.03.16 | |
| | | マレーシア | クアラルン プール | セントラル マーケット アネックス ギャラリー | 07.07.12～ 07.07.29 | |
| | | | ベナン | ベナン州立美 術館 | 07.09.18～ 07.10.12 | |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|--------|------------|----------------------------------|-----------------------|---|
| 15 | 現代日本デザイン展 | 米国 | タルサ | リチャードソン・アジア美術館 | 07.11.18～ 07.12.09 | 1990年代に製作された生活用品のデザイン約100点、その原点ともいえる戦後の50年代に製作された作品13点を紹介 |
| | | ニカラグア | マナグア | 国立文化宮殿 | 07.09.26～ 07.10.16 | |
| | | アルゼンチン | ブエノス・アイレス | ベルグラノーノ大学展示会場 | 07.08.01～ 07.08.21 | |
| | | コロンビア | メデリン | メデジン市立ベレン図書館 | 08.01.15～ 08.02.01 | |
| | | | ボゴタ | ルイス・アンヘル・アランゴ図書館 | 08.02.06～ 08.03.23 | |
| | | チリ | サンティアゴ | チリ国立美術館 | 07.05.15～ 07.06.17 | |
| 16 | 90年代の日本絵画展 | カナダ | トロント | 国際交流基金トロント日本文化センター | 07.05.10～ 07.07.31 | |
| | | | バリー | マクラレーン・アートセンター／ロイヤル・ヴィクトリア・ホスピタル | 07.08.16～ 07.10.08 | |
| | | 米国 | ローノーク | ウエスタン・バージニア美術館 | 07.11.08～ 07.12.31 | |
| | | | アイダホ・フォールズ | 東アイダホ美術館 | 08.01.18～ 08.03.01 | |
| 17 | out of the ordinary/ extraordinary 展 | 米国 | アナーバー | ミシガン大学附属美術館 | 07.06.16～ 07.09.16 | 様々な価値観や視点によってより複雑化する現代にあって、日常や身の回りから世界に共感し、「他者」の多様な声を尊重し、寄り添って聞くような表現一日々の平凡な日常から生まれた「非凡」な日本の現代写真を紹介 |
| | | | ジャージーシティ | ニュージャージー市立大学附属美術館 | 07.10.11～ 07.11.16 | |

造形美術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------|-------------|-------------|--|--|--|
| 18 | 日本の子ども 60年展 | アイルランド | ダブリン | アイルランド 公共事業庁ア トリウム | 07.05.18～ 07.07.04 | 写真家の目がとらえた子供達の生活ぶ りをはじめ、戦後～現代にいたる日本 の60年間の歩みを振り返るという趣旨 のもと、木村伊兵衛、土門拳ら97名の 写真家により撮影された子供達の写真 100点を紹介 |
| | | ヨルダン | アンマン | ヨルダン大学 展示ホール | 07.04.04～ 07.04.12 | |
| | | | イルビット | イルビット市 庁舎 | 07.04.15～ 07.04.23 | |
| | | アルジェリア | アルジェ | ソフィテル・ アルジェ | 07.11.18～ 07.11.30 | |
| | | ガーナ | アクラ | 国立博物館 ギャラリー | 07.10.01～ 07.10.13 | |
| | | ギニア | コナクリ | 国立博物館 | 08.03.04～ 08.03.17 | |
| | | ケニア | ナイロビ | 在ケニア日本 国大使館広報 文化センター デイスター大 学（バレー ロードキャン パス） | 07.08.13～ 07.08.27 07.08.29～ 07.09.10 | |
| 19 | 日本の現代写 真展 | ドイツ | ケルン | ケルン日本文 化会館 | 07.09.07～ 07.11.16 | 「1970年代から今日までの現代日本に 暮らす人々とそれをとりまく風景」を テーマに、森山大道、東松照明、荒木 経惟ら23名の写真家による、計76点の 作品を紹介 |
| | | ウズベキスタ ン | タシケント | ウズベキスタ ン芸術アカデ ミータシケン ト写真美術館 | 08.02.14～ 08.03.07 | |
| | | リトアニア | カウナス | M.K.チュリ リョーニス国 立美術館管轄 M.ジリンス カス・ギャラ リー | 07.05.04～ 07.06.03 | |
| | | | ビリニュス | マルティーナ ス・マジュ ヴィーダス・ リトアニア国 立図書館ギャ ラリー | 07.06.07～ 07.06.30 | |
| | | | ウクメルゲ | ウクメルゲ民 俗学博物館 | 07.07.05～ 07.07.26 | |
| | | | パネヴェジエ ス | ガブリエル・ ベッケンツァ イテ・ピーテ 公立図書館 ギャラリー | 07.08.01～ 07.08.22 | |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------------|---|--|---|
| 20 | パラレル・ニッポン 現代日本建築 1996-2006展 | イタリア ドイツ ルクセンブルク イラン | ローマ ケルン ルクセンブルグ テヘラン | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 ケルン日本文化会館 ルックスエキスポ テヘラン大学 テヘランギャラリー | 07.11.07～ 08.01.07 08.01.23～ 08.03.31 07.10.13～ 07.10.21 07.05.31～ 07.06.14 | 過去10年（1996年-2006年）に竣工した日本の建築から、代表的な110作品を選び、我国の社会文化状況と対比させながら紹介 |
| 21 | 日本の玩具展 | インドネシア パプアニューギニア 米国 | ジャカルタ メダン ポートモレスビー グアム | ジャカルタ日本文化センター 北スマトラ大学 パプアニューギニア大学図書館 グアム大学イスラセンター | 08.01.09～ 08.01.28 08.02.12～ 08.02.16 07.11.01～ 07.11.14 07.08.16～ 07.09.28 | 古くは中国、朝鮮半島から伝来した伝統玩具、近世以降全国各地で生まれた郷土玩具、季節の年中行事に因んだ玩具、木や竹など身近な素材を使った玩具、近現代の玩具など日本の様々な玩具110点を紹介 |
| 22 | 武道の精神展 | カナダ | トロント モントリオール ロサンゼルス | 国際交流基金 トロント日本文化センター フロントナック文化会館 日米文化会館 | 07.11.27～ 08.02.26 08.03.12～ 08.04.06 07.09.15～ 07.11.10 | 日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展覧し、日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介 |
| 23 | 日本のポップカルチャー | | | | | 2000年代に活躍を始めた若手作家の作品を中心に、日本のポップカルチャーを背景として生まれた現代芸術を紹介する展覧会を制作 |

| | |
|--------|-------------|
| 催し等事業費 | (4) 海外展（助成） |
|--------|-------------|

国内外の美術館・博物館等が主催し、海外において企画・実施する日本美術・文化を紹介する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

合計額 40,767,885 円

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------------------------|-----|------|---|----------------------|-----------------------|---|
| 1 | Hiroshi Sugimoto: History of History | カナダ | トロント | Royal Ontario Museum Institute of Contemporary Culture Gallery | Royal Ontario Museum | 07.06.02～ 07.08.19 | リベスキント設計のオンタリオ美術館新ギャラリー完成記念として、2003年日本から巡回開始した杉本博司「History of History」展を開催。 |

造形美術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--|-------|--|--|--|--|---|
| 2 | Japan Envisions the West: 16th-19th Century Japanese Art from Kobe City Museum | 米国 | シアトル | Seattle Art Museum | Seattle Art Museum | 07.10.11～ 08.01.06 | 神戸市美術館所蔵の南蛮画や紅毛画、地図142点とシアトル美術館所蔵の21点を通して、近代以前の日本人作家が、どのように西洋の美術や文化を理解していたかを探る展覧会。 |
| 3 | 2007 Terrace Garden Exhibit, "A Sense of Place", US Botanic Garden, Washington, DC | 米国 | ワシントン | Terrace of the National Conservatory on the National Mall in front of the US Capitol Building on Independence Avenue | Japanese Garden Society of Oregon | 07.05.24～ 07.10.08 | ワシントンDCで開催される米国公共庭園協会 (APGA)の全国総会と併せて、合衆国植物園の大温室で開催される「米国の名庭園10選」展で「ポートランド日本庭園」を紹介。 |
| 4 | Murakami | 米国 | ロサンゼルス ニューヨーク ビルバオ フランクフルト・アム・マイン | The Geffen Contemporary at MOCA Brooklyn Museum of Art Guggenheim Museum Museum fur Moderne Kunst | The Museum of Contemporary Art, Los Angeles | 07.10.29～ 08.02.11 08.04.04～ 08.07.13 09.04.01～ 09.07.31 08.10.01～ 09.01.31 | 1989年から現在に至るまでの村上隆の活動と現代美術への影響を検証する回顧展。 |
| 5 | International Encounter: Medellin 07/ Contemporary Artistic Practices | コロンビア | メデリン | French Colombian Alliance etc. | Antioquia Museum | 07.04.01～ 07.06.30 | コロンビア第2の都市メデジンで、内外の90名のアーティストを招いて開催される国際展。日本の西野達郎(ドイツ在住)に滞在制作を依頼。 |
| 6 | FOUJITA AND KAMINAGAI IN BRAZIL | ブラジル | サン・パウロ ブラジリア | Centro Cultural Banco do Brasil | EXPOMUS-EXPOSICOES, MUSEUS, PROJETOS CULTURAIIS LTDA | 08.03.11～ 08.06.01 | 藤田嗣治(1886-1968)と上永井正(1899-1982)のブラジル滞在中の作品(油彩及びドローイング)70点を紹介する展覧会。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|-------|---------|--|--|-----------------------|--|
| 7 | RINKO KAWAUCHI | ブラジル | サン・パウロ | MAM- MUSEU DE ARTE MODERNA DE SAO PAULO | MAM- MUSEU DE ARTE MODERNA DE SAO PAULO | 07.07.19～ 07.09.23 | 2008年日系移民移住100周年関連事業。サンパウロ近代美術館の委嘱を受けた写真家の川内倫子がブラジル各地の日系人社会を訪問して制作した作品を展示。 |
| 8 | Kazuyo Sejima + Ryue Nishizawa/ SANAA architects- Tokyo & Walter Nierdmayr Photographer Bolzano | フランス | ボルドー | arc en reve centre d'architecture | arc en reve centre d'architecture | 07.06.14～ 07.10.28 | ボルドーにおいて、建築家ミシェル・ジャックのキュレーションにより、模型、図面、スケッチのほか写真家が撮影した写真などにより展覧会を実施した。S A N A A の作品と活動を総合的に紹介。 |
| 9 | The 1st International Architecture Triennale of Lisbon 2007 | ポルトガル | リスボン | Portuguese Pavilion | Portugal Institute of Architects (South Region section) | 07.05.31～ 07.07.31 | ポルトガルがEU議長国となるのに合わせて、国際的に関心の高い建築に関するトリエンナーレの第1回展を、リスボンにおいて挙行。日本セクションのキュレーターは五十嵐太郎。 |
| 10 | Ishiuchi Miyako: Photographic work | チェコ | プラハ | LANGHANS GALERIE PRAHA | LANGHANS GALERIE PRAHA | 07.04.02～ 07.05.29 | Machiel Botman(オランダ)のキュレーションによる、石内都の写真作品(プリント約120点)を回顧する展覧会 |
| 11 | Japanese Participation in the 10th international Istanbul Biennial ” Not Only Possible But Also Necessary” | トルコ | イスタンブール | AKM, IMG, Antrepo, Santral Istanbul | ISTANBUL FOUNDATION FOR CULTURE AND ARTS | 07.09.08～ 07.11.04 | 国際美術展であるイスタンブールビエンナーレの第10回。キュレーターはホーハンルー。日本からはアトリエワン、篠田太郎、木村太陽、米田知子などの作品が参加。 |
| 12 | Choi Young- rim & Munakata Shiko | 韓国 | ソウル | National museum of Arts, Deoksugung | The National Museum of Contemporary Art, Korea | 08.01.22～ 08.03.30 | 棟方志功とその韓国人弟子であった崔榮林の二人展。伝説、神話等伝統的モチーフをモダンな作品を制作した2人の作品約120点で構成。 |

造形美術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|---------|----------------|---|---------------------------------|---|---|
| 13 | Move on Asia 2007-Single Channel Video Art Festival | 韓国 | ソウル | Alternative Space LOOP | ALTERNATIVE SPACE LOOP | 07.11.09～ 07.12.07 | テクノロジーとデジタル化が引き起こす様々な問題に焦点をあて、テクノロジーが現代社会の中で働く機能について問いかける展覧会。日本から小林耕平ら若手作家6名の9作品が出品された。 |
| 14 | 2007 Heyri Asia Project II Japanese Contemporary Art Festival | 韓国 | 坡洲 | ヘイリ芸術村 | Committee of Heyri Asia Project | 07.07.03～ 07.07.29 | ヘイリ芸術村で毎年開催される現代美術展。2006年の中国特集に続き、2007年は日本を特集し、現代美術作家40名のほかに、音楽、アニメーション等も総合的に紹介。 |
| 15 | Get it Louder 2007 | 中国 | 広州 上海 北京 | GRANDVIEW MALL DANING LIFE HUB SOHO SHANGDU | Alternative Archieve | 07.06.23～ 07.07.08 07.07.21～ 07.08.04 07.08.16～ 07.09.01 | デジタル時代の都市生活をテーマ横断的に紹介する大規模な展覧会。日本からはアトリエワン、小金沢健人、名和晃平、さわひらきなど10名が出品。 |
| 16 | Our Voices | 中国 | 香港 | Hong Kong Visual Arts Centre Hong Kong Fringe Club | One Minute Before | 07.05.19～ 08.05.28 07.05.19～ 07.05.19 | 日本、香港、フランス、ドイツ、台湾のアーティストによる「声」をテーマに、現代美術、映像、パフォーマンスなどを複合した企画。日本からは5名の作品が出品された。 |
| 17 | black robe, white mist: the art of the Japanese Buddhist, nun Otagaki | オーストラリア | キャンベラ | National Gallery of Australia | National Gallery of Australia | 07.09.07～ 08.01.27 | 江戸時代後期（19C）の尼僧・女流歌人太田垣蓮月の海外初の陶器、短歌集、書、絵画を含む約80点の展覧会。この展覧会に伴い、蓮月の作品や人生に関する初の英語出版物も発行。 |
| 18 | Experimenta Playground | オーストラリア | メルボルン | Blackbox, the Arts Centre | Experimenta Media Arts | 07.08.24～ 07.09.23 | メディアートのビエンナーレ。今回は相互性のあるスクリーン作品に焦点を当てた。 |
| 19 | Making a Home : Japanese Artists in New York | 米国 | ニューヨーク | Japan Society | Japan Society, Inc. | 07.10.05～ 08.01.31 | ニューヨークジャパンソサエティ創立100周年を記念しニューヨークを拠点に活躍する日本人現代美術家33名を紹介するグループ展。キュレーターは、エリック・シャイナー（Art Asia Pacific誌上級編集者）。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|----|-----------|--|---|-----------------------|--|
| 20 | Ike Taiga and Tokuyama Gyokuran: Japanese Masters of the Brush | 米国 | フィラデルフィア | フィラデルフィア美術館 | Philadelphia Museum of Art | 07.05.01～ 07.07.22 | 東京国立博物館の特別協力を得て、文人画（南画）の大成者である池大雅とその妻・徳山玉欄の、国宝、重要文化財を含む200余点を展示。 |
| 21 | Drama and Desire: Japanese Paintings from the Floating World 1690-1850/ Arts of Japan: The John C. Weber Collection | 米国 | ボストン | Museum of Fine Arts, Boston | Museum of Fine Arts, Boston | 07.08.27～ 08.01.13 | 日本国外で随一の日本美術コレクションを誇るボストン美術館で、館所蔵の肉筆浮世絵の展覧会と、ニューヨーク在住の世界的な日本美術収集家の所蔵作品展を開催し、シンポジウムと講演会を実施。 |
| 22 | Mirror of the Floating World: New Reflections on Japanese Paintings, Prints and Illustrated Books 1680-1860 | 米国 | ニューヨーク | Asia Society Museum | Asia Society | 08.02.26～ 08.05.25 | 北米各地の個人収集家・美術館等が所蔵する肉筆・木版の浮世絵200余点によって構成される名品展。 |
| 23 | Design: Isamu Kenmochi and Isamu Noguchi | 米国 | ロング・アイランド | The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum | The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum | 07.09.20～ 08.03.16 | 1950年代初めに剣持勇とイサム・ノグチによってデザインされた作品約50点を紹介し、戦後日本のデザイン界にノグチが与えた影響と、「ジャパニーズ・モダン」を提唱した剣持の世界的な貢献について振り返った。 |
| 24 | Competition & Collaboration: Prints of the Utagawa School, exhibition catalogue | 米国 | マディソン | Chazen Museum of Art | Chazen Museum of Art at the University of Wisconsin-Madison | 07.11.02～ 08.01.06 | 建築家フランク・ロイド・ライトが収集した日本版画を中心とするチェイゼン美術館ヴァン・ヴレック・コレクションの中から約200点の歌川派木版作品を紹介。ローラ・ミュラー監修。 |

造形美術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|--------|---------------------------------|---|--|--|---|
| 25 | Yasumasa Morimura - Requiem for the XX Century | イタリア | ヴェニス | PIAZZA SAN MARCO | Institution Bevilacqua La Masa Foundation | 07.06.07～ 07.10.08 | ベネチア・ビエンナーレ美術展開幕時に、森村泰昌の最新シリーズ「レクイエム」の展示および回顧展を実施。 |
| 26 | Tatsumi Orimoto "Wandering in Roma" | イタリア | ローマ | Associazione Culturale Sala 1 | Associazione Culturale Sala 1 | 07.05.15～ 07.09.19 | 折元立身を派遣し、ローマでは作家初となる写真展(「アート・ママ」シリーズ)およびローマ市中でのパフォーマンスを実施。 |
| 27 | Hiraki Sawa Dollhouse | 英国 | ロンドン | Chisenhale Gallery | Chisenhale Gallery | 07.09.04～ 07.10.16 | ロンドン在住ビデオアーティスト、さわひらきの個展。ドールハウスに啓発された作家が、9本のサイトスペシフィックなビデオ作品を制作し、同時に上映。 |
| 28 | East Weaves West: Basketry from Japan and Britain | 英国 | グラスゴー ワイト島 ホーブ ノルトヴェルデ | Collins Gallery Michael West Gallery Hove Museum Nat-Vlecht Museum | Collins Gallery | 07.07.07～ 07.08.18 07.09.01～ 07.12.24 08.01.18～ 08.05.02 08.01.18～ 08.08.28 | 日英のバスケットリー作家による作品展。日本から招聘される作家は関嶋寿子等22名。バスケットリーのみの展覧会としては、英国で最大規模。 |
| 29 | Exhibition SANAA, Kazuyo Sejima + Ryue Nishizawa | スウェーデン | ストックホルム | ARKITEKTUR MUSEET | Arkitekturmuseet, Stockholm | 07.05.15～ 07.08.19 | 日本を代表する建築家であるSANAAの展覧会。SANAAの監修により、模型、プロダクツ、図面等を展示。 |
| 30 | A Private History- An Exhibition of Contemporary Japanese Photographers | デンマーク | コペンハーゲン | Fotografisk Center | Fotografisk Center (The Photographic Centre) | 07.09.29～ 07.11.11 | 日本の若手写真家4名のグループ展。東京都写真美術館のキュレーターの協力を得て、「個人的な生活」を対象として写す写真家の写真を展示。鷹野隆大、原美樹子など。 |
| 31 | The Full Emptiness | ドイツ | ウォルズブルグ | Kunstmuseum Wolfsburg | Kunstmuseum Wolfsburg | 07.09.21～ 08.01.27 | 日本文化が西欧に与えた影響を、日本と西欧のアーティストの作品を対峙して展示することによって明らかにする展覧会。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|-------|----------------|---|---|-----------------------|--|
| 32 | KATACHI - Contemporary Japanese Applied Arts between Crafts and Industry | ドイツ | フランクフルト・アム・マイン | Museum of Applied Arts Frankfurt | Museum of Applied Arts Frankfurt | 07.05.03～ 07.08.26 | 日本の伝統工芸作品とインダストリアルプロダクツ、更に隈研吾による茶室を展示し、日本のデザインを伝統、現代、建築を通して紹介する展覧会。 |
| 33 | GENERATOR | ノルウェー | トロンヘイム | Park in the city center | Trondelag Center for Contemporary Art | 07.06.17～ 07.09.30 | 屋外の公共スペースにて作品を制作したプロジェクト。日本からは川俣正が参加。 |
| 34 | THE URBAN BUBBLE- New Directions in urbanism from Japan | ハンガリー | ブダペスト | Exhibition & Workshop (Venues) | KEK - Hungarian Contemporary Architecture Centre | 08.03.04～ 08.04.05 | 東欧では初めてとなる、アトリエ・ワンの建築展。展覧会と同時に、若い建築家向けのワークショップを実施。 |
| 35 | JAPANESE ART INSPIRATION IN STANISLAW WYSPIANSKI PAINTING -POLISH JAPONISM- | ポーランド | クラクフ | Manggha Centre of Japanese Art and Technology | THE CENTER OF JAPANESE ART AND TECHNOLOGY "MANGGHA" | 07.10.09～ 08.01.13 | スタニスワフ・ヴィスピアンスキの死後100年を記念して、ヴィスピアンスキの作品が歌川広重や葛飾北斎等から、どのような影響を受けたかを検証する展覧会。 |
| 36 | Merida in Yucatan, City of Sculpture | メキシコ | メリダ | Montejo Boulevard and Sculpture Passageway | Macay Cultural Foundation | 07.04.02～ 08.02.02 | ユカタン州メリダが5年前から毎年実施している「彫刻の街」事業の一環として開催される屋外展。2007年の招待国は日本で、出品作家は草間彌生、三島喜美代、遠藤利克など。 |
| 37 | Estuaire Nantes Saint-Nazaire 2007 | フランス | ナント | | Le Lieu Unique | 07.06.01～ 07.09.02 | ナントからサン・ナゼールまでの約60キロにわたるロワール河岸周辺に作品を設置する大型アートプロジェクト。日本からは川俣正、西野達郎、丸山欣也が参加。 |
| 38 | FIGURAL PAINTING OF EAST ASIA | チェコ | プラハ | ZBRASLAV CHATEAU | The National Gallery in Prague | 07.03.17～ 07.06.18 | 国立美術館、ナープルステク博物館、ロウニー美術館のコレクションから選定された、東アジア（日本、中国、韓国）の歴史的な人物画を展示。巻物、冊子、グラフィック等180点による構成。 |

造形美術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------|-----|------|--------------------------------|---|-----------------------|---|
| 39 | documenta 12 | ドイツ | カッセル | Museum Fridericianum ほか市内各地 | documenta und Museum Fridericianum Veranstaltungs GmbH | 07.06.16～ 08.09.23 | ドイツ・ヘッセン州の古都カッセルで1955年以来、5年おきに行われている、国際現代美術展。田中敦子、青木陵子作品が出品された。 |

催し等事業費 (5)国内展 (助成)

海外の優れた美術・文化の中で、これまで日本に紹介される機会の少なかった諸外国の優れた美術・文化を紹介するものに対し、経費の一部を助成する。

合計額 8,900,000 円

| | 事業名 | 国 | 関連機関名称 | 都市 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------------|------------|---------------|------------|-----------------------|---|
| 1 | 近代上海の美術展 | 中国 | 近代上海の美術展実行委員会 | 大阪市 | 07.09.04～ 07.10.14 | 1840年代から1930年代までの約100年間、上海で活躍した作家の美術作品を総合的に紹介 |
| 2 | インドネシア更紗のすべて伝統と融合の芸術 | インドネシア | 株式会社 朝日新聞社 | 三島市 町田市 | 07.06.02～ 07.10.20 | 戸津正勝氏所蔵のバティック・コレクションから350点とさらにインドネシアの博物館から50点を借用し、19世紀から現代に至るまでのインドネシアの代表的工芸であるバティックを展示 |
| 3 | 第23回東川賞受賞作家作品展 | タイ | 東川町写真の町実行委員会 | 北海道その他 | 07.07.28～ 07.08.28 | 日タイ修好120周年を記念してタイの写真家が海外作家賞を受賞した国際写真賞東川賞の受賞作家による展覧会及びフォーラムを開催 |
| 4 | 東京写真月間2007 アジアの写真家たちインド | インド | 社団法人 日本写真協会 | 23区 | 07.05.19～ 07.06.13 | 「東京写真月間」の一環として写真展を開催し、講演会とセミナーも同時実施 |
| 5 | メルティン グ・ポイント | ブラジル 英国 | 東京オペラシティ文化財団 | 23区 | 07.07.21～ 07.10.14 | 固体が融解し、液体化する温度である「融点」というタイトルに異なる二つのものが同時に存在する瞬間・場を表象させ、感覚に強く訴えかける作品を、サイト・スペシフィックなインスタレーションにより紹介 |
| 6 | 亜細亜太平洋水墨画公募展 (日本国際水墨藝術展) | 全世界区分困難 | 亜細亜太平洋水墨画会 | 23区 | 08.01.22～ 08.02.04 | 広く世界から水墨に関する美術作品を招待、公募する展覧会 |

| | 事業名 | 国 | 関連機関名称 | 都市 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------------------|---------|---------------------------|------|-----------------------|---|
| 7 | 北九州国際ビエンナーレ'07 | 全世界区分困難 | 特定非営利活動法人 アートインスティテュート北九州 | 北九州市 | 07.09.28～ 07.10.31 | 北九州市門司港周辺の歴史的建築物等を再利用し、同地を新しいアートの実験都市として再生させることを目的とした新規の国際展 |
| 8 | GOTH 逸脱する世界のリアリティ | 全世界区分困難 | 財団法人 横浜市芸術文化振興財団 | 横浜市 | 07.12.22～ 08.03.26 | アートの領域における「ゴス/ゴシック」的要素を大勢的な価値観や既成の枠から逸脱する価値観を示す象徴としてとらえ、自身の身体や皮膚に投影し社会や自己の内面を表現しようとする作家たちの活動を紹介 |
| 9 | スペース・フォー・ユア・フューチャー アートとデザインの遺伝子を組み替える | 全世界区分困難 | 東京都現代美術館 | 23区 | 07.10.26～ 08.01.20 | 新しいコミュニケーション・スペースの創造をテーマに、建築、ファッション、デザインなど異なった領域を横断しながら表現活動を行っている内外のアーティスト23名を紹介 |
| 10 | ICC+S-AIR 2007 創造拠点交流事業 | 全世界区分困難 | 特定非営利活動法人 S-AIR | 札幌市 | 07.07.20～ 07.12.15 | 台北アーティスト・ビレッジ（台湾）、ベアラクアラマサ（イタリア）、バンフアートセンター（カナダ）、IAMAS（日本）といった国内外の「創造拠点」との間で、クリエイターやアーティスト、コーディネーターの人材交流を実施 |

| | |
|--------|-----------------|
| 催し等事業費 | (6)造形美術情報交流(催し) |
|--------|-----------------|

国内外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 3,596,687 円

| | 事業名 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------------------|-------|-----------------------|---|
| 1 | アジア次世代キュレーター会議 | フィリピン | 08.03.11～ 08.03.13 | 第3回目となるアジア次世代キュレーター会議をマニラ（フィリピン）で開催し、日本を含むアジアの美術館状況について意見交換を実施 |
| 2 | Musica ex Machina—機械じかけの音楽 | 英国 | 07.10.20～ 07.12.02 | 音楽文化における機械の役割をテーマに、イギリス人アーティストのマーティン・リッチズ（Martin Riches、1942-）の作品群を中心に展示し、機械と音楽との歴史的な関係の分析やその展望について紹介 |
| 3 | H20日伯交流年記念日本古美術展協力（準備） | ブラジル | 07.04.01～ 08.03.31 | 2008年に開催される日伯交流年記念日本古美術展に対し翻訳協力を実施 |

造形美術事業費

| | |
|-----------------|-----------------|
| 催し等事業費（トリエンナーレ） | (1)国際展（トリエンナーレ） |
|-----------------|-----------------|

大規模な国際美術展を日本国内において定期的に開催し、世界の現代美術を一般的に広く紹介する。

合計額 7,605,970 円

| | 事業名 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------|---------------------|-----------------------|---|
| 1 | 横浜トリエンナーレ 2008（準備） | 横浜市 NHK 朝日新聞社 | 07.04.01～ 08.03.31 | 横浜トリエンナーレ2008の開催準備を実施。開幕1年前の11月には総合ディレクターとキュレーターが集まり、国際シンポジウム「国際展にいま問われているもの」を開催。 |

文化芸術交流事業に必要な経費

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 舞台芸術情報交流（派遣）
- (2) 舞台芸術情報交流（招へい）
- (3) 内田奨学金フェローシップ（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 海外公演（主催）
- (2) 海外公演（助成）
- (3) 国際舞台芸術共同制作
- (4) 国内公演（助成）
- (5) 舞台芸術情報交流（催し）

舞台芸術事業費

人物交流事業費 (1) 舞台芸術情報交流 (派遣)

舞台芸術分野における国際的なネットワーク構築の促進を目的として、日本の専門家を海外へ派遣する。
合計額 2,899,009 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 関係団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--|--|--|------------------|---|-----------------------|--|
| 1 | アジア アートマー トショー ケース公演 | 廣樹 輝一 梶ヶ野 亜 生 梶野 泰範 塚口 麻里 子 | 演奏家 (有 限会社ハッ ピープラ ネッツ) 箏曲家 (沢 井箏曲院) ステージマ インドス タッフ NPO法人 国際舞台芸 術交流セン ター ス タッフ | シンガポー ル | アジア アートマー ト | 07.05.31～ 07.06.03 | シンガポールのアジアンアーツ マーケット(AAM)にて、廣樹輝一(ピ アノ、尺八)と梶ヶ野亜生(箏)に よるユニット「CrackHead」によ るショーケース公演を実施。 |
| 2 | ロンドン大 学SOAS ワールド ミュージッ ク・サマー スクール | 服部 かす み | 箏曲家 | 英国 | ロンドン大 学SOAS | 07.08.01～ 07.08.08 | ロンドン大学東洋アフリカ研究所 (SOAS)が開催するワールド ミュージック・サマースクールに て、服部かすみ率いる「KOTOか すみ会」による箏・三味線の公演 とワークショップを実施。 |
| 3 | ソウル芸術 見本市およ びIETM | 佐東 範一 斎藤 ちず | Japan Contemporar y Dance Network 理事長 NPO法人 コンカリー ニョ 理事 長 | 韓国 | ソウル芸術 見本市 | 07.10.09～ 07.10.14 | ソウル舞台芸術見本市(PAMS)及 び同時開催されるIETMサテライ トミーティングにて、日本の舞台 芸術を紹介。 |
| 4 | J-Dance Special Solos レク チャー | 國吉 和子 | 舞踊評論家 | イタリア フランス | 国際交流基 金ローマ日 本文化会館 国際交流基 金パリ日本 文化会館 | 07.11.29～ 07.12.07 | パリ日本文化会館およびローマ日 本文化会館が公演事業「J-Dance Special Solos」を開催する機会に 合わせ、日本のコンテンポラリー ダンスに関するレクチャーを実 施。 |
| 5 | ウクライナ 日本音楽祭 2007 | 田中 利光 | 作曲家 | ウクライナ | ウクライナ 日本音楽祭 | 07.09.21～ 07.09.28 | 田中利光及び吉田千鶴子の作品が ウクライナの音楽家により演奏さ れる機会に合わせ、ウクライナ日 本音楽祭2007に派遣。 |

人物交流事業費 (2) 舞台芸術情報交流 (招へい)

舞台芸術分野における国際的なネットワーク構築の促進を目的として、海外の専門家を日本に招へいする。
合計額 8,520,995 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 関係団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------|-----------------|-------------------------|--------|--|-----------------------|--|
| 1 | 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ | 金 雨玉 | ソウル児童演劇フェスティバル元プロデューサー | 韓国 | 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ実行委員会<キジムナーフェスタ実行委員会> | 07.07.27～ 07.07.28 | 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ（キジムナーフェスタ2007）に海外の児童青少年演劇専門家を招聘し、国際シンポジウムを開催。テーマは「児童青少年演劇と教育～子どもたちに演劇との出会いを」「紛争地域の子どもたち～児童演劇はどんな仕事をしているか」。 |
| | | 山城 紀子 | フリージャーナリスト | 日本 | | | |
| | | 太宰 久夫 | 玉川大学芸術学部 准教授 | 日本 | | | |
| | | ジーン・クライン | カンザス大学 准教授 | 米国 | | | |
| | | ロバート・コービー | エマーソン大学 演劇学部教授 | 米国 | | | |
| | | ビッキー・アイルランド | アシテジ UKセンター 理事 | 英国 | | | |
| | | リチャード・クロックスフォード | アシテジ UKセンター 理事 | アイルランド | | | |
| | | ウォルフガング・シュナイダー | 国際児童青少年演劇協会（世界アシテジ）会長 | ドイツ | | | |
| | | イビカ・シミック | 国際児童青少年演劇協会（世界アシテジ）事務局長 | クロアチア | | | |
| | | アドルフ・シャピロ | サマラ青年劇場 芸術監督 | ロシア | | | |
| | | シャサ・サレム | バグダッド・ドラマ・アーツカレッジ 准教授 | イラク | | | |
| | | マリーナ・バーナム | アルハラ劇場 総合監督 | パレスチナ | | | |
| | | リナ・アッテル | ハッサン王立財団舞台芸術センター 代表 | ヨルダン | | | |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 関係団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------|---------------------------------------|---|------------------|------|-----------------------|--|
| 2 | IETMサテライトミーティング | チラ・チラ ラ Mary Ann DeVlieg | 国際児童青少年演劇協会（世界アシテジ） 副会長 IETM 事務局長 | ザンビア ベルギー | | 07.10.14～ 08.03.08 | 東京芸術見本市（TPAM）2008に 合わせ、欧州の舞台芸術関係者 によるネットワーク会議IETMを東 京で開催し、情報交流と人的交流 を拡大。 |
| 3 | 東京芸術見本市米国専門家招聘 | レイチェル・クーパー | アジア・ソサエティ ディレクター | 米国 | | 08.03.02～ 08.03.08 | 東京芸術見本市（TPAM）2008お よびIETMサテライトミーティン グに米国専門家を招聘。 |

人物交流事業費 (3)内田奨学金フェローシップ（招へい）

故内田元享氏の寄付により、米国、欧州において将来にわたり活躍が期待される若手音楽家を招へいし、わが国の音楽関係者との交流や共演、共同制作に従事する機会を提供する。

合計額 2,443,865 円

| | 事業名 | 現職 | 在住国 | 受入機関／個人 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------------|-------------------------|-----|---------|-----------------------|-------------------------------------|
| 1 | Mike Robert Penny | フェニックス オンライン大 学学生 | 米国 | 福士 豊秋 | 07.12.04～ 08.02.03 | 福士豊秋（津軽三味線）の指導により、 津軽三味線を研修および研究 |
| 2 | Rosey Lee | パークリー音 楽院助教授 | 米国 | 高瀬 千賀子 | 07.05.17～ 07.07.18 | 高瀬千賀子（箏曲）の指導により、地 歌箏曲を研究 |

催し等事業費 (1)海外公演 (主催)

日本の優れた舞台芸術や芸能の海外公演、レクチャー・デモンストレーション等を実施する。

合計額 233,832,094 円

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|--------------|-------------|-----------------------|-----------------------|---|
| 1 | 茂山狂言欧州公演 [18年度事業] | イタリア | ボローニャ | テアトリ・デイ・ヴィータ | 07.04.11 | 茂山千之丞一門による狂言公演。演目は『棒縛』と『濯ぎ川』。パリでは、サミュエル・ベケット生誕100周年記念「パリ・ベケット・フェスティバル」に参加して、『言葉なき行為』を上演。「デンマークフェスティバル」参加。 |
| | | | ローマ | サラ・ペトラッシ劇場 | 07.04.15 | |
| | | デンマーク | ヴィボー | TEATER CENTRUM | 07.04.18～ 07.04.19 | |
| | | | ケルン | ケルン日本文化会館 | 07.04.03 | |
| | | フランス | パリ | パリ日本文化会館 | 07.04.06～ 07.04.07 | |
| | | ロシア | モスクワ | ストラスノイ劇場 | 07.03.24～ 07.03.25 | |
| | | | サンクト・ペテルブルグ | ミュージックホール | 07.03.28～ 07.03.30 | |
| 2 | 劇団態変マレーシア公演 | マレーシア | クアラルンプール | KLPac | 07.04.06～ 07.04.08 | 身体表現を特徴とする劇団態変のワークショップ及び公演。 |
| 3 | 和太鼓松村組韓国公演 | 韓国 | 全州 | 全州伝統文化センター | 07.05.19 | 和太鼓松村組による韓国3都市公演。全州ジャパンウィーク2007参加。 |
| | | | | ソリ文化の殿堂 ヨンジホール | 07.05.20 | |
| | | | 西帰浦 | 三聖女子高等学校 体育館 | 07.05.22 | |
| | | | 済州 | 漢拏(ハルラ) 大学校 ハルラアートホール | 07.05.23 | |
| 4 | ひのき屋欧州公演 | フランス | リヨン | テロー広場 | 07.06.21 | 「ひのき屋」による公演。日ベラルーシ外交関係樹立15周年記念。 |
| | | | エクサン・プロヴァンス | ランボー公園 | 07.06.23 | |
| | | クロアチア | ザグレブ | アクエリアス | 07.06.29～ 07.07.02 | |
| | | ベラルーシ | ミンスク | 共和国労働組合文化会館 | 07.06.24～ 07.06.28 | |
| | | ボスニア・ヘルツェゴビナ | サラエボ | 国立劇場 | 07.07.03～ 07.07.05 | |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------|--------|----------|---|-----------------------|---|
| 5 | 邦楽米国南部公演 | 米国 | ニューオーリンズ | ニューオーリンズ:コンテンポラリー・アーツ・センター New Orleans Museum of Art | 07.06.09 07.06.10 | 地歌箏曲の福田千栄子を中心とする三曲アンサンブル。ニューオーリンズではジャパン・フェストに参加。 |
| | | | ナッシュヴィル | チークウッド庭園 | 07.06.12 | |
| | | | ジャクソン | St. Andrew's Episcopal School | 07.06.14 | |
| | | | | | | |
| 6 | 新田昌弘(津軽三味線) アイルランド公演 | アイルランド | ダブリン | Dublin National Concert Hall | 07.06.14 | 津軽三味線の新田昌弘、ギターのDean Magraw (米国)、アコーディオンのJohn Williams (アイルランド) による公演。バンクラナでは、パーカッションのJim Higgins (アイルランド) と共演。日・アイルランド外交関係開設50周年。 |
| | | | コーク | コーク・シティー・ホール | 07.06.16 | |
| | | | バンクラナ | タリーアーバン・ミル | 07.06.18 | |
| 7 | BATIK(コンテンポラリーダンス) 欧州公演 | イタリア | ヴェニス | Teatro Malibran | 07.06.10~ 07.06.17 | 黒田育世主宰「BATIK」が『SHOKU』『花は流れて時は固まる』を上演。サラマンカ国際芸術フェスティバル、ベニスビエンナーレのダンス部門に参加。 |
| | | | ローマ | Teatro Palladium | 07.06.18~ 07.06.22 | |
| | | 英国 | ロンドン | Sadler's Wells, Lilian Baylis Theatre | 07.06.05~ 07.06.09 | |
| | | スペイン | サラマンカ | Teatro Liceo | 07.06.02~ 07.06.04 | |
| | | デンマーク | コペンハーゲン | Dance Scenen Theatre | 07.06.23~ 07.06.27 | |
| | | | | | | |
| 8 | 焱太鼓スペイン公演 | スペイン | マドリード | Circulo de Bellas Artes | 07.09.14 | 女性3名の太鼓グループ「焱太鼓」によるスペイン5都市公演。バルセロナではメルセー祭、カレージャではアジアフェスティバルに参加。 |
| | | | サラゴサ | Centro de CAI | 07.09.16 | |
| | | | カランダ | Pabellon Multiusos | 07.09.18 | |
| | | | バルセロナ | Catedral | 07.09.21 | |
| | | | カレージャ | Fira de Calella | 07.09.22 | |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------|-----------------------------------|--|--|--|--|
| 9 | 長唄三味線・ 沖縄三線モン ゴル公演 | モンゴル | ウラン・バー トル | モンゴル国立 音楽舞踊学校 モンゴル国立 ドラマ劇場 | 07.12.20 07.12.21 | 日モンゴル外交関係樹立35周年記念 「2007モンゴルにおける日本年」クロー ジング・コンサートとして、長唄三味 線と沖縄三線・民謡の公演およびレク チャー・デモンストレーションを実施。 出演は、長唄三味線ユニット「伝の会」、 沖縄三線（三線、唄、島太鼓）の新良 幸人withサンデー。 |
| 10 | コンテンポラ リーダンス中 国公演 | 中国 | 北京 広州 | 9個劇場 (Nine Theater)内、 TNT劇場 広東現代舞団 (Guangdong Modern Dance Company)小 劇場 | 08.03.20～ 08.03.21 08.03.25～ 08.03.26 | NPO法人ジャパン・コンテンポラリー ダンス・ネットワークとの協力により、 日中のアーティストによるコンテンポ ラリーダンス公演「踊りに行くぜ!! in China」を北京および広州にて開催。 出演は、三浦宏之、女性デュオ「赤丸 急上昇」、室伏鴻主宰「Ko&Edge Co.」、 開催地のアーティストの、計4組。レ クチャー、ワークショップも実施。 |
| 11 | 東CO-CHI風 アフリカ公演 | リビア エチオピア ザンビア タンザニア | トリポリ アディスアベ バ ルサカ ダルエスサ ラーム | カッシャーフ 劇場 エチオピア国 立劇場 エプリフォン カレッジ音楽 学部 ルサカ国立博 物館 ロシア・タン ザニア文化セ ンター | 07.11.01 07.04.01 07.11.11 07.11.12 07.11.09 | 和太鼓を含む邦楽トリオ「東CO-CHI 風」による公演およびワークショップ。 リビア日本国交樹立50周年記念。 |
| 12 | 塩谷哲グルー プ(ジャズ)東 南アジア公演 | インドネシア タイ マレーシア | ジャカルタ バンコク クアラルン プール | ジャカルタ・ ジャズ・フェ スティバル タマサート大 学 クアラルン プール・パ フォーミング アーツ・セン ター | 07.11.22～ 07.11.23 07.11.14 07.11.17～ 07.11.18 | 塩谷哲グループによるジャズ公演。日 タイ修好120周年、日マレーシア国交 樹立50周年記念。 |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------|---|--|--|--|---|
| 13 | 中井智弥・久野木史恵(箏) 中南米公演 | ドミニカ共和国 メキシコ チリ | サルセド サントドミンゴ メキシコシティ サンティアゴ | サルセド市役所ホール マヌエル・ルエダ劇場 国立芸術院マヌエル・ポンセ・ホール セルヒオ・マガーニャ劇場 ディアゴ・ポルタレス大学 アンドレス・ベジョ大学 | 07.10.27 07.10.28 07.10.19 07.10.20 07.10.23 07.10.24 | 二十五絃箏の中井智弥、久野木史恵による公演。メキシコ移住110周年、日チリ修好110周年記念。中井は、フィンランドのシベリウスアカデミー(フィンランド)の招聘によるコンサートとワークショップも実施。 |
| 14 | BU-SHI-DO 東欧公演 | スロバキア チェコ ブルガリア マケドニア ルーマニア | ブラチスラバ プラハ ヴェリコ・トゥルノヴォ カザンラク スコピエ ブカレスト | スロバキア放送大ホール アルハ劇場 ヴェリコ・タルノヴォ市国立劇場「コンスタンティン・キシモヴ劇場」 「アルセナル」文化会館 アーミーホール 国立オペラ座 | 07.10.14～ 07.10.16 07.10.17～ 07.10.20 07.10.24～ 07.10.25 07.10.26～ 07.10.27 07.10.28～ 07.10.31 07.10.21～ 07.10.23 | 和太鼓と津軽三味線のグループ「BU-SHI-DO」による公演。日・スロバキア国交回復50周年、日・チェコ国交回復50周年記念。ブルガリアの日本文化月間に参加。 |
| 15 | ソウル舞台芸術見本市 ショーケース公演 | 韓国 | ソウル | アルコ スモールシアター | 07.10.01～ 07.10.29 | 東京芸術見本市(TPAM)の海外連携の一環として、ソウル舞台芸術見本市(PAMS)の海外ショーケースに「百鬼どんどろ」を派遣。 |
| 16 | 津軽三味線インド公演 | インド | ムンバイ(ボンベイ) ニューデリー コルカタ チェンナイ | NCPA TATAシアター シュリラムセンター カルカッタ・スクール・オブ・ミュージック ラニ・シターイ・ホール | 08.01.27 08.01.29 08.02.02 08.02.05 | 福居典美(津軽三味線)、福居一大(同)、狩野泰一(パーカッション、篠笛)、鈴木裕子(ピアノ、キーボード)による公演。日印交流年記念。ムンバイ・フェスティバル参加。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------|--------|---|---|--|--|
| 17 | 米国APAP邦楽ショーケース公演 | 米国 | ニューヨーク ロス・アン ジェルズ | Asia Society Japanese American Cultural & Community Center | 08.01.12 08.01.16 | ニューヨークで開催される舞台芸術見本市APAP (Association for Performing Arts Presenters) 年次総会に合わせ、津軽三味線・笛・太鼓・琴の「和力」、琵琶・尺八の「後藤幸浩+小濱明人」を派遣し、邦楽ショーケースを開催。ロサンゼルスに巡回。 |
| 18 | 江戸糸操り人形「結城座」ブラジル公演 | ブラジル | サントス リオ・デ・ジャ ネイロ サン・パウロ ブラジリア | SESCサント ス劇場 SESI劇場 SESCコンソ ラソン劇場 FUNARTE 劇場 | 08.02.14～ 08.02.15 08.02.19～ 08.02.20 08.02.27～ 08.02.28 08.02.23～ 08.02.24 | 江戸糸操り人形「結城座」による公演『新版歌祭文 野崎村の段』『綱館』と、ワークショップ、デモンストレーション。2008年日伯交流年（日本人ブラジル移住100周年）記念。 |
| 19 | 文楽フランス公演 | フランス | パリ ストラスプー ル | 国際交流基金 パリ日本文化 会館 Citede la musique et de la danse, TJP | 08.03.05～ 08.03.08 08.03.14～ 08.03.15 | パリおよびストラスプールにて文楽公演を開催。出演は桐竹勘十郎ほか。演目は『二人三番叟』、『日高川入相花王』より「渡し場の段」、『本朝廿四孝』より「謙信館奥庭狐火の段」。子供向けワークショップも実施。 |
| 20 | 和太鼓フィリピン公演 | フィリピン | マニラ バギオ | シャングリ ラ・プラザ・ ホール バギオ・コン ベンション・ センター | 08.02.23 08.02.24 | 和太鼓の塩原良、創造和太鼓集団大太による公演。 |
| 21 | 津軽三味線インドネシア公演 | インドネシア | ジャカルタ ウジュン・パ ンダン ジャカルタ | タマン・ミ ニ・インドネ シア・インダ Gedung Kesenian Societeit de Harmonie タマン・イス マイル・マル ズキ(T I M) テアトル・ク チール | 08.01.20 08.01.22 08.01.24 | 福居一大（津軽三味線）による公演。日インドネシア国交樹立50周年記念。同年ではインドネシアの竹製楽器アンクルンの楽団と共演。 |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------|------|---|---|---|---|
| 22 | 琉球チムドン 楽団中国公演 | 中国 | 広州 重慶 北京 | 広東歌舞劇院 小劇場 ガーデンホテル 長江師範学院 四川外語学院 在中国日本大使公邸 王府井通り 北京日本学 研究センター | 07.09.06 07.09.08～ 07.09.09 07.09.10 07.09.12 07.09.14 07.09.15 07.09.15 | 日中文化・スポーツ交流年記念「日本のお祭り in 北京」に「琉球チムドン楽団」を派遣。広州および重慶に巡回。 |
| 23 | 現代舞踊ブラ ジル公演（準 備） | ブラジル | クリティーバ サン・パウロ ブラジリア マナウス リオ・デ・ジャ ネイロ | | | 2008年8月の本公演にむけ、新作『笑う土』制作のためのワークショップ、ブラジル事前調査（ブラジルダンサーワークショップ）を実施。 |

催し等事業費 (2) 海外公演（助成）

日本の優れた舞台芸術や芸能の海外公演（レクチャー・デモンストレーション、国際共同制作を含む。）を行う日本の公演団体および個人に対し、経費の一部を助成する。

合計額 110,629,800 円

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---|----|--|---|----------------------|--|---|
| 1 | パフォーマンス2007日 本舞踊と邦 楽（アメリ カ中西部縦 断「日本伝 統文化紹 介」交流事 業） | 米国 | ローガン ボールダー デンバー アルバータ デンバー | ユタ州立大 学 パ フォーマン スホール コロラド大 学 グルー ジンミュー ジックホー ル デンバー日 本総領事館 アルバータ 文化会館 デンバー仏 教会ホール | グローバル カルチャー 那須 | 07.09.25 07.09.27 07.09.28 07.09.29 07.09.30 | 邦楽と日本舞踊。コロラド日系人協会100周年を記念して、コロラド州及びユタ州の各都市で邦楽公演及び日本舞踊の公演とレクチャー・デモンストレーションを実施。出演は、竹井誠（尺八）、杵家七三（津軽三味線）、花柳美津木（日舞）ほか。 |
| 2 | DTWレジ デンスアー ティスト ワーク ショップ/ リハーサル /成果発表 | 米国 | ニューヨー ク | Queen's Museum | 矢内原 美 邦 | 07.08.03 | 舞踊（コンテンポラリーダンス）。Dance Theater Workshop（ニューヨーク）主催のレジデンス・プログラムに参加して、矢内原美邦（振付・演出）、高橋幸平、田岡和美（ダンス）、高橋啓祐（映像）が新作を制作・発表。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---|---------------|---|--|-------------|--|---|
| 3 | ベオグラード国際ハーブ・フェスティバル他 | クロアチア セルビア | ザグレブ ノヴィ・サド クラグイエ ヴァツ ベオグラード パンチェボ ベオグラード | Matica Hrvatska 市庁舎メインホール ギムナジム講堂 ベオグラード音楽院 レッスン室 文化センターサロン フィルハーモニーホール | 吉野 直子 | 07.05.16 07.05.08 07.05.10 07.05.11 07.05.12 07.05.13 | クラシック音楽（ハーブ）。ベオグラード国際ハーブ・フェスティバルにてソロ・リサイタル及びマスタークラスを開催。セルビアの他都市、クロアチアに巡回。 |
| 4 | 日中国交正常化35周年記念公演 歌舞伎舞踊とその音楽 -中国楽器が現在日本で- | 中国 | 上海 西安 重慶 重慶 北京 | 上海師範大学大劇場 上海外国語大学日語系総合大教室 西安服飾芸術学院学院礼堂 重慶南方翻訳学院野外ステージ 重慶大学大劇場 国際関係学院大学礼堂 | 常磐津 東蔵 | 07.11.06 07.11.07 07.11.09 07.11.10 07.11.12 07.11.14 | 舞踊（歌舞伎舞踊）ほか。中国から伝来した文化を独自に発展させた日本人の感性を、歌舞伎を通じて紹介。 |
| 5 | 上々颯風ドイツ・ツアー | ドイツ | ケルン デュッセルドルフ | ケルン日本文化会館 ブルックプラッツ（中央広場） | 有限会社スーパーボーイ | 07.06.01 07.06.02 | 音楽。バンド「上々颯風」が、「デュッセルドルフ/NRW日本デー2007」のメイン・イベントとして公演。 |
| 6 | 日本の琴・三弦ロシア・キルギス公演 | キルギス | ビシュケク モスクワ | ドーム・キノ劇場 ロシア・ドラマ劇場 モスクワ音楽院コンファレンス・ホール | 藤崎 哲矢 | 07.04.05～ 07.04.06 07.04.07 07.04.03 | 邦楽（琴・三弦）。ロシア及びキルギスにおいて琴・三弦のコンサート、レクデモを開催。「キルギス音楽祭2007春」参加。 |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|------------------------|---|---|----------------------|--|--|
| 7 | 日本の心 日露交流コ ンサート | ロシア | サンクト・ ペテルブル グ モスクワ | ロシア国立 ゲルツエン 教育大学音 楽ホール プーシキン 学習院大 ホール シェレメ チェフ宮殿 白のホール アメリカン スクールボ リショイ ホール 日本人学校 モスクワ音 楽院ラフマ ニノフホー ル | 富成 清女 | 07.11.02 07.11.03 07.11.04 07.11.06 07.11.07 07.11.08 | 邦楽。富成清女(箏・三絃)、富緒清律(箏・三絃)、徳丸十盟(尺八)らが、国立モスクワ音楽院附属ロシア日本音楽センターの招へいにより、第9回国際日本音楽フェスティバル「日本の心」に参加、公演と講習会を実施。 |
| 8 | ギター寄贈 記念日本・ キューバ交 流コンサ ート「ギター ・セブン」公 演 | キューバ | ハバナ | アマデオ・ ロルダン劇 場 | アントニ オ・古賀 | 07.05.24 | 音楽(ギター)。アントニオ・古賀(ギター)が率いるバンド「ギター・セブン」による、日本の童謡、民謡、キューバの楽曲、ポップスなどの公演。 |
| 9 | サンチアゴ 市立劇場 150周年記 念 浅利慶 太演出オペ ラ『蝶々夫 人』 | チリ | サンティア ゴ | サンチアゴ 市立劇場 | 劇団四季 (四季株式 会社) | 07.09.14～ 07.09.29 | オペラ。サンチアゴ市立劇場150周年記念事業の一環として、浅利慶太演出『蝶々夫人』を上演するにあたり、劇団四季が日本人スタッフを派遣。 |
| 10 | 山下和仁+ bambini (ギター四 重奏団)ポ ルトガル・ スペイン公 演 | スペイン ポルトガル | コルドバ サントティ エルソ | Cordoba Teatro Comico Principal Auditorio Eng Eurico de Nelo | 山下 和仁 | 07.07.05 07.06.30 | 音楽。山下和仁率いるギター四重奏団が、日本人作曲家と共に公演。 |
| 11 | グループ 「日本の音」 ヨーロッパ 公演 | イタリア スイス ドイツ | ローマ アスコーナ ケルン | ローマ日本 文化会館 museocongress ケルン日本 文化会館 | 田嶋 直士 | 07.11.19 07.11.17 07.11.16 | 伝統音楽。尺八演奏家の田嶋直士氏が、箏曲奏者と共に公演。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------|---------------------|------------------|--|-------------------|--|--|
| 12 | 読売交響楽団弦楽四重奏・日タイ修好120周年記念公演 | タイ | バンコク | タイ文化センター・小ホール オリエンタルホテル | 読売新聞東京本社販売局衛星版事業部 | 07.11.21 07.11.22 | 音楽（室内楽）。読売交響楽団メンバーで編成する弦楽四重奏（鈴木理恵子：第1バイオリンほか）および森朱美（ソプラノ）による公演。 |
| 13 | 独舞公演及びワークショップ | イタリア | ローマ カタニア | Centro Duncan3.0 ヴィレリア・スタジオ | 笠井 叡 | 07.05.30～ 07.06.01 07.06.02～ 07.06.08 | 舞踊（舞踏）。笠井叡によるソロ公演『透明迷宮』及びワークショップ。 |
| 14 | 財団法人西川会 日中友好日本舞踊公演 | 中国 | 北京 | 中央民族大学舞踊学院 | 財団法人西川会 | 07.11.16 | 舞踊（日本舞踊）。西川真乃ほか日本舞踊家が、中央民族大学舞踊学院の学生を対象に、公演、実技指導、講義を行った。 |
| 15 | 歌舞伎のいろは『娘道成寺』韓国公演 | 韓国 | ソウル | 韓国中央大学アートセンター | 舞藝舎 | 07.06.05 | 伝統演劇（歌舞伎）。大学を会場として、歌舞伎の感情表現を音楽と所作から紹介。また、「女形」を化粧・衣裳・かつらの実演を通して紹介、『京鹿子娘道成寺』を抜粋上演。 |
| 16 | ヒダじんぼヨーロッパツアー | イタリア ドイツ フランス | ローマ ケルン パリ | 国際交流基金ローマ日本文化会館 国際交流基金ケルン日本文化会館 国際交流基金パリ日本文化会館 | ヒダノ 修一 | 07.05.14 07.05.16 07.05.11～ 07.05.12 | 邦楽（和太鼓）。和太鼓奏者ヒダノ修一とドラマー神保彰のユニット「ヒダじんぼ」が、ドイツの「ハンブルク開港祭」を始めヨーロッパ各地で公演。 |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------|------------------------------|----------------------------------|---|---------------------|--|---|
| 17 | クリヤ・マコトワールドツアー2007 | イタリア フランス モロッコ | ローマ フォンテーヌブロー タンジェ | Charity Cafe 国際交流基金ローマ日本文化会館 Didier Lockwood's Music School Sept Lezards Saint Jazz Cafe Chez Fernand Les Associe Baiser Sale Hotel Continental Cricket Club | 株式会社ミュージックセラフ | 07.05.26 07.05.28～07.05.29 07.05.10 07.05.11 07.05.24 07.05.25 07.06.01～07.06.02 07.06.03 07.05.16 07.05.17 | 音楽。ジャズピアニストのクリヤマコトによる公演。各地アーティストと共演。 |
| 18 | 古舘徹夫ソロ・コンサート・ツアー2007 | 中国 クロアチア イスラエル | 広州 深圳 香港 テルアビブ | Gula Space Mooka Space White Noise Enav Cultural Center THETAR&TD | 古舘 徹夫 | 07.07.05 07.07.06 07.07.07 07.06.29 07.06.22 | 音楽（即興）。エレクトロニクス即興ソロ演奏。テルアビブでは国際音楽祭「ホワイト・ナイト・フェスティバル」に参加。 |
| 19 | アジア・トライ日本-インドネシア2007 | インドネシア | ジョクジャカルタ カリウラン ジャカルタ | タマンブダヤ劇場 ウーレン・センター デボック・ユニティー | 特定非営利活動法人舞踏創造資源 | 07.09.04～07.09.06 07.09.08～07.09.10 07.09.13～07.09.14 | 舞踊（舞踏）。『魂の旅』『妄人の世界』の公演とワークショップ。出演は、和栗由紀夫、工藤丈輝、川本裕子、善財大輔ほか。ジョクジャカルタ・アート・フェスティバル参加。 |
| 20 | 西川古柳座スロベニア公演 | スロベニア | マルボル リュブラナ | マリボル人形劇場 リュブリャナ人形劇場 | リュブリャナ人形劇場交流プロジェクト | 07.05.12 07.05.17～07.05.19 | 伝統演劇（伝統人形芝居）。八王子車人形西川古柳座がスロベニア2都市にて公演。ワークショップも実施。 |
| 21 | 第6回サマルカンド国際音楽祭 | ウズベキスタン | タシケント サマルカンド | ナヴォイ・オペラ・バレエ劇場 レギスタン広場 | 特定非営利活動法人日本舞踊芸術文化協会 | 07.08.24 07.08.26 | 舞踊（日本舞踊）。国際音楽祭「Sharq Taronalari」にて日本舞踊を上演。大学にて日本の伝統文化についての講演及びワークショップも実施。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------|-------|-------------------------------|---|-------------------------|---|--|
| 22 | 田隅靖子ピアノリサイタル「アウシュヴィッツ鎮魂」 | ポーランド | カトヴィツェ クラクフ | Museum Arehideicezjalne 音楽アカデミー会議室 ユダヤ文化センター ホール | 田隅 靖子 | 08.01.24 08.01.26 08.01.27 | 音楽。ピアニストの田隅靖子がりサイタルを開催、アウシュヴィッツ強制収容所で1944年に命を奪われた作曲家たちの作品を中心に演奏。同収容所解放記念日事業。 |
| 23 | 第25回沖縄フェスティバル | 米国 | ホノルル | Kapiolani Park | 株式会社アジマ | 07.09.01 | 音楽（ポップス）。ハワイへの沖縄県人移住を記念する「第25回オキナワ・フェスティバル」にて、「りんけんバンド」が公演。 |
| 24 | ハボボリクアカリブ海公演 | 米国 | バヤモン サンフアン タンパ サンフアン | カリビアン大学・バジャモン校 カフェ・デ・ラ・プラサ・デ・サントウルセ プエルトリコ音楽院 ノルマンディー・ホテル バーリン音楽学校 グリーン・イグアナ | 特定非営利活動法人 日本カリブ海交流協会 | 08.04.02～ 08.04.03 08.04.04 08.04.04 08.04.05 08.04.09 08.04.10 | 音楽（ジャズ）。プエルトリコとの音楽交流活動が続ける赤木りえ（フルート、篠笛）を中心とする音楽家による公演。出演は赤木、吉弘千鶴子（ピアノ/キーボード）、藤井撰（ドラム/パーカッション）、岡本博文（ギター）ほか。 |
| 25 | ジャパニーズ・エクスベリエンス | フランス | ニーム | ニーム劇場 ニーム市内屋内会場 ニーム市オデオン ニーム劇場 ニーム市裁判所 | 岸野 雄一 | 07.04.24～ 07.04.25 07.04.24 07.04.26～ 07.04.28 07.04.27～ 07.04.28 07.04.28 | 音楽等。パフォーマンス、メディアアートで活躍する15のグループ、40名のアーティストによる公演をニーム市内の複数会場で開催。Baby-Q、明和電機、ドラびでお、八木美知衣ほか。 |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------|------|----------------|---|----------------------|----------------------|---|
| 26 | 碧の会 国際文化交流 2007 in サンパウロ | ブラジル | サン・パウロ エンブ | リベンダー ジ広場 Centro Cultural Embu das Artes | 特定非営利 活動法人 碧の会 | 07.08.04 07.08.05 | 音楽。麻生圭子（フルート/オカリナ）がブラジルでカミーロ・カハラ（ギター）と共演、日本の唱歌およびブラジルの楽曲（ボサノバやショーロ）を演奏。 |
| | | | カンポス・ド・ジョルドン | さくらホーム | | 07.08.07 | |
| | | | サン・パウロ | ミラッソウ学園 | | 07.08.08 | |
| | | | サン・パウロ | 日伯福音教会内NPO ミッソンヘズガッテ | | 07.08.10 | |
| | | | インダイアトウーバ | インダヤ トウバ市個人宅 | | 07.08.11 | |
| | | | サン・パウロ サントス | Otani family サントス厚生ホーム | | 07.08.12 07.08.15 | |
| | | | サン・パウロ | しんとりレストラン | | 07.08.17 | |
| | | | サン・パウロ | Takada Family | | 07.08.18 | |
| | | | カンポス・ド・ジョルドン | さくら祭り | | 07.08.19 | |
| | | | サン・パウロ | ブラジル日系老人クラブ 連合会 | | 07.08.22 | |
| | | | サンベルナンド・ド・カンボ | ジョルダ/ ポリス老人クラブ | | 07.08.24 | |
| | | | カンポス・ド・ジョルドン | さくら祭り | | 07.08.25 | |
| | | | サン・パウロ | 日伯文化協会 ブラジル千葉県人会 創立50周年記念式典 | | 07.08.26 | |
| | | | スザノ | イベラン ジャホーム | | 08.08.23 | |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------|------------------------------------|---|--|--------------|---|--|
| 30 | ファミローザ・ハーモニー ポルトガル コンサートツアー | ポルトガル | ギンシヨ ポルト コインブラ ファティマ リスボン エヴォラ モンサーラス リスボン | Estalagem Muchaxo Museu Soares dos Reis Coimbra Carmelo Basilica do Santuario de Fatima Sala do Bom Pastor do Centro Pastoral Paul Museu da Agua Biblioteca Municipal Auditorio Municipal Palacio Nacional da Ajuda | ファミローザ・ハーモニー | 07.09.17 07.09.19 07.09.21～ 07.09.23 07.09.29 07.09.30 07.10.03 07.10.04 07.10.07 07.10.09 | 音楽。石塚由紀子と3人の娘から成る「ファミローザ・ハーモニー」による、日本の童謡、叙情歌、ピアノとヴァイオリンのアンサンブルなどの公演。 |
| 31 | 鬼島太鼓 欧州公演 2007 | ドイツ フランス ベルギー ルクセンブルク | トリーア パリ ブリュッセル ディーキルシュ | トリア市運動公園 モンマルトルの丘 ベルギー外国語大学通訳高等学院 欧州議会多目的ホール ディーキルシュ中高校 | 鬼島太鼓 | 07.06.10 07.06.14 07.06.12 07.06.13 07.06.11 | 和太鼓。木島平で活動する太鼓グループが、欧州文化首都となるルクセンブルグ、及びブリュッセルで公演、地元の小中学生とも交流。 |
| 32 | 百鬼どんどろ 欧州ツアー | イタリア ドイツ | アクアペンデンテ ミュンヘン ライブツイヒ | Teatro Boni Olympia park Schanbuhne Lindentels Pferderennbahn (競馬場) | 百鬼どんどろ | 07.07.15 07.07.05～ 07.07.08 07.07.11～ 07.07.12 07.07.13 | 演劇。等身大人形および仮面を使用。ミュンヘンの人形劇フェスティバル、ライブツイヒの日本演劇フェスティバル (OHAYO JAPAN) に参加。『化身』、『卍(まんじ)』を上演。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------------|----------------|--------------------------------|--|--------------|--|---|
| 33 | 狂言スペイン公演 | スペイン | クエンカ サンクレメンテ バルマ・デ・マリョルカ | クエンカ公立音楽堂 サンクレメンテ市立音楽堂 キンハイ盆栽学校中庭 | 田賀屋狂言会 | 07.06.27 07.06.28 07.07.01 | 古典芸能。スペイン3都市にて、十三世茂山千五郎を主演に『神鳴』『濯ぎ川』等を上演。 |
| 34 | エド・ピグマリオン 07/08『牡丹燈籠』 | フランス | パリ | パリ日本文化会館 | ファイブ・ディー株式会社 | 07.12.13～ 07.12.15 | 人形芝居。パリ日本文化会館10周年記念事業の一環として、音楽劇『牡丹燈籠』を上演。田中純らによる江戸糸あやつり人形と、シンガーソングライターの中村中が共演。音楽はYas-Kaz、稲葉明德及びGOTH-TRAD。 |
| 35 | 増山美知子 ソプラノリサイタル 日印交流年として | インド | ニューデリー ブネ | トリベニ・カラ・サンガム劇場 MAZDA-HALL | 増山 美知子 | 07.11.19 07.11.21 | 音楽（声楽）。日印交流年を記念して、日本歌曲の紹介を通じて両国間の交流を促進。 |
| 36 | 第七劇場 韓国ツアー公演『現代舞踊能楽集 - 班女/葵上』 | 韓国 | ソウル 居昌 | Woosuk Repertory Theater Geobuk Theatre 亀岩野外劇場 | 第七劇場 | 07.08.03 07.08.06～ 07.08.07 | 現代演劇。鳴海康平演出『班女/葵上』（三島由紀夫原作）を上演。コチャン国際演劇祭参加。 |
| 37 | ステート・オブ・ザ・ワールド | ポルトガル | リスボン | Grand Auditorium | 櫻間會 | 07.06.13～ 07.06.15 | 伝統芸能（能楽）。金春流シテ方の櫻間右陣が、グルベンキアン財団主催「The State of the World」フェスティバルにて、『杜若』を上演。 |
| 38 | 『三人姉妹』アジアツアー2007 | フィリピン マレーシア | マニラ クアラルンプール | ロムロ劇場 クアラルンプール・パフォーマンス・アーツセンター | パパ・タラフマラ | 07.07.20～ 07.07.21 07.07.23～ 07.07.24 | 舞踊（コンテンポラリーダンス）。パパ・タラフマラが、チーフホフ『三人姉妹』をモチーフにしたオリジナル作品『三人姉妹』を上演。 |
| 39 | パリ音楽の日「ENKA」コンサート | フランス | パリ | パリ日本文化会館 | 株式会社千秋企画 | 07.06.21～ 07.06.22 | 音楽（歌謡曲）。キム・ヨンジャによる日本の大衆歌謡曲コンサート。戦後歌謡曲、演歌、シャンソンなど。仏音楽祭（年1回の無料音楽祭）参加。 |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|----------------------------|-------------------------------|---|---|--|---|
| 40 | クラシック ライブ協会 『森は生き ている PARTⅢ』 欧州公演 | スイス ドイツ フランス | ジュネーブ ハノー ヴァー パリ | 国連本部内 会議場 Lister Trum アメリカン チャーチ | 特定非営利 活動法人国 際連合活動 支援クラ シックライ ブ協会 | 07.04.30 07.04.28 07.05.03 | 音楽（ミュージカル）。ジュネーブ国連欧州本部にて、ミュージカル『森は生きている PART III～私たちの地球憲章～』を上演。ハノーバー、パリでコンサートとワークショップを実施。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------|------------|----------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------|---|
| 41 | GOCOO ヨーロッパ ツアー2007 | イタリア | フィレン ツェ | Italia Wave Festival | 有限会社タ ラ (和太 鼓グループ ゴクウ) | 07.07.18 | 音楽。和太鼓グループGocoo (ゴ クウ)が、ハンガリーのシゲット・ フェスティバルなど、欧州各地の サマーフェスティバルに参加。 |
| | | オーストリ ア | ドルンビル ン | Impuls festival | | 07.08.18 | |
| | | スイス | カンペール | Gampel Festival | | 07.08.19 | |
| | | スペイン | ハエン | Etnosur Festival | | 07.07.21 | |
| | | | カルタヘナ | La Mar de Musicas | | 07.07.23 | |
| | | ドイツ | ハノー ヴァー | Masala World Beat Fes | | 07.07.14 | |
| | | | ラインフェ ルデン | Gruen 07 | | 07.07.17 | |
| | | | コブレンツ | Horizonte Festival | | 07.07.28 | |
| | | | ミュンヘン | Brunnenhof der Residenz | | 07.07.29 | |
| | | | ヴェルセレ ン | Burg Wilhelmstein | | 07.08.01 | |
| | | | レーゲンス ブルク | Palazzo Festival | | 07.08.03 | |
| | | | フリードリ ヒスハー フェン | Kulturufer Festival | | 07.08.04 | |
| | | | タンバッハ | Tambacher Sommer festival | | 07.08.05 | |
| | | | ロットヴァ イル | Ferienzauber Festival | | 07.08.15 | |
| | | フィンラン ド | ヘルシンキ | Savor Theatre | | 07.07.11~ 07.07.12 | |
| | | フランス | ブローニュ シュルメー ル | Festopale | | 07.07.15 | |
| | | | ヴァンス | Festival les Nuits du Sud | | 07.08.10 | |
| | | | クロゾン | Festival du Bout du Monde | | 07.08.12 | |
| | | ベルギー | リーヴェン | Beleuvenissen Festival | | 07.07.27 | |
| | | ポルトガル | アゾレス | Mere De Agosto Festival | | 07.08.24 | |
| | | ハンガリー | ブダペスト | Sziget Festival | 07.08.08 | | |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------|--------|------------|---|-----------------------|----------------------------------|---|
| 42 | はむつんサーブ ウクライナ公演・ワークショップ | ウクライナ | ドニプロペトロウシク | Opera House | 特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センター | 07.04.21 | 舞踊（ストリートダンス）。ウクライナの「フリー・ダンス・フェスティバル」にて、「はむつんサーブ」の最新作を上演。 |
| 43 | 川口隆夫パフォーマンス『D.D.D.』 | シンガポール | シンガポール | シンガポール国立舞台芸術センター（エスプラネード・シアターズ・オン・ザ・ベイ） ザ・ストゥーディオ | プリコグ | 07.07.27～ 07.07.29 | パフォーマンス・アート。ダンサー/パフォーマーの川口隆夫が、倍音歌手/ビジュアルアーティストの山川冬樹とのコラボレーション作品『D.D.D.』を上演。 |
| 44 | アルマグロ国際古典演劇祭 | スペイン | アルマグロ | アルマグロ市立劇場 | 劇団クセックACT | 07.07.01～ 07.07.02 | 演劇。スペインの戯曲を上演する劇団クセックACTが、アルマグロ演劇祭で『ヌマンシア』を上演。 |
| 45 | 第14回シビウ国際舞台芸術祭 | ルーマニア | シビウ | シビウ野外ステージ Targu Mures | ZIPANG | 07.06.01 07.06.02 | 音楽。津軽三味線・和太鼓・尺八にギターやベース、シンセサイザー等を加えたZIPANGが、「シビウ国際芸術祭」に参加。和楽器紹介のワークショップも実施。 |
| 46 | 第9回国際日本音楽フェスティバル「日本の心」 | ロシア | モスクワ | モスクワ音楽院ラフマニノフホール | 沢井箏曲院・岩堀敬子研究室 | 07.09.07 07.09.17 07.09.19 | 邦楽（箏曲）。モスクワにおける「日本の心」フェスティバルにて公演。モスクワ音楽院の邦楽クラスと日本から参加するメンバーが、古典から現代曲まで演奏。 |
| 47 | UNESCO 平和記念コンサート | フランス | パリ | ユネスコ本部第一会議場 パリ日本文化会館 | 東京藝術大学音楽学部同声会 | 07.04.23 07.04.25 | クラシック音楽。東京藝術大学音楽学部附属高等学校オーケストラが、ユネスコ本部およびパリ日本文化会館で公演。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|------|--------------------------|---|------------------|--|---|
| 48 | 二期会グループブラジル公演 | ブラジル | フォス・ド・イグアスマリンガ サン・パウロ | 市ホテル音楽堂 マリンガ市立音楽堂 老人福祉施設「憩の園」 ブラジル日本文化福祉協会大講堂 ブルー・ツリー・コンベンション・センターホテル | 日本会議 | 07.07.10 07.07.12 07.07.14 07.07.15 07.07.18 | 音楽（唱歌など）。ブラジルのパンアメリカン日系人協会および海外日系人協会の招きにより、森敬恵（ソプラノ）らによる日本唱歌や童謡の公演を実施。 |
| 49 | キム・ウォン/グループコラボレーション OR インターナショナルコラボレーションワーク2007 | 韓国 | ソウル | Soul Arts Center, Jayu Theater | 特定非営利活動法人ダンスボックス | 07.12.02～ 07.12.03 | 舞踊（コンテンポラリーダンス）。振付家・ダンサーのキム・ウォンが主催する国際共同制作プロジェクトに、黒子さなえ及びきたまりが参加。 |
| 50 | コチャン国際演劇祭 | 韓国 | 居昌 | 亀劇場 | 黒谷 都 | 07.08.12～ 07.08.13 | 現代人形劇。人形遣いの黒谷都が、松沢香代（造形作家）創作の人形・オブジェと対等にかかわりながら、『循環崎系』を居昌（コチャン）国際演劇祭で上演。 |
| 51 | 密陽国際演劇祭 東京演劇アンサンブル韓国公演 | 韓国 | 密陽市 | 密陽演劇村プレヒト記念劇場 | 有限会社東京演劇アンサンブル | 07.08.03～ 07.08.04 | 現代演劇。作品『セチュアンの善人』を密陽（ミリャン）夏季演劇祭で上演。 |
| 52 | 2007香港国際-アジア現代音楽祭 | 中国 | 香港 | 香港文化中心音楽庁 | 長原 幸太 | 07.11.23 | 現代音楽。香港の国際音楽祭「World Music Days Hong Kong」における香港フィルハーモニー交響楽団の公演に、長原幸太（第1ヴァイオリン）と千葉清加（第2ヴァイオリン）が出演。 |
| 53 | 池の下 上海公演『狂人教育』 | 中国 | 上海 | 上海戯劇学院 劇場 Black Box | 池の下 | 07.10.16～ 07.10.21 | 現代演劇。長野和文が主宰する「池の下」が、上海戯劇学院主催「上海国際小劇場演劇祭」にて『狂人教育』を上演。 |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------------------|--------------|--|---|---|--|---|
| 54 | 2007年アジア現代劇フェスティバル参加公演 | 中国 | 上海 | 上海話劇芸術中心 D6STUDIO | ニット キャップシアター | 07.11.17～ 07.11.20 | 現代演劇。ごまのはえが主宰する「ニットキャップシアター」が、上海話劇芸術センター主催「アジア現代演劇祭」にて『男亡者の泣きぬるところ』を上演。 |
| 55 | 21世紀日中舞台芸術交流プロジェクト- 舞踏 | 中国 | 上海 麗江 北京 | 下河迷倉 (Down-Stream Garage) 屋外(農村、 湖畔等) 9個劇場 (Nine Theatre) 屋外(南横 街前兵馬 路) | R PRODUCTION | 07.10.23～ 07.10.24 07.10.26～ 07.10.28 07.10.30 07.10.31 | 舞踊(舞踏)。田中浪による公演。上海の第3回越界フリンジフェスティバルなど、各地で屋内外の公演、ワークショップを開催し、中国に舞踏を紹介。 |
| 56 | 日中文化・スポーツ交流年記念事業「京都府-陝西省文化交流事業 携手共進」 | 中国 | 西安 | 西安音楽学院 陝西省婦女 児童活動セ ンター 陝西師範大 学 陝西延安煉 油工場 | 京都陝西文 化交流事業 実行委員会 | 07.10.19 07.10.20 07.10.22 07.10.24 | 雅楽。中国・陝西省と姉妹関係を持つ京都府が、「いちひめ雅楽会」を派遣、陝西省3都市で公演。演目は管弦『越殿楽』、舞楽『陵王』など。 |
| 57 | 第3回日本-中国行為芸術交流展07 | 中国 | 北京 成都 西安 | 雨画廊 成都向上現 場芸術空間 ドンリジュ 公園 西安文理大 学講堂 方言当代芸 術空間 | 日本国際パ フォーマンス ・アー ト・フェス ティバル (ニパフ)実 行委員会 | 07.11.06～ 07.11.07 07.11.09 07.11.10 07.11.12 07.11.13 | パフォーマンス・アート。現代パフォーマンス・アートの芸術家が地元芸術家とともに交流展、ワークショップ、シンポジウムを実施。 |
| 58 | ミュージックフェア オブ ジャパン 2007 | ニュージ ーランド | オークラン ド ウェリント ン パーマスト ン・ノース | コンサート チェンバー アイロット シアター リージェン トシアター | 株式会社 ジャパン・ アーツ | 07.08.15 07.08.17～ 07.08.20 07.08.21 | クラシック音楽。在ニュージ ーランド日本公館、現地企業などが主 催する「MUSIC FAIR OF JAPAN 2007」にて、足立さつき (ソプラノ) 小林美恵(ヴァイオリ ン)、三船優子(ピアノ)が公演。 |
| 59 | ヤミーダンス公演『ももってきてちょうだい。』 | 米国 | ニューヨー ク | St.Mark's Church | yummydance (ヤミーダ ンス) | 07.10.11～ 07.10.13 | 舞踊(コンテンポラリーダンス)。 ジャパン・ソサエティ創立100周 年事業「Turning Japanese:日本 づくしのニュー YORK」企画に参 加。作品『ももってきてちょう だい』(得居幸・振付)を上演。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|---------------|--------------------|--|------------------|--|--|
| 60 | 英語による寄席公演「ニューヨーク繁昌亭」 | 米国 | ニューヨーク | セージシアター | 桂 かい枝 | 07.09.06～ 07.09.08 | 大衆芸能（演芸）。2006年大阪に誕生した寄席「天満天神繁昌亭」の舞台（落語・三味線漫談・太神楽・寄席の踊り・獅子舞・玉簾など）を、英語にて公演。 |
| 61 | 舞踏レクチャー、デモンストレーション、ワークショップ/2007年シカゴ | 米国 | シカゴ | Blushing Poppy Productions Silverspace Studio De Paul University Blushing Poppy Productions | 中嶋 夏 | 07.09.01～ 07.09.03 07.09.04～ 07.09.05 07.09.06 07.09.08 | 舞踊（舞踏）。米国シカゴの「Blushing Poppy Productions」の招聘により、舞踏ワークショップ、レクチャー、デモンストレーションを実施。 |
| 62 | ワークショップ「スクラッチ」レクチャー「日本におけるダンスとデジタルテクノロジー」 | アイルランド ドイツ | リマリック ベルリン | ダグダ・ダンスカンパニー DOCK11ポストシアター | 飯名 尚人 | 07.09.20～ 07.09.23 07.09.23～ 07.09.30 | メディア・アート。アイルランドのフェスティバル「Mediated Bodies」にてワークショップとレクチャーを実施。ドイツでは「日本におけるメディアテクノロジーとパフォーマンス」についてレクチャー。 |
| 63 | Here to Here | イタリア | フェラーラ | テアトロ・コミュニカレ | 勅使川原三郎+ KARAS | 07.11.23～ 07.11.24 | 舞踊（コンテンポラリーダンス）。勅使川原三郎『Here to Here』を上演。仏ル・アブルの劇場との協力により舞台装置をリメイク。 |
| 64 | ユニコーンシアター日本シーズン『ハローまるちゃん』特別公演 | 英国 | ロンドン | ユニコーンシアタークローアスタジオ | 有限会社 劇団風の子 | 08.03.11～ 08.03.30 | 児童演劇。ロンドンの児童会館ユニコーンシアターが企画する日本シーズンに招へいされ、日豪共同制作による作品『ハローまるちゃん』（演出：P. ウィルソン）を公演。 |
| 65 | 『QWERTY』+『SU』ショートヨーロッパツアー | 英国 フランス | ロンドン アンギャン・レ・バン | Middlesex 大学シアター Centre des Arts (CDA) Complexe Thermal | 石山 雄三 | 07.10.18 07.10.24 07.10.25 | 舞踊（コンテンポラリーダンス）。英ミドルセックス大学、および仏アンギャンレバン・アートセンターのフェスティバル「BAINS NUMERIQUES」にて、マルチメディア・ダンス作品を上演。ワークショップ、シンポジウム参加。 |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|--------------|--|--|---------------------------------|--|--|
| 66 | 琴・尺八 デュオ ブルガリア・ ツアー「第 18回日本文 化月間」ソ フィア・ フィルハー モニー公演 | ブルガリア | ソフィア キュステン ディル | ブルガリア ホール小 ホール ブルガリア ホール大 ホール 在ブルガリ ア共和国日 本大使公邸 ヴラディミ ル・ディミ トロフ・マ イストル美 術館ギャラ リー | 福原 左和 子 | 07.11.20 07.11.22 07.11.23 07.11.27 | 邦楽。福原左和子（琴）とジョン・ 海山・ネプチューン（尺八）のデュ オによる公演。ソフィア・フィル ハーモニーと共演。ブルガリアの 日本文化月間に参加。 |
| 67 | 「サウン ド・オブ・ ピース」 ポーランド 公演2008 | ポーランド | グダニスク | バルチッ ク・フィル ハーモニッ ク・コン サート ホール | 「サウン ド・オブ・ ピース」組 織委員会 | 08.01.26 | オルガンと伝統芸能。児玉麻里 （オルガニスト）の演出により、作 品『オルガンと高千穂神楽』及び 『オルガンと能舞』を上演。 |
| 68 | 創造交流の 実践事業 | ロシア | オムスク サンクト・ ペテルブル グ | オムスク国 立第5劇場 サンクト・ ペテルブル グ青少年劇 場 | 堀口 始 | 07.12.03～ 07.12.13 07.12.15 | 現代演劇。国立オムスク第5劇場 が上演する日本の作品『楽屋』（清 水邦夫作）に対し、堀口始（演出 家）が、ロシア人俳優の稽古指導 を実施。 |
| 69 | 萬狂言 欧 州文化首都 2007 二都 市公演 | ルーマニア | シビウ | ルーマニア 国立劇場 | 欧州文化首 都2007狂言 公演実行委 員会 | 07.08.16 | 伝統芸能（狂言）。2007欧州文化 首都のシビウにて、萬狂言（野村 万蔵家一門）が『雷』『棒縛り』を 上演。 |
| 70 | 日本・エジ プト50周年 記念文化交 流フェス ティバル | イタリア エジプト | ヴェネツィ ア カイロ ギーザ アレクサン ドリア | ベネチア 大学 オペラハウ ス ピラミッド アレキサン ドリア図書 館小ホール | 株式会社虹 インターナ ショナル | 08.03.11 08.03.06 08.03.07 08.03.08 | 民俗芸能ほか。日本・エジプト文 化協定締結50周年記念。おわら風 の盆、櫻間会（金春流能楽）、徳 江陽子（ピアノ）、斎藤アンジュ玉 緒（バイオリン）による公演。櫻 間会はベネチアに巡回。 |
| 71 | カイロ国際 実験演劇祭 参加公演 マレビトの 会『クリプ トグラフ』 | エジプト | カイロ | Miami Theatre | マレビトの 会 | 07.09.05～ 07.09.06 | 現代演劇。松田正隆の作・演出に よる『クリプトグラフ』をカイロ 国際実験演劇祭で上演。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------|-------|------------|----------------------------|------|-----------------------|--|
| 72 | S20ヨーロッパ・アメリカ公演 | 米国 | コロンバス | Wexner Center for the Arts | S20 | 07.10.01～ 07.10.07 | 舞踊（コンテンポラリーダンス）。「S20」（梅田宏明）による欧米・中東ツアー。演目は『while going to a condition』『Finore』『Duo』『Accumulated Layout』。 |
| | | イタリア | トリノ | Limone Fonderie Teatriali | | 07.09.22～ 07.09.24 | |
| | | | テルニ | CMM studio A | | 07.09.24～ 07.09.28 | |
| | | | ローマ | Teatro Palladium | | 07.12.02～ 07.12.06 | |
| | | スペイン | ビトリア | Museo ARTIUM | | 07.10.25～ 07.10.26 | |
| | | | ビルバオ | La FuNdiciOn | | 07.10.27～ 07.10.29 | |
| | | ドイツ | ベルリン | HAU ZWEI | | 07.11.26～ 07.11.29 | |
| | | フランス | リヨン | MAISON DE LA DANSE | | 07.09.15～ 07.09.22 | |
| | | | マルセイユ | montevideo | | 07.10.07～ 07.10.11 | |
| | | | マドリード | CUARTA PARED | | 07.10.16～ 07.10.22 | |
| | | | アンギャン・レ・バン | Centre des Arts | | 07.10.22～ 07.10.25 | |
| | | | ニーム | Theatre de Nimes | | 07.11.18～ 07.11.22 | |
| | | | ベルピニャン | Salle de Spectacle | | 07.11.22～ 07.11.25 | |
| | | | セン・メダール | Le Carre des Jalles | | 07.11.29～ 07.12.02 | |
| | | | パリ | パリ日本文化会館 | | 07.12.06～ 07.12.11 | |
| | | | アルカション | Arcachon Expansion | | 07.12.09～ 07.12.11 | |
| | | ポルトガル | リスボン | CULTURGEST | | 07.11.05～ 07.11.10 | |
| | | | ポルト | Auditorio de Serralves | | 07.11.16～ 07.11.18 | |
| | | レバノン | ベイルート | Al Madina Theatre | | 07.11.12～ 07.11.14 | |
| | | エジプト | カイロ | Rawabet Theatre | | 07.11.10～ 07.11.12 | |
| | | チュニジア | チュニス | Ness El fen - Hall | | 07.11.14～ 07.11.16 | |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---|---|--|----------------------------------|--|--|
| 73 | 千年の響き アメリカ公演 2008 | 米国 | ニューヨーク | コロンビア 大学 カーネギー ホール内ザ ンケル・ ホール ミルク・ ギャラリー | 千年の響き アメリカ公 演2008実行 委員会 | 08.03.13 08.03.14～ 08.03.15 08.03.16 | 音楽。東大寺正倉院に残る古代楽器（方響、拜簫など）を復元し、一柳慧ら日本人作曲家による現代音楽曲を演奏。コロンビア大学中世日本研究所との共催によりシンポジウム「音楽における伝統と現代」を開催。 |
| 74 | 箏・尺八・ ギター・ア ンサンブル コンサート ツアー | クロアチア セルビア ボスニア・ ヘルツェゴ ビナ | ザグレブ センタ ベオグラード サラエボ | マティ ツァ・フル ヴォッカ ホール センタ文化 劇場 ベオグラード 国立劇場 ハイアット ホテルアー リントンク ラブ リハーサル 国立劇場 | 市川 慎 | 08.02.13 08.02.06 08.02.07 08.02.08 08.02.11 | 音楽。箏の市川慎、菊池奈緒子、太宰満木、尺八の小湊昭尚、ギターの松尾俊介によるアンサンブル公演。 |
| 75 | Festival de L'Imaginaire での黒川能 公演 | フランス | パリ | 世界文化会 館Maison des Cultures du Monde | 黒川能保存 会 | 08.03.09～ 08.03.16 | 古典芸能（能）。パリ世界文化会館が主催する「想像の芸術祭」にて『紅葉狩』を上演。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------|----|---------------|---|-------------|-----------------------|--|
| 76 | 志多ら US ツアー2008 | 米国 | ロス・アン ジェルス | The Cerritos Center | 有限会社 志多ら | 08.03.28 | 邦楽(和太鼓・篠笛)。太鼓グルー プ「志多ら」による米国公演。ワー クショップや学童向け公演も実 施。 |
| | | | サンタ・ク ララ | College pf the Canyons Performing Arts Center | | 08.03.29 | |
| | | | サクラメン ト | Sacramento Memorial Auditorium | | 08.03.31 | |
| | | | チコ | Laxson Auditorium University of California Chico | | 08.04.03～ 08.04.04 | |
| | | | エスコン デード | California Center for the Arts | | 08.04.06 | |
| | | | サンルイス オビスポ | Harman Hall at Calpoly | | 08.04.08 | |
| | | | ウィッケン バーグ | Del E. Webb Center | | 08.04.10 | |
| | | | ファーミン トン | Henderson Fine Art Center | | 08.04.11～ 08.04.14 | |
| | | | ソコロ | Macey Center Theater | | 08.04.15～ 08.04.16 | |
| | | | ラスクルー セス | Las Cruces Rio Grande Theater | | 08.04.17 | |
| | | | シルバーシ ティ | WNMU Fine Arts Center Theater | | 08.04.18～ 08.04.19 | |
| | | | トゥーソン | The Fox Theater | | 08.04.20 | |
| | | | メーサ | Arizona Tom and Janet Ikeda Theater | | 08.04.22 | |
| | | | モアブ | Grand County Auditorium | | 08.04.24 | |
| | | | レックス バーグ | Idaho Hart Auditorium | 08.04.26 | | |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|-------------------------------------|--|--|---|--|---|
| | | | フェアバンクス アンカレジ | | Herington Auditorium Alaska center For Performing Arts | 08.04.30～ 08.05.01 08.05.01～ 08.05.05 | |
| 77 | 『シアター トライアングル Four Seasons』 オーストラリア公演 | オーストラリア | パース | Concert hall Main Auditorium | 人形芝居 燕屋 | 08.04.02～ 08.04.05 | 演劇（人形劇）。第20回国際人形劇連盟（UNIMA）世界大会への参加及び同大会と併催される世界人形劇フェスティバルでの公演。上演作品は『シアタートライアングル Four Seasons』。くすのき燕（同作品を構成・演出）は、パネル・ディスカッションへの参加やワークショップ実施も行った。 |
| 78 | 素浄瑠璃 韓国・中東 公演 | 韓国 | ソウル | ソウル総合芸術大学 ホール ソウル淑明女子大学 ホール ソウル国楽院ホール ソウル龍仁大学ホール | 訃傳の会 | 08.03.17 08.03.18 08.03.20～ 08.03.21 08.03.22 | 古典芸能（素浄瑠璃）。豊澤富助らによる義太夫節の解説と公演。演目は『冥途の飛脚』より「封印切の段」。韓国ではパンソリと義太夫節の比較研究ワークショップも実施。 |
| | | イスラエル | テルアビブ エルサレム テルアビブ | テルアビブ大学ホール ヘブライ大学ホール 在イスラエル日本大使館 | | 08.03.05 08.03.06 08.03.10 | |
| 79 | ディー・ブイ・ディー | オランダ スイス ドイツ ポーランド | アムステルダム ローザンヌ チューリヒ ジュネーヴ ベルリン ベルリン ワルシャワ ヴロツラフ | STEIM Le bourg Walcheturn Sputnik/PTR/ Usine House of World Cultures 103studio SALA LABORATORIUM Firlej | d.v.d (ディー・ブイ・ディー) | 08.02.07 08.02.13 08.02.14 08.02.15 08.01.29 08.01.30 08.02.09 08.02.10 | 音楽と映像。Jimanica（尾嶋優）及びItoken（伊藤憲司）によるツイン・ドラム演奏とYmg（山口崇司）による映像。ドラムを叩くことにより生じる振動を電気信号に変換し、映像を展開。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------|----------------|---|-----------------------------------|--------|-----------------------------------|---|
| 80 | 藤井郷子ソロ・トリオ・オーケストラ イン オーストラリア | オーストラリア | シドニー メルボルン | The Sound Lounge Bennetts Lane | 藤井 郷子 | 08.12.08 08.12.11～ 08.12.12 | 音楽（ジャズ）。藤井郷子（ピアノ）、田村夏樹（トランペット）、堀越彰（ドラム）による公演。豪州ミュージシャンと共演。メルボルン・ウィメンズ・ジャズ・フェスティバル参加。 |
| 81 | 伝統とテクノロジーの狭間で | イタリア | ローマ | 国際交流基金ローマ日本文化会館 | 曾我部 清典 | 08.01.30 | 音楽（トランペット&ピアノ）。演奏に反応し動き、音を奏でる映像とのインタラクティブ作品を公演。独自に開発したゼフェロス（スライド付きトランペット）を使用。日本人作曲家および現地作曲家の新作を含む作品を演奏、現地演奏家とも共演。 |
| | | フランス | パリ | 国際交流基金パリ日本文化会館 | | 08.01.16 | |
| | | | | パリ国際大学都市日本館 | | 08.02.01 | |
| | | | リモージュ | リモージュ大学 | | 08.02.04 | |
| | | イスラエル | テルアビブ ハイファ | ハ・ティバ ティコティン美術館 | | 08.01.24 08.01.26 | |
| | | | ラマト・ガン | バーリラン大学 | | 08.01.27 | |
| | | エジプト | カイロ | 国際交流基金カイロ事務所 | | 08.01.19 | |
| | | 82 | 鬼太鼓座 鬼の太鼓打ち | イタリア | | ブレシア ローマ パリ | |
| | | アスコリ・ピチューノ | Teatro Ventidio Basso | 08.03.01 | | | |
| | クロアチア | オシジェク | Dvorana Jug 2 | 08.02.14 | | | |
| | | チャコヴェツ ザグレブ | Centar za Kulturu Vatroslav Lisinski | 08.02.16 08.02.17～ 08.02.19 | | | |
| | | リエカ | Dvorana Mladosti Trsat | 08.02.20 | | | |
| | | ザグレブ | Vatroslav Lisinski | 08.02.21 | | | |
| | | スプリット | Theater HNK Split | 08.02.22 | | | |
| | スロベニア | リュブリャナ | Cankarjev Dom | 08.02.23 | | | |
| | セルビア | ベオグラード | Sava Centar | 08.02.12 | | | |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|-----------------|------------------------------------|--|--|---|--|
| 83 | 「プルシャ ルタ」イン ド公演 | インド | バンガロー ル チェンナイ デリー | ゲーティン スティ テュート RANGASHANKARA THEATRE MUSIC ACADEMY ゲーティン スティ テュート Kamani Auditorium | 日印共同企 画プルシャ ルタ上演プ ロジェクト (松尾邦 彦・濱中直 樹・松本充 明) | 08.02.07 08.02.08～ 08.02.09 08.02.13 08.02.14 08.02.16 | 現代舞踊及びメディアパフォー マンス。インド人振付家・ダンサー と日本人音楽・美術家によるメ ディアパフォーマンス。日本より 松尾邦彦(映像・作曲)、松本充明 (映像・演奏)、濱中直樹(舞台・ 照明デザイン)が参加。 |
| 84 | ピアノパラ リンピック ・デモン ストレー ションコン サート in ニューヨーク | 米国 | ニューヨー ク | 国際連合本 部ビル・ハ マーショル ドホール カーネギー ホール | 特定非営利 活動法人日 本障害者ピ アノ指導者 研究会 | 07.12.03 07.12.05 | 音楽。日本障害者ピアノ指導者研 究会主催の第2回ピアノパラリン ピック(2009年)に先駆け、障害 者によるピアノコンサートを開 催。国際障害者の日には国連本部 にて実施。 |
| 85 | 燐光群『屋 根裏』ヨー ロッパ・ツ アー | ドイツ フランス | フランクフ ルト・ア ム・マイ ン パリ | Gallus Theater パリ日本文 化会館 | 燐光群／有 限会社グッ ドフェロー ズ | 08.02.15～ 08.02.16 08.02.07～ 08.02.09 | 坂手洋二作・演出『屋根裏』の字 幕付き公演。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------|-------|-------------|---|------------------------------------|--|---|
| 86 | 国際コミュニケーション・エンゲージメント・プログラム | カンボジア | コンボン チャム | チュレイタ ソー小学校 クオルサー トウマイ聾 啞学校 コンボン チャム県 TTC ベンカック 中学校 CDCC CJCC キエンク リャンセン ター サクラクバ ルチュロイ 小学校 在カンボジ ア日本国大 使公邸 コラップム オイ小学校 王立芸術大 学ホール アキャモヘ イセイ小学 校 コンボンス プー県 TTC アンコール 小児病院 プノムクラ オム子ども センター | 特定非営利 活動法人 ミュージック・シェア リング | 07.12.21 07.12.22 07.12.22 07.12.22 07.12.23 07.12.23 07.12.24 07.12.24 07.12.24 07.12.25 07.12.25 07.12.26 07.12.26 07.12.27 07.12.27 | クラシック音楽。五嶋みどりと若手音楽家3名によるアンサンブルが、カンボジアの小中学校や芸術大学で公演。 |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------------|--------------------|--|--|--------------|---|--|
| 87 | 乙女文楽と 車人形 | オーストリア オランダ | インスブルック アムステルダム ロッテルダム ハーグ アイントホーフェン レイデン ユトレヒト ブレダ | ザルツラーゲル /Salzlager アムステルダム音楽堂 /Het Muziekgebouw ロッテルダム劇場 /Schouwburg Rotterdam リージェンツ劇場/De Regetes アイントホーヘン劇場 /Schouwburg リーゼ劇場 /Leidse Schouwburg ユトレヒト劇場 /Stadsschouwburg Utrecht チェイスシアター /Chasse Theater | 有限会社エル・オー・ピー | 08.03.11 08.03.05 08.03.07 08.03.08～ 08.03.09 08.03.13 08.03.16 08.03.17 08.03.20 | 古典芸能。乙女文楽（吉田光華）と八王子車人形（西川古柳）による公演。オランダ8都市の「ワールド・ミュージック・シアターフェスティバル」、オーストリアの「オスターフェスティバル」に参加。 |
| 88 | ポルトガル 日本太鼓公演（2008リスボン国際観光フェア） | ポルトガル | リスボン シントラ カスカイス | グルベンキアン財団第二講堂 国際見本市会場第4パビリオン 在ポルトガル日本大使公邸庭 シントラ市歴史地区王宮前広場 Nossa Senhora do Rosarjo校講堂 | 財団法人日本太鼓連盟 | 08.01.17 08.01.18～ 08.01.19 08.01.19 08.01.20 08.01.21 | 邦楽（和太鼓）。リスボンで開催される「国際観光フェア」会場他に橘太鼓・響座がレパートリー曲を演奏。 |

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|--------|------------|-----------------------|---------------------------|----------|--|
| 89 | 冴木杏奈 20th Anniversary Concert ～ あなたとと もに～ワ ールドツアー | アルゼンチン | コルドバ | リベルター ドル劇場 | 株式会社 ムーン ミュージッ ク | 08.03.01 | 音楽（タンゴ）。冴木杏奈が活動 20周年を記念し、各地のタンゴ楽 団と共演。プエノスアイレス市主 催第10回タンゴコンサート参加。 ブラジル移住100周年記念。 |
| | | ブラジル | サン・パウ ロ | SESC ヴィ ラ マリア ナ | | 08.03.09 | |
| | | ドイツ | ベルリン | アドミラス パラスト | | 08.03.18 | |
| | | フランス | パリ | シャンゼリ ゼ劇場 | | 08.03.31 | |
| | | ロシア | モスクワ | 国立グリン カ音楽博物 館 | | 08.03.24 | |

催し等事業費 (3) 国際舞台芸術共同制作

海外の専門家、公演団体および芸術祭等と共同で舞台芸術作品を制作、上演する。

合計額 62,123,803 円

| | 事業名 | 対象国 | 都市 | 会場 | 期間 | 共催団体 | 事業内容 |
|---|-------------------------------|---------------------------|---------------|---|-----------------------|---|--|
| 1 | 日印イラ ン・ウズベ キスタン現 代演劇 | インド ウズベキス タン イラン | 東京 ソウル | Bunkamura シアターコ クーン 南山ドラ マ・セン ター | 07.10.06～ 07.10.14 | 株式会社東 急文化村 ソウル・パ フォーミン グアーツ・ フェスティ バル | インド、イラン、ウズベキスタン との共同で基金が06年度に制作 し、07年1月にインドで初演した 演劇3部作を、07年度は東京とソ ウルで上演。ギリシャ悲劇の女性 に今日的な問題を照射しようとする 試みで、1部が『メデイア』、2部 が『イオカステ』、3部が『ヘレネ』。 各国から先鋭的な演出家と俳優が 参加し、日本は、全体をビジュアル 的に統合する舞台美術（現代 アートの中山ダイスケ）、音楽（国 広和毅）、照明、音響などを担当。 NHKでも全編放映された。 |
| 2 | 日本・ス ウェーデン オペラ | スウェーデ ン | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際ヴァド ステナ・ア カデミー | スウェーデンの国際ヴァドステ ナ・アカデミーとの協力により、 長田原（作曲家）のオペラ作品 『Four Nights of Dream』（夏目漱 石『夢十夜』を題材とする）を制 作。初演は2008年7月。 |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 対象国 | 都市 | 会場 | 期間 | 共催団体 | 事業内容 |
|---|--------------|-----------------|----|----------|-----------------------|---|---|
| 3 | 日比シガラポール現代演劇 | シンガポール フィリピン | 東京 | シアター・イワト | 07.07.02～ 07.09.18 | フィリピン教育演劇協会（PETA） 劇団 黒テント／有限会社 黒色テント 実践劇場 | 現代演劇。劇団黒テント（日本）、実践劇場（シンガポール）及びPETA（フィリピン）による国際共同制作。V. サルドウの戯曲『ラ・トスカ』を現代的視点から取り上げ、東京で上演。 |

催し等事業費 (4)国内公演（助成）

ODA対象国（アジア・東欧については全域）の優れた舞台芸術や芸能の招へい公演（日本の芸術家との国際共同制作を含む。）を行う日本の団体に対し、経費の一部を助成する。

合計額 23,417,000 円

| | 事業名 | 参加国 | 参加人数 | 開催都市 | 助成対象団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|--|--|-----------------------|--|
| 1 | 南京民族楽団 日本公演 | 中国 | 17 | 守山市 大阪市 兵庫県その他 | 龔林音楽事務所 | 07.10.23～ 07.10.30 | 音楽（民族音楽）。南京民族楽団の首席奏者、ソリストら中国人音楽家の招聘公演。日本人で構成する「オーケストラ華夏」と共演。 |
| 2 | 2007国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ | 韓国 クロアチア ロシア パレスチナ ヨルダン | 10 7 26 7 12 | 沖縄市 | 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ実行委員会<キジムナーフェスタ実行委員会> | 07.07.15～ 07.07.30 | 現代演劇。世界各国の劇団を沖縄に招へいし、親子で楽しめる作品を上演。助成対象は、クロアチア、ロシア、パレスチナ、ヨルダン、韓国。 |
| 3 | OSAKA IN THE WORLD 2007 ～グルジア編～ | グルジア | 21 | 河内長野市 貝塚市 橋本市 泉南市 奈良市 八尾市 | OSAKA IN THE WORLD実行委員会 | 07.10.06～ 07.10.27 | 民族舞踊。グルジアの民族舞踊団「THE ENSEMBLE IMERI」が大坂・奈良・和歌山の6市町村で公演。公演団員はホームステイや学校訪問を通じて各地市民と交流。 |
| 4 | 第28回草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバル | チェコ ハンガリー | 4 1 | 群馬県その他 三鷹市 | 財団法人 関信越音楽協会 | 07.08.16～ 07.08.31 | クラシック音楽。群馬県草津町で毎年開催される「草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバル」に海外音楽家を講師として迎え、プロを目指す若手音楽家に個人レッスンを実施。講師による演奏会も開催。 |

| | 事業名 | 参加国 | 参加人数 | 開催都市 | 助成対象団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---------------------------------|-------------------|--------------------------|---------------------------------|-----------------------|--|
| 5 | ラテンフェスティバル・アニメテ! | キューバ メキシコ アルゼンチン コロンビア | 1 18 5 7 | 東京23区 福岡市 | 特定非営利活動法人 ティエンポ・イベロアメリカーノ | 07.11.02～ 07.11.05 | 音楽および舞踊。スペイン・ポルトガル語を母国語とするイベロアメリカ諸国と日本の文化交流を促進するフェスティバル。タンゴ・ネグロ・トリオ（アルゼンチン）、カフエ・タクバ（メキシコ）、カバス（コロンビア）、ラファエル・エスピラノ（キューバ）を招へい。 |
| 6 | ミュージック&リズムスin FUJI 2007 アジア-NEWS (North, East, West, South)～新しい地球へのパースペクティブ～ | 韓国 モンゴル インド | 7 3 5 | 富士市 | 株式会社鬼太鼓座 | 07.10.30～ 07.11.05 | 音楽（和太鼓、民族音楽）。富士山の麓を本拠地とする「鬼太鼓座」が、韓国、モンゴル及びインドから音楽家を迎え、ワークショップと合同公演を実施。出演は、シン・ヒヨン（韓国）、バットザナー・オルギルマ（モンゴル）、Marath Vinod（インド）ほか。 |
| 7 | 第23回＜東京の夏＞音楽祭2007 島へー海を渡る音 | キューバ ハイチ | 5 10 | 東京 武蔵野市 | 財団法人ア リオン音楽 財団 | 07.07.09～ 07.08.01 | 音楽（民族音楽）。第23回＜東京の夏＞音楽2007にて、ハイチの民衆宗教ヴードゥーの儀礼音楽、現代キューバの音楽運動「ヌエバ・トロバ（新しい歌）」において中心的役割を果たした音楽家たちを紹介。 |
| 8 | 東京国際芸術祭2008 | アルゼンチン | 12 | 東京 | NPO法人 アートネット ワーク・ ジャパン | 08.03.03～ 08.03.10 | 現代演劇。東京国際芸術祭2008にて、アルゼンチンのダニエル・ベロネッセ演出『溺れる男』を上演。 |
| 9 | インター・プロピゼーションフェスティバル2007 | 南アフリカ | 1 | 東京 京都市 甲府市 名古屋市 | 有限会社メ ディアル ネッサンス | 07.09.30～ 07.10.09 | 音楽（ジャズ）。原田依幸（ピアノ）が、南ア共和国のルイス・モホロ（ドラム）や、ヘンリー・グライムス（ベース）、トリスタン・ホンジンガー（チェロ）ら欧米各国のソロ演奏家とともに公演。 |
| 10 | 韓国伝統音楽と舞踊公演「滅紫月」 | 韓国 | 2 | 東京 | 滅紫月実行 委員会 | 07.11.23～ 07.11.25 | 音楽。韓国伝統音楽の若手演奏家による公演。出演は、金龍河（ヘグム、チャンゴ）、郭宰赫（テピョンソ、ピリ）、張理香（カヤグム、ヒョングム）他。 |

舞台芸術事業費

| | 事業名 | 参加国 | 参加人数 | 開催都市 | 助成対象団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------------------|-----|------|------|---|-----------------------|---|
| 11 | 第11回アジア小劇場演劇ネットワーク2007アリスフェスティバル2007 | 韓国 | 17 | 東京 | 特定非営利活動法人同時代演劇の研究と創造を結ぶアクティビティ(NPO ARC) | 07.12.20～ 07.12.24 | 現代演劇。第25回アリスフェスティバル2007に、韓国より劇団前進シアター『壁と窓と』、演劇集団・反『スーパーマンとターザンの愛』を招聘。 |

催し等事業費 (5) 舞台芸術情報交流 (催し)

国内外で開催される舞台芸術見本市や芸術祭、ウェブサイト、印刷物等を通じて、日本の舞台芸術に関する情報を海外へ発信するとともに、専門家間の交流を促進する。

合計額 66,245,565 円

| | 事業名 | 国 | 関係団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------|---------|-----------------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 舞台芸術ウェブサイト | 全世界区分困難 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日英2ヶ国語ウェブサイト「Performing Arts Network Japan」を運営し、日本の現代舞台芸術情報を海外に発信。インタビュー記事やデータベース等を通じて、舞台芸術分野における国際交流の活性化に寄与。07年度は英文ガイドブック『THEATER IN JAPAN』を作成し、内外の見本市等にて関係者へ配布。 |
| 2 | 東京芸術見本市2008 | 全世界区分困難 | NPO法人国際舞台芸術交流センター 財団法人地域創造 | 08.03.05～ 08.03.08 | 日本の舞台芸術の国際的なマーケットへの紹介、舞台芸術のための総合的なマーケット作りを目指すとともに、海外からの舞台芸術関係者の招聘等を通して、国内外の関係者間の情報交流・人的交流を促進。 |
| 3 | 中国J-POPテレビ・ラジオ番組制作 | 中国 | (株)NHKエンタープライズ 財団法人音楽産業・文化振興財団 | 07.04.01～ 07.12.31 | (株)NHKエンタープライズとの協力により、J-POP紹介テレビ番組『音楽物語 in Japan』を中国内陸部のテレビ各局で放映。また、財団法人音楽産業・文化振興財団との協力により、J-POP紹介ラジオ番組『音楽新幹線』を中国内陸部のラジオ局で放送。 |
| 4 | インドネシアJ-POPラジオ番組制作 | インドネシア | | 08.01.01～ 08.12.31 | インドネシア向けに日本のポップスおよび文化情報を紹介するラジオ番組「TOKYO BEAT III」を制作、同国各地のラジオ局計99局と提携し、2008年を通じて放送。日本インドネシア国交樹立50周年記念。 |
| 5 | 米国・地方芸術見本市ブース出展等 | 米国 | | 07.08.27～ 07.09.28 | 米国の地方の舞台芸術関係者が一同に会する見本市①Western Arts Alliance Annual Conference(カリフォルニア州ロサンゼルス)、および②Performing Arts Exchange(ケンタッキー州ルイスヴィル)にブースを出展し、日本の現代舞台芸術情報を発信。 |

| | 事業名 | 国 | 関係団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------|--|-------------------------------|-----------------------|--|
| 6 | 日本オペラ・バレエ公演海外発信促進事業 | 全世界区分困難 | | 07.10.01～ 08.06.30 | 日本の優れた舞台芸術に対する海外の関心を高めるため、対外発信力のある在京各国大使・文化担当官、商工会議所代表者等に舞台公演を鑑賞する機会を提供。 |
| 7 | 日中演劇交流50年展 in 北京 | 中国 | 「日中演劇交流50年展 in 北京」 日本実行委員会 | 08.01.05～ 08.01.11 | 過去50年にわたる日中演劇交流を回顧、展望するパネルディスカッションと展示。 |
| 8 | アジア現代演劇プロジェクト | インドネシア シンガポール タイ フィリピン マレーシア | 世田谷パブリックシアター | 08.02.14～ 08.02.23 | 世田谷パブリックシアターとの共催により、アジア各国から現代演劇関係者を招聘し、演劇公演『ブレイク・イング』『オン/オフ』、ワークショップ、シンポジウムを実施。 |
| 9 | 東京の夏音楽祭22年の歩み冊子 | 全世界区分困難 | 財団法人アリオ ン音楽財団 | 07.05.07～ 08.03.31 | 国際フェスティバル調査研究事業として、2006年で22回を迎える「〈東京の夏〉音楽祭」を採り上げ、冊子『〈東京の夏〉音楽祭22年の歩み Tokyo Summer Festival 1985-2006』を作成。 |
| 10 | 燐光群『屋根裏』字幕ドイツ語翻訳 | ドイツ | | 07.11.01～ 08.02.25 | 燐光群『屋根裏』（坂手洋二作・演出）のフランクフルト公演に合わせ、ドイツ語字幕を制作。 |

文化芸術交流事業に必要な経費

映像出版事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 映像出版情報交流（招へい）
- (2) アニメ文化大使

2. 催し等事業費

- (1) 海外日本映画際（主催）
- (2) 海外日本映画際（助成）
- (3) 国内映画際（主催）
- (4) 国内映画際（助成）
- (5) 日本マンガ大賞
- (6) 映画出版情報交流（催し）

3. 文化資料事業費

- (1) テレビ番組交流促進
- (2) フィルムライブラリー充実（本部）
- (3) フィルムライブラリー充実（海外）
- (4) 国際図書展参加
- (5) 映像出版情報交流（文化資料）

4. 日本研究事業費

- (1) 映画・テレビ番組制作（助成）
- (2) 出版・翻訳（主催）
- (3) 出版・翻訳（助成）

映像出版事業費

人物交流事業費 (1)映像出版情報交流 (招へい)

国際交流基金が日本国内で行う事業にあわせて、映像・出版分野における専門家を海外から招へいし、シンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 1,159,494 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|--|----------------------|-----------------------|--------|-----------------------|------------------------------|
| 1 | アラブ映画祭2008 (19年度) | Sandra Madi Mohammed Khan Nejib Belkadhi | 映画監督 映画監督 映画監督 | ヨルダン エジプト チュニジア | ぴあ株式会社 | 08.03.17～ 08.03.25 | アラブ映画の上映。ゲストを招へいし、シンポジウムを開催。 |

人物交流事業費 (2)アニメ文化大使

ポップカルチャーを通じた文化外交の一環として、複数言語による字幕版アニメDVDを製作する。

合計額 5,747,416 円

| | 事業名 | 国 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------|---------|----------------|-----------------------|---|
| 1 | アニメ文化大使 | 全世界区分困難 | 外務省 株式会社小学館 | 07.06.01～ 08.03.31 | ポップカルチャーを通じた文化外交の一環として、アニメ文化大使を創設、ドラえもんが就任。在外公館及び基金海外事務所主催の上映会用に映画『ドラえもん のび太の恐竜2006』の4カ国語字幕版DVDを製作。 |

催し等事業費 (1)海外日本映画祭 (主催)

在外公館や国際交流基金海外事務所が実施する日本映画上映事業への協力を行う。

合計額 32,260,911 円

| | 事業名 | 国 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------|-------|--|-----------------------|--|
| 1 | インド巡回映画祭 | インド | ニューデリー事務所 在インド大使館 在コルカタ総領事館 在チェンナイ総領事館 在ムンバイ総領事館 | 07.08.20～ 08.02.02 | ニューデリーでは総理訪印時に、2007年日印交流年「インドにおける日本年」事業の一環として『フラガール』『ALWAYS 三丁目の夕日』他計5作品を上映。5都市で実施（ニューデリー、チェンナイ、コルカタ、バンガロール、ムンバイ）。 |
| 2 | 日本映画祭 (マレーシア) | マレーシア | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター | 07.08.21～ 07.09.02 | 『リンダ リンダ リンダ』『バーバー吉野』『パッチギ!』他計8作品を上映。2都市巡回（クアラルンプール、ペナン）。 |

映像出版事業費

| | 事業名 | 国 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|--------|---------------------|-----------------------|---|
| 3 | 日本映画祭（シンガポール） | シンガポール | 在シンガポール大使館 | 07.09.20～ 07.09.23 | 『ええじゃないか』『榎山節考』『命』他計14作品を上映。 |
| 4 | 成瀬巳喜男監督特集上映会 | イタリア | 国際交流基金ローマ日本文化会館 | 07.10.02～ 08.01.29 | 『山の音』、『浮雲』他の成瀬巳喜男の32作品を上映。 |
| 5 | 日本の映画製作会社の歴史シリーズ第一弾：日活特集 | フランス | 国際交流基金パリ日本文化会館 | 07.10.02～ 07.10.27 | 『藤原義江のふるさと』（溝口健二）、『丹下左善余話 百万両の壺』（山中貞雄）、『執炎』（蔵原惟繕）等、日活映画33作品を上映。 |
| 6 | 鈴木清順監督大特集 | フランス | 国際交流基金パリ日本文化会館 | 07.05.31～ 07.07.05 | 『東京流れ者』、『殺しの烙印』、『オペレッタ狸御殿』等、鈴木清順の27作品を上映。 |
| 7 | A Life More Ordinary: A Portrait of Contemporary Japanese People on Film | 英国 | 国際交流基金ロンドン事務所 | 08.02.09～ 08.03.22 | 『いつか読書する日』（緒方明）、『下妻物語』（中島哲也）他全6作品をロンドン、ブリストル、ベルファスト、エディンバラ、シェフィールドの5都市で巡回上映。 |
| 8 | 第11回ソウル国際漫画・アニメーションフェスティバル（SICAF2007） | 韓国 | 国際交流基金ソウル日本文化センター | 07.05.23～ 07.05.27 | 今年度は「日本」を特集し、『パプリカ』『時をかける少女』『秒速5センチメートル』『フロン・ファミリー』の他、2007年文化庁メディア芸術祭で上映された作品から14作品を選定し、『ベスト日本アニメーション』を上映。また、新海誠、細田守を招へい。 |
| 9 | 日本映画週間（モンゴル） | モンゴル | 在モンゴル大使館 | 07.12.07～ 07.12.11 | 「モンゴルにおける日本年」事業の一環として日本映画週間を開催。『Wの悲劇』『用心棒』『ふくろう』『ファンシィダンス』『銀河鉄道999』を各1回上映。 |
| 10 | 第9回ジャカルタ国際映画祭 | インドネシア | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター | 07.12.07～ 07.12.16 | 『武士の一分』『フラガール』『パプリカ』の3作品を上映。 |
| 11 | 日本映画祭（バンコク） | タイ | 国際交流基金バンコク日本文化センター | 08.01.18～ 08.01.25 | 『しとなやか獣』『どぶ』『祇園囃子』他計10作品を上映。岡田秀則（東京国立近代美術館フィルムセンター主任研究員）を招へいし、オープニング上映の前にトークセッションを実施。 |
| 12 | 日本映画祭（ベトナム） | ベトナム | 在ベトナム大使館 | 07.10.05～ 07.10.07 | 『たそがれ清兵衛』『キッズリターン』『アドレナリンドライブ』の3作品を上映。2都市巡回（ハイフォン、ホーチミン）。 |
| 13 | 日本映画祭（ホーチミン） | ベトナム | 在ホーチミン総領事館 | 07.11.09～ 07.11.16 | 『たそがれ清兵衛』『キッズリターン』『アドレナリンドライブ』の3作品を上映。2都市巡回（ハイフォン、ホーチミン）。 |

| | 事業名 | 国 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------|-----------------|-------------------------|--|--|
| 14 | 日本映画祭 (ミャンマー) | ミャンマー | 在ミャンマー大使館 | 08.01.23～ 08.02.28 | 『どら平太』『菊次郎の夏』『たそがれ清兵衛』の3作品を上映。2都市巡回(ヤンゴン、マンダレー)。 |
| 15 | 日本映画祭(ラオス) | ラオス | 在ラオス大使館 | 07.11.02～ 07.11.11 | 『椿三十郎』『菊次郎の夏』『どら平太』他計10作品を上映。 |
| 16 | 第6回アンカラ 日本映画祭 | トルコ | 在トルコ大使館 | 08.03.22～ 08.03.25 | 『Always 三丁目の夕日』(山崎貴)、『シコふんじゃった』(周防正行)、『羅生門』(黒澤明)等、計8作品を上映。 |
| 17 | 第5回イスタンブール 日本映画祭 | トルコ | 在イスタンブール総領事館 | 08.03.13～ 08.03.16 | 『羅生門』(黒澤明)、『檜山節考』(今村昌平)、『Always 三丁目の夕日』(山崎貴)等、計8作品を上映。 |
| 18 | 日本映画祭(南アフリカ) | 南アフリカ | 在南アフリカ共和国大使館 | 08.02.29～ 08.03.27 | 『ガラスのうさぎ』(四分一節子)、『たそがれ清兵衛』(山田洋次)、『ファンシイダンス』(周防正行)等、計6作品をケープタウン、プレトリア、ヨハネスブルグの3都市で上映。 |
| 19 | 第1回アルジェ 日本映画週間 | アルジェリア | 在アルジェリア大使館 | 07.11.10～ 07.11.15 | 『隠し剣 鬼の爪』『武士の一分』『たそがれ清兵衛』等、山田洋次の計3作品を上映。また同監督による講演を実施。 |
| 20 | 日本映画週間 (セネガル) | セネガル | 在セネガル大使館 | 07.06.25～ 07.06.30 | 『ジャングル大帝』(竹内啓雄)、『用心棒』(黒澤明)、『生まれてはみたけれど』(小津安二郎)等、計5作品を上映。 |
| 21 | カンパラ日本映画祭 | ウガンダ | 在ウガンダ大使館 | 08.01.25～ 08.01.29 | 『ホテル・ハイビスカス』(中江裕司)、『ファンシイダンス』(周防正行)、『ガラスのうさぎ』(四分一節子)等、計4作品を上映。 |
| 22 | サモア日本映画祭 | サモア | 在ニュージーランド大使館 | 08.02.11～ 08.02.13 | 『ピンポン』(曾利文彦)、『ナビィの恋』(中江裕司)を上映。 |
| 23 | ウェリントン日本祭 | ニュージーランド | 在ニュージーランド大使館 | 08.01.24～ 08.01.26 | 『ピンポン』(曾利文彦)、『ナビィの恋』(中江裕司)等3作品を上映。 |
| 24 | 第11回巡回日本映画祭 | オーストラリア | 国際交流基金シドニー日本文化センター | 07.10.16～ 07.12.08 | 『パッチギ!』(井筒和幸)、『春の雪』(行定勲)『リンドリンドリンド』(山下敦弘)等、計20作品を上映。また緒方明の招聘、第6回日豪学生映画フォーラムを実施。 |
| 25 | 『幻想映画の先駆者-中川信夫監督特集』 | アルゼンチン コロンビア | 在アルゼンチン大使館 在コロンビア大使館 | 07.05.04～ 07.05.11 07.08.10～ 07.09.02 | 『エノケンのとび助冒険旅行』『私刑(リンチ)』『さすらいの旅路』他、中川信夫作品全8本を各3～4回上映。 |
| 26 | 名作20本に見る 日本映画史 | ブラジル | 国際交流基金サンパウロ日本文化センター | 08.02.20～ 08.03.10 | 本部FLより『東京の合唱』『裸の鳥』『乱れ雲』他計10本、ブラジルFL及びブラジル銀行文化センターより『ハウルの動く城』『東京物語』『タンポポ』他計10本、合計20本を各2～4回上映。 |

映像出版事業費

| | 事業名 | 国 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------|--|---|-----------------------|--|
| 27 | 今村昌平監督特集 (メキシコ) | メキシコ | 国際交流基金メキシコ日本文化センター | 07.07.12～ 07.07.22 | 『にっぽん昆虫記』『エロ事師たちより人類学入門』『神々の深き欲望』『復讐するは我にあり』『ええじゃないか』『楢山節考』等計10作品を各2回上映。 |
| 28 | 日本映画上映会 (ホンジュラス) | ホンジュラス | 在ホンジュラス大使館 | 07.10.17～ 07.10.21 | 『ガラスのうさぎ』『学校』『学校Ⅲ』『息子』『ちびまる子ちゃん』の計5本を各1回上映。 |
| 29 | 第41回日本映画祭 | ロシア | 在サンクトペテルブルグ総領事館 在ロシア大使館 | 07.09.25～ 07.11.28 | 『リンダリンダリンダ』『半落ち』等、露語FL作品及び本部FLより新作7作品を上映 |
| 30 | 第9回日本映画レトロスペクティヴ | ロシア | 在ロシア大使館 | 07.09.25～ 07.10.07 | 『女』『二十四の瞳』等、木下恵介特集上映 |
| 31 | 東欧巡回日本映画祭 | オーストリア ギリシャ クロアチア チェコ ハンガリー ブルガリア ベラルーシ ポーランド ボスニア・ヘルツェゴビナ ラトビア リトアニア ルーマニア | 在オーストリア大使館 在ギリシャ大使館 在クロアチア大使館 在チェコ大使館 ブダペスト事務所 在ブルガリア大使館 在ベラルーシ大使館 在ポーランド大使館 在ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館 在ラトビア大使館 在リトアニア大使館 在ルーマニア大使館 | 07.06.14～ 07.06.20 | 『三文役者』『GO』『深呼吸の必要』『リアリズムの宿』『鏡の女たち』『アカルイミライ』『卓球温泉』計7作品を上映 |
| 32 | 中西部大学巡回日本映画上映会 | 米国 | ニューヨーク事務所 | 08.01.22～ 08.03.28 | 『空中庭園』『リンダリンダリンダ』『ウォーターボーイズ』『月はどっちにでている』『パッチギ!』をシカゴ大学(シカゴ)、アイオワ大学(アイオワシティ)など7都市の大学で上映。 |
| 33 | カナダ巡回映画祭 | カナダ | 国際交流基金トロント日本文化センター | 07.10.06～ 07.10.13 | 『ホテル・ハイビスカス』『たそがれ清兵衛』『下妻物語』『ガラスのうさぎ』の4本をトロント、ハミルトンで上映。 |

| | 事業名 | 国 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------|-------|-----------------|-----------------------|--|
| 34 | カナダ巡回日本映画祭 | カナダ | 在カナダ大使館 | 07.09.13～ 07.11.10 | 『ホテル・ハイビスカス』『たそがれ清兵衛』『下妻物語』『ガラスのうさぎ』をオタワ、バンクーバー、モントリオールなど9都市で上映。 |
| 35 | 五所平之助監督特集（ケルン） | ドイツ | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | 08.03.03～ 08.06.30 | 『マダムと女房』、『今ひとたびの』、『煙突の見える場所』等、五所平之助の24作品を上映。 |
| 36 | 山村浩二監督作品・アニメーション映画特集 | ドイツ | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | 07.11.05～ 07.12.20 | 『くもとちゅうりっぷ』（政岡憲三）、『人間動物園』（久里洋二）、『コーヒーブレイク』（古川タク）などのアニメーション51作品を上映。 |
| 37 | 日本映画祭（ヤングシネマ） | フィリピン | 国際交流基金マニラ事務所 | 07.06.20～ 07.07.31 | 『金融破滅ニッポン 桃源郷の人々』『青い春』『害虫』他計10作品を上映。2都市巡回（マニラ、セブ）。 |
| 38 | 日本映画祭（カンボジア） | カンボジア | 在カンボジア大使館 | 08.02.01～ 08.02.03 | 『ファンシイダンス』『ウォーターボーイズ』『銀河鉄道999』『のど自慢』の4作品を上映。 |
| 39 | 国際サイレント映画祭 | フィリピン | 国際交流基金マニラ事務所 | 07.09.06～ 07.09.20 | 日独西3カ国から各1本ずつの無声映画を選び、フィリピン人音楽家による生演奏と共に上映。日本からは『雄呂血』を出品。 |
| 40 | 2007上海・日本映画週間 | 中国 | 在上海総領事館 | 07.06.17～ 07.06.23 | 上海映画祭会期中に日本映画週間を実施。『武士の一分』『眉山-びざん-』『東京タワー』『バッテリー』『NANA』など、新作日本映画13作品を各2～4回上映するとともに、山田洋次、犬童一心の2監督を派遣。 |

| | |
|--------|-----------------|
| 催し等事業費 | (2) 海外日本映画祭（助成） |
|--------|-----------------|

海外の国際映画祭、芸術祭、映画専門団体が企画・実施する日本映画上映事業を助成する。

合計額 22,405,611 円

| | 事業名 | 国 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------|--------|-------------------|-----------------------|--|
| 1 | 第6回アジアン・フィルムフェスティバル | インド | アジア・フィルム・ファンデーション | 07.11.02～ 07.11.08 | 黒澤明の特集上映として計8本上映。板倉真琴を、短編映画部門の審査員として招へい。 |
| 2 | 第20回シンガポール国際映画祭 | シンガポール | シンガポール国際映画祭事務局 | 07.04.18～ 07.04.30 | 『M』『ふるさと JAPAN』『A Zen Life』の計3本を上映。 |
| 3 | アテネ国際映画祭 | ギリシャ | アテネ・フィルム・ソサエティ | 07.09.19～ 07.09.30 | 『鉄コン筋クリート』（マイケル・アリアス）、『腑抜けども 悲しみの愛を見せろ』（吉田大八）、『聖獣学園』（鈴木則文）等、計5作品を上映。 |

映像出版事業費

| | 事業名 | 国 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------|--------|---|-----------------------|--|
| 4 | 第8回ハンブルク日本映画祭 | ドイツ | ニホン・メディア | 07.05.16～ 07.05.20 | 『14歳』（廣末哲万）、『バルトの楽園』（出目昌伸）、『バームクーヘン』（柿本ケンサク）等、計40作品を上映。女優の高島礼子等の招へい、展示やライブパフォーマンスも実施。 |
| 5 | 第14回シュトゥットガルト国際アニメ映画祭 | ドイツ | 映像メディアフェスティバル社 | 07.04.26～ 07.05.01 | 短編アニメーション17作品を上映。また映画人を多数招へい。 |
| 6 | 第7回ニッポン・コネクション | ドイツ | ニッポン・コネクション事務局 | 07.04.18～ 07.04.22 | 『ストロベリーショートケイクス』（矢崎仁司）、『蟲師』（大友克洋）等、スキップシティ、びあフィルムフェスティバル、NHKデジスタ他と協同したプログラムを上映。日本から映画人を招聘、日本映画・文化（料理・書道・俳句他）に関するパフォーマンス・講演・パネルディスカッションを開催。 |
| 7 | 成瀬巳喜男監督特集（ベルリン） | ドイツ | ベルリン映画友の会 | 07.04.01～ 07.04.30 | 『めし』『おかあさん』『乙女ごころ三人姉妹』等、成瀬巳喜男の計10作品を上映。 |
| 8 | 成瀬巳喜男監督特集（フランクフルト） | ドイツ | フランクフルト映画博物館 | 07.04.01～ 07.05.22 | 『乙女ごころ三人姉妹』『鶴八鶴次郎』『旅役者』等、成瀬巳喜男の計22作品を上映。 |
| 9 | PANORAMA DU CINEMA JAPONAIS | スイス | CAC-Voltaire Centre d'animation cinematographique | 07.11.05～ 07.12.02 | 『晩春』（小津安二郎）、『楢山節考』（今村昌平）『愛の亡霊』（大島渚）等、計22作品を上映。 |
| 10 | 日本アニメの歴史 | フィンランド | フィンランド・フィルム・アーカイブ | 07.09.01～ 07.10.31 | 基金FLよりプリントを借用し、『アニメの誕生』『アニメと第二次世界大戦』等の特集や『鉄腕アトム』（手塚治虫）『銀河鉄道999』（松本零司）等、計12作品を上映。 |
| 11 | ロッテルダム映画祭 | オランダ | ロッテルダム国際映画祭事務局 | 08.01.01～ 08.02.29 | 『EX MACHINA-エクスマキナ-』（荒牧伸志）、『叛逆次郎の恋』（石井裕也）等、計38作品を上映。また上映作品の監督等を多数招へい。 |
| 12 | カメラジャパン2007 | オランダ | タマゴ財団 | 07.04.27～ 07.07.19 | 『鉄コン筋クリート』（マイケル・アリアス）、『Hana-Bi』（北野武）等、計28作品を上映、また上映作品の監督や映画人等を多数招へい、展示やコンサート等を実施。 |
| 13 | ウィーン国際映画祭2007 | オーストリア | ウィーン国際映画祭事務局 | 07.10.19～ 07.10.31 | 『殞の森』（河瀬直美）、『松ヶ根乱射事件』（山下敦弘）、『サッドヴァケーション』（青山真治）等、計8作品を上映。また小林政広を招へい。 |
| 14 | Cinema Under the Stars | オーストリア | After Image Productions | 07.06.28～ 07.08.12 | 『ビッグ・リバー』（船橋淳）、『リンダリンダリダ』（山下敦弘）等、計3作品を上映。 |
| 15 | 第2回 KINOTAYO | フランス | KINOTAYO事務局 | 07.11.13～ 07.11.21 | 『無花果の顔』（桃井かおり）等、計13作品を上映、また多数の映画人を招聘し、懇談会等のイベントを実施。 |

| | 事業名 | 国 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|---------|-------------------------|-----------------------|--|
| 16 | 増村保造特集 | フランス | シネマテーク・フランセーズ | 07.08.22～ 07.10.14 | 『くちづけ』『大地の子守歌』等、計19作品を上映。また増村保造の作品に関するシンポジウムを実施。 |
| 17 | 成瀬巳喜男特集 (ロンドン) | 英国 | ブリティッシュ・フィルム・インスティテュート | 07.06.29～ 07.07.31 | 『女が階段を上る時』『浮雲』『銀座化粧』等、計22作品を上映。また成瀬巳喜男作品に関するイベントを実施。 |
| 18 | 原一男特集 | 英国 | リーズ・シティ・カウンシル | 07.11.07～ 07.11.18 | 『極私的エロス 恋歌1974』『ゆきゆきて、神軍』等、計5作品を上映。また原一男を招へいし、リーズ大学にてシンポジウムを実施。 |
| 19 | Japanese Documentary from 1958-1986 | 英国 | シェフィールド国際ドキュメンタリー映画祭事務局 | 07.11.07～ 07.11.11 | 『水俣-患者さんとその世界』(土本典昭)等、計4作品を上映。藤原敏史を招へいし、ディスカッションを実施。 |
| 20 | 内田吐夢監督特集 | 英国 | ブリティッシュ・フィルム・インスティテュート | 07.12.02～ 07.12.31 | 『自分の穴の中で』『血槍富士』『人生劇場 飛車角と吉良常』等、計16作品を上映。またセミナーを実施。 |
| 21 | 第31回香港国際映画祭 | 中国 | 香港国際映画祭事務局 | 07.03.20～ 07.04.11 | 今年で31回目となる大型国際映画祭。日本からは『武士の一分』『垂乳女』『さくらん』『奈良美智との旅の記録』『TOKYO LOOP』など最新16本を上映。国際交流基金はプリント送料・通関料を負担。 |
| 22 | 第3回堤川国際音楽映画祭特別展『日本映画音楽との出会い』 | 韓国 | 堤川国際音楽映画祭組織委員会 | 07.08.09～ 07.08.14 | 『日本映画音楽との出会い』として池辺晋一郎、川井憲次を招聘し特別講演会を開催。また『独立少年合唱団』『リング』等、代表作8本を各2回上映。国際交流基金はゲスト渡航費と、プリント輸送費の一部を負担。 |
| 23 | 2007 ハイリアアジアプロジェクトII 日本映画祭 | 韓国 | ハイリアアジアプロジェクト組織委員会 | 07.07.07～ 07.07.29 | 日本現代芸術祭の一部として日本映画祭を開催。『博士の愛した数式』『ピンポン』『茶の味』等の8作品を各2～4回上映。国際交流基金はパンフレット制作経費を負担。 |
| 24 | ブラッセル国際ファンタジー・スリラー・SF映画祭 | ベルギー | ASBL Peymey Diffusion | 07.04.05～ 07.04.17 | 『デイ・ウォッチ』、『リトル・ミス・サンシャイン』、『グエムル』等、新作78作品を含む長編121作品を上映。また金子修介等を招へいし、講演を実施。 |
| 25 | 第28回ダーバン国際映画祭 | 南アフリカ | センター・フォー・クリエイティブ・アーツ | 07.06.20～ 07.07.01 | 『14歳』(廣末哲万)、『無花果の顔』(桃井かおり)、『リンダリンダリンダ』(山下敦弘)等、3作品を上映。またワークショップやセミナー、パネルディスカッションを実施。 |
| 26 | 第56回メルボルン国際映画祭 | オーストラリア | メルボルン国際映画祭事務局 | 07.07.25～ 07.08.12 | 『復讐するは我にあり』『楢山節考』(今村昌平)、『誰も知らない』(是枝裕和)等、計20作品を上映。 |

映像出版事業費

| | 事業名 | 国 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---------|--------------------------------------|-----------------------|---|
| 27 | 第16回ブリスベン国際映画祭 | オーストラリア | Pacific Film & Television Commission | 07.08.01～ 07.08.12 | 『花よりもなほ』(是枝裕和)、『立喰師列伝』(押井守)、『子ぎつねヘレン』(河野圭太)等、計3作品を上映、または枝裕和等を招へい。 |
| 28 | 第54回シドニー映画祭 | オーストラリア | シドニー映画祭事務局 | 07.06.08～ 07.06.24 | 『花よりもなほ』(是枝裕和)、『フラガール』(李相日)、『パプリカ』(今敏)等、計5作品を上映、また及び是枝裕和等を招へい。 |
| 29 | 第31回サンパウロ国際映画祭 | ブラジル | ABMIC | 07.10.19～ 07.11.01 | 今年で31回目となる歴史ある大規模映画祭。日本からは『ゲド戦記』『フラガール』『花よりもなほ』など約10作品が上映される。国際交流基金は、映画祭審査員を務めた是枝裕和招へい費の一部を助成。 |
| 30 | 日本アニメーション史特集 | ブラジル | ブラジル銀行文化センター | 07.10.10～ 07.10.21 | 『リボンの騎士』『となりのトトロ』『イノセンス』など、手塚治虫、宮崎駿、高畑勲らの監督作品11本を上映。国際交流基金は、字幕作成費と、上映許諾権料の一部を助成。 |
| 31 | 第18回サンパウロ国際短編映画祭 | ブラジル | キノフォーラム文化協会 | 07.08.23～ 07.09.01 | 第18回国際短編映画祭にて、日本よりは手塚治虫の短編アニメーション『おんぼろフィルム』『ジャンピング』『展覧会の絵』の3本を上映。基金は作品輸送費と字幕制作費の一部を負担。 |
| 32 | 第42回カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭 | チェコ | Film Servis Festival - Karlovy Vary | 07.06.29～ 07.07.07 | 「松竹ヌーヴェルヴァーク特集」として、1950-60年代の日本映画を特集上映。『秋津温泉』『暗殺』等14作品上映 |
| 33 | 第11回ブラック・ナイツ国際映画祭 | エストニア | ブラック・ナイト映画祭 | 07.11.15～ 07.12.09 | 川本喜八郎を招へいして同監督作品特集上映。『道成寺』『鬼』等5作品上映。 |
| 34 | 第3回 FestASIA | ルーマニア | Estenest Association | 07.07.01～ 07.07.08 | 『もののけ姫』『Takeshi's』等日本映画新作を7作品上映 |
| 35 | JAPAN CUTS | 米国 | ジャパン・ソサエティ | 07.07.05～ 07.07.15 | ジャパン・ソサエティ100周年記念事業の一環として、『紙屋悦子の青春』『デスノート』『かもめ食堂』『松ヶ根乱射事件』など長短編の上映、七夕企画として野外上映、監督・俳優によるシンポジウムを実施。 |
| 36 | 日本アニメーションの宝石 | カナダ | シネマテーク・ケベコワ | 08.02.07～ 08.04.05 | 無声時代から1950年代に製作された日本の初期短編アニメ作品53本を上映。 |
| 37 | トロント国際映画祭2007 | カナダ | トロント国際映画祭事務局 | 07.09.06～ 07.09.15 | 『大日本人』『殞の森』『監督ばんざい!』など日本映画の最新作7本を上映。 |
| 38 | 36th Festival nouveau cinema -Montreal | カナダ | Festival nouveau cinema - Montreal | 07.10.10～ 07.10.21 | 『大日本人』『カフカ 田舎医者』『こまねこ』など日本映画の最新長短編を上映。DIGIMARTと協力して関連イベントを開催。 |

| | 事業名 | 国 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------------|-------|---|-----------------------|---|
| 39 | 活動写真2007 | 米国 | 日米文化会館 | 07.09.30 | 『三匹の侍』『雲霧仁左衛門』『上意討ち』『蜘蛛巣城』の上映及びシンポジウムの開催。 |
| 40 | ルイ・ヴィトン ハワイ国際映画祭 | 米国 | ハワイ国際映画祭事務局 | 07.10.18 | 『黒帯』『やじきた道中テレスコ』『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』などを上映。 |
| 41 | 今村昌平追悼特集 | 米国 | ノースウェスト・フィルムフォーラム | 07.09.07～ 08.03.04 | 今村昌平作品15本を8ヶ所のシネマテークで上映。 |
| 42 | 日本映画祭 | 米国 | ソルトレークシティ・フィルムセンター | 07.06.28～ 07.07.01 | 『ヨコハマメリー』『七人の侍』『アキラ』『蟲師』など日本映画8本の上映。 |
| 43 | 内田吐夢監督特集 | 米国 | パシフィック・フィルム・アーカイヴ | 07.09.08～ 07.09.29 | 内田吐夢作品『血槍富士』『自分の穴の中で』『妖刀物語・花の吉原百人斬り』『人生劇場 飛車角と吉良常』他計13作品を上映。 |
| 44 | アニメフォーカス2007 | 米国 | シカゴ日米協会 | 07.10.04～ 07.10.17 | アニメ作品『時をかける少女』『アタゴオルは猫の森』『ブレイブストーリー』を上映。 |
| 45 | モトブン映画祭 | クロアチア | Motovun Film Festival d.o.o | 07.07.23～ 07.07.27 | 『オーディション』『狂った一頁』等5作品上映 |
| 46 | ZAGREBDOX ザクレブ国際ドキュメンタリー映画祭 | クロアチア | Centre for Drama Arts/ ZagrebDox Project | 08.02.25～ 08.03.02 | 山形国際ドキュメンタリー映画祭と協力し、ドキュメンタリー映画レトロスペクティブを開催。『三里塚の夏』『阿賀に生きる』等8作品上映 |
| 47 | アンカラ国際映画祭 | トルコ | 世界マスメディア研究基金 | 08.03.13～ 08.03.23 | 山村浩二特集上映を実施。新作『カフカ 田舎医者』を含む7作品を上映。 |
| 48 | フューチャー・フィルム・フェスティバル | イタリア | Associazione Amici del Future Film Festival | 08.01.15～ 08.01.20 | 『鉄コン筋クリート』（マイケル・アリアス）、『小さき勇者たち～ガメラ～』（田崎竜太）等、計23作品を上映。また平田敏夫監督等を招へいし、日本アニメーションに関する講演を実施。 |
| 49 | 成瀬巳喜男監督特集／ポロニーヤ | イタリア | シンバレイン文化協会 | 08.02.01～ 08.02.28 | 『おかあさん』、『晩菊』、『鰯雲』等、成瀬巳喜男の計8作品を上映。またイベントを実施。 |
| 50 | ベルリン国際映画祭/第38回新作フォーラム | ドイツ | ベルリン映画友の会 | 08.02.07～ 08.02.17 | 『実録・連合赤軍 あさま山荘への道程』（若松孝二）、『むすんでひらいて』（高橋泉）等、計8作品を上映。また映画人を多数招へい。 |

映像出版事業費

| | |
|--------|--------------|
| 催し等事業費 | (3)国内映画祭（主催） |
|--------|--------------|

アジア・中東の映画を紹介し日本における両地域への理解を促進するため、主催又は共催により映画祭を実施し、関係映画人の招へい等も併せて実施する。また、アジア映画理解講座及び英語字幕付き日本映画上映会を実施する。

合計額 41,448,037 円

| | 事業名 | 国 | 都市 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------------|---------|----|-----------------------|--|
| 1 | アジア中東映画 上映権購入 | 全世界区分困難 | | 07.04.01～ 08.03.31 | アジア中東映画上映権購入 |
| 2 | 外国劇映画貸出 | 全世界区分困難 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金所蔵の外国劇映画貸出 |
| 3 | 第8回字幕付上 映会 | 日本 | 東京 | 07.05.25～ 07.05.27 | 『安城家の舞踏会』（吉村公三郎）、『二十四の瞳』（木下恵介）、『煙突の見える場所』（五所平之助）、『近松物語』（溝口健二）、『しとやかな獣』（川島雄三）及び『女ばかりの夜』（田中絹代）の上映、並びに映画史研究家、平野共余子による講演（逐次通訳付）を実施。 |
| 4 | 映画講座マレー シア | 日本 | 東京 | 07.07.31～ 07.08.04 | アテネ・フランセ文化センターにて、ヤスミン・アハマド監督の『ラブン』『細い目』『グブラ』『ムクシン』4部に加え、『霧』『グッバイ・ボーイズ』『鳥屋』『愛は一切に勝つ』『私たちがまた恋に落ちる前に』とマレーシア映画計9本を上映。 |
| 5 | インド映画特集 | 日本 | 東京 | 07.11.17～ 07.11.27 | 第8回東京フィルメックスにおいて、日印交流年記念事業として『リッティク・ゴトク監督特集～インドの伝説的巨匠～』を特集上映。『非機械的』『黄金の河』『ティタシュという名の河』『理屈、論争と物語』の4本を上映。また、リトボン・ゴトク、白田雅之、松岡環によるシンポジウムを開催。 |
| 6 | アラブ映画祭 2008（19年度） | 日本 | 東京 | 08.03.17～ 08.03.25 | 赤坂・草月ホール、赤坂OAGホールにて、『BOSTA』『ヘリオポリスのアパートで』などアラブ映画の新作6本と、アラブ映画祭2005～2007よりアンコール上映8本を上映。また、故佐藤真の『エドワード・サイード』を追悼上映。また、ムハンマド・ハーン（エジプト）、サンドラ・マーディー（ヨルダン）、ナジブ・ベルカーディー（チュニジア）を招へいし、シンポジウムやトークショーを開催。 |
| 7 | 第9回字幕付上 映会 | 日本 | 東京 | 08.02.02～ 08.02.03 | 『忍びの者』、『続・忍びの者』、『傷だらけの山河』、『白い巨塔』、『金環蝕』の山本薩夫の5作品を上映し、クリス・フジワラ（映画評論家）による講演（逐次通訳付）を実施。 |

催し等事業費 (4)国内映画祭 (助成)

諸外国の映画を国内において紹介するため、国内で開催される国際的な映画祭等に対して助成をする。
合計額 7,634,690 円

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------------------|---|----------|-----------------------|---|
| 1 | 日加ショートアニメーション・エキスチェンジ | カナダ・アニメーション・フェスティバル事務局 在日カナダ大使館 | カナダ | 07.10.26～ 08.02.23 | 日加両国の芸術文化交流を深めるため、双方向で作品上映と作家交流・セミナーなどを開催。 |
| 2 | ウズベキスタン映画祭 | ウズベキスタン映画祭実行委員会 ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金 駐日代表部 | ウズベキスタン | 07.09.27～ 07.10.07 | ウズベキスタンと日本の関係の強化と文化交流の発展を目的として、ウズベキスタン映画を上映。 |
| 3 | 第14回大阪ヨーロッパ映画祭 『最新ヨーロッパ映画の日本初上映』 | シネ・ヌーヴォシネマアンジェリカ スウェーデン映画協会 スウェーデン文化交流協会 プラネット・スタジオ・プラスワン ベルギーフランドル交流センター 関西カタルーニャセンター 財団法人大阪21世紀協会 財団法人大阪市教育振興公社 キッズプラザ大阪 大阪ドイツ文化センター 大阪ヨーロッパ映像文化振興会 大阪市 駐日スウェーデン日本大使館 東京イタリア文化会館 日西文化経済交流センター | 欧州地域区分困難 | 07.11.23～ 07.11.25 | 日本初上映作品を中心に、娯楽性よりも社会性あるいは芸術性に優れたヨーロッパ映画の秀作を選びすぐって上映。ゲストを招きディスカッションや講演も開催。 |

映像出版事業費

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------------------------|---------------------------------|-----------|-----------------------|--|
| 4 | 第3回アジア海洋映画祭イン幕張 | アジア海洋映画祭イン幕張実行委員会 | アジア地域区分困難 | 07.09.14～ 07.09.16 | アジア地域で製作された「海」をテーマにした日本未公開の長編映画の上映。短編ビデオの上映や講演会、ミニトークショー等の関連事業も開催。 |
| 5 | N.アイルランド・フィルム・フェスティバル | SIB シネマトリックス | 英国 | 08.02.09～ 08.02.15 | 日本で初めて「北アイルランド」に注目した映画祭。ゲストも招聘し、日本と北アイルランドを往還するイベントとして開催。 |
| 6 | 第2回札幌国際映画祭 (SAPPORO SHORT FEST 2007) | 札幌国際短編映画祭実行委員会 札幌市 北海道新聞社 | 全世界区分困難 | 07.09.13～ 07.09.17 | 世界の多様な国々のショートフィルムを紹介する上映開催の他、ショートフィルムの産業化を目指しマーケットも開設。 |
| 7 | ショートショートフィルムフェスティバル アジア2007 | ショートショートアジア実行委員会 東京都 | アジア地域区分困難 | 07.06.25～ 07.07.01 | 日本における「ショートフィルム」の確立を目指し、アジアの映像的な魅力や才能が凝縮された「ショートフィルム」を一同に上映。 |
| 8 | アジアフォーカス・福岡映画祭 2007 | アジアフォーカス・福岡映画祭実行委員会 福岡市 | アジア地域区分困難 | 07.09.14～ 07.09.24 | 映画という映像メディアによって市民のアジアに対する理解を深め、映画を通じた市民レベルでの国際交流を推進していくとともに、世界的に注目を集めているアジア映画を紹介する映画祭。 |
| 9 | 山形国際ドキュメンタリー映画祭2007 | 山形国際ドキュメンタリー映画祭実行委員会 山形市 | 全世界区分困難 | 07.10.04～ 07.10.11 | 豊かな映像文化環境と国際交流の場を提供するとともに、作り手を支援することを目的として、ドキュメンタリー映画や貴重な映像を世界中から集める映画祭。 |

催し等事業費 (5)日本マンガ大賞

海外で漫画の普及啓蒙活動に貢献する新進の漫画作家を顕彰することを目的として、実行委員会が開催する国際漫画賞にあわせて、受賞者4名を招聘する。

合計額 5,849,321 円

| | 事業名 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------|-------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 第1回国際漫画賞 | (社)日本漫画家協会 (JCA) 外務省 | 07.04.01～ 07.08.31 | 海外での漫画文化の普及を目的とし、最優秀作品に「国際漫画賞」を、その他の優秀な3作品に「国際漫画賞奨励賞」を授与し、授賞式にあわせて、各受賞者を10日間日本に招へい。 |
| 2 | 第2回国際漫画賞 | (社)日本漫画家協会 (JCA) 外務省 | 07.09.01～ 08.03.31 | 第2回国際漫画賞に向けて、応募を呼びかける広報資料を作成、頒布。 |

催し等事業費 (6)映像出版情報交流 (催し)

国内外で開催される映像・出版等をテーマとするシンポジウム・セミナー等を開催する。

合計額 5,985,399 円

| | 事業名 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------|---------|-----------------------|---|
| 1 | 日本賞 | 全世界区分困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | 国家・民族間における相互理解と文化の交流に貢献する優れた番組に対し、国際交流基金理事長賞を寄贈する。 |
| 2 | 第1回国際交流基金ポラナビ著作/翻訳賞 | 韓国 | 07.10.15～ 08.03.31 | 韓国の一般市民が日本の文化・社会に対する理解を深めるために役立つ良著の普及を促進するため、過去3年間に出版された優れた著作の著者・翻訳者で今後一層の活躍が期待される若手・中堅の著者・翻訳者等を顕彰する事業。日韓文化交流5ヵ年計画の一環。第1回(エッセイ・評論・伝記等の書き下ろし)はキム・ジュニャン氏『イメージの帝国：日本列島上のアニメーション』が受賞。 |
| 3 | JAMCOシンポジウム | 全世界区分困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | JAMCOが主催するウェブサイト上での国際シンポジウムに助成する |
| 4 | 北米巡回現代文学セミナー | 米国 | 08.02.12～ 08.02.17 | 米国において現代日本文学を紹介することを目的に、優れた英文翻訳書を大学やコミュニティレベルの読書グループに寄贈し、読了後に当該作品の作家や翻訳者との意見交換を行う場を提供する事業。平成19年度は角田光代(作家)による講演会等をニューヨークのコロンビア大学ドナルドキーンセンター、シアトルのワシントン大学、書店等で開催。 |

文化資料事業費 (1)テレビ番組交流促進

日本のテレビ番組の海外における放映を促進するため、素材の作成費、放映権料を負担した上で、海外放送局に番組を提供する。

合計額 136,012,009 円

| | 事業名 | 国 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|--------|----------|-----------------------|--|
| 1 | モンゴルTV放映1(国営MRTV) | モンゴル | 国営MNPRTV | 07.08.01～ 10.07.31 | モンゴルTV放映向け番組提供。国営MRTVへ『北の国から』を提供。 |
| 2 | インドネシアTV放映 | インドネシア | 国営TVRI | 07.08.01～ 10.07.31 | インドネシアTV放映向け番組提供。国営TVRIへ『アジアの文化遺産』『日本の教育経験』等を提供。 |
| 3 | カンボジアTV放映 | カンボジア | 国営TVK | 07.08.01～ 10.07.31 | カンボジアTV放映向け番組提供。国営TVKへ『ざわざわ森のがんこちゃん 2005』『ふしぎ大調査』等を提供。 |
| 4 | スリランカTV放映 | スリランカ | 国営SLRC | 07.08.01～ 10.07.31 | スリランカTV放映向け番組提供。国営SLRCへ『すずらん』を提供。 |

映像出版事業費

| | 事業名 | 国 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|----------|----------------|-----------------------|---|
| 5 | ブータンTV放映 | ブータン | 国営BBS | 07.08.01～ 10.07.31 | ブータンTV放映向け番組提供。国営BBSへ『おしん(続編)』第193-297話を提供。 |
| 6 | エルサルバドルTV放映 | エルサルバドル | 国営Canal10 | 07.08.01～ 10.07.31 | エルサルバドルTV放映向け番組提供。国営Canal10へ『プロジェクトX 挑戦者たち』『技～極める』等を提供。 |
| 7 | キューバTV放映 | キューバ | 国営ICRT | 07.08.01～ 10.07.31 | キューバTV放映向け番組提供。国営ICRTへ『プロジェクトX 挑戦者たち』『新日本探訪』等を提供。 |
| 8 | コスタリカTV放映 | コスタリカ | 国営SINART | 07.08.01～ 10.07.31 | コスタリカTV放映向け番組提供。国営SINARTへ『驚異!狂暴ミツバチ50万匹と闘う神秘』『観察15年野生の白い猿4姉妹の物語』等を提供。 |
| 9 | ドミニカ共和国TV放映 | ドミニカ共和国 | 民営Color Vision | 07.08.01～ 10.07.31 | ドミニカ共和国TV放映向け番組提供。民営Color Visionへ『サイエンスクラブ』『中学生の理科(ステップ&ジャンプ)』等を提供。 |
| 10 | パナマTV放映 | パナマ | 国営SERTV | 07.08.01～ 10.07.31 | パナマTV放映向け番組提供。国営SERTVへ『こども人形劇場』『中学生の理科(ステップ&ジャンプ)』等を提供。 |
| 11 | メキシコTV放映 | メキシコ | 国営Canal22 | 07.08.01～ 10.07.31 | メキシコTV放映向け番組提供。国営Canal22へ『国宝探訪』『土俵の上の友を追い』等を提供。 |
| 12 | チリTV放映 | チリ | 国営TVN | 07.12.01～ 10.11.30 | チリTV放映向け番組提供。国営TVNへ『プロジェクトX 挑戦者たち』を提供。 |
| 13 | ブラジルTV放映2(民営Band) | ブラジル | 民営Band | 07.08.01～ 10.07.31 | ブラジルTV放映向け番組提供。民営Bandへ『サイエンスクラブ』『そこが知りたい』等を提供。 |
| 14 | ボリビアTV放映 | ボリビア | 公営CVC | 07.08.01～ 10.07.31 | ボリビアTV放映向け番組提供。公営CVCへ『地球と生きる』『やってみようなんでも実験2001』等を提供。 |
| 15 | アゼルバイジャンTV放映 | アゼルバイジャン | 国営ITV | 07.08.01～ 10.07.31 | アゼルバイジャンTV放映向け番組提供。国営ITVへ『地球と生きる』『ズッコケ3人組VSふたご探偵』等を提供。 |
| 16 | ウズベキスタンTV放映1(第1チャンネル) | ウズベキスタン | 国営ウズベキスタンTV | 07.08.01～ 10.07.31 | ウズベキスタンTV放映向け番組提供。国営ウズベキスタンTVへ『腕におぼえあり1』『腕におぼえあり2』を提供。 |
| 17 | タジキスタンTV放映 | タジキスタン | 国営TVT | 07.08.01～ 10.07.31 | タジキスタンTV放映向け番組提供。国営TVTへ『おしん1～96話(少女編)』を提供。 |
| 18 | ブルガリアTV放映1(国営BNT) | ブルガリア | 国営BNT | 07.08.01～ 10.07.31 | ブルガリアTV放映向け番組提供。国営BNTへ『南極』『台所でおもしろ実験』等を提供。 |

| | 事業名 | 国 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------|---------|--------------------|-----------------------|---|
| 19 | リトアニアTV 放映 | リトアニア | 国営LRT | 07.08.01～ 10.07.31 | リトアニアTV放映向け番組提供。国営LRTへ『美しき日本 百の風景』『シルクロードI』等を提供。 |
| 20 | ロシアTV放映 (ユジノサハリ ンスク) | ロシア | 民営 STS-Sakhalin | 07.08.01～ 10.07.31 | ロシアTV放映向け番組提供。民営STS-Sakhalinへ『知って得する日本のマナー』を提供。 |
| 21 | エチオピアTV 放映 | エチオピア | 国営ERTA | 07.08.01～ 10.07.31 | エチオピアTV放映向け番組提供。国営ETVへ『お父さんへ～赤ちゃんからのメッセージ～』『からだであそぼ』等を提供。 |
| 22 | ガボンTV放映 | ガボン | 国営RTG1 | 07.08.01～ 10.07.31 | ガボンTV放映向け番組提供。国営RTG1へ『美のこころ～国宝名鑑～』『日本 その心とかたち』等を提供。 |
| 23 | カメルーンTV 放映 | カメルーン | 国営CRTV | 07.08.01～ 10.07.31 | カメルーンTV放映向け番組提供。国営CRTVへ『ワザあり!にっぽん』『オトナの試験』等を提供。 |
| 24 | ザンビアTV放 映 | ザンビア | 国営ZNBC | 07.08.01～ 10.07.31 | ザンビアTV放映向け番組提供。国営ZNBCへ『バケルノ小学校ヒュードロ組』『あつまれじゃんけんぼん』等を提供。 |
| 25 | セネガルTV放 映 | セネガル | 国営RTS | 07.08.01～ 10.07.31 | セネガルTV放映向け番組提供。国営RTSへ『しらべてサイエンス』『10ミニッツボックス』等を提供。 |
| 26 | タンザニアTV 放映 | タンザニア | 国営TVT | 07.08.01～ 10.07.31 | タンザニアTV放映向け番組提供。国営TVTへ『プロジェクトX 挑戦者たち』を提供。 |
| 27 | フィリピンTV 放映 | フィリピン | 民営GMA | 07.08.01～ 10.07.31 | フィリピンTV放映向け番組提供。民営GMAへ『古都・祇園に生きる情熱の料理人』『アジア発見』等を提供。 |
| 28 | エストニアTV 放映 | エストニア | 国営ETV | 07.05.01～ 10.04.30 | エストニアTV放映向け番組提供。国営ETVへ『宮内庁楽部』『桂離宮』等を提供。 |
| 29 | ミャンマーTV 放映 | ミャンマー | 国営MRTV | 07.09.01～ 10.08.31 | ミャンマーTV放映向け番組提供。国営MRTVへ『北の国から』を提供。 |
| 30 | 語版改編 | 全世界区分困難 | 放送番組国際交 流センター | 07.04.01～ 08.03.31 | テレビ番組の国際版（英語版）を（財）放送番組国際交流センターと共同制作する。 |

映像出版事業費

文化資料事業費 (2) フィルムライブラリー充実 (本部)

在外公館や国際交流基金海外事務所が主催する日本映画上映会にて使用するため、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を配布する。

合計額 59,974,117 円

| | 事業名 | 監督名 | 制作年 | 事業内容 |
|----|---------------|--------|------|---|
| 1 | ALWAYS 三丁目の夕日 | 山崎 貴 | 2005 | 『ALWAYS 三丁目の夕日』の英語字幕版35mmプリント購入 |
| 2 | 五人の賞金稼ぎ | 工藤 栄一 | 1969 | 『五人の賞金稼ぎ』の英語字幕版35mmプリント購入 |
| 3 | 紙屋悦子の青春 | 黒木 和雄 | 2006 | 『紙屋悦子の青春』英語字幕版35mmプリント購入 |
| 4 | 明日の記憶 | 堤 幸彦 | 2006 | 『明日の記憶』英語字幕版35mmプリント購入 |
| 5 | かもめ食堂 | 荻上 直子 | 2005 | 『かもめ食堂』の英語字幕版35mmプリント購入 |
| 6 | あらくれ | 成瀬 巳喜男 | 1957 | 『あらくれ』の英語字幕版35mmプリント購入 |
| 7 | 吾輩は猫である | 市川 崑 | 1975 | 『吾輩は猫である』の英語字幕版35mmプリント購入 |
| 8 | 永遠の人 | 木下 恵介 | 1961 | 『永遠の人』の英語字幕版35mmプリント購入 |
| 9 | 鬼龍院花子の生涯 | 五社 英雄 | 1982 | 『鬼龍院花子の生涯』の英語字幕版35mmプリント購入 |
| 10 | 嫌われ松子の一生 | 中島 哲也 | 2006 | 『嫌われ松子の一生』の英語字幕版35mmプリント購入 |
| 11 | 時をかける少女 | 細田 守 | 2006 | 『時をかける少女』の英語字幕版35mmプリント購入 |
| 12 | クラシック11作品 | | | クラシック11作品の英語字幕版35mmプリント購入 |
| 13 | 4作品契約延長 | | | 本部FL既存4作品について、上映権料を追加で前払いし、上映許諾期間を延長する。 |
| 14 | 5作品契約延長 | | | 本部FL既存5作品について、上映権料を追加で前払いし、上映許諾期間を延長する。 |

文化資料事業費 (3) フィルムライブラリー充実 (海外)

在外公館や国際交流基金海外事務所が主催する日本映画上映会にて使用するため、海外のフィルム・ライブラリーに、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を配布する。

合計額 143,554,532 円

| | 事業名 | 国 | 言語 | 事業内容 |
|---|----------------|---------|-----|--------|
| 1 | 東アジアフィルムライブラリー | タイ | タイ語 | プリント購送 |
| 2 | 西アジアフィルムライブラリー | インド | 英語 | プリント購送 |
| 3 | 大洋州フィルムライブラリー | オーストラリア | 英語 | プリント購送 |

| | 事業名 | 国 | 言語 | 事業内容 |
|----|-------------------|--------|---------|--------|
| 4 | アフリカフィルムライブラリー | ケニア | 英語 | プリント購送 |
| 5 | 欧州フィルムライブラリー | 英国 | 英語 | プリント購送 |
| 6 | 仏語フィルムライブラリー | フランス | フランス語 | プリント購送 |
| 7 | 中近東フィルムライブラリー | エジプト | アラビア語 | プリント購送 |
| 8 | 中南米フィルムライブラリー | アルゼンチン | スペイン語 | プリント購送 |
| 9 | ブラジルフィルムライブラリー | ブラジル | ポルトガル語 | プリント購送 |
| 10 | 中国フィルムライブラリー | 中国 | 中国語 | プリント購送 |
| 11 | 露語フィルムライブラリー | ロシア | ロシア語 | プリント購送 |
| 12 | JFローマフィルムライブラリー | イタリア | イタリア語 | プリント購送 |
| 13 | JFケルンフィルムライブラリー | ドイツ | ドイツ語 | プリント購送 |
| 14 | JFジャカルタフィルムライブラリー | インドネシア | インドネシア語 | プリント購送 |
| 15 | JFバンコクフィルムライブラリー | タイ | タイ語 | プリント購送 |
| 16 | JFソウルフィルムライブラリー | 韓国 | 韓国語 | プリント購送 |

文化資料事業費 (4)国際図書展参加

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のため、海外で開催される国際図書展に参加する。

合計額 16,631,379 円

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|--------|----------|----------------|-----------------------|--|
| 1 | 第13回ソウル国際ブックフェア | 韓国 | ソウル | 韓国総合展示会場 | 07.06.01～ 07.06.06 | (社)出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。 |
| 2 | 第18回ニューデリー国際図書展 | インド | ニューデリー | ブラガティ・マイダン | 08.02.02～ 08.02.10 | (社)出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。 |
| 3 | 第33回ブエノスアイレス国際図書展 | アルゼンチン | ブエノスアイレス | ブエノスアイレス市農牧展示場 | 07.04.16～ 07.05.07 | (社)出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。 |
| 4 | 第20回ボゴタ国際図書展 | コロンビア | ボゴタ | コルフェリア展示場 | 07.04.19～ 07.05.01 | (社)出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。 |

映像出版事業費

| | 事業名 | 国 | 都市 | 会場 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|---------|----------------|----------------------|-----------------------|---|
| 5 | 第21回グアダハラハラ国際図書展 | メキシコ | グアダハラ | グアダハラ博覧会場 | 07.11.24～ 07.12.02 | (社) 出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。 |
| 6 | 第4回テッサロニキ国際図書展 | ギリシャ | テッサロニキ | テッサロニキ市 Helex Comlex | 07.05.17～ 07.05.20 | (社) 出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。 |
| 7 | 第59回フランクフルト・ブックフェア | ドイツ | フランクフルト・アム・マイン | フランクフルト市見本市会場 | 07.10.10～ 07.10.14 | (社) 出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本会場にインフォメーションコーナーを出展して日本の出版文化と関連情報を紹介。 |
| 8 | 第14回ブダペスト国際図書展 | ハンガリー | ブダペスト | ブダペスト・コンベンション・センター | 07.04.12～ 07.04.15 | (社) 出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。 |
| 9 | 第13回プラハ国際図書展 | チェコ | プラハ | 博覧会場 | 07.05.03～ 07.05.06 | (社) 出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、第13回プラハ国際図書展に日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。 |
| 10 | 第52回ベオグラード国際図書展 | セルビア | ベオグラード | ベオグラードフェア | 07.11.01～ 07.11.30 | (社) 出版文化国際交流会 (PACE) と共同で、第52回ベオグラード国際図書展に参加する。 |
| 11 | 第9回 non/fiction 国際図書展 | ロシア | モスクワ | 中央芸術家会館 | 07.11.28～ 07.12.02 | (社) 出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。 |
| 12 | 第26回リヤド・ブックフェア | サウジアラビア | リヤド | リヤド・エグジビション・センター | 08.03.04～ 08.03.14 | リヤド国際図書展に、出版文化国際交流会と共催で展示用図書を送付。 |
| 13 | PRACTICAL GUIDE | 全世界区分困難 | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 海外で日本関係図書の翻訳出版を行う場合に必要情報や知識をまとめたガイドブックの出版。 |
| 14 | 日本の英文出版図書目録 2007 | 全世界区分困難 | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 英語で出版されている日本関係書籍のカタログの作成。 |

映像出版事業費

文化資料事業費 (5)映像出版情報交流 (文化資料)

日本の映像・出版関係情報の海外への発信及び海外における日本の映像・出版の紹介の現状調査・データベース化を行う。

合計額 9,666,934 円

| | 事業名 | 発行日 | 発行部数 | 事業内容 |
|---|--------------------------------|------------|-------|---|
| 1 | Japanese Book News 第52号 | 2007.06.01 | 5,000 | 海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を提供する英文ニューズレターを季刊で発行。 |
| 2 | Japanese Book News第53号 | 2007.09.01 | 5,000 | 海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を提供する英文ニューズレターを季刊で発行。 |
| 3 | Japanese Book News第54号 | 2007.12.01 | 5,000 | 海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を提供する英文ニューズレターを季刊で発行。 |
| 4 | Japanese Book News第55号 | 2008.03.01 | 5,000 | 海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を提供する英文ニューズレターを季刊で発行。 |
| 5 | Japanese Book News 第56号 (発行準備) | 2008.06.01 | 5,000 | 海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を提供する英文ニューズレターを季刊で発行。 |
| 6 | New Cinema from Japan | 2007.05.01 | 4,000 | 日本映画の最新情報を掲載したカタログ「New Cinema from Japan」を (財) 日本映像国際振興協会と共同で年2回発行。 |
| 7 | New Cinema from Japan | 2007.10.01 | 4,000 | 日本映画の最新情報を掲載したカタログ「New Cinema from Japan」を (財) 日本映像国際振興協会と共同で年2回発行。 |
| 8 | 日本文学翻訳データベース | | | 外国語に翻訳された日本文学作品データベース (基金HPにて公開中) のデータ追加・更新を行った。 |

日本研究事業費 (1)映画・テレビ番組制作 (助成)

海外における日本理解を促進するため、内外の団体が制作する日本に関する映画及びテレビ番組等に対して、制作費の一部を助成する。

合計額 25,223,839 円

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 監督 | 事業内容 |
|---|--|---------------------|-------|----------------|---|
| 1 | BARUTO | FETRIUKSUSOU (RUUT) | エストニア | Artur Talvik | 日本の大相撲で活躍するエストニア出身力士・把瑠都の日本での活躍および力士としての日本での暮らし振りを紹介するドキュメンタリー制作。 |
| 2 | 7th International Abilympics in Japan 2007 | Ars Humana | チェコ | Olga Struskova | 2007年開催の静岡国際アビリンピックの模様を取材するドキュメンタリー制作。日本の障害者福祉活動への取り組みを紹介。 |

映像出版事業費

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 監督 | 事業内容 |
|----|--|-------------------------------|------|--------------------------------|--|
| 3 | The Colors of Irimuti (An Island Poem) | Werner Penzel Film Production | ドイツ | Ayako Mogi | 西表島の染織作家および三味線奏者の姿を通して、島の自然や生活文化を描くドキュメンタリー制作。現代社会生活とは対極にある時間感覚、意識、精神性や思想を表現。 |
| 4 | We don't care about music anyway | SHAI PRODUCTIONS | フランス | Gaspard Kuents & Cedric Dupire | 東京という都市に生まれた創造に不可欠な「破壊」を核とする音楽ジャンルであるDJ mixを、東京で活躍する日本人DJ達への取材から追うドキュメンタリー制作。 |
| 5 | Broadband Manga - Exporting Japanese Digital Content | Brasil Video Comunicacao | ブラジル | Floiano Filho | 今や日本の貿易市場において最重要産業となっている、アニメーションやマンガ等をはじめとしたデジタルコンテンツ産業に関するドキュメンタリー制作。 |
| 6 | The King of Bamboo | XR2 Cinevideo M.E. Ltda | ブラジル | Rubens Junqueira | ブラジル人尺八奏者シュン・リベイロの音楽活動を描き、世界的規模で邦楽と尺八を巡る交流を映像と音楽を通じて語るドキュメンタリーの制作。 |
| 7 | Beyond the Sun: Legacy of the Kamikaze | ASIAN CINEVISION | 米国 | Risa Morimoto | 神風特攻隊として出撃しながら機体の故障などによって生き残った人たちやその家族へのインタビューを通じ第二次世界大戦を人間的な視点から描くドキュメンタリー制作。 |
| 8 | 東京印象 | 上海羅希文化伝播有限公司（上海ロキシー） | 中国 | 阿部 良隆 | 東京の今の情報を発信するTVプログラム「東京印象」の番組枠で今回は東京以外の日本をテーマとする番組を制作。両国の架け橋的番組として更に身近に楽しく今の日本を紹介。 |
| 9 | 日本と梅蘭芳 | 北京蔚藍天空国際広告有限公司 | 中国 | 朱 運濤 | 中国において著名な京劇俳優・梅蘭芳の戦前・戦後の3回に及ぶ訪日公演と今なお続く友情をたどりつつ、彼や日本人が中日友好に果たした役割と今日的意義を振り返るドキュメンタリーの制作。 |
| 10 | 文化の道—朝鮮通信使 | NPO地球文化交流協会 | 日本 | 小川 益王 | 朝鮮半島と日本の育んだ友好交流の歴史文化を紐解き、朝鮮通信使との心の交流を紹介。 |

日本研究事業費 (2) 出版・翻訳 (主催)

日本文化を海外に紹介するための人文社会科学および芸術分野の日本語で書かれた優れた図書の外国語への翻訳・出版を行う。また、外国語で書き下ろされた日本文化に関する優れた図書を出版する

合計額 3,666,924 円

| | 事業名 | 対象国 | 事業内容 |
|---|---------------------------------------|--------------|--|
| 1 | 日本関係書籍アラビア語翻訳出版事業 (['途上国ニッポンの歩み']) | 中東地域区 分困難 | アラビア語圏における日本研究の基本図書を充実するため、『途上国ニッポンの歩み』(大野健一著、有斐閣)をアラビア語に翻訳し、エジプトの出版社と共同出版する事業。継続事業。 |
| 2 | 日本関係書籍アラビア語翻訳出版事業 (['明治']) | 中東地域区 分困難 | アラビア語圏における日本研究の基本図書を充実するため、『明治』(NHK「明治」プロジェクト、NHK出版)をアラビア語に翻訳し、エジプトの出版社と共同出版する事業。継続事業。 |

日本研究事業費 (3) 出版・翻訳 (助成)

海外における日本研究及び日本理解を促進するため、人文社会科学・芸術分野の優れた日本関連図書の外国語への翻訳出版、ならびに外国語で書き下ろされた優れた図書の出版に助成する。

合計額 25,700,826 円

| | 書名 | 著编者／翻訳者 | 助成団体 | 国 | 事業内容 |
|---|------------------------------------|-------------------------|-----------|----|-----------|
| 1 | わが友フロイス | 井上 ひさし Roger Pulvers | こまつ座 | 日本 | 翻訳・出版 |
| 2 | 日本文明77の鍵 | 梅棹 忠夫 崔 京国 | 図書出版 滄海 | 韓国 | 翻訳・出版 |
| 3 | 朝鮮燕行使と朝鮮通信使 | 夫馬 進 鄭 台燮 | 図書出版 新書院 | 韓国 | 出版 |
| 4 | ブレイブ・ストーリー | 宮部 みゆき 林 青華 | 北京十月文芸出版社 | 中国 | 翻訳・出版 |
| 5 | 万葉集 | 大伴 家持 呉 彦、他 | 人民文学出版社 | 中国 | 翻訳・出版 |
| 6 | 浮世絵における日本様式及び西洋美術に与えた影響 | 潘 力 | 河北教育出版社 | 中国 | 出版(書き下ろし) |
| 7 | 国会と政治 | 柳原 修 邢 文良 | 中国広播電視出版社 | 中国 | 出版 |
| 8 | 徳川家康 | 山岡 荘八 王 維幸 | 南海出版社 | 中国 | 翻訳 |
| 9 | 明治維新以来日本官吏・公務員制度の137年史(1868-2005年) | 劉 文英 | 北京図書館出版社 | 中国 | 出版(書き下ろし) |

映像出版事業費

| | 書名 | 著编者／翻訳者 | 助成団体 | 国 | 事業内容 |
|----|---|---|---------------------------|------|-----------|
| 10 | アムリタ | 吉本 ばなな Tran Huy Quang | ニャ・ナム出版・コミュニ ケーション株式会社 | ベトナム | 翻訳・出版 |
| 11 | つぐみ | 吉本 ばなな Vo Vu Minh | ニャ・ナム出版・コミュニ ケーション株式会社 | ベトナム | 出版 |
| 12 | コインロッカー・ベイビーズ | 村上 龍 Tran Thi Chung Toan | ハノイ国家大学出版社 | ベトナム | 翻訳 |
| 13 | 「日本人論」の中の日本人 | 築島 謙三 汪 平 | 南京大学出版社 | 中国 | 翻訳・出版 |
| 14 | Japanese Visual Culture : The World of Manga and Anime | Mark W. MacWilliams | M.Eシャープ | 米国 | 出版（書き下ろし） |
| 15 | 日本のモダニズム小説作品集 | 江戸川 乱歩 William J. Tyler、他 | ハワイ大学出版 | 米国 | 出版 |
| 16 | 掌の小説 | 川端 康成 Meiko Shimon | エスタサオン・リベルダー ヂ出版社 | ブラジル | 翻訳・出版 |
| 17 | 姿三四郎 | 富田 常雄 林 慎太郎 | トッパン・プレス印刷出版 有限公司 | ブラジル | 出版 |
| 18 | 蒼氓 | 石川 達三 岡本 モニカ 節代 | アトリエ出版 | ブラジル | 翻訳・出版 |
| 19 | ただ無心、無心のほほ笑み | 信行 真哉、大 和 蓮華 Francisco Jisho Handa | パウロス美術印刷会社 | ブラジル | 翻訳・出版 |
| 20 | 吾輩は猫である | 夏目 漱石 Jefferson Teixeira | エスタサオン・リベルダー ヂ出版社 | ブラジル | 翻訳 |
| 21 | 江戸の身体を開く | Timon Screech Park Kyoung-Hee | 図書出版 グリーンビー | 韓国 | 出版 |
| 22 | さようなら、ギャングたち | 高橋 源一郎 Gianluca Coci | BUR (RCSリブリ株式会社 系列) | イタリア | 翻訳 |
| 23 | 日本美学における痕跡と断片 - 建築と庭園における廃墟あるい は不在について | Murielle Hladik | Editions MARDAGA | フランス | 出版（書き下ろし） |
| 24 | 日本の美術と工芸異文化との対 話（1850-1915） | Franziska Ehmcke | ユディツイウム出版社 | ドイツ | 出版（書き下ろし） |

| | 書名 | 著編者／翻訳者 | 助成団体 | 国 | 事業内容 |
|----|---|---|---------------------------------|-------|-----------|
| 25 | 明治維新 | William G. Beasley Marian Bango Amorin | サトリ出版社 | スペイン | 出版 |
| 26 | 博士の愛した数式 | 小川 洋子 Yoshiko Sugiyama | フナブリスタ出版社 | スペイン | 翻訳・出版 |
| 27 | 日本仏教用語事典 | Frederic Girard | ドロズ出版会 | スイス | 出版（書き下ろし） |
| 28 | 解体新書、外科宗伝 | Gabor Lukacs | HES & DE GRAAF Publishers BV | オランダ | 出版（書き下ろし） |
| 29 | 三島由紀夫・日本の戯曲の小ア ントロジー | Estera Zeromska | トリオ出版社 | ポーランド | 出版（書き下ろし） |
| 30 | 私が愛した日本 | Alice Kraemerova | 国立博物館 | チェコ | 出版（書き下ろし） |
| 31 | 源氏物語4 | 紫 式部 Karel Fiala | バセカ出版 | チェコ | 出版 |
| 32 | 個人的な体験 | 大江 健三郎 Linda Galvane | アテナ出版社 | ラトビア | 翻訳 |
| 33 | The Saint Symbols of Fern | 松尾 芭蕉 Vytautas Dumcius、他 | クライペダ大学出版所 | リトアニア | 出版 |
| 34 | 川端康成名作集 | 川端 康成 Ivan Dziub | ユニバース出版社 | ウクライナ | 翻訳・出版 |
| 35 | 法華経 | 不詳 Askari Pashai | ファラバーン出版社 | イラン | 翻訳・出版 |
| 36 | 博士の愛した数式 | 小川 洋子 Aleksander Mermal | ウチラ インターナシヨナル社 | スロベニア | 翻訳・出版 |
| 37 | Travellers of Eternity. An Anthology of Classical Japanese Literature | 松尾 芭蕉 Jos Vos、他 | De Arbeiderspers Publisher | オランダ | 翻訳・出版 |
| 38 | Mikrokosmos | Asuka Fujimori Liucija Cerniuviene | ティート・アルバ出版社 | リトアニア | 翻訳・出版 |
| 39 | カンボジアと日本 | 今川 幸雄 Sylvano D. Mahiwo | リーディーセット・コーポ レーション | フィリピン | 翻訳・出版 |

映像出版事業費

| | 書名 | 著編者／翻訳者 | 助成団体 | 国 | 事業内容 |
|----|-----|---------------------|-----------|------|------|
| 40 | 能九選 | 世阿弥 高木 香世子、 他 | 東洋・地中海出版社 | スペイン | 出版 |

日本語普及事業に必要な経費

日本語事業費

1. 日本語企画調整費

- (1) 海外日本語教育機関等調査
- (2) 日本語教育情報交流
- (3) 海外日本語教育支援NGO助成
- (4) 日本語教育企画開発型事業

2. 日本語派遣・助成費

- (1) 日本語教育専門家派遣（専門家）
- (2) 日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）
- (3) 日本語教育学会助成
- (4) 日本語教育機関支援（専任講師給与助成）
- (5) 日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）
- (6) 日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）
- (7) 日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成）
- (8) 日本語教育専門家派遣（JFボランティア・指導助手）
- (9) 日本語教育専門家派遣（JFボランティア・シニア客員教授）

3. 日本語能力試験費

- (1) 日本語能力試験実施
- (2) 評価開発

日本語事業費

日本語企画調整費 (1) 海外日本語教育機関等調査

海外の日本語教育機関などに関する調査及び特定地域における調査等を実施し、その結果を適当な媒体で公開する。また、日本語教育・研究の成果も適当な媒体で公開する。

合計額 31,446,151 円

| | 事業名 | 対象国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------|---------|-----------------------|--|
| 1 | 国別情報ホームページ | 全世界区分困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | 各国の日本語教育の状況（沿革/教育制度/現状/動向等）をホームページ上で紹介。 |
| 2 | 日本語教育機関調査 | 全世界区分困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | 3年毎に実施する海外における日本語教育機関・教師・学習者等に関する一斉調査。2006年調査結果の集計・分析及び報告書の作成・配布を実施。 |
| 3 | 日本語教育事情の動向調査 | 全世界区分困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | 中期計画指針、地域別方針等に基づき、重点国・地域の日本語教育事情の最新動向を把握するため、専門家等による実地調査を実施 |

日本語企画調整費 (2) 日本語教育情報交流

日本語教育に関する国際シンポジウムおよび外国人による日本語弁論大会の実施や、広報誌、論文集を発行する。

合計額 12,713,563 円

| | 事業名 | 対象国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------------------|---------|-----------------------|---|
| 1 | 「国際交流基金日本語教育紀要」発行 | 全世界区分困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金で日本語教育に携わる専門員、専門家、職員等の教育・研究活動の成果を発表するための論文・報告誌。全文をウェブサイトにも掲載。19年度は第4号を発行。 |
| 2 | 第48回外国人による日本語弁論大会 | 全世界区分困難 | 07.05.26 | 日本語学習を奨励し、日本語普及事業への国民の理解を深めるため、外国人による日本語弁論大会を（財）国際教育振興会、泉佐野市、大阪府国際交流財団との共催により泉佐野市で開催。大会の様子はNHK教育テレビで放映された。関西国際センター10周年記念事業。 |
| 3 | 「日本語教育通信」発行 | 全世界区分困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | 海外の日本語教師に役立つ情報や教材を掲載したニューズレター。日本語教育実践例、教材・図書の紹介、授業に使える素材等から成る。全文をウェブサイトにも掲載。2007年度は58～60号を発行。 |
| 4 | 「日本語教育論集・世界の日本語教育」発行 | 全世界区分困難 | 07.04.01～ 08.03.01 | 広く世界に公募し、審査により選考された日本語教育・日本語学および日本語教育事情・実践報告に関する論文集。市販のほか、全文をウェブサイトに掲載。19年度は17号を発行。 |
| 5 | オーストラリアニューサウスウェールズ州日本語教育シラバス（K10） | オーストラリア | 07.04.01～ 08.03.31 | 主要国の初中等教育における日本語教育シラバスを翻訳・公開する事業。豪州ニューサウスウェールズ州が制定した新K10シラバスの翻訳を実施。 |

| | 事業名 | 対象国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------|-----|-----------------------|---|
| 6 | 韓国「新教育課程」日本語教育シラバス | 韓国 | 07.11.19～ 08.03.31 | 主要国の初中等教育における日本語教育シラバスを翻訳・公開する事業。2007年に新版が発表された韓国の中高等教育における「新教育課程」の日本語教育該当部分の翻訳を実施。 |

日本語企画調整費 (3) 海外日本語教育支援NGO助成

日本国内のNGO・NPOが海外の日本語教育支援を目的に実施する事業に対して、その経費の一部または全額を助成する。
合計額 2,544,135 円

| | 助成団体 | 国 | 受入団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------|-------------------------|--|-----------------------|--|
| 1 | プエンテの会 | ペルー | 日本語自主学習グループ”がんばろう” | 07.07.09～ 07.10.31 | ペルーのクスコ市での日本語普及のための事業 |
| 2 | ホランの会 | モンゴル | ウランバートル第54学校 | 07.06.02～ 07.07.21 | 日本語学習児童短期通学のための招へい事業 |
| 3 | カンボジアの教育を支える会 | カンボジア | アンコール日本文化交流会 | 07.04.01～ 07.05.31 | カンボジア日本語教室への日本語教材寄贈事業 |
| 4 | IFE | ベナン | IFE財団 | 07.08.01～ 08.07.31 | ベナン共和国への日本語教師派遣 |
| 5 | ジャパン・リターン・プログラム | 中国 | 北京大学 | 07.10.09～ 07.10.18 | 日本招へい経験のあるオールドパネリスト代表と北京の優秀な日本語学習者による「第2回JRP日本語・日本文化世界会議 in 北京」を開催 |
| 6 | アジア保健教育基金 | 中国 | 青海民族学院 | 08.02.14～ 08.03.04 | 中国青海民族学院からの学習者短期招へい事業 |
| 7 | 国際日本語研修協会 | ブラジル | サンパウロ大学 日本文化研究所 | 07.10.01～ 07.12.20 | 南米ブラジル等から要望の高い国語教科書、書写教材の寄贈事業 |
| 8 | 国際日本語研修協会 | ミャンマー タイ 韓国 中国 | マンダレー外国語大学 ランシット大学 時事日本語社 天津外国語学院 | 07.10.13 | 中国、韓国等アジア諸国の日本語教育事情とネイティブ日本人教師の現状、ネイティブ日本人教師と現地教師の協力体制、今後の展望と課題、等に関係者と協議するシンポジウムを開催。 |

日本語事業費

日本語企画調整費 (4) 日本語教育企画開発型事業

日本語普及における政策上の必要性が高い事業を実施する。

合計額 30,055,214 円

| | 事業名 | 国 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------|---------|-----------------|-----------------------|--|
| 1 | インド中等教育支援 | インド | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日印首脳合意のフォローアップとして、現地日本語教師養成研修と中等教育レベルの日本語教科書開発を継続支援。 |
| 2 | ジャパンボウル | 米国 | ワシントンDC 日米協会 | 07.04.01～ 08.03.31 | ジャパン・ボウル（高校生を対象とした日本語・日本文化の知識を問う全米規模の協議会）開催経費の一部を助成。（3年目） |
| 3 | ベトナム日本文化交流センター | ベトナム | | 07.04.01～ 08.03.31 | ベトナム文化交流ミッション提言及び総理発言に基づき、日本語事業を中心とした対ベトナム事業を実施するため、ベトナム日本文化交流センターをハノイに設置。 |
| 4 | 日本語教育スタンダード開発 | 全世界区分困難 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 海外日本語教育の評価基準等の基礎となるスタンダードの開発を継続。 |
| 5 | ハンガリー特別事業 | ハンガリー | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本ハンガリー協力フォーラムの資金拠出を受けて、教師養成、教材開発、教材寄贈等を実施。（翻訳料） |
| 6 | JFにほんごネットワーク | 全世界区分困難 | | 08.03.13～ 08.03.31 | 海外日本語教育拠点を整備拡充するため、基金海外事務所および世界各地の中核的な日本語教育機関を構成メンバーとするネットワークの構築を開始。 |

日本語派遣・助成費 (1) 日本語教育専門家派遣（専門家）

1. 現地の日本語教師養成に資するため、日本語教師研修会の実施、教師ネットワーク形成の支援、日本語教授法や日本語教材作成に関する助言・指導などを行う。2. 現地日本語教育機関の授業を実際に担当するほか、現地人教師への助言・指導、カリキュラム編成や教材作成などについて支援を行う。

合計額 919,640,010 円

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|---|--------|-------------|-----|-----------------------|
| 1 | 山口 敏幸 | ソウル日本文化センター | 韓国 | 05.08.15～ 08.08.31 |
| 2 | 長田 佳奈子 | ソウル日本文化センター | 韓国 | 06.06.21～ 09.06.30 |
| 3 | 北村 武士 | ソウル日本文化センター | 韓国 | 07.03.16～ 10.03.15 |
| 4 | 小西 広明 | 北京日本文化センター | 中国 | 05.05.19～ 08.05.18 |

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|----|--------|-----------------|--------|-----------------------|
| 5 | 林 敏夫 | 香港日本語教育研究会 | 中国 | 06.01.04～ 07.07.03 |
| 6 | 立花 秀正 | 日中友好大連人材育成センター | 中国 | 06.04.24～ 09.03.31 |
| 7 | 金 秀芝 | 香港日本語教育研究会 | 中国 | 07.06.22～ 09.06.21 |
| 8 | 桜井 千代子 | モンゴル日本人材開発センター | モンゴル | 06.04.07～ 08.04.06 |
| 9 | 藤島 夕紀代 | モンゴル日本センター | モンゴル | 08.03.12～ 10.04.15 |
| 10 | 小栗 潔 | 国立スラバヤ大学 | インドネシア | 04.07.08～ 07.07.20 |
| 11 | 西浦 久子 | ガジャマダ大学 | インドネシア | 04.07.08～ 07.07.21 |
| 12 | 古川 嘉子 | ジャカルタ日本文化センター | インドネシア | 04.12.07～ 07.04.20 |
| 13 | 登里 民子 | ジャカルタ日本文化センター | インドネシア | 05.06.13～ 07.09.05 |
| 14 | 飯尾 幸司 | 北スマトラ大学 | インドネシア | 06.06.14～ 08.06.30 |
| 15 | 吉田 裕子 | ジャカルタ日本文化センター | インドネシア | 06.06.22～ 08.06.30 |
| 16 | 山本 晃彦 | インドネシア教育大学 | インドネシア | 06.08.03～ 08.08.02 |
| 17 | 山下 美紀 | 国立スラバヤ大学 | インドネシア | 07.07.09～ 10.07.08 |
| 18 | 久松 美立 | ガジャマダ大学 | インドネシア | 07.07.09～ 10.07.08 |
| 19 | 木谷 直之 | ジャカルタ日本文化センター | インドネシア | 07.09.15～ 10.09.14 |
| 20 | 市瀬 俊介 | カンボジア日本人材開発センター | カンボジア | 04.07.01～ 07.06.30 |
| 21 | 片桐 準二 | プノンベン大学 | カンボジア | 05.05.17～ 08.08.20 |
| 22 | 衣笠 秀子 | カンボジア日本人材開発センター | カンボジア | 07.06.19～ 09.03.31 |

日本語事業費

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|----|--------|-----------------|-------|-----------------------|
| 23 | 八田 直美 | バンコク日本文化センター | タイ | 04.09.04～ 07.05.12 |
| 24 | 坪根 由香里 | コンケン大学 | タイ | 05.04.25～ 07.04.01 |
| 25 | 松原 潤 | バンコク日本文化センター | タイ | 06.09.22～ 08.09.21 |
| 26 | 稲見 和洋 | コンケン大学 | タイ | 07.04.17～ 07.09.23 |
| 27 | 儀満 敏彦 | バンコク日本文化センター | タイ | 07.05.02～ 09.05.05 |
| 28 | 西野 藍 | コンケン大学 | タイ | 08.03.30～ 10.04.27 |
| 29 | 洲脇 泰 | フィリピン大学 | フィリピン | 04.10.30～ 07.10.29 |
| 30 | 坂本 まり子 | デ・ラ・サール大学 | フィリピン | 05.04.30～ 07.04.29 |
| 31 | 星 亨 | 国際交流基金マニラ事務所 | フィリピン | 06.05.20～ 08.05.19 |
| 32 | 新見 康之 | 国際交流基金マニラ事務所 | フィリピン | 08.03.31～ 10.05.10 |
| 33 | 新田 洋子 | ブルネイ教育省 | ブルネイ | 04.06.24～ 07.11.29 |
| 34 | 大船 ちさと | ベトナム中等教育機関 | ベトナム | 06.04.02～ 07.08.31 |
| 35 | 雄谷 進 | ベトナム日本人材協力センター | ベトナム | 06.08.19～ 08.08.18 |
| 36 | 藤井 明子 | ベトナム日本人材協力センター | ベトナム | 06.10.04～ 08.10.03 |
| 37 | 稲見 由紀子 | ベトナム中等教育機関 | ベトナム | 07.07.31～ 09.07.30 |
| 38 | 千馬 智子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 04.03.02～ 07.04.01 |
| 39 | 河合 由希江 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 05.03.16～ 07.04.01 |
| 40 | 宮田 登紀子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 05.03.17～ 08.03.19 |

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|----|--------|------------------------|-------|-----------------------|
| 41 | 阿蘇 豊 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 05.03.23～ 08.03.19 |
| 42 | 下橋 美和 | クアラルンプール日本文化センター | マレーシア | 05.04.01～ 07.05.20 |
| 43 | 薄井 典子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 06.03.20～ 08.03.19 |
| 44 | 森林 謙 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 06.03.20～ 08.03.19 |
| 45 | 横井 多美子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 06.03.20～ 08.03.19 |
| 46 | 森 勇樹 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 06.03.25～ 09.03.24 |
| 47 | 盛田 真規子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 06.03.25～ 09.03.24 |
| 48 | 矢沢 悦子 | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター | マレーシア | 06.04.22～ 09.04.21 |
| 49 | 藤原 由紀子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 07.03.18～ 10.03.18 |
| 50 | 富岡 純 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 07.03.18～ 10.03.18 |
| 51 | 杉山 純子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 07.03.18～ 10.03.28 |
| 52 | 佐々木 良三 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 07.03.23～ 09.03.23 |
| 53 | 吉川 達 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 07.03.23～ 10.03.23 |
| 54 | 戸田 淑子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 07.03.23～ 10.03.28 |
| 55 | 根津 誠 | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター | マレーシア | 07.04.01～ 09.04.16 |
| 56 | 杉山 純子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 57 | 坪山 由美子 | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター | マレーシア | 08.03.12～ 10.04.15 |
| 58 | 遠藤 和歌子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 08.03.16～ 10.03.16 |

日本語事業費

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|----|---------|----------------------------------|---------|-----------------------|
| 59 | 三宅 直子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 08.03.17～ 10.03.16 |
| 60 | 矢野 優子 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 08.03.17～ 10.03.16 |
| 61 | 谷井 明美 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 08.03.17～ 10.03.16 |
| 62 | 金澤 菜穂 | マラヤ大学日本留学予備教育課程 | マレーシア | 08.03.17～ 10.03.16 |
| 63 | 小久保 ひろし | ラオス国立大学 | ラオス | 04.04.07～ 07.07.31 |
| 64 | 平田 好 | ラオス日本人材開発センター | ラオス | 05.09.02～ 08.09.01 |
| 65 | 森西 志保子 | ラオス国立大学 | ラオス | 07.07.19～ 10.07.18 |
| 66 | 平賀 達哉 | 国際交流基金ニューデリー日本文化センター | インド | 05.01.04～ 08.01.23 |
| 67 | 畠山 理恵 | 国際交流基金ニューデリー日本文化センター | インド | 05.05.12～ 08.05.11 |
| 68 | 長谷川 理恵 | 国際交流基金ニューデリー日本文化センター | インド | 05.07.19～ 08.07.18 |
| 69 | 柴原 智代 | 国際交流基金ニューデリー日本文化センター | インド | 08.01.15～ 10.01.31 |
| 70 | 和田 衣世 | 国際交流基金ニューデリー日本文化センター | インド | 08.03.21～ 10.04.30 |
| 71 | 和田 衣世 | ケラニア大学 | スリランカ | 05.04.23～ 07.04.22 |
| 72 | 青沼 国夫 | ケラニア大学 | スリランカ | 07.04.13～ 09.04.30 |
| 73 | 江原 有輝子 | ニューサウスウェールズ州教育省 | オーストラリア | 04.04.14～ 07.06.30 |
| 74 | 佐々木 香織 | 国際交流基金シドニー日本文化センター | オーストラリア | 04.09.07～ 07.04.06 |
| 75 | 岸田 理恵 | クイーンズランド州教育省クイーンズランド LOTEセンター | オーストラリア | 06.01.12～ 09.01.31 |
| 76 | 原田 明子 | タスマニア州教育省 | オーストラリア | 06.01.12～ 09.01.31 |

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|----|--------|-------------------------------------|----------|-----------------------|
| 77 | 藤光 由子 | 西オーストラリア州教育省 | オーストラリア | 07.02.04～ 09.02.10 |
| 78 | 松本 剛次 | 国際交流基金シドニー日本文化センター | オーストラリア | 07.04.01～ 10.04.30 |
| 79 | 茅本 百合子 | ニュージーランド教育省教員養成校協議会 | ニュージーランド | 05.04.06～ 08.02.10 |
| 80 | 友岡 純子 | ニュージーランド教育省 | ニュージーランド | 08.01.30～ 11.01.29 |
| 81 | 室屋 春光 | アルバータ州教育省 | カナダ | 06.06.19～ 09.06.18 |
| 82 | 宇田川 洋子 | アルバータ州教育省 | カナダ | 07.04.01 |
| 83 | 今枝 亜紀 | 国立サンチャゴ大学 | チリ | 05.01.05～ 08.01.28 |
| 84 | 林 雅子 | サンチャゴ大学 | チリ | 08.01.16～ 10.01.31 |
| 85 | 榛葉 久美 | アイルランド教育省／ダブリン・シティ大学 (旧ダブリン工科大学) | アイルランド | 05.07.26～ 07.07.31 |
| 86 | 高崎 三千代 | 国際交流基金ローマ日本文化会館 | イタリア | 06.07.03～ 08.07.15 |
| 87 | 来嶋 洋美 | 国際交流基金ロンドン事務所 | 英国 | 05.02.17～ 08.02.28 |
| 88 | 宇田川 洋子 | 国際交流基金ロンドン事務所 | 英国 | 08.02.19～ 11.02.18 |
| 89 | 谷道 まや | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | ドイツ | 04.07.14～ 07.07.13 |
| 90 | 沼崎 邦子 | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | ドイツ | 05.07.11～ 07.07.10 |
| 91 | 岩澤 和宏 | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | ドイツ | 07.08.05～ 10.08.05 |
| 92 | 近藤 裕美子 | 国際交流基金パリ日本文化会館 | フランス | 07.12.12～ 10.12.11 |
| 93 | 森戸 規子 | ウクライナ日本センター | ウクライナ | 06.07.01～ 08.06.30 |
| 94 | 山口 明 | ウズベキスタン人材開発日本センター | ウズベキスタン | 06.06.30～ 08.06.29 |

日本語事業費

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|-----|--------|------------------|--------|-----------------------|
| 95 | 荒川 友幸 | カザフスタン日本人材開発センター | カザフスタン | 04.04.15～ 07.04.14 |
| 96 | 久野 元 | カザフスタン日本人材開発センター | カザフスタン | 07.04.05～ 09.04.30 |
| 97 | 尾崎 裕子 | キルギス日本人材開発センター | キルギス | 07.02.07～ 10.02.06 |
| 98 | 柴倉 映子 | カレル大学 | チェコ | 04.09.17～ 07.09.30 |
| 99 | 三上 京子 | カレル大学 | チェコ | 07.09.22～ 10.09.21 |
| 100 | 栗原 幸則 | 国際交流基金ブダペスト事務所 | ハンガリー | 05.07.29～ 07.08.10 |
| 101 | 福島 青史 | 国際交流基金ブダペスト事務所 | ハンガリー | 07.07.31～ 10.08.10 |
| 102 | 須賀 美紀 | ソフィア大学 | ブルガリア | 04.07.14～ 07.07.28 |
| 103 | 駒田 聡 | ソフィア大学 | ブルガリア | 07.07.19～ 10.07.18 |
| 104 | 菅生 早千江 | ヤギェヴォ大学 | ポーランド | 04.06.28～ 07.07.20 |
| 105 | 瓜生 佳代 | ヤゲウォ大学 | ポーランド | 07.07.03～ 10.07.02 |
| 106 | 酒井 理恵 | ブカレスト大学 | ルーマニア | 04.03.29～ 07.07.20 |
| 107 | 平野 美恵子 | ブカレスト大学 | ルーマニア | 07.07.15～ 09.07.14 |
| 108 | 池津 丈司 | モスクワ国立大学 | ロシア | 05.07.14～ 08.07.26 |
| 109 | 近藤 正憲 | テヘラン大学 | イラン | 06.07.28～ 09.07.30 |
| 110 | 山門 健二 | アインシャムス大学 | エジプト | 05.08.15～ 07.05.29 |
| 111 | 山科 健吉 | 国際交流基金カイロ事務所 | エジプト | 06.09.01～ 09.09.21 |
| 112 | 松島 幸男 | アインシャムス大学 | エジプト | 07.07.10～ 10.07.09 |

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|-----|---------|------------|---------|-----------------------|
| 113 | 大谷 英樹 | キングサウド大学 | サウジアラビア | 06.09.29～ 09.06.30 |
| 114 | 中堂 暁美 | ダマスカス大学 | シリア | 04.07.13～ 07.07.31 |
| 115 | 渡辺 由美 | ダマスカス大学 | シリア | 07.07.20～ 10.07.19 |
| 116 | 横野 登代子 | 土日基金文化センター | トルコ | 06.06.04～ 09.09.30 |
| 117 | 中込 達哉 | ケニヤッタ大学 | ケニア | 06.08.01～ 08.07.31 |
| 118 | 小久保 ひろし | ケニヤッタ大学 | ケニア | 07.12.01～ 08.03.03 |

日本語派遣・助成費 (2)日本語教育専門家派遣 (ジュニア専門家)

1. 主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導などを行う。2. 大学など個別の機関に派遣され、当該機関の授業担当、カリキュラム編成、教材作成、現地教師への助言などを行う。

合計額 154,292,566 円

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|---|--------|-------------------------------|--------|-----------------------|
| 1 | 鳴海 佳恵 | 遼寧教育学院 | 中国 | 04.07.20～ 07.07.19 |
| 2 | 吉田 佳未 | 国際交流基金北京日本文化センター | 中国 | 05.08.04～ 08.08.03 |
| 3 | 齊藤 都 | 遼寧省基礎教育教研培训中心、阜新市進修学校、阜新県進修学校 | 中国 | 07.07.06～ 09.07.05 |
| 4 | 平岩 桂子 | インドネシア中等教育機関 | インドネシア | 04.06.11～ 07.06.30 |
| 5 | 小原 亜紀子 | インドネシア中等教育機関 | インドネシア | 05.06.15～ 08.06.30 |
| 6 | 栗原 明美 | インドネシア中等教育機関 | インドネシア | 05.06.15～ 09.06.14 |
| 7 | 斎藤 真美 | インドネシア中等教育機関 | インドネシア | 05.06.15～ 08.06.30 |
| 8 | 三浦 雄一郎 | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター | インドネシア | 06.06.12～ 08.06.30 |

日本語事業費

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|----|----------|------------------------|----------|-----------------------|
| 9 | 阿坂 真理 | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター | インドネシア | 06.06.12～ 08.06.30 |
| 10 | 伊藤 愛子 | 国際交流基金バンコク日本文化センター | タイ | 04.04.15～ 07.04.14 |
| 11 | 吉川 景子 | タイ中等教育機関 | タイ | 05.04.25～ 08.04.24 |
| 12 | 鈴木 由美子 | タイ中等教育機関 | タイ | 05.05.02～ 08.04.12 |
| 13 | 内田 陽子 | タイ中等教育機関 | タイ | 07.04.17～ 10.04.30 |
| 14 | 太原 ゆか | タイ中等教育機関 | タイ | 08.03.30～ 10.04.30 |
| 15 | 松井 玲子 | 国際交流基金バンコク日本文化センター | タイ | 08.03.30～ 10.04.30 |
| 16 | 和栗 夏海 | 国際交流基金マニラ事務所 | フィリピン | 07.05.01～ 10.04.30 |
| 17 | 黒田 朋斎 | レークイドン中学校 | ベトナム | 05.04.02～ 07.09.09 |
| 18 | 伊藤 愛子 | ベトナム中等教育機関 | ベトナム | 07.06.02～ 09.08.31 |
| 19 | 伊藤 聡子 | レークイドン中学校 | ベトナム | 07.08.25～ 10.08.24 |
| 20 | レイン 幸代 | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター | マレーシア | 07.05.12～ 09.08.31 |
| 21 | 平岩 ゆか | ラオス国立大学 | ラオス | 04.09.01～ 07.08.31 |
| 22 | チャントボン 令 | ラオス国立大学 | ラオス | 07.08.20～ 10.08.19 |
| 23 | 田中 真寿美 | 国際交流基金ロンドン事務所 | 英国 | 05.04.14～ 07.04.14 |
| 24 | 田場 早苗 | バクー国立大学 | アゼルバイジャン | 06.06.15～ 08.06.30 |
| 25 | 渡邊 知積 | バクー国立大学 | アゼルバイジャン | 07.06.20～ 09.06.19 |
| 26 | 内村 浩子 | キエフ国立言語大学 | ウクライナ | 06.06.15～ 08.06.30 |

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|----|--------|------------------|---------|-----------------------|
| 27 | 久木 元恵 | アル・ファラビ名称カザフ民族大学 | カザフスタン | 06.06.15～ 08.06.30 |
| 28 | 飯野 令子 | 国際交流基金ブダペスト事務所 | ハンガリー | 05.06.08～ 08.06.30 |
| 29 | 菅井 綾子 | ベラルーシ国立大学 | ベラルーシ | 06.06.15～ 08.06.23 |
| 30 | 猪狩 英美 | ノボシビルスク国立大学 | ロシア | 06.06.15～ 09.06.14 |
| 31 | 森本 由佳子 | 極東国立人文大学 | ロシア | 06.06.15～ 08.06.30 |
| 32 | 成田 高宏 | サハリン国立総合大学 | ロシア | 06.06.15～ 08.06.30 |
| 33 | 坂本 裕子 | ウラジオストク極東国立大学 | ロシア | 06.08.20～ 08.06.30 |
| 34 | 竹山 直子 | カイロ大学 | エジプト | 06.08.20～ 08.06.30 |
| 35 | 森田 衛 | アインシャムス大学 | エジプト | 06.08.21～ 09.06.30 |
| 36 | 大和田 泰隆 | キングサウド大学 | サウジアラビア | 05.06.06～ 07.06.30 |
| 37 | 内藤 真理子 | ダマスカス大学 | シリア | 04.08.17～ 07.07.31 |
| 38 | 斎藤 誠 | ダマスカス大学 | シリア | 07.08.20～ 10.02.19 |

| | |
|-----------|--------------|
| 日本語派遣・助成費 | (3)日本語教育学会助成 |
|-----------|--------------|

国内の日本語教育開発機関が実施する教育研修事業、海外における日本語教育事情に関する調査研究、国内外における日本語教育事情に関する情報の提供、及び情報交流の促進に資する事業の実施経費の一部を助成する。

合計額 16,934,400 円

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------|------------|-----------------------|--|
| 1 | 日本語教育学会助成 | (社)日本語教育学会 | 07.04.01～ 08.03.31 | (社)日本語教育学会が実施する各種研修事業および調査研究事業に対し助成した。 |

日本語事業費

日本語派遣・助成費 (4)日本語教育機関支援（専任講師給与助成）

海外で日本語教育を行う教育機関が日本語教授スタッフの拡充を目的として、専任の日本語教師（非常勤・兼任を除く）を新規に採用する場合、基金がその給与を当初の3年間を上限として助成する。

合計額 25,449,261 円

| | 助成団体 | 国 | 期間 |
|----|----------------|---------|-----------------------|
| 1 | ダマスカス大学 | シリア | 06.09.01～ 07.08.31 |
| 2 | ハイファ大学 | イスラエル | 06.10.30～ 07.10.29 |
| 3 | シンシナティ大学 | 米国 | 06.09.01～ 07.06.30 |
| 4 | 南オーストラリア大学 | オーストラリア | 06.07.15～ 07.04.14 |
| 5 | ディラード大学 | 米国 | 07.04.01～ 08.07.31 |
| 6 | カタルーニャ公開大学 | スペイン | 06.09.01～ 07.08.31 |
| 7 | サラマンカ大学 | スペイン | 06.09.01～ 07.08.31 |
| 8 | マレー州立大学 | 米国 | 06.08.01～ 07.06.30 |
| 9 | ハーバート フーパー 中学校 | 米国 | 06.08.25～ 07.06.10 |
| 10 | 王立プノンベン大学 | カンボジア | 06.09.01～ 07.08.31 |

日本語派遣・助成費 (5)日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）

海外の非営利日本語教育機関で日本語講座の運営に財政的困難がある場合、近い将来自助独立の見通しのあるものにより、講師スタッフの謝金の一部を助成する。

合計額 12,683,532 円

| | 助成団体 | 国 | 期間 |
|---|-----------|--------|-----------------------|
| 1 | 済州道韓日親善協会 | 韓国 | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 2 | ハサヌディン大学 | インドネシア | 07.04.01～ 08.03.31 |

| | 助成団体 | 国 | 期間 |
|----|--------------------------|-------|-----------------------|
| 3 | フエ大学附属外国語大学 | ベトナム | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 4 | マラヤ大学予備教育部 | マレーシア | 07.05.28～ 08.05.27 |
| 5 | オリッサ・コンピュータ・アプリケーションセンター | インド | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 6 | パキスタン・日本文化協会（シンド） | パキスタン | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 7 | ブリティッシュ・コロンビア大学オカナガン校 | カナダ | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 8 | ウィンストン・チャーチル高等学校 | 米国 | 07.08.01～ 08.06.30 |
| 9 | アイダホ大学 | 米国 | 07.08.01～ 08.05.31 |
| 10 | ファーマン大学 | 米国 | 07.09.01～ 08.08.31 |
| 11 | 日本パラグアイ学院 | パラグアイ | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 12 | リオデジャネイロ日伯文化協会 | ブラジル | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 13 | セアラ州立大学人文学科 | ブラジル | 07.04.01～ 07.12.31 |
| 14 | ラパス日本人会日本語普及学校 | ボリビア | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 15 | ミーニョ大学人文学部東洋言語文化研究所 | ポルトガル | 07.09.30～ 08.08.31 |
| 16 | タルト大学 | エストニア | 07.09.01～ 08.08.31 |
| 17 | オシュ国立大学 | キルギス | 07.03.25～ 08.03.31 |
| 18 | ソフィア第18総合学校 | ブルガリア | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 19 | イエメン・日本友好協会 | イエメン | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 20 | テルアビブ大学 | イスラエル | 07.12.01～ 08.07.31 |

日本語事業費

| | 助成団体 | 国 | 期間 |
|----|------------------------|--------|-----------------------|
| 21 | スース大学 | チュニジア | 07.09.01～ 08.08.31 |
| 22 | エンジニアリング観光コンピュータ通訳養成学院 | マダガスカル | 07.04.01～ 08.01.31 |
| 23 | 教育カリキュラム戦略研究院 | ベトナム | 07.09.01～ 08.05.31 |

| | |
|-----------|--------------------------|
| 日本語派遣・助成費 | (6)日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成） |
|-----------|--------------------------|

海外において日本語弁論大会を開催しようとする現地機関に対して、賞品等の一部を助成する。

合計額 9,984,865 円

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 |
|----|---------------------------------|----------------|--------|----------|
| 1 | 第9回ソウル全国中・高等学生日本語学力競 試大会 | 社団法人 韓日協会 | 韓国 | 07.08.02 |
| 2 | 第2回全羅南道全国日本語口演童話大会 | 東新大学校 | 韓国 | 07.04.13 |
| 3 | 第11回光州全国高校日本語弁論大会 | 湖南大学校 | 韓国 | 07.09.19 |
| 4 | 第16回済州道日本語弁論大会 | 済州道韓日親善協会 | 韓国 | 07.07.10 |
| 5 | 第32回2007年度香港日本語弁論大会 | 香港日本文化協会 | 中国 | 07.07.08 |
| 6 | 第11回マカオ日本語スピーチコンテスト | マカオ大学 | 中国 | 08.03.23 |
| 7 | 第11回瀋陽日本語弁論大会 | 瀋陽日本人会 | 中国 | 07.04.22 |
| 8 | 第6回ウランバートル日本語スピーチコンテ スト | モンゴル国立科学技術大学 | モンゴル | 07.11.19 |
| 9 | 第11回プノンペン日本語スピーチコンテスト | 王立プノンペン大学外国語学部 | カンボジア | 08.02.24 |
| 10 | 第39回シンガポール日本大使杯日本語スピー チコンテスト | シンガポール日本文化協会 | シンガポール | 07.07.08 |
| 11 | 第6回セブ日本語弁論大会 | セブ日本人会 | フィリピン | 08.01.26 |

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 |
|----|---------------------------------|--------------------|---------|----------|
| 12 | ダバオ日本語弁論大会 | フィリピン日系人会（ダバオ） | フィリピン | 07.08.28 |
| 13 | 第21回ブルネイ日本語弁論大会 | ブルネイ教育省技術教育局生涯教育課 | ブルネイ | 07.07.01 |
| 14 | 第13回ホーチミン市日本語スピーチコンテスト | ホーチミン市日本語教師会 | ベトナム | 07.05.13 |
| 15 | 第8回ヤンゴン日本語スピーチコンテスト | ミャンマー元日本留学生協会 MAJA | ミャンマー | 07.10.20 |
| 16 | 第5回ラオス日本語スピーチ大会 | ラオス日本人材開発センター | ラオス | 08.03.08 |
| 17 | 第20回ニューデリー北部地区日本語弁論大会 | 文部省留学生協会（モサイ） | インド | 07.11.03 |
| 18 | 第20回コルカタ東インド弁論大会 | 印日福祉文化協会 | インド | 07.09.01 |
| 19 | チェンナイ日本語スピーチコンテスト | 印日商工会議所 | インド | 08.02.23 |
| 20 | 第20回ブネ西インド地区日本語弁論大会 | ブネ印日協会 | インド | 08.02.17 |
| 21 | 第20回スリランカ日本語弁論大会 | スリランカ日本語教育協会 | スリランカ | 08.03.22 |
| 22 | 第26回ネパール日本語弁論大会 | ネパール日本語教師協会 | ネパール | 08.03.10 |
| 23 | 第23回カラチ日本語弁論大会 | パキスタン・日本文化協会（シンド） | パキスタン | 08.03.25 |
| 24 | 第32回ダッカ日本語スピーチコンテスト | ダッカ日本語教室同窓会 | バングラデシュ | 08.03.21 |
| 25 | A.C.T. シドニー日本語弁論大会 | 首都特別地域日本語教師会 | オーストラリア | 07.08.01 |
| 26 | JATNETタスマニア日本語弁論大会 | タスマニア豪日協会 | オーストラリア | 07.08.01 |
| 27 | 第36回クイーンズランド日本語スピーチ大会 | クイーンズランド言語教師協会 | オーストラリア | 07.08.26 |
| 28 | 第38回西オーストラリアオーストラリア日本語スピーチコンテスト | マードック大学 | オーストラリア | 07.09.02 |
| 29 | 第16回北部準州日本語弁論大会 | 北部準州語学教師会 | オーストラリア | 07.05.26 |

日本語事業費

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 |
|----|------------------------------|----------------------------|----------|----------|
| 30 | 2007年オークランド地域日本語弁論大会 | オークランド工科大学 | ニュージーランド | 07.08.05 |
| 31 | (ニュージーランド)「こんにちは」日本語弁論大会 | カシミア高校 | ニュージーランド | 07.10.27 |
| 32 | 第7回サモア日本語スピーチコンテスト | サモア国立大学 | サモア | 07.10.25 |
| 33 | 第19回全カナダ日本語弁論大会 | アルバータ大学 | カナダ | 08.03.29 |
| 34 | 第26回オンタリオ州日本語弁論大会 | オンタリオ州日本語弁論大会実行委員会 | カナダ | 08.03.08 |
| 35 | 第18回オタワ日本語弁論大会 | オタワ日本語弁論大会準備委員会 | カナダ | 08.03.10 |
| 36 | 第19回マニトバ日本語弁論大会 | マニトバ大学アジア研究センター | カナダ | 08.03.07 |
| 37 | 第17回アルバータ地区日本語弁論大会 | アルバータ大学 | カナダ | 08.03.01 |
| 38 | 第20回BC州日本語弁論大会 | ブリティッシュ・コロンビア州日本語弁論大会実行委員会 | カナダ | 08.03.01 |
| 39 | 第19回ケベック州日本語弁論大会 | モントリオール大学 | カナダ | 08.03.10 |
| 40 | 第10回アトランティック・カナダ日本語弁論大会 | セントメリーズ大学 | カナダ | 08.03.08 |
| 41 | 第34回北加日本語弁論大会 | 北加日米会 | 米国 | 07.11.11 |
| 42 | 第21回コロラド州日本語弁論大会 | コロラド大学 | 米国 | 07.11.03 |
| 43 | 第25回シアトル日本語スピーチ&スキットコンテスト | 兵庫経済文化センター | 米国 | 08.03.28 |
| 44 | 第19回テキサス州日本語弁論大会 | テキサス州日米協会連合 | 米国 | 08.02.01 |
| 45 | 第29回ハワイ日系人連合協会日本語話し方大会 | ハワイ日系人連合協会 | 米国 | 07.04.14 |
| 46 | 2008年ジョージア州日本語スピーチコンテスト | ジョージア日米協会 | 米国 | 08.03.10 |
| 47 | 第11回カリフォルニア州CSLA日本語スピーチコンテスト | カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校 | 米国 | 08.02.23 |

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 |
|----|-------------------------------|-------------------|---------|----------|
| 48 | 第18回アリゾナ日本語弁論大会 | アリゾナ日本語教師協会 | 米国 | 07.04.21 |
| 49 | 第6回フロリダ州日本語スピーチコンテスト | フロリダ州日本語教師会 | 米国 | 07.04.28 |
| 50 | ルイジアナ州中南部日本語弁論大会 | ルイジアナ日本語教師会 | 米国 | 08.03.14 |
| 51 | 2008年デトロイトJASCO日本語スピーチコンテスト | セントラル・オハイオ日米協会 | 米国 | 08.03.01 |
| 52 | 第5回アラスカ州日本語スピーチコンテスト | アラスカ日本語教師会 | 米国 | 08.03.29 |
| 53 | 第4回ネバダ州日本語弁論大会 | 南ネバダ日本語教師会 | 米国 | 07.11.17 |
| 54 | 第13回ニューヨーク高校生のための日本語スピーチコンテスト | 米国北東部日本語教師会 | 米国 | 08.03.26 |
| 55 | 第5回エルサルバドル日本語スピーチコンテスト | エルサルバドル大学 | エルサルバドル | 07.09.22 |
| 56 | 第12回ハバナ日本語弁論大会 | ハバナ大学外国語学部 | キューバ | 07.06.16 |
| 57 | 第10回グアテマラ日本語弁論大会朗読大会 | 国立サン・カルロス大学言語センター | グアテマラ | 07.05.18 |
| 58 | 第7回コスタリカ日本語弁論大会 | コスタリカ日本人会 | コスタリカ | 07.11.08 |
| 59 | 第10回ニカラグア日本語弁論大会 | 中米大学 | ニカラグア | 08.02.01 |
| 60 | 第1回ホンジュラス日本語スピーチコンテスト | ホンジュラス国立教育大学 | ホンジュラス | 07.11.10 |
| 61 | 第24回メキシコ日本語弁論大会 | メキシコ日本語教師会 | メキシコ | 07.05.27 |
| 62 | 第14回アルゼンチン日本語スピーチコンテスト | 在亜日本語教育連合会 | アルゼンチン | 07.11.04 |
| 63 | 第17回ウルグアイ日本語弁論大会 | 在ウルグアイ日本人会 | ウルグアイ | 07.10.14 |
| 64 | 第21回コロンビア日本語弁論大会 | ハベリアーナ大学 | コロンビア | 07.10.27 |
| 65 | 第16回コロンビア西部地区日本語スピーチコンテスト | コロンビア日系人協会附属日本語学校 | コロンビア | 07.10.14 |

日本語事業費

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 |
|----|-------------------------|--------------------|----------|----------|
| 66 | 第26回チリ日本語弁論大会 | 日智文化協会 | チリ | 07.10.27 |
| 67 | 第19回パラグアイ日本語スピーチコンテスト | パラグアイ日本人会連合会 | パラグアイ | 07.09.01 |
| 68 | 第28回サンパウロ日本語スピーチコンテスト | ブラジル日本語センター | ブラジル | 07.10.21 |
| 69 | 第26回ポルトアレグレ日本語弁論大会 | リオグランデドスールカトリック大学 | ブラジル | 07.10.26 |
| 70 | 第23回クリチバパラナ日本語スピーチコンテスト | クリチーバ日伯文化援護協会日本語講座 | ブラジル | 07.11.06 |
| 71 | 第13回汎ブラジリア日本語スピーチコンテスト | ブラジリア日本語普及協会 | ブラジル | 07.10.21 |
| 72 | 第26回ベレン日本語お話・弁論大会 | 汎アマゾンア日伯協会 | ブラジル | 07.10.07 |
| 73 | 第29回リオ州日本語弁論大会 | リオデジャネイロ日伯文化協会 | ブラジル | 07.10.20 |
| 74 | 第6回レシフェ東北伯日本語スピーチコンテスト | セアラ州立大学 人文学科 | ブラジル | 07.10.14 |
| 75 | 第27回ペルー全国日本語弁論大会 | ペルー日系人協会 | ペルー | 07.10.21 |
| 76 | 第4回アイスランド日本語スピーチコンテスト | アイスランド大学 | アイスランド | 07.04.21 |
| 77 | 第6回アイルランド日本語弁論大会 | アイルランド日本語教師協会 | アイルランド | 08.03.09 |
| 78 | 第18回スペイン人による日本語弁論大会 | 日西文化協会TORA | スペイン | 08.01.12 |
| 79 | 第16回バルセロナ日本語弁論大会 | バルセロナ水曜会 | スペイン | 07.04.28 |
| 80 | 第23回フィンランド日本語で語る会 | フィンランド・日本語日本文化教師会 | フィンランド | 08.03.29 |
| 81 | 第27回ギリシャ日本語弁論大会 | 日本文化研究会 | ギリシャ | 07.04.28 |
| 82 | 第6回バクー日本語弁論大会 | バクー国立大学 | アゼルバイジャン | 07.10.06 |
| 83 | 第12回ウクライナ日本語弁論大会 | ウクライナ日本語教師会 | ウクライナ | 07.09.29 |

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 |
|-----|------------------------|---------------------|---------|----------|
| 84 | 第16回ウズベキスタン日本語弁論大会 | ウズベキスタン日本語弁論大会実行委員会 | ウズベキスタン | 08.03.02 |
| 85 | 第10回カザフスタン日本語弁論大会 | アル・ファラビー名称カザフ国立大学 | カザフスタン | 08.03.15 |
| 86 | 2007年秋期キルギス共和国日本語弁論大会 | キルギス日本語教師会 | キルギス | 07.09.29 |
| 87 | 第7回クロアチア日本語スピーチコンテスト | ザグレブ大学 | クロアチア | 07.04.14 |
| 88 | 第15回ハンガリー日本語スピーチコンテスト | ハンガリー日本語教師会 | ハンガリー | 07.11.01 |
| 89 | 第13回ブルガリア日本語弁論大会 | キリル・メトディ国際基金 | ブルガリア | 07.04.15 |
| 90 | 第5回ベラルーシ日本語弁論大会 | ベラルーシ日本語教師会 | ベラルーシ | 07.09.24 |
| 91 | 第28回ポーランド日本語弁論大会 | ポーランド日本協会 | ポーランド | 08.03.10 |
| 92 | 第7回ラトビア日本語弁論大会 | ラトビア大学 | ラトビア | 08.03.14 |
| 93 | 第12回ルーマニア日本語弁論大会 | ルーマニア日本語教師会 | ルーマニア | 08.03.10 |
| 94 | 第12回ロシア極東・東シベリア日本語弁論大会 | 極東国立人文大学 | ロシア | 07.10.05 |
| 95 | 第20回CIS学生日本語弁論大会 | CIS日本語教師会 | ロシア | 07.10.27 |
| 96 | 第3回モスクワ日本語スピーチコンテスト | モスクワ日本語教師会 | ロシア | 07.05.12 |
| 97 | 第3回モルドバ日本語弁論大会 | モルドバ日本交流財団 | モルドバ | 07.12.15 |
| 98 | 第4回イエメン日本語スピーチコンテスト | イエメン・日本友好協会 | イエメン | 07.08.01 |
| 99 | 第10回シリア日本語スピーチコンテスト | 在シリア日本語教師会 | シリア | 07.11.30 |
| 100 | 第16回イスタンブール日本語弁論大会 | イスタンブール日本語弁論大会実行委員会 | トルコ | 08.03.03 |
| 101 | 第16回アンカラ日本語弁論大会 | アンカラ日本語弁論大会実行委員会 | トルコ | 07.11.17 |

日本語事業費

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 |
|-----|----------------------|--------|------|----------|
| 102 | 第11回ヨルダン日本語スピーチコンテスト | ヨルダン大学 | ヨルダン | 08.03.01 |

| | |
|-----------|------------------------------|
| 日本語派遣・助成費 | (7)日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成） |
|-----------|------------------------------|

海外の日本語教師、日本語教育研究者、日本語教育機関のネットワーク化を促進することを目的に、各国の日本語教師会、日本語教育学会、高等教育機関、研究機関などに対し、日本語教育に関する学術会議、セミナー、ワークショップ、日本語教師研修会等のプロジェクト実施経費の一部を助成する。

合計額 11,403,116 円

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------------|---------------------------|----------|-----------------------|---|
| 1 | 日本語学・日本語教育の中の文化的要素を考える | パジャジャラン大学 | インドネシア | 07.09.07～ 07.09.08 | 言語の研究や学習は文化そのものを学ぶことであるとの立場から、日本文化の諸要素が日本語学と日本語教育に関する研究や実践においてどのように反映されているかについて、発表と討議を行った。 |
| 2 | 第1回 北部タイ日本語教育機関代表者会議 | パヤップ大学 | タイ | 07.11.24 | 北部タイの日本語開設校間の連携とネットワークの創出を目的とする。日本語課程設置教育機関、タイ教育省、在チェンマイ総、日本語教師会からそれぞれ代表者を招へいしセミナーを開催した。 |
| 3 | 日本語教師研修会 | 全インド日本語教師会 | インド | 07.12.14～ 07.12.16 | インド各地の高等学校、大学における日本語教育の現状報告と、各地域における問題点を提起した。 |
| 4 | 第15回オーストラリア日本語教育学会 | オーストラリア国立大学人類学・アジア太平洋研究学科 | オーストラリア | 07.07.01～ 07.07.04 | オーストラリア在住の日本語教師のネットワーク形成と情報共有。セミナー、パネルディスカッションなどを実施しアメリカと日本から講師招へい。 |
| 5 | ニュージーランド日本語教師ネットワークプロジェクト2007 | ビクトリア・リンク（ビクトリア大学） | ニュージーランド | 07.05.08～ 07.12.04 | ニュージーランドの日本語教員間の情報交換・交流の促進、および日本語能力・日本語教育能力の向上を目指し中学校、高校初心者クラス担当教師に焦点を当て、5/8～12/4まで2～3週間おきに全国各地11箇所です1日セミナーを開催。 |
| 6 | カナダ日本語教育振興会 2007年度年次大会 | カナダ日本語教育振興会 | カナダ | 07.08.21～ 07.08.24 | 日本語教育に対する知識向上をはかるための論文発表や、パネルディスカッション。日本語教師のための研修会、日本語教師間のネットワーク形成。本年次大会には約70名が参加。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------|----------------------|-------|-----------------------|---|
| 7 | 全米日本語教師会学会 | 全米日本語教師会(ATJ) | 米国 | 07.11.15～ 07.11.18 | 米国の各地方教師団体と全国教師団体とのネットワーク形成。ワークショップ、パネル討論会などの実施。日本語教育のインフラの強化をボトムアップのネットワークを通して顕在化をはかる。本年はテキサス州サンアントニオで開催。米国内外より約200名が参加。 |
| 8 | 第4回日本語教育支援システム研究会(CASTEL-J) | カピオラニ大学 | 米国 | 07.08.03～ 07.08.05 | CASTEL/J(日本語教育支援システム研究会)は、ITを利用した日本語教育の国際会議であり、数年おきに開催されている。本会議は第4回目の会合。2名の著名な講師を迎え、約250名が参加。 |
| 9 | 第4回イタリア日本語教育学会 | イタリア日本語教育協会 | イタリア | 08.03.20～ 08.04.22 | 日本語学、日本語教育の最新の研究成果を、イタリア・日本・ヨーロッパ・アメリカからの研究者を交えて発表、議論、討論するほかに情報交換を行った。 |
| 10 | 2007年日本語教育シンポジウム | 英国日本語教育学会 | 英国 | 07.09.06～ 07.09.08 | 高等教育機関の日本語教育関係者に研究発表、実践報告、及び意見交換と情報交換の場を提供する。日本語教育関連専門家の講演を通じて啓蒙と専門知識向上を図った。 |
| 11 | 第15回日本語教育セミナー | スイス日本語教師の会 | スイス | 08.03.08～ 08.03.09 | 講演、ワーク・ショップ、質疑応答を通してスイス及びリヒテンシュタインの日本語教師の能力向上を図るとともに教師たちが常に最新の日本語教育に関する知識と情報を得ることを第一の目的とし、また会員相互、セミナー参加教師や専門家との交流を通じて専門的な情報交換やネットワーク構築を進めた。 |
| 12 | 第14回ドイツ語圏大学日本語教育研究会シンポジウム | ドイツ語圏大学日本語教育研究会 | ドイツ | 08.03.28～ 08.03.30 | 高等教育機関で日本語教育に携わる教師の資質を高め、より合理的な日本語教育の実践に寄与する。「日本留学」をテーマに会員教師の研究・実践報告、招へい講師の講義などを実施。 |
| 13 | 第18回全国定例研修会(2008) | ドイツ市民大学日本語講師の会 | ドイツ | 08.02.29～ 08.03.02 | ドイツにおけるVHS(生涯教育学校)の日本語講師の教授能力向上のために、講義、ワークショップ、情報交換等を実施。 |
| 14 | 第19回ドイツ語圏中等教育日本語教師研修会 | ドイツ語圏中等教育日本語教師会(VJS) | ドイツ | 07.11.09～ 07.11.11 | ドイツ語圏の中等教育における日本語教育を推進・充実させ、日本人教師と現地の非母語者教師および現地教育機関のネットワークを促進させた。 |
| 15 | 第3回ブルガリア日本語教育セミナー | ブルガリア日本語教師会 | ブルガリア | 07.07.21～ 07.07.22 | ブルガリア及び東欧諸国の日本語教育水準の向上を図ると共に、当地域の日本語教師間の情報交換とネットワーク構築を促進した。 |

日本語事業費

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------------|----------------------------|--------|-----------------------|---|
| 16 | 第2回ルーマニア日本語教師会シンポジウム | ルーマニア日本語教師会 | ルーマニア | 07.09.08～ 07.09.09 | 日本語教育機関の現地報告、日本語教育の研究、日本語教育の中の日本文化の教え方を発表・講義・議論の形で進める。ルーマニアの日本語教師と隣国の日本語教師との交流を深め、ネットワーク構築を図った。 |
| 17 | 第6回トルコ日本語教師会大会 | イスタンブール・ビルギ大学文理学部 | トルコ | 07.09.03～ 07.09.04 | トルコ国内の日本語教育関係者のネットワーク形成とその発展、および研修。 |
| 18 | 日本語学・日本語教育における調査アンケートに関するワークショップ | インドネシア日本語教育学会 ジャボタベック地区 | インドネシア | 07.12.11～ 07.12.12 | インドネシア各地の日本語学界・日本語教育学会の研究者や学生を指導する立場にある者に、アンケート調査とデータ処理に関する知識を広め、認識を高めることによって学界レベルの全国的底上げを図った。 |
| 19 | 南インド日本語教育セミナー | バンガロール日本語教師会 | インド | 08.01.15～ 08.01.17 | 研修の機会が少ない南インドの日本語教師を対象に、教授力・日本語力の向上を目的としたセミナーを実施し、教師間のネットワーク形成の基盤をつくった。 |
| 20 | 2007年メキシコ日本語教育シンポジウム | メキシコ日本語教師会 | メキシコ | 08.02.22～ 08.02.24 | 「発音」をテーマに、日本語母語話者の発音とメキシコで学ぶ学習者の発音の違い、日本語の発音を学ぶための効率的な指導方法についてシンポジウムを開催。 |
| 21 | 第7回ウクライナ日本語教育セミナー | ウクライナ日本語教師会 | ウクライナ | 08.03.29～ 08.03.29 | ウクライナ全土の日本語教師および日本語教育機関の情報交換を促進し、日本語教師および日本語教育のレベルアップを図った。 |
| 22 | 日本語・日本語教育国際シンポジウム | ハノイ国家大学 外国語大学 | ベトナム | 07.10.25～ 07.10.26 | ベトナムおよび周辺国の日本語教育関係者が集い、日本語研究、日本語教育研究について報告し、今後求められる人材育成に生かすための課題を検討した。 |

日本語派遣・助成費 (8)日本語教育専門家派遣 (JFボランティア・指導助手)

ジャパンファウンデーション・ボランティアの1つとして、日本語教育ボランティアを海外の日本語教育機関に派遣する

合計額 42,101,478 円

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|---|--------|------------------------|-------|-----------------------|
| 1 | 中川 美保 | カンボジア日本人材開発センター | カンボジア | 06.08.01～ 08.07.31 |
| 2 | 岡田 叔子 | ハノイ貿易大学／ベトナム日本人材協力センター | ベトナム | 06.07.22～ 08.07.31 |

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|----|--------|------------------------|---------|-----------------------|
| 3 | 山本 真理 | ハノイ貿易大学／ベトナム日本人材協力センター | ベトナム | 06.07.25～ 08.07.24 |
| 4 | 倉持 和菜 | チューバナン中学校 | ベトナム | 06.08.03～ 08.08.02 |
| 5 | 田淵 七海子 | ラオス日本人材開発センター | ラオス | 06.09.01～ 08.08.31 |
| 6 | 夷石 寿賀子 | 国際交流基金パリ日本文化会館 | フランス | 06.06.12～ 08.06.11 |
| 7 | 菅原 和未 | キルギス日本人材開発センター | キルギス | 06.08.21～ 08.07.31 |
| 8 | 砂金 里奈 | カザフスタン日本人材開発センター | カザフスタン | 06.08.23～ 08.06.30 |
| 9 | 小関 智子 | ウズベキスタン人材開発日本センター | ウズベキスタン | 06.08.23～ 08.07.31 |
| 10 | 角田 依子 | 国際交流基金ブダペスト事務所 | ハンガリー | 07.09.01～ 09.08.31 |
| 11 | 月森 育子 | 日本美術技術センター | ポーランド | 06.08.15～ 08.08.31 |
| 12 | 小林 ますみ | ダマスカス大学 | シリア | 06.08.20～ 08.07.31 |

| | |
|-----------|----------------------------------|
| 日本語派遣・助成費 | (9)日本語教育専門家派遣 (JFボランティア・シニア客員教授) |
|-----------|----------------------------------|

海外の中核的日本語教育機関などで日本語講座の新規立ち上げを行ったり、当該国の日本語教育のレベルアップのためのアドバイザー業務を行う。

合計額 6,143,893 円

| | 関連人物姓名 | 関連機関名称 | 場所国 | 期間 |
|---|--------|----------------|------|-----------------------|
| 1 | 北條 淳子 | 国際交流基金パリ日本文化会館 | フランス | 05.11.14～ 07.12.22 |

日本語事業費

3. 日本語能力試験費 (1)日本語能力試験実施

海外の日本語学習者を対象として、その日本語能力を測定し、級別（1級～4級）に認定する試験を実施した。

合計額 196,107,433円

| | 国 | 都市 | 受験者数 |
|----|---------|----------|--------|
| 1 | 韓国 | ソウル | 35,920 |
| 2 | | 釜山 | 23,071 |
| 3 | | 全州 | 6,997 |
| 4 | | 済州 | 1,332 |
| 5 | | 仁川 | 15,003 |
| 6 | 中国 | 北京 | 18,674 |
| 7 | | 上海 | 34,307 |
| 8 | | 長春 | 5,384 |
| 9 | | 大連 | 17,586 |
| 10 | | 広州 | 11,865 |
| 11 | | 瀋陽 | 6,791 |
| 12 | | 天津 | 10,019 |
| 13 | | ハルビン | 4,367 |
| 14 | | 西安 | 6,986 |
| 15 | | 重慶 | 1,291 |
| 16 | | 済南 | 4,219 |
| 17 | | 武漢 | 8,241 |
| 18 | | 厦門 | 3,579 |
| 19 | | 杭州 | 11,557 |
| 20 | | フフホト | 1,657 |
| 21 | | 洛陽 | 2,536 |
| 22 | | 蘇州 | 7,908 |
| 23 | | 青島 | 4,398 |
| 24 | | 長沙 | 3,531 |
| 25 | | 成都 | 2,070 |
| 26 | | 南京 | 11,032 |
| 27 | | 合肥 | 3,586 |
| 28 | | 深圳 | 4,764 |
| 29 | | 南昌 | 4,839 |
| 30 | | 石家荘 | 1,623 |
| 31 | 太原 | 1,410 | |
| 32 | 寧波 | 2,498 | |
| 33 | 無錫 | 4,070 | |
| 34 | 貴陽 | 1,924 | |
| 35 | 香港 | 13,722 | |
| 36 | 〈台湾〉 | 台北 | 33,808 |
| 37 | | 高雄 | 11,740 |
| 38 | | 台中 | 10,254 |
| 39 | モンゴル | ウランバートル | 999 |
| 40 | インドネシア | ジャカルタ | 2,930 |
| 41 | | バンドン | 1,561 |
| 42 | | スラバヤ | 1,089 |
| 43 | | メダン | 546 |
| 44 | | ジョグジャカルタ | 779 |
| 45 | | パダン | 427 |
| 46 | | デンパサール | 356 |
| 47 | カンボジア | プノンペン | 721 |
| 48 | シンガポール | シンガポール | 4,166 |
| 49 | タイ | バンコク | 10,405 |
| 50 | | チェンマイ | 1,842 |
| 51 | | ソクラー | 274 |
| 52 | | コンケン | 774 |
| 53 | フィリピン | マニラ | 2,203 |
| 54 | | セブ | 375 |
| 55 | | ダバオ | 133 |
| 56 | ベトナム | ハノイ | 4,321 |
| 57 | | ホーチミン | 7,112 |
| 58 | マレーシア | クアラルンプール | 2,259 |
| 59 | | ペナン | 543 |
| 60 | | イポー | 147 |
| 61 | | コタキナバル | 157 |
| 62 | ミャンマー | ヤンゴン | 2,545 |
| 63 | ラオス | ビエンチャン | 139 |
| 64 | インド | ニューデリー | 1,359 |
| 65 | | プネ | 2,160 |
| 66 | | コルカタ | 333 |
| 67 | | チェンナイ | 1,127 |
| 68 | | バンガロール | 953 |
| 69 | スリランカ | コロンボ | 1,292 |
| 70 | ネパール | カトマンズ | 580 |
| 71 | パキスタン | イスラマバード | 23 |
| 72 | | カラチ | 31 |
| 73 | バングラデシュ | ダッカ | 154 |

| | 国 | 都市 | 受験者数 |
|-------|----------|-----------|---------|
| 71 | オーストラリア | キャンベラ | 33 |
| 72 | | ブリスベン | 244 |
| 73 | | パース | 103 |
| 74 | | シドニー | 323 |
| 75 | | メルボルン | 193 |
| 76 | | アデレード | 47 |
| 77 | ニュージーランド | オークランド | 293 |
| 78 | | ウェリントン | 61 |
| 79 | | クライストチャーチ | 115 |
| 80 | カナダ | バンクーバー | 492 |
| 81 | | トロント | 355 |
| 82 | | エドモントン | 133 |
| 83 | 米国 | ロサンゼルス | 473 |
| 84 | | シカゴ | 339 |
| 85 | | ニューヨーク | 446 |
| 86 | | ホノルル | 86 |
| 87 | | アトランタ | 208 |
| 88 | | サンフランシスコ | 461 |
| 89 | | ワシントンD.C. | 244 |
| 90 | | シアトル | 235 |
| 91 | | メキシコ | メキシコシティ |
| 92 | アルゼンチン | ブエノスアイレス | 617 |
| 93 | パラグアイ | アスンシオン | 713 |
| 94 | ブラジル | サンパウロ | 2,023 |
| 95 | | ロンドリーナ | 518 |
| 96 | | ベレーン | 59 |
| 97 | | リオデジャネイロ | 262 |
| 98 | | ポルトアレグレ | 97 |
| 99 | | ブラジリア | 184 |
| 100 | | サルバドール | 67 |
| 101 | | マナウス | 136 |
| 102 | ベネズエラ | カラカス | - |
| 103 | ペルー | リマ | 298 |
| 104 | ボリビア | サンタクルス | 271 |
| 105 | イタリア | ローマ | 274 |
| 106 | | ミラノ | 280 |
| 107 | 英国 | | 727 |
| 108 | ギリシャ | アテネ | 293 |
| 109 | スイス | ベルン | 243 |
| 110 | スペイン | バルセロナ | 357 |
| 111 | | マドリッド | 340 |
| 112 | デンマーク | コペンハーゲン | 74 |
| 113 | ドイツ | デュッセルドルフ | 442 |
| 114 | | シュトゥットガルト | 328 |
| 115 | | ベルリン | 274 |
| 116 | フィンランド | ヘルシンキ | 93 |
| 117 | フランス | パリ | 1,045 |
| 118 | | リヨン | 194 |
| 119 | ウクライナ | キエフ | 320 |
| 120 | ウズベキスタン | タシケント | 321 |
| 121 | カザフスタン | アルマトイ | 116 |
| 122 | ギルギス | ビシュケク | 200 |
| 123 | ハンガリー | ブダペスト | 386 |
| 124 | ブルガリア | ソフィア | 168 |
| 125 | ポーランド | ワルシャワ | 263 |
| 126 | ルーマニア | ブカレスト | 300 |
| 127 | ロシア | モスクワ | 907 |
| 128 | | ウラジオストク | 281 |
| 129 | | ノボシビルスク | 225 |
| 130 | | ハバロフスク | 153 |
| 131 | | ユジノサハリンスク | 180 |
| 132 | | イルクーツク | 98 |
| 133 | トルコ | アンカラ | 306 |
| 134 | エジプト | カイロ | 249 |
| 135 | ケニア | ナイロビ | 107 |
| 人 数 計 | | | 430,137 |

※カラカス（ベネズエラ）は、現地事情により、本年度日本語能力試験新規実施見送り。

日本語能力試験費 (2)評価開発

試験結果を分析し、報告書を作成する。また実際に運用出来る日本語能力を重視する新試験の開発を検討する委員会を開催するとともにモニター試験の実施を行う。

合計額 61,153,186 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|-----------------------|--|
| 1 | 分析評価報告書作成 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本語能力試験の統計的な分析結果に基づく評価を報告し、今後のより良いテスト問題作成に資するとともに、日本語教育の研究者や参加者に日本語テスト研究用資料を提供するため『平成18年度日本語能力試験 分析評価に関する報告書』の刊行準備を実施。 |
| 2 | 日本語能力試験 改善に関する検討会 | 07.04.01～ 08.03.31 | 「日本語能力試験 改善に関する検討会」を運営し、日本語能力試験の改定新試験開発準備を実施。 |
| 3 | モニター試験 | 07.04.01～ 08.03.31 | 改定新試験の内容を検証するために、東京、ソウル、香港、バンコク、サンパウロの5箇所でモニター試験を実施し、計645人が受験。また、事前に日本国内で数度の予備試験を実施。 |

日本語普及事業に必要な経費

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）
- (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）
- (3) 海外日本語教師研修（長期）
- (4) 海外日本語教師研修（短期）
- (5) 海外日本語教師研修（在外邦人）
- (6) 海外日本語教師研修（国別）
- (7) 受託研修（日本語国際センター）
- (8) 地域交流研修（日本語国際センター）

2. 制作事業費

- (1) 日本語教材自主制作・普及
- (2) 日本語教材制作支援（助成）
- (3) 日本語教材寄贈
- (4) 図書館運営（日本語国際センター）

| | |
|-------|---------------------------|
| 研修事業費 | (1) 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者） |
|-------|---------------------------|

海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、3年間で博士課程、1年間で修士課程を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。

合計額 30,739,347 円

| 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---------------------|--|---|-----------------------|---|
| 1 指導的日本語教師の養成18年度博士 | インド | 1 | 07.03.26～ 10.03.25 | 海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまりは日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程である。パンダ氏は19年4月に入学した4期生であり、引き続き研究継続中である。 |
| 2 指導的日本語教師の養成18年度修士 | 中国 フィリピン ベトナム マレーシア インド キルギス ブラジル ヨルダン ケニア | 2 1 1 1 1 1 1 1 1 | 06.09.29～ 07.09.18 | 海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程（修士）を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。「国立国語研究所」及び「政策研究大学院大学」の二機関と連携し、三機関の指導講師による日本語教育における高度で実践的な学位プログラムとする。最終試験で所定の成績に達した者に対して、政策研究大学院大学の修士号（日本語教育）を授与する。今年度は、9か国より10名を招へい。 |
| 3 指導的日本語教師の養成15年度博士 | 中国 | 1 | 03.09.29～ 07.09.28 | 海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまりは日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程である。冷麗敏氏は、15年9月に入学した第1期生であり、引き続き研究継続中。 |

日本語国際センター事業費

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|---|----------------------------|-----------------------|---|
| 4 | 指導的日本語教師の養成16年度博士 | タイ | 1 | 04.09.29～ 08.09.28 | 海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまりは日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程である。ユパカー氏は、16年9月に入学した2期生であり、引き続き研究継続中。(国立国語研究所が予算対応) |
| 5 | 指導的日本語教師の養成17年度博士 | 中国 | 1 | 06.03.12～ 09.03.11 | 海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまりは日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程である。王文賢氏は、18年4月に入学した3期生であり、研究継続中である。(国立国語研究所が予算対応。指導は日本語国際センター専任講師) |
| 6 | 指導的日本語教師の養成19年度修士 | 韓国 中国 タイ ベトナム カザフスタン ドイツ | 1 2 1 2 1 1 | 07.09.27～ 08.09.15 | 海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程(修士)を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。「国立国語研究所」及び「政策研究大学院大学」の二機関と連携し、三機関の指導講師による日本語教育における高度で実践的な学位プログラムとする。最終試験で所定の成績に達した者に対して、政策研究大学院大学の修士号(日本語教育)を授与する。今年度は、6か国より8名を招へい。 |

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|------|----|-----------------------|--|
| 7 | 指導的日本語教師の養成19年度博士 | モンゴル | 1 | 07.09.27～ 10.09.26 | 海外の日本語教育が盛んな国、若しくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまりは日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程である。ツェツェグ氏は19年9月に入学した5期生であり、引き続き研究継続中。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 研修事業費 | (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修） |
|-------|------------------------------|

日本語国際センター研修修了生の中で、より高度な専門知識、技能を求め、日本語教育実践において実現・解決したい具体的な課題を有する者を2カ月間招へいし、自立的な問題解決能力の育成を図ることを目的とする。

合計額 5,219,161 円

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------|--|---|-----------------------|--|
| 1 | 日本語教師上級研修19年度 | 中国 ベトナム インドネシア マレーシア ミャンマー バングラデシュ カナダ 英国 スウェーデン | 2 1 1 1 1 1 1 1 1 | 07.05.30～ 07.07.27 | 日本語教師として豊富な知識と高い能力を持つ者を対象に、教育現場での専門的知識と実践能力の育成、および各自のプロジェクトの遂行による教師としての専門性の向上を目的とした集中研修を行う。9カ国から10名を招へい。 |

日本語国際センター事業費

研修事業費 (3) 海外日本語教師研修 (長期)

海外の中・高等教育機関等の日本語教師養成を図るため、日本語教授経験の比較的少ない教師及び日本語教師となることが既に決まっている者を5カ月半招へいし、日本語運用能力の向上と基礎的な日本語教授法の研修を行う。

合計額 92,573,540 円

| | 事業名 | 参加国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------|--|--|-----------------------|---|
| 1 | 海外日本語教師研修 (長期) | モンゴル インドネシア タイ フィリピン ベトナム ミャンマー インド スリランカ ネパール バングラデシュ トンガ 米国 キューバ ドミニカ共和国 アルゼンチン ブラジル アゼルバイジャン ウクライナ ウズベキスタン カザフスタン キルギス グルジア ブルガリア ルーマニア ロシア トルコ エジプト ケニア | 2 11 5 3 8 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 6 1 2 1 1 1 3 1 1 1 2 6 1 1 1 1 | 07.09.12～ 08.03.07 | 28カ国、68名の外国人若手日本語教師を5カ月半招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を実施。 |

| | |
|-------|-------------------|
| 研修事業費 | (4) 海外日本語教師研修（短期） |
|-------|-------------------|

海外の初・中・高等教育機関等の日本語教師の教授能力の向上を図るため、日本語教師を2カ月間招へいし、日本語と日本語教授法及び日本事情の集中研修を実施する。

合計額 81,435,689 円

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------|--|--|-----------------------|--|
| 1 | 海外日本語教師研修（短期）春期 | モンゴル インドネシア タイ ベトナム マレーシア インド スリランカ オーストラリア ニュージーランド コロンビア ブラジル アルメニア ウクライナ ウズベキスタン カザフスタン チェコ ロシア | 1 8 4 1 3 3 2 1 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 | 07.05.09～ 07.06.28 | 日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師17カ国34名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施。 |
| 2 | 海外日本語教師研修（短期）夏期 | モンゴル インドネシア タイ フィリピン ベトナム ミャンマー ラオス インド ネパール バングラデシュ カナダ 米国 メキシコ ブラジル スウェーデン スペイン フランス ベルギー アルメニア ウクライナ カザフスタン リトアニア ロシア セルビア イラン ケニア | 2 6 2 2 4 1 2 5 2 1 2 3 2 1 1 1 1 1 1 3 1 1 6 1 1 1 | 07.07.04～ 07.08.24 | 海外教育機関等の日本語教師養成のため、海外26カ国から54名の日本語教師を招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を実施。 |

日本語国際センター事業費

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------|--|--|-----------------------|--|
| 3 | 海外日本語教師 研修(短期)冬 期 | モンゴル インドネシア タイ フィリピン ベトナム マレーシア インド ネパール オーストラリア メキシコ アルゼンチン ブラジル アゼルバイジャ ン キルギス リトアニア ロシア | 1 10 3 1 2 1 2 1 2 2 1 2 1 1 2 | 08.01.30～ 08.03.20 | 日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人 日本語教師16カ国33名を2カ月間日本に招へい し、日本語、日本語教授法、日本事情等に関す る集中研修を実施。 |

研修事業費 (5)海外日本語教師研修(在外邦人)

海外に長年滞在している日本人の日本語教師を招へいし、日本語学・教授法についての知識の整理と拡充を図るとともに、最新の日本事情についての情報を収集する機会を提供する。

合計額 7,887,338 円

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------|--|---|-----------------------|---|
| 1 | 海外日本語教師 研修(在外邦人) | モンゴル シンガポール タイ ベトナム インド オーストラリア メキシコ ベネズエラ ペルー イタリア ドイツ フランス ラトビア ケニア ボツワナ | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 07.11.14～ 07.12.14 | 海外に在住している日本人日本語教師15カ国15 名を本邦に招へいし、日本語教授法の集中研修 を行うとともに、日本事情等に関する最新の情 報を収集する機会を提供。 |

日本語国際センター事業費

研修事業費 (6) 海外日本語教師研修 (国別)

非公募による国・地域別日本語教師研修として、当該国政府（教育部など）、国際交流基金海外事務所、在外公館等からの推薦により参加を決定する以下の研修を行う。

合計額 60,406,337 円

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------|---------------------|---------|-----------------------|--|
| 1 | インドネシア中等学校日本語教師研修 | インドネシア | 20 | 07.04.18～ 07.06.08 | インドネシア政府と基金ジャカルタ日本語センター共同でインドネシア国内において1年間の日本語教師養成講座を行っているが、この修了生20名を約2カ月間日本に招へいし、日本語力向上と日本事情の集中研修を行った。 |
| 2 | 大韓民国高等学校日本語教師研修 | 韓国 | 56 | 07.07.25～ 07.08.24 | 韓国政府教育部が選抜した高等学校の日本語教師56名を約1カ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を行った。 |
| 3 | 中国大学日本語教師研修 | 中国 | 40 | 07.09.19～ 07.11.08 | 中国の大学等高等教育機関の日本語教師を40名を約2カ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を行った。 |
| 4 | 中国中等学校日本語教師研修 | 中国 | 20 | 08.01.30～ 08.03.20 | 中国の中等教育機関の日本語教師20名を招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を行った。 |
| 5 | 豪州・ニュージーランド初中等日本語教師訪日研修 | オーストラリア ニュージーランド | 14 7 | 08.01.09～ 08.01.28 | 豪州、ニュージーランド政府が選抜した初等、中等教育の日本語教師21名を約3週間招へいし、日本語、日本事情の集中研修を行った。 |

研修事業費 (7) 受託研修 (日本語国際センター)

外部団体より委託を受け、日本語研修を実施する。

合計額 6,862,122 円

| | 事業名 | 国・地域 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------|--|----------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 博報財団 | インドネシア タイ ベトナム マレーシア インド 台湾 | 3 4 3 2 3 2 | 07.07.10～ 07.07.24 | 博報堂が設立した財団法人博報児童教育振興会が実施する日本と海外の小中学校交流を目的とした事業のうち、インド、タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナム、台湾の日本語教師の訪日研修について受託を行った。 |
| 2 | 日韓文化交流基金 | 韓国 | 6 | 08.01.22～ 08.01.31 | 財団法人日韓文化交流基金より「21世紀東アジア青少年大交流計画」に係る韓国の日本語教師の来日研修業務について受託を行った。 |

日本語国際センター事業費

| | 事業名 | 国・地域 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------------------|--------------------------|-------------|-----------------------|--|
| 3 | 南アジア若手日本語教師特別招へいプログラム(JENESYS) | スリランカ ネパール バングラデシュ | 4 7 3 | 08.03.12～ 08.05.02 | 南アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム。「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として実施。 |

研修事業費 (8) 地域交流研修 (日本語国際センター)

日本語国際センターの位置する埼玉県、ならびに全国各自治体の国際交流活動に対する協力の観点から、JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)参加者等に対して、日本語及び教授法の研修を行う。

合計額 58,860 円

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------|---|--|-----------------------|--|
| 1 | 全国JET教授法研修 | 韓国 中国 オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 アルゼンチン ブラジル アイルランド 英国 ドイツ フランス | 4 8 3 1 1 9 1 2 1 1 2 2 | 08.03.21～ 08.03.27 | 全国のJETプログラム参加者の中から希望者35名に対し、基礎的な日本語教授法研修を実施。 |

制作事業費 (1) 日本語教材自主制作・普及

民間では未開拓であるが、必要な教材を基金で自主開発し、在外に配布ないし市販すると共に、各国語版への翻訳やテレビ日本語講座の放映を促進する事業。

合計額 77,322,966 円

| | 事業名 | 執筆者等 | 出版社 | 部数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------|----------------------|-----|-----------|-----------------------|--|
| 1 | みんなの教材サイト | | | インターネット公開 | 07.04.01～ 08.03.31 | いつでもどこからでも利用できる、教材用素材の提供を中心としたウェブサイト『みんなの教材サイト』の運営。平成20年度のリニューアルオープンに向けての準備作業を実施すると共に、イラスト素材を新規開発した。 |
| 2 | 教科書を作ろう | 監修：佐久間勝彦執筆：坪山由美子ほか7名 | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 外部機関からの申込を受けて『教科書をつくらう』日本語版を配布。 |

| | 事業名 | 執筆者等 | 出版社 | 部数 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------------|--|------------------------------------|---|-----------------------|--|
| 3 | 日本語教育スタンダード | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 韓国とドイツの基金事務所講座におけるスタンダードに関連した講座内容の再検討調査、日本語国際センター研修における日本語使用行動および意識調査等を実施。また、日本語教育専門誌からの取材に応じて、日本語教育スタンダードの理念の普及を進めた。 |
| 4 | 日本語教授法シリーズ・レアリアアイデア帖 | ①『国際交流基金 日本語教授法シリーズ5 聞くことを教える』/横山紀子 ②『日本語教師必携 すぐに使える レアリア・生教材コレクションCD-ROMブック』/三原龍志、磯村和弘、赤澤幸 | ①ひつじ書房 ②スリーエーネットワーク | ①5,000部発行 ②5,000部発行 | 07.04.01～ 08.03.31 | 新規日本語教材『国際交流基金 日本語教授法シリーズ』及び『日本語教師必携 すぐに使える「レアリア・生教材」コレクションCD-ROMブック』の制作を実施。 |
| 5 | TVコマーシャル集・テレビ日本語講座 | 監修：佐久間勝彦執筆：山田しげみ | ビデオ制作：日本シネセル株式会社 附属教材：株式会社創英 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 『TVコマーシャル集 2005』を世界各国で活用。また、ロサンゼルス事務所と協力し、動画素材を使った日本語教育のサポートサイトを提供。さらに、海外におけるテレビ日本語講座の放映を促進するために、英語版テレビ日本語講座の提供を実施。 |
| 6 | 重点支援／インドネシア | インドネシア高校用教科書作成プロジェクトメンバー | | 13,000部発行 (生徒用及び教師用) | 07.04.01～ 08.03.31 | インドネシア普通高校新カリキュラムに対応した教科書制作の支援を実施。 |
| 7 | DVD・TV映像教材 | 国際交流基金 | 凡人社 | Vol.1 6,500部 Vol.2 4,500部 Vol.3 4,500部 | 07.04.01～ 08.03.31 | 中等段階向け映像教材『エリンが挑戦！ にほんごできます。』は、NHK教育テレビ及びNHKワールド等で再放送。また、米国（ハワイ）、カナダ、モンゴルの現地テレビ局で放送開始。さらに、DVD教材（DVD+テキスト 全3冊）を凡人社から出版。 |
| 8 | 基礎日本語学習辞典 | 望月孝逸ほか10名 | 凡人社(国内) オックスフォード大学出版局(海外) ほか | | 07.04.01～ 08.03.31 | 基礎日本語学習辞典英語版第二版に関して、アラビア語版、フランス語版の翻訳出版の支援を実施。 |

日本語国際センター事業費

制作事業費 (2)日本語教材制作支援 (助成)

外国人のための日本語教材の出版に対し、制作経費の一部を助成する。市販される日本語教材で商業ベースに乗りにくいものを優先する。あらゆる媒体による教科書、辞書、副教材、教師用指導参考書等を対象とする。

合計額 8,796,867 円

| | 事業名 | 助成団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------------|--------------------|--------|-----------------------|---|
| 1 | こんなときどうする？ブラジルで日本語を教える人の質問70 | 日伯文化連盟 | ブラジル | 07.04.01～ 08.02.29 | ブラジルで教える日本語教師のための日本語・ポルトガル語バイリンガル参考書。日本語教師からの質問に答えるQ&A形式で、日本語に関する項目、日本語の教え方に関する項目、教師の資質及び環境に関する項目を幅広くカバーしている。 |
| 2 | えでおぼえるひらがな | チェコ日本友好協会 | チェコ | 07.04.01～ 08.02.29 | 連想法を用いたひらがな学習用教材。ひらがなの1文字とその音で始まるチェコ語の名詞を組み合わせた絵により、ひらがなの書き方、なりたち、字体を学べるようになっている。 |
| 3 | 新世紀日本語教程 (続編) | 清華大学外国語学部 | 中国 | 07.04.01～ 08.02.29 | 大学の教養課程用の教科書。学習歴1年程度の学習者を対象とし、本文、会話、新出単語、文法解説、練習問題からなる15の課で構成される。 |
| 4 | 新大学日本語標準教程シリーズ (基礎編2、中級編1、2) | 高等教育出版社 | 中国 | 07.04.01～ 08.02.29 | 第二外国語として日本語を学ぶ学習者向けの教科書。ゼロから学ぶ学習者を対象とする。言語表現から生活習慣まで日中比較を行うコラムもある。 |
| 5 | 現代実用日本語シリーズ (基礎編2、教師用指導書) | 高等教育出版社 | 中国 | 07.04.01～ 08.02.29 | 第二外国語として日本語を学ぶ学習者向けの教科書。ゼロから学ぶ学習者を対象とする。日本におけるビジネスマナーや最新のITを用いた生活習慣など扱うコラムもある。 |
| 6 | 日本語ようこそ I | インドネシア教育大学出版社 | インドネシア | 07.04.01～ 08.02.29 | インドネシア・西ジャワ州を対象とする、選択科目用の教科書。インドネシアのカリキュラムに準拠しており、コミュニケーション力をのばすことができるよう工夫されている。テーマごとに、語彙、文型、会話、練習問題などがある。 |
| 7 | 本当に簡単！子供日本語 | 釜山外国語大学 校 日本語大学 | 韓国 | 07.04.01～ 08.02.29 | 11～12歳の初級レベルの学習者を対象とした教科書。実際のコミュニケーションに必要な語彙・表現を重視し、クラス活動で使用できるような内容を提供する。 |
| 8 | 教師と学習者のための日本語文型辞典 | 教育出版 | ベトナム | 07.04.01～ 08.02.29 | 『日本語文型辞典』(くろしお出版)のベトナム語版。例文と解説すべてにベトナム語訳をつけ、日本語は総ルビとした。 |
| 9 | Nihon-JP 日本語コース | ボローニャ大学 出版協同組合 | イタリア | 07.04.01～ 08.02.29 | 初心者向け独習用インターネット及びCD-ROM教材。イタリア人青年が日本の大学に留学する物語を中心に、文法、語彙・表現、文化・事情を解説する。対話形式の例文や、習熟度を自己判断するための練習問題もついている。 |

2. 制作事業費 (3) 日本語教材寄贈

海外で日本語教育を行う教育機関に対し、日本語教材を寄贈する。

合計額 86,544,873円

| 地域・国名 | | | 機関数 | 採用点数 | 地域・国名 | | | 機関数 | 採用点数 |
|-----------------------|------------|----|-------|--------|-------------|---------|-----|-----|-------|
| 総数 | | | 1,028 | 24,035 | | | | | |
| 国・地域数合計 | | | 103 | | | | | | |
| 東 ア ジ ア | 韓国 | | 6 | 158 | 西 欧 | 英国 | 15 | 293 | |
| | 中国 | | 70 | 1,794 | | オーストリア | 4 | 110 | |
| | モンゴル | | 19 | 638 | | オランダ | 2 | 34 | |
| 地 域 計 | | | 95 | 2,590 | | ギリシャ | 6 | 105 | |
| 東 南 ア ジ ア | インドネシア | | 81 | 1,781 | | スイス | 2 | 33 | |
| | カンボジア | | 4 | 131 | | スウェーデン | 4 | 56 | |
| | シンガポール | | 6 | 197 | | スペイン | 12 | 210 | |
| | タイ | | 78 | 1,881 | | デンマーク | 1 | 36 | |
| | フィリピン | | 16 | 410 | | ドイツ | 36 | 842 | |
| | ブルネイ | | 1 | 35 | | ノールウェー | 4 | 113 | |
| | ベトナム | | 28 | 763 | | フィンランド | 6 | 120 | |
| | マレーシア | | 18 | 400 | | フランス | 21 | 423 | |
| ラオス | | 3 | 32 | ベルギー | | 6 | 154 | | |
| 地 域 計 | | | 235 | 5,630 | | ポルトガル | 2 | 62 | |
| 南 ア ジ ア | インド | | 33 | 749 | | ルクセンブルク | 3 | 83 | |
| | スリランカ | | 10 | 304 | 地 域 計 | | | 137 | 2,945 |
| | ネパール | | 15 | 318 | アゼルバイジャン | 3 | 90 | | |
| | パキスタン | | 2 | 48 | アルメニア | 1 | 31 | | |
| | バングラデシュ | | 6 | 148 | ウクライナ | 8 | 226 | | |
| | ブータン | | 1 | 29 | ウズベキスタン | 7 | 216 | | |
| | 地 域 計 | | | 67 | 1,596 | エストニア | 2 | 58 | |
| 太 平 洋 州 | オーストラリア | | 98 | 1,582 | カザフスタン | 4 | 107 | | |
| | サモア | | 1 | 18 | キルギス | 3 | 58 | | |
| | トンガ | | 2 | 32 | グルジア | 2 | 101 | | |
| | ニュージーランド | | 29 | 497 | クロアチア | 3 | 78 | | |
| | バヌアツ | | 2 | 48 | スロベニア | 1 | 40 | | |
| | パプア・ニューギニア | | 2 | 21 | セルビア・モンテネグロ | 2 | 59 | | |
| | フィジー | | 2 | 41 | タジキスタン | 2 | 69 | | |
| 地 域 計 | | | 136 | 2,239 | チェコ | 6 | 180 | | |
| 北 米 | カナダ | | 33 | 710 | ハンガリー | 6 | 187 | | |
| | 米国 | | 49 | 1,135 | ブルガリア | 4 | 127 | | |
| 地 域 計 | | | 82 | 1,845 | ベラルーシ | 3 | 95 | | |
| 中 米 | エルサルバドル | | 1 | 9 | ポーランド | 14 | 294 | | |
| | キューバ | | 2 | 107 | モルドバ | 1 | 24 | | |
| | グアテマラ | | 1 | 41 | ラトビア | 2 | 56 | | |
| | ジャマイカ | | 3 | 52 | リトアニア | 1 | 36 | | |
| | ドミニカ共和国 | | 1 | 36 | ルーマニア | 6 | 212 | | |
| | トリニダード・トバゴ | | 1 | 7 | ロシア | 35 | 911 | | |
| | ニカラグア | | 1 | 12 | 地 域 計 | | | 116 | 3,255 |
| | ホンジュラス | | 1 | 30 | イエメン | 1 | 24 | | |
| メキシコ | | 18 | 433 | イラン | 1 | 34 | | | |
| 地 域 計 | | | 29 | 727 | カタール | 2 | 42 | | |
| 南 米 | アルゼンチン | | 10 | 275 | クウェート | 1 | 20 | | |
| | ウルグアイ | | 2 | 31 | シリア | 2 | 62 | | |
| | エクアドル | | 1 | 4 | トルコ | 8 | 213 | | |
| | コロンビア | | 7 | 183 | ヨルダン | 1 | 12 | | |
| | チリ | | 5 | 122 | レバノン | 1 | 20 | | |
| | パラグアイ | | 2 | 108 | 地 域 計 | | | 17 | 383 |
| | ブラジル | | 55 | 1,255 | エジプト | 3 | 90 | | |
| | ベネズエラ | | 4 | 62 | チュニジア | 1 | 33 | | |
| ペルー | | 7 | 177 | モロッコ | 2 | 35 | | | |
| ボリビア | | 5 | 115 | 地 域 計 | | | 6 | 158 | |
| 地 域 計 | | | 98 | 2,332 | ケニア | 4 | 116 | | |
| 西 欧 | アイスランド | | 1 | 18 | セネガル | 2 | 17 | | |
| | アイルランド | | 1 | 20 | ボツワナ | 2 | 42 | | |
| | アンドラ | | 1 | 8 | マダガスカル | 2 | 129 | | |
| | イタリア | | 10 | 225 | 南アフリカ | 1 | 31 | | |
| 地 域 計 | | | | | 地 域 計 | | | 11 | 335 |

日本語事業費

| | |
|-------|---------------------|
| 制作事業費 | (4)図書館運営（日本語国際センター） |
|-------|---------------------|

国際交流基金日本語国際センターが招へいする海外の日本語教師等、内外の日本語教育関係者の教育研究活動のための専門図書館として、資料を収集・整理し、閲覧・貸し出し・レファレンスサービスを行う。

合計額 20,156,435 円

| | 事業名 | 蔵書数 | 事業内容 | 利用者数 |
|---|-------|---|---|--------|
| 1 | 図書館運営 | 図書 36,250点、視聴覚資料 5,983点、電子形態資料567点、絵教材320点、マイクロ資料 394点、計43,514点 雑誌・紀要・ニューズレター641誌、新聞12紙、計653タイトル | 国内外における日本語教育の促進を目的として、日本語教科書・教材をはじめ、日本語教育、日本語、言語学、日本事情、外国語教育に関する資料や情報を収集・提供している専門図書館の運営 | 20,300 |

日本語普及事業に必要な経費

関西国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 図書館運営（関西国際センター）
- (2) 専門日本語研修（外交官）
- (3) 専門日本語研修（公務員）
- (4) 専門日本語研修（司書）
- (5) 専門日本語研修（研究者・大学院生）
- (6) 日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）
- (7) 日本語学習者訪日研修（大学生）
- (8) 日本語学習者訪日研修（高校生）
- (9) アジア・ユースフェロシップ高等教育奨学金訪日研修
- (10) 地域交流研修（関西国際センター）
- (11) 受託研修（関西国際センター）
- (12) 日本語教育協力事業

関西国際センター事業費

研修事業費 (1) 図書館運営 (関西国際センター)

関西国際センター内で日本語及び日本事情の集中研修を受けている研修生に対し、レファレンス等の各種図書館サービスを提供する。

合計額 21,348,881 円

| 事業名 | 蔵書数 | 事業内容 | 利用者数 |
|---------|--|--|--------|
| 1 図書館運営 | 図書43,500冊、ビデオ/DVD1,165点、LD6点、CD-ROM50タイトル、マイクロフィルム1,387リール 雑誌280タイトル、新聞17紙。 | 関西国際センターでの研修参加者の学習・研究をサポートするため、各分野の参考図書の充実と日本の文化・社会を広く紹介する各国語資料を収集、提供、レファレンスなどの各種図書館サービスを実施。 | 15,419 |

研修事業費 (2) 専門日本語研修 (外交官)

諸外国の若手外交官を9カ月間に日本に招へいして、日本語及び日本事情の長期集中研修をする。

合計額 57,873,777 円

| 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|----------------------|-----------|----|-----------------------|--|
| 1 専門日本語研修 (外交官) 18年度 | インドネシア | 1 | 06.10.04～ 07.06.22 | 日本国外務省の協力を得て、海外の若手外交官を日本に招へいし、日本語および日本事情の長期集中研修を実施 |
| | カンボジア | 1 | | |
| | フィリピン | 1 | | |
| | ベトナム | 1 | | |
| | ミャンマー | 1 | | |
| | ラオス | 1 | | |
| | モルディブ | 1 | | |
| | ソロモン | 1 | | |
| | ナウル | 1 | | |
| | パプアニューギニア | 1 | | |
| | キューバ | 1 | | |
| | ドミニカ共和国 | 1 | | |
| | エクアドル | 1 | | |
| | スリナム | 1 | | |
| | チリ | 1 | | |
| | パラグアイ | 1 | | |
| | ウズベキスタン | 1 | | |
| | キルギス | 1 | | |
| | クロアチア | 1 | | |
| | ルーマニア | 1 | | |
| | バーレーン | 1 | | |
| | ザンビア | 1 | | |
| | タンザニア | 1 | | |
| | ボツワナ | 1 | | |
| | マダガスカル | 1 | | |
| | マラウイ | 1 | | |
| 南アフリカ | 1 | | | |

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------|--|---|-----------------------|--|
| 2 | 専門日本語研修 (外交官) 19年 度 | インドネシア カンボジア フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス スリランカ ネパール パキスタン バングラデシュ キリバス パラオ エルサルバドル パナマ グルジア セルビア タジキスタン マケドニア イラク トルコ ウガンダ ケニア 赤道ギニア マダガスカル マリ | 1 | 07.10.03～ 08.03.31 | 日本国外務省の協力を得て、海外の若手外交官を日本に招へいし、日本語および日本事情の長期集中研修を実施 |

研修事業費 (3) 専門日本語研修 (公務員)

諸外国の政府・公的機関、日本政府の代表部が置かれている国際機関の公務員等で、業務上の目的で日本語の習得を必要とする者を、9カ月間日本に招へいして、日本語及び日本事情の長期集中研修を実施する。

合計額 16,620,496 円

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------|---|---|-----------------------|---|
| 1 | 専門日本語研修 (公務員) 18年 度 | インドネシア ラオス エクアドル パラグアイ ウズベキスタン タジキスタン ブルガリア リトアニア イラク | 1 1 1 1 1 1 1 1 2 | 06.10.04～ 07.06.22 | 海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施 |

関西国際センター事業費

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------|---|---|-----------------------|---|
| 2 | 専門日本語研修 (公務員) 19年 度 | モンゴル インドネシア ベトナム ラオス ネパール モルディブ キューバ ニカラグア タジキスタン | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 07.10.03～ 08.03.31 | 海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施 |

研修事業費 (4) 専門日本語研修 (司書)

海外の高等教育機関、研究機関、文化交流機関、公立図書館等の司書で業務上日本語能力を必要とする者を約6カ月間日本に招へいし、司書の業務上の必要に則した日本語の長期集中研修を実施する。

合計額 13,136,755 円

| | 事業名 | 参加国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------|--|--------------------------------------|-----------------------|--|
| 1 | 専門日本語研修 (司書) | 韓国 中国 モンゴル フィリピン ドイツ ウクライナ カザフスタン ロシア | 2 2 1 1 1 1 1 1 | 07.10.03～ 08.03.19 | 海外の高等教育機関、学術研究機関、文化交流機関、公立図書館などの司書を日本に招へいし、業務上必要な日本語の研修を実施 |

研修事業費 (5) 専門日本語研修 (研究者・大学院生)

諸外国の研究者(社会科学又は人文科学専攻)及び海外の大学院で社会科学又は人文科学の分野を専攻し、将来日本研究関連の職業につくことを希望している大学院生で、研究活動上の目的で日本語の習得を望む人を対象に日本語の集中研修を実施する。

合計額 64,226,139 円

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---|---|--|-----------------------|---|
| 1 | 専門日本語研修 (研究者・大学 院生) 18年度(8 カ月) | 韓国 中国 ベトナム ミャンマー 米国 ドイツ フィンランド カザフスタン ロシア エジプト | 3 3 1 1 2 1 1 1 1 1 | 06.10.04～ 07.05.25 | 研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の集中研修を実施 |

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|-------|----------------------------------|---------|----|-----------------------|---|
| 2 | 専門日本語研修 (研究者・大学院生) 19年度 (8カ月) | 韓国 | 2 | 07.10.03～ 08.03.31 | 研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする 海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の 集中研修を実施 |
| | | 中国 | 3 | | |
| | | フィリピン | 1 | | |
| | | ベトナム | 2 | | |
| | | カナダ | 1 | | |
| | | 米国 | 3 | | |
| | | ウクライナ | 1 | | |
| | | ハンガリー | 1 | | |
| 3 | 専門日本語研修 (研究者・大学院生) (2カ月) | 韓国 | 3 | 07.06.13～ 07.08.08 | 研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする 海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の 集中研修を実施 |
| | | 中国 | 9 | | |
| | | シンガポール | 1 | | |
| | | ベトナム | 2 | | |
| | | マレーシア | 1 | | |
| | | インド | 2 | | |
| | | スリランカ | 2 | | |
| | | 米国 | 2 | | |
| | | デンマーク | 1 | | |
| | | ドイツ | 1 | | |
| | | フィンランド | 1 | | |
| | | フランス | 1 | | |
| | | ウクライナ | 1 | | |
| | | ウズベキスタン | 2 | | |
| | | エストニア | 1 | | |
| | | キルギス | 1 | | |
| | | グルジア | 1 | | |
| | | ポーランド | 1 | | |
| リトアニア | 1 | | | | |
| ロシア | 4 | | | | |
| エジプト | 1 | | | | |
| 4 | 専門日本語研修 (研究者・大学院生) (4カ月) | 韓国 | 1 | 07.09.05～ 07.12.19 | 研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする 海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の 集中研修を実施 |
| | | 中国 | 2 | | |
| | | フィリピン | 1 | | |
| | | ベトナム | 1 | | |
| | | インド | 1 | | |
| | | ブラジル | 1 | | |
| | | オーストリア | 1 | | |
| | | デンマーク | 1 | | |
| | | ウクライナ | 2 | | |
| | | ウズベキスタン | 1 | | |
| | | エストニア | 1 | | |
| | | カザフスタン | 1 | | |
| | | キルギス | 1 | | |
| | | ハンガリー | 1 | | |
| | | ラトビア | 1 | | |
| | | ロシア | 4 | | |
| | | イラン | 1 | | |
| | | エジプト | 1 | | |

| 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|-----|---------|----|----|------|
| | イエメン | 1 | | |
| | イラン | 1 | | |
| | サウジアラビア | 1 | | |
| | シリア | 1 | | |
| | トルコ | 1 | | |
| | バーレーン | 1 | | |
| | ヨルダン | 1 | | |
| | エジプト | 1 | | |
| | モロッコ | 1 | | |
| | ケニア | 1 | | |
| | セネガル | 1 | | |
| | マダガスカル | 1 | | |

研修事業費 (7)日本語学習者訪日研修 (大学生)

近年、日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している大学生をグループで招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。

合計額 36,344,649 円

| 事業名 | 参加国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---------------------------|----------|------|-----------------------|--|
| 1 日本語学習者訪日研修(大学生) (春季) | タイ | 2 | 07.05.16～ 07.06.27 | 日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している大学生をグループで招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした研修を実施 |
| | フィリピン | 1 | | |
| | インド | 6 | | |
| | スリランカ | 1 | | |
| | メキシコ | 2 | | |
| | アゼルバイジャン | 1 | | |
| | ベラルーシ | 1 | | |
| | ロシア | 4 | | |
| | トルコ | 2 | | |
| | ケニア | 1 | | |
| 2 日本語学習者訪日研修(大学生) (秋季) | カンボジア | 1 | 07.10.24～ 07.12.05 | 日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している大学生をグループで招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした研修を実施 |
| | ウクライナ | 2 | | |
| | ウズベキスタン | 1 | | |
| | カザフスタン | 1 | | |
| | キルギス | 1 | | |
| | セルビア | 1 | | |
| | チェコ | 1 | | |
| | ハンガリー | 2 | | |
| | ブルガリア | 2 | | |
| | ポーランド | 2 | | |
| | ルーマニア | 2 | | |
| | サウジアラビア | 1 | | |
| | トルコ | 1 | | |

関西国際センター事業費

| | 事業名 | 参加国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------|---|--|-----------------------|--|
| 3 | 日本語学習者訪日研修(大学生) (冬季) | インドネシア ラオス アルゼンチン コロンビア チリ ブラジル イラン シリア トルコ エジプト | 2 2 1 1 1 4 2 2 1 2 | 08.01.16～ 08.02.27 | 日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している大学生をグループで招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした研修を実施 |

研修事業費 (8)日本語学習者訪日研修 (高校生)

海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供する。

合計額 23,949,412 円

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------|---|--|-----------------------|--|
| 1 | 日本語学習者訪日研修(高校生) | 仏領ニューカレドニア 中国 モンゴル インドネシア タイ マレーシア スリランカ オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 ブラジル ペルー アイルランド 英国 ドイツ フランス ロシア | 1 3 2 3 3 2 2 3 3 3 3 2 1 1 3 1 2 2 | 07.07.03～ 07.07.18 | 海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間日本に招へいし、日本語及び日本の文化・社会への理解を深めること、同世代の日本の若者と交流すること、日本語の学習意欲を高めることを目的とした研修を実施 |
| 2 | 李秀賢氏記念勸告青少年招へい事業 | 韓国 | 20 | 08.02.12～ 08.02.22 | 李秀賢氏の勇気ある行動を記念して、韓国で日本語を学習している高校生を日本に招へいし、日本語及び日本の文化・社会への理解を深めること、同世代の日本の若者と交流すること、日本語の学習意欲を高めることを目的とした研修を実施 |

関西国際センター事業費

研修事業費 (9) アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修

アジア各国の文化振興支援の一環として、アジア域内の将来を担う人材育成を支援するため、日本の大学院へ留学するアジア11カ国の大学卒業者を対象に大学院留学前予備教育事業を行なう。

合計額 31,766,257 円

| | 事業名 | 国 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------|--|---|-----------------------|--|
| 1 | アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修 | インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン ブルネイ ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス バングラデシュ | 2 2 1 1 2 1 2 2 2 1 2 | 07.07.17～ 08.02.19 | アジア各国の将来を担う人材の育成支援のため、日本の大学院へ留学するアジア11カ国の大学卒業者を招へいし、日本での研究活動に必要な日本語の習得及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした、大学院留学前の長期集中研修を実施 |

研修事業費 (10) 地域交流研修 (関西国際センター)

地域貢献の一環として、地方自治体等の機関が実施する事業のうち、主に日本語学習研修について、協力・共同実施する。

合計額 1,581,088 円

| | 事業名 | 参加国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------|--|---|-----------------------|---|
| 1 | 大阪府JET青年日本語研修 | モンゴル スリランカ オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 ジャマイカ 英国 パレスチナ 南アフリカ | 2 2 3 2 9 19 1 8 1 1 | 07.08.20～ 07.08.24 | 大阪府と共催で、同府に新規着任予定のJET青年のうち、小・中・高等学校において語学指導に従事する外国語指導助手 (ALT) に対する来日時日本語研修を実施 |
| 2 | 大阪府クィーンズランド州日本語教師研修 | オーストラリア | 5 | 08.01.06～ 08.01.24 | 大阪府と共催で、同府の姉妹提携都市であるオーストラリア、クィーンズランド州の日本語教師に対して、日本語及び日本事情の集中研修を実施 |
| 3 | JET青年日本語研修 | オーストラリア カナダ 米国 アイルランド 英国 ニュージーランド | 5 3 34 2 8 2 | 07.07.30～ 07.08.09 | JETプログラムで日本に既に1年間以上滞在しているJET青年に対して、日本語の集中研修を実施 |

関西国際センター事業費

研修事業費 (11) 受託研修 (関西国際センター)

外部団体より委託を受け、日本語研修を実施する。

合計額 30,496,956 円

| | 事業名 | 参加国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|--|--|------------------------|-----------------------|--|
| 1 | ニュージーランド日本語教師研修 | ニュージーランド | 4 | 07.04.07～ 07.04.19 | 関西国際センターの研修事業の実績及びノウハウの外部への還元と、さらなる発展を目的とする「受託研修」の一環として、ニュージーランド人日本語教師研修を受託し、日本語能力の向上、日本語教育リソースの紹介、現代日本事情紹介等を目的とした日本語研修を実施 |
| 2 | 上海市公務員日本語研修 | 中国 | 1 | 07.06.13～ 07.08.08 | 財団法人大阪府国際交流財団及び社団法人大阪府国際ビジネス振興協会が上海市から招へいする同市職員に対し、基礎的な日本語能力の向上を目的とした研修の実施を受託。 |
| 3 | 香港中学生訪日研修 | 中国 | 17 | 07.07.17～ 07.07.23 | 香港日本語教育研究会が実施する日本語を学習している香港の中学生を対象とした訪日研修について、大阪府国際交流財団と共催で、宿泊施設提供、移動手段の手配、日本文化体験プログラム等の実施についての業務を受託。 |
| 4 | 21世紀東アジア青少年大交流計画 東アジア日本語履修大学生研修プログラム (冬季コース) | インドネシア ラオス インド | 5 1 5 | 08.01.16～ 08.02.27 | 東アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から、その機関で日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として実施。 |
| 5 | 21世紀東アジア青少年大交流計画 東アジア日本語移動講座プログラム (カレッジ・イン・ジャパン) | タイ | 40 | 08.03.31～ 08.04.28 | 東アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から、その機関で日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として実施。 |
| 6 | 21世紀東アジア青少年大交流計画 南アジア日本語移動講座プログラム (カレッジ・イン・ジャパン) | スリランカ ネパール パキスタン バングラデシュ モルディブ | 10 8 9 3 3 | 07.02.27～ 08.03.26 | 南アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から、その機関で日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として実施。 |

研修事業費 | (12) 日本語教育協力事業

事業を通じて蓄積されたノウハウを外部に還元し、さらに発展させるために、公的機関・地方自治体・教育機関等が実施する事業のうち、主に日本語教育分野について協力する。

合計額 8,056,914 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------|-----------------------|--|
| 1 | Eラーニング開発事業 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本で看護・介護分野の仕事に従事する外国人の日本語学習を支援するためのインターネット辞書ツール「日本語でケアナビ」の開発が完了し、インターネット上で一般公開を開始。 |

日本研究・知的交流事業に必要な経費

企画開発費

1. 日本研究事業費
 - (1) 日本研究ウェブサイト運営
2. 文化資料事業費
 - (1) 日本研究基本図書目録
 - (2) 図書寄贈〔企画調整〕

日本研究事業費 (1) 日本研究ウェブサイト運営

日本研究に関する情報を掲載する日本研究ウェブサイトJS-Net (Japanese Studies Network Forum) を運営する。
合計額 824,625 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------|-----------------------|---|
| 1 | JS-NET運営 | 07.04.01～ 07.06.30 | 平成9年度に開設したウェブサイトJS-Netを通じた日本研究関連情報の発信方法を見直し、平成19年度中に基金本部ウェブサイトへ固有コンテンツを移動し、基金本部ウェブサイトを窓口とした一元的な情報提供を実施。 |

文化資料事業費 (1) 日本研究基本図書目録

日本の学会の動向を解説し、著作・論文の解題を付した英文の総合文献目録を制作・出版する(社会科学、人物科学、芸術を交互に刊行)。
合計額 3,450,138 円

| | 事業名 | 部数 | 発行日 | 事業内容 |
|---|--------------------|------|-----------|--|
| 1 | 日本研究基本図書目録 第15巻-2号 | 1000 | 2007/12/1 | 世界各国における日本研究の促進のために、人文・社会科学の分野における、日本の学界動向と研究成果を主要な文献と共に英文で紹介する『日本研究基本図書目録』を発行。平成19年度は、第15巻Part2人文科学編(2002～2003)を刊行し、複数年度にまたがる事業を完了。 |

文化資料事業費 (2) 図書寄贈 [企画調整]

日本研究関係の定期刊行物を買上げ、ODA地域を中心とした日本研究・教育機関に対して寄贈する。
合計額 1,303,400 円

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------|--|----------------|-----------------------|--|
| 1 | 日本研究資料購送 | 財団法人 東方学会 上智大学 モニュメンタ・ニッポニカ ワシントン大学 The Journal of Japanese Studies | 日本 日本 米国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 海外の日本研究振興に資する図書・資料の寄贈事業の一環として、日本研究分野で定評のある英文定期刊行物3誌を買上げ、ODA諸国を中心とした日本研究機関に対して寄贈。 |

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日中交流事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業
- (2) 高校生等招へい事業
- (3) 交流拠点設置運営事業（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) ネットワーク整備事業（催し・主催）
- (2) ネットワーク整備事業（催し・助成）
- (3) 交流拠点設置運営事業（催し）

3. 文化資料事業費

- (1) ネットワーク整備事業（文化資料）

人物交流事業費 (1) 受託事業 (日中交流センター)

日中交流の分野で、国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 54,059,197 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------|-----------------------|---|
| 1 | 日中高校生交流基盤整備・強化事業 | 07.06.01～ 08.03.31 | ウェブサイト「心連心コミュニティサイト」(日本語/中国語。http://www.chinacenter.jp) は、日中の最新文化等の情報発信を行っている他、閲覧者が、自分の意見・感想を書き込むことで、他の閲覧者と交流を図ることができる。同時翻訳機能により、言語の問題を気にすることなく、交流することが可能であり日中の特に若い世代によるインターネット上の交流を促進する。 |
| 2 | 中国高校生長期招へい (第二期生) | 07.09.04～ 08.07.26 | 中国の高校生が日本の政治、経済、伝統、文化を実際の日本での生活を通じて見聞し、また、学校や一般家庭でのホームステイなどを通して対日理解を深め、同時に日本の高校生たちにも同年代の中国の高校生と交流する機会を提供することにより、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる青年間の信頼関係を築くことを目指す。 |
| 3 | 中国高校生長期招へい事業 (第三期生) | 08.02.15～ 09.07.25 | 中国の高校生を招へいする準備を行う。 |

人物交流事業費 (2) 高校生等招へい事業

中国の高校生を招へいし、日本の社会と文化を知る機会を提供するとともに、日本の人々にも中国人と直接交流し、中国の文化を知る機会を提供する。

合計額 50,286,879 円

| | 事業名 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------|----|-----------------------|---|
| 1 | 長期 (直轄)・一期生 | 32 | 06.09.07～ 07.07.27 | 中国の高校生が日本の政治、経済、伝統、文化を実際の日本での生活を通じて見聞し、また、学校や一般家庭でのホームステイなどを通して対日理解を深め、同時に日本の高校生たちにも同年代の中国の高校生と交流する機会を提供することにより、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる青年間の信頼関係を築くことを目指す。 |
| 2 | 長期 (AFS委託)・一期生 | 5 | 07.04.01～ 07.07.31 | 中国からの一年以上の長期招へい事業を一貫して実施しているAFSに長期招へい事業の一部 (5名) を委託。国際交流基金として初めて実施する高校生の長期招へい事業のノウハウを、経験を有するAFSから習得する。中国の高校生が日本の政治、経済、伝統、文化を実際の日本での生活を通じて見聞し、また、学校や一般家庭でのホームステイなどを通して対日理解を深め、同時に日本の高校生たちにも同年代の中国の高校生と交流する機会を提供することにより、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる青年間の信頼関係を築くことを目指す。 |
| 3 | 長期 (直轄)・第二期生 | 37 | 07.09.04～ 08.07.26 | 中国の高校生が日本の政治、経済、伝統、文化を実際の日本での生活を通じて見聞し、また、学校や一般家庭でのホームステイなどを通して対日理解を深め、同時に日本の高校生たちにも同年代の中国の高校生と交流する機会を提供することにより、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる青年間の信頼関係を築くことを目指す。 |

日中交流センター事業費

人物交流事業費 (3) 交流拠点設置運営事業 (招へい)

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報発信と日中間の人的交流を目的とした「ふれあいの場」を設置し、日本文化や社会に対する関心を喚起する。

合計額 774,685 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|-----------------|--|-------------------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 中国「ふれあいの場」スタッフ招へい | 范敏 郭楠 孟思齊 | 長春図書館 業務副館長 長春市人民政府外事弁公室 亞洲処科員 広島四川中日友好会館 職員 | 長春図書館 長春市人民政府外事弁公室 広島四川中日友好会館 | 08.02.25～ 08.02.29 | 中国に展開中である「ふれあいの場」の中国人スタッフを招へいし、事業計画を協議する他、日本の図書館や類似施設の見学を通じ、ディスプレイ方法や運営方法を習得してもらい、また、今回の訪日を通じ、日本及び日本人への親近感醸成を図り、帰国後、その経験が還元されることを目的とする。 |

催し等事業費 (1) ネットワーク整備事業 (催し・主催)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図る。

合計額 2,034,582 円

| | 事業名 | 協力機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------|-------------------|-----------------------|--|
| 1 | 日中韓文化交流フォーラム | (財)文化財保護・芸術研究助成財団 | 07.10.10～ 07.10.12 | 東北アジア地域で、民間主導の文化交流を積極的に展開・支援し、この地域の共同繁栄と発展に寄与することを目的とする日中韓文化交流フォーラムの第三回目会議を実施する。 |

催し等事業費 (2) ネットワーク整備事業 (催し・助成)

日本と中国の市民レベルの交流基盤を強化するため、将来に亘って継続的な交流事業の担い手となる人々のネットワーク形成を目的とする事業の実施経費の一部を助成する。

合計額 1,601,020 円

| | 事業名 | 助成機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------|----------------|-----------------------|---|
| 1 | 日中児童共同制作 | 同時代児童芸術国際交流研究会 | 07.07.15～ 07.09.30 | 中国側協力校を通じ公募・選抜した、日本に関心を有する小学生を日本に9日間招へいし、同様に日本国内協力校が公募・選抜した日本人小学生とともに、関西地域の見学研修を行う。参加生徒には互いの研修の様子や町の風景をビデオ撮影させ、その記録を日本及び中国の協力校等で上映し、両国の一般市民の相互理解促進の一助とする。 |

日中交流センター事業費

| | 事業名 | 助成機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------------|----------------|-----------------------|---|
| 2 | 日中社会企業支援組織ネットワーク形成のための交流研究事業 | 特定非営利活動法人エティック | 07.09.01～ 08.03.31 | 日中両国の市民セクターが注目される中、日中における社会起業家や事業型NPOを支援する中間支援組織同士の研究交流事業を実施する。3日間の交流研究大会及びプレ・セッションでは、中間支援組織のキャパシティ・ビルディング、ビジネスとNPOのパートナーシップ促進についての研究発表を行い、両国の社会起業的取り組みに関する問題意識を共有、日中の中間支援組織の協働基盤を形成する。 |
| 3 | 京論壇 | 京論壇 | 07.08.27～ 08.03.31 | 北京大・東京大の学生によるワークショップを歴史・安全保障・環境・経済の4分科会分けて実施、日中間の問題を多角的に検証する。北京・東京の両都市でのフィールドワークやディスカッションを経て、深い議論の構築を目指す。各ラウンド最終日には、協力者や一般聴衆を前にして参加者がプレゼンを行い、建設的な提言を出す。実施後、活動の総括及び提言を行うため、準備過程や議論を詳細にまとめた書籍を出版した。 |

催し等事業費 (3) 交流拠点設置運営事業 (催し)

合計額 35,215,364 円

| | 都市 | 共催・協力機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|----|-------------|-----------------------|--|
| 1 | 南京 | 金陵図書館 | 07.04.01～ 08.09.30 | 江蘇省南京市の金陵図書館内に開設する南京「ふれあいの場」事業の運営を支援する。 |
| 2 | 成都 | 広島・四川中日友好会館 | 07.04.01～ 08.03.31 | 四川省成都市の広島・四川中日友好会館内に開設する成都「ふれあいの場」事業の運営を支援する。 |
| 3 | 長春 | 長春図書館 | 08.01.01～ 08.03.31 | 吉林省長春市の長春図書館内に開設する長春「ふれあいの場」事業の運営を支援する。 |
| 4 | 延辺 | 延辺大学日本学研究所 | 08.03.01～ 08.03.31 | 吉林省延吉市の延辺大学内に開設する延辺「ふれあいの場」に対し、現代日本文化紹介コンテンツ送付等の助成を行う。 |
| 5 | 南通 | 南通職業大学 | 08.03.01～ 08.03.31 | 江蘇省南通市の南通職業大学内に開設する南通「ふれあいの場」に対し、現代日本文化紹介コンテンツ送付等の助成を行う。 |

日中交流センター事業費

文化資料事業費 (1) ネットワーク整備事業 (文化資料)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図る。

合計額 21,572,309 円

| | 事業名 | 都市 | 共催・協力機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------|------------|------------------|-----------------------|---|
| 1 | 「心連心 日中交流コミュニティサイト」運営 | | 日中友好会館 | 07.04.01～ 08.03.31 | ウェブサイト「心連心コミュニティサイト」(日本語/中国語。http://www.chinacenter.jp)は、日中の最新文化等の情報発信を行っている他、閲覧者が、自分の意見・感想を書き込むことで、他の閲覧者と交流を図ることができる。同時翻訳機能により、言語の問題を気にすることなく、交流することが可能であり、日中の特に若い世代によるインターネット上の交流を促進した。 |
| 2 | ラジオ番組制作・放送 (H19) | 広州市他の24放送局 | ノウリッジ・メディア産業(有) | 07.03.20～ 08.03.31 | 中国国内で日本のポップスを中心とする音楽情報、および音楽にまつわる流行情報等を紹介するラジオ番組を制作・放送する。ノウリッジ・メディア産業との共同事業として実施。 |
| 3 | ラジオ番組制作・放送 (H20) | 広州市他の25放送局 | (株)ナレッジ・アンド・メディア | 08.03.17～ 09.03.31 | 日本の”流行音楽”と”流行情報”を中国語で紹介するラジオ番組を制作し、日本の今の文化に関する情報が少ない中国国内各地域の主要FMラジオ局に無償もしくは低額で提供し、放送を実現した。 |

日本研究・知的交流事業に必要な経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米州〕
- (2) 日本研究教員拡充助成〔米州〕
- (3) 日本研究リサーチ・会議（助成）〔米州〕
- (4) 日本研究組織強化支援（助成）〔米州〕
- (5) 日本研究図書拡充〔米州〕
- (6) 日本研究機関支援（その他：ニューヨーク事務所小規模グラント）〔米州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 小淵フェローシップ（派遣）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔米州〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔米州〕

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔米州〕

米州交流事業費

日本研究事業費 (1) 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [米州]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、日本から学者・研究者を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。

合計額 8,904,466 円

| | 氏名 | 現職 | 受入機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------|-------------------------|---------------------|-------|-----------------------|------------------|
| 1 | 中西 徹 | 東京大学大学院総合文化研究科 教授 | ポリテクニコ・グランコロンビアノ大学 | コロンビア | 07.09.05～ 07.09.30 | 開発社会経済論 |
| 2 | 若林 幹夫 | 早稲田大学教育総合科学学術院 教授 | エル・コレヒオ・デ・メヒコ | メキシコ | 08.01.20～ 08.07.17 | 現代日本社会と文化 |
| 3 | 坂本光代 | 上智大学外国語学部英語学科 准教授 | サンパウロ大学 哲学・文学・人間科学部 | ブラジル | 07.08.01～ 07.09.15 | バイリンガリズムと言語習得・学習 |
| 4 | 咲川 可央子 | 元(財)国際金融情報センター中南米部主任研究員 | ラファエル・ランディバル大学 | グアテマラ | 07.09.17～ 07.09.22 | 日本経済の理論と実践 |

日本研究事業費 (2) 日本研究教員拡充助成 [米州]

人文科学、社会科学分野で日本に関する教育・研究のために教育職を新規に設置する海外の高等教育・研究期間に対し、新規採用の人件費を当初3年間に限って助成する。

合計額 14,035,204 円

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------|-----|-----------------------|----------------------|
| 1 | フロリダ大学 | 米国 | 07.08.15～ 08.06.30 | 近代日本史助教授の給与助成 (第2年次) |
| 2 | モンタナ州立大学 | 米国 | 07.07.01～ 08.06.30 | 文化人類学助教授の給与助成 (第1年次) |
| 3 | ミシシッピ大学 | 米国 | 07.07.01～ 08.06.30 | 日本史助教授の給与助成 (第1年次) |
| 4 | モントリオール大学 | カナダ | 07.09.01～ 08.05.31 | 日本文学講師の給与助成 |

日本研究事業費 (3) 日本研究リサーチ・会議 (助成) [米州]

日本研究を実施している海外の高等教育・研究機関や学会等が日本に関するグループ研究、調査、学術的な会議、セミナー、ワークショップ等を実施する際に経費の一部を助成する。

合計額 3,821,160 円

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------|-----|-----------------------|---------------------------|
| 1 | ブリティッシュ・コロンビア大学 | カナダ | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本の宮廷文化：継承と受容 |
| 2 | コーネル大学 | 米国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本舞台芸術リソースセンター (JPARC) 会議 |

日本研究事業費 (4) 日本研究組織強化支援 (助成) [米州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 41,603,118 円

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------------------|-----------|-----------------------|---|
| 1 | 北米日本研究資料調整協議会 | 米国 | 07.08.01～ 08.07.31 | 北米の日本研究関連情報専門家のネットワーク強化支援事業。司書の専門的研修や司書と教授陣の連携を高める研修などを実施するとともに年2回の会合で活動報告と今後の活動計画を協議した。 |
| 2 | イリノイ大学 | 米国 | 07.07.01～ 08.06.30 | 中西部地域の日本研究者がホスト機関に集まり、研究会を実施。中西部地域における日本研究者の学術コミュニティを形成し強化する事業に対する支援を行った。 |
| 3 | 米国社会科学研究評議会 (SSRC) | 米国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 大学院生と研究者のネットワーキングを形成することにより日本研究を専攻する学生の孤立化を解消する事業に対する支援。主に日本研究部門を有していない大学・研究機関に所属する学生を対象に実施。 |
| 4 | アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター (IUC) | 米国 カナダ | 07.04.01～ 08.03.31 | 米国・カナダにおける日本専門家の養成を目的とする事業。主として加盟17大学の日本研究専攻大学院生に対し、将来の専門活動に資するべく上級日本語教育の研修を実施した。 |
| 5 | 京都アメリカ大学コンソーシアム (KCJS) | 米国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 主として米国加盟14大学の日本研究専攻学部生を対象とする日本語・日本文化集中研修センター事業。3年生を対象に8カ月間の集中研修を実施。助成金は13名の学生の奨学金に充当した。 |
| 6 | カナダ日本研究学会 | カナダ | 07.04.01～ 07.09.30 | 日本研究に関するカナダ唯一の学際的な学会であるカナダ日本研究学会(JSAC)の年次総会を支援。幹事校ヨーク大学において3日間の日程(本会議部分)で開催され、カナダ、米国、日本等からの主要参加者76名、及び聴衆約100名が参加。各地から集まった様々な専門を持つ日本研究者のネットワーキングの機会となった。 |

米州交流事業費

日本研究事業費 (5) 日本研究図書拡充〔米州〕

日本研究機関支援の一部として、対象機関が日本研究の推進に必要な図書を寄贈し、あるいはその購入経費を助成する。
合計額 2,389,213 円

| | 事業名 | 国 | 冊数 | 事業内容 |
|---|--------------------|-------|-----|--|
| 1 | サンパウロ大学 | ブラジル | 23 | 大学内のさまざまな学部における日本に関する知的関心の多様化・専門化に対応するため、日本文化研究所図書館用の蔵書23冊を寄贈。 |
| 2 | エル・コレヒオ・デ・メヒコ | メキシコ | 106 | 博士課程在籍者複数名が論文執筆に必要としている新日本古典文学大系全106冊を寄贈。 |
| 3 | ポリテクニコ・グランコロンビアノ大学 | コロンビア | 32 | 将来の日本研究センター設立準備のための日本研究資料32冊を寄贈。蔵書の充実と日本研究の質の向上を行った。 |
| 4 | ブリティッシュ・コロンビア大学 | カナダ | 114 | 研究・会議助成に関連した室町時代物語大成、日本古典文学全集、和歌文学大系等の図書114冊を寄贈。 |
| 5 | 私立ラファエル・ラソ・ンディバル大学 | グアテマラ | 45 | 経済分野を中心に45冊の日本関連図書を寄贈。 |

日本研究事業費 (6) 日本研究機関支援（その他：ニューヨーク事務所小規模グラント）〔米州〕

対象機関が日本研究の成果を出版するための経費を助成する、あるいは、対象機関の教員・学生等による訪日研究・研修を支援する等。

合計額 6,282,900円

| | 事業名 | 団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------|---------------------------|-----------------------|----------------|
| 1 | 日本研究環境整備事業 | Northern University | 08.03.31～ 09.03.30 | カリキュラム開発事業 |
| 2 | 日本研究拡充事業 | Bridgewater State College | 08.03.01～ 09.02.28 | 学部ワークショップの実施 |
| 3 | 日本研究促進事業 | Agnes Scott College | 08.03.24 | カリキュラム開発事業 |
| 4 | 日本研究基盤強化事業 | Spelman College | 08.04.01～ 09.03.30 | 日本の大学とのウェブ事業拡充 |
| 5 | 日本研究環境に即したアプローチ（フェーズ1） | Eckerd College | 08.03.31～ 09.03.30 | カリキュラム開発事業 |
| 6 | 日本語及び文化教育強化事業 | Texas A&M University | 08.03.15～ 09.03.14 | ウェブ事業の拡充 |

米州交流事業費

人物交流事業費 (1)小渕フェローシップ (派遣)

日米両国政府の合意に基づく「小渕沖縄教育研究プログラム」の一環として、米国の東西センター（ハワイ州）を受入機関として人文・社会科学分野に係る研究活動を行う沖縄県内の研究者等に対しフェローシップを支給する。
合計額 18,726,928 円

| | 氏名 | 現職 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|-----------------------|-----------------------|--|
| 1 | 山川あかり | 名護市役所 政策推進部金融・情報特区推進室 | 07.05.08～ 07.09.28 | 「沖縄におけるファミリービジネス支援スキームによる構造変革 (institutional change) の促進：ハワイの沖縄県系ファミリービジネスの成功モデルを模したモデル構築と名護市金融特区におけるケース・シミュレーション」のテーマによりハワイ東西センターにおいて研究を行う。 |
| 2 | 高橋そよ | 沖縄大学 地域研究所 特別研究員 | 07.07.01～ 08.06.30 | 「サンゴ礁の持続的な利用と住民参加型資源管理：沖縄とハワイ諸島における社会・生態的な脆弱性の理解に向けて」をテーマにハワイ東西センターにおいて研究を行った。 |
| 3 | 屋良 朝博 | 沖縄タイムス 記者 | 07.07.01～ 08.06.30 | 「日米同盟の新展開と沖縄の未来図-米軍再編へのジャーナリスト的アプローチ」をテーマに米国東西センターにおいて研究活動を行った。 |
| 4 | 山本 成 | NPO法人沖縄 O.C.E.A.N. 役員 | 07.08.01～ 07.12.28 | 「アジア・太平洋島嶼国地域の持続可能な発展のための遠隔教育システム整備の技術および人的ネットワークの形成-文化的・地域的かつグローバルのあ人材育成・確保へ向けて」をテーマによりハワイ東西センターにおいて研究を行った。 |
| 5 | 宮良 信詳 | 琉球大学 法文学部 教授 | 07.08.20～ 08.01.19 | 「沖縄語の教材開発とハワイ大学と琉球大学間の沖縄研究ネットワーク構築」をテーマにハワイ東西センターにおいて研究を行った。 |

人物交流事業費 (2)日本研究フェローシップ (学者・研究者) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 45,728,605 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------|-------------------------|----|-----------------|-----------------------|---|
| 1 | HELLYER, Robert, Ingels | ウェイクフォレスト大学助教授 | 米国 | 東京大学史料編纂所 | 07.08.30～ 08.08.08 | 緑茶：日本の産業化や国際化 |
| 2 | LIPPIT, Miya Elise Mizuta | 南カリフォルニア大学非常勤講師 | 米国 | 東京大学大学院人文社会系研究科 | 07.06.08～ 08.06.07 | 影からイルミネーションへ：美術・文学と近代日本の電化 |
| 3 | SATO, Atsuko | カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校非常勤講師 | 米国 | 北海道大学大学院環境科学院 | 07.06.08～ 07.09.14 | 北海道における持続可能な社会に向けての共治の現状：政府、企業、非営利団体による取り組みの包括的調査 |

米州交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------------|--|------|------------------|-----------------------|--|
| 4 | WHITE, Merry Isaacs | ボストン大学 教授 | 米国 | 金沢大学 | 08.02.15～ 08.06.14 | 社会的空間と変化する都市生活：日本のカフェ社会 |
| 5 | SHOJI, Rafael | サンパウロカ トリック大学 研究者 | ブラジル | 南山大学 | 07.05.27～ 08.05.25 | 日系ブラジル人のキリスト教：国際ネットワークと日本における社会的な統合 |
| 6 | OTA, Junko | サンパウロ大 学 哲学・文 学・人間科学 部 東洋文化 科付属日本文 化研究所所長 | ブラジル | 国際日本文化 研究センター | 08.01.05～ 08.04.03 | 江戸から明治時代にかけての日本語変化の文化・社会・歴史的背景 |
| 7 | SANTANA, Martin | エサン大学教 授 | ペルー | 早稲田大学 | 08.03.26～ 09.03.09 | Eガバメントへの道：ペルーにおけるガバナンス及びパブリック・マネジメントの向上 |
| 8 | YANG, X. Jie | カルガリー大 学教授 | カナダ | 立教大学 | 07.08.22～ 08.04.21 | 絵巻音読に関する基礎研究 |
| 9 | FERNANDEZ TABIO, Luis Rene | ハバナ大学 副理事 | キューバ | 東京大学 | 07.09.22～ 07.12.20 | 米国の対キューバ経済制裁：日本・キューバ関係に与えたインパクト |
| 10 | PORTILLO RODRIGUEZ, Manuel | モンテレイ工 科大学メキシ コシティ校教 授 | メキシコ | 東京大学 | 07.06.02～ 08.05.27 | 日本の都市開発への市民社会の参加 |
| 11 | ABI- SAMARA, Raquel | ブラジル国立 科学技術開発 評議会研究者 | ブラジル | 国際日本文化 研究センター | 07.07.02～ 08.06.01 | 都市風景と現代日本詩 |
| 12 | KUBOTA, Ryuko | ノースカロラ イナ大学准教 授 | 米国 | 上智大学 | 07.01.05～ 08.01.04 | 想像世界におけるアイデンティティ形成：女性と日本の英会話学習ビジネス |
| 13 | UEDA, Atsuko | プリンストン 大学助教授 | 米国 | 早稲田大学 | 07.01.21～ 07.07.20 | 文学史の中の「文学」：戦後日本の文芸批評をめぐって |
| 14 | BUTLER, Lee | ブリガム・ヤ ング大学准教 授 | 米国 | 帝塚山学院大 学 | 07.03.02～ 07.07.31 | 日根野コミュニティー：生活、仕事および16世紀の日本の土地論争 |
| 15 | BOGEL, Cynthia Jean | ワシントン大 学准教授 | 米国 | 京都大学 | 07.01.07～ 07.10.06 | 輸入された仏教オブジェクトの文化的 生活：請求目録と日本におけるその芸術的遺産 |
| 16 | LOFTUS, Ronald P. | ウィラメット 大学教授 | 米国 | お茶の水女子 大学 | 07.01.11～ 07.08.10 | 戦後を語る：日本人女性の自叙伝および回想録を読む |

米州交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------|-------------|-------|----------------|-----------------------|-----------------|
| 17 | QUINTERO, Ednodio Jose | ロス・アンデス大学教授 | ベネズエラ | 東京大学大学院総合文化研究所 | 06.09.03～ 07.08.31 | 近代日本小説の模範 谷崎潤一郎 |

人物交流事業費 (3) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [米州]

人文・社会学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招聘する。

合計額 45,014,513 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------------------|-------------------------------------|--------|--------------------------|-----------------------|---|
| 1 | BLACK, Matthew Douglas | コロンビア大学博士課程 | 米国 | 一橋大学 | 08.03.16～ 09.03.15 | 解明の9か条：日本の社会運動 |
| 2 | PALMER, Jesse D. | カリフォルニア大学アーバイン校博士課程 | 米国 | 東京大学史料編纂所 | 07.08.30～ 08.08.29 | 円仁：日本の学問僧と平安時代に於ける唐文化 |
| 3 | WALLEY, Akiko | ハーバード大学博士課程 | 米国 | 東京大学史料編纂所 | 07.09.11～ 08.08.28 | 法隆寺西院伽藍再考－伽藍配置及び堂内総力の意義について |
| 4 | YOSHITAKE, Mika, Monique | カリフォルニア大学ロサンゼルス校博士課程 | 米国 | 多摩美術大学 | 07.12.02～ 08.07.01 | 太陽へのレクイエム：戦後日本における「もの派」「美共闘」の活動 (1968-1974) |
| 5 | McLAUGHLIN, Levi | プリンストン大学博士課程 | カナダ | 東京大学大学院人文社会系研究科宗教史・宗教学学科 | 07.08.31～ 07.12.30 | 下から見た創価学会－創価学会の歴史と現状 |
| 6 | PITA CESPEDES, Gustavo | エル・コレヒオ・デ・メヒコ博士課程 | キューバ | 筑波大学 | 07.07.28～ 08.09.27 | 明治から昭和にかけての日本社会の発展に武士道精神が与えた影響 |
| 7 | MENDEZ VAZQUEZ, Marcela Ines | エル・コレヒオ・デ・メヒコ アジア・アフリカ研究センター日本科博士課程 | アルゼンチン | 慶應義塾大学 | 07.08.04～ 08.09.01 | 多様性の調整－現代日本におけるラテンアメリカの日系人および政治的想像体 |
| 8 | KUNIMOTO, Thalia Namiko Athena | カリフォルニア大学パークレイ校博士課程 | カナダ | 上智大学 | 07.06.15～ 08.08.14 | 太陽の肖像：具体派の美術における暴力と国民性 |

米州交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|---------------------|-----|------------------------|-----------------------|---|
| 9 | HOFER, Franz D. | コーネル大学 博士課程 | カナダ | 名古屋大学学 院 | 07.09.04～ 08.11.03 | 歴史の事実を作る： 戦後日本とドイツのトラウマ的な過去のビジュアル表現 |
| 10 | KINGSBERG, Miriam Lynn | カリフォルニア大学バークレー校博士課程 | 米国 | 東京外国語大学アジア、アフリカ言語文化研究所 | 07.06.11～ 07.10.12 | 10世紀初頭の大連における「アヘンの近代性」 |
| 11 | O'DAY, Robin | プリティッシュ・コロンビア大学博士課程 | カナダ | 上智大学 | 07.12.31～ 09.02.28 | 日本再構築：若年層における雇用率の低下と社会運動の出現 |
| 12 | NANTAIS, Simon Michel | ビクトリア大学博士課程 | カナダ | 立命館大学 | 07.09.28～ 08.08.31 | 米軍占領下の在日韓国人 |
| 13 | STEAVU- BALINT, Dominic | スタンフォード大学博士課程 | カナダ | 東洋大学文学部哲学課 | 06.03.28～ 07.05.27 | 護符の信仰：日本の宗教における道教的要素 |
| 14 | YAMAMOTO, Miyabi | カリフォルニア大学バークレー校博士課程 | 米国 | 早稲田大学 | 06.12.27～ 08.01.30 | 日本から見た植民地朝鮮 |
| 15 | OKURA, Nana | エール大学博士課程 | 米国 | 上智大学国際教養学部 | 06.06.27～ 07.06.26 | ホワイトカラーとグレーヘア：メトロポリタン日本のサラリーマンのアイデンティティ |
| 16 | McMORRAN, Christopher Michael | コロラド大学博士課程 | 米国 | 大阪市立大学 | 06.07.01～ 07.06.30 | 移住者と女性が支える独自性：日本の田舎観光地のふるさと創生 |
| 17 | LIM, Sungyun | カリフォルニア大学バークレー校大学院生 | 米国 | 京都大学 | 06.09.15～ 07.07.29 | 植民地朝鮮における家族、法律、戸籍の研究 |
| 18 | GUNDRY, David James | スタンフォード大学博士課程 | 米国 | 早稲田大学 | 06.09.02～ 07.08.31 | 西鶴の世紀：江戸時代初期の文学における道徳、階級、及び文体 |
| 19 | ENDO, Mika | シカゴ大学博士課程 | 米国 | 立教大学 | 06.11.01～ 07.10.31 | 子供たちが書いた生活：戦前の生活綴り方の隆盛 |
| 20 | MUTAFCHIEVA, Rositsa | マギル大学博士課程 | カナダ | 大阪市立大学 | 07.01.18～ 07.11.03 | 現代日本の部落言語の構造 |

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------|------------------|-----|----------------|-----------------------|--|
| 21 | OMORI, Hisako | マクマスター 大学博士課程 | カナダ | 上智大学比較 文化学科 | 06.09.10～ 07.08.22 | 現代性、グローバル化、そして交渉によるアイデンティティ：現代日本におけるローマン・カソリックの民族間研究 |
| 22 | LINLEY, Matthew | オーストラリア国立大学博士課程 | カナダ | 早稲田大学政治経済学部 | 06.09.29～ 07.04.28 | 中国と韓国の日本の公外交の比較 |

| | |
|---------|------------------------|
| 人物交流事業費 | (4)日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕 |
|---------|------------------------|

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 15,819,707 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|---|--|----|------------------------------------|-----------------------|---|
| 1 | BECKWITH, Christopher Irving | インディアナ 大学教授 | 米国 | 東京外国語大 学アジア・ア フリカ言語文 化研究所 | 07.07.01～ 07.08.29 | 原始日本語における初期古代中国語からの借用語 |
| 2 | COGAN, Gina | ボストン大学 助教授 | 米国 | | 07.06.22～ 07.08.02 | 十九世紀の日本仏教と家族 |
| 3 | DAVIS- GARDNER, Angela Mackie | ノースキャロ ライナ州立大 学教授 | 米国 | | 07.09.28～ 07.10.18 | 蝶々婦人の子供、小説 |
| 4 | HILL, Christopher Laing | イエール大学 助教授 | 米国 | | 07.09.06～ 07.10.28 | 自然主義文学における開放された女と神経衰弱 |
| 5 | ITO, Kinko | アーカンソー 大学リトル ロック校教授 | 米国 | | 07.12.15～ 08.01.04 | レディースコミックの最近の動向-マンガに映し出される日本の社会と現実 |
| 6 | JACKSON, David Neil | 独立研究者 | 米国 | | 07.09.10～ 07.11.08 | 階段筆筒、歴史の陰の階段室 |
| 7 | HAVENS, Thomas Robert Hamilton | ノースイース タン大学教授 | 米国 | | 07.05.11～ 07.07.08 | 自然を公共の場所に改造する：日本の都市公園、国立公園、自然公園 1873年から現在まで |
| 8 | LIFE JR., Theodore, Reginald | グローバル フィルムネッ トワーク株式 会社常務取締 役 | 米国 | 琉球大学 ア メリカ研究セ ンター | 07.07.22～ 07.08.19 | カクテルパーティー：日本の小説の英語及び日本語での映画への脚色 |

米州交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------|---------------------------|------|--------------|-----------------------|---|
| 9 | MILLER, Laura | ロヨラ大学シカゴ校教授 | 米国 | 早稲田大学 | 07.06.01～ 07.07.09 | 日本のギャル文化における壊れた文体と新しい絵文字 |
| 10 | SAGERS, John Hampton | リンフィールド大学助教授 | 米国 | 立教大学 | 08.03.10～ 08.05.08 | 明治日本での利益と道徳の追求：渋沢栄一の実業家的論理思想 |
| 11 | SHIMIZU, Sayuri Guthrie | ミシガン州立大学准教授 | 米国 | | 07.05.14～ 07.07.12 | 太平洋横断のフィールド・オブ・ドリームズ 日米野球対決 1872-1952 |
| 12 | THORNBUR, Karen, Laura | ハーバード大学 | 米国 | | 07.06.16～ 07.07.07 | 動いていく文化とテキスト：植民地または半植民地の東アジア圏の日本文学を変更する |
| 13 | TRAGANOU, Georgia | パーソンズ美術大学助教授 | 米国 | 武蔵野美術大学 | 07.06.29～ 07.08.27 | 1940年、1964年、1972年のオリンピックのグラフィック・デザインの運動を通じた国家の戦争描写と戦後日本 |
| 14 | TSUJIMURA, Natsuko | インディアナ大学教授 | 米国 | | 07.05.18～ 07.06.10 | コンピュータを使つてのコミュニケーションにおける日本語の変化 |
| 15 | TUCKER, John Allen | イーストキャロライナ大学教授 | 米国 | 南山大学 宗教文化研究所 | 07.06.14～ 07.07.13 | 南山日本哲学資料集の日本儒教 |
| 16 | SPIES, Alwyn | プリティッシュ・コロンビア大学 オカナガン校助教授 | カナダ | | 07.05.28～ 07.07.23 | グローバルおばあちゃん：冬のソナタの年配女性の受け止め方と反応の異文化間比較 |
| 17 | BIJOS, Leila Maria Da'Juda | ブラジリア・カトリック大学教授 | ブラジル | 筑波大学 | 07.12.13～ 08.02.10 | 貧困と社会的排除と民族・人種差別：日本におけるブラジル人出稼ぎ女性が直面する困難の比較研究 |

催し等事業費 (1)知的交流会議（主催）〔米州〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 5,014,071 円

| 事業名 | 共催・協力機関 | 期間 | 事業内容 |
|---------------|---------|-----------------------|---|
| 1 日本研究情報専門家研修 | 国立国会図書館 | 07.11.25～ 07.12.12 | 北米及び中南米地域の日本研究機関等に所属する日本研究情報専門家等（司書、研究者など）を招へいし、国立国会図書館の協力を得て日本に関する最新の情報及び各種書誌情報検索などの研修を実施。 |

| | 事業名 | 共催・協力機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------------------------|---------|----------|--|
| 2 | シンポジウム「社会科学国際フェローシップ-その成果・課題・展望」 | 国際文化会館 | 07.07.30 | 平成18年度まで国際文化会館と共催で実施してきた「新渡戸フェローシップ」を含む社会科学分野の国際フェローシップをテーマに、その成果や課題を検証し、国際的な人材育成プログラムの今後の展望を議論。 |

| | |
|--------|--------------------|
| 催し等事業費 | (2) 知的交流会議（助成）〔米州〕 |
|--------|--------------------|

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 7,952,884 円

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------------------|--------------------------|------|-----------------------|---|
| 1 | グローバル経営と経済開発に関する国際学会 | 龍谷大学国際学術学会開催実行委員会 | 日本 | 07.08.08～ 07.08.10 | 21世紀における国際社会のあり方をめぐって、企業の社会的責任のあり方、企業倫理に対する考え方、世界的な経済格差に対する取り組み方、限りある天然資源の最適配分のあり方などの様々な問題について世界の研究者の叡智を結集して解決方法について議論を展開し、その結果を世界に向けて発信。 |
| 2 | 第18回全ブラジル日本語、日本文学、日本文化教師会及び第5回国際日本研究学 | パウリスタ州立大学（UNESP）アシス校 | ブラジル | 07.08.30～ 07.08.31 | 日本研究分野におけるブラジル最大の学会で、日本語・日本文学・日本文化の各分野にわたる多角的内容を目指し、二日間の日程でブラジル内外の研究者が講演・ディスカッションを実施。特にパネルディスカッションは多くのテーマを企画し、文化・宗教・文学・日本語教育などについてあらゆる角度から議論。 |
| 3 | 現代北東アジアにおけるポピュラーカルチャーの流れ | ブリティッシュ・コロンビア大学 韓国研究センター | カナダ | 08.02.22～ 08.02.23 | 日本・韓国・中国・台湾におけるカラオケ・アニメ・マンガ・映画・音楽・テレビドラマ・ゲームなどのポピュラー・カルチャーが各国間で相互に流通している現象や、各国政府がポピュラーカルチャーをソフトパワーとして公共政策にどのように取り込んでいるかなどを各国の学者が集まって学際的に比較。 |
| 4 | 日本の映画制作における芸術的習慣と社会的習慣の間で起こる相互関係 | ヨーク大学 | カナダ | 07.11.12～ 07.11.19 | さまざまなジャンルを専門とする日本映画研究者を集め、1960年代、70年代に制作された日本映画に見られる芸術的側面と社会運動的側面の関連性を再定義し、現代の映画製作に与える影響や可能性を考察するための公開ワークショップと映画上映会を4日間にわたって開催。 |

米州交流事業費

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------|--------|------|-----------------------|--|
| 5 | 第2回リオ環境国際会議 | 日伯文化協会 | ブラジル | 07.09.19～ 07.09.21 | 日本と南米における環境思想、環境社会学、環境経済学等の研究成果を共有することで、新しい自然環境の価値観を模索し、国際的な政策および学問における新領域分野を創造することが目的。特に、環境倫理学・環境思想史からの視点、経済学からの視点、政策面からの視点から新しい環境の価値の再評価を実施。 |

文化資料事業費 (1) 図書寄贈〔米州〕

海外の日本研究・教育機関や公共図書館等に日本関係図書等を寄贈。日本に関する理解・研究を促進するため基金が図書を購入し、申請機関に送付する。

合計額 9,605,220 円

| | 国名 | 機関 | 部数 |
|----|----------|---------------------|-----|
| 1 | アルゼンチン | 国立ラプラタ大学国際関係研究所 | 55 |
| 2 | エクアドル | エクアドル・カトリック大学 | 3 |
| 3 | エル・サルバドル | フランシスコ・ガビディア大学図書館 | 64 |
| 4 | カナダ | ヴィクトリア大学 マクファーソン図書館 | 58 |
| | | ケベック大学 モントリオール校 | 119 |
| | | アルバータ大学 | 7 |
| | | モントリオール大学 東アジアセンター | 52 |
| | | カールトン大学図書館 | 38 |
| | | トンプソン・リバーズ大学 | 52 |
| 5 | キューバ | 国立芸術学院 | 53 |
| 6 | チリ | ディエゴ・ボルタレス大学 | 37 |
| | | チリ・カトリカ大学 | 73 |
| 7 | ドミニカ共和国 | ドミニカ共和国図書館 | 81 |
| 8 | ニカラグア | セントラル・アメリカン大学 | 56 |
| 9 | パラグアイ | ノルテ大学 | 50 |
| 10 | ブラジル | ブラジリア大学中央図書館 | 41 |
| 11 | ベネズエラ | ロス・アンデス大学 | 22 |
| | | シモン・ボリバル大学図書館 | 26 |

| | 国名 | 機関 | 部数 |
|----|----|---|-----------------------------------|
| 12 | 米国 | アリゾナ州立大学 エモリー大学 ウィスコンシン州立大学スティーブンス・ポイント校 イーストカロライナ大学ジョイナー図書館 ポートランド・コミュニティ・カレッジ アラスカ大学 アンカレッジ校 | 66 180 64 37 56 31 |

日本研究・知的交流事業に必要な経費

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔アジア・大洋州〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔アジア・大洋州〕
- (3) 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔アジア・大洋州〕
- (4) 日本研究リサーチ・会議（助成）〔アジア・大洋州〕
- (5) 東南アジア元日本留生活動支援
- (6) 北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学）
- (7) 北京日本学研究センター派遣（北京大学）
- (8) 北京日本学研究センター招へい（北京外国語大学）
- (9) 北京日本学研究センター招へい（北京大学）
- (10) 北京日本学研究センター研究支援（北京外国語大学）
- (11) 北京日本学研究センター研究支援（北京大学）
- (12) 日本研究図書拡充〔アジア・大洋州〕
- (13) 日本研究機関支援（その他）〔アジア・大洋州〕
- (14) 日本研究組織強化支援（助成）〔アジア・大洋州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アジア・大洋州）
- (2) 日本研究フェロースhip（学者・研究者）〔アジア・大洋州〕
- (3) 日本研究フェロースhip（論文執筆者）〔アジア・大洋州〕
- (4) 日本研究フェロースhip（社会科学院研究生院）
- (5) 日本研究フェロースhip（短期）〔アジア・大洋州〕
- (6) 日本研究フェロースhip（高砂熱学工業）
- (7) 知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕
- (8) 知的リーダー交流（派遣）〔アジア・大洋州〕
- (9) 知的交流フェロースhip（招へい）〔アジア・大洋州〕
- (10) 知的交流フェロースhip（派遣）〔アジア・大洋州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕
- (2) 知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕
- (3) 知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕
- (4) アジア地域研究センター支援（催し等）

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔アジア・大洋州〕

アジア大洋州交流事業費

日本研究事業費 (1) 日本研究調査 [アジア・大洋州]

世界の主要な地域の日本研究機関調査を実施し、日本研究機関と研究者のディレクトリーを作成する。
合計額 6,925,914 円

| | 事業名 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------|--|-----------------------|--|
| 1 | 韓国日本研究調査 | 韓国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 韓国における日本研究調査 |
| 2 | 東南アジア・南アジア日本研究調査 | インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー インド スリランカ ネパール パキスタン バングラデシュ | 07.04.01～ 08.03.31 | 東南アジア・南アジアにおける日本研究調査 (対象国:インドネシア、カンボジア、ミャンマー、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、バングラデシュ、インド、スリランカ、ネパール、パキスタン) |
| 3 | 中国日本研究調査 | 中国 | 08.02.01～ 08.03.31 | 中国における日本研究調査 |

日本研究事業費 (2) 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [アジア・大洋州]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、日本から学者・研究者を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。

合計額 12,032,756 円

| | 氏名 | 現職 | 受入機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|----------------|-------------|---------|-----------------------|---|
| 1 | 佐伯 順子 | 同志社大学教授 | チュラロンコン大学 | タイ | 07.07.31～ 07.08.24 | 近代日本の女性作家の作品及び日本の古典芸能における女性表象に関する講義 |
| 2 | 新海 尚子 | 名古屋大学教授 | ダッカ大学 | バングラデシュ | 08.02.23～ 08.03.24 | 日本の近代化と経済発展に関する講義 |
| 3 | 鈴木 岩弓 | 東北大学大学院文学研究科教授 | インドネシア大学 | インドネシア | 07.10.25～ 07.11.25 | 日本の宗教に関する講義 |
| 4 | 菅 英輝 | 西南女学院大学教授 | インドネシア大学 | インドネシア | 07.08.16～ 07.09.15 | 日本外交に関する講義 |
| 5 | 高橋 由明 | 中央大学教授 | 貿易大学ホーチミン市校 | ベトナム | 07.08.22～ 07.09.23 | 日本経営論 (日本の企業経営方式の発展と変化-ベトナム企業への移転の視点から-) に関する講義 |

アジア大洋州交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 受入機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|--------|---------------|-----|-----------------------|--------------|
| 6 | 荒木 浩 | 大阪大学教授 | ジャワハルラル・ネルー大学 | インド | 07.08.04～ 07.10.12 | 中世日本文学に関する講義 |
| 7 | 望月 善次 | 岩手大学教授 | デリー大学 | インド | 07.12.12～ 08.02.07 | 日本文学に関する講義 |

日本研究事業費 (3) 日本研究客員教授派遣 (経費助成) [アジア・大洋州]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、日本から学者・研究者を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、招へい経費の一部を助成する。

合計額 762,810 円

| | 氏名 | 現職 | 受入機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|------|-------------|--------|----|-----------------------|---------------------------|
| 1 | 入江 昭 | ハーバード大学名誉教授 | 南開大学 | 中国 | 07.09.10～ 07.09.19 | 20世紀東アジアにおける国際関係の変容に関する講義 |
| 2 | 金山 権 | 桜美林大学教授 | 東北師範大学 | 中国 | 07.09.08～ 07.09.17 | 国際経済学に関する講義 |

日本研究事業費 (4) 日本研究リサーチ・会議 (助成) [アジア・大洋州]

日本研究を実施している海外の高等教育・研究機関や学会等が日本に関するグループ研究、調査、学術的な会議、セミナー、ワークショップ等を実施する際に経費の一部を助成する。

合計額 19,227,111 円

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------|----|-----------------------|------------------------------|
| 1 | 全南大学校日本文化研究センター | 韓国 | 07.09.01～ 07.11.30 | 第4回国際学術シンポジウムおよびセミナー |
| 2 | 延世大学校国際学大学院 | 韓国 | 07.04.01～ 08.02.20 | 日本学ワークショップ |
| 3 | 復旦大学(中小企業) | 中国 | 07.06.01～ 07.12.31 | 中小企業と中日経済発展 |
| 4 | 南開大学(共同研究・民主化) | 中国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本政治民主化過程の研究 |
| 5 | 南開大学(共同研究・公企業) | 中国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本における公企業の民営化改革研究 |
| 6 | 南開大学(東アジアシンポジウム) | 中国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際シンポジウム「近代化における東アジア三国の相互認識」 |

アジア大洋州交流事業費

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------|---------|-----------------------|---|
| 7 | 浙江工商大学（四庫全書） | 中国 | 07.04.01～ 07.12.25 | 「四庫全書（子部）における日本史料」の収集と整理 |
| 8 | 浙江工商大学（遣唐使） | 中国 | 07.04.01～ 07.12.25 | 東アジア文化交流—遣唐使の研究 |
| 9 | 浙江工商大学（高級研修） | 中国 | 07.04.01～ 07.09.30 | 中国大学教師「日本歴史文化」高級研修班 |
| 10 | 遼寧大学 | 中国 | 07.09.01～ 07.09.30 | 国際シンポジウム「互惠・協力・発展における中日関係—中日国交正常化35周年を記念する日本研究国際シンポジウム」 |
| 11 | モンゴル国立大学 | モンゴル | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本語言語学及び日本の歴史・文化・経済・政治リンクの総合研究 |
| 12 | マラヤ大学人文社会科学部東アジア研究所 | マレーシア | 07.05.01～ 07.09.30 | ASEAN+3における日本：東アジア共同体形成にむけて |
| 13 | ハノイ国家大学 人文社会科学大学 | ベトナム | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本研究セミナー |
| 14 | アテネオ・デ・マニラ大学 | フィリピン | 07.10.01～ 08.02.29 | アジアにおける文化の越境 |
| 15 | オーストラリア国立大学 | オーストラリア | 07.10.01～ 08.03.31 | アジア・パシフィック・ウィーク（日本プログラム） |

日本研究事業費 (5) 東南アジア元日本留生活動支援

元日本留学生の対日理解促進を目的として、ASEAN5カ国の元日本留学生協会6団体に対し、集会施設借料等を助成する。
合計額 23,882,087 円

| | 事業名 | 機関所在国 | 期間 |
|---|--------------------------|--------|-----------------------|
| 1 | インドネシア元日本留学生協会 (PERSADA) | インドネシア | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 2 | シンガポール元日本大学卒業生協会 (JUGAS) | シンガポール | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 3 | タイ国元日本留学生協会 (OJSAT) | タイ | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 4 | 元日本留学生フィリピン連盟 (PHILFEJA) | フィリピン | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 5 | マレーシア元留日学生協会 (JAGAM) | マレーシア | 07.04.01～ 08.03.31 |

アジア大洋州交流事業費

| | 事業名 | 機関所在国 | 期間 |
|---|-------------------------|-------|-----------------------|
| 6 | 東方政策元留学生同窓会 | マレーシア | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 7 | ミャンマー元日本留学生協会 (MAJA) | ミャンマー | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 8 | ベトナム元日本留学生会 | ベトナム | 07.04.01～ 08.03.31 |
| 9 | カンボジア元日本留学生同窓会 | カンボジア | 07.04.01～ 08.03.31 |

| | |
|---------|---------------------------|
| 日本研究事業費 | (6)北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学） |
|---------|---------------------------|

中国国家教育部と国際交流基金による共同事業として、中国の日本研究者育成を支援する。

合計額 47,518,037 円

| | 関連人物姓名 | 現職 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------|-------------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 松岡 榮志 | 東京学芸大学教育学部 教授 | 07.03.25～ 08.03.31 | 日本側主任教授として北京日本学研究センターの運営に協力するとともに「日中文化比較」の講義を担当。 |
| 2 | 小幡 敏行 | 横浜市立大学国際総合科学部 准教授 | 07.03.25～ 08.03.31 | 日本側副主任教授として北京日本学研究センターの運営に協力するとともに「日中文化比較」の講義を担当。 |
| 3 | 柴田 弘捷 | 専修大学文学部 教授 | 07.02.25～ 07.07.10 | 北京日本学研究センターの日本社会・日本経済コースにおいて講義及び学生指導を行った。 |
| 4 | 米原 謙 | 大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授 | 07.02.26～ 07.04.30 | 北京日本学研究センターの日本文学・日本文化コースにおいて講義及び学生指導を行った。 |
| 5 | 矢澤 真人 | 筑波大学大学院人文科学研究科 准教授 | 07.03.01～ 07.07.11 | 北京日本学研究センターの日本語学・日本語教育学コースにおいて講義及び学生指導を行った。 |
| 6 | 畔上 和子 | 北京日本学研究センター日本側事務主任 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本側主任教授・副主任を補佐し、北京日本学研究センター内日本側事務局の運営を行った。 |
| 7 | 小風 秀雅 | お茶の水女子大学大学院人間文化研究科 教授 | 07.06.10～ 07.06.24 | 北京日本学研究センターにおいて、日本文化の集中講義を行った。 |
| 8 | 金田 智子 | 独立法人国立国語研究所日本語教育基盤情報センターグループ長 | 07.08.31～ 07.11.16 | 北京日本学研究センターの日本語学・日本語教育学コースにおいて講義及び学生指導を行った。 |
| 9 | 佐伯 眞一 | 青山学院大学文学部 教授 | 07.09.01～ 07.11.12 | 北京日本学研究センターの日本文学・日本文化コースにおいて講義及び学生指導を行った。 |

アジア大洋州交流事業費

| | 関連人物姓名 | 現職 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------|----------------------|-----------------------|--|
| 10 | 伊藤 賢次 | 名城大学経営学部教授 | 07.08.29～ 07.12.15 | 北京日本学研究中心の日本社会・日本経済コースにおいて講義及び学生指導を行った。 |
| 11 | 尾上 圭介 | 東京大学大学院人文社会系研究科 教授 | 07.11.04～ 07.11.18 | 北京日本学研究中心において、日本語学の集中講義を行った。 |
| 12 | 王 向華 | 香港大学日本研究学 科 准教授 | 07.10.17～ 07.11.04 | 北京日本学研究中心において、日本社会の集中講義を行った。 |
| 13 | 鈴木 泰 | 東京大学大学院人文社会系研究科 教授 | 07.03.14～ 07.07.03 | 北京日本学研究中心の日本語学・日本語教育学コースにおいて講義及び学生指導を行った。 |
| 14 | 出原 政雄 | 同志社大学法学部政治学科 教授 | 08.02.22～ 08.07.03 | 北京日本学研究中心の日本文学・日本文化コースにおいて講義及び学生指導を行った。 |
| 15 | 森田 三郎 | 甲南大学文学部社会学科 教授 | 08.03.03～ 08.07.03 | 北京日本学研究中心の日本社会・日本経済コースにおいて講義及び学生指導を行った。 |
| 16 | 中野 瑞彦 | 桃山学院大学経済学部 教授 | 08.03.18～ 08.04.01 | 北京日本学研究中心において、日本社会の集中講義を行った。 |
| 17 | 篠崎 摂子 | 国際交流基金日本語国際センター 専任講師 | 07.05.23～ 07.05.27 | 北京日本学研究中心において、在職修士課程の論文審査（口頭試問）及びコースの総括を行った。 |

日本研究事業費 (7)北京日本学研究中心派遣（北京大学）

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 4,857,980 円

| | 関連人物姓名 | 現職 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------|----------------|-----------------------|---|
| 1 | 添谷 芳秀 | 慶應義塾大学法学部教授 | 07.04.12～ 07.04.14 | 北京大学現代日本研究センターにおいて「日中関係と東アジア共同体の構築」に関する講義を行い、学生指導にあたった。 |
| 2 | 神長 善次 | 宇都宮大学国際学部客員教授 | 07.04.15～ 07.04.18 | 北京大学現代日本研究センターにおいて「日中文化比較論」に関する講義を行い、学生指導にあたった。 |
| 3 | 佐々木 茂 | 高崎経済大学 教授 | 07.04.16～ 07.04.19 | 北京大学現代日本研究センターにおいて「日本の消費者行動」に関する講義を行い、学生指導にあたった。 |
| 4 | 白井 早由里 | 慶應義塾大学総合政策学部教授 | 07.04.22～ 07.04.25 | 北京大学現代日本研究センターにおいて「戦後の経済発展とグローバル化」に関する講義を行い、学生指導にあたった。 |
| 5 | 角南 篤 | 政策研究大学院大学准教授 | 07.09.01～ 08.03.31 | 北京大学現代日本研究センターにおいて、講座の運営助言等を行った。 |

アジア大洋州交流事業費

| | 関連人物姓名 | 現職 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------|------------------------|-----------------------|---|
| 6 | 吾郷 眞一 | 九州大学大学院教授 | 07.10.17～ 07.10.20 | 北京大学現代日本研究センターにおいて「日本と国際経済法」に関する講義を行い、学生指導にあたった。 |
| 7 | 添谷 芳秀 | 慶應義塾大学法学部教授 | 07.11.01～ 07.11.03 | 北京大学現代日本研究センターにおいて「日本の外交、国際関係論」に関する講義を行い、学生指導にあたった。 |
| 8 | 本田 雅俊 | 政策研究大学院大学准教授 | 07.11.04～ 07.11.07 | 北京大学現代日本研究センターにおいて「日本政治概論」に関する講義を行い、学生指導にあたった。 |
| 9 | 小田切 宏之 | 一橋大学大学院経済学研究科 教授 | 07.11.18～ 07.11.21 | 北京大学現代日本研究センターにおいて「日本の企業システムとイノベーション」に関する講義を行い、学生指導にあたった。 |
| 10 | 原 洋之介 | 政策研究大学院大学教授 | 08.03.23～ 08.03.26 | 北京大学現代日本研究センターにおいて「農業と経済発展」に関する講義を行い、学生指導にあたった。 |
| 11 | 堀江 正弘 | 政策研究大学院大学教授 | 08.03.26～ 08.03.29 | 北京大学現代日本研究センターにおいて「国・地方関係と地方自治」に関する講義を行い、学生指導にあたった。 |
| 12 | 周 燕飛 | 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 研究員 | 08.03.30～ 08.04.02 | 北京大学現代日本研究センターにおいて「社会保障」に関する講義を行い、学生指導にあたった。 |

| | |
|---------|--------------------------|
| 日本研究事業費 | (8)北京日本学研究中心招へい（北京外国語大学） |
|---------|--------------------------|

中国国家教育部と国際交流基金による共同事業として、中国の日本研究者育成を支援する。

合計額 45,738,985 円

| | 事業名 | 人数 | 氏名 | 現職 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------|----|-----|-------------|-----------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 07年度現地博士フェロー1 | 1 | 王鵬 | 博士課程 | 関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化研究科 | 07.04.01～ 08.03.31 | 北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与した。 |
| 2 | 07年度現地博士フェロー2 | 1 | 白曉光 | 博士課程 | 独立行政法人国立国語研究所 日本語教育基盤情報センター | 07.04.08～ 08.04.07 | 北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与した。 |
| 3 | 修士21期生 | 20 | | 修士課程 (第21期) | | 07.03.28～ 07.08.01 | 北京日本学研究中心修士課程の学生に対して、修士論文草稿作成・資料収集のための訪日研究を実施。学生は大学・研究機関等に在籍し、専門家の論文指導を受けた。 |

アジア大洋州交流事業費

| | 事業名 | 人数 | 氏名 | 現職 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------|----|------|----------------|------|-----------------------|--|
| 4 | 修士22期生 訪日研究 | 23 | | 修士課程 (第22期) | | 08.03.27～ 08.07.31 | 北京日本学研究中心修士課程の学生に対して修士論文草稿作成・資料収集のための訪日研究を実施。学生は大学・研究機関等に在籍し、専門家の論文指導を受けた。 |
| 5 | 07年度専任 スタッフ フェロー | 1 | 施 建軍 | 専任教授 | | 07.02.12～ 07.06.11 | 北京日本学研究中心の専任スタッフに対し、研究能力向上のため日本での研修を行った。 |

日本研究事業費 (9)北京日本学研究中心招へい(北京大学)

中国国家教育部と国際交流基金による共同事業として、中国の日本研究者育成を支援する。

合計額 12,142,120 円

| | 事業名 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------|----|-----------------------|--|
| 1 | 博士第2期訪日研修 | 24 | 07.04.01～ 07.07.31 | 北京大学現代日本研究中心の講座受講生(第2期博士課程20名、その他随行4名)に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施。 |
| 2 | 博士第3期訪日研修 | 24 | 07.04.01～ 08.03.31 | 北京大学現代日本研究中心の講座受講生(第3期博士課程20名、その他随行4名)に対して、北京で受けた講義の定着を目的に実施する訪日研修の準備。 |

日本研究事業費 (10)北京日本学研究中心研究支援(北京外国語大学)

中国国家教育部と国際交流基金による共同事業として、中国の日本研究者育成を支援する。

合計額 12,192,033 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------|-----------------------|---|
| 1 | 現地経費(教育・研究) | 07.04.01～ 08.03.31 | 北京日本学研究中心の教育・研究支援経費 |
| 2 | 教材等購送 | 07.04.01～ 08.03.31 | 北京日本学研究中心図書資料館への図書寄贈 |
| 3 | シンポジウム | 07.10.20～ 07.10.21 | シンポジウム「21世紀における北東アジアの日本研究」 |
| 4 | 文献複写 | 07.04.01～ 08.03.31 | 北京日本学研究中心図書資料館において日本国内の図書館に対して文献複写依頼を行う経費を支援。 |

アジア大洋州交流事業費

日本研究事業費 (11)北京日本学研究中心研究支援 (北京大学)

中国国家教育部と国際交流基金の共同事業として、中国の日本研究者育成を支援する。

合計額 325,028 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|-----------------------|---------------------------|
| 1 | 教材等購送 | 07.04.01～ 08.03.31 | 北京大学現代日本研究センターへの定期刊行物等購送費 |

日本研究事業費 (12)日本研究図書拡充 [アジア・大洋州]

日本研究機関支援の一部として、対象機関が日本研究の推進に必要な図書を寄贈し、あるいはその購入経費を助成する。

合計額 10,388,098 円

| | 事業名 | 国 | 冊数 | 事業内容 |
|----|---------------------|--------|-----|----------------|
| 1 | 遼寧大学 | 中国 | 191 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 2 | タマサート大学 | タイ | 71 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 3 | 東北師範大学 | 中国 | 120 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 4 | 南開大学 | 中国 | 311 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 5 | インドネシア大学 | インドネシア | 33 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 6 | モンゴル国立大学 | モンゴル | 46 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 7 | マラヤ大学人文社会科学部東アジア研究科 | マレーシア | 53 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 8 | ジャワハルラル・ネルー大学 | インド | 64 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 9 | デリー大学 | インド | 49 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 10 | フィリピン大学アジアセンター | フィリピン | 29 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 11 | アテネオ・デ・マニラ大学 | フィリピン | 41 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 12 | フィリピン大学国際センター | フィリピン | 29 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 13 | 全南大学校日本文化研究センター | 韓国 | 172 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 14 | 高麗大学校 | 韓国 | 140 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 15 | 復旦大学 | 中国 | 357 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |

アジア大洋州交流事業費

| | 事業名 | 国 | 冊数 | 事業内容 |
|----|--------|----|----|----------------|
| 16 | 浙江工商大学 | 中国 | 24 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |

日本研究事業費 (13) 日本研究機関支援 (その他) [アジア・大洋州]

対象機関が日本研究の成果を出版するための経費を助成する、あるいは、対象機関の教員・学生等による訪日研究・研修を支援する等。

合計額 31,765,666 円

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------|--------|-----------------------|--|
| 1 | タマサート大学 | タイ | 07.04.01～ 08.03.31 | 大学院生訪日研修、非常勤講師謝金等の支援 |
| 2 | チュラロンコン大学 | タイ | 07.04.01～ 08.03.31 | 大学院生訪日研修の実施 |
| 3 | 東北師範大学 | 中国 | 07.12.01～ 08.03.31 | 出版助成 (『日本近代地方自治』・『日本学論壇』・『日本国家意識研究』・『稲盛和夫の経営哲学について』)、外部の学者による学生向け集中講義の実施等の支援 |
| 4 | 南開大学 | 中国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 大学院生訪日研修 (3名) 及び出版助成 (『東アジア地域統合の進展及び地域協力の道筋』・『日本研究論集2007』・『日中農村金融比較研究』) による包括的支援 |
| 5 | インドネシア大学 | インドネシア | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本地域学科修士・博士課程運営経費を支援 |
| 6 | ジャワハルラル・ネルー大学 | インド | 07.06.01～ 08.03.31 | 大学院生訪日研修の実施 |
| 7 | デリー大学 | インド | 07.06.01～ 08.03.31 | 大学院生訪日研修の実施 |
| 8 | フィリピン大学 | フィリピン | 07.04.01～ 08.03.31 | 大学院生修士論文執筆・会議出席支援、大学院生による年次研究発表会の実施、写真展・シンポジウムの実施などによる包括的な支援を実施した |
| 9 | 復旦大学 | 中国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 出版助成 (『日本中小企業の活力』・『日本庭園に秘められる中国文化』) の実施 出版延期：助成対象期間2007.4.1～2009.3.31 |
| 10 | ソウル大学校日本研究所 | 韓国 | 07.09.01～ 08.03.31 | 資料情報拠点事業、次世代教育拠点事業、人的交流拠点事業など包括的な支援を実施 |
| 11 | インドネシア大学 | インドネシア | 07.06.01～ 08.03.31 | インドネシア大学日本地域研究科学科長訪日事業の実施 |
| 12 | 浙江工商大学 | 中国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 訪日調査経費支援、出版助成 (『日本神道思想』・『中日文化交流史』) などによる包括的支援を実施 |

アジア大洋州交流事業費

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------|----|-----------------------|-------------|
| 13 | 中国社会科学院研究生院 | 中国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 博士論文出版助成を実施 |

| | |
|---------|------------------------------|
| 日本研究事業費 | (14) 日本研究組織強化支援（助成）〔アジア・大洋州〕 |
|---------|------------------------------|

国境・学問分野を超えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 12,430,322 円

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------|---------|-----------------------|---|
| 1 | タイ日本研究ネットワーク | タイ | 07.04.01～ 08.03.31 | 日タイ修好130周年にあわせ、タイ全土の日本研究者・機関が連携して立ち上げる日本研究ネットワーク組織(JSN)。初年度は、ネットワーク発足と修好記念を兼ね、タイ全土から選抜された日本研究者による研究発表会議、日タイ関係史会議、WEBサイトの立ち上げ、ディレクトリーの更新、翌年度年次学会の準備などを行った。 |
| 2 | オーストラリア日本研究学会 | オーストラリア | 07.06.01～ 07.09.30 | 豪における網羅的・中心的な日本研究学会である申請機関が、二年に一度開催する総会の第15回目。 |
| 3 | 韓国日本学会 | 韓国 | 07.07.05～ 07.07.07 | 韓国日本学会、韓国日本語文学学会、大韓日語日文学会、韓国日本文化学会による日本研究者の学会連合が、2007年7月にソウルにて第5回学術大会及び日韓学術シンポジウムを開催。 |
| 4 | インドネシア日本研究協会 | インドネシア | 07.06.04～ 07.10.31 | インドネシア日本研究協会が隔年に1回開催する総会の実施。 |
| 5 | マレーシア日本研究者協会 | マレーシア | 07.12.03～ 07.12.04 | マレーシアにおける日本研究者のネットワーク化を目指す申請団体が、「Japanese Relations with ASEAN since the Fukuda Doctrine」と題する国際会議を実施。 |

人物交流事業費 (1)受託事業 (アジア・大洋州)

日本研究・知的交流分野で国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 26,128,589 円

| 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|--------------------------|---|---|-------------|-----------------------|---|
| 1 東アジア次世代リーダープログラム | Patricia GIANNOTTO | 多文化な ニュー・サウ ル・ウェール ズ州のための コミュニティ 委員会、エグ ゼクティブ・ オフィサー | オーストラリ ア | 07.08.01～ 08.03.31 | アジア・大洋州諸国からさまざまな社 会問題などに取り組む若者を招へい し、日本人参加者を交えて、次世代の リーダーとなり得る人材のネットワー クを築くとともに、参加者の日本に対 する理解を促進することを意図して実 施した。早稲田大学との共催にて、公 開シンポジウムも開催した。 |
| | Nani SURYANI | ブルネイ大学 社会人文学部 講師 | ブルネイ | | |
| | Haji Abu Bakar HOANG Huu Anh | 外務省 UNESCO文 化局 上級専 門官 | ベトナム | | |
| | Kong VIREAK | 王立芸術大学 文化人類学科 講師 | カンボジア | | |
| | Nguon SERATH | レアスメイ・ カンプチア紙 記者 | カンボジア | | |
| | LI Fan | グローバル・ リンク・イニ シアティブ (Global Links Initiative) エ グゼクティ ブ・ディレク ター | 中国 | | |
| | LU Ke | メリー 10.COMテク ノロジー (MARRY10. COM TECHNOLOGY INC.) CEO | 中国 | | |
| Poempida HIDAYATULLOH | ゴルカル党副 会頭、インド ネシア商工会 議所副財務部 長 | インドネシア | | | |

アジア大洋州交流事業費

| 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|-----|---------------------------|--|--------|----|------|
| | Nirwan Ahmad ARSUKA | Ciputa 誌編 集長 * ジャカル タ・アーツ・ カウンスルが 発行する機関 誌 | インドネシア | | |
| | Kaeunghun YOON | 早稲田大学ア ジア太平洋研 究科 大学院 生、立正大学 講師 | 韓国 | | |
| | Jhimli BASAK | ニューデリー マックス病院 (コンサルタ ント精神分析 家)、デリー 大学精神分析 研究センター 職員 | インド | | |
| | Shikha MAKAN | 映像作家/研 究者 | インド | | |
| | Beeya CHIEBRIEKAO | ラオス革命青 年同盟中央事 務局 人事課 長 | ラオス | | |
| | Soukanh CHITHAPANYA | ラオス国立大 学建築学部 研究員及び研 究・大学院課 長 | ラオス | | |
| | Jaqueline Ann SURIN | ザ・サン(The Sun) 紙 ア シスタント・ エディター | マレーシア | | |
| | Azmyl Yunor | シンガーソン ライター、 テイラー大学 講師 | マレーシア | | |
| | Hnin Myat Thu | 文化省 国立 博物館・図書 館、考古学局 考古学研修所 助講師 | ミャンマー | | |
| | Ni Ni Lwin | 社会福祉・救 済復興省 社 会福祉局 青少年課 課 長補佐 | ミャンマー | | |

| 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|-----|--|---|----------|----|------|
| | Charlotte BOYER | ヴィクトリア・ウェリントン大学 安全保障監視研究ユニット 研究員 | ニュージーランド | | |
| | Rehanna M. Y. ALI | 国際ムスリム協会ニュージーランド 協会員 及び ニュージーランドイスラム女性協会 地域代表 | ニュージーランド | | |
| | Sarah Jane S. RAYUMUNDO | フィリピン大学 社会学部 助教授 | フィリピン | | |
| | Mohd NASROUL Hizam Bin Souyono | ブルネイ・タイムス 記者 | ブルネイ | | |
| | Tengku SUHAILAH Binte Tengku Kamarudin | シンガポールイスラム協会、ハーモニー・センター 職員 | シンガポール | | |
| | Bencharat SAE CHUA | マヒドル大学 大学院人権・社会開発学部 事務局長 代理・講師 | タイ | | |
| | Chalongkwan TAVARAYUTH | 外務省欧州局 CIS・バルカン地域特別班 プロジェクト・オフィサー | タイ | | |
| | HOANG Huu Anh | 外務省 UNESCO文化局 上級専門員 | ベトナム | | |
| | Yuko EMA | 早稲田大学アジア太平洋研究科 大学院生 | 日本 | | |
| | Erenrisa KANEKO | 早稲田大学アジア太平洋研究科 大学院生 | 日本 | | |
| | Emi MASUMI | 早稲田大学アジア太平洋研究科 大学院生 | 日本 | | |

アジア大洋州交流事業費

人物交流事業費 (2) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 110,789,856 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|---|-------------|----------------------------|-----------------------|---|
| 1 | SETISARN, Chomnard | チューラーロン コン大学文学部東洋言語 学科日本語講座助教授 | タイ | 国立民族学博 物館 民族社 会研究部 | 07.09.29～ 08.09.28 | 日本の家畜をめぐる民族と信仰 |
| 2 | HARTLEY, Barbara Toni | タスマニア大 学アジア言語 学部 | オーストラリ ア | 北海道大学 | 07.11.01～ 08.10.31 | 武田泰淳の文学：20世紀の日本におけ る自己、他者そして国家 |
| 3 | OKAYAMA, Emiko | シドニー大学 日本韓国文化 研究学科/博 士課程在学・ 非常勤講師 | オーストラリ ア | 名古屋大学 | 07.11.29～ 08.05.28 | 日本の芸術・文学・E-メディアにおけ るテキストとイメージの関係 |
| 4 | KYAW, Daw Mi Mi | SEAMEO- CHATリ サーチ・フェ ロー | ミャンマー | 千葉大学 文 学部 | 07.06.09～ 08.06.08 | 第二次世界大戦中における日本・ミヤ ンマー間関係(日本の資料をとおして) |
| 5 | CHEN, Yuping | 中国国家労働 と社会保障部 国際劳工研究 所副主任 | 中国 | 独立行政法人 労働政策研 究・研修機構 | 07.08.01～ 08.04.30 | 日本の労働紛争解決システム |
| 6 | LIU, Ping | 中国社会科学院文学研究科 研究員(教授) | 中国 | 摂南大学外国 語学部 | 07.12.15～ 08.10.14 | 中国話劇に対する日本現代演劇の影響 および日中文化交流 |
| 7 | LIM, Kim Hui | マレーシア国 民大学リサー チフェロー | マレーシア | 上智大学 | 08.03.27～ 09.03.26 | 日本とマレーシアの文化的規範に関す る言説の比較研究：日本人論とマレー 人の精神性 |
| 8 | WU, Haihang | 北京師範大学 法学院助教授 | 中国 | 首都大学東京 教養学部 | 07.08.20～ 08.08.19 | 東京都・北京市における少年犯罪の予 防対策の比較研究 |
| 9 | PHAR, Kim Beng | ダマンサラウ タマ カレッ ジ上級専任講 師 | マレーシア | 早稲田大学 | 07.05.31～ 08.05.30 | 日本と中国におけるソフトパワーの形 態と要素の分析的解釈 |
| 10 | YAP, Yuet Ngor | 翻訳家(フ リーランス) | マレーシア | 東京大学大学 院人文社会系 研究科文学部 | 07.05.26～ 08.05.25 | 村上春樹のマレー、シンガポールにお ける受容に関する研究 |
| 11 | XU, Jinlong | 中国社会科学院外国文学研 究所教授 | 中国 | 東京大学文学 部中文科 | 07.11.17～ 08.09.16 | 大江健三郎評伝 |

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------|----------------------------------|-------|----------------------------|-----------------------|--|
| 12 | KONG, Young Tae | 晋州教育大学 校助教授 | 韓国 | 愛知教育大学 教育学部 | 07.09.05～ 08.03.04 | 日本の学校教育における理科創造性教育の現状とその教育的な背景考察 |
| 13 | BILIMALE, Purushothama | アメリカインド 研究所長 | インド | 早稲田大学坪 内記念演劇博 物館 | 07.09.09～ 07.12.07 | 日本の文化やパフォーミング・アーツに関する研究及びリサーチ |
| 14 | MEHDI, Syed Sikander | カラチ大学国 際関係学科教 授 | パキスタン | 立命館大学国 際平和ミュー ジウム | 08.03.01～ 08.12.31 | 平和構築美術館（パキスタン）—日本 平和記念館との関連性について |
| 15 | LEE, Geun | ソウル大学校 教授 | 韓国 | 政策研究大学 院大学 | 07.09.20～ 08.07.19 | ソフトパワーの理論化：日本の場合 |
| 16 | CAVE, Peter | 香港大学助教 授 | 中国 | 京都大学教育 学部 | 07.08.23～ 07.12.22 | 日本における教育と個性：中学校改革 の影響について |
| 17 | CHO, Yong Rea | 国民日報論説 委員 | 韓国 | 慶應義塾大学 商学部 | 08.03.01～ 08.12.30 | 高齢人力活用政策の韓日比較：日本の 経験の韓国への適用可能性 |
| 18 | CHOI, Wan Kyu | 慶南大学校北 韓大学院大学 校大学院長/ 教授 | 韓国 | 慶應義塾大学 法学部 | 07.09.01～ 08.06.30 | 北朝鮮の体制変換に対する韓国と日本 の研究動向の比較分析 |
| 19 | HA, Jong-Moon | ハンシン大学 日本地域学科 教授 | 韓国 | 東京大学人文 社会系研究科 日本史学専攻 | 07.06.18～ 08.02.28 | 敗戦直後における労働力政策の動向 |
| 20 | JANG, In-Sung | ソウル大学校 外交学科教授 | 韓国 | 東京大学法学 部 | 07.12.16～ 08.09.15 | 戦後日本の国際政治思想にみる普遍性 と特殊性—理想主義-現実主義論争を 中心に |
| 21 | JEON, Jinho | 光云大学日本 学科教授 | 韓国 | 防衛庁防衛研 究所 | 07.12.01～ 08.09.30 | 21世紀日米同盟と米韓同盟 |
| 22 | TEEHANKEE, Julio Cabral | デ・ラ・サール 大学政治学 部学部長 | フィリピン | 東京大学 | 07.09.01～ 08.06.14 | 憲法における継続性と変容、日比比較 研究 |
| 23 | NGUYEN, Minh, Van | ベトナム社会 科学院人類学 院 | ベトナム | 東京大学 | 07.10.02～ 08.10.01 | 伝統的宗教信仰からキリスト教及び新 興宗教への変遷とその社会文化生活へ の影響—1945年～2006年における日 本・ベトナム間の比較研究 |
| 24 | SONG, Zaixin | 四川大学外国 語学院日本語 科教授 | 中国 | 東京大学大学 院人文社会系 研究科 | 07.08.01～ 08.05.31 | 日本古代文化特質の形成の研究—古代 和歌における四季と恋との関係を中心 に |
| 25 | ZHU, Mang | 上海交通大学 大学教授 | 中国 | 京都大学 | 07.10.01～ 08.02.29 | 日本における都市計画の策定手続きに 関する法制度の基本構造について |

アジア大洋州交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------------|--|--------|--|-----------------------|--|
| 26 | LIU, Haibo | 華東師範大学 教育管理學系 | 中国 | 東京大学 | 07.07.01～ 07.09.30 | 中日教育管理体制と改革の比較研究 |
| 27 | BHATTACHARYA, Swapan Kumar | インド行政研 究所助教授 | インド | 政策研究大学 院大学 National Graduate Institute for Policy Studies (GRIPS) | 06.11.01～ 07.08.31 | アジア経済共同体に向けた、 BIMSTECと日本の自由貿易協定の可 能性 |
| 28 | KANAGASABAI, Kajendra | コロンボ大学 シニアレク チャーラー | スリランカ | 学習院大学経 済学部経営学 科 | 06.09.19～ 07.07.18 | 市場指向と組織の業績 |
| 29 | CHO, Sung Youn | 済州大学校 人文大学 社 会学科教授 | 韓国 | 関西学院大学 社会学部 | 06.08.28～ 07.06.27 | 日本の新宗教における在日Korean信 者の役割とIdentity |
| 30 | SWAIN, Mamata | 北オリッサ大 学経済学部教 授 | インド | 筑波大学大学 院 生命環境 科学研究科 | 07.03.27～ 08.01.26 | 日本の土地改良区制度と持続可能な水 利及び土地管理：インドへの教訓 |
| 31 | TIGNO, Jorge Villamor | フィリピン大 学社会科学・ 思想学部準教 授 | フィリピン | 京都大学東南 アジア研究所 | 06.11.01～ 07.08.31 | 外人の目を通して見た日本：進展する トランスナショナリズムの文脈におけ る大阪在住フィリピン人のパースペク ティブ |
| 32 | ROMA, Dinah Tapia | デ・ラ・サール 大学文学学 科助教授 | フィリピン | 神戸大学国際 文化学部 | 06.09.01～ 07.06.30 | 現代旅行記の中の”失われゆく”日本 の再構築：異文化研究として |
| 33 | JIN, Ming Quan | 重慶師範大学 文学与新聞学 院教授 | 中国 | 明星大学 | 07.01.15～ 07.11.14 | 攻玉論－20世紀初頭における中国経済 人の日本留学に関する研究 |
| 34 | CHEN, Duan Duan | 中国アモイ大 学 外文学院 日本語学部 教授 | 中国 | 大阪大学 | 06.10.01～ 07.07.31 | 意識と表現－比較文化の角度から見る |
| 35 | METHASATE, Namthip | チュラーロン コン大学文学 部東洋言語学 科日本語講座 講師 | タイ | 東京外国語大 学 | 06.06.05～ 07.04.04 | 『日本文学に描かれた「タイ」』 |
| 36 | DWIANTO, Raphaella Dewantari | アトマジカ トリック大学 経営学部 講 師 | インドネシア | 東北大学大学 院文学研究科 | 07.03.22～ 08.01.21 | アジアにおけるサステイナブルシテイ およびコミュニティの社会設計 |

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------|------------------------------|---------|--------------------|-----------------------|---|
| 37 | YOU, Inchon | 中央大学校演劇学科 副教授 | 韓国 | 日本大学芸術学部 | 06.11.13～ 07.08.31 | 韓日間の俳優の性格創造及び表現方式に関する研究 |
| 38 | YOON, Jae seon | 教授 | 韓国 | 大阪市立大学大学院法学研究科 | 06.07.01～ 07.04.30 | 地域振興運動に関する韓日比較研究 |
| 39 | SON, Kisup | 責任研究員 (研究教授) | 韓国 | 東京大学東洋文化研究所 | 06.07.20～ 07.05.19 | 21世紀の日本の援助外交-国際的国内的構造変化と新しいビジョンの模索 |
| 40 | WEI, Dahai | 中国社会科学院 外国文学研究所 東方文学研究室研究員 | 中国 | 国際日本文化研究センター | 06.10.31～ 07.08.30 | 芥川竜之介と中国文化 |
| 41 | BAIK, Chang Jae | ソウル大学校政治学科教授 | 韓国 | 慶應大学法学部政治学科 | 07.02.26～ 07.11.30 | 日米同盟に対する日本の積極政策 |
| 42 | DONG, Bing yue | 中国社会科学院 文学研究所教授 | 中国 | 東京大学総合文化研究科 | 06.09.10～ 07.07.09 | 文学・思想としての日露戦争-早期清国留学生と同時代の日本近代作家を中心に- |
| 43 | FILUS, Dorothea Magdalena | 日本研究センター リサーチ・フェロー | オーストラリア | 国学院大学 | 06.09.19～ 07.07.18 | 日本における宗教教育 |
| 44 | LIN, Xiao Guang | 中央党校国際戦略研究所教授 | 中国 | 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 | 07.02.28～ 07.12.27 | 北東亜地域安全研究：六カ国協議の視点から地域多辺安全機能及び中日両国の作用を論じる |
| 45 | NGUYEN THI, ThanhTam | ハノイ外国貿易大学 日越人材協力センター 日本語課 課長 | ベトナム | 法政大学社会学部 大原社会問題研究所 | 07.03.21～ 07.09.20 | ベトナムの市場経済化における人材育成の展開：日本の企業成長からの教訓 |

人物交流事業費 (3) 日本研究フェロシップ (論文執筆者) [アジア・大洋州]

人文・社会学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招聘する。

合計額 39,823,351 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------|---------------------|--------|------|-----------------------|-----------|
| 1 | HO, Chiew Hui | スタンフォード大学宗教学科/大学院博士 | シンガポール | 東京大学 | 07.09.25～ 08.09.24 | 安然-台密の系統化 |

アジア大洋州交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------|--|--------------|--------------------------------------|-----------------------|---|
| 2 | RYU, Yongwook | ハーバード大 学政治学部 博士課程 | ニュージーラ ンド | 慶應義塾大学 | 07.11.01～ 08.08.31 | 国家アイデンティティーと領土紛争の 過熱化：日本のアイデンティティーの 変容が東北アジアの領土紛争に与える 影響 |
| 3 | GU,Hongyan | シドニー大学 博士生 | 中国 | 名古屋大学 | 07.11.01～ 08.05.31 | 持続的な協働型アドボカシーを目指し て-中国と日本において政府と環境非 政府組織の関係についての比較研究 |
| 4 | ARMSTRONG, Shiro, Patrick | オーストラリ ア国立大学ク ロフォード経 済政治研究科 | オーストラリ ア | 東京大学 | 07.09.01～ 07.12.31 | 日中関係と東アジアの貿易構造 |
| 5 | DALTON, Emma Louise | ウォロンゴン 大学博士課程 | オーストラリ ア | 立教大学 | 07.07.19～ 07.11.18 | 女性の保守政治家—日本の議会政治に おける女性代表比率の低さとの関連に おける考察 |
| 6 | DU, Yang | 北京大学外国 語学院日本語 文化学部日本 文化研究室 博士2年生 | 中国 | 東京大学大学 院人文社会系 研究科 | 07.10.02～ 08.10.01 | 上田秋成思想研究 |
| 7 | LIU,Fang Liang | 山東大学文学 与新聞伝播学 院博士課程 | 中国 | 成蹊大学文学 部日文学科 | 07.10.04～ 08.08.03 | 受容と変容—日本江戸漢詩と明代の詩 学の関係についての研究 |
| 8 | ZHUANG, Na | 北京大学国際 関係学院学生 | 中国 | 成蹊大学法学 部 | 07.10.02～ 08.10.01 | 日本の国体論 |
| 9 | FULORIA, Deepika | ジャワハルラ ル・ネルー大 学研究員 | インド | 愛媛大学 | 08.02.19～ 09.02.18 | 東アジアの発展：1990年-2005年の日 中関係の変遷を事例として |
| 10 | PARK, Doyoung | イリノイ大学 歴史学部/博 士課程生 | 韓国 | 東京大学 | 07.09.15～ 08.09.14 | 儒学の転換：徳川初期の禅僧と儒学 |
| 11 | YOON, Jee-Young | 延世大学校大 学院 地域学 科大学院生 (博士課程) | 韓国 | 東京大学大学 院 総合文化 研究科 国際 社会科学専攻 | 08.03.16～ 09.03.15 | 近代日本の「国家」認識—1868～1945 — |
| 12 | Thida Kyu | ヤンゴン経済 大学経済学部 講師 | ミャンマー | 早稲田大学 | 06.07.03～ 07.07.02 | ミャンマーの経済開発におけるインフ ラ基盤の役割（1988-2005）：戦前の日 本との比較 |
| 13 | SHARMA, Ashish | ジャワハルラ ル・ネルー大 学 | インド | 一橋大学大学 院社会学研究 科 | 06.10.04～ 07.10.03 | 日本の東南アジア政策：1991年-2005 年のインドネシアとベトナムを例とし て |

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------|---|-------------|--|-----------------------|-------------------------------------|
| 14 | VYAS, Susmita | デリー大学 | インド | 龍谷大学 経 営学部 | 06.09.27～ 07.09.26 | 浄土宗とヴァイシュナミズムから見た 仏教徒ヒンドゥー教の相互作用 |
| 15 | JOHNS, Adam Lucas | オーストラリ ア国立大学 | オーストラリ ア | 早稲田大学 | 07.02.15～ 07.07.31 | アジア太平洋におけるコンテンツ産業 の発展と振興 |
| 16 | LEE, Ji Hyun | 韓国外国語大 学校大学講師 | 韓国 | 東京大学比較 文学比較文化 研究室 | 06.09.01～ 07.07.31 | 三島由紀夫を通して見た日本文化研究 (浪漫主義を中心として) |
| 17 | SON, Bin | 北京大学 外 国語学院 日 本言語文化学 部 日本文化 研究科博士課 程在学 | 中国 | 東京大学大学 院 総合文化 研究科文化人 類学研究室 | 06.10.01～ 07.09.30 | 柳田国男の日本人論について |
| 18 | FENG, Tong | 中央民族大学 社会学民族学 学院 博士課 程在学 | 中国 | 島根県立大学 総合政策学部 島根県立大学 メディアセン ター | 06.09.28～ 07.07.27 | 日本における文化遺産保護の政策・シ ステム及び中国への示唆 |
| 19 | YANG, Zhaohua | スタンフォード 大学宗教学 博士課程学生 | 中国 | 東京大学大学 院人文社会系 研究科 | 06.03.30～ 07.05.29 | 穢れ：江戸時代における烏枢沙摩明王 に関する偽書の創作 |
| 20 | WU, Songmei | 山東大学 外 国語学院専任 講師 | 中国 | 明治大学 文 学部 | 06.07.30～ 07.05.29 | 「源氏物語」における女性像 |
| 21 | DIAO, Xiaolong | 清華大学 歴 史系博士2年 生 | 中国 | 早稲田大学文 学部 | 06.08.18～ 07.06.17 | 中国礼学の日本における伝承 |
| 22 | HUANG, Ying | 中国海洋大学 外国語学院助 教授 | 中国 | 九州大学大学 院比較社会文 化研究院 | 06.03.30～ 07.07.29 | 宮沢賢治におけるユートピアの表象と 構造 |
| 23 | KIM, Hyun-chul | エジンバラ大 学社会人類学 博士課程 | 韓国 | 筑波大学人文 社会科学研究 科 | 05.10.22～ 07.04.30 | 現代日本の死者儀礼と死の概念 |

アジア大洋州交流事業費

人物交流事業費 (4) 日本研究フェローシップ (社会科学院研究生院)

中国社会科学院研究生院の博士課程在籍者に博士論文執筆のための日本研究フェローシップを供与する
合計額 5,413,320 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----|------|----|-------|-----------------------|------------------------|
| 1 | 馮維江 | 博士課程 | 中国 | 桜美林大学 | 07.05.11～ 08.05.10 | 「不完全契約理論による国際紛争解決構造研究」 |
| 2 | 周傑 | 博士課程 | 中国 | 東京大学 | 07.05.11～ 08.05.10 | 「日本の選挙制度改革研究」 |

人物交流事業費 (5) 日本研究フェローシップ (短期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 5,671,591 円

| | 関連人物姓名 | 現職 | 在住国 | 関連機関名称 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------|------------------------------|---------|--------------|-----------------------|---------------------------------------|
| 1 | WANG, Qiuju | 東北大学外国語学院 中日文化比較研究所副院長・所長/教授 | 中国 | 大阪国際大学 | 07.11.09～ 08.01.07 | 中日科学技術文化比較研究 |
| 2 | WARD, Rowena Gai | シドニー工科大学非常勤講師 | オーストラリア | | 07.05.20～ 07.06.17 | 1945年8月満州在住日本民間人の経験 |
| 3 | KANG, Jung-Woon | 昌原大学校教授 | 韓国 | | 07.06.24～ 07.08.22 | 日本大学公共政策教育の現況と教訓 |
| 4 | KWON, Soon-Mee | 高麗大学校政治外交学科講師 | 韓国 | | 07.06.28～ 07.08.26 | グローバリゼーション期における社会協約政治のダイナミクス：日本と韓国の比較 |
| 5 | MEI, Linhai | 暨南大学日本経済研究センター教授 | 中国 | 兵庫県立大学環境人間学部 | 07.07.14～ 07.09.11 | 日本と中国における貿易の持続可能な発展に関する共同研究 |
| 6 | PHAN, Hai Linh | ハノイ国家大学人文社会科学大学専任講師 学科長 | ベトナム | | 07.10.07～ 07.10.29 | 日本の大学における日本学の教育と研究状況 |

人物交流事業費 (6) 日本研究フェローシップ (高砂熱学工業)

インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムの日本研究専攻の学生に奨学金を供与する。

合計額 3,153,040 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------------------|-------------|--------|------|-----------------------|---|
| 1 | HANDAYANI, Christina, Siwi | サナタ・ダーマ大学講師 | インドネシア | 京都大学 | 07.08.01～ 08.05.30 | 消費を通じた自己の存在：東方の文化-日本（京都）とインドネシア（ジョグジャカルタ）における若者の自己叙述における対話アプローチ |

人物交流事業費 (7) 知的リーダー交流 (招へい) [アジア・大洋州]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 19,510,008 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------|---|---|--|-----------------------|---|
| 1 | アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム | Ho, Pettula Sik-Ying Huang, Jiansheng 青山薫 Sriprapha Petcharamesree Hishamuddin Rais Bina Sarkar Ellias | 香港大学 雲南民族大学 ジェンダー法・政策研究センター COE研究員、ピープルズプラン研究所共同代表 マヒドン大学大学院人権・社会開発学部 国立芸術文化遺産アカデミー 雑誌「Gallerie」編集者/出版責任者 | 中国 日本 タイ マレーシア インド | 07.04.01～ 08.03.31 | 社会的影響力の大きいアジアの知識人7名を招へいし、2ヶ月間日本に滞在する機会を提供する。フェローは、共通テーマのもと、ワークショップやセミナーに参加しながら知的共同作業を行うほか、個々の関心に基づく研究活動を行う。右の活動を通じて、地域が直面する諸課題に対する共通の問題意識を醸成し、人的ネットワーク形成をはかる。 |

アジア大洋州交流事業費

人物交流事業費 (8)知的リーダー交流（派遣）〔アジア・大洋州〕

日本と諸外国の知的対話の促進と、知的リーダー間の構築、強化を推進するため、日本から知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 2,493,877 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------|------|---------------------|----|---------------|-----------------------|------------------------|
| 1 | アジア次世代リーダー・フェローシップ | 伊藤 悟 | 総合研究大学院大学 博士後期課程 | 中国 | 雲南芸術学院 | 07.07.01～ 08.03.31 | 平成15～17年度報告書印刷・製本費 |
| 2 | プラチャートイッポク行政院・猪口孝教授講演会 | 猪口 孝 | 東京大学東洋文化研究所 教授 | タイ | プラチャートイッポク行政院 | 07.11.07～ 07.11.09 | プラチャートイッポク行政院・猪口孝教授講演会 |

人物交流事業費 (9)知的交流フェローシップ（招へい）〔アジア・大洋州〕

日本において人文・社会科学分野の研究を行う諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 2,331,374 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------|---------------------|----|--------|-----------------------|-----------------------------|
| 1 | CHAIWORAPORN, Anchalee | フリーランス 映画研究者・批評家 | タイ | 明治学院大学 | 07.09.29～ 08.02.28 | 日本の女性の映画作り：女性監督の地位とその映画での反映 |

人物交流事業費 (10)知的交流フェローシップ（派遣）〔アジア・大洋州〕

現代社会の共通課題に関する自然・社会分野の調査・研究を推奨するとともに、対象国と日本とのネットワーク構築のために日本の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 3,180,075 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|----------------------|-------|------------------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 中西 美穂 | NPO大阪 アーツアポリ ア | フィリピン | House of Comfort Art Network | 07.05.23～ 07.07.07 | アジアの女性アーティストと、社会学・心理学・芸術学の研究者、NPO/NGOが協働で行う”Trauma Interrupted”に参加した。社会問題とアートをつなぐマネジメントの方法や課題についての調査・研究 |

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|------------|----|------------|-----------------------|--|
| 2 | 伊藤 剛 | 明治大学助教 | 中国 | 北京大学国際関係学院 | 07.04.24～ 07.09.23 | アジアにおいて近年影響力が高まっている中国の「地域主義枠組み形成」戦略を明らかにすることによる、東アジアにおける将来の勢力図予見、及び日本の地域主義政策との比較を行う。 |
| 3 | 吉川 成美 | 永田農業研究所研究員 | 中国 | 西安交通大学 | 07.08.20～ 08.01.20 | 東西格差・都市と農村の格差が問題となっている中国において、環境・経済条件の厳しい西部地域の農村を中心に、いかに開発と環境保全を両立させるかを念頭におきつつ、持続可能な「生態農業」の発展方法に関する日本の環境政策・農村振興の経験との比較を通じての研究を行う。 |

催し等事業費 (1)知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 66,248,812 円

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------------|-----------------|---------------|-----------------------|---|
| 1 | 文化と教育についての日越知的交流会議 | 社団法人ベトナム協会 | ベトナム | 07.12.03～ 07.12.05 | 日本とベトナムの知的交流の促進のために文化・教育面でどのような施策が必要か、日越の有識者・文化人・財界人7名が3日間討議し、その結果を報告書にまとめる。日本側参加者としては、白石昌也早大教授、高木のぶ子（作家）など、ベトナム側からは、女性作家と東遊日本語学校校長などが参加した。 |
| 2 | 日印文化交流の今日的意味：グローバル化の中の真の豊かさとは | 国際基督教大学アジア文化研究所 | インド | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際基督教大学および三鷹市国際交流協会が、日印交流年を記念して行なう国際会議および市民向け公開講座。グローバル化する社会の中で、今一度タゴールとガンディーの思想を見つめなおし、真の豊かさについて考える事業。「インドが三鷹にやってくる」と題された大きなイベントの中の一部として位置付けられており、本会議の他にも学生、市民による企画が連動して多く実施された。 |
| 3 | 国際フォーラム「災害と文化」 | 社団法人日本ベトナムクラブ | アジア地域区分 困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | 「災害と文化」をテーマに、文学者、映像作家等を米、中国、インドネシア、タイ、パキスタン、イラン、台湾、米国などから招へいし、阪神淡路大震災から13年目となる1月17日～20日に東京にてプログラムを実施。具体的には、国際シンポジウムや映画の上映、ワークショップなど。 |

アジア大洋州交流事業費

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--|---------------------------------|---------------------|-----------------------|--|
| 4 | 日韓海峡圏シンポジウム2007 | 九州経済調査協会 | 韓国 | 07.05.01～ 07.12.28 | 基調講演においては、日韓海峡圏の交流の変化について分析し、近年の産業観光、映画や音楽などを通じた文化的交流などの新しい動きを紹介し、課題を提示した。また、日韓海峡圏研究機関協議会加盟の研究機関の研究者がパネルディスカッションで議論を行った。さらに、日韓の大学研究者、企業等の実務者を招へいし、アカデミックな視点と現場の生の声を取り入れて議論の深化を図った。 |
| 5 | 環境被害救済に関する日中韓国際ワークショップ | 日本環境会議 | 韓国 中国 | 07.08.24～ 07.08.26 | 01年（北京）、04年（熊本）、05年（上海）と過去実施した環境紛争にかかる日中国際ワークショップに、今回韓国を加えて東京で実施した。中国で現在唯一の「公害被害者法律援助センター」他、環境学者、弁護士、裁判官等各国の実務者、研究者が参加し、被害救済損害賠償訴訟についての議論を深め、環境被害未然防止のための訴訟の可能性等を検討した。 |
| 6 | アジア4国障害者交流会議 | 共同連 | フィリピン ベトナム 韓国 | 07.05.01～ 07.07.31 | 日本、韓国、フィリピン、ベトナムの福祉・障害者施策の現状や課題について比較し、4カ国の相違を経済力、政治社会制度、国情などの角度から分析。その過程で、各国の障害者施策に関する問題点、課題点を明らかにしながら、今後アジアにおける障害者の連携をどう計っていくか、各国政府への働きかけ、民間団体間でのネットワーク作りなどを展望する国際会議。07年6月にベトナム・ハノイにて開催。 |
| 7 | 胎動するアジアのオルタナティブ：映像を活用した批判的分析とメッセージの発信 | アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム2006実行委員会 | アジア地域区分 困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本、中国、ネパール、インドネシアにおいて、アジア共通の諸問題に対する解決法を従来とは違った新たな視点から模索し、地域や市民社会のエンパワーメントを行う団体や活動家の試みを映像資料として作成。新たな選択肢（オルタナティブ・アクション）の可能性とその考え方の普及をめざす研究・会議事業。2006年度主催事業「アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム」のフェローによるフォローアップ事業。 |
| 8 | 「持続可能な開発」グローバル・ワークショップ ～市民主体による地域課題解決に向けて～ | 特定非営利活動法人開発教育協会 | アジア地域区分 困難 | 07.06.01～ 08.02.28 | 東南アジアにおいて市民主体での地域課題解決に取りくんでいる団体から講師を招き、日本国内で同様の活動を行う市民組織やNPO、自治体関係者、研究者がアジアの知見を学ぶとともに、日本の地域の文脈で活用する可能性を議論する国際会議。北海道、京都、沖縄で実施。 |

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------------|--------------------------|---------------|-----------------------|--|
| 9 | 日韓中学術セミナー「北朝鮮の改革可能性－核実験後の政策展開を中心に」 | 聖学院大学総合研究所 | 韓国 中国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日・中・韓の専門家を招き、中国との比較から北朝鮮の改革可能性を探ることを目的としたセミナー（3回目）。前2回のセミナーでは、経済的な側面に焦点を当てていたが、北朝鮮の核実験を受け、今回は特に政治的な側面について議論を行った。また、今回は日、中、韓からの専門家に加えて米国の研究者も迎え、今後の北朝鮮を巡る問題を議論した。 |
| 10 | 東アジア共同体と岡倉天心：21世紀アジアを展望する | 国際アジア共同体学会 | アジア地域区分 困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | 東アジア共同体形成が現実の政策課題となり、その動きが加速する中で問い直され始めたアジア・アイデンティティを明らかにするために、いわゆるアジア主義の光と影を歴史的、国際的文脈の中で考察し、アジア共生に向けた地域統合の未来を展望する公開シンポジウムを開催した。 |
| 11 | 北京－東京フォーラム | 特定非営利活動法人 言論NPO | 中国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 「日中相互信頼と協働」をテーマに、日中両国の世論や政策形成に影響力を持つ有識者を北京に招いて開催。全体会議と5つの分科会を実施。過去2回のフォーラムでの提案を踏まえた上で、日中間の懸案課題解決、相互理解の促進を確固たるものとするを目的とする。申請者とチャイナディリー（中国日報社）、北京大学国際関係学院による共催事業。平成17,18年度からの継続案件。 |
| 12 | 東アジアにおける海洋協力：人間の安全保障に関する理解の競合 | オークランド大学ニューゼaland・アジア研究所 | ニュージーランド | 07.05.01～ 08.02.28 | 世界の海洋取引においてアジアは重要な位置を占め、また、9.11以降、テロや海賊による脅威も高まっているが、海洋警備は国家が担うものとされ、個々の政府はそれぞれ利害や国内政治に左右されるため、十分な国際協力体制がとられていない。この課題を克服するため、域内各国の専門家がマレーシア、クチンに集まり、共同研究事業の枠組みについて討議を行なった。 |
| 13 | アセアンでの知的財産教育促進についてのワークショップ | アセアン大学ネットワーク | タイ | 07.04.01～ 08.03.31 | ASEAN諸国の高等教育機関における知的財産権に関する教育の充実をめざし、日本人を含む2名の専門家を招へいし、ASEANの主要大学間で情報や専門家の共有をはかるためのシステム構築について協議するワークショップ事業。 |
| 14 | 第3回GNH国際会議 | サティラコーセット・ナガラディーバ財団 | タイ | 07.04.01～ 08.03.31 | ブータンが提唱しているグロス・ナショナル・ハピネスの考え方を、日本が積極的に取り組んでいるヒューマン・セキュリティーやタイのサフィエンシー・エコノミー（「足るを知る」経済）の概念と比較検討しながら、現代の消費社会に対する新たな視点を提示し、実践に結びけることを目的とした会議事業。2007年7月に、タイ北部の村落地域とバンコクにて実施。 |

アジア大洋州交流事業費

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|--------------------------------------|---------|-----------------------|--|
| 15 | アジア農村部におけるグローバルリゼーション、競争力、人間の安全保障の欠落についての国際会議 | チュラロンコン大学社会科学研究所 | タイ | 07.04.01～ 07.10.31 | 東アジア、東南アジアにまたがる社会学者のネットワークであるアジア農村社会学会が中心となり、人間の安全保障の視点から、グローバル化の進展によって脅かされる農業と農村社会の変化や、農村地域が抱える諸問題を明らかにしながら、その対策としての社会経済政策等を検討する国際会議。2007年8月に北京にて実施。現地での受入機関は中国社会科学院。 |
| 16 | テロリズムにおける武力集団に対する対策と問題解決：スリランカ及び他の南アジア諸国からの教訓 | 民族研究国際センター | スリランカ | 07.05.01～ 08.04.30 | スリランカ最大の懸案事項である、テロ問題に対する対策を南アジアの国々と共有する。南アジア域外のほかには、アメリカ、イギリスからスピーカーを招へいし、特に2002年の停戦合意に至る経緯に焦点を当てて議論を行なう。政策決定者や、市民社会の代表者も参加し、幅広い議論を展開した。 |
| 17 | 東アジアにおける環境に関わる安全保障 | モンゴル国立大学国際関係学部 | モンゴル | 07.07.10～ 07.07.15 | 東アジアが直面する資源の枯渇や自然環境の悪化に、地域紛争がどのように関係しているかを明らかにするための国際会議。具体的には、砂漠化や生物多様性の損失、公害の国境を越えた拡散、温暖化などを想定。2007年7月初旬に会議を開催。参加者は、韓国のInha Univ.、仏のUniv. of Le Havre、名古屋大学など。 |
| 18 | 「他者」の占領：オーストラリアの軍事占領への関与・日本からイラクまで | ウーロンゴン大学アジア大洋州社会変容研究センター (CAPSTRANS) | オーストラリア | 07.04.01～ 08.03.31 | 占領期の日本をテーマに、英連邦軍の一部として参加したオーストラリア軍の関与のあり方に焦点を当てたシンポジウム。日本の占領期と豪軍の関与について研究実績のある豪研究者を中心に、広島国際大学から研究者を招き、2007年11月に3日間のシンポジウムを開催した。 |
| 19 | 日本・環太平洋における少女、身体、国民 | クイーンズランド大学言語比較文化学部 | オーストラリア | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本の文学や芸術作品を題材に、少女、身体性、国家・国民の3つのテーマがどのように表象されているかを議論するインターディシプリナ国際会議を、2007年8月にクイーンズランド大学で開催。日本からはこの分野で業績を上げているが英語に翻訳されていない、あるいは豪では知られていない二人の研究者（竹村和子、川崎賢子）が参加し、その他豪、北米の6名の日本研究者が参加した。 |
| 20 | 米印の戦略的パートナーシップ：南アジアへの影響 | バングラデシュ国際戦略研究所 (BISS) | バングラデシュ | 07.04.01～ 08.03.31 | アメリカとインドの軍事協力協定締結が南アジア及び広くアジアの国々に及ぼす影響について、ロシア、アメリカ、ネパール、インド、日本、パキスタンからスピーカーを招へいして議論した。2006年8月に修士課程を開設したダッカ大学日本研究センターも共催機関として関わった。 |

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|-----------------------|------|-----------------------|---|
| 21 | 2007 : 社会政策に関する国際夏季セミナー・シンポジウム及び講義 | 中国社会工作教育協会 (CASWE) | 中国 | 07.04.01～ 07.08.31 | 日米韓、デンマーク、エチオピアから学者を招き、「社会政策と社会事業職の発展」をテーマに行なうシンポジウムと講演。基調講演、パネルセッション、レクチャー及びパネルで構成。中国社会工作教育協会が、中国社会科学院、南開大学、北京師範大学、清華大学と協力して、6月に浙江工商大学（杭州）で開催。 |
| 22 | 日本-ベトナム法知的交流会議 | ホーチミン市法律大学 学術研究・国際関係課 | ベトナム | 07.11.10～ 07.11.20 | 日越の法律の専門家がベトナムの法学部生、企業関係者を対象に企業間の紛争解決に関わる民法や商法に焦点を当て、日本の現在の法律についての2日間の講義を行い、さらに2日間にわたり、日越双方の法学者による両国の法制度に関するパネルディスカッションを実施。 |
| 23 | アジアの近代化過程における地域衝突と文化連帯に関する研究 | 中国社会科学院文学研究所 亜州文化論壇 | 中国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 東アジアと南アジア、中東の近代化過程における地域衝突と文化連帯をテーマとし、東アジアの著しい経済発展、インドの台頭、イスラムの原理主義化に起因する国際紛争の可能性などを論じるシンポジウムを実施。中国社会科学院文学研究所の「亜州文化論壇」が中心となり中国の複数の大学、研究所、雑誌『読書』などの関係者、東大、延世大の学者が加わり、10月に中国社会科学院（北京）で開催。 |
| 24 | 東アジア協力フォーラム2007 変化中の東アジアと米国：チャンスと挑戦 | 中国人民大学東アジア研究センター | 中国 | 07.09.22～ 07.09.23 | 日本、韓国、モンゴル、東南アジア、豪、米、英、独、露などから学者、専門家を招いて、「中国の発展と中米関係」、「日本のアジア外交と日米関係」、「東アジアのバランスとしての韓国」、「東アジア共同体と米国」などをテーマに、北京にてシンポジウムを実施。中国人民大学国際関係学部と同大学東アジア研究センターとの共催。 |
| 25 | 演劇史の再考：南アジアおよび東南アジアにおける文化の領域 | 経済発展研究所 | インド | 07.04.01～ 08.03.31 | インド、パキスタンのイギリスからの独立、東西パキスタンの分離によるバングラデシュの誕生など、最も激動の時代であった1930-70年の演劇を再考し、マイノリティである拝火教徒の演劇集団による東南アジア巡回により、インド独立前後の演劇がどのように発展し東南アジアに伝わったかを探った。 |
| 26 | アジアの経営：人、戦略とその進化 | インド経営大学 ラクナウ校 | インド | 07.04.01～ 08.03.31 | 経営学はこれまで西洋のモデルに沿って発展してきたが、インド、中国の台頭をはじめとして経済発展著しいアジア諸国の経営、特に人的マネジメントにおける成功例を共有し、新しいアジア型の経営モデルを探るシンポジウムを実施。 |

アジア大洋州交流事業費

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|-----------------------|--------|-----------------------|---|
| 27 | 文化の審美主義を超えて：詩および詩的作品に関する日印の文学交流を探る | 文学と文化のための印日協会 | インド | 07.04.01～ 08.03.31 | 文学が日印両国の民衆芸術、文化、詩を題材とした舞台芸術にどのような影響を与えたのかを読み解くことを目的とした日印間の国際会議で、インド、日本で各一回ずつ会議を実施。日印の詩の発展、相互に及ぼした影響などについて議論し、インドで訳されている日本の詩、日本で訳されているインドの詩のクロニクルを作成した。 |
| 28 | 現代のアジアにおけるナショナリズムと文化アイデンティティ | インドネシア科学院地域リソース研究センター | インドネシア | 07.04.01～ 08.01.31 | 宗教指導者や政府関係者、人類学者等々の言説により常に変化し構築される、現代のアジアにおける文化アイデンティティについて、ナショナリズム、開発主義、地方自治、社会紛争などとの関連を視野に入れた国際会議を、2007年9月にインドネシア科学院にて実施。 |
| 29 | 国際シンポジウム グローバリゼーションの時代における社会調和と危機管理 | 西南政法大学 | 中国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 社会調和と危機管理をテーマとし、日中韓欧米の学者・実務者が日米の経験と教訓、中国農村自治等の議題を中心に討論するシンポジウムを2007年7月に中国重慶市で開催。 |
| 30 | 新たな中日関係における相互認識の再構築－両国民の嫌悪感克服を中心に | 同済大学 | 中国 | 07.11.10～ 07.11.20 | 日中両国にある反日、嫌中といった国民感情の克服と改善を課題とし、日中相互理解促進のためのプラットフォームの構築を目指し、日中の有識者を集めたシンポジウムを2007年11月に上海で開催。 |
| 31 | 韓日共同未来構想2020 | 世宗研究所（日本研究センター） | 韓国 | 07.05.01～ 08.02.29 | 平成18年度に助成を行った事業の2年目。日韓両国の過去史をめぐる摩擦を建設的に克服する方法を模索するために、日韓の研究者および政策関係者等が、2020年時点の望ましい日韓関係のビジョンを共同で構想し、それを実現するためのロードマップを構想する国際会議を実施。事業成果を政府に提言した。 |
| 32 | アジア経済危機10年後：変化と持続 | 韓国国際政治学会 | 韓国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 1997年にアジア金融危機が発生してから10年目を迎えることから、金融危機に襲われた東北アジアおよび東南アジアの8カ国において、金融危機が政治・社会制度に及ぼした影響を比較すると共に、今後のアジア金融危機を防ぐための経済協力のあり方を模索する国際会議を実施。報告者はアメリカ、フィリピン、インドネシア、日本、台湾などから参加。 |
| 33 | 人身売買に対する児童保護の向上：地域における児童人身売買に関するデータベース化についてのマッピング | 児童人身売買に反対するアジア・アクト | フィリピン | 07.04.01～ 08.02.28 | アジアにおける児童人身売買の実態に関する情報や、その廃止に向けた取り組みを効果的に集約するシステムを構築するため、域内から法律関係機関、研究者・学者、NGO関係者、実務家等が参加し、各国地域における情報管理のマッピングを通して、域内共通のデータベース作りの可能性を探るワークショップをバンコクで実施。 |

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|--------------|---------------|-----------------------|--|
| 34 | 第一回アジア児童博物館会議” 平和の架け橋” | 子供博物館財団 | フィリピン | 07.01.01～ 07.11.30 | 日本、韓国、香港、タイ、フィリピン、欧米から子供の啓発や教育活動に携わっている専門家を招へいし、芸術を通じて子供の能力開発を行う子供博物館が、平和構築や国際理解醸成に果たす役割について議論する国際会議を実施。 |
| 35 | 日本における権威の象徴化：前近代、近代、ポスト・モダン(日本史ワークショップ) | シドニー大学 | オーストラリア | 07.12.05～ 07.12.07 | 豪の日本史専門家が2年に一回開催しているワークショップ。平成19年度は、シドニー大学がホストとなり、「権威の象徴化」をテーマに、米国と、日本から専門家を招へいしてワークショップを実施。日本史専門家に参加を限ることで、歴史学の方法論等より深い議論を行い、若手研究者の研鑽の場とすることを目指した。 |
| 36 | 東アジアに関するウランバートル・フォーラム | モンゴル開発研究センター | モンゴル | 07.04.01～ 07.12.21 | 外交的に近隣諸国と良好な関係を形成しているモンゴルが、地域の課題について話し合うフォーラムのホスト国となることにより、地域協力および地域統合に貢献することを目的とする国際会議。中国、韓国、日本という東アジア共同体の主唱国だけでなく、北朝鮮、カナダ、米国、ロシアからも参加者を招へいし、域内の政治、経済、社会、環境問題などの課題について意見交換を行った。 |
| 37 | アジアにおける子どもの人権保護と社会参加の支援 | 尚綱学院大学 | アジア地域区分 困難 | 07.05.01～ 07.12.20 | 子どもに関する社会問題の究明と実践的な問題解決に取り組んでいる研究者、国際支援機関および市民団体関係者を韓国、中国、タイ、フィリピンから招き、「子どもの人権保護と社会参加」という観点から子どもの人間的社会的な発達の保証と社会的支援の重要性を討議し、それに基づく有効な対応策を提示するシンポジウムを開催。 |

催し等事業費 (2)知的交流会議(企画参画助成)〔アジア・大洋州〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業(国際会議等)に対し、経費の一部を助成する。

合計額 8,693,975 円

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|------------------------|------|-----------------------|---|
| 1 | 日本・モンゴル文化フォーラム | モンゴル教育・文化・科学省 | モンゴル | 07.09.26～ 07.10.01 | モンゴルの有形・無形文化遺産の活用をめぐって、日本とモンゴル二国間の幅広い分野における文化協力・交流を図る。 |
| 2 | アジア・ヒューマン・コミュニティー | アジアヒューマンコミュニティー設立準備委員会 | 日本 | 07.04.01～ 08.03.31 | アジアにおける人間の安全保障に関して、実務家・学者・NPO/NGO関係者が集まり、幅広い分野の視点から問題を捉え、ネットワークを構築する。 |

アジア大洋州交流事業費

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------|--------------------|----|-----------------------|---|
| 3 | 希少野生鳥類保護に関する日中国際シンポジウム | トキ野生復帰日中国際シンポ実行委員会 | 日本 | 07.09.10～ 08.03.31 | 中国のトキ保護専門家やヨーロッパの鳥類保全の専門家、トキの野生復帰に携わる専門家を招へいし、シンポジウムやワークショップ等を実施し、トキ保全に関する様々な知見・経験について情報交換・共有を行う。日中及びアジア諸国で絶滅に瀕した鳥類の復活に、具体的な方法論と大きな望みを与えることを目的とする。 |
| 4 | 東アジア研究に関するカリキュラム開発ワークショップ | チュラロンコン大学 | タイ | 08.01.01～ 08.03.31 | ASEAN+3の13カ国から関係者が集まり、東アジア研究に関するカリキュラム作成の必要性について認識を共有するとともに、東アジア研究のコンセプト、哲学、カリキュラム作成の枠組みなどについて議論する2日間のワークショップを開催するもの。3日目には、第4回東アジア研究促進ネットワーク・ワークショップ(Executive Meeting)を併催する。3日間の基調講演者として、香港大学アジアセンター所長のDr. Wong Siu Lun、タイ・ネイション誌記者のMr. Kavi Chongkittavorn、アセアン事務総長(元タイ外相)のDr. Surin Pitsuwanが参加した。 |

催し等事業費 (3)知的交流会議(主催)[アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業(国際会議、セミナー、ワークショップ等)を開催する。

合計額 23,977,376 円

| | 事業名 | 国 | 共催機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|--------|--|-----------------------|---|
| 1 | 子ども向け芸術事業を通じた復興支援 | インドネシア | Kommunitas Tikar Pandan (コミュニティス・ティカール・パンダン) | 07.04.01～ 08.03.31 | 「アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ」(2007年4月実施)のフォローアップとして、2007年7～8月に現地共催者を日本に招へいし、東京及び京都にて報告会を開催した。 |

| | 事業名 | 国 | 共催機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------------------|--|------------|-----------------------|--|
| 2 | 南アジアフューチャーフォーラム | 日本 インド スリランカ ネパール パキスタン バングラデシュ ブータン | 早稲田 奉仕園 | 07.04.01～ 08.03.31 | 南アジアの6か国から公共の利益に関わる仕事をしている青年リーダー7名を招へいし、日本人1名を加えた8名が4週間同宿し、相互理解を深めた。一行は、プログラム期間中に講義受講、討論、機関訪問、地方視察などを通して、日本理解を深めるとともに参加者同士のネットワークを構築した。 参加者： 日下部尚徳（岐阜女子大学研究員） Priyanka Kakodkar（New Delhi Television（NDTV）上級特派員） Siddhartha Das（デザイン・コンサルタント） Harindra B. Dassanayake（コロombo社会文化研究所編集員） Devraj Humagain（マルティン・チャウタリ研究所研究員） Shahina Hanif（シモーグ女性資料出版センター出版コーディネーター） Abantee Harun（バングラデシュ独立大学講師） Phurba Thinley Sherpa（画家） |
| 3 | 日中韓次世代リーダーフォーラム2007 | 韓国 中国 日本 | | 07.05.01～ 08.03.31 | 北東アジアをリードする日本と中国、韓国三カ国における将来のリーダー間の信頼感を醸成し、信頼関係を強化することを目指して、若手リーダーによる対話の機会を作った。 参加国から選ばれた各界のリーダーが合宿形式のプログラムに参加し、「Vision 2030 for Northeast Asia」の総合テーマのもと、三カ国をともに訪問しながら主に以下の活動を展開した。 ①参加者同士がお互いの国・個人を理解しあうためのディスカッション ②各国指導者・政策担当者を招いてのセミナー ③視察（施設見学など） また、日程の最後には、このプログラムで何を議論し何を学んだかについて参加者が共同でレポートを作成した。 |
| 4 | 日韓交流事業「日韓両国の高齢者福祉～映画『折り梅』をめぐる対話～」 | 韓国 日本 | | 08.03.06～ 08.03.09 | アルツハイマー型痴呆症の老齢女性とその家族を描いた映画「折り梅」の上映会と同映画の監督である松井久子氏による講演会（もしくは韓国人映画監督との対談）を日本大使館公報文化院（ソウル）にて実施。また、高齢者福祉（特に認知症）に関わる専門家を同時に韓国に派遣し、現地で高齢者福祉に取り組む団体を訪問した。また専門家同士のシンポジウムを実施することにより、現在の日韓が共通に抱える課題とその対策について理解を深めるとともに、関係者間のネットワークを形成した。 |

アジア大洋州交流事業費

催し等事業費 (4) アジア地域研究センター支援 (催し等)

東南アジア諸国における東南アジア研究の促進と各機関の学術ネットワークの構築を目的として、東南アジアの研究者を支援する助成プログラムの運営と東南アジア研究の基盤強化事業を実施する。

合計額 21,422,283 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------|-----------------------|---|
| 1 | 東南アジア研究地域交流プログラム | 07.04.01～ 08.03.31 | 東南アジア人による東南アジア研究を促進するために、基金とトヨタ財団とが共同でSEASREP財団（本部：マニラ）に対して支援を実施している。東南アジア地域の大学院生に対するグラント支援を行い、若手研究者の育成を目指して、研究フェロースhipや語学研修の機会を提供しているほか、各地の大学生が集まって集中的な議論を行う事業などを支援している。 |

文化資料事業費 (1) 図書寄贈 [アジア・大洋州]

海外の日本研究・教育機関の図書館及び大規模公共図書館に対し、日本関係図書を寄贈する。

合計額 12,316,298 円

| | 国名 | 機関名 | 部数 |
|----------------|--------|-----------------------|-----|
| 1 | 韓国 | (社) 釜山韓日文化交流協会 | 75 |
| | | 釜山大学校図書館 | 133 |
| 2 | 中国 | 澳門大学日本研究センター | 39 |
| | | 惠州学院 (外国語学部) | 151 |
| | | 海南大学外国語学院日語系 | 96 |
| | | 香港大学図書館 | 34 |
| | | 嶺南大学 | 118 |
| | | 香港城市大学邵逸夫図書館 | 59 |
| | | 雲南大学外国語学院東語学部 | 120 |
| | | 西南政法大学政治与公共事務学院 | 102 |
| | | 西南科学技術大学外国語学院日本語学部 | 124 |
| | | 四川外語学院日語系 | 42 |
| | | 温州医学院 | 114 |
| | | 遼寧省図書館 | 25 |
| | | 中日友好大連人材育成センター日本語学部 | 50 |
| | | 厦門大学嘉庚学院 | 89 |
| 上海海事大学外国語学院日語系 | 95 | | |
| 遼寧省社会科学院 | 122 | | |
| 3 | インドネシア | ハサヌディン大学文学部日本語学科 | 63 |
| | | ドクターストモ大学文学部日本語学科 | 51 |
| | | アイルランガ大学日本語学科日本研究センター | 163 |
| 4 | インド | アメリカン大学 | 62 |
| | | 印日福祉文化協会 | 37 |
| | | プーネ大学 | 26 |
| | | JLPT予備校 | 21 |

| | 国名 | 機関名 | 部数 |
|---|-------|--------------|----|
| 5 | ネパール | トリブバン大学中央図書館 | 43 |
| | | ネパール国立図書館 | 45 |
| 6 | パキスタン | カラチ経営学院 | 34 |

日本研究・知的交流事業に必要な経費

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究客員教授派遣（自主企画）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 日本研究教員拡充助成〔欧州・中東・アフリカ〕
- (5) 日本研究リサーチ・会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (6) 日本研究組織強化支援（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (7) 日本研究図書拡充〔欧州・中東・アフリカ〕
- (8) 日本研究機関支援（その他）〔欧州・中東・アフリカ〕

2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究フェローシップ（短期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 知的交流フェローシップ（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (5) 知的交流フェローシップ（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔欧州・中東・アフリカ〕

欧州中東アフリカ交流事業費

日本研究事業費 (1) 日本研究客員教授派遣 (自主企画) [欧州・中東・アフリカ]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、日本から学者・研究者を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。

合計額 1,363,022 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------|------|------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|---|
| 1 | 中東巡回セミナー | 高阪 章 | 大阪大学大学院国際公共政策研究科 | エジプト トルコ | カイロ大学政治経済学部 ボアジチ大学 | 08.02.20～ 08.03.03 | 高阪章（大阪大学大学院国際公共政策研究科教授）をイスタンブール、カイロに派遣。イスタンブールではボアジチ大学にて、カイロではカイロ大学政経学部にて日本経済に関する講演を実施。カイロ大学では経済を専攻する学部生を対象に、日本経済の今後の見通しや東アジア経済との関わり等より具体的なテーマで講義を実施。 |

日本研究事業費 (2) 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [欧州・中東・アフリカ]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、日本から学者・研究者を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。

合計額 20,636,381 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------|-------------|-------|----------------------|-----------------------|--|
| 1 | 山本 節 | 浜松学院大学教授 | フランス | マルク・ブロック・ストラスブール第二大学 | 07.10.01～ 08.03.31 | 伝承文学・伝承学 |
| 2 | Naghizadeh Mohammad | 明治学院大学教授 | イラン | テヘラン大学経済学部 | 07.09.01～ 08.02.29 | 日本経済、日本の経済思想 |
| 3 | 新免 光比呂 | 国立民俗学博物館助教授 | ルーマニア | ブカレスト大学 | 07.09.15～ 07.12.15 | ・日本における作家と社会－村上春樹と夏目漱石 ・現代日本における宗教と社会 ・日本文化論の流行とその時代 |
| 4 | 黒田 壽郎 | 国際大学教授 | エジプト | アインシャムス大学外国語学部 | 08.02.01～ 08.06.10 | 言語学概論及び比較言語学論等 |
| 5 | 浦田 義和 | 佐賀大学教授 | エジプト | アインシャムス大学外国語学部 | 07.10.01～ 07.12.31 | 文学研究概論及び比較文学研究等 |

欧州中東アフリカ交流事業費

日本研究事業費 (3) 日本研究客員教授派遣 (経費助成) [欧州・中東・アフリカ]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、日本から学者・研究者を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、招へい経費の一部を助成する。

合計額 2,993,147 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|----------------|---------|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 | 藤田 栄史 | 名古屋市立大学教授 | スロベニア | リュブリャナ大学文学部 | 08.03.25～ 08.04.30 | 近代日本社会：継続性と変容（客員教授派遣） |
| 2 | 今井 雅晴 | 国立大学法人筑波大学名誉教授 | ウズベキスタン | タシケント国立東洋学大学 | 07.08.24～ 07.10.07 | 日本文化と国際交流 |
| 3 | 白井早由里 | 慶應義塾大学総合政策学部教授 | フランス | 国立政治学財団 | 08.03.01～ 08.07.30 | 現代国際経済問題、日本経済史・日本経済政策 |

日本研究事業費 (4) 日本研究教員拡充助成 [欧州・中東・アフリカ]

人文科学、社会科学分野で日本に関する教育・研究のために教育職を新規に設置する海外の高等教育・研究機関に対し、新規採用の人件費を当初3年間に限って助成する。

合計額 12,323,371 円

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------|-------|-----------------------|-------------------|
| 1 | デブレツェン大学(3年次) | ハンガリー | 06.12.01～ 07.11.30 | デブレツェン大学 |
| 2 | ハイデルベルク大学 | ドイツ | 07.04.01～ 07.08.31 | 日本近代文学分野教授の給与助成 |
| 3 | シェフィールド大学 | 英国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本ビジネス・経済学講師の給与助成 |
| 4 | サラマンカ大学 | スペイン | 07.10.01～ 08.09.30 | 東アジア学講師の給与助成 |
| 5 | ザグレブ大学 | クロアチア | 07.10.01～ 08.09.30 | 日本史、言語学教員への給与助成 |

欧州中東アフリカ交流事業費

日本研究事業費 (5) 日本研究リサーチ・会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

日本研究を実施している海外の高等教育・研究機関や学会等が日本に関するグループ研究、調査、学術的な会議、セミナー、ワークショップ等を実施する際に経費の一部を助成する。

合計額 7,469,566 円

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------------|------|-----------------------|--|
| 1 | リーズ大学 | 英国 | 07.05.01～ 08.03.31 | EANMJS現代日本研究ネットワーク (文学) |
| 2 | シェフィールド大学 | 英国 | 07.05.01～ 08.03.01 | EANMJS現代日本研究ネットワーク (担当：政治) |
| 3 | ライデン大学文学部 日本・韓国学科 | オランダ | 07.04.01～ 08.03.31 | EANMJS現代日本研究ネットワーク (思想) |
| 4 | 国立政治学財団 | フランス | 08.03.15～ 08.03.17 | 日本の新しい文化力：日本のポップカルチャーとグローバリゼーション時代におけるその役割 |
| 5 | ミュンヘン大学日本 研究センター | ドイツ | 07.04.01～ 08.03.31 | EANMJS現代日本研究ネットワーク (経済) |
| 6 | 英国日本研究協会 (BAJS) | 英国 | 07.03.01～ 07.05.16 | 英国日本研究協会の2007年度総会開催支援 |

日本研究事業費 (6) 日本研究組織強化支援 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

国境・学問分野を超えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 22,491,163 円

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------|----------|-----------------------|--------------------------------|
| 1 | ヨーロッパ日本研究 協会 | ドイツ | 07.04.01～ 08.03.31 | ヨーロッパ日本研究協会学会開催 |
| 2 | ロシア日本研究者協 会 | ロシア | 07.04.01～ 08.03.31 | ロシア日本研究者協会学会開催 |
| 3 | 日本資料専門家欧州 協会 | 欧州地域区分困難 | 07.09.19～ 07.09.23 | 日本資料専門家欧州協会 (第18回研究集会への支援) |
| 4 | トルコ日本研究学会 | トルコ | 07.06.01～ 08.05.31 | トルコ日本研究学会が開催する年4回のセミナー・研究会への支援 |
| 5 | 北欧日韓研究学会 | デンマーク | 07.08.24～ 07.08.26 | 北欧日韓研究学会第7回総会に対する支援 |
| 6 | ロシア日本研究者協 会 | ロシア | 07.04.01～ 08.03.31 | ロシア日本研究者協会が提供するスカラシップ支援 |

欧州中東アフリカ交流事業費

日本研究事業費 (7) 日本研究図書拡充 [欧州・中東・アフリカ]

日本研究機関支援の一部として、対象機関が日本研究の推進に必要な図書を寄贈し、あるいはその購入経費を助成する。
合計額 3,685,841 円

| | 機関 | 国 | 部数 | 事業内容 |
|----|----------------------|---------|----|----------------|
| 1 | マルク・ブロック・ストラスブール第二大学 | フランス | 47 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 2 | アイスランド国立大学 | アイスランド | 76 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 3 | ハイデルベルク大学 | ドイツ | 46 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 4 | シェフィールド大学 | 英国 | 44 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 5 | ヴィータウタス・マグナス大学 | リトアニア | 19 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 6 | サラマンカ大学 | スペイン | 51 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 7 | タシケント国立東洋学大学 | ウズベキスタン | 30 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 8 | ルーヴァン・カトリック大学 | ベルギー | 41 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 9 | ブカレスト大学 | ルーマニア | 58 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 10 | カイロ大学政治経済学部 | エジプト | 31 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |
| 11 | ザグレブ大学 | クロアチア | 44 | 日本研究に資する研究書の寄贈 |

日本研究事業費 (8) 日本研究機関支援 (その他) [欧州・中東・アフリカ]

対象機関が日本研究の成果を出版するための経費を助成する、あるいは、対象機関の教員・学生等による訪日研究・研修を支援する等。

合計額 14,932,862 円

| | 機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------------|-----|-----------------------|--|
| 1 | ロシア科学アカデミー現代日本研究センター | ロシア | 07.04.01～ 08.03.31 | 雑誌購送、紀要発行の発行、論文コンテスト、学術プロジェクト等経費を包括的に支援。過去5年間の事業評価を実施。 |
| 2 | 極東国立総合大学 | ロシア | 07.04.01～ 08.03.31 | 訪日研修、ロシア国内研修、論便執筆謝金、出版援助、事務局経費、図書寄贈等の包括的支援。 |

人物交流事業費 (1) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 61,679,433 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------------|-----------------------------|---------|-----------------|-----------------------|---|
| 1 | TODOROVA, Stela Atanasova | 農業大学準教授 | ブルガリア | 筑波大学 | 06.11.01～ 07.10.31 | 比較分析1950-2005の日本およびブルガリアの農業政策 |
| 2 | ZULAWSKA-UMEDA, Agnieszka | ワルシャワ大学東洋学院日本学科助教授 | ポーランド | 東京大学大学院人文社会系研究科 | 06.10.07～ 07.10.06 | 俳諧における付合の研究 |
| 3 | LIM, Sofya Chununovna | サハリン国立大学教授 | ロシア | 北海道大学大学院教育学研究科 | 06.09.06～ 07.09.04 | ロシア(サハリン)、日本(北海道)および北アメリカ(カナダ、北極、またアラスカ)の固有の民族の同時代の社会的適応における教育の役割 |
| 4 | PALKIN, Alexei Dmitrievich | モスクワ経済学・言語学大学助教授 | ロシア | 大阪大学言語文化部 | 06.11.09～ 07.11.08 | 日露言語意識比較 |
| 5 | SNITKO, Tatiana Nikolayevna | ロストフ国立経済大学教授 | ロシア | 東京大学文学部 | 06.10.01～ 07.10.01 | 言葉の理解：日本文化とロシア文化 |
| 6 | SANINA, Ksenia Gennadievna | 極東国立総合大学東洋学大学助教授 | ロシア | 京都大学 | 06.06.01～ 07.04.30 | 明治時代の現代日本文学の起源及び発展 |
| 7 | KHISAMUTDINOV, Amir Aleksandrovich | 極東国立工科大学教授 | ロシア | 国士舘大学アジア科 | 06.09.01～ 07.08.31 | ロシアにおける日本文化の普及 |
| 8 | GAFUROVA, Hakima | 世界経済外交大学日本語講師 | ウズベキスタン | 早稲田大学 | 06.09.16～ 07.08.15 | 日本文学と芸能を通してみる日本人の自殺観 |
| 9 | VAN GOETHEM, Ellen E.M.A. | アントワープ大学助教授 | ベルギー | 立命館大学文学部 | 07.01.31～ 08.03.11 | 長岡京遷都に対する宗教の考えの影響 |
| 10 | CARLQVIST, Anders | ヨーテボリ大学 研究員 | スウェーデン | 島根大学 | 06.10.01～ 07.09.30 | 日本国家成立過程における古代出雲 |
| 11 | KOUAME, Nathalie | フランス国立東洋言語文化学院 (INALCO) 助教授 | フランス | 東京大学資料編纂所 | 07.07.15～ 07.11.14 | 長崎・島原・天草のキリシタン・中世末から近世初期にかけて |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------------|--|--------|------------------------------|-----------------------|--|
| 12 | MWAIGOMOLE, Emmanuel Asukenye | ダル エス サラム大学開発研究所 | タンザニア | 神戸大学大学院国際協力研究科 | 07.05.29～ 08.04.28 | 経済発展のための公私協働 |
| 13 | MADSEN, Yasuko | イエーテボリ大学 東洋アフリカ言語学 科教授（文学博士） | スウェーデン | 琉球大学 法文学部 | 07.09.01～ 08.08.31 | 琉球方言におけるイントネーション体系の研究 |
| 14 | VOROS, Mihaly, Laszlo | 近代経営学術大学国際経済学 科/ 教授 | ハンガリー | 早稲田大学 | 08.03.18～ 09.03.17 | 日本における農村社会の形成に関する研究：中東欧の持続可能な農村開発に対する政策的含意 |
| 15 | ZHILINA, Larisa Vladimirovna | オムスク国立大上級講師 | ロシア | 日本女子大学 | 07.05.11～ 07.11.09 | 21世紀初頭日本におけるロシア及びロシア人に対する世論形成：比較研究 |
| 16 | KOMORI, Naoko | 英国マンチェスター・ビジネス・スクール（投資リスク研究所）会計・財務/研究員 | 英国 | 同志社大学、同志社大学ワールドワイドビジネス研究センター | 08.01.10～ 08.07.10 | グローバリゼーションの日本企業・社会の影響：会計基準調和化が日本企業のコーポレート・ガバナンスに与える影響とグローバリゼーションによる金銭教育（フィナンシャル・リテラシー）の重要性 |
| 17 | BREEN, John Lawrence | ロンドン大学SOAS日本研究センター、教授 | 英国 | 京都大学人文科学研究所 | 08.02.25～ 08.07.24 | 日吉大社：近世、近代現代日本における神社と神道を吟味する |
| 18 | KOZHEVNIKOV, Vladimir Vasilyevich | 極東総合大学附属東洋学大学の日本語学部教授 | ロシア | 京都大学 | 07.07.01～ 07.09.27 | 日本史における怨霊の思想 |
| 19 | DOMENIG, Roland | ウィーン大学東アジア研究所講師 | オーストリア | 明治学院大学 | 08.02.03～ 09.01.31 | 日本におけるスクリーンプラクティス（映写文化活動）1800～1920 |
| 20 | SHEVTSOVA, Galyna Viktorovna | キエフ国立建設・建築大学建築/助教授 | ウクライナ | 近畿大学 | 07.06.15～ 08.06.14 | 日本・ウクライナの木造建築の技法と初期形成過程の比較研究 |
| 21 | BIENATI, Luisa | ベネチア大学外国語学部東アジア学科助教授 | イタリア | 早稲田大学 | 07.11.12～ 08.02.11 | モダン都市空間と谷崎潤一郎の青年文学 |
| 22 | PIERCONTI, Jong Kuk Mauro | ヴェネツィア建築大学建築史学科・研究者 | イタリア | 東京大学生産技術研究所 | 07.09.02～ 08.08.29 | 白井晟一と日本現代建築（1905-1983） |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------|------------------------------------|-------------|-------|-----------------------|-----------------------------------|
| 23 | RASULOV, Abdujabar | 世界経済外交 大学数理経済 学科/教授 副学長兼務 | ウズベキスタ ン | 早稲田大学 | 07.08.15～ 08.07.14 | 中央アジアにおける実証経済分析のた めの数学的手法の応用研究 |

人物交流事業費 (2) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 55,431,066 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------------|----------------------------|-------------|-------------------------|-----------------------|--------------------------------|
| 1 | BARBARO, Paolo | 国立高等研究 院宗教学部博 士課程 | フランス | 三重大学 | 06.10.01～ 07.10.31 | 日本の参詣－紀伊半島の地域調査 |
| 2 | SOLIMAN, Alaaeldin Elhassan | カイロ大学文 学部日本語日 本文学科講師 | エジプト | 東洋大学文学 部 | 06.08.01～ 07.09.30 | 所有構文－アラビア語エジプト方言と 日本語の対照研究－ |
| 3 | GOTTARDO, Marco | コロンビア大 学修士課程 | イタリア | 東京大学大学 院人文社会系 研究科 | 06.09.01～ 07.10.31 | 江戸時代における大衆宗教について |
| 4 | LOBETTI, Tullio, Federico | ロンドン大学 修士課程 | イタリア | 慶應義塾大学 | 06.05.15～ 07.05.15 | 現代日本宗教の文脈における肉体と修 業 |
| 5 | COOK, Emma, Elizabeth | ロンドン大学 修士課程 | 英国 | 筑波大学 | 06.08.01～ 07.08.01 | 現代日本におけるフリータ：男性性民 族学 |
| 6 | TAKAGI, Siu mei | ケンブリッジ 大学修士課程 | 英国 | 金沢大学 | 06.05.10～ 07.04.09 | 初期江戸時代における、女性、教養と 読書 |
| 7 | DAY, Kikutsubo G.M.M | ロンドン大学 修士課程 | 英国 | 大阪芸術大学 | 07.02.01～ 07.08.01 | 過去を思い出す：現代情勢における古 来尺八 |
| 8 | MENGEL, Maria-Mihaela | ケルン大学 日本学研究所 博士課程学生 | ドイツ | 京都大学大学 院 地球環境 学室 | 06.10.01～ 07.09.30 | 愛の浮世－アニメ、アイデンティティ、 また日本 |
| 9 | KHALMURZAEVA, Nadira | タシケント国 立東洋学大学 日本語講師 | ウズベキスタ ン | 早稲田大学日 本語教育研究 科 | 06.06.01～ 07.08.01 | 日本語研究 |
| 10 | NARKHODJAEVA, Nigora Faizullaevna | タシケント国 立東洋学大学 教師 | ウズベキスタ ン | 東京大学 | 06.10.01～ 07.10.01 | 芥川の創作における個人的概念考察 |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------------|---|--------|----------------|-----------------------|---------------------------|
| 11 | GODART, Gerard, Rainier, Clinton | シカゴ大学歴史 | オランダ | 京都大学大学院 | 06.09.01～ 07.08.30 | 現代日本哲学の起源：明治期における解釈と区別の問題 |
| 12 | RANGUELOVA, Silvia Atanassova | オックスフォード大学東洋学学部学生 | ブルガリア | 上智大学 | 07.06.21～ 08.01.20 | 日本外交における人権 |
| 13 | EHLERS, Maren Annika | プリンストン大学東アジア研究 | ドイツ | 大阪市立大学 | 07.09.01～ 08.08.31 | 徳川時代の貧民救済：大野藩の事例 |
| 14 | EL-AMIR, Nilly, Kamal | カイロ大学政治経済学部アジア研究センター研究者 | エジプト | 早稲田大学 | 07.12.01～ 08.12.28 | 環境安全保障に対する見解：日米対照研究 |
| 15 | HOEY, Fintan Andrew | アイルランド国立大学ダブリン校 ユニバーシティ カレッジ ダブリン 大学院文学・ケルト族学研究科歴 | アイルランド | 京都大学文学研究科 | 07.10.01～ 08.02.28 | 佐藤政権期の外交政策 |
| 16 | MATE, Zoltan | カーロリ・ガシュパール大学、文学部、日本学科助教授 | ハンガリー | 明海大学外国語学部日本語学科 | 07.06.02～ 07.10.01 | 日本の文学政策の諸相 |
| 17 | TOMPKINS, Juliet, Margaret | オックスフォード大学博士課程、国際関係 | 英国 | 神戸大学 | 07.08.20～ 07.12.19 | 日米同盟の発展 1978-2004 |
| 18 | OKSBJERG, Ellen Jane | ロンドン大学SOAS美術・考古学科博士課程 | デンマーク | 九州大学 六本松キャンパス | 08.01.01～ 08.09.30 | 弥生時代考古学、陶器装飾 |
| 19 | KARPOLUK, Jakub Aleksander | ポーランド国立学問学院芸術研究所、博士課程学生 | ポーランド | 早稲田大学 | 07.09.01～ 08.07.31 | 日本演劇の日本映画への影響 |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------------|---|--------|---------------------------------|-----------------------|--|
| 20 | WOLSKA-LENARCZYK, Joanna Kamila | ヤギェウオ大 学文学部東 洋学研究所日 本中国学科/ 博士論文執筆 者 | ポーランド | 東京大学文学 部・大学院人 文社会系研究 科 | 07.10.01～ 08.11.30 | 三島由紀夫の「豊饒の海」における美 学と道徳の規範 |
| 21 | GRIKUN, Yuliya | キエフ国立原 語大学哲学 部、大学院生 | ウクライナ | 国際基督教大 学 | 07.08.29～ 08.10.28 | グローバル社会における異文化コミュ ニケーションに関する日本とウクライ ナの比較研究：国際化の時代において 伝統主義や民族意識はいかに保たれる のか |
| 22 | CIUBANCAN, Magdalena | バベシュ・ポ ヨイ大学言語 学 講師補助 | ルーマニア | 神戸大学 | 07.09.01～ 08.06.30 | 日本のメディアにおける使役の表現 |
| 23 | JAGER, Heide | マンチェス ターメトロポ リタン大学、 ミリアダ | 英国 | 法政大学 | 07.05.13～ 07.12.22 | 路地：日本におけるストリート空間の 考察 都市部の裏道散策 |
| 24 | KOZIOL, Gabriele | マックス・ブ ランク外国 法・国際私法 研究所 博士 課程 | オーストリア | | 08.03.15～ 08.11.21 | 担保としての知的財産ライセンス |
| 25 | BINCSIK, Monika | ホップ・フェ レンツ東洋美 術館（ブダペ スト工芸美術 館）日本美術 担当学芸員 | ハンガリー | 昭和女子大学 | 07.03.27～ 08.01.25 | 明治期の古美術商会史－ヨーロッパで の日本工芸品、特に漆器の収集活動史、 ハンガリーを中心に |

人物交流事業費 (3) 日本研究フェローシップ(短期) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 10,699,651 円

| | 関連人物姓名 | 現職 | 在住国 | 関連機関名称 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|---------------------------|------|-------------------------|-----------------------|--------------------------------|
| 1 | ATLAN, Corinne | 翻訳家・作家 | フランス | 東京大学大学 院人文社会系 研究科 | 07.06.15～ 07.08.13 | 翻訳家の立場から見た今日における日 本文学の進化や傾向 |
| 2 | LAURENT, Stephane | パリ第1大学 ／国立美術史 研究所教授 | フランス | 東京大学 | 07.06.25～ 07.08.20 | 文化、スタイル、グローバリズム：日 本への装飾伝播 |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 関連人物姓名 | 現職 | 在住国 | 関連機関名称 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------|-----------------------------------|-------|--------------|-----------------------|---|
| 3 | LARIN, Victor | ロシア科学アカデミー極東支部極東諸民族歴史・考古・民族学研究所所長 | ロシア | | 07.08.18～ 07.10.16 | 北東アジアの安全保障における中国問題：21世紀初頭日中関係への影響 |
| 4 | HEINRICH, Patrick | デュイスブルク-エッセン大学東アジア研究所研究員 | ドイツ | 琉球大学 | 07.07.10～ 07.08.18 | 琉球諸島における言語取替え |
| 5 | KEVENHOERSTER, Paul Johannes | ミュンスター大学社会科学研究所名誉教授 | ドイツ | 早稲田大学政治経済学術院 | 07.09.15～ 07.11.13 | 日本のODA政策評価 |
| 6 | ZACHMANN, Urs Matthias | ミュンヘン大学 (LUM)、日本学科助教授 | ドイツ | 東京大学法学部 | 07.08.13～ 07.10.07 | 戦間期・戦後期の日本における国際法思想の形成と発展、1919年-1951年 |
| 7 | SAUNDERS, Rachel, Mary | ボストン美術館東洋美術部研究助手 | 英国 | 慶應義塾大学文学部 | 07.05.10～ 07.06.24 | 美女と野獣：御伽草子のおとぎの国、絵巻から版本まで |
| 8 | PETKOVA, Gergana Rumeno | ソフィア大学日本語学科哲学部講師 | ブルガリア | | 07.08.07～ 07.10.05 | 日本民俗学教科書：学生向け日本の文学、民俗学、哲学、生活に関する入門書 |
| 9 | SHAOUL, Raquel | テルアビブ大学東アジア研究学科 | イスラエル | 早稲田大学 | 07.07.01～ 07.08.29 | 日本のエネルギー政策の展開について：ペルシア湾岸からのエネルギー供給確保に対する傾向と展望について |
| 10 | ZARVANI, Mojtaba | テヘラン大学教授 | イラン | | 07.07.23～ 07.08.23 | 仏教とシーア派イスラームの比較研究 |

人物交流事業費 (4)知的交流フェローシップ (派遣) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国において人文・社会科学分野の研究を行う日本の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 4,969,815 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|---------------------|-----|-------------------------|-----------------------|--|
| 1 | 二神 枝保 | 横浜国立大学国際社会科学研究所 助教授 | スイス | 国際労働機関、国際労働研究所、チューリッヒ大学 | 07.10.01～ 08.09.30 | スイスでILOおよびチューリッヒ大学の非正社員の雇用状況を研究し、男女の格差を把握しながら日欧比較研究を行う。キャリア管理および人材開発を検討し、新動向を考察。 |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|---------------------------|-----|-------------------------|-----------------------|---|
| 2 | 山下 龍一 | 北海道大学 大学院公共政策学連携研究部 教授 | ドイツ | トリアー大学 環境・技術法 研究所 | 07.08.19～ 07.11.18 | ドイツにおいて環境政策の転換を可能にした社会的背景、社会受容システムの構造についての研究。ドイツ、トリアーに滞在し、環境保護団体、自治体、中央省庁関係者へのヒアリング等、調査を実施。 |

人物交流事業費 (5)知的交流フェローシップ (招へい) [欧州・中東・アフリカ]

日本において人文・社会科学分野の研究を行う諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 26,159,137 円

| | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------------|--|-------|-----------------------|---|
| 1 | KRAVALIK, Zsuzsanna | Studio Metropolitana Urban Research Centre 研究者 | ハンガリー | 07.03.18～ 07.04.24 | 日本の住宅地域の建設的社会的デザイン |
| 2 | GRAVENIR, Frederick Quaye | ケニヤッタ大学 教授 | ケニア | 07.03.02～ 07.04.19 | 大学における研究の優先化：日本とケニアにおける比較研究 |
| 3 | KUN, Attila Sandor | カーロリ大学法 学部労働法社会 保障学科准教授 | ハンガリー | 08.01.08～ 08.02.06 | 日本におけるCSR |
| 4 | KOMETA, Richard Kwang | カメルーン・ト リビューン 編 集 | カメルーン | 07.11.06～ 07.12.15 | カメルーンにおける電子商取引の課題：日本の経験からの教訓 |
| 5 | POSTUVAN, Vita | リュブリャナ大 学社会心理学博 士課程 | スロベニア | 07.10.26～ 07.12.21 | 自殺の社会的表象 |
| 6 | ATABAKI, Behzad | behzad atabaki and associates 建築士 | イラン | 07.10.25～ 07.12.21 | 新進の建築家であるフェローが、「光と影」をキーワードに日本の現代建築とその伝統からの影響について、フィールドワークを中心とした調査を行う。 |
| 7 | KUTUYEV, Pavlo | モヒラ・アカデ ミー社会学教授 | ウクライナ | 07.11.05～ 07.12.14 | 「ウクライナと日本の行政エリートの政治文化：比較研究」をテーマとして、資料収集や関係者とのネットワーク構築を主とする研究活動を行う。 |
| 8 | MELNIKOVA, Julija | クライペダ大学 准教授 | リトアニア | 07.11.06～ 07.11.30 | 学校長の能力開発システム |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|--|---------|-----------------------|---|
| 9 | LUKONIN, Sergey Alexandrovich | ロシア科学アカ デミー極東研究 所大学院生 | ロシア | 07.11.20～ 08.01.10 | 北東アジア諸国の経済発展における国家間協力の役割 |
| 10 | NAKABUGO, Marry Goretti | マケレレ大学教 育学科上級講師 | ウガンダ | 08.01.08～ 08.02.28 | ウガンダの初等教育における持続可能な専門能力開発の達成：日本の授業研究からのアプローチ |
| 11 | RATSIMBAZAFY, Andriamihaja Marcellin | マダガスカル国 営TVジャーナ リスト | マダガスカル | 08.01.17～ 08.02.26 | 農業開発分野における日・アフリカ協力 |
| 12 | KASYMOVA, Nazokat Anvarovna | 世界経済外交大 学教授 | ウズベキスタン | 08.02.27～ 08.03.28 | アジアの地域主義と日本：モデル、挑戦、リーダーシップ |
| 13 | RATZ, Tamara | コドラーニイ・ ヤーノシュ大学 学部長 | ハンガリー | 08.03.17～ 08.04.18 | 健康志向レジャーの社会経済的環境の側面 |
| 14 | GOAGEA, Silvia Cosmina | “Arhitectura review”誌 プロジェクトマ ネージャー | ルーマニア | 08.02.04～ 08.03.09 | 創造的都市設計と新しい都市画像 - 日本の都市 |

| | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|-----------------------|-------|-----------------------|--|
| 15 | 中東グループ招へい (11名) | | | 07.10.28～ 07.11.18 | フェローは同じ宿舎に滞在し、日本に関するレクチャー、ワークショップ、地方都市への視察旅行、研究発表会等に参加し、日本に関する多角的な知識を得る。 |
| | Fatima Afmad, AL-YOUSEFI | サナア大学自然科学部化学科准教授 | イエメン | | |
| | Mina, MEHRNOUSH | テヘラン大学経済調査開発研究所副所長 | イラン | | |
| | Mohammad, AVATEFI HEMMAT | テヘラン大学林学・森林経済研究所博士 | イラン | | |
| | Shadad Masoud, AL-MUSALMI | オマーン・デイリー・オブザーバー紙記者 | オマーン | | |
| | Faisal Mohsen, NASER ALI | アル＝ワタン紙記者 | クウェート | | |
| | Mehmet, YUVA | ダマスカス大学歴史学部准教授 | シリア | | |
| | Rasheed, ABDUL HADI | ダマスカス大学英語学部専任講師 | シリア | | |
| | Mitat, CELIKPALA | トルコ商工会議所連合大学国際関係学部准教授 | トルコ | | |
| | Ziad Saleh, QANNAM | アル・クドゥス大学大学院准教授 | パレスチナ | | |
| | Nizar Nabin, ABOU-JAOUDE | レバノン大学社会科学部調査室アナリスト助手 | レバノン | | |
| | Israa Adel El-Sayed Ahmed, EL-HOUSAINY | カイロ大学政治経済学部助手 | エジプト | | |

欧州中東アフリカ交流事業費

催し等事業費 (1)知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 26,669,061 円

| | 事業名 | 国 | 共催・協力機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------------------|-----------------------|------------------------------|-----------------------|--|
| 1 | 日露フォーラム フォローアップ | ロシア | 戦略策定センター | 07.04.10～ 08.03.31 | 「グローバル化の中でのアジア太平洋地域における日露関係の展望」を主題として、日露両国をとりまく様々な課題を議論するフォーラムを平成19年3月19-20日に開催し、両国の有識者や政府関係者による意見交換を実施。右報告書作成に関する経費。 |
| 2 | ロシアにおける 日本研究連続講座 | ロシア | | 07.04.26～ 08.03.31 | 対日関心が高まる一方、日本についての専門的な知識を得る機会が限られているロシアの学生や一般市民を対象に、ロシア人日本研究者による連続講義をモスクワにおいて実施。また、地方においても対日関心の喚起を図るため、出張講座も実施。 |
| 3 | アルザス日欧知的 交流事業／日本 研究セミナー 「江戸」 | フランス | アルザス・欧州 日本学研究所 (CEEJA) | 07.12.13～ 07.12.16 | 日本研究フェローOBを中心とした欧州域内日本研究者による合宿形式のセミナー。アルザス欧州日本学研究所(CEEJA)との共催。今年度のテーマは「江戸」。 |
| 4 | 日・アラブ会議 | エジプト | | 07.11.20～ 07.11.21 | アラブ諸国20カ国以上から200～300人、日本から100人ほどの参加者が一同に会する日・アラブ会議（アレキサンドリア図書館主催）に参加。国際交流基金は、四つの分科会（政治、経済、文化、科学・環境）のうち、文化・社会分科会「日本とアラブの文化・社会相互認識－グローバル化の中の普遍性と固有性－」を担当し、日本よりパネリストとして、青木保（文化庁長官）、道傳愛子（NHK解説委員）、足羽與志子（一橋大教授）、佐野洋子（セント・ジョセフ大学）学術交流日本センター副所長／レバノン）、及び小倉和夫（国際交流基金理事長）を派遣。 |
| 5 | 民主主義の諸相 | ドイツ | ベルリン日独センター | 07.11.27～ 07.11.28 | 「21世紀の市民社会にどのような形の民主主義が必要であるか」を検討するため、3つのセッションのうち「公共哲学としての民主主義」では思想的問題について、「市民社会」、「メディア」では現実的問題についてパネリストが討議するシンポジウム。 |
| 6 | トルコ・イスラ エルとの対話事 業フォローアップ | トルコ イスラエル パレスチナ | | 08.02.01～ 08.03.31 | 2007年6月3日～9日に実施したトルコ・イスラエル・パレスチナにおける「日本・中東知的対話」のフォローアップ事業として、概要および背景論文を掲載した報告書を作成。 |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 事業名 | 国 | 共催・協力機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------------------|-------------------------|----------|-----------------------|---|
| 7 | 講演会「ヨーロッパ人という感覚－現状、文化、芸術の役割」 | | | 08.03.14 | ヨーロッパにおける、国境を越える人々の移動が促す個人・国民・国家のアイデンティティの新しい様相について、IETM/国際現代舞台芸術ネットワーク事務局長で、欧州委員会より欧州における労働者のモビリティ賞（2006年）を受賞したマリー＝アン・ドゥヴリーグ氏が、主に芸術家や芸術に携わる人々の例をひきつつ、講演。 |
| 8 | 中東巡回知的交流セミナー | オマーン カタール サウジアラビア | | 08.03.27～ 08.04.04 | 「日本・中東間知的対話～『現代世界で女性が働くこと』をめぐって～」をテーマに、湾岸各国の関心層（研究者、ビジネスマン、学生）を対象とし、日本の労働問題・家族政策・男女共同参画・少子化対策をテーマとする研究者・実務家各一名、および中東の女性問題に詳しい研究者一名が日本から参加し、一般向けのセミナーを開催。 |
| 9 | Family and Work - 家庭と仕事を支える政策実現に向けて | ドイツ | アデナウアー財団 | 08.03.25～ 08.03.26 | 日、ドイツ両国の専門家が集まり、家庭と仕事をテーマにしたワークショップとシンポジウムを実施。 |

催し等事業費 (2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 49,640,504 円

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------------|-----------------|----|-----------------------|--|
| 1 | グローバルゼーションの中の日中関係：開発戦略と経済関係 | 日仏会館財団法人フランス事務所 | 日本 | 07.05.26～ 07.05.27 | 日本、中国、米国、欧州からの研究者を招へいし5月26日～27日の2日間にわたる国際シンポジウムを東京日仏会館にて開催。中国と日本というアジアにおける2つの経済大国の発展について比較検証。日中の開発戦略の比較、中国、日本経済それぞれの特徴について分析、それに続き日中両国の経済的な関係を議論し、最終日は「アジアにおける経済ヒエラルキーの変化と国際的な影響について」というテーマでラウンドテーブルを開催。 |
| 2 | 国際シンポジウム「宗教多元主義と対話の課題－西洋・中東・日本」 | 南山大学宗教文化研究所 | 日本 | 07.04.01～ 07.06.30 | 西欧と日本が共有してきた宗教学・宗教社会的な宗教多元主義の理解と、中東地域における宗教多元主義の可能性についての展望を共有し、中東地域における多元主義の立場に立った宗教間、文明間の対話の可能性を模索するための国際会議及びシンポジウムで、宗教学の分野で国際的に活躍する研究者及び若手研究者が集い討論を実施。 |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|---|----------------------|-------|-----------------------|--|
| 3 | 未来につながる歴史と経験：ロシアとその近隣諸国との関係 | エストニア外交政策研究会 | エストニア | 07.04.05～ 07.06.12 | 日本、エストニア、ラトビア、リトアニア、フィンランド、ノルウェーを対象として、それぞれの国が、隣国であるロシアといかなる政治・外交関係を築いてきたかを、特に国境問題に焦点を当てて議論。各国の歴史や立場を報告し合うことで、相互の経験から学びあい、この問題に関する一般の関心を高めると共に、参加者同士のネットワークを構築することも目指す。 |
| 4 | 国際会議&シンポジウム「2008年G8サミットに向けて日本の市民社会ができること」 | 特定非営利活動法人国際協力NGOセンター | 日本 | 07.07.01～ 07.12.31 | 2008年に行われるG8サミットに向けて、日本のNGOがミレニアム開発目標（MDGs）に関し、どのような提言活動や啓発活動ができるかを議論する会議を開催。 |
| 5 | 日・黒海地域対話「激動する世界における日本と黒海地域」 | グローバル・フォーラム | 日本 | 07.11.21 | 「激動する世界における日本と黒海地域」をテーマに、同地域諸国の政策担当者、EU委員会、同地域を専門とする日本の研究者等の参加のもと、欧州、中東、中央アジアに接し、エネルギー回廊として、また国際安全保障の観点からも戦略的重要性を有する黒海地域の情勢と関係諸大国の動向、同地域の戦略的重要性、同地域発展のための日本の展望などについて議論を実施。 |
| 6 | 知の統合プロジェクト 2007年 アート&サイエンス・フェスティバル | 財団法人 国際文化交流推進協会 | 日本 | 07.09.01～ 08.01.31 | 2006年度に開催した「次世代文化フォーラム：アート・テクノロジー・サイエンスの領域を越えて」を次の段階へと発展させるために今回のフェスティバルを開催。テーマは脳科学。 |
| 7 | エチオピア歴史遺産会議2007 | エチオピア歴史遺産会議2007実行委員会 | 日本 | 07.04.12～ 07.04.13 | アフリカ、特にエチオピアの歴史遺産保護問題を中心とする会議。主に3つのセクションに分かれている。1.「エチオピアの文化遺産」：多国の専門家は歴史遺産の価値について議論する。2.「歴史都市と持続的開発」：都市計画のあり方について議論する。3.「遺産保護のための社会教育とガバナンス」：専門家育成、社会教育、社会計画について議論。 |
| 8 | 外国人労働者－人口動態変化とグローバル化 | ドイツ－日本研究所 | 日本 | 07.10.23～ 07.10.24 | 少子高齢化に伴う労働人口の減少と、それを補うための労働移民について、政策及び移民受け入れの法的な側面について日・独両国の状況を比較・検証し討議。10月23日～24日の2日間、東京にて国際シンポジウムを開催。現在の政治経済的状况を包括的に捉えるため、研究者のみならず政策関係者、また草の根レベルで移民受入に携わるNPO、NGO関係者等を交え議論。 |

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|---------------------------|----------|-----------------------|--|
| 9 | ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流 2006-2007 | ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流委員会 | 日本 | 07.04.01～ 07.07.31 | 2001年に開始された「日本・ヨーロッパ建築の新潮流」を拡大させた企画である。欧州、日本にアジア諸国からの若手建築家を参加させ、住居、公共建築、都市計画などの複数分野でのシンポジウム、ワークショップ、国内の大学での講義、展示会を実施。 |
| 10 | 2007日ロ友好フォーラム | 日本・ロシア協会（全国組織） | 日本 | 07.10.05～ 07.10.10 | 2006年10月、日ロ国交回復50周年を記念して、モスクワにて日ロ友好フォーラムが開催されたが、その際、更なる日ロ友好の発展を図るため、このフォーラムを今後も継続して行うことがロシア側の主催団体であるロシア21世紀委員会との間で合意された。今年度の会議は「両国関係の新地平を拓くために」と題し、政治、経済、文化などの幅広い分野について議論。 |
| 11 | 第5回日ロ学術・報道関係者会議 | 日本対外文化協会 | 日本 | 07.09.18～ 07.09.22 | 2003年より実施されてきた会議の5回目。従来は、「北東アジアの発展と安定」を総合テーマとして、日ロの学者・ジャーナリストが意見交換を行ってきたが、北朝鮮や中東の情勢、中国やインドの台頭といった新たな国際状況に対応したより広い視座にて議論を実現するため、今年度は「ユーラシアの新秩序を模索する」とメインテーマとして秋にモスクワで会議を開催。 |
| 12 | デジタルメディアの社会理論 次世代社会構想のための世界会議 | 国際メディア理論会議 (UMAT)実行委員会 | 日本 | 07.04.13～ 07.09.30 | 今日激変しているメディアの世界を説明する従来のメディア理論はもはや適切ではなく、新しい理論的枠組みが求められている。その新しいパラダイムを世界に宣言するために国際会議を開催。多国の研究者の議論を通し、新しい理論的モデルを構想する。4日間にいくつかの基調講演、また多種多様なミニ・セッションを同時に開催。 |
| 13 | シーボルトコレクション会議 | ライデン民族学博物館 | オランダ | 07.07.25～ 07.07.27 | シーボルトハウスの関係3博物館所蔵コレクションを江戸期の文化史理解の増進に役立てるべく、その活用法につき日蘭の研究者が討議する3日間の国際会議。 |
| 14 | 国際シンポジウム「グローバリゼーションを背景とした歴史教育における我々の他者に対するイメージ」 | 欧州評議会 | 欧州地域区分困難 | 08.03.27～ 08.03.28 | 欧州評議会における3年計画のプロジェクト。歴史教育における他者のイメージを検証。多文化社会において歴史をどう学ぶか、和解、相互理解やステレオタイプ克服、信頼回復のために異なる歴史を学ぶということについて議論。欧州評議会本部（ストラスブール）にて2008年3月の2日間国際シンポジウムを開催。 |
| 15 | 21世紀のロシアと日本社会における行政：伝統と改革 | モスクワ国立大学 | ロシア | 07.05.31～ 07.06.02 | 高齢化や障害者のための医療、社会保障の問題等、ロシアと日本が共通して直面する社会的な問題について、3日間の会議の中で両国の経験や立場を共有し、今後のロシアの社会政策に関する提言を策定。 |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------------|---------------------------------|-------|-----------------------|--|
| 16 | 日欧の忘れ去られた地域 | ベルリン日独センター | ドイツ | 07.09.19～ 07.09.21 | 地方の空洞化が著しい日欧で、過疎化した地域の公共サービスの低下、経済の停滞等の問題を、政治的・文化的背景を日独で検証する。2007年秋にベルリンにて国際シンポジウムを開催。 |
| 17 | 『文明間対話』からグローバルな対話文化へ | ベルリン日独センター | ドイツ | 07.12.03～ 07.12.04 | 文明間の衝突に日欧が共有できる政策的アプローチを探る。日本のイラクにおける経験や、ドイツのボスニア・ヘルツェゴビナにおける経験をふまえて、東南アジアや中東地域でおきている紛争に、今後日本とヨーロッパがどのように協力することができるか討議。東京で国際シンポジウムを開催。 |
| 18 | 日本人ディアスポラと日本におけるディアスポラ | デュッセルドルフ大学 | ドイツ | 07.10.03～ 07.10.07 | 従来、世界的視野で研究されることのなかった「日本人移民(日本人ディアスポラ)と在日外国人(日本のディアスポラ)」について、文化人類学、社会学、文学等、異なる分野の専門家が一同に会する会議。 |
| 19 | 日本の変貌 1900-2000 -文明の進化と革新を目指して- | ヤギェウォ大学 | ポーランド | 07.10.24～ 07.10.28 | ポーランド国内において日本学科を有する3大学のうちの2つ、ヤギェウォ大学及びアダム・ミツキェヴィッチ大学が2007年に日本学科創設20周年を迎えることを記念し、両大学が共同して実施する日本研究国際会議。2大学の他、日本美術技術センターやポーランド日本学研究会も参加予定で、欧米の日本研究者及び日本人研究者も一堂に会し、20世紀以降の現代日本の文化・歴史事象に関する研究発表を実施。 |
| 20 | 日本およびノルウェーにおける高齢者介護 | ノルウェー科学技術大学 | ノルウェー | 07.09.20～ 07.09.21 | 高齢化に伴い、社会福祉制度の改善が必要になる。本会議は日本とノルウェーと比較するためのものであり、各国の福祉モデルの長短を照らし合わせて検討。 |
| 21 | 海外日本研究司書のための古書資料ワークショップ | ジャパン・ライブラリー・グループ 天理ワークショップ準備委員会 | 英国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 欧州、北米において和漢古書資料の目録作成・管理ができる人材を育成することを目的として、日本研究専門司書を対象にした6日間のワークショップを天理大学附属天理図書館の協力で実施。 |
| 22 | ASKプロジェクト | センサリー・トラスト | 英国 | 07.06.20～ 07.06.22 | 日英両国での共通課題である健常児、障害児がともに快適に遊ぶことのできる公的な野外遊びの環境づくりとマネジメントについて、日英両国で実際に青少年から聞き取り調査を行い、また成功している施設を見学した上で、東京とロンドンで会議を開催。 |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 事業名 | 助成機関 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|------------------------|--------|-----------------------|---|
| 23 | 第7回 IIASA-DPRI総合的リスクマネジメント会議 「災害への対処：21世紀の課題」 | 国際応用システム研究所 (IIASA) | オーストリア | 07.09.19～ 07.09.21 | ウィーンに拠点を置き、環境、経済、技術、及び社会問題を学際的に研究する研究所であるIIASAが、京都大防災研究所と協力して開催する会議。急速な人口増加、都市化、温暖化といった課題に直面する現代社会において、いかに災害のリスクを予防し、かつその影響を軽減するかという問題について、技術的側面のみならず社会工学、また公共政策といった観点から議論。 |
| 24 | セッション445 国際金融システムの課題：通貨、機関、ルールの不均衡是正 | ザルツブルグセミナー | オーストリア | 07.09.29～ 07.10.03 | 国際通貨システムをテーマとして、同分野で将来を担うことが期待される若手(各国50～60名)をフェローとして招へい。ファカルティとして各界のオピニオン・リーダーを講師に一週間寝食をともにしつつ議論を交わし、国際協調と課題解決に向けての方策を探るセミナー。29日～10月3日ザルツブルグにて開催。 |
| 25 | 日本と欧州連合～進展を続ける戦略的パートナーシップ | 欧州研究所(ブリュッセル自由大学) | ベルギー | 07.11.19～ 07.11.20 | 11月19日～20日に、ブリュッセルにおいて、日EUの戦略的パートナーシップの協会に資するため、日欧の有識者・学識経験者等によるセミナーを実施。安全保障、経済、文化のセッションに分かれて、日本とEUのパートナーシップ強化のための議論を展開。 |
| 26 | 日仏源氏物語研究パリ国際シンポジウム「源氏物語の場面、語り、時間－不透明性を核として－」 | フランス国立東洋言語文化大学 | フランス | 08.03.27～ 08.03.29 | 源氏物語の場面、語り、時間という、文学作品の基本構造を構成するテーマを柱として、日本の専門家5名と、同数のフランス側の研究者とで、討議を重視する2日間のシンポジウムを開催。3月27日～29日、東洋言語文化大学(INALCO)及びコレージュ・ド・フランスにて開催。 |
| 27 | ベン-アミ・シロニー教授退官記念日本研究国際会議 | エルサレム・ヘブライ大学東洋学部 | イスラエル | 07.04.29～ 07.05.02 | 長年イスラエルにおける日本研究を牽引してきたシロニー教授の退官記念として、イスラエルだけでなく欧州の日本研究者及び日本人研究者が集う、中東においては比較的大規模な会議。シロニー教授の研究分野に即した3つのテーマが設定されており、研究成果発表及び研究者間のネットワーク強化を目的としている。 |

文化資料事業費 (1) 図書寄贈(欧州・中東・アフリカ)

海外の日本研究・教育機関の図書館及び大規模公共図書館に対し、日本関係図書を寄贈する。

合計額 20,675,656 円

| | 国 | 機関 | 部数 |
|---|----|--|---------------|
| 1 | 英国 | オックスフォード大学ボドレイアン図書館 大英図書館 バーミンガム大学 | 3 22 49 |

欧州中東アフリカ交流事業費

| | 国 | 機関 | 部数 |
|----|----------|------------------------|----|
| 2 | イタリア | ナポリ国立大学「オリエンターレ」 | 99 |
| | | ローマ大学 "ラ・サピエンツァ"東洋研究学部 | 31 |
| 3 | オーストリア | ウィーン大学 | 26 |
| 4 | スイス | サン・ガレン大学 | 15 |
| 5 | スウェーデン | ストックホルム大学図書館付属アジア図書館 | 55 |
| 6 | スペイン | マドリード自治大学東アジア研究センター | 94 |
| | | バルセロナ国立自治大学翻訳通訳校 | 45 |
| 7 | デンマーク | コペンハーゲン大学アジア研究学科 | 74 |
| 8 | ドイツ | エアランゲン・ニュルンベルグ大学 | 9 |
| | | デュースブルク・エッセン大学 | 54 |
| | | チュービンゲン大学日本学科 | 26 |
| | | トリアー大学日本学科 | 4 |
| | | ハンブルグ大学日本学科 | 23 |
| | | マルティン・ルター大学 | 40 |
| 9 | ノルウェー | オスロ大学図書館 | 52 |
| 10 | フランス | フランス国立社会科学高等研究院 | 35 |
| | | リヨン第3大学 | 44 |
| | | トゥルーズ・ル・ミライユ大学 | 28 |
| | | プロヴァンス大学 | 25 |
| 11 | ポルトガル | ポルトガル・カトリック大学 | 20 |
| 12 | ルクセンブルク | ルクセンブルク国立図書館 | 22 |
| 13 | アゼルバイジャン | バクー国立大学 | 33 |
| | | トビリシ国立大学 | 71 |
| 14 | ウクライナ | タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学 | 34 |
| 15 | エストニア | タリン大学エストニア人文大学 | 53 |
| 16 | カザフスタン | カザフスタン共和国大統領文化センター図書館 | 62 |
| | | カザフ国立図書館 | 14 |
| 17 | キルギス | ビシュケク人文大学 | 31 |
| 18 | チェコ | パラツキー大学哲学部 | 4 |
| 19 | ハンガリー | コドラーニ・ヤーノシュ大学 | 62 |
| | | パーズマーニ・ベートル大学 | 18 |
| 20 | ブルガリア | ソフィア大学東洋語文化センター | 90 |
| 21 | ベラルーシ | ベラルーシ国立図書館 | 23 |

| | 国 | 機関 | 部数 |
|----|--------------|--|----------------------------------|
| 22 | ポーランド | アダム・ミツキェヴィチ大学言語学科 ヤギェウォ大学東洋学研究所 | 65 21 |
| 23 | ボスニア・ヘルツェゴビナ | ボスニア・ヘルツェゴビナ大学図書館 | 42 |
| 24 | ラトビア | ラトビア大学現代言語学部 | 76 |
| 25 | ルーマニア | デイミトリエ・カンテミール キリスト教大学 バベシュ・ボヤイ大学文学部言語学科 | 34 33 |
| 26 | ロシア | ロシア科学アカデミー サンクトペテルブルク サハリン国立総合大学 ロシア国立人文大学 極東国立海洋アカデミー東洋語学科 ブリヤート国立図書館 ニージニ・ノブゴロド言語大学 | 33 73 89 19 30 41 |
| 27 | イスラエル | テルアビブ大学人文学部東アジア研究学科 ハイファ大学 | 85 16 |
| 28 | イラン | アッラーメ・タバータバーイー大学 | 62 |
| 29 | カタール | カタール大学図書館 | 47 |
| 30 | チュニジア | チュニス・エル・マナール大学 | 61 |
| 31 | トルコ | ボアジチ大学 エルジェス大学文理学部日本語日本文学科 | 15 71 |
| 32 | ジンバブエ | ジンバブエ・カトリック大学 | 41 |
| 33 | スワジランド | スワジランド大学 | 100 |
| 34 | タンザニア | タンザニア外交研究所 | 61 |
| 35 | マダガスカル | アンタナナリボ大学図書館 | 20 |
| 36 | 南アフリカ | ケープタウン大学 | 61 |

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米知的交流推進費

1. 人物交流事業費

(1) 安倍フェローシップ

2. 催し等事業費

(1) 知的交流支援（助成）

(2) 知的交流支援（助成）：ニューヨーク日米センター小規模助成

(3) 知的交流支援（主催）

(4) 知的交流支援（主催）：ニューヨーク日米センター企画開発事業

人物交流事業費 (1) 安倍フェローシップ

社会科学・人文科学の分野における質の高い政策研究を促進し、日米の専門家間の新しい協働関係とネットワーク形成を推進するため、学術研究者、各分野の専門家に対しフェローシップを供与する。

合計額 210,823,699 円

| | 氏名 | 現職 | テーマ |
|----|------------|-------------------|--|
| 1 | ヴィノッド・アガワル | カリフォルニア大学バークレー校 | 「アジア太平洋地域における新貿易構造体の可能性」 |
| 2 | 船橋 恵子 | 静岡大学 | 「家族政策のジェンダー効果：アメリカ、スウェーデン、フランス、日本の比較研究」 |
| 3 | トム・ギンズバーグ | イリノイ大学ウルバナ・シャンパン校 | 「北東アジアにおける法制改革の政治」 |
| 4 | ジャック・ハイマンズ | スミス大学 | 「非核国クラブの形成と継続：理論的・実証的分析」 |
| 5 | 岩澤 美帆 | 国立人口問題・社会保障研究所 | 「非婚化する日米社会のゆくえ：晩婚、離婚、婚外出生と母子のウェルビーイング」 |
| 6 | 川西 結子 | 東京学芸大学 | 「アメリカ社会における中年期うつ病への支援対策、社会的介入の実態と日本への教訓」 |
| 7 | 近藤 尚己 | 山梨大学 | 「社会格差が健康に及ぼす影響：産業国におけるそのインパクトとメカニズムに関する日米間比較」 |
| 8 | バラク・クシュナー | ケンブリッジ大学 | 「東アジアの冷戦プロパガンダと歴史的記憶」 |
| 9 | 直井 恵 | カリフォルニア大学サンディエゴ校 | 「消費者動員の政治学：グローバル経済下の食の安全を巡る政治過程」 |
| 10 | 岡垣 知子 | 防衛研究所 | 「日米同盟の安定要因とその変遷：異なる分析レベルによる考察」 |
| 11 | 岡野 衛士 | 千葉経済大学 | 「ツインデフィシットとツインダイバージェンスが混在する経済での最適な金融・財政ポリシーミックス」 |
| 12 | キム・レイマン | ジョージア州立大学 | 「東アジアにおけるNGO、国境を越えるネットワークと地域ガバナンス」 |
| 13 | アピチェ・シッパー | 南カリフォルニア大学 | 「日、米、スウェーデンにおける入国管理政策」 |
| 14 | ロドニー・スミス | ミネソタ大学 | 「越境の経済学：国境を越える水資源紛争と経済成長との連関」 |

日米知的交流推進費

催し等事業費 (1)知的交流支援 (助成)

日米両国の研究機関、大学等が行う政策指向の共同研究や、セミナー、シンポジウム等の知的対話を支援する。
合計額 113,500,420 円

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---|------------------|-----------------------|--|
| 1 | 東西センター「21世紀アジアにおける核兵器と安全保障」(3年目) | 東西センター | 07.04.01～ 09.06.30 | ポスト冷戦期のアジア地域主要国の核政策・核戦略および地域のパワーバランスに関する、包括的・体系的な共同研究。アジアの核拡散防止のための基礎的知見を提供するとともに、アジアの核問題の若手専門家育成を目的として日米で3回のワークショップを実施 |
| 2 | 沖縄平和協力センターOPAC「米軍再編後の沖縄」(2年目) | (特非) 沖縄平和協力センター | 07.04.01～ 08.03.31 | 米国によるグローバルな米軍再編の時期に、日米安全保障協力の新たなあり方とは何か、日米の研究者が展望を見据え検討するため、ワシントンDC、東京にてセミナーを開催。成果は和英報告書にまとめて出版。助成成果物：『米軍再編のネクストステージ～負担軽減を実現するために～』 |
| 3 | タフツ大学フレックチャースクール外交政策分析研究所IFPA「危機に面して」(2年目) | タフツ大学 | 07.04.01～ 07.12.31 | 災害など危機の際により適格かつ迅速な対応のために、民間と軍の協力のあり方を模索する日米共同研究事業。2年目は1年目のリサーチ等を踏まえ、NGO、政府関係者、国連機関関係者を含む公開シンポジウムを開催。リサーチペーパーをまとめて刊行し、成果を普及 |
| 4 | ペンシルバニア大学「ワクチンに関するグローバルな課題：法的、倫理的問題」(2年目) | ペンシルバニア大学 | 07.04.01～ 08.06.30 | 倫理的・法的側面から、ワクチン政策を国際的に比較検証し、ワクチン研究の基盤を作る。2年のうちに3回、それぞれ米国、日本、ヨーロッパにおいて、専門家、科学者、政策担当者等を招へいし会議を開催。成果は、学会誌、ニュース、ウェブを活用して普及。なお、大学生・大学院生を対象にした、ワクチン政策についてのモデル・カリキュラムも作成 |
| 5 | 戦略国際問題研究所CSIS「インドの東アジア地域における台頭と日米関係に対する影響」(2年目) | 戦略国際問題研究所(CSIS) | 07.04.01～ 08.03.31 | エネルギー、核不拡散、人権等、国際領域上の共通利益に関する日米印間の協力可能性を包括的に検証するための会議を米国及び東京にて開催。3カ国の政財学界から有識者に加えて、米国の若手研究者が参加 |
| 6 | 吉備国際大学「ドメスティックバイオレンス克服に向けた共感の促進」(2年目) | 吉備国際大学 | 06.11.01～ 08.10.31 | 最新のドメスティックバイオレンス(DV)問題の実態と救済への対応策の整備状況及び問題点、DV問題についての理解と社会問題としての認識を阻害する要因について、学際的な研究チームの日米協働を通じて多角的に検証。1年目はセミナーの開催、米国での調査・視察。2年目はセミナー及び公開シンポジウムを開催。また、書籍の翻訳出版を行う他、メディアを通じた情報発信、小冊子配布による意識啓発を実施 |
| 7 | 日米アーカイブセミナー「歴史資料へのアクセス：日本の経験、アメリカの経験」 | 日米アーカイブセミナー実行委員会 | 07.04.01～ 07.09.30 | 市民社会において重要な役割を担う資料保存(アーカイブ)について、市民アクセスの観点から日米の比較と問題点の洗い出しを行なうことによって、経験および問題意識を共有し、日米の資料保存のあるべき姿を考察する。2007年5月に東京で専門家会議と公開フォーラムを開催。成果は、会議録と提言を報告書として和英両方で刊行 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|-----------------------|-----------------------|--|
| 8 | 日中関係史研究会「清末民国初期の日中関係史、1894～1931年－協力と対立の時代」 | 日中関係史研究会 | 07.04.01～ 08.02.29 | 日中戦争を主題に日・米・中・台の研究者による過去の学術共同研究に基づき、日清戦争から満州事変までの日中関係史を、協力・競存・対立の三つの局面において考察する国際会議。米国との共同作業を通じて、歴史研究の客観性を確保し、将来の安定した国際関係の基礎構築を目的とする。各国・地域で組織委員会を組織し、参加者を選考。2007年11月に東京大学にて市民向け公開講演会を併せて実施 |
| 9 | 難民支援協会「難民支援に関する日米NPOの経験交流とネットワーク構築」 | 特定非営利活動法人 難民支援協会 | 07.04.01～ 08.03.31 | 難民支援に関する日米NPOの経験交流の範囲を定住支援のノウハウとその実践に絞って掘り下げ、実務レベルの教訓や秘訣を抽出し、日米の地域行政に適用可能な具体的提言を導き出すことを目的とし、実施。また米国における研修（経験交流）、調査（専門機関との意見交換）、そして2007年10月に東京にて開催されたシンポジウムを通じ、難民の状況や支援に取り組むNPOの現場等を多くの人へ発信 |
| 10 | 日米平和・文化交流協会「第13回日米安全保障専門議員交流訪米」 | 社団法人 日米平和・文化交流協会 | 07.04.01～ 07.06.30 | 安全保障問題を専門とする日本の国会議員等の有識者が2007年5月に訪米し、米国の安全保障政策関係者（政府、議会、シンクタンク）と討議、意見交換、視察を行うことにより、日米の安全保障政策関係者のネットワーク強化事業を実施 |
| 11 | 北東アジア限定的非核兵器地帯構想日本委員会「北東アジア地域における限定的非核兵器地帯構想第11回拡大上級者会議開催」 | 北東アジア限定的非核兵器地帯構想日本委員会 | 07.04.01～ 08.03.31 | 北東アジアにおける核不拡散の実現を目的とし、日本、米国、中国、ロシア、韓国、北朝鮮、モンゴルの7カ国を中心とする対話を実施。過去10回にわたって行ってきた討議を発展させ、米国ジョージア工科大学（CISTP）と共催で、東京にて国際会議を開催。各国における核軍縮・軍備管理の現状と変化を報告・検討し、構想実現に向け一層の信頼醸成と具体策を討議 |
| 12 | 平和安全保障研究所（RIPS）「21世紀における日米中間の安全保障協力を求めて」 | （財）平和・安全保障研究所 | 07.04.01～ 08.03.31 | 21世紀の日米中の安全保障協力を目指し、対話の深化と共通の目的の具体化を行なう事業。東京にて日米中を中心とする研究者・実務家等専門家を集めた国際会議を開催 |
| 13 | アメリカン大学「競合する地域主義：東アジアFTA交渉の戦略的原動力」 | アメリカン大学 | 07.09.01～ 08.08.31 | 東アジアにおいて競争的なFTAネットワークが構築されている背景、戦略やダイナミクスを探ることを目的とした研究事業。専門家による研究チームが、米国および日本で各1回ずつの国際会議を開催。最終成果物は、研究者および政策関係者に資するよう編著の書物として刊行 |
| 14 | ミシガン大学老年医学センター「認知症患者と介護者へのケアの質的向上：日米草の根交流ネットワーク構築」(1年目) | ミシガン大学老年医学センター | 07.04.01～ 08.09.30 | 認知症患者と介護者をめぐる環境の改善を目指し、日米の介護関係者が知見を交換し、認知症ケアに関する日米草の根パートナーシップを構築する18ヶ月間プロジェクト。2007年8月に1週間、米国（アン・アーバー）に日米の専門家・実務者が集い、認知症政策に関する情報交換会を実施。 |

日米知的交流推進費

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|---------------------|-----------------------|---|
| 15 | ミシシッピ州立大学 CISS「アジアエネルギー安全保障会議」 | ミシシッピ州立大学 (CISS) | 07.04.01～ 08.03.31 | アジア太平洋地域における海上輸送の安全性に関し、関係諸国間での協力体制増強を狙った「トラックⅡ」対話プロジェクト。10月にミシシッピ州にて、各国の海上安全保障の専門家、研究者、実務者が集い、会議を開催。会議成果はCDデータおよび冊子として配布 |
| 16 | チューレン大学「災害からの教訓と共存：都市とコミュニティの緊急時への備え、回復、持続性に関する米日対話」 | チューレン大学 | 07.09.01～ 09.02.28 | ニューオリンズや神戸等の都市が経験した壊滅的な都市災害に関して、被災経験を有する現地の研究者等が中心となって学際的な分析研究の強化を行ない、都市の再生と安定を基本とした災害復興に関するグローバルな枠組みを提案。18年度日米センター主催事業で生まれたネットワークを活用し、日米相互訪問による意見交換等を実施 |
| 17 | ボストン大学「戦争、犯罪、国際政治」：東アジアとヨーロッパにおける政治的、歴史的記憶（ブックプロジェクト） | ボストン大学 | 07.07.01～ 07.12.31 | 東アジアとヨーロッパを事例に、戦後の「公式の歴史認識に関する見解」がどのように形作られ、それが国際的なインパクトを持つに至ったかを比較研究。両地域で歴史認識を巡る「紛争」を引き起こした国内的・国際的要因を解きほぐし、問題を現実的にマネジメントするための教訓を導いた |
| 18 | (小規模助成) 日本安全保障貿易学会 「安全保障貿易管理日米ミニワークショップ」 | 日本安全保障貿易学会 | 07.11.07～ 07.11.11 | 大量破壊兵器製造に応用しうる技術や製品の管理について、技術者・実務家・研究者があるべき指針策定を行なう検討会議を実施。その成果を、米国の同様の関係者向けに普及させるワークショップを米国にて開催。助成成果物：『Security Trade Control in Asia: Searching for a Regional Framework』 |
| 19 | 平和・安全保障研究所「安全保障研究奨学プログラム」 | 平和・安全保障研究所 | 07.04.02～ 08.03.31 | 国際安全保障問題について、将来、中核的な役割を担う若手研究者を養成し、米国での研修、国際的貢献及びわが国の平和・安全に寄与することを目的として実施。2年間にわたって活動する奨学研究生を公募の上選抜し、米国での研修、定例セミナーの実施、有識者との意見交換・ネットワーク構築等を行い、研究論文を発表 |
| 20 | 日本-日系人交流：同窓会会議 | 全米日系人博物館 | 07.08.23～ 07.08.25 | 日米センターと外務省が共催する「日系アメリカ人リーダー訪日招へいプログラム」のフォローアップ事業の一環。過去の被招へい者および関係者が一同に会し、プログラムのレビューおよび今後の日系人と日本との連携強化に向けて、具体的かつ実質的な討議を行う同窓会会議をハワイで開催。日米センターは前年度に実施した外部評価結果を受けて会議経費等を助成するとともに討議に参加 |
| 21 | (小規模助成) 国際食と農のシンポジウム | 農政ジャーナリストの会 | 07.09.17～ 07.09.23 | 仙台市において、「世界のメディアの農業報道」「WTO農業交渉」「穀物のエネルギー需要の急増と食料需給」「日米の農業・畜産貿易の拡大」「環境問題」をテーマに取り上げ、シンポジウムを開催。フランス・フィシユラー前欧州委員及び日米双方の農政ジャーナリスト、農業関係者をパネリストとして議論を実施 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------------|-------------------|-----------------------|--|
| 22 | (小規模助成) 第2回日米大使東京フォーラム | 社団法人日米協会 | 07.09.26 | 日米協会創立90周年及びNYジャパン・ソサエティ創立100周年の記念事業。日米両国の現職、前職の大使を招き日米関係の現状、東アジア地域の安全保障への期待、国際社会における両国の役割、テロ撲滅への努力、文化交流・市民交流の促進など率直な討論を実施 |
| 23 | (小規模助成) 第4回日米中トライラテラル会議 | 財団法人日本国際交流センター | 07.12.01～ 08.01.31 | 日米中関係の再検討が必要であるとして2005年春より開催され、第4回となる本件会議では、北東アジアの安全保障状況に関する意見交換及び三カ国の政府間協議機構の設立構想の提案準備を目的とする各国の代表的な専門家やオピニオン・リーダーによる討論を実施 |
| 24 | (小規模助成) 地球温暖化防止と低炭素・循環型共生社会への道 | 社団法人 先端技術産業戦略推進機構 | 08.03.05～ 08.04.07 | 2008年7月開催のG8洞爺湖サミットにおいて温暖化防止が主要テーマの一つとなる機会をとらえ、日米中の有識者等が集まり、低炭素、化石燃料依存からの脱却、循環経済型共生社会をいかに構築するかについての基調講演及びパネル・ディスカッションを開催。200名の聴衆が参加し、まとめられた提言書を4月10日に福田康夫内閣総理大臣に提出 |

催し等事業費 (2) 知的交流支援 (助成) : ニューヨーク日米センター小規模助成

日米両国の研究機関、大学等が行う政策指向の共同研究や、セミナー、シンポジウム等の知的対話を支援する。
合計額 9,954,800円

| | 団体名 | 事業名 | 期間 | 事業概要 |
|---|-------------------------------|---------------------------------------|-----------------------|---|
| 1 | アメリカン・エンタープライズ・インスティテュート(AEI) | アジア2012: 鍵となる外交政策 | 07.10.01～ 07.12.31 | 中国、インドの興隆が、アジア太平洋地域における中長期的なダイナミズムに及ぼす影響を与えるか、域内経済成長の持続可能性や、地域機構のあり方なども含めて事業を実施 |
| 2 | ブルッキングス研究所 | 日米関係における知的交流強化のためのアジェンダセッティングラウンドテーブル | 08.01.15～ 08.04.30 | 日米の知的交流を促進するため、双方がどのようなアジェンダに取り組むべきかわ싱턴DCシンクタンク関係者を交えての小規模会議を実施 |
| 3 | CEPEX | 日本の知価経済に関する世界銀行セミナーシリーズ | 07.10.01～ 08.03.31 | 知価経済という側面から日米関係の今後をうかがうシンポジウムを開催 |
| 4 | 外交問題評議会(CFR) | 東アジアにおけるアメリカの挑戦 | 07.10.01～ 07.12.31 | 東京で開催されたシンポジウムに外交問題評議会関係者が出席するための旅費の一部を支援した。シンポジウムでは、アメリカの対東アジア外交政策の今後の方向性に関する議論を開催 |
| 5 | 東西センター | 北東アジアジャーナリスト交流 | 07.04.01～ 07.07.31 | 日本、アメリカ、韓国のジャーナリストが北東アジアに横たわる共通の諸課題について議論する交流プログラムを支援 |

日米知的交流推進費

| | 団体名 | 事業名 | 期間 | 事業概要 |
|----|-----------------------|------------------------------|-----------------------|---|
| 6 | ジョンズホプキンス大学 | レオ・シュトラウスと米国の中東政策 | 07.11.01～ 07.12.31 | 池内恵国際日本文化研究センター准教授を客員研究員に迎えたジョンズホプキンス大学において、米国の中東政策に対するシュトラウス学派の政治哲学の影響を検証するセミナーを開催 |
| 7 | マンスフィールド財団 | 戦略パートナーシップの構築：新アジア時代における日印関係 | 07.07.01～ 07.10.31 | 日米印の政財学各界の知的リーダーが、地域の安全保障、国際経済分野の戦略問題について議論 |
| 8 | 全米日米協会連合 (NAJAS) | 21世紀における日米関係 | 07.10.01～ 08.03.31 | NAJAS設立30周年を記念しつつ、ダイナミズムを増すアジア、グローバルコミュニティにおける日米関係の重要性について、様々な角度から議論するセミナーシリーズを支援 |
| 9 | 全米日系アメリカ人歴史協会 (NJAHS) | 日系人女性のレガシー：過去・現在・未来 | 08.01.01～ 08.05.31 | 日米関係の中で、日系アメリカ人女性が果たしてきた役割について、様々な角度から議論を行い、併せて公開セミナーを開催 |
| 10 | ミズーリ大学セントルイス校 | 日米中における起業家に関する比較会議 | 07.04.01～ 07.07.31 | 日本、アメリカ、中国の起業に対する事例研究を通じた国際間比較研究の会議を支援 |

催し等事業費 (3) 知的交流支援 (主催)

日米間の知的交流を推進するために、セミナー・シンポジウム等を開催する。

合計額 71,674,264 円

| | 事業名 | 共催・協力団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------------|---------|-----------------------|---|
| 1 | 米国若手指導者ネットワークプログラム (2回目) | 外務省 | 07.04.01～ 08.03.31 | 2007年10月末～11月初旬の8日間、米国の30-40代の有力パブリック・インテレクチュアル6名を日本に招へいし、各界リーダーとの意見交換、ネットワーク形成の機会を付与。最新の日本社会の動向に関する情報提供や日本を深く知るためのレクチャーほか、文化・歴史に関する視察等も実施。期間中、公開シンポジウムを実施し、日米双方の知的刺激に貢献 |
| 2 | 日本-日系人交流促進プロジェクト | 外務省 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日米相互理解の深化と米国日系人コミュニティとの長期的な関係強化を目的に、多様な分野で活躍する日系米国人14名を3月に1週間程度招聘。外務省との共催により、各界の日本人との対話、歴史文化視察、公開シンポジウムを実施。日系人の世代が進むにつれ、日本との距離が開きつつあるなか、参加者は帰国後も長期的な日米関係強化のための活動に積極的に参加。日系人同士のネットワーク発展にも意欲的 |

| | 事業名 | 共催・協力団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--|--------------------------|-----------------------|---|
| 3 | 日米青年政治指導者交流プログラム | 財団法人 日本国際交流センター | 07.04.01～ 08.03.31 | 日米の若手政治家、政治家秘書、政党スタッフ等、両国の将来の政治指導者となる人材の交流を行ない、政治の分野における日米理解と対話を促進する。超党派による日本人青年政治指導者の米国への派遣並びに米国人青年政治指導者の本邦への招へいを実施。実施期間はいずれも2週間。首都を含む数都市を訪問し、国及び地方レベルにおける政府・議会関係者、経済界、非営利セクターの関係者と日米関係をめぐる課題について意見を交換 |
| 4 | マンスフィールド財団との共催シンポジウム「地球温暖化とわたしたちの未来～CO2削減にむけた日米の貢献：新戦略と次世代技術～」 | モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日米共通の政策課題について研究者と実務家が知見を交換する機会を設けるため、2005年よりマンスフィールド財団と共催してきたシンポジウムの3回目。地球温暖化をテーマとした今回は、安倍・マンスフィールド両フェローに加え産業界や環境工学の専門家を迎え、日米の共通課題である地球温暖化の問題点、その展望及び日米間協力の可能性について討議 |
| 5 | 文化による人間の安全保障に関連する日米協力支援（災害語り継ぎ事業） | | 07.04.01～ 08.03.31 | 「災害語り継ぎ」の語り部たちを日本からニューオーリンズ市に派遣し、被災市民の体験を基礎にした防災と復興の対話を実施。神戸震災の経験と語り継ぎの活動を、ハリケーン・カトリーナの被災地ニューオーリンズの市民に伝え共有するとともに、互いの被災経験、復興経験から学び、国際的な「災害語り継ぎ」ネットワークを確立することが目的。被災者が自身の体験と教訓を語り継ぐことの意義と効果（癒しと記憶）を検証 |
| 6 | ジャパンソサエティ共催-イノベーターズプロジェクト | ジャパン・ソサエティ | 07.04.01～ 09.03.31 | 日米間で国籍・分野・所属団体に関わらず、建設的で独創的な信念に基づいて活動する個人で構成する「革新者（イノベーター）」のネットワーク化を図り、将来の日米交流の人的資産（50名程度の個人よりなるBrain Trust）を構築する。これまでにイノベーターの選定や相互訪問、ウェブサイトの開設、活動報告の出版等と進めてきた総括として、リトリート、公開シンポジウム、その他関連事業を日米両国で実施 |
| 7 | 米国ピーターソン国際経済研究所（PIIE）との共同研究プロジェクト | ピーターソン国際経済研究所 | 07.04.01～ 07.12.31 | 東アジア地域経済圏における地域的レジームの形成を世界経済との関連で考察する2年間の共同研究プロジェクト。米国ピーターソン国際経済研究所（PIIE）との共催で実施している「世界経済の中における東アジア経済地域主義」をテーマとしたプロジェクトの継続。データ分析、フィールドトリップ、セミナー等を実施し、最終研究成果を英語で出版 |
| 8 | 米国の東アジア専門家との対話と日米関係の将来的展望 | 財団法人 日本国際交流センター | 07.04.01～ 08.03.31 | アジア認識に影響力がある日米の東アジア専門家が対話を重ねることで、彼らの理解を増進し、多重多層の人脈形成を図る。非伝統的安全保障、エネルギー・気候変動、金融協力などのテーマ別に日米双方の研究チームを構成して米国でワークショップを開催するとともに、米国のシンクタンク、財団、学界、企業、政界などで活躍する東アジア専門家との対話を実施 |

日米知的交流推進費

| | 事業名 | 共催・協力団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|---------------------|-----------------------|---|
| 9 | 公開セミナー「日米の大学における寄附講座」 | | 07.04.01～ 08.03.31 | アメリカンセンターと共催で公開セミナー「日米の大学における寄附講座～事例に学ぶ～」を実施し、大学の外部資金獲得手段として、また社会と密接に関連した教育サービス提供の方策としての、企業スポンサーの名を付した冠講座について学ぶ機会を大学関係者や外部資金関係業務に携わる実務家に対して提供。国際交流基金国際会議場を提供し、同時通訳雇用費、ブース設置費、広報関係費などを日米センターで負担 |
| 10 | 地域研究と領域研究の融合事業（名古屋アメリカ研究夏季セミナー） | 南山大学 | 07.05.01～ 08.03.31 | 現旧安倍フェローの人的資源の再活用と、地域研究の一分野である日本における米国研究に領域研究の観点を加えるべく、現旧安倍フェローを名古屋アメリカ研究夏季セミナーに派遣するとともに、セミナー開催費の一部を負担 |
| 11 | 安倍フェローシップCGP-SSRCセミナーシリーズ | 米国社会科学硏究評議会 | 07.04.01～ 08.03.31 | 安倍フェローシップ事業の知的交流の成果を促進すること、またフェロー間並びにフェローと外部専門家間とのネットワーク形成を促進することを目的として会議を実施。本年度は、少子化とワーク・ライフ・バランスをテーマとしたワークショップと公開シンポジウムを2007年5月に東京にて、リトリート会議を2008年1月に米国フロリダにて開催 |
| 12 | 米国若手指導者ネットワークプログラム（1回目） | 外務省 | 07.03.31～ 07.04.08 | 米国の30-40代の有力パブリック・インテレクチュアル5名を日本に招へいし、各界リーダーとの意見交換、ネットワーク形成の機会を提供。日本社会の最新動向に関する情報提供や日本に関する知識を深めるためのレクチャーほか、文化・歴史に関する視察等も実施。帰国後、在米大使館及び基金ニューヨーク事務所が中心となって招へい者による帰国報告会を実施し、次期事業への提案・今後のフォローアップ方法等を検討 |
| 13 | CSISとの共催事業「Japan Policy Fellowship Program」 | 戦略・国際問題硏究センター（CSIS） | 07.10.01～ 08.03.31 | 米国の政策硏究者等で日本に関心のある有望な人々をワシントンDCの政策コミュニティに参加させ、将来の米国の政策に影響力を行使しうる層を拡大することを目的とした戦略国際問題硏究所との共催事業。2007度にパイロット事業として実施 |
| 14 | 日本-日系人交流：CGP-JANM共催シンポジウム | 全米日系人博物館 | 07.09.01～ 07.10.30 | 日本と米国日系人社会との交流事業の一環として、日系人社会の現状に関する日本人の理解深化と長期的な日米関係強化のため、CGPと全米日系人博物館が公開シンポジウムを共催。第3回目となる今回は、東京・経団連会館にて「変わりゆく日本のイメージ？－米メディア界で活躍する日系人の見方－」をテーマに、日系人ジャーナリストが米国における対日イメージの変遷を語り、日米相互理解深化のためのメディアの役割について討議 |
| 15 | 米国CSR調査 | | 07.12.04～ 09.03.31 | 企業の社会的責任（CSR）に関し、各国で企業のCSR活動の現状を調査、今回は在米日系企業に調査協力を依頼。企業の自発的社会貢献の一環としてCSRがますます重要視されるなか、国際交流基金は「文化交流」を切り口とした国際社会貢献活動の提案を目指し、企業と連携してCSRの新たな方向性と効果的な協力の可能性を模索 |

| | |
|--------|----------------------------------|
| 催し等事業費 | (4)知的交流支援（主催）：ニューヨーク日米センター企画開発事業 |
|--------|----------------------------------|

日米間の知的交流を推進するために、セミナー・シンポジウム等を開催する。

合計額 574,160円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------|----------|---|
| 1 | ラウンドテーブル「人間の安全保障」 | 08.01.17 | 日米センター公募助成ガイドラインの改訂にあわせ、安全保障の分野における日米協力の各種アジェンダについて、とりわけ「人間の安全保障」に注目しつつ、米側シンクタンク関係者らとのラウンドテーブルをニューヨーク事務所会議室において実施 |
| 2 | ラウンドテーブル「エネルギー安全保障と倫理」 | 08.03.26 | エネルギー安全保障問題に対する関心が高まる中、日米センターにおいても公募助成を通じた関連プロジェクトの形成に向け、カーネギー倫理国際問題協議会等と協力して、ラウンドテーブルをニューヨーク事務所において実施 |

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米市民対話推進費

1. 人物交流事業費

- (1) 日米センターNPOフェローシップ
- (2) 市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣／JOI）

2. 催し等事業費

- (1) 市民交流支援（市民交流／教育アウトリーチ支援・助成）
- (2) 市民交流・教育アウトリーチ支援（助成）：
ニューヨーク日米センター小規模助成（教育アウトリーチ：南部・中西部特別助成）
- (3) 市民交流・教育アウトリーチ支援（助成）：
ニューヨーク日米センター小規模助成（教育助成）

人物交流事業費 (1)日米センターNPOフェローシップ

日米間の架け橋となり国際的に活躍できる次世代の人材の育成と、日米両国の非営利セクター間の相互理解の促進とネットワークの拡大強化、国内の非営利セクターの人的基盤強化を目的として、日本の民間非営利セクターに従事する中堅層に、米国のNPOでの中長期の現場経験を通じ、非営利組織のマネジメントに関する研修を行う機会を提供する。

合計額 22,645,635 円

| | 事業名 | 現職 | 受入団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|--------------------------|----------------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 土井 香苗 | ヒューマンライツ・ナウ事務局員 | Human Rights Watch | 06.09.01～ 07.06.30 | 弁護士を中心とする人権NPOの資金基盤、人材基盤及びアドボカシー手法 |
| 2 | 石川 えり | 特定非営利活動法人難民支援協会事務局長代行 | International Rescue Committee | 07.01.21～ 07.05.20 | 難民支援NGOにおけるプロジェクト・マネジメント |
| 3 | 鮎川 葉子 | エイズを伝えるネットワークTENCAI代表 | Men's Resource Center for Change | 07.03.22～ 07.09.21 | ネットワーク型非営利組織が、専門機関の連携を実現させるために必要な条件と課題整理を、米国の事例から学ぶ |
| 4 | 鈴木 歩 | シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会事務局次長 | United Way of Central Indiana | 07.08.15～ 08.05.14 | ファンドレイジングを実践するための組織運営のあり方を米国の非営利セクターに学ぶ |
| 5 | 棚田 雄一 | 社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン事業部長 | Save the Children USA | 07.09.01～ 08.02.28 | 緊急援助における米国のNPOオペレーション上のスタンダードや安全管理の実務的理解 |
| 6 | 藤原 航 | 市民社会研究所研究員 | Common Ground Community | 07.10.01～ 08.06.30 | 自立的なNPOセクターの環境整備に関して |

人物交流事業費 (2)市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI）

日本との交流の機会が比較的少ない地域における対日関心の喚起や日本理解の促進、および、草の根交流の担い手育成を目的に、ボランティアとして草の根交流のコーディネーターを米国に派遣する。コーディネーターは、主に米国南部の日米協会や大学等の地域交流活動の拠点に配置され、学校やコミュニティで、日本の文化、社会、生活、日本語に関する知識や情報を提供し、また日米交流を深めるための活動を展開する。

合計額 33,525,196 円

| | 氏名 | 受入団体 | 派遣期間 |
|---|--------|-----------------|---------------|
| 1 | 安藤 良子 | ダラス/フォートワース日米協会 | 2005.8～2007.7 |
| 2 | 田中 美樹 | 南部多文化センター | 2005.8～2007.4 |
| 3 | 村田 有紀子 | コスタル・カロライナ大学 | 2005.8～2007.7 |
| 4 | 小島 祥子 | アラバマ日米協会 | 2006.8～2008.7 |

日米市民対話推進費

| | 氏名 | 受入団体 | 派遣期間 |
|----|--------|-------------------------------------|---------------|
| 5 | 織田 美千子 | ベサニー大学 | 2006.8～2008.7 |
| 6 | 木谷 公子 | モリカミ博物館 | 2006.8～2008.7 |
| 7 | 山田 悠花子 | クロフト・インスティテュート・フォー・インターナショナル・スタディーズ | 2007.8～2009.7 |
| 8 | 西脇 笑子 | ウェスタン・カロライナ大学 | 2007.8～2009.7 |
| 9 | 松下 佐智子 | メンフィス大学国際プログラム&サービスセンター | 2007.8～2009.7 |
| 10 | 山崎 和子 | ハリファックス公立学校区 | 2007.8～2009.7 |
| 11 | 増田 環 | サンアントニオ日米協会 | 2007.8～2009.7 |

| | |
|--------|-------------------------------|
| 催し等事業費 | (1)市民交流支援（市民交流/教育アウトリーチ支援・助成） |
|--------|-------------------------------|

日米両国の市民が、対話を積み重ね相互理解を深めていくこと、また、共通の課題への共同の取り組みを通じて世界に貢献していくことを期待し、その趣旨に合致した草の根レベルの交流プロジェクトや一般市民への知識の普及活動を支援する。

合計額 26,843,756 円

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---|---------------------|-----------------------|--|
| 1 | 日系移民をテーマとした米国理解教育の教材開発と教員研修－多文化教育とグローバル教育のインターフェイス－（2年計画事業の2年目） | 多文化社会米国理解教育研究会 | 07.04.12～ 08.06.30 | 日系移民をテーマとした教材開発と教員研修を通して米国理解を深めることを目的とするプロジェクト。1年次には、国内外調査を実施し、日系移民に関する理解を深め、トランクキット教材を開発の上、授業で使用し、『指導の手引き』を作成。2年次には、トランクキットと『指導の手引き』を活用した教員研修会を開催し、報告書を作成 |
| 2 | 米国教育NPOの役割～「対立解決教育」を通して | 特定非営利活動法人 開発教育協会 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本の教育NPOの活性化を目的とし、より効果的な組織のあり方や事業の取り組みを学ぶため、米国の教育NPOの先駆的な事例を日本のNPOや教育関係者に紹介。ニューヨーク市のNPOであるESR Metro（NPOフェロー受入先）から代表を招き、意見交換会、シンポジウムを実施 |
| 3 | 米国人権NPOのアドボカシー手法調査及びネットワーク形成プロジェクト | ヒューマンライツ・ ナウ | 07.04.16～ 07.09.30 | 米国から特に国際社会におけるアドボカシーの在り方を学び、日米の人権NPO間のネットワークを形成するプロジェクト。被招へい者が、東京・大阪で、意見交換会・講演会・シンポジウムに参加し、知見を提供 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---|---------------------|-----------------------|---|
| 4 | 第59回日米学生会議 | 財団法人 国際教育振興会 | 07.05.01～ 08.03.31 | 「太平洋から世界へ～グローバルパートナーシップの探求と次代の創造～」というテーマのもと、日本側36名、米国側36名が、東京、秋田、広島、京都の四都市を巡り、意見交換を実施。分科会のテーマは、開発、メディア、暴力と平和、教育、ナショナリズム、アイデンティティ、文化の7つ。各訪問先で、シンポジウムを実施し、1カ月の成果を発信 |
| 5 | HIV/AIDSの治療や予防に取り組む人々の日米草の根交流プロジェクト（2年計画事業の2年目） | パブリック・ヘルス・インスティテュート | 07.11.01～ 08.10.31 | 日米でHIV/AIDSの治療や予防に取り組む、研究者や実践者たちによる2年間の交流事業。日米の研究者とNPO関係者等実践者の知見の交換を実施 |
| 6 | 環境教育パートナーシップ | ミシガン州立大学 | 07.05.01～ 07.11.30 | 2007年の夏に合計29日間の日程で、日米の教員と学生計34名が互いの文化に対する関心を高めるため、相互に相手国を訪問。環境保護プログラム見学や実験・実習を共に重ね、ホームステイや事前・事後学習も実施 |
| 7 | 「日本史をイメージする」教材開発・普及事業（2年計画事業の2年目） | コロラド大学ボルダー校 | 08.03.01～ 09.02.28 | 中等教育レベルを対象とした日本に関する教材開発・普及事業。世界史のナショナル・スタンダードに合わせ、歴史と社会科のカリキュラムに芸術史を組み込み、世界史の授業で使用可能な教材を開発。日本の6つの時代（平安、中世、徳川、明治、20世紀初頭、戦後）のアートが対象 |
| 8 | ライシャワー奨学プログラム（2年計画事業の2年目） | スタンフォード大学（SPICE） | 07.09.01～ 08.08.31 | 全米から25名の高校生（11・12学年）を募り、専用ウェブサイトを用いて日本や日米関係に関する学習機会を提供する遠隔地教育事業。生徒は、日米各界で活躍する人物による日本の歴史、文学、宗教、美術、政治、経済等に関する講義の聴講、質問・意見等を交換するディスカッションボード、定期的に課される宿題、オンライン上の相互交流を目的としたバーチャル・クラスルーム、論文作成等を実施 |

催し等事業費 (2) 市民交流・教育アウトリーチ支援（助成）：ニューヨーク日米センター小規模助成（教育アウトリーチ：南部・中西部特別助成）

合計額 8,379,587円

| | 事業名 | 団体 | 事業内容 | 期間 |
|---|---------|------------------------------------|--|-----------------------|
| 1 | 芸術が花開く | ブラック・マウンテン・センター・フォー・アーツ（ノース・カロライナ） | 地域のアーティストを巻き込みながら、学校を含む複数の会場において、日本の伝統文化を幅広く紹介する事業 | 07.05.01～ 07.07.31 |
| 2 | 日本フォーラム | アニメイズメント2007（デラウェア） | 日本のアニメ・マンガに焦点を当てた中高生向けの日本語・日本文化フォーラムの開催 | 07.05.01～ 07.06.30 |

日米市民対話推進費

| | 事業名 | 団体 | 事業内容 | 期間 |
|----|---|---|---|-----------------------|
| 3 | アジア美術に関する 教員トレーニングと 教材作成 | シンシナティ・ ミュージアム・アソ シエーション (オハ イオ) | シンシナティ美術館のアジア・コレクションを題材とし た教材作り及び教員向けワークショップの開催 | 07.07.01～ 07.09.30 |
| 4 | 日本のアート・文 化・社会に関する教 員向けワークショッ プ | アルバーノ大学 (ウイスコンシン) | 日本文化 (アート、文化、文学、宗教など) を授業に取り 入れるための教員向けワークショップの開催 | 07.06.01～ 07.12.31 |
| 5 | アジアを祝おう | マリボサ美術館 (ニューハンプ シャー) | 日本に関する展示にあわせて、特に小中高生を対象とし た参加型の活動やプレゼンテーションを実施 | 08.02.01～ 08.06.30 |
| 6 | 世界へのパスポー ト：3年生に向けた 日本への旅 | マディソン・クロ ス・ロード学校 (ア ラバマ) | 200名の生徒たちが、1年間にわたって、日本の地理や言 葉、政治や日常生活を学ぶ事業 | 07.08.01～ 08.03.31 |
| 7 | 2007年秋：初等・中 等教育へのジャパ ン・アウトリーチ | ベサニー大学 (ウエ スト・バージニア) | 地域の複数の学校において、太鼓パフォーマンス、折 り紙、書道等を通じた日本文化紹介事業を実施 | 07.09.01～ 07.11.30 |
| 8 | 日本文化ケースおよ び教育向けワーク ショップ | アメリロ美術館 (テ キサス) | 日本を紹介するグッズを集めた「日本文化ケース」の作 成とケースを利用した教員向けワークショップの実施 | 07.08.15～ 07.12.31 |
| 9 | 歴史の織りの中で文 化を保存する：グ ローバリゼーション が日本社会に与えた 影響 | ウエスタン・バー ジニア美術館 (バー ジニア) | 日本の絵画展を通してグローバリゼーションが日本社会 に与えた影響を考察する教員向けワークショップの開催 | 07.11.01～ 07.12.31 |
| 10 | 日本とアイオワの生 徒のネットワークを 高めて | アイオワ公共テレビ ／アイオワ公共放送 委員会 (アイオワ) | アイオワ州およびその近隣地域の小中高生を対象にイン ターネット・ビデオを通して日本文化紹介を行う事業 | 07.09.01～ 07.12.31 |
| 11 | ライト・ナウ! | ウェスコット・ハウ ス財団 (オハイオ) | オハイオ州の複数の会場において、日本の伝統文化から 現代文化までを幅広く紹介する事業 | 07.09.01～ 07.10.31 |
| 12 | 日本の文化とアート に調和を探そう | クララ・バートン・ オープン学校 (ミネ ソタ) | 地元のアーティストの協力を得つつ、アートに焦点をあ てた日本理解促進のための授業を通年で行う事業 | 07.10.01～ 08.06.30 |
| 13 | 太鼓および文化カプ セル・プロジェクト | ハリファックス郡公 立学校(バージニア) | 太鼓パフォーマンスを通じた日本文化紹介を行い、そ れに付随して、コミュニティ向けに様々な日本文化に関す る参加型授業を実施 | 07.09.01～ 07.12.31 |
| 14 | 文化の橋渡し | アクロン大学 (オハ イオ) | 美術館の教育担当者および教員を対象に日本理解を促進 するワークショップを実施 | 07.10.01～ 07.11.30 |
| 15 | ミネソタ2007盆踊り | ミネソタ日米協会 (ミネソタ) | 新しく創作したミネソタ式の盆踊りを通して、生徒に日 本文化紹介を行う事業 | 07.10.01～ 08.06.30 |

| | 事業名 | 団体 | 事業内容 | 期間 |
|----|----------------|-----------------------------|---|-----------------------|
| 16 | 日本を五感でふれよう | マウント・ヴァーノン・コミュニティ学校 (バージニア) | 日本の地理や人々、文化に関する授業を行い、プロジェクトの最後には学校全体を巻き込んだアジア太平洋祭りを実施 | 07.12.01～ 08.02.29 |
| 17 | 日本文化祭 | リバーウッド高校 (ジョージア) | 地域の住民にも開かれた日本文化／日本語を紹介する日本祭りの開催 | 08.01.01～ 08.03.31 |
| 18 | 日本2007:美・優雅・忍耐 | ギフォード・ストリート高校 (イリノイ) | 「ヒロシマ」の経験に焦点をあてた平和教育及び日本文化に関する授業の実施 | 08.03.01～ 08.07.31 |

| | |
|--------|--|
| 催し等事業費 | (3)市民交流・教育アウトリーチ支援 (助成) : ニューヨーク日米センター小規模助成 (教育助成) |
|--------|--|

合計額 3,202,291円

| | 事業名 | 団体 | 事業内容 | 期間 |
|---|--------------------------------|---------------------------------------|---|-----------------------|
| 1 | ボストンこども博物館 (マサチューセッツ) | 日本人コミュニティとのパートナーシップ: 美術館の文化プログラムをとおして | こども美術館学会における「日本人コミュニティと美術館とのパートナーシップ」に関する発表 | 07.05.01～ 08.07.31 |
| 2 | プライマリー・ソース (メイン) | 近代日本を想像する | 日本の近代化をテーマとした教員向けワークショップの実施 | 07.09.01～ 07.12.31 |
| 3 | ホノルル・フェスティバル財団 (ハワイ) | はじめのアメリカ人: ジョセフ・ヒコと日米関係のはじまり | 初の日系アメリカ人とされるジョセフ・ヒコを通して日米関係を考察する公開セミナーの実施 | 07.12.20～ 08.04.30 |
| 4 | ノースイースト・カルチュラル・コープ (ニューハンプシャー) | 中学・高校教員向けワークショップ: 古代日本 | 3～15世紀の日本をテーマとした教員向けワークショップの実施 | 08.01.15～ 08.05.31 |
| 5 | ワシントンDC日米協会 (ワシントンDC) | 紙芝居をとおして日本を学ぶ | 大判の紙芝居を作成し、1年間で3000人以上の生徒に日本文化紹介を行う事業 | 07.06.01～ 07.08.31 |
| 6 | ワシントンDC日米協会 (ワシントンDC) | 山下泰裕氏による学校訪問とレクチャー | 柔道家の山下泰裕氏による柔道のデモンストレーションと柔道を通じた日本文化紹介を実施 | 08.02.01～ 08.03.31 |
| 7 | 米国北東部日本語教師会 (ニューヨーク) | 春祭り | ニューヨーク地域の中高生を対象に、日本の様々な文化を紹介する春祭りの実施 | 08.03.01～ 08.05.31 |
| 8 | アジア・シネビジョン (ニューヨーク) | TOKKO-特攻- : 教育用上映会 | ドキュメンタリー映画「TOKKO-特攻」の上映会および元特攻隊員とのディスカッションを教員ワークショップおよび複数の学校で実施 | 08.03.01～ 08.05.31 |

調査研究および情報提供事業等に必要な経費

情報センター事業費

1. 催し等事業費

- (1) 国内連携促進

2. 文化資料事業費

- (1) 定期刊行物
- (2) 年次報告
- (3) インターネット
- (4) JFサポーターズクラブ

3. 調査研究費

- (1) JFICライブラリー
- (2) 国際交流顕彰事業（基金賞・奨励賞）
- (3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）

情報センター事業費

催し等事業費 (1)国内連携促進

国内の国際交流活動の振興と国際交流団体のネットワーク化を目的とした情報収集、フェスティバルへの協力、セミナー開催を行う。

合計額 2,673,420 円

| 事業名 | 共催・協力団体 | 期間 | 事業内容 |
|--------------------------|---|-----------------------|--|
| 1 フェスティバル参加 | 仙台国際センターまつり実行委員会 金沢国際交流財団 外務省 国際協力機構(JICA) 国際協力銀行(JBIC) 国際協力NGOセンター(JANIC) 愛知県国際交流協会(AIA) 名古屋国際センター(NIC) 国際協力機構中部国際センター(JICA中部) ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会 | 07.04.01～ 08.03.31 | 全国各地で開催される国際交流フェスティバルにて、ブース出展、セミナー実施。仙台(国際センターまつり)、金沢(国際交流まつりフェスタ)、東京(グローバルフェスタ)、横浜(ワールドフェスタ)、名古屋(ワールド・コラボ・フェスタ)、大阪(ワン・ワールド・フェスティバル) |
| 2 創造の場シンポジウム「都市を刺激するアート」 | 金沢21世紀美術館 | 08.03.09 | 都市・地域に活力を与え、まちづくりに不可欠な要素となっている、「創造性」を生み出す「場」として、アーティストやクリエイターを地域に迎え入れるレジデンス事業やアート・プロジェクトの意義について討議する。 参加者 カミン・ラーチャイプラサート(アーティスト・タイ)、エレヌ・ケルマシュター(在日フランス大使館文化アタッシェ)、遠藤水城(アークスプロジェクトディレクター)、キム・スンヒー(フリーランスキュレーター・韓国)等 |
| 3 「九州創発塾2007」 | 大分合同新聞社 | 07.08.22～ 07.08.24 | 大分合同新聞社ほか九州の主要地方紙6社が共催して実施する「九州創発塾2007」に特別協力として国際文化交流に関する分科会への講師派遣を行った。 |

文化資料事業費 (1)定期刊行物

国際文化交流に関する専門誌『をちこち(遠近)』(和文)を、隔月にて発行する。

合計額 42,291,675 円

| 事業名 | 部数 | 事業内容 |
|---------|------|------------------------------|
| 1 遠近16号 | 7000 | 特集テーマ「隣人、ロシア」 2007年4月1日発行 |

情報センター事業費

| | 事業名 | 部数 | 事業内容 |
|---|-------------|------|------------------------------------|
| 2 | をちこち（遠近）17号 | 7000 | 特集テーマ「酒は地球を回る」 2007年6月1日発行 |
| 3 | をちこち（遠近）18号 | 7000 | 特集テーマ「インドを解く」 2007年8月1日発行 |
| 4 | をちこち（遠近）19号 | 7000 | 特集テーマ「マンガからMANGAへ」 2007年10月1日発行 |
| 5 | をちこち（遠近）20号 | 7000 | 特集テーマ「フランス 都市の文化力」 2007年12月1日発行 |
| 6 | をちこち（遠近）21号 | 7000 | 特集テーマ「世界の『国民的女優』」 2008年2月1日発行 |
| 7 | をちこち（遠近）22号 | 7000 | 特集テーマ「遠くて近い ブラジル」 2008年4月1日発行 |
| 8 | をちこち（遠近）23号 | 7000 | 特集テーマ「翻訳がつくる日本語」 2008年6月1日発行 |

文化資料事業費 (2) 年次報告

年度ごとに総括を報告する年報を発行する。

合計額 14,736,020 円

| | 事業名 | 事業内容 |
|---|-------------|---|
| 1 | 和文・英文年報2006 | 国際交流基金の2006年度（平成18年度）事業に関する和文および英文年報の作成（各6000部） |

文化資料事業費 (3) インターネット

ウェブサイト、eメールマガジンを通じて、プログラムガイドライン等も含めた国際交流基金の各種事業や、国際文化交流に資する情報提供を行う。

合計額 17,728,645 円

| | 事業名 | 事業内容 |
|---|-----------------|--|
| 1 | 国際交流基金ウェブサイトの運営 | ジャパンファウンデーションの事業に関する情報、公募事業の案内および申請書類、その他お知らせ等をインターネット上で提供。URL：http://www.jpfi.go.jp |
| 2 | メールマガジン | ジャパンファウンデーションの事業に関する情報をメールマガジン（和・英）で配信。 |
| 3 | ブログ | ジャパンファウンデーションの事業に関する告知や報告をブログで公開。 |

| | 事業名 | 事業内容 |
|---|------|--|
| 4 | 動画配信 | ウェブサイト上でジャパンファウンデーションの実施した公演、展覧会、セミナー・シンポジウム等の映像ファイルを公開。 |

文化資料事業費 (4) JFサポーターズクラブ

年間一定額の寄附金を会費として支払った個人に対し、基金に関する情報を提供。

合計額 8,138,371 円

| | 事業名 | 事業内容 |
|---|-------------------------|--|
| 1 | JFサポーターズクラブの運営及びイベントの実施 | 国際交流基金事業への支援者を対象として、国際文化交流に参加してもらうことを目的としたJFサポーターズクラブを運営。また国際文化交流についての理解を深めてもらうため、国際交流基金事業に関連するトークイベント、講演会、研修会、授業見学会などを実施。 |

調査研究費 (1) JFICライブラリー

国際交流に関する情報の照会及び日本に関する情報の照会に対応するための情報センターを運営する。

合計額 45,520,986 円

| | 事業名 | 事業内容 |
|---|---------------|--|
| 1 | JFICライブラリーの運営 | 国際交流基金の実施事業に関する出版物や事業ファイル、国際文化交流・文化政策に関する図書資料、外国語で書かれた日本紹介図書・映像資料などを所蔵（図書約31,978冊、雑誌400冊、視聴覚資料548点、マイクロ資料4,982点）。研究者はもとより国際文化交流に関心のある幅広い利用者に情報を提供。 |

調査研究費 (2) 国際交流顕彰事業（基金賞・奨励賞）

学問、芸術その他の文化活動を通じて、国際文化交流に特に顕著な貢献があった個人、団体等に対しその功績を顕彰する。

合計額 27,206,050円

| | 種別 | 受賞者(現職)・授賞団体 | 国 | 事業内容 |
|---|---------|---|-------------|--|
| 1 | 国際交流基金賞 | ロイヤル・タイラー (元オーストラリア 国立大学アジア研究 学部日本センター所 長・教授) | オーストラ リア | 長年にわたる日本文学研究・指導、英語翻訳による能の紹介、『源氏物語』の優れた翻訳など、海外における日本文学・日本文化に対する理解の促進に対する多大な貢献と功績に対し、国際交流基金賞を授与。 |

情報センター事業費

| | 種別 | 受賞者(現職)・授賞団体 | 国 | 事業内容 |
|---|-----------------|-----------------------------|-----|---|
| 2 | 国際交流奨励賞・文化芸術交流賞 | 北川フラム(㈱アートフロントギャラリー代表取締役社長) | 日本 | 数々の先駆的な国際展を成功させたほか、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」の総合ディレクターとして、海外のアーティストと地域住民との協働を通して、現代アートの力で継続的な地域振興を行ってきた功績と今後の更なる貢献に期待し、国際交流奨励賞・文化芸術交流賞を授与。 |
| 3 | 国際交流奨励賞・日本語賞 | リービ英雄(小説家、法政大学教授) | 米国 | 「万葉集」の優れた英訳により、日本文学を海外に紹介するほか、日本語により多数の小説、評論などの作品を著し、日本語の可能性を広げるとともに異文化間の理解を促進してきた功績と今後の更なる貢献に期待し、国際交流奨励賞・日本語賞を授与。 |
| 4 | 国際交流奨励賞・日本研究賞 | アイシェ・セルチュク・エセンベル(ボスポラス大学教授) | トルコ | 日本研究者として優れた学術的業績をあげるとともに、日本研究学会の活動を通じたトルコの日本研究者の組織化や、後進の育成に尽力し、トルコにおける日本研究及びトルコ・日本間の学術・知的交流の推進に貢献してきた功績と今後の更なる貢献に期待し、国際交流奨励賞・日本研究賞を授与。 |

調査研究費 (3)国際交流顕彰事業(地球市民賞)

国内各地で行われている地域に根ざした国際交流活動を振興するために、この分野で活躍している国内団体、個人を顕彰する。

合計額 11,246,017 円

| | 受賞者(団体)名・事業名 | 都市 | 事業内容 |
|---|--------------------------|--------|--|
| 1 | 特定非営利活動法人 芸術と計画会議(C.A.P) | 兵庫県神戸市 | 神戸在住のアーティストたちが、震災後、神戸旧居留地全体を美術館にする構想を県や市に提案し、アートセミナーやワークショップなどを展開。99年には老朽化し放置されていた旧神戸移住センターを神戸市から借り受け、期間限定のアーティストの仕事場とし、市から運営を委託された同センターをアートセンターとして甦らせた。芸術と地域を結ぶ活動から、アイルランドと日本のアーティストが互いの国を訪ね作品を発表する「リュックサック・プロジェクト」といった活動を行ってきた同団体に対し、「地球市民賞」を授与。 |
| 2 | 特定非営利活動法人 えひめグローバルネットワーク | 愛媛県松山市 | 内戦が続いていたモザンビークにおける平和構築・復興支援策として、引き取り手のない放置自転車を譲り受けて日本から送り、現地で武器と交換するプロジェクトを実施し、これまで、合計420台の自転車やマシン、衣類、文房具などを送った。この他、現地でのマシンの使い方指導や、自転車を活用して誰でも参加できる「チャリ・チャリティー」などの募金イベント企画を、四国内のNGO、大学や学生などと連携して実現するなど、地域に密着した国際交流活動を行ってきた同団体に対し、「地球市民賞」を授与。 |

| | 受賞者(団体)名・事業名 | 都市 | 事業内容 |
|---|---------------------|--------|---|
| 3 | 特定非営利活動法人 アジア女性センター | 福岡県福岡市 | 日本で働く外国籍女性を対象に、生活全般に関する電話相談、DV被害女性への緊急支援を行う施設の運営や女性と子どもの人権を守る活動を行ったり、フェアトレード製品を使ったカフェの運営を行なう。さらに、日本人を父親とするジャパニーズ・フィリピーノ・チルドレンによるミュージカル上演と父親探しの支援など、日本人と外国人が共生できる地域づくりを目指した活動を実践してきた同団体に対し、「地球市民賞」を授与。 |

調査研究および情報提供事業等に必要経費

企画・評価費

1. 調査研究費

- (1) 調査研究
- (2) 事業評価（企画評価）

調査研究費 (1)調査研究

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、この成果を広く内外に公開する。

合計額 3,286,868 円

| | 事業名 | 国 | 都市 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------|-----|----------|-----------------------|--|
| 1 | 中国パブリック・ディプロマシー調査 | 中国 | 上海 北京 | 07.04.11～ 08.07.31 | 中国における国際文化交流の基礎となる中国のパブリック・ディプロマシーや文化外交について、基本的な考え方を理解し、現状と課題を把握するとともに、将来的に日中両国における国際文化交流分野での協力・共同の可能性を探るために、中国におけるパブリック・ディプロマシーの現状と課題を調査する。 |
| 2 | 情報収集プロジェクト | ドイツ | ケルン | 07.04.01～ 08.03.31 | ドイツの国際文化交流政策に関し、定期的な情報収集を行う。 |

調査研究費 (2)事業評価 (企画評価)

国際交流の促進に資する各種調査研究を行い、この成果を広く内外に公開する。

合計額 879,212 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------|-----------------------|--|
| 1 | 専門評価 | 07.04.01～ 08.03.31 | 平成18年度業務実績報告書の客観性と信頼性を高め、改善点等を把握するため、事業プログラムごとに外部専門家による評価を実施する。 |
| 2 | 評価に関する有識者委員会 | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金の業務について、各年度終了後に行う自己評価の妥当性、評価方針、方法並びに評価結果を踏まえた基金の業務の改善について、有識者に諮るための委員会を開催する。 |

調査研究および情報提供事業等に必要な経費

文化事情調査費

1. 調査研究費
 - (1) 文化事情調査

調査研究費 (1)文化事情調査

国際交流基金の総合的企画立案機能強化の一環として、相手国別に文化事情を調査し、また、同国と日本との文化交流において基金が果たすべき役割等につき、方針を策定する。

合計額 14,692,499 円

| | 事業名 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------|---------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 日越文化交流フォーラム | ベトナム | 08.03.11～ 08.03.12 | 日越両国間の文化交流・相互理解を促進し、日越両国間の「戦略的パートナーシップ」を強化することを目的に、日越両国の官民各分野（文化・芸術交流、知的交流、文化財保存、人材育成等）の有識者を集めて日越文化交流を更に促進する上での今後の課題と可能性を議論する官民合同会議をハノイにおいて、また、活力ある文化交流を実施するための方策等につき両国の民間有識者同士が意見交換を行なう民間対話をホーチミンにおいて実施。 |
| 2 | 海外アドバイザー | イラン トルコ 韓国 南アフリカ | 07.04.01～ 08.03.31 | 海外の文化関係者4名（南アフリカ、イラン、韓国（光州）、トルコ）による現地文化事情の情報収集 |
| 3 | 日本・ロシア交流タスクフォース | ロシア | 07.04.01～ 07.12.31 | 対ロシア文化交流事業の中期的な指針策定のため、基金内にタスクフォースを設置し、外部有識者からのヒアリングや勉強会等を実施。 |

調査研究および情報提供事業等に必要経費

国際文化交流研究センター事業費

1. 調査研究費

(1) 調査研究

国際文化交流研究センター事業費

調査研究費 (1) 調査研究

新たに基金内に国際文化交流研究センターを設置し、国際文化交流に関する基礎的・理論的研究、実証的研究、情報の収集等に事業を実施するために基盤・体制を整備し、主要プロジェクトを軌道に乗せる。

合計額 8,084,569 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------|-----------------------|---|
| 1 | 国別評価手法開発 | 07.04.01～ 08.03.31 | 専門家の知見を取り入れ、有効且つ実用性の高い国別評価手法を開発。平成19年度は、第二次試行評価（ドイツ）を継続し、且つ第一次・第二次試行評価の結果分析を行い、モデルとなる調査票・分析デザインを作成した。 |
| 2 | 人間の安全保障研究 | 07.04.01～ 08.03.31 | 人間の安全保障に貢献したと思われる事業例を調査し、「人間の安全保障・平和構築関連事例データベース」を作成。文化関連事業が国際平和構築にどのように貢献するかを考察した小冊子「文化が創る国際平和」を出版。担当研究員は、英国戦略問題研究所年次総会に招へいされ、「人間の安全保障」に関して報告を行った。また、「人間の安全保障」に関する論文も複数執筆し、『慶應法学』他に掲載。 |

在外事業に必要な経費

京都支部

1. 京都支部

海外事務所

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. クアラルンプール日本文化センター
9. ニューデリー日本文化センター
10. シドニー日本文化センター
11. トロント日本文化センター
12. サンパウロ日本文化センター
13. マニラ事務所
14. ニューヨーク事務所
15. ロサンゼルス事務所
16. メキシコ事務所
17. ロンドン事務所
18. ブダペスト事務所
19. カイロ事務所

京都支部

合計額 10,480,159円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--|-----|--------------------|----------------|----------|---|
| 1 | 【公演】 国際交流の夕べー能と狂言の会 | 京都市 | 金剛能楽堂 | 財団法人 金剛能楽堂財団 | 07.11.06 | 海外からの留学生や外国人の方々を対象に日本の伝統文化にふれていただく機会を提供することを目的として毎年秋に開催している。1974年から開催、2007年度で第34回目。演目は、狂言/大蔵流 茂山 千五郎師「蝸牛」、能/金剛流 金剛 永謹 師「羽衣 盤渉」 |
| 2 | 【講演・シンポジウム】 国際交流基金（ジャパンファウンデーション）京都支部 2007年度 第1回 フェローセミナー | 京都市 | アーバネックス御池ビル東館2階会議室 | | 07.06.15 | 京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第1回目は、Dinah ROMA-sIANTURI（ディナ・ローマ=シアントゥリ）氏（フィリピン/2006年度基金フェロー）による「郷愁の美学 日本を描いた現代の旅行記」をテーマにセミナーを実施。発表は英語（日本語逐次通訳あり）、入場無料、発表後質疑応答あり。 |
| 3 | 国際交流基金（ジャパンファウンデーション）京都支部 2007年度 第2回 フェローセミナー | 京都市 | 財団法人 京都府国際センター | 財団法人 京都府国際センター | 07.07.20 | 京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第2回目は、陳端端（CHEN, Duan Duan）氏（中国/2006年度基金フェロー）による「言語の表現意識から相互理解の道—中日の待遇表現を中心に」をテーマにセミナーを実施。発表は日本語（通訳なし）、入場無料、発表後質疑応答あり。 |

京都支部

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---|-----|------------------|---------------|----------|---|
| 4 | 国際交流基金 (ジャパン ファウンデーション) 京都 支部 2007年 度 第3回 フェローセミ ナー | 京都市 | 京都国立近代 美術館 | 京都国立近代 美術館 | 07.09.15 | 京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第3回目は、Kiku Day (デイ・菊壺) 氏 (デンマーク/2006年度基金フェロー) による「尺八の国際的な広がりとその原点回帰の動き」をテーマにセミナーを実施。発表は日本語 (通訳なし)、入場無料、発表後質疑応答あり。 |
| 5 | 国際交流基金 (ジャパン ファウンデーション) 京都 支部 2007年 度 第4回 フェローセミ ナー | 京都市 | 京都精華大学 交流センター | 京都精華大学 | 07.11.29 | 京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第4回目は、Peter CAVE (ピーター・ケイブ) 氏 (英国/2007年度基金フェロー) による「日本の小・中学校教育をどう考えるか」をテーマにセミナーを実施。発表は日本語 (通訳はなし)、入場無料、発表後質疑応答あり。 |
| 6 | 国際交流基金 (ジャパン ファウンデーション) 京都 支部 2007年 度 第5回 フェローセミ ナー | 京都市 | 京都国立近代 美術館 | 京都国立近代 美術館 | 07.12.08 | 京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第5回目は、Monika BINCSIK (モニカ・ビンチク) 氏 (ハンガリー/2006年度基金フェロー) による「日本漆器のヨーロッパでの受容：ヨーロッパのコレクターと日本の商人」をテーマにセミナーを実施。発表は日本語 (通訳なし)、入場無料、発表後質疑応答あり。 |
| 7 | 国際交流基金 (ジャパン ファウンデーション) 京都 支部 2007年 度 第6回 フェローセミ ナー | 京都市 | 関西日仏学館 稲畑ホール | 関西日仏学館 | 08.01.11 | 京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第6回目は、Corinne ATLAN (コリーヌ・アトラン) 氏 (フランス/2007年度基金フェロー) による「日本現代文学はフランスでどう読まれているか」をテーマにセミナーを実施。発表は日本語 (通訳なし)、入場無料、発表後質疑応答あり。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------------|-----|----------------|----------------|-----------------------|---|
| 8 | 【映画】 外国語字幕付き日本映画上映会 | 大阪市 | 財団法人大阪国際交流センター | 財団法人大阪国際交流センター | 08.01.05～ 08.01.26 | 映画は、その国の文化風土を理解するうえで有効な手段であると考えられており、日本映画においても、日本人の生活様式や考え方とその変化が凝縮されていることから、外国人の日本文化理解のために役立つものである。日本の生活や文化を外国人に紹介する一助として2006年度から実施し、高い評価と継続開催を望む声が多く、2007年度も開催。今年度は、1/5『羅生門』、1/12『火の鳥2772愛のコスモゾーン』、1/19『細雪』、1/26『楢山節考』を上映。※1/19『細雪』の上映前には、参加者により一層作品への理解を深めてもらうため、文学評論家、文化プロデューサーの河内厚郎氏による作品解説レクチャーを実施。 |
| 9 | 【図書館運営】 国際交流情報コーナー（図書室を含む）運営 | 京都市 | 京都支部 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 外国語による日本研究書ならびに基金刊行物を中心に収集、提供。所蔵資料数は、図書資料約6,700、購読雑誌48、日本文化紹介等16ミリ映画フィルム115、日本文化紹介ビデオ110。利用者は関西地区在住の外国人日本研究者、芸術家など。 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------------|------------------|----------|--|
| 10 | 【後援事業】 国際交流企画 Meet in Kyoto | 財団法人 大学コンソーシアム京都 | 07.06.29 | 財団法人 大学コンソーシアム京都への後援名義付与事業 京都で研究活動をしている留学生、研究者の相互交流及び京都の大学関係者、国際交流団体との交流をはかることにより、相互のネットワークづくりを行う。 |
| 11 | 2007 京都国際文化協会エッセーコンテスト<<私の見た日本>> | 財団法人 京都国際文化協会 | 07.09.23 | 財団法人京都国際文化協会への後援名義付与事業 海外から日本を訪れた人々を対象に、1978年から毎年エッセーコンテストを開催。応募作品を日本語、英語の部に分けて選考、京都支部長も選考委員の一員。優秀作品はその全文と要約を財団法人京都国際文化協会のニューズレター及びホームページで公開し、今の日本がどう見られているかを多くの日本人、外国人に知らせることを目的に実施。 |

京都支部

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------------|--------------------|-----------------------|---|
| 12 | 第59回毎日書道展関西展英語作品解説会 | 財団法人 毎日書道会関西支部 | 07.08.04 | 財団法人毎日書道会関西支部への後援名義付与事業書の国際化の流れを受け、2007年8月1日～8月5日開催の第59回毎日書道展関西展に於て、外国人を対象とする英語による作品解説を実施。日本の伝統文化である書に関心を持つ外国人は少なくない。京都を中心に、関西に住む外国人留学生、研究者らに、書の意義と歴史などを紹介する。 |
| 13 | 京都市国際交流会館2007年度「外国人のための日本語弁論大会」 | 京都市 総務局 国際化推進室 | 07.11.25 | 京都市総務局国際化推進室への後援名義付与事業世界文化自由都市宣言を行った京都市が、その理想実現のための具体的施策として、1987年以来毎年開催し、今回で20回目。「日本での経験を生かすため」をテーマに相互理解と国際親善の更なる促進を目的に開催。入場無料。参加者約200名。 |
| 14 | 国際文化フォーラム | 財団法人 京都府国際センター | 08.01.26 | 財団法人京都府国際センターへの後援名義付与事業京都府南部地域の国際化を一層進めるため、財団法人京都府国際センターと京田辺市とが共催で、作家の林望氏による講演会及び講演会終了後に中村順一国立京都国際会館館長との対談を実施。 |
| 15 | 第5回 書と非書の間 | 特定非営利活動法人 京都藝際交流協会 | 08.01.15～ 08.01.25 | 特定法人京都藝際交流協会への後援名義付与事業「書と絵画の違い」を探る企画展覧会の第5弾。故 中村二柄先生の呼びかけで始まった本展覧会は、墨から生まれる造形の面白さから、文学芸術、絵画的表現へとひろがり、様々な反響が寄せられている。既成概念に捕らわれず、再度『書く（描く）こと』を展覧会形式で検証。会期中作家によるワークショップを実施。 |
| 16 | きょうと北部21世紀セミナー | 財団法人 京都府国際センター | 08.03.08 | 財団法人京都府国際センターへの後援名義付与事業京都府北部地域の国際化の促進と国際社会を担う人材の育成を図ることを目的にセミナーを開催。地球温暖化対策をテーマに取り上げ、外務省地球環境問題担当大使の小町恭士氏による講演のあと、京都大学大学院地球環境学堂教授の上田和弘氏との対談を須藤真志京都産業大学教授のコーディネートにより実施。 |

ローマ日本文化会館

合計額 126,170,515円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------------|-----|---------------------|-------------------------------------|-----------------------|---|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | 天正・慶長遣欧使節とその時代展 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.02.19～ 07.04.20 | イエズス会宣教師A・ヴァリニャーノや天正・慶長の遣欧使節団等を通じた日伊の交流をイタリア各地の美術館が所蔵する絵画や漆器・漆家具、古文書などによって紹介する展覧会 |
| 2 | 巡回展日本のクレイワーク | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.05.23～ 07.07.06 | 日本のみならず世界でも活躍するアーティストによる、ここ30年ほどの日本のクレイワーク作品約40点を紹介する展覧会 |
| 3 | 岡部昌生 展 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | ローマ大学現代美術ラボラトリー美術館 | 07.09.08～ 07.10.20 | 『私たちの過去に、未来はあるのか。』と題し、広島、パリ、ヴェネチアそしてローマのディテールをフロッタージュの技法を使ってよみがえらせる第52回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展 日本館出展作家岡部昌生の展覧会 コミッショナー港千尋（多摩美術大学教授）らを交えたシンポジウムも開催 |
| 4 | 巡回展パラレル・ニッポン 現代日本建築展 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.11.07～ 08.01.07 | バブル期からポストバブル期にかけてに竣工した日本の建築をその社会文化状況とあわせて写真と模型で紹介する展覧会 同展企画者三宅理一（慶応義塾大学教授）による講演会も開催 |
| 5 | 木版リトグラフ展 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | フォルメッコ市版画・グラフィックセンター ローマ市美術アカデミー | 08.02.02～ 08.03.17 | 小作青史（多摩美術大学名誉教授）を中心とする25名の作家による、木を使ったリトグラフ作品の展覧会 関連ワークショップをローマ市美術アカデミー、フォルメッコ市版画・グラフィックセンターで開催 |
| | 【公演】 | | | | | |
| 6 | 室内楽コンサート | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.04.20 | 岩崎勇（オーボエ、京都市立芸術大学名誉教授）、ミケーレ・インチェンツォ（クラリネット、元サンタ・チェチリア音楽院教授）、喜田ルーフォ容子（ピアノ）によるコンサート |
| 7 | ヒダじんぼ パーカッションコンサート | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.05.14 | 日本を代表するパーカッショニスト、ヒダノ修一（太鼓）、神保彰（ドラムス）によるユニット「ヒダじんぼ」のコンサート |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------|------|---------------------|------------|-----------------------|--|
| 8 | ジャズ・フロム・ジャパン 2007 クリヤマコト | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.05.28～ 07.05.29 | ピアニスト・クリヤマコトの演奏会 初日は、クリヤマコトが音楽ディレクターを務めたアニメーション「NITABOH」を上映、クリヤマコトによるピアノ演奏を実施 二日目は、クリヤマコト、ジャンルカ・レンツイ（ベース）、ニコラ・アンジェルッチ（ドラムス）によるジャズコンサートを実施 |
| 9 | 日唄伊現代音楽コンサート | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | オーストリア文化会館 | 07.06.14 | 杉山洋一（指揮）、イカルス・アンサンブルによる、シェーンベルク、近藤譲、ルカ・ロンバルディの曲のコンサート ロンバルディ氏による曲の紹介と自身の日本体験についてのスピーチを実施 |
| 10 | JAZZ の探求 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.10.19 | アレッサンドロ・カルボナーレ（クラリネット）、黒田亜樹（ピアノ）、ピエールカルロ・サルビア（サクソフォン・クラリネット・ピアノ）によるコンサート ストラビンスキー、ブラームスの作品のジャズ編曲版などを演奏 |
| 11 | 自然の声 邦楽コンサート | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.11.19 | 田嶋直士（尺八）、田嶋謙一（尺八）、平田紀子（箏）、菊央雄司（三絃）による邦楽コンサート |
| 12 | 伝統とテクノロジーの狭間 トランペットコンサート | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 08.01.30 | 曾我部清典（トランペット）、阿部加奈子（ピアノ）によるトランペットの名曲やポップス、コンピュータグラフィックと合わせた実験的な曲のコンサート |
| 13 | 愛の詩歌と空の歌声 カウンターテナーコンサート | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 08.03.17 | 彌勒忠史（カウンターテナー）によるイタリア古典歌曲コンサートを開催。 伴奏は、シルビア・ランバルディ（チェンバロ） |
| 14 | アルバニア国立放送交響楽団公演 | ティラナ | 芸術アカデミーホール | | 07.05.18 | アルバニア国立放送交響楽団演奏会に柳澤寿男（指揮者）、塩田純子（ピアノ）が客演するにあたり協力 |
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 15 | フォスコ・マラーニ『日本』イタリア語版 出版記念会 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.04.23 | フォスコ・マラーニの著作『日本』のイタリア語版の出版を記念しての講演会 講演者は、ジャン・カルロ・カルツァ（ヴェネチア大学カ・フォスカリ教授）、ジョルジョ・アミトラノ（ナポリ大学オリエンターレ教授）、フランコ・マルコアルディ（評論家） |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|-----|-------------------------|---------------------------------|-----------------------|--|
| 16 | 欧州日本研究 図書館会議 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | | 07.09.21～ 07.09.24 | ヨーロッパにある日本研究資料を所蔵 する図書館の関係者が一堂に会し、研 究発表を行なう会議を開催 |
| 17 | 「日本のテキ スタイル文 化」講演会 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | | 07.09.24～ 07.09.29 | シルクロードをたどりつつ、日本で発 展した染織文化を紹介する『シルク ロードプロジェクト』の記念事業とし て、「日本のテキスタイル文化」と題す るわたなべひろこ（多摩美術大学名誉 教授）の講演会を開催 あわせて 「Fiber As Art」 ミニアチュール展と 風呂敷ワークショップを実施 |
| 18 | 朝倉 摂 講演 会 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | | 07.10.12 | 日本を代表する舞台美術家である朝倉 摂による講演会を開催。これまで携 わってきた舞台の映像を紹介しなが ら、自身の舞台美術制作に関する講演 を実施 |
| 19 | 「J-DANCE SPECIAL：日本 のコンテンポ ラリーダンス —その背景 と現在」講演 会 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | ローマ・ヨー ロッパ・フェ スティバル財 団 | 07.12.03 | 日本のコンテンポラリーダンス公演 「J-DANCE SPECIAL」がローマ・ヨー ロッパ・フェスティバルにおいて開催 されるのに際して、國吉和子（舞踏評 論家）による日本のコンテンポラリー ダンスの歴史をたどる講演会を実施 |
| 20 | 「21世紀の日 本のアニメー ション」講演 会 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | 在イタリア大 使館 | 07.12.14 | 櫻井孝昌（デジタルハリウッド大学・ 大学院教授）による日本のアニメー ションに関する講演会。日本のアニ メーションの特徴やアニメーション産 業の現状について解説 |
| 21 | 「北野武 ひ とつの神話の 歴史 ひとつ の歴史の神 話」シンポジ ウム | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | ミネルバ・ラ ロビデオ出版 グループ | 08.02.12 | ローマ日本文化会館日本映画特集「エ キセントリック・ヴィジョン」関連事 業として、映画監督北野武をテーマに したシンポジウムを開催 S・クル ティ（ミネルバ・ラロビデオ出版グ ループ）、E・ゲッツィ（映画評論家）、 D・フマロラ（イタリア国営放送RAI）、 C・ヒンターマン（映画評論家）、D・ ヴィッラ（映画評論家）が参加 |
| 22 | 『小津の反映 画』シンポジ ウム | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | ミネルバ・ラ ロビデオ出版 グループ | 08.03.11 | ローマ日本文化会館日本映画特集「エ キセントリック・ヴィジョン」関連事 業として、吉田喜重著『小津の反映画』 イタリア語版の出版を記念し、小津安 二郎に関するシンポジウムを開催。吉 田喜重（映画監督）、岡田茉莉子（女 優）、E・ゲッツィ（映画評論家）、土肥 秀行（東京大学助手）が参加 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------------|-------|-------------------------|--------------------------|-----------------------|--|
| 23 | 草月流 創流 80周年記念イ ベント | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | Sogetsu Italia | 07.05.09～ 07.05.11 | 草月流の創流80周年を記念して、リー ナ・アリチノ（ローマ草月流支部）ら によるいけばなデモンストレーション を実施 あわせて作品の展示も実施 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 24 | 石井 聰互監 督特集 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | | 07.04.01～ 07.04.26 | 前年度開始事業 石井聰互作品「狂い 咲きサンダーロード」、「ELECTRIC DRAGON 80000V」、「逆噴射家族」、 「水の中の八月」、「五条霊戦記」、 「DEAD END RUN」の5作品を上映 |
| 25 | 成瀬 巳喜男 監督特集 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | | 07.10.02～ 08.01.29 | 成瀬巳喜男監督の作品の映画上映会を 開催。2003年に行なった成瀬巳喜男監 督回顧上映会に続き、前回紹介できな かった作品を含め、「めし」「山の音」 など30本の作品を上映 |
| 26 | 「エキセント リック ビ ジョン」日本 映画上映会 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | ミネルバラ ロビデオ 出 版グループ | 08.02.12～ 08.04.08 | ラロビデオ社の協力により同社の DVDと国際交流基金本部およびロー マ・フィルムライブラリー所蔵プリン トを用いた日本映画上映会を実施。北 野武、吉田喜重、小津安二郎等の11作 品を上映 |
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 27 | 日本語普及講 座運営 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 2007年6月まで前年度開講の4年制コー スと入門48時間コース、入門24時間 コースを開講 10月からは4年制コー ス、入門24時間コース、入門48時間コー スを改編した夜間コースを開講。ま た、上級者向け4コースも開講 |
| 28 | 日本語講座拡 充 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | | 07.04.01～ 08.01.31 | 日本語講座の拡充に必要な教室の整備 を実施 |
| 29 | 欧州日本語教 師研修 | コルマール | アルザス日本 学研究所 | アルザス日本 学研究所 | 07.06.01～ 07.08.31 | フランスのアルザス日本学研究所にお いて行なわれた欧州の日本語教師に対 する研修会。5名の日本語教師を派遣 |
| 30 | ロンバルディ ア州高等学校 日本語教育セ ミナー | ミラノ | ロンバルディ ア州教育庁 | | 07.04.01～ 08.03.31 | ロンバルディア州で実施されている高 校における日本語教育を支援するた め、教師向けセミナーを実施 |
| 31 | 日本語会話会 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文 化会館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | ローマ日本文化会館日本語講座の受講 生とローマ在住の日本人が日本語会話 の練習を行なう会を月に1度開催 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------|--------------|--------------------------------------|----------------|-----------------------|--|
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 32 | 図書館運営 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | イタリアの日本研究図書館およびインフォメーション・センターとしての役割を担う 日本文学、演劇、社会科学、歴史などの分野を中心とした、大学講座関係の洋書の収集に重点を置き、一般和書については、近年、最新の日本文学の潮流や社会事情を知ることのできる書籍の充実も目指す インフォメーション・センターとしては、辞書・事典・辞典・人名録・各種年鑑や団体便覧等の参考資料の収集と同時に、有料データベースやCD-ROM、インターネットなどの検索ツールの積極的な活用を目指す 蔵書数は日本語19,492冊、外国語12,993冊、視聴覚資料1,735冊、登録会員数5,831名、来館者数236名 |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 33 | ホームページ 運営管理 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 会館案内ホームページの運営管理 |
| 34 | 月例事業案内 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 会館事業を紹介するプログラム（事業案内）を年4回、各回3000部を発行 |
| 35 | 年報 | ローマ | 国際交流基金 ローマ日本文化会館 | | 07.11.01～ 08.03.31 | 平成17年度、平成18年度の会館事業を総括する年報を作成 |
| | 【本部事業受入】 | | | | | |
| 36 | ヴェネチア・ ビエンナーレ | ヴェネツィア | ヴェチアピエンナーレ日本館 | | 07.06.10～ 07.11.21 | 第52回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展において、『私たちの過去に、未来はあるのか。』と題し、岡部昌生の作品を展示 コミッショナーは、港千尋（多摩美術大学教授） |
| 37 | 茂山狂言公演 | ボローニャ ローマ | ボローニャ・ ヴィータ劇場 ローマ オー ディトリウム | シンバレイ ン文化協会 | 07.04.11～ 07.04.15 | 茂山千之丞ほか茂山家による狂言公演を開催 演目は『棒縛り』『濯ぎ川』 |
| 38 | BATIK公演 | ローマ | パラディウム 劇場 | | 07.06.19 | コンテンポラリー・ダンスグループBATIKの公演を開催 演目は、『SHOKU』 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------|-----------------------|-----------------------|---|
| | 【助成事業】 | | | |
| 39 | 「日本月間」Is IAOエミリアロマーニヤ支部助成 | Is IAOエミリアロマーニヤ支部 | 07.06.29～ 07.06.30 | Is IAOエミリアロマーニヤ支部実施の日本紹介事業に対して助成 |
| 40 | 「TRAMEDAUTORE 演劇祭」助成 | TRAMEDAUTORE 演劇祭 | 07.09.13～ 07.09.23 | TRAMEDAUTORE演劇祭の日本特集に助成 |
| 41 | 「COMICON マンガ・アニメ国際展」助成 | COMICON マンガ・アニメ国際展 | 07.04.27～ 07.04.29 | COMICON マンガ・アニメ国際展において、日本の漫画家を招へいするにあたり助成 |
| | 【会場提供】 | | | |
| 42 | 俳句賞授賞式 | イタリア俳句友の会 / 裏千家ローマ出張所 | 07.05.15 | イタリア俳句友の会及び裏千家ローマ出張所による第20回俳句賞授賞式に協力 |

ケルン日本文化会館

合計額 141,813,041円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------|-----|--------------------------|--------------------------|-----------------------|--|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | 新世代アーティスト展 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 07.03.09～ 07.05.18 | 本部巡回展。1990年以降大きな注目を集めた11名の現代美術作家による展覧会。本部巡回展。 |
| 2 | 対話展 佐藤・Schellhorn | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 07.06.15～ 07.07.31 | 日独の若手作家、佐藤、Schellhornによる2人展。人間と自然、都会をテーマにした写真作品を紹介。 |
| 3 | 日本の現代写真展 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 07.09.07～ 07.11.16 | 1970年代以降の現代写真を、人物像と風景というふたつの枠組みから紹介する。23名の写真家の作品により時代の息吹と日本社会の変容が浮かび上がる。本部巡回展。 |
| 4 | 対話展 鈴木・Schniotalla | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | altropol | 07.11.30～ 08.01.11 | 日独の若手作家、鈴木、Schniotallaによる2人展。ともに1976年生まれで「空間」を重要なコンセプトとした作品を紹介する。 |
| 5 | ケルン美術館の長い夜 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | ケルン市 | 07.11.03～ 07.11.04 | 9月7日から開催中の「日本の現代写真1970年代から今日まで－同時代へのまなざし」展の他に合気道と剣道のデモンストレーション、柔道に関する映画の上映等を実施。 |
| 6 | パラレルニッポン展 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 08.01.23～ 08.03.31 | 本部巡回展。90年代から2000年代初期までの日本の現代建築を日本社会の変貌と建築との関係という観点から取り上げる。関連企画として、出品建築家の一人藤本壮介の講演会を開催。 |
| | 【公演】 | | | | | |
| 7 | ケルン音楽トリエンナーレ | ケルン | Kulturbunker Muelheim | Kulturbunker Muelheim | 07.04.28～ 07.05.18 | ケルンで行われる音楽祭に、日本から灰野敬二が参加。 |
| 8 | ヒダじんぼ ドラム・デュオ公演 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 07.05.16 | 日本を代表するパーカッションニスト、ヒダノ修一、神保章が和太鼓とドラムの新しいパーカッションスタイルを披露。 |
| 9 | 上々颱風 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 07.06.01 | 日本の人気ポップ・グループ上々颱風欧州ツアー。デュッセルドルフ日本デーにも参加。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|--------------------|--------------------------|------------------------------|---|--|-----------------------|---|
| 10 | ホイテング・グレーマーフルート・打楽器コンサート | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | 07.06.26 | ケルン在住のフルート奏者カミラ・ホイテングを中心としたアンサンブルのコンサート。日本の現代音楽作曲家らによる新作を上演。 |
| 11 | ReflexionK | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | ケルン現代音楽協会 | 07.07.20 | Reflexion Kが音楽（聴覚）、カリグラフィ（視覚）を媒体として一つの作品の生成過程を紹介。また、アンサンブルの主宰者ペーター・ガーンによるワークショップも実施された。 |
| 12 | 津軽三味線コンサート | ケルン、ミュンヘン、ベルリン | 国際交流基金ケルン日本文化会館、Akademie der Wissenschaften、Kuenstlerhaus am Leimbach Platz | ブラザー、ミュンヘン総領事館 | 07.10.15～ 07.10.21 | 津軽三味線演奏の若手第一人者が南部地方の伝統曲を演奏。 |
| 13 | グループ「日本の音」コンサート | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | 07.11.16 | 尺八と箏のアンサンブルによる現代邦楽公演。 |
| 14 | 燐光群公演「屋根裏」 | フランクフルト | ガルス劇場 | ガルス劇場 | 08.02.15～ 08.02.16 | 坂手洋二率いる燐光群の「屋根裏」のドイツ公演。 |
| 15 | 日本の春コンサート | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | ケルン現代音楽協会 | 08.03.18 | アーヘン現代音楽アンサンブルによる日本の現代音楽の室内楽曲の紹介。 |
| 【講演・シンポジウム】 | | | | | | |
| 16 | 辻仁成講演会 | ケルン ベルリン ミュンヘン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 森鷗外記念館 ミュンヘン文学の家 | 文学の家（ケルン+ミュンヘン）、ミュンヘン大学、森鷗外記念館、ミュンヘン・ピーパー出版社、在独日本国大使館、ミュンヘン日本国総領事館、JTI | 07.05.07～ 07.05.09 | 日本現代文学紹介の一環として、辻仁成著「太陽待ち」の翻訳が昨年出版されたのを機に辻仁成を招き講演会を実施。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------|-----|-----------------|-----------------|-------------------|--|
| 17 | 金井勝監督講演会 | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | オーバーハウゼン国際短編映画祭 | 07.05.10 | シュールレアリスムの映像詩人といわれる金井監督の作品を上映するとともに、同監督の講演会を開催。 |
| 18 | 日本建築についての講演会 | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | 07.06.29 | アーヘン大学シュパイデル教授による講演会。20世紀ドイツの建築に、日本建築がどのような影響を与えたかを紹介。 |
| 19 | 戦後日本政治に関する講演会 | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | 07.09.18 | 箕原俊洋神戸大学教授が日米関係の歴史、イラク戦争や9.11同時多発テロ事件の日米外交関係にもたらした影響、今後の日米外交関係の展望等につき講演。 |
| 20 | ダムタイプ高谷史郎講演会 | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | 07.11.30 | ダムタイプのリーダーである高谷史郎がダムタイプ及び自作を紹介しつつ、日本のデジタルアートについて講演。 |
| 21 | 漆とライフスタイルの変遷講演会 | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | 07.11.09 | ケルン東アジア美術館日本部長正野スラーデクによる日本の漆工芸についての講演会。 |
| 22 | 日本文学講演会 | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | 07.11.30 | ベルリン自由大学日本研究学科長日地谷キルシュネライトの朗読により代表的な日本文学を紹介。 |
| 23 | パンツァー講演会 | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | ケルン日独協会 | 08.01.25 | 日本近代史研究者ペーター・パンツァーがプロイセン王国公使として来日したカール・フォン・アイゼンデッヒャーの足跡と生涯を辿る。 |
| 24 | クリストフ講演会 | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | 08.02.08 | デュッセルドルフのK21のキュレーターのクリストフが文化人として日本に招へいされたことを機会に視察した日本の現代美術、建築を紹介。 |
| 25 | 藤本壮介講演会 | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | 08.03.07 | 若手建築家の藤本壮介が建築を設計する上の哲学及び最新作を含む自作を語る。 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 26 | 新着映画特集 | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | 07.03.01～07.04.30 | 平成18年度に新規ケルンFLに購送された作品の紹介 |
| 27 | 北野武監督特集 | ケルン | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | 07.05.03～07.07.30 | 北野武監督の作品特集 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----------------|----------------------------|------|---------------------|-------------------|-----------------------|--|
| 28 | 森山大道特集 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | SK財団 | 07.09.10～ 07.10.29 | SK財団にて個展を開催中の森山大道が選定する映像上映会。自らに影響を与えた作品、自身のドキュメンタリー作品などの映画作品を上映。SK財団森山大道展関連企画。 |
| 29 | アニメーション特集 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 07.11.05～ 07.12.20 | 戦後すぐから現代に至るまでの芸術的なアニメーション映画の特集 |
| 30 | 新着映画特集 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 08.01.07～ 08.02.29 | 平成19年度に新規ケルンFLに購送された作品の紹介 |
| 31 | 五所平之助特集 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 08.02.01～ 08.06.30 | 五所平之助監督24作品の特集 |
| 32 | ベルリン図書館シンポジウム | ベルリン | ベルリン日独センター | ベルリン日独センター | 08.02.22 | アジア関連の文献を有している図書館の司書等関係者の参加で、レファレンスの向上を重点に据えたシンポジウム・討論を実施。 |
| 【日本語教育】 | | | | | | |
| 33 | 日本語通訳セミナー | ケルン | マインツ大学 | マインツ大学、ベルリン日独センター | 07.08.13～ 07.08.24 | マインツ大学応用言語学・文化学部の主催、当館、ベルリン日独センターの共催。企画開発型助成の枠組みで同大学における日独通訳者養成夏期集中セミナーを実施した。 |
| 34 | ヨーロッパ日本語教育研修会 | | | | 07.09.05～ 07.09.08 | ロンドンで行われたヨーロッパ日本語教師会に参加。 |
| 35 | 日本語講座 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | | 初級～上級まで9レベル11クラス（半期制）を開講。2007年度は延べ311人が受講した。 |
| 36 | ベルリン日本語教師研修会 | ベルリン | ベルリン日独センター | ベルリン日独センター | 08.02.01～ 08.02.02 | 日本語教師のネットワーク化が必要とされている旧東独地域の日本語教師を対象に、学習者層ごとの教授法に関するアドバイス、最新の日本語教材とその活用法等を紹介。 |
| 37 | Expedition Colonia 日本語入門講座 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | ケルン市 | 08.03.28 | ケルン市主催の大型文化事業への参加。挨拶、自己紹介等簡単な日本語表現に触れるとともに、和紙による箸置き作成など、日本の生活文化も体験。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------|-----|---------------------|------|-----------------------|--|
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 38 | 図書館運営 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 図書の貸出、参考調査（521件）。収蔵資料数：書籍20,525冊、雑誌246タイトル、視聴覚資料7,292点。入館者数：3,270名。貸出図書冊数：3,231冊、貸出視聴覚資料：1,022点。新規貸出登録者：214名 |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 39 | 会館催し物案内発行 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 会館の催し物、日本語講座、図書館、助成・協力事業について、事業案内パンフレットを隔月毎に年5回発行（毎回8,000部）。 |
| 40 | 日独翻訳賞調査 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日独翻訳賞選考のため、近年ドイツ語圏において翻訳・出版された日本語の書籍について調査。 |
| | 【本部事業受入】 | | | | | |
| 41 | 茂山千之丞狂言公演 | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | 07.04.03 | 茂山グループ狂言の欧州公演の一環。新作「濯ぎ川（すすぎがわ）」と古典の名作「棒縛（ぼうしばり）」を上演。 |
| 42 | 横浜トリエンナーレ | | | | | ドイツで開催されたトリエンナーレ会議に対する協力 |
| 43 | 情報収集プロジェクト | ケルン | 国際交流基金 ケルン日本文化会館 | | | ドイツにおける文化情報関連収集（本部事業） |
| 44 | 日本語能力試験 | | | | | 本部事業 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------|--|-----------------------|---------------------------------|
| | 【助成・協力事業】 | | | |
| 45 | 現地文化事業参加 5-7-5展 | Hamburg Kusthaus | 07.05.06～ 07.05.20 | ハンブルクのクンストハレで日本若手作家の展覧会 |
| 46 | 現地文化事業参加 Ohayo Japan演劇祭 | Ohayo Japan | 07.06.11～ 07.06.21 | ライブツッヒで開催される日本のパフォーマンスを紹介する演劇祭。 |
| 47 | 現地文化事業参加 T.A. Art Projects | Cultural Forum for Photography Berlin | 07.09.10～ 07.09.23 | 折本立身による展覧会とパフォーマンス |

海外事務所

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|--|-----------------------|--|
| 48 | 現地文化事業参加 北島敬三写真ワーク ショップ | Ostkreuzschule fuer Fotografie und Gestaltung | 07.10.12 | 写真家北島敬三によるワークショップ |
| 49 | 現地文化事業参加 Ernst Barlach展 | Ernst Barlach Haus | 07.09.02～ 07.11.28 | バルラッハと日本人写真家の写真展 |
| 50 | 現地文化事業参加 8コンテナ展 | Kunst im Hafen e.V. | 07.08.24～ 07.09.02 | デュッセルドルフ在住の若手作家8名によるコンテナ を展示スペースとして利用した展覧会 |
| 51 | 現地文化事業参加 go4school | go4School e.V. | 06.09.22～ 06.09.24 | 2006年実施事業。キャラクターデザイン等に関する国際 会議。 |
| 52 | 現地文化事業参加 e-mex neue musik ensemble | e-max neue musik ensemble | 07.03.26～ 07.03.27 | 2006年度事業。現代音楽のコンサート |
| 53 | 宇高会 | 文化庁、JTI、 トヨタ、 Staatsschauspiel Dresden, RBB Kulturradio, ベル リン日独協会、 | | 協力事業。宇高会のドイツにおける公演につき、実施受 入機関との調整、ツアーのアテンドおよび公演時の解説 を行った。 |
| 54 | Tage der Neuen Musik 2007 "Zipangu" | ヴェルツブルク音楽 大学、シーボルト博 物館 | 07.05.06～ 07.05.11 | 20年来続いている現代音楽フェスティバル。日本の伝統 音楽と 現代音楽のコンサート（吉村七重ほか）とワークショッ プ、 ディスカッションなど。 |
| | 【会場提供】 | | | |
| 55 | ケルン音楽の夜 | ケルン市 | 07.09.15 | ケルン市内の20を越える会場で催される「ケルン音楽の 夜2007」に参加。 |
| | 【文化備品・視聴覚資料貸出】 | | | |
| 56 | フィルムライブラ リー | | 07.04.01～ 08.03.31 | ケルン日本文化会館が所蔵する劇映画（167作品）および 文化映画（117作品）を、ドイツ語圏の大学や博物館等外 部機関における非営利上映のために提供した。外部施設 での上映回数は109回、のべ109本。 |
| 57 | 所蔵展覧会貸出 | | 07.04.01～ 08.03.31 | ケルン日本文化会館が所有する展覧会セット（日本人形 展、「大和路」展、世界遺産展等6セット）の貸出し。貸 出し先は、エッセン大学1件。 |
| 58 | Buddhistische Skulpturen aus Yamato | Eko Haus | 07.10.21 | ローマ文化会館所蔵の『大和の仏像』展をデュッセルド ルフに巡回展示。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|------------------|----------|--------------------------|
| 59 | Pracht und Askese, Buddhismus in Japan | Museum Villa Rot | 07.08.05 | ローマ文化会館所蔵の『大和の仏像』展を巡回展示。 |

パリ日本文化会館

合計額 613,311,283円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------------------|----|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------|---|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | 棟方志功展 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館展示ホール | 大原美術館 | 07.03.07～ 07.04.07 | 大原美術館コレクションによる棟方志功の版画、屏風、襖絵、水彩等の肉筆画を含む多彩な作品を紹介。 |
| 2 | アジアのキュビズム展 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館展示ホール | 東京国立近代美術館、韓国国立現代美術館、シンガポール美術館 | 07.05.16～ 07.07.07 | パリで20世紀初頭に始まったキュビズムをテーマに、日本を始め、中国、インド、インドネシア、韓国、シンガポール、マレーシア、スリランカ、フィリピン、タイ、ベトナムの計11カ国のアジア作品を紹介することにより、アジアの近代美術を歴史的に回顧し、アジア各国で欧州の文化運動がどのように受容され変貌を遂げたかを紹介する展覧会。 |
| 3 | 黒田清輝から藤田嗣治まで パリに学んだ 洋画家たち展 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館展示ホール | 東京藝術大学 | 07.10.24～ 08.01.26 | 日本の洋画の近代化に功のあった黒田清輝から藤田嗣治まで、フランスに留学した洋画家たち12名の滞欧中の作品と帰国後の作品約50点を4部構成で紹介・展示する、フランスでは初めての企画。 |
| 4 | 能面展 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館フォワイエ | 宇高会 | 07.12.07～ 07.12.09 | 金剛流宇高能公演にあわせて能面30点を展示。 |
| 5 | 在仏日本人会 アーティスト クラブ25周年 記念展 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館展示ホール | 在仏日本人会 アーティスト クラブ | 08.02.13～ 08.02.23 | 在仏日本人会アーティストクラブの設立25周年を記念した、アーティスト会員による作品展。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------|----|----------------------------|-------------------------------------|-----------------------|---|
| | 【公演】 | | | | | |
| 6 | ベケットと狂言 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 07.04.06～ 07.04.07 | 生誕100周年を迎えるサミュエル・ベケットをめぐるパリ・ベケット・フェスティバル参加企画。論文「ベケットと能」(高橋康也)で指摘されているベケット劇と能の差異と形式的・構造的類似性を出発点に、同論文でも挙げられている『私じゃない』(バーバラ・ユット演出、茂山逸平出演)と、狂言方の茂山あきら・童司による『言葉なき行為Ⅰ、Ⅱ』を上演。アフター・トークでベケット劇と能・狂言めぐり意見を交わした(本部主催派遣事業) |
| 7 | 水曜日のミニ・コンサート | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール | | 07.04.18～ 08.02.27 | 毎月第4水曜日の定期コンサート。4月18日:ヴァイオリニスト梁美沙。5月23日:ピアニスト橘高昌男。6月27日:ユーフォニアム奏者の岩黒綾乃。10月17日:琴奏者の日原史絵。11月28日:竹本越孝(浄瑠璃)、鶴澤三寿々(三味線)による女流義太夫節。12月19日:ジャズの水口恵美子(ピアノ)トリオ。1月16日:曾我部清典(トランペット)と阿部加奈子(ピアノ)の競演と、カルテット・アポリネールによる演奏。2月27日:小林真理(メゾソプラノ)公演。 |
| 8 | 東京藝大附属 高校オーケストラの演奏会 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | CNSM de Paris、東京 藝術大学附属 高校 | 07.04.25 | 東京藝術大学音楽学部附属高等学校オーケストラの演奏会。尾高忠明指揮。バッハ「ブランデンブルグ協奏曲4番」、レスピーギ「リュートのための古風な舞曲とアリア」、ドヴォルジャーク「交響曲第8番」。ユネスコでの公演に引き続きパリ日本文化会館でも好評を博した。 |
| 9 | ヒダじんぼ | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 07.05.11～ 07.05.12 | ともに日本を代表するパーカッショニスト、ヒダノ修一(太鼓)、神保彰(ドラムス、DTXTREMEドラムトリガーシステム)が組んだ二人組のユニット「ヒダじんぼ」。超絶技巧のテクニックにより、和太鼓とドラムという和と洋の融合を果たした新しいパーカッションスタイルのコンサート(本部主催派遣事業) |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------------|----|----------------------------|-----------------|-----------------------|--|
| 10 | チェルフィッチュ『3月の五日間』 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | チェルフィッチュ（岡田利規） | 07.05.24～ 07.05.26 | 現代若者言葉を駆使しつつ登場人物が複雑に変化する脚本と、日常的な動作を取り入れた独特な身体表現で、日本の演劇界・ダンス界双方から今最も注目され、2007年5月にはベルギーのクンステン・フェスティバルに参加する、岡田利規率いるチェルフィッチュによる公演。第49回岸田國士戯曲賞受賞作『3月の五日間』を上演。渋谷のイラク派兵反対デモとラブ・ホテルに5日間泊まってしまう若者らの日常が交錯するという筋で、注目を浴びた。 |
| 11 | 演歌の歌姫 キム・ヨン ジャ・コン サート | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 07.06.21～ 07.06.22 | フランス全土を挙げての音楽の祭典参加企画。日本の代表的演歌歌手であるキム・ヨンジャによるコンサート。日本の大衆歌謡曲である演歌を紹介。翌日の22日は、会館会員向けの特別コンサートとして実施。 |
| 12 | 金井圭介 『ヌーボー・ シルク』 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 07.09.12～ 07.09.13 | 70年代にフランスで生まれたヌーボー・シルク（現代サーカス）。この分野で、フランスはもとより欧州各国で目覚ましい活躍をしている金井圭介が新作Gai-Kotsu（ガイ・コツ）を披露。幻想で滑稽な不思議な世界を表現。 |
| 13 | Jazz in Japan special 渋さ知らズ | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | 渋さ知らズ オーケストラ | 07.09.28～ 07.09.29 | ジャズ・ベーシスト不破大輔を中心に結成された、ジャズを出発点としたクロス・ジャンルなビッグ・バンド。十数名の管楽器隊に加え、ギターやキーボード、キャバレー・ダンサーに舞踏家まで参加。ドイツを中心に欧州でも多くのツアーを実施し高い評価を得てきたが、今回ナント市で初めてのフランス公演を実施する機会に、パリ日本文化会館でも公演を実施。 |
| 14 | 大駱駝艦壺中 天『2001年壺 宙の旅』 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | 大駱駝艦 | 07.10.04～ 07.10.06 | 磨赤児率いる大駱駝艦の若手グループ壺中天による『2001年壺宙の旅』公演。向雲太郎振舞・舞態、磨赤児総監修。舞踏第一世代である磨赤児の舞踏を継承しつつ乗り越える若手舞踏家の作品。パリ日本文化会館10周年とNYのジャパン・ソサエティ100周年を設立35周年の大駱駝艦がつないだ企画。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|----|----------------------------|--------------|-----------------------|--|
| 15 | 宇高会能公演 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | 金剛流宇高会 | 07.11.06～ 07.11.09 | 金剛流能楽師の宇高通成率いる宇高会による能公演。日毎に、古典『葵上』『船弁慶』、新作『祈り』を、狂言『隠狸』『附子』『梟』と併せて上演。併せて、能のワークショップを実施するとともに、能面師でもある宇高氏のコレクションによる能面展を開催し、日本を代表する古典芸能である能楽を多角的に紹介。 |
| 16 | Jazzycolors 椎名誠トリオ | パリ | セルビア文化 センター | 椎名誠トリオ | 07.11.26 | 在パリ外国文化機関有志共催、チェコ文化センター・エストニア文化センター・ハンガリー文化センター・スウェーデン文化センターを会場に、各国のミュージシャンが出演する、今年5回目の国際色豊かなジャズ週間企画。日本からは椎名豊トリオが出演。 |
| 17 | J-Dance 07 solos | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 07.11.30～ 07.12.08 | 日本のコンテンポラリー・ダンスを紹介する企画。会館10周年を記念して、舞踏から今日までの流れを、男性と女性のソロを通じて俯瞰する。出演は、山田せつこ、黒田育代、白河直子、笠井叡、山崎広太、梅田宏明。併せて、舞踊評論家の國吉和子による日本のコンテンポラリー・ダンスに関する講演会を実施。 |
| 18 | 江戸糸操り人 形『牡丹燈籠』 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | 結城座 | 07.12.13～ 07.12.15 | 370年の歴史を持つ江戸糸操り人形の一座である結城座出身の結城一糸を中心に結成された江戸糸操り人形座による新作『牡丹燈籠』公演。生き生きとした人形達が、美しくも恐ろしい怪談を物語る。大久保昌一良演出、稲葉明德・Yas-Kaz・GOTH-TRAD音楽、中島知子出演。紅白歌合戦にもこの後出場した中村中（あたる）が歌い手として全編登場。 |
| 19 | ミュージカル 『羽衣伝説』 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | 羽衣プロジェ クト | 08.01.24～ 08.01.26 | 福島の子供向けミュージカル。大画面CGと舞台上の役者やセットの融合を図る。日本の最先端技術を用いた企画であり、また従来より指摘を受けながらなかなか実施に至らなかった子供向け企画のひとつとして実施し、好評を博した。 |
| 20 | 『屋根裏』公 演 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | 燐光群 | 08.02.07～ 08.02.09 | 会風刺的な作風で知られる劇団「燐光群」のフランス初公演。90年代社会現象となった「引きこもり」をテーマに複数のスケッチを組み合わせて、現代日本社会を浮き彫りにする。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|--------------------|-------------------------------|----|----------------------------|--------------|-----------------------|--|
| 21 | 日本の音楽の若き才能 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | ヤマハ・フラン ス | 08.02.15～ 08.02.16 | ヨーロッパで活躍している若手日本人演奏家によるクラシック・コンサート。ヤマハフランスと共催でピアノや管楽器を中心に、ソロやアンサンブルなど様々な形態で、将来有望な演奏家を紹介する企画の3回目。栗原麻樹（ピアノ）、吉田杏奈（フルート）、林美里（マリンバ）、河村尚子（ピアノ）、矢野玲子（ヴァイオリン）、山本亜希子（ピアノ）の出演。 |
| 22 | 穂吉敏子ジャズコンサート | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 08.02.22～ 08.02.23 | ニューヨーク在住の日本を代表するジャズ・ピアニスト穂吉敏子のコンサート。2月23日はパリ国立高等音楽院ジャズ科の学生達とのコラボレーション |
| 23 | 文楽公演 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 08.03.05～ 08.03.08 | 日本の3大伝統芸能にしてパリ日本文化会館で一度も上演されたことのない文楽の初めての本格的公演。『二人三番叟』、『本朝廿四孝』ほか。桐竹勘十郎ほか出演。本部主催公演事業 |
| 24 | 『椿－カメラリア』公演 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | カンパニー・デ・ルシオル | 08.03.28～ 08.03.29 | カンパニー・デ・ルシオルによる、カナダ人作家島崎アキによる同名小説の戯曲化。日本人俳優、仏人俳優が「能楽」に着想を得た演出、斬新なビデオワークで、幻想的な舞台を作り上げる。 |
| 【講演・シンポジウム】 | | | | | | |
| 25 | 坂手洋二講演会 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール | | 07.04.10～ 07.04.11 | 文化庁派遣でパリ滞在中の戯曲家・演出家の坂手洋二が、2日間にわたり小ホールにて、『屋根裏』を始めとする自作の演劇のDVD映像を交えて、日本の現代演劇について語る講演会。 |
| 26 | 辻仁成、ダニエル・アルサン朗読会「文学の音が響かせるもの」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 07.04.27 | 現在パリ在住の作家・辻仁成（つじ・ひとり）氏が、自著『アカシア』に収録されている作品の抜粋を日仏語で朗読し、編集者であり文学批評家であるダニエル・アルサン氏と語る形式の朗読会・講演会。 |
| 27 | 「アジアのキュビズム」展関連シンポジウム | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 07.05.16 | 当館で開催される「アジアのキュビズム」展のオープニングシンポジウム。同展覧会のコミッショナーを始め、欧州、アジアから専門家が参加し、アジアにおけるキュビズムについて、英仏語同時通訳付きで討論。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------|----|--|---------------|-----------------------|---|
| 28 | 小山裕久講演会及びデモンストレーション | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール (講演会) 及 び厨房(デモ) | NPO日本料理文化交流協会 | 07.09.14～ 07.09.15 | 和食の伝統を維持しつつも、従来の枠に囚われない洗練された料理で常に新しい和食の流れを作り出している、著名な日本料理人・小山裕久氏による日本食文化に関する講演会及びレクチャー・デモンストレーション。「日本の食文化を探る」というテーマで、「日本の風味」と題して日本料理の真髄について語るとともに、2007年6月に完成したばかりの日本文化会館5階厨房で初めての茶懐石のデモンストレーションを実施。 |
| 29 | 沖方丁講演会「アニメーション・漫画・小説」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール | 在フランス日本大使館 | 07.09.25 | 小説「マルドゥック・スクランブル」で第24回日本SF大賞を受賞し、近年アニメーション原作・原案、漫画原作など幅広い活動を行っている新進気鋭のSF作家による日本発コンテンツの解説。沖方氏とプロダクションI.Gの共同原作によるテレビアニメ『シュヴァリエ』は、18世紀フランスに実在した美貌の天才騎士《デオン・ド・ポーモン》の生涯を描く歴史ロマン(外務省主催派遣事業) |
| 30 | いせひでこ&柳田邦男講演会「絵本をめぐる」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール | 在仏商工会議所 | 07.09.26 | 画家・絵本作家いせひでこ氏と、ノンフィクション作家の柳田邦男氏による講演会。絵本をテーマに子供や青少年の成長、教育について議論。 |
| 31 | 国際シンポジウム「日本の文化政策のニューアプローチ」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | UNESCO | 07.10.13 | マンガ、アニメ等世界各地で「COOL」と受け止められ、若者たちの間で広まった日本のポップカルチャーと、ポップカルチャーをめぐる最近の日本の文化政策について、日本、フランス、韓国、シンガポールの各研究者が討論する英仏語による国際シンポジウム。ユネスコ文化政策課との共催。 |
| 32 | 家庭料理デモンストレーション・セミナー | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館厨房 | | 07.10.20～ 07.12.08 | 日本で料理研究家として活躍している塩田ノア氏を講師に迎え、フランスで調達できる食材で作れる日本の家庭料理を紹介。第1回目は焼き魚料理、炊き込みご飯。第2回目は鯛丼などのデモンストレーション。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|----|---|----------------------------|-----------------------|--|
| 33 | 「パリに学んだ洋画家たち」展関連シンポジウム 「日本近代洋画の軌跡」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 07.10.24 | 10月24日から開催される「黒田清輝から藤田嗣治まで～パリに学んだ洋画家たち～」展のオープニングシンポジウムとして開催した。パネラーは同展コミッショナーの新関公子・東京藝大大学美術館館長、林洋子・京都造形芸術大学助教授、モデレーターとしてミカエル・リュッケンINALCO教授。 |
| 34 | 「現代薩摩の陶芸パリ展」およびシンポジウム 「SATSUMAフォーラム in パリ」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館フォワイエ（展覧会） および大ホール（シンポジウム） | 鹿児島県陶業 協同組合 | 07.11.21～ 07.12.15 | セーブル美術館で開催される「薩摩焼パリ伝統美展」と同時期に当館地下3階フォワイエにて現代薩摩焼展も実施。それらのオープニング事業としてシンポジウムを実施。日仏語シンポジウム、日仏語同時通訳付。 |
| 35 | コンテンポラリーダンス講演会「暗黒舞踏からJ-DANCEまで」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール | | 07.12.01 | J-Dance special solosに併せて日本のコンテンポラリーダンスを舞踏評論家の國吉和子が解説・紹介。（本部主催派遣事業） |
| 36 | 国立民族学博物館30周年記念シンポジウム「文化資源という思想：21世紀の知、文化、社会」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | 国立民族学博 物館、東京大 学、朝日新聞 | 07.12.21 | 従来個別に扱われてきた歴史や芸術といった分野を総合的に捉え直すため、文化資源という新しい概念を掲げ、研究を重ねる民博と、人間文化を根源的なレベルから見直そうとする東京大学によるシンポジウム。大ホールで同時通訳により21世紀の知、文化、社会の相互の在り様を巡って広く意見交換を実施。 |
| 37 | アンヌ・ル・ディベルデル講演会「比類なき画家フジタ」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール | | 08.01.17 | 「黒田清輝から藤田嗣治まで～パリに学んだ洋画家たち～」展に合せ、フジタについてエソンヌ県学芸員のアンヌ・ル・ディベルデル氏が語る。仏語講演会。 |
| 38 | 羽衣伝説公演関連シンポジウム「羽衣プロジェクトに内在するテーマの考察」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール | 羽衣プロジェ クト | 08.01.22～ 08.01.23 | 1月の羽衣伝説公演に合せ、シンポジウムを開催。第1日目は「日仏CG先端技術と芸術への応用～その現状と可能性～」、第2日目は「日仏の民話を通じた情操教育の実践～具体例を基にした考察」と題し、日仏パネリストが意見交換する。日仏語同時通訳付。 |
| 39 | アトリエ「日仏子供交流茶会」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館茶室 | 裏千家 | 08.02.13 | 裏千家家元・千宗室16世が日仏の子供たち向けに交流茶会を実施。茶道の歴史や文化を学び、実際の茶道体験も実施。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|----|--|---------------------------|-----------------------|--|
| 40 | 小山裕久講演会及びデモンストレーション「古今料理法とは」「魚について」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール (講演会) お よび厨房 (デ モンストレー ション) | N P O日本料 理文化交流協 会 | 08.02.28～ 08.03.01 | 料理人・小山裕久氏が古今の料理の違いについて語る。また魚に関するレクチャー・デモンストレーションを実施。 |
| 41 | こどものための文楽アトリエ | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 08.03.05 | 文化会館初の文楽公演に併せて、わかりやすく文楽について解説・紹介。(本部事業) |
| 42 | 鳥越文蔵講演会「文楽が世界無形文化遺産に値する意味」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール | | 08.03.08 | 鳥越文蔵氏が世界無形文化遺産に指定されている文楽の文化遺産としての価値について語る講演会。(本部事業) |
| 43 | 国際シンポジウム「マンガ、60年を経て…第一部：少女漫画とオタク」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール | パリ政治学院 国際研究所 (CERI) | 08.03.15 | 日本研究リサーチ・会議等助成プログラムで助成を受けているパリ政治学院の国際研究所 (CERI) と共催で、英仏の同時通訳付きで行った公開シンポジウム。マンガ誕生から60年を経て、少女漫画というジャンル、またオタクという現象について日仏伊の研究者が発表、討論を実施。 |
| 44 | ネットワーク強化シンポジウム (パリ政治学院国際研究所=CERI主催) | パリ | パリ政治学院 国際研究所 (CERI) | パリ政治学院 国際研究所 (CERI) | 08.03.16 | 日本研究リサーチ・会議等助成プログラムで助成を受けているパリ政治学院の国際研究所 (CERI) と共催で、英仏の同時通訳付きで行った国際セミナー。フランスを始めとする欧州各国の若年層に圧倒的な普及度を誇る日本のマンガについて、主に欧州各国の受容の観点から発表。 |
| 45 | 黛まどか講演会&コンサート「四季彩々」 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール | | 08.03.21 | 俳人として著名な黛まどか氏が世界一短い詩・俳句の世界について語る。琴奏者の榎戸二幸氏も招き、俳句がつづる言葉と琴が奏でる音を同時に味わうコンサートも実施。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------------------|----|--------------------------------------|---|-----------------------|--|
| | 【映画】 | | | | | |
| 46 | 鈴木清順監督 特集 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | | 07.05.31～ 07.06.30 | 『港の乾杯・勝利をわが手に』、『暗黒街の美女』、『影なき声』、『らぶれたあ』、『くたばれ愚連隊』、『百万弗を叩き出せ』、『俺に賭けた奴ら』、『探偵事務局23くたばれ悪党ども』、『野獣の青春』、『悪太郎』、『関東無宿』、『花と怒濤』、『肉体の門』、『俺たちの血が許さない』、『刺青一代』、『春婦伝』、『悪太郎伝 悪い星の下でも』、『河内カルメン』、『東京流れ者』、『けんかえれじい』、『殺しの烙印』、『悲愁物語』、『ツイゴイネルワイゼン』、『陽炎座』、『夢二』、『ピストルオペラ』、『オペレッタ狸御殿』を上映。 |
| 47 | フジテレビ映 画シリーズ in Paris | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール | フジサンケ イ・コミュニ ケーション ズ・インター ナショナル | 07.07.04～ 07.07.13 | フジテレビが21世紀に入ってから製作した4作品を、英語字幕付き35mmプリントで小ホールにて上映。テレビドラマとしても有名な『踊る大捜査線 THE MOVIE 2』や『ウォーターボーイズ』、あるいは三谷幸喜監督作品、2006年の新作等の話題作を集めた現代映画小特集。 |
| 48 | 外国文化週間 参加・河瀬直 美監督『萌の 朱雀』上映会 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール | FICEP (パリ 外国文化週間 事務局) | 07.09.29 | パリの外国文化センターが参加する外国文化週間参加事業として、2007年5月のカンヌ国際映画祭でグランプリを獲得した河瀬直美監督による『萌の朱雀』(1997年、1時間39分)を上映。 |
| 49 | 日本映画回顧 上映会『日活 の歴史』 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール 及び小ホール | 日活株式会社 | 07.10.02～ 07.10.27 | 戦前の向島撮影所で作られた名作から、にっかつロマンポルノを経て、昔の呼称である「日活」を取り戻すまで、文字通りその名が映画史をなぞった日活の作品を歴史的に紹介。 |
| 50 | 第二回 KINOTAYO 映画祭 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール 及び小ホール | KINOTAYO 映画祭事務局 | 07.11.13～ 07.11.17 | 2006年から2007年にかけて製作された最近作の中で、フランスで未公開のアート系作品を上映した。女優でもある桃井かおり監督が当館で舞台挨拶。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------|---------|--------------------|----------------------|-----------------------|--|
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 51 | 欧州日本語教師研修会 | キーンツハイム | CEEJA | アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA） | 07.07.02～ 07.07.13 | フランス東部アルザス地方にある日仏交流のために設立された公的機関アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）との共催で実現した現職教師向けの日本語教育法に関する研修会。欧州14ヵ国から計38名の受講者を集め、2週間にわたって教育法に関する研修会を合宿形式で行なった。講師陣は在欧基金事務所の派遣専門家6名のほか、日本語国際センターの主任講師も参加 |
| 52 | エクスポラング（語学見本市） | パリ | パリ15区パルク・デゼクスポジション | フランス日本語教師会 | 08.02.06～ 08.02.09 | 国内最大の語学見本市に、日本語ブースをフランス日本語教師会や在フランスの日本語教育機関と協力して出展。フランスにおける日本語教育に関する情報を学習者・教育関係者に提供。（本部事業） |
| 53 | 全仏日本語スピーチコンテスト | パリ | 国際交流基金パリ日本文化会館大ホール | | 08.03.22 | 当館主催によるフランスにおける唯一の日本語弁論大会。中・高校生部門と成人部門（大学生以上）の二部門からなる。出場者は中・高校生部門5名、成人部門は10名 |
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 54 | 図書館運営 | パリ | 国際交流基金パリ日本文化会館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 1. 入館者数 14,242名 2. 貸し出し数 (1) 書籍 2,245冊 (2) 視聴覚資料 2,056点 3. 所蔵資料数（2008年3月末現在） (1) 書籍 23,731冊 (2) 視聴覚資料 2,298点 4. レファレンス件数 2,505件 |
| | 【教室事業】 | | | | | |
| 55 | 茶道デモンストラーション | パリ | 国際交流基金パリ日本文化会館茶室 | パリ裏千家 | 07.04.01～ 08.03.31 | 裏千家が担当する茶道デモンストラーション |
| 56 | 茶道入門教室 | パリ | 国際交流基金パリ日本文化会館茶室 | パリ裏千家 | 07.04.01～ 08.03.31 | 定員10名の茶道教室（16回授業） |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|----|---|--|-----------------------|---|
| 57 | 書道入門教室 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館教室 | ASSOCIATION HIMAWARI、 ASSOCIATION TANOSHI | 07.04.01～ 08.03.31 | フランス在住の書道講師・大島妙子及 び武井真紀子（後者は2007年6月まで で終了）による書道教室。 |
| 58 | 生花教室 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館教室 | いけばなイン ターナショナル IKEBANA INTERNATIONAL | 07.04.01～ 08.03.31 | 小原・草月・池坊各流派による生花指 導。定期的にデモンストレーション、 玄関ホールにおける展示も実施。 |
| 59 | 囲碁教室 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館教室 | フランス囲碁 連盟イル・ド・ フランス囲碁 リーグ | 07.04.01～ 08.03.31 | 初心者から上級者までを対象とする囲 碁教室。10回授業コース制。 |
| 60 | 折り紙アトリ エ | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館教室 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 子供向け事業。月1回で、6歳～9歳、 10歳以上(大人も受講可)の2クラスを 設けた。講師はフランス全国で折り紙 アーティストとして活躍しているエ リック・ジョワゼル。 |
| 61 | 香道デモン ストレーション | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館5階レセ プションホール 及び茶室 | 株式会社松栄 堂 | 07.11.15～ 07.11.17 | 志野流香道のデモンストレーション。 師範として香の老舗・京都の松栄堂の 社長を迎え、香道に関するミニセミ ナー後、茶室で組香という香り当て ゲームを参加者に実際に体験してもら う企画。 |
| 62 | 漫画入門教室 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館教室 | IAF ASSOCIATION | 08.01.19～ 08.03.29 | 新村ケンによる漫画ワークショップ。 パリ日本文化会館として初めてマンガ 創作の講座を開設。 |
| 63 | 折り紙雑貨教 室 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館教室 | | 07.10.13～ 08.03.25 | 大島妙子が、折り紙を用いて和風ボッ クス等の雑貨を作る技術を指導。 |
| | 【本部事業受入】 | | | | | |
| 64 | 在欧日本専門 家中東・北ア フリカ派遣プ ログラム (チュニジア) | | | 在チュニジア 日本大使館、 第13回カルタ ゴ10月音楽祭 実行委員会 | 07.10.21～ 07.10.23 | 第13回カルタゴ10月音楽祭における欧 州在住の邦人ピアニスト吉田友昭によ るリサイタル。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|----|----|---|-----------------------|---|
| 65 | 在欧日本専門 家中東・北ア フリカ派遣プ ログラム（ア ルジェリア） | | | ソフィテル・ ホテル アル ジェリア、在 アルジェリア 日本大使館 | 07.11.26～ 07.12.02 | 在アルジェリア日本大使館主催、ソ フィテル・ホテル協力のもと、アルジェ リア文化大臣の後援を受け、「2007年 アルジェ・アラブ文化首都」参加行事 として、在仏「いけばなインターナシヨ ナル」の講師3名を派遣。各流派の基 本的な様式や、エッセンスにつきいけ ばなレクチャー及びデモンストレー ションを実施。また終了後にアトリエ を実施し、参加者にも実際にいけばな を体験してもらう事業。 |
| 66 | 在欧日本専門 家中東派遣プ ログラム（ト ルコ） | | | 在 이스タ ンブル総領事 館、在トルコ 大使館 | 08.03.26～ 08.03.31 | アンカラ及びイスタンブールにてボル ドー在住の琴演奏者・みやざきみえこ 及びManuel SOLANSによる琴とバイ オリンのデュオ演奏会を実施。 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---|-----------------------|--|
| | 【助成事業】 | | | |
| 67 | PAJ : Iru - Dance in illusion | Cirko | 07.01.08～ 07.09.23 | Tatu Tyniによるイリュージョンやマジックなどの要素 を織り込んだコンテンポラリーダンス公演。ヘルシンキ 他、フィンランド国内5カ所のツアー。 |
| 68 | 海外事務所現地助成 プログラム | フランス日本語教師 会 | 07.04.01～ 08.03.31 | 平成19年度にフランス日本語教師会が実施するシンポ ジウムに関し、フランス国内の日本語教師の連携及び向 上を促進するための助成を実施。 |
| 69 | PAJ : Five Days in march | Kunstenfestivaldesarts | 07.05.16～ 07.05.20 | 岡田利規の新作Free TimeのKunsten Festival(ブ リュッセル) およびWiener Festwochen (ウイーン) で の公演。Uovo performing arts festival (ミラノ) では Air-Conditionerを上演。 |
| 70 | PAJ : Trance by Shoji Kokami, translated by Amy Kasai | The Alternative Theatre Company Ltd (The Bush Theatre) | 07.06.06～ 07.06.30 | 鴻上尚史とロンドンのBush Theatreの共同制作に る、鴻上氏脚本の作品「Trance」の英語での上演。 |
| 71 | PAJ : Focus on Japanese New Dance | Fondazione La Biennale di Venezia | 07.06.14～ 07.06.17 | Focus on Japanese New Danceでは、日本のコンテン ポラリーダンスを紹介。イタリアのLa Biennale di Veneziaと日本のBatikによる共同制作作品を2本、日 本の森山開次による作品を1本の合計3作品を上演。 |
| 72 | PAJ : Scenofest 2007 - Tea Pavillion | OISTAT | 07.06.14～ 07.06.24 | プラハで開催のInternational Exhibition of Scenography and Theatre Architecture Prague Quadirennial に、文楽の技術と現代の技術を融合させ た操り人形をテーマとした「Tea Pavillion」と名付け られたプロジェクト。公演と同時にワークショップも 実施。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|--|-----------------------|---|
| 73 | PAJ : Shibusa Shirazu Orchestra | Moers Music GmbH | 07.08.15～ 07.10.01 | 管楽器を中心にジャズやロックのミュージシャンと、さらに多数のダンサーや舞踏家など渾然として舞台をみせる「洪さ知らズオーケストラ」によるイタリア、フランス、オランダの3カ国ツアー。 |
| 74 | PAJ : Beckett Butoh Notation 07 | The Cultural Centre of Novi Sad | 07.09.04～ 07.11.12 | 舞踏家桂勘氏の監督により、セルビア、スロバニア、フランス、日本人ダンサーが参加する、Michael Endeの'Mirror in the mirror'を原作とした「fable in the mirror」公演。セルビア国内4カ所のツアー。 |
| 75 | PAJ : Japan Now-modern performing arts festival 2007 | Theaterhaus Mitte | 07.09.10～ 07.09.25 | 「Japan Now」は日本のパフォーマンス、ダンス、演劇などを総合的に紹介するフェスティバル。はじめにベルリンでの開催し、その後、フェスティバル全体をクラコフ、シュチェチンなどに巡回。 |
| 76 | PAJ : Emaki - stories Artolate | laminarie | 07.09.19～ 07.09.23 | ボローニャでのInternational Children's Bookfair.にあわせて、子供から大人までを対象としたリーディングを、サラボルサ図書館で開催。 |
| 77 | PAJ : Lady Sarashina | Opera national de Lyon | 08.03.01～ 08.03.31 | 天児牛大が演出、振付を担当しハンガリー人作曲家 Peter Eotvosと共に、新作オペラLady Sarashinaを共同制作。リヨン、パリの劇場およびEdinburgh International Festivalで公演。 |
| 78 | PAJ : Twin Stars | Caryl Jenner Productions Limited (Unicorn Theatre) | 08.03.14～ 08.04.06 | 宮沢賢治の世界をテーマとした、藪田 洋嗣による「Twin Stars」という作品の公演。ロンドンのUnicorn Theatreにて上演。 |
| | 【会場提供】 | | | |
| 79 | 日本酒試飲会 | 日本八壺会 | 07.06.22 | 老舗蔵元の若手が結成した八壺会の協力を得て、毎年好評を博している日本酒セミナー。レセプションホールにて着席型で実施。プレス対象試飲会も継続して実施。 |
| 80 | JMAセミナー | 日本能率協会 | 07.07.03 | 日本能率協会が毎年各地で開催しているグローバル・ビジネスリーダーコース。去年に引き続き今年も当館に来館してもらい、当館館長より会館の設立趣旨及び活動内容を参加者に説明し、講義を実施。 |
| 81 | 世界文化賞 | フジサンケイ・コミュニケーションズ・インターナショナル | 07.09.20 | フジサンケイグループが中心となり、毎年「高松宮記念」の名の下に芸術の各分野から国籍を問わず表彰するセレモニーを行なうもの。日本から常陸宮ご夫妻が参加され、第ホールで華やかな表彰式が行なわれ、新聞・テレビにも会館が登場。 |
| 82 | 料理デモンストレーション「和食入門ーご飯とだし」 | 味の素ヨーロッパ | 07.10.06 | 味の素ヨーロッパ社主催の和食の基本講座。ご飯の炊き方と出汁の取り方を学ぶ。簡単な試食有り。会館厨房にて実施。 |
| 83 | 日立レセプション | 日立ヨーロッパ | 07.10.08 | 日立ヨーロッパの会長がフランス政府から勲章を受けたのを記念し、日立の顧客を集めてレセプションを実施。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------|-------------------------|-----------------------|--|
| 84 | 羽衣伝説プロジェクト（子供向け事業） | 株式会社トータルプランニングオフィス（TPO） | 07.10.25～ 07.10.26 | 2008年1月の『羽衣伝説』上演前のプレイベントとして、①料理体験教室、②折紙教室、③日本語入門講座の3つのアトリエに、フランス人の子供たちが参加。 |
| 85 | 三菱東京UFJ銀行イベント | 三菱東京UFJ銀行 | 08.01.15 | 1月26日まで開催中の「黒田清輝から藤田嗣治まで」展に関連して、同銀行の顧客等を集め、モワンス前田による解説講演会、展覧会見学及びカクテルを実施。 |
| 86 | 源氏物語フォーラム | JCOM | 08.03.11 | 源氏物語に関するプライベート講演会への施設提供。 |

ソウル日本文化センター

合計額 251,222,700円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------------|-----|--|------------------------|-----------------------|---|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | 『横尾 忠則 ポスター』展 | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター、 国民大学校ゼロワン・デザインセンター | 国民大学校ゼロワン・デザインセンター | 07.09.01～ 07.09.30 | 1960年代にデビューし、グラフィックデザイナーとして世界から注目を集めた日本を代表するアーティスト、横尾忠則の個展を開催。片岸 昭二（富山県立近代美術館主任学芸員）を招へいし、イム・クンジュン（評論家）との対談も実施 |
| 2 | 『なんせん ちょうむ』展 | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | 韓日未来 フォーラム、 小川裕司 | 07.10.10～ 07.10.31 | 日韓文化交流をテーマとした小川 裕司の写真展。同氏の「歴史の旅」の始まりとして、数点をフォトエッセイの形で紹介。展示は同氏のエッセイに対し、鄭 在貞（ソウル市立大学校教授）が歴史の背景を解説 |
| | 【公演】 | | | | | |
| 3 | 柳家さん喬師 匠落語会 | ソウル | 在大韓民国大使館公報文化院 | 筑波大学、在大韓民国大使館公報文化院 | 07.09.19 | 日本語学習者を対象とした柳家さん喬の落語会を開催。筑波大学で研修を受けた教師やソウル日本文化センター日本語講座学習者が参加 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 4 | 日本映画上映会「日本青春残酷物語」 | ソウル | 成均館大学校 | 韓国シネマテーク協議会 | 07.05.07～ 07.05.09 | 韓国シネマテーク協議会との共催で、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーのうち、『八月の濡れた砂』等6作品を提供し、成均館大学校の学校祭開催期間中に上映会を実施 |
| 5 | 日本映画上映会「今村 昌平監督特集」 | ソウル | 建国大学校 | 建国大学校 | 07.05.29～ 07.06.01 | 建国大学校映画芸術学科の学生や一般市民を対象に、建国大学校芸術大学の小劇場にて、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から2006年に逝去した今村 昌平の作品を中心に8作品を上映 |
| 6 | CQN日本映画傑作選① 「今村 昌平監督回顧展」 | ソウル | C Q N明洞 | シネカノン・コリア | 07.09.11～ 07.10.26 | シネカノン・コリアと共催でソウル日本文化センターのフィルムライブラリー作品を上映。第1弾として、日本を代表する映画監督、今村 昌平の8作品を上映。8月31日にはオープニングイベントとして記者向けの試写会を実施 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|-----|---|-------------------|-----------------------|---|
| 7 | 第46回耽羅文化祭－海女民俗祝祭 | 済州 | 済州海女博物館 | 済州海女博物館 | 07.10.08～ 07.10.10 | 海女の生い立ちと海女文化に対する理解を深めるため、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から『海女のリャンさん』を上映 |
| 8 | Invest KOREA Movie Night 日本映画上映会① | ソウル | KOTRA（大韓貿易投資振興公社） Invest Korea Plaza | KOTRA（大韓貿易投資振興公社） | 07.10.25 | KOTRAが所有する施設を活用し、地域住民を対象に日本文化への理解を深めるため、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から『森の学校』を上映 |
| 9 | CQN日本映画傑作選② 「鈴木 清順 監督特別展」 | ソウル | C Q N明洞 | シネカノン・コリア | 07.11.02～ 07.12.28 | ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの作品をシネカノン・コリアと共催で上映する事業。「今村 昌平監督回顧展」に続く第2弾として、独特の作風で名を馳せた鈴木 清順の9作品を上映 |
| 10 | 住民と共にする世界文学散策－東アジア文学との出会い（『砂の女』上映会） | ソウル | 淑明女子大学校 | 淑明女子大学校 | 07.11.05 | 日本、中国、韓国を中心とした「東アジア圏」文学の文人と作品・文化を扱った展示及び体験行事の中で、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から『砂の女』を上映 |
| 11 | 「家族映画」上映会 | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | | 07.11.05～ 07.11.14 | ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から学校や家族をテーマとした作品を上映。イオンホールにて07.11.05から07.11.07、07.11.12から07.11.14の2回に分けて40人規模で上映会を実施 |
| 12 | 漢陽大学校日本映画上映会 | ソウル | 漢陽大学校 | 漢陽大学校 | 07.12.17～ 07.12.20 | ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から1950、60年代の名作と呼ばれる作品を選び、①戦争の記憶と平和の願い、②激動する戦後社会と民衆の姿、③新しい映画的表现への試みというテーマを設けた日本映画上映会を実施。 |
| 13 | Invest KOREA Movie Night 日本映画上映会② | ソウル | KOTRA（大韓貿易投資振興公社） Invest Korea Plaza | KOTRA（大韓貿易投資振興公社） | 07.12.27 | KOTRAが所有する施設を活用し、地域住民を対象に日本文化への理解を深めるため、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から『長靴をはいた猫』を上映 |
| 14 | CQN日本映画傑作選③ 「毎週火曜日 未知の傑作と出会う」 | ソウル | C Q N明洞 | シネカノン・コリア | 08.01.22～ 08.03.25 | ソウル日本文化センターのフィルムライブラリー所蔵作品を、シネカノン・コリアと共催で上映。第3弾として、1960年代から80年にかけての代表作10作品を毎週火曜日20時30分から上映 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|------------|----------------------------------|------------------------|-----------------------|--|
| 15 | 大邱日本映画傑作選 | 大邱 | 東城アートホール | | 08.03.20～ 08.03.23 | ソウル日本文化センターのフィルムライブラリー所蔵作品による地方上映会。C Q N日本映画傑作選で上映された8作品を大邱の東城アートホール(芸術専用映画館)で4日間にわたって2回ずつ上映 |
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 16 | ニューズレター作成・発行 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 韓国の日本語学習者を対象に、インターネット上で配信するニューズレター『カチの声』第16～18号を発行 |
| 17 | ホームページ連載企画 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 初級を修了した頃から難しいと感じる日本語の表現を、月2回一つずつ取り上げ例文を中心に使い方を解説するコーナー「今すぐ使える日本語」(第19～41回)と、授業中に短い時間でできる日本事情クイズとその解説からなるコーナー「一口文化クイズ」(第1～9回)をウェブサイトに掲載 |
| 18 | 留学生ボランティア派遣プログラム | ソウル、仁川、京畿道 | ソウル、仁川、京畿道の高校および中学校 | ソウル、仁川、京畿道の高校および中学校 | 07.04.01～ 08.03.01 | ソウルに日本から留学している日本語ネイティブ留学生を、ソウル、仁川および京畿道内の、高校、中学校にボランティアとして派遣し、日本語授業のゲストとして参加させた。年間で53回の授業にボランティアを派遣し、およそ3800名(延べ)の生徒が授業を体験 |
| 19 | 2007年度前期日本語講座 | ソウル | 国際交流基金ソウル日本文化センター | | 07.04.01～ 07.06.01 | 日本語能力試験1級に合格した一般学習者向けに、9クラス、週2コマの日本語講座を開講 |
| 20 | 日本語教材図書・ビデオライブラリー | ソウル | 国際交流基金ソウル日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.01 | 日本語教師への情報提供サービスとして、各種教材・ビデオ等を収集。 |
| 21 | 釜山在勤日本語教育専門家活動 | 釜山 | 国際交流基金ソウル日本文化センター、社団法人釜山韓日文化交流協会 | 社団法人釜山韓日文化交流協会、在釜山総領事館 | 07.04.01～ 08.03.01 | 日本語教師対象日本語講座(A、B、Cクラスそれぞれ全15回30時間)を開講したほか、地方教師会等への出講、各種日本語コンテスト審査員などに協力 |
| 22 | 日本語教育研究講座高校日本語教師研修コース | ソウル | 国際交流基金ソウル日本文化センター | | 07.04.11～ 07.06.20 | 高校の日本語教師を対象とする研修を週1回、全10回(総20時間)実施。ソウル市教育庁が職務研修として認定 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------|-----|-------------------|------------------------|-----------------------|---|
| 23 | 日本語教育研究講座中学校日本語教師研修コース | ソウル | 国際交流基金ソウル日本文化センター | | 07.04.11～ 07.06.20 | 中学校の日本語教師を対象とする研修を週1回、全10回（総20時間）実施。ソウル市教育庁が職務研修として認定 |
| 24 | 日本語教師サロン | ソウル | 国際交流基金ソウル日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 資格や経歴を問わず広く日本語教師を対象として開催する日本語教授法についてのワークショップを年8回開催。教材および授業内容等について講義 |
| 25 | 鍾路産業情報高校来訪 | ソウル | 国際交流基金ソウル日本文化センター | 鍾路産業情報高校 | 07.05.09 | ソウル日本文化センターを訪問した鍾路産業情報高校の生徒に対し、センター紹介、日本留学案内、日本語授業等を実施 |
| 26 | 梨花女子大学校併設メディア高校来訪 | ソウル | 国際交流基金ソウル日本文化センター | 梨花女子大学校併設メディア高校 | 07.05.23 | ソウル日本文化センターを訪問した梨花女子大学校併設メディア高校の生徒に対し、センター及び、すしテストの紹介、日本語授業等を実施 |
| 27 | 夏季中等日本語教師集中研修（釜山） | 釜山 | 社団法人釜山韓日文化交流協会 | 社団法人釜山韓日文化交流協会、在釜山総領事館 | 07.07.30～ 07.08.03 | 中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施。目標は、「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」等 |
| 28 | 夏季中等日本語教師集中研修（ソウル） | ソウル | 国際交流基金ソウル日本文化センター | | 07.08.06～ 07.08.10 | 中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施。目標は、「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」等 |
| 29 | チョンダム中学校来訪 | ソウル | 国際交流基金ソウル日本文化センター | チョンダム中学校 | 07.08.21 | ソウル日本文化センターを訪問したチョンダム中学校の生徒に対して、センター、日本文化（日本料理）、日本語ゲーム等を紹介。生徒25名、引率教員2名が参加 |
| 30 | 2007年度後期日本語講座 | ソウル | 国際交流基金ソウル日本文化センター | | 07.09.06～ 07.11.30 | 日本語能力試験1級に合格した一般学習者向けに、9クラス、週2コマの日本語講座を開講 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------------|-----|-----------------------|------------------------|-----------------------|---|
| 31 | 北陸大学学生来訪 | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | 北陸大学 | 07.09.13 | 大学の研修プログラムの一環として訪韓した北陸大学の学生10名および引率の教職員2名に対し、ソウル日本文化センター紹介と日本語講座への参加からなるプログラムを提供 |
| 32 | 陸軍情報学校来訪 | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | 陸軍情報学校 | 07.09.20 | 陸軍情報学校で日本語を学習している学生22人に対して、ソウル日本文化センターを日本語で紹介、イオンホールの展示会見学、文化情報室利用法等を説明 |
| 33 | 日本語教育研究講座2007年度後期高校日本語教師研修コース | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | | 07.10.10～ 07.12.12 | 高等学校日本語教師対象の教授法講座。週1回、全10回（総20時間）開催 |
| 34 | 日本語教育研究講座2007年度後期中学校日本語教師研修コース | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | | 07.10.10～ 07.12.12 | 中学校日本語教師対象の教授法講座。週1回、全10回（総20時間）開催 |
| 35 | 冬季中等日本語教師集中研修（釜山） | 釜山 | 社団法人釜山韓日文化交流協会 | 社団法人釜山韓日文化交流協会、在釜山総領事館 | 08.01.07～ 08.01.11 | 中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施。「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」等を目標とした。具体的な内容としては、「打ち解け活動」「アイデア交換」「教科書分析」「教室活動について考える」等や日本文化体験を実施 |
| 36 | 冬季中等日本語教師集中研修（ソウル） | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | | 08.01.14～ 08.01.18 | 中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施。「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」等を目標とした。具体的な内容としては、「打ち解け活動」「アイデア交換」「教科書分析」「教室活動について考える」等や日本文化体験を実施 |
| 37 | 2008年度前期日本語講座 | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | | 08.03.03～ 08.03.31 | 日本語能力試験1級に合格した一般学習者向けに、9クラス、週2コマの日本語講座を開講 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------|--------|------------------------|------------|-----------------------|---|
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 38 | 文化情報室 (図書館) 運営 | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 蔵書合計：合計17,239点（書籍12,037点、雑誌1,175点、その他661点、視聴覚資料3,366点）、会員数：10,375名（2008.03.31現在） |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 39 | ホームページ 運営 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | ソウル日本文化センターを紹介するホームページを運営管理。ホームページは各種事業案内、特集記事、連載企画等で構成。主な使用言語は韓国語で、一部は日本語と英語でも掲載。アクセス数：1,405,845名（2007.4.1～2008.3.31）、メーリングリスト数：3,853名（図書館会員を除く） |
| | 【その他】 | | | | | |
| 40 | 海外アドバイザー運営 | 光州 | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 全羅南北道・光州市を管轄地域とする海外アドバイザーを池 炯源に委嘱 |
| 41 | 日韓交流ネットワーク | ソウル等 | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本と韓国の交流事業活性化のため、助成プログラムや交流相手など事業実施に必要なさまざまな情報を提供するサイトを、ホームページリニューアルの一環として2006年に設置し、そのサイトの管理にあたる臨時職員を雇用。日韓フレンドシップコミュニティサイトも構築 |
| 42 | 立命館大学政策科学部来訪 | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | 立命館大学政策科学部 | 07.10.01 | 勝村誠（立命館大学教授）ほか学生7名の計9名に対し、国際交流基金の活動紹介を行い、ソウル日本文化センター事業を紹介するDVDを上映、ホール・文化情報室等について説明 |
| 43 | 淑明女子大学来訪 | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | 淑明女子大学 | 07.11.08 | ソウル日本文化センター事業紹介DVDを上映しながら、国際交流基金の活動紹介を行い、文化情報室等について説明 |
| 44 | 「李 秀賢氏 記念韓国青少年招へい事業」同窓会 | ソウル、釜山 | 国際交流基金 ソウル日本文化センター等 | | 08.02.26～ 08.03.25 | 関西国際センター主催「李 秀賢氏記念韓国青少年招聘事業」の過去の参加者たちの、参加年度を越えたネットワーク形成のための会議を開催。また、参加者代表9名が李 秀賢のお墓参りや母校を訪問、両親を表敬 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------|-----|-----------------------|------|-----------------------|---|
| 45 | 日本研究フェローシップ参加者データベース作成 | ソウル | 国際交流基金 ソウル日本文化センター | | 08.03.17～ 08.03.31 | ソウル日本文化センターの基礎資料として、過去の日本研究フェローシップ参加者のデータベースを作成 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|-----------------|-----------------------|---|
| | 【助成】 | | | |
| 46 | 次世代日本専門家ネットワーク月例会(助成/施設貸出) | 次世代日本専門家ネットワーク | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本研究専攻の大学院生による研究成果と情報を共有するためのネットワークに平成19年度を通して助成。ソウル日本文化センターで月例会を開催、日本研究分野の教授による講演と参加者による討論が行われた。国民大学校、ソウル大学校、ソウル市立大学校、延世大学校、梨花女子大学校、韓国外大学校、漢陽大学校等が参加。4月21日、6月2日、9月1日、12月15日、2月23日、3月22日の合計6回実施 |
| 47 | 韓日国会議員フォーラム | 社団法人韓日未来フォーラム | 07.05.03 | 「21世紀韓日両国間の葛藤の管理、および協力体制の構築」をテーマに、日韓両国の国会議員、マスコミ関係者、研究者がソウルに集まって開かれた会議に助成 |
| 48 | 韓国日本語文化学会2007年度春季国際学術大会 | 韓国日本語文化学会 | 07.05.12 | 大嶋 仁（福岡大学教授）による講演、各分科会における24の研究発表からなる大会に助成 |
| 49 | 第4回ソウル環境映画祭 | 財団法人環境財団 | 07.05.17～ 07.05.23 | 「環境」をテーマに毎年開催されている映画祭に助成。「地球の温暖化防止」がスローガンとなり、山本 修治（NHKプロデューサー）による講演会（テーマ「地球温暖化と気候の災難」）を開催 |
| 50 | 韓国日語教育学会第11回学術発表大会 | 韓国日語教育学会 | 07.06.02～ 07.06.02 | 「日本語能力評価 どのようにするのか」をテーマに、加藤 清方（東京学芸大学教授）、大隅 敦子（国際交流基金研究員）が基調講演し、その他10名が発表した学会に助成 |
| 51 | 『A.L.I.C.E. Museum』展 | 芸術の殿堂、アートセンターナビ | 07.06.02～ 07.06.22 | 遊び場、庭、カフェ、劇場などを子ども達が直接体験することにより、新しい世界の発見とその表現力・想像力を育てることを目的として、韓国内外のメディア・アーティストとデザイナー20余名が参加し、開催された体験型展覧会に助成 |
| 52 | 鎌田 敏夫招へい講演会 | 株式会社アゴカンパニー | 07.06.20 | 「One Source-Multi Use」の代表的な例である映画「シングルス」のミュージカル制作を記念し、原作者の鎌田敏夫を招へいする事業に助成。ジョ・ジンクック（韓国人作家）とのパネル講演会および観客とのトークを開催 |
| 53 | 国際シンポジウム「2.13合意以後の北朝鮮の体制変化を予測し準備する」 | 平和財団 | 07.06.19 | 韓国、日本および中国の学者がソウルに集まって、北東アジア情勢および北朝鮮の状況を分析し、同地域の平和のための対応方法を模索するシンポジウムに助成 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|----------------------------------|-----------------------|--|
| 54 | 『2007 大田FAST : Mosaic City』展 | 大田市立美術館 | 07.07.25～ 07.10.07 | さまざまな要素が複雑に絡み合っている都市をモザイクと想定し、科学と芸術の結合による新しい未来をテーマに大田市をキャンパスに想定して描くメディアアート展。高橋 匡太（作家）の招へい費を助成 |
| 55 | 第22回韓日学生会議 ソウル会議（助成/ 施設貸出） | 韓日学生会議 | 07.08.03～ 07.08.17 | 日韓両国の大学生が中心になって毎年東京とソウルで交互に大会を行っている「学生会議」に助成、協力。今年は第22回を迎えてソウルで開催 |
| 56 | 韓国日本語教育研究会 授業発表・自律研修 | 韓国日本語教育研究会 | 07.08.13～ 07.08.14 | 韓国日本語教育研究会が毎年実施している事業に助成。最近の日本語授業の流れや情報を得るため、全国から中等日本語教師が集まり各地域から選ばれた教師が実践授業を発表 |
| 57 | 光州国際公演芸術祭 (BATI-HOLIC公演) | 光州国際公演芸術祭 組織委員会 | 07.08.29 | 光州国際公演芸術祭組織委員会が招へいしたBATI-HOLICによる和太鼓公演の渡航費の一部を助成。BATI-HOLICは日本の伝統民族音楽と現代音楽のフュージョングループ |
| 58 | 第8回ソウル国際映画祭 「河瀬 直美監督招へい」 | ソウル国際映画祭執行委員会 | 07.09.07～ 07.09.16 | 第8回ソウル国際映画祭が開幕作品『殞の森』の上映に合わせて、「観客との対話」プログラム等を実施するため招へいした河瀬 直美（映画監督）の渡航費を助成。同作品は2007年カンヌ国際映画祭のグランプリを受賞 |
| 59 | 日本「子供のための シェイクスピア・カンパニー」招へい～ 演劇『夏の夜の夢』 来韓公演 | トンスン・アートセンター | 07.09.15～ 07.09.16 | 「子供のためのシェイクスピアカンパニー」の韓国初公演に助成。日本で人気の高かった『夏の夜の夢』を、演出、俳優などはそのままに、韓国語字幕で上演 |
| 60 | 第10回ソウル世界舞踊祭 (SIDance Festival) | 国際舞踊協会韓国本部 | 07.10.05～ 07.10.27 | 国際舞踊協会韓国本部が毎年主催する世界舞踊フェスティバルに助成。ジョン・ミスック、黒田 育世、キット・ジョンソンの3人の女性振付家が制作した公演『Les Dames』に出演する黒田 育世を招へい |
| 61 | 『Dis Communication』展 | 省谷美術館 | 07.10.11～ 07.12.30 | 日本人アーティスト（鳥光 桃代、佐々木 里加、阿部 乳坊）による現代アートの競演。渡航費を助成 |
| 62 | 慶應義塾大学小此木 政夫教授講演会 | 韓日文化交流会議、 韓日未来フォーラム | 07.11.02 | 日本における韓半島問題の最高の専門家と称される小此木 政夫（慶應義塾大学教授）の特別講演会に助成。最近の日本政権交替と南北会談が今後の日韓関係に与える影響について発表。聴講者は日韓関係を研究する専門家、学生・大学生、言論人等を中心に約100名 |
| 63 | 東アジアの日本文学 研究 | 韓国外国語大学校日 本研究所、立教大学 日文学研究所 | 07.11.02～ 07.11.03 | 東アジアにおける日本文学の研究状況を総合的に取上げ、今後の日本文学研究の方向を模索するためのシンポジウムに助成。漢字文化圏、宗教と学会、イメージと文芸の3分野に分けられ、多様な観点からのアプローチを考察。韓国内における日本文学研究者に、今後の東アジアにおける日本研究の未来像を提示。聴講者は約150名 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|---------------------------|-----------------------|--|
| 64 | 近代建築史の再照明 VI 「Vitruviusの建築十書と近代日本建築」 | ソウル産業大学校建築学部 | 07.11.16 | 竺 覚暁（金沢工業大学教授）が非西欧圏の西欧文化への接近方法について発表し、日本近代建築との関係性について韓国の専門家と討議する講演会に助成。日本近代建築の形成に大きな影響を与えたVitruvius（建築家）の建築論を、東京・大阪等に現存する古典主義建築物と比較・考察 |
| 65 | 2007現代戯曲リーディングおよびシンポジウム | 韓日演劇交流協議会 | 07.11.29～ 07.12.02 | 戯曲を通じた日本と韓国の演劇交流を図るとともに、戯曲の翻訳およびリーディングを通じて日本現代演劇の普及を図るため開催されたシンポジウムに助成 |
| 66 | 地域建築と地域建築家の役割－日本の現代建築家の実践的展開 | 済州大学校 | 07.12.27 | 日韓の建築専門家による地域建築に関する会議に助成。日本から建築家の遠藤 剛生、小嶋 一浩が発表者として招へいされ、済州地域の建築家、建築分野公務員、大学生等60名程度が参加。世界を舞台に活躍する日本の建築家を招いて、世界の建築動向を把握し、地域文化に対する建築的接近方法の多様性を考察 |
| 67 | ソウル日本語教育研究会主催2007冬季職務研修（助成/施設貸出） | ソウル日本語教育研究会 | 08.01.08～ 08.01.11 | ソウル・京畿道地域の日本語教師40名を対象に行なわれた職務研修に助成と会場提供で協力。「次期教育課程と日本語指導」というテーマで研修を実施 |
| 68 | 国際交流基金ソウル日本文化センターと共にする「evangelion 序」展示会 | Movien I | 08.01.12～ 08.01.26 | 伝説的なアニメーション「evangelion 序」の海外初のスクリーン上映に合わせて開催された「evangelion 序」展示会に助成。3カ所（龍山、カンピョン、九路CGV）の展示物の一部（DVD）と設置に関する経費を負担 |
| 69 | 劇団サヌリム公演『ブラインドタッチ』劇作家・坂手 洋二アフタートーク | 劇団サヌリム | 08.02.20～ 08.02.21 | 坂手 洋二（劇作家）の作品が韓国で初めて上演されるにあたり、同氏の渡航費を助成。同氏が自身の演劇観を観客に語りかけ、日韓演劇に対する理解を相互に刺激し合うアフタートークを開催 |
| 70 | 長期介護保険制度と老人健康増進のための実践模索フォーラム | 木浦大学校 | 08.03.21～ 08.03.22 | 5年前から長期介護保険制度を実施している日本の専門家を招へい、日本の経験や課題などを講義し、韓国で2008年7月より施行される長期介護保険制度や老人健康増進のための実践方法を模索するために開催されたフォーラムに助成 |
| | 【後援事業】 | | | |
| 71 | 韓日地方政府国際学術会議（後援名義/施設貸出） | 韓日地方政府国際学術会議 | 07.04.04 | 21世紀北東アジア時代における日韓両国の自治体間の国際協力を模索するため、日韓両国の自治体交流関連団体の関係者、言論人および学者が集まり、議論 |
| 72 | 国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵品巡回「日本の世界遺産」「浮世絵」(後援名義/文化備品貸出) | 在大韓民国大使館公報文化院、全北大学校三星文化会館 | 07.05.17～ 07.05.27 | 全州市にて開催されたジャパン・ウィーク（在大韓民国大使館主催）の展示プログラムに、国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵品「日本の世界遺産」と「浮世絵」を提供 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---------------------------|-----------------------|--|
| 73 | BATI-HOLIC公演 | KOTRA（大韓貿易投資振興公社） | 07.07.19 | KOTRA（大韓貿易投資振興公社）のInvest KOREA Plazaで実施されたBATI-HOLICによる太鼓と唄の公演に対し、広報に協力 |
| 74 | 日韓語り芸「落語とパンソリの夕べ」 | 特定非営利活動法人国際落語振興会 | 07.07.22 | 日本の話芸「落語」と韓国の語り芸「パンソリ」。人々に物語のイメージを膨らませる日韓の語り芸を同時に鑑賞する日韓庶民芸のジョイント公演に対し広報に協力 |
| 75 | 笑福亭 銀瓶落語会 | 新羅大学校、在釜山総領事館、啓明大学校、中央大学校 | 07.10.15～ 07.10.17 | 10月15日に新羅大学校、16日に啓明大学校、17日に中央大学校で行われた日韓両言語による落語会を支援（高麗大学校が10月13日に笑福亭 銀瓶（落語家）を招いた機会を利用して、公演をコーディネート） |
| 76 | 国際文化学術祭 | 明知専門大学 | 07.10.25～ 07.10.26 | 日本文化に対する知識の涵養と理解を得るため学術大会を開催。ソウル日本文化センター所蔵浮世絵の展示会（美人画中心）を開催 |
| 77 | 琴律楽会第17回定期演奏会 | 琴律楽会 | 07.12.04 | 韓国の代表的な伝統楽器である玄琴をはじめ、日本・中国・モンゴルの異なる楽器によるアジアの平和を祈る演奏会の実施に協力 |
| 78 | 釜山OPIセミナー | 釜山外国語大学校日本センター | 07.12.27 | 日本語教師および日本語教育を学ぶ学生が、日本語学習者の会話能力を測る方法について学び、会話能力とは何かについて考えることを目的としたセミナー。牧野 成一（プリンストン大学教授）を招いてOPI（口頭能力インタビュー試験）に関する講義、ワークショップを開催 |
| 79 | 村治 佳織の『アランフェス協奏曲』公演 | 株式会社クレディア | 08.03.23 | クラシックギターの妖精と言われる村治 佳織の3年ぶりの来韓公演の広報に協力 |
| | 【会場提供】 | | | |
| 80 | 韓日ユース・フォーラム① | 社団法人韓日未来フォーラム | 07.04.03 | 韓国の日本専門家が日韓の放送文化に関する研究成果を発表し、韓国の大学生および韓国在住の日本人大学生が討論 |
| 81 | 2007地方公務員外国語スピーチ大会 | 韓国地方自治団体国際化財団 | 07.05.30 | 韓国の地方公務員の外国語学習意欲を高めて地方の国際化に寄与することを目的に、自治体の公務員を対象に開かれる外国語スピーチ大会 |
| 82 | SJC経営委員会 2007年第2回経営研究セミナー「韓国のFTA戦略と日本の対応」 | ソウルジャパンプラブ | 07.06.04 | 深川 由紀子（早稲田大学政治経済学部教授）を招き、韓国のFTA戦略を含む経済環境に対する理解促進と日韓FTAを含む今後の日韓関係発展に関する講演を実施 |
| 83 | 韓日ユース・フォーラム② | 社団法人韓日未来フォーラム | 07.06.05 | 在大韓民国大使館の経済担当官が日本の経済政策に関する資料を紹介し、韓国の大学生および韓国在住の日本人大学生が討論 |

海外事務所

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---------------|-----------------------|---|
| 84 | 韓日マスメディア・フォーラム | 社団法人韓日未来フォーラム | 07.06.08 | 韓国のドラマ作家による「ドラマでみた韓日映像文化比較」という研究発表の後、日韓のマスコミ関係者および研究者が討論 |
| 85 | 国際シンポジウム「東アジアの民主主義」 | 民衆化運動記念事業会 | 07.06.29 | 韓国とアジアでの事例を中心に、民主主義への移行過程における成果と限界を探り、アジア民主主義連帯の基礎を構築するためにアジア各国の学者が討論 |
| 86 | SJC労働委員会 2007年第2回労働セミナー「ウリ銀行の非正規職法対応戦略」 | ソウルジャパンクラブ | 07.07.03 | 在韓日系企業が韓国社会で円滑に活動するにあたっての現地理解を深めるため、ソウルジャパンクラブがウリ銀行担当者を招き、非正規職保護法に対する動向の対応に関する講演を実施 |
| 87 | 岡山県韓国語講座生の日韓文化交流会 | ユニリンクホームステイ | 07.08.01 | 岡山大学の韓国語講座受講生と日本に関心のある韓国人の間の交流会。日本からは28名の受講生が訪韓 |
| 88 | 大島 正太郎大使帰任講演会 | 社団法人韓日未来フォーラム | 07.08.17 | 大島 正太郎（在韓民国特命全権大使）が、2年間の韓国勤務を通じた経験、特に日韓関係の現状と未来について講演 |
| 89 | 国立大学法人東京工業大学工学部入学のための面接会 | 東京工業大学留学センター | 07.09.10 | 海外（韓国、タイ、マレーシア、インドネシア）で留学試験の現地面接を実施している東京工業大学が、韓国の受験者に対し面接を実施 |
| 90 | 第10回ユースフォーラム | 社団法人韓日未来フォーラム | 07.10.05 | 日韓大学生対象の定期フォーラム。フォーラムの翌日から同じ会場で開催された小川 裕司の写真作品を取上げながら、「日本と韓国の文化比較」について講演会を開催 |
| 91 | SJC「韓日関係史に係わる歴史講座」 | ソウルジャパンクラブ | 07.10.10～ 07.12.12 | 鄭 在貞（ソウル市立大学教授）を講師として10回シリーズの日韓関係史講座を開催 |
| 92 | 第11回ユースフォーラム | 社団法人韓日未来フォーラム | 07.11.16 | 日韓大学生対象の定期フォーラム。「JETプログラム」と「韓日の企業比較」という、二つのテーマで開催 |
| 93 | ソウル日本語教育研究会主催2007冬季職務研修 | ソウル日本語教育研究会 | 08.01.08～ 08.01.11 | ソウル・京畿道地域の日本語教師40名を対象に、「次期教育課程と日本語指導」というテーマで研修を実施 |
| 94 | SJC経営委員会 2007年第4回経営研究セミナー「新大統領体制での2008年韓国経済の展望」 | ソウルジャパンクラブ | 08.01.18 | ソウルジャパンクラブがオ・ジョンナムを招き、新政府の国家経営戦略や経済政策の方向性、経営への影響等を考察する講演会を実施 |
| 95 | 韓日未来フォーラム 新年討論会 | 社団法人韓日未来フォーラム | 08.01.23 | 「2008年国際政勢と日韓中の関係展望」をテーマに、各国の専門家による討論会を開催。討論参加者は、金 聖翰（高麗大学校教授）、沈 揆先（『東亜日報』編集局長）、出石 直（NHKソウル支局長）、堀山 明子（『毎日新聞』特派員）、尾池 厚之（在韓民国大使館公使）、徐 宝康（中国『人民日報』ソウル支局長）の各氏 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|-----------------------|--|---------------------------------|-----------------------|--|
| 96 | 瀬戸 雄三名誉博士祝賀会 | 韓国三田会 | 08.02.22 | 日韓経済協会会長として日韓の経済交流を中心に両国の未来志向の関係づくりに長く貢献してきた瀬戸 雄三に、その経緯、今後の展望・課題などを訊く講演会を開催。また、同氏への又石大学技からの名誉博士号授与、著書『逆境はこわくない』の韓国語版出版に対する記念祝賀会を開催 |
| 97 | 韓日メディアフォーラム「レンズを通して見た韓日文化交流」 | 社団法人韓日未来フォーラム、特定非営利活動法人・日韓文化交流会 | 08.03.11 | 写真を通してさまざまな文化交流の形態を探るフォーラム。日本の特定非営利活動法人miseru、韓国の『東亜日報』写真同好会が協力 |
| 98 | 日本社会文化研究会月例発表会 | 日本社会文化研究会 | 08.03.15 | イ・ジョング（聖公会大学校教授）を代表に、韓国内の大学で日本地域学を主な専門とする研究者12名が結成した研究会。月例発表会では日本社会の動向と文化的特性を研究 |
| 99 | SJC2008年第2回教養文化セミナー「石井 頼子氏による講演会」 | ソウルジャパンプラブ | 08.03.15 | 石井 頼子（棟方版画美術館学芸員）を講師に招いて、棟方 志功についての講演会を開催 |
| 100 | 小林 良彰教授による特別講演会 | 社団法人韓日未来フォーラム | 08.03.19 | 日本政治学会の理事長であり、日本の選挙と政治分析の専門家である小林 良彰（慶応義塾大学教授）による講演会。「日本の政治経済の方向と日韓関係」のテーマで開催 |
| 101 | SJC労働委員会2008年第1回労働セミナー「週40時間制移行を中心にした最近の労働関連実務例」 | ソウルジャパンプラブ | 08.03.20 | ソウルジャパンプラブが、従業員20名以上の企業の週40時間制への円滑な移行に向けた実例を交えたセミナーを開催 |
| 102 | 第1回小林 節太郎記念基金韓国シンポジウム | 富士ゼロックス株式会社小林節太郎記念基金 | 08.03.29 | 小林 節太郎（富士ゼロックス株式会社初代会長）の遺徳を記念して設立された基金の助成を受けた韓国人OB216人の有志が開催したシンポジウム。日韓の相互理解と文化交流を通じた日韓比較による同質性と異質性の発見を目的として開催 |
| 【文化備品・視聴覚資料貸出】 | | | | |
| 103 | 淑明女子大学校世界遺産写真展示会 | 淑明女子大学校 | 07.10.03～ 07.11.30 | 日本、中国、韓国を中心に「東アジア圏」の文人と文学作品・文化を扱った展示会および体験行事を開催。行事全体を通じて東アジア文学の底辺拡大や韓国文学の発展を図り、11月5日には国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵フィルム・ライブラリー『砂の女』も上映 |
| 104 | 第3回在外同胞映画祭 | 在外同胞映画祭実行委員会 | 07.10.04～ 07.10.07 | 世界各国に住んでいる韓国在外同胞が作った映画と韓国在外同胞をテーマに作られた映画を通じて韓国と各国とのつながり、歴史、文化を分かち合う映画祭を開催。ソウル日本文化センター所蔵のフィルムライブラリー作品を提供 |

海外事務所

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|-----|-------------------------------|----------------|-----------------------|---|
| 105 | アジア文化中心都市総合計画大国民報告会 | アジア文化中心都市推進団 | 07.10.08～ 07.11.17 | ノ・ムヒョン（大韓民国大統領）出席のもとアジア文化中心都市事業の総合計画に関する国民報告会が開催される際に、国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵の日韓世界遺産写真を展示 |
| 106 | 在大韓民国大使館公報文化院日本映画上映会 | 在大韓民国大使館公報文化院 | 07.11.21～ 07.11.30 | 在大韓民国大使館公報文化院が定期的に行っている日本映画上映会に、国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーから『あいつと私』を提供 |
| 107 | 国際交流基金京都支部日本映画上映会 | 国際交流基金京都支部 | 08.01.26 | 国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーの中から『檀山節考』韓国語字幕版を用いて、京都・大阪を中心に居住している外国人向けに京都支部が上映会を開催 |
| | 【その他】 | | | |
| 108 | 地方中等日本語教師支援事業（忠清北道日本語教師会セミナー） | 忠道北道日本語教師会 | 07.04.04 | 「俳句を取り入れた授業活動を考える」と題して、俳句の文学的位置づけ、俳句の特徴、拍指導の参考、俳句の作り方のコツなどを紹介 |
| 109 | ヨルリンサイバー大学校日本語科出講 | ヨルリンサイバー大学校 | 07.05.12 | 凧つくりを通して学ぶ日本文化と日本語というテーマで、日本各地の凧を紹介した後、凧つくり体験のワークショップを開催 |
| 110 | 祥明大学校日本語学科学術セミナー出講 | 祥明大学校 | 07.05.25 | 祥明大学校日本語日文学科が合宿形式で実施した、1～4学年の学術研究発表会に出講。プログラムの最初の部分で講演を約1時間半実施。日本の伝統芸能としての歌舞伎の紹介と見方についてビデオや写真を使って講演 |
| 111 | 韓南大学校大学院日本語日文学科特別講義 | 韓南大学校 | 07.06.07 | 日本語教師を目指す大学院生を対象に、2003年版日本語教育機関調査資料を用いて世界の中での韓国の日本語教育の位置づけをテーマに講演。受講者は総勢40名 |
| 112 | 地方中等日本語教師支援事業（忠清南道日本語教師会セミナー） | 忠清南道日本語教師会 | 07.06.16 | 「俳句を取り入れた授業活動を考える」と題して、俳句の文学的位置づけ、日本人の季節感覚、俳句の特徴、拍指導の参考、俳句の作り方のコツなどを紹介 |
| 113 | 地方中等日本語教師支援事業（大田日本語教師会セミナー） | 大田日本語教師会 | 07.06.28 | 「俳句を取り入れた授業活動を考える」と題して、俳句の文学的位置づけ、俳句の特徴、拍指導の参考、俳句の作り方のコツなどを紹介 |
| 114 | 京畿道中等日本語教育研究会夏季セミナー | 京畿道中等日本語教育研究会 | 07.07.14 | 「教室授業改善のための教授法」というテーマで講演。参加者42名 |
| 115 | 全羅南道中等日本語教育研究会夏季セミナー | 全羅南道中等日本語教育研究会 | 07.07.14 | 「聴解練習について考える」というテーマで講演。参加者35名 |
| 116 | 京畿道1級正教師研修 | 京畿道教育庁 | 07.07.23～ 07.07.24 | 忠清南道教育庁が実施する1級正教師研修に出講。日本語教授法に関するテーマで講演 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|-----|------------------------------------|-------------------------|-----------------------|--|
| 117 | 忠南教育庁教員職務研修 | 忠清南道教育庁 | 07.07.30 | 忠南地域の中等学校日本語教師の職務研修に出講。「授業のドリルについて考える」をテーマに講演 |
| 118 | 京畿道外国語教育研修院主催中等日本語教師深化課程 | 京畿道外国語教育研修院、筑波大学留学生センター | 07.08.29～ 07.09.28 | 京畿道外国語教育研修院が筑波大学と共催で京畿道地域の高校日本語教師44名を対象に日本語と教授法の研修を実施。国際交流基金ソウル日本文化センターが教授法科目および日本語科目を担当 |
| 119 | 地方中等日本語教師支援事業（江原道日本語教育研究会出講） | 江原道日本語教育研究会 | 07.11.03～ 07.11.04 | 講義1「改定第七次教育課程を考えた聴解の教え方」、講義2「日本文化紹介としての俳句を取り入れた教室活動を考える」の二つのテーマで講演 |
| 120 | 地方中等日本語教師支援事業（京畿道日本語教育研修会冬季セミナー出講） | 京畿道日本語教育研修会 | 07.12.15～ 07.12.16 | 「学内水準別授業方案モデルについて考える」というテーマで講演し、国際交流基金開発教材「エリンが挑戦」の紹介と使用例について説明 |

北京日本文化センター

合計額 97,062,907円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------------------|----------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------|---|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | 日中画家連合展 | 北京 | 国際交流基金 北京日本文化センター | 北京雅尚画廊 芸術有限公司 | 07.11.10～ 07.11.16 | 日中の画家によるグループ展を実施。 |
| 2 | 日中フォトコンテスト | 北京 | 国際交流基金 北京日本文化センター | 中国留学人員 聯誼会、北京 日本人会 | 07.11.24～ 07.11.28 | 「日本人の眼に映る中国、中国人の眼に映る日本」をテーマに、日本人、中国人それぞれから募集した作品を展示。 |
| 3 | 豊浦愛展「とこよのくに」 | 北京 | 国際交流基金 北京日本文化センター | LOSH | 07.12.14～ 07.12.25 | 陶芸家 豊浦愛が景德鎮のアーティストインレジデンスにて制作した現代陶芸作品を展示。 |
| 4 | 湖北ジャパウィーク | 武漢 | 武漢大学、湖北美術学院 | 日本大使館 | 07.12.14～ 07.12.16 | 日本大使館と湖北省政府の主催で、写真展や講演会等様々な事業を実施。当センターは特に世界遺産パネルの展示と声優の古谷徹氏の講演会を担当。 |
| | 【公演】 | | | | | |
| 5 | J-Meeting Beijing 2007 | 北京 | 国際交流基金 北京日本文化センター、クンルン飯店 | 財) 音楽産業・文化振興財団 | 07.07.28 | アニメ「機動戦士ガンダム」の音楽を手がけた藤田純二氏の講演会や日本のアーティスト2組（「樹海」と牧野由依）を迎えての音楽ライブとファンとの交流会が行なわれた。 |
| 6 | 演劇ワークショップ及び朗読会 | 北京 | 国際交流基金 北京日本文化センター | | 08.03.27～ 08.03.29 | 日本から舞台演劇俳優を招へいし、主に中国人（日本人留学生含む）の舞台俳優を対象としたワークショップを実施。また、招へいした俳優による朗読会を、主に日本語を学習する中国留学生を対象に実施。 |
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 7 | 日本花道講演会（在アジア・大洋州日本文化専門家派遣事業（モンゴル）） | ウラン・バートル | モンゴル日本センター | 駐モンゴル大使館 | 07.08.11～ 07.08.13 | 北京在住の大坪光泉・龍生派生け花家元顧問教授をモンゴルに派遣し、モンゴルの生け花愛好家、芸術家、一般市民を対象に、生け花の歴史と理論に関するレクチャーやデモ、ワークショップを開催した。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------------|----|------------------|----------------|-----------------------|---|
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 8 | 巡回指導及び出講に伴う出張（ジュニア専門家／瀋陽） | 阜新 | 遼寧省阜新市他 | 遼寧省基礎教育教研培训中心 | 07.04.01～ 08.03.31 | 瀋陽派遣のジュニア専門家が遼寧省内の各地を1泊～5泊の予定で巡回し、各地で1～6校の授業を見学したり、教師や学生、現地に派遣されている青年海外協力隊員と話し合うことで、情報収集に努めた |
| 9 | 2007年初級・高級中学校進学校検討会経費（ジュニア専門家／瀋陽） | 瀋陽 | 遼寧省基礎教育教研培训中心 | 遼寧省基礎教育教研培训中心 | 07.04.02～ 07.04.04 | 中学校、高校で日本語を教える教師を対象に、高校入試、大学入試の模擬試験を三題配布、実際に問題を解かせ、内容について解説を行った。瀋陽ジュニア専門家が講師を務めた |
| 10 | 第2回全国大学日本語教師研修会 | 南京 | 南京農業大学 | 高等教育出版社 | 07.07.23～ 07.07.26 | 前年度から実施している全国の大学日本語教師を対象とした研修会。本年度は高等教育出版社との共催で、上海日本商工クラブ、カシオ上海などの賛助を得て南京市で実施した。148機関約200名の日本語教師が参加した |
| 11 | 全国中等日本語教師研修会 | 北京 | 課程教材研究所 | 人民教育出版社課程教材研究所 | 07.08.05～ 07.08.10 | 2007年から使用が開始された新教科書に対応した、高校日本語教師対象の全国規模の教師研修会。人民教育出版社課程教材研究所との共催で北京で実施。全国各地の高校日本語教師95名が参加した |
| 12 | 遼寧省高級中学校新教材研修会（ジュニア専門家／瀋陽） | 瀋陽 | 遼寧省基礎教育教研培训中心 | 遼寧省基礎教育教研培训中心 | 07.08.11～ 07.08.14 | 2007年から使用が開始された新教科書に対応した、遼寧省内の高校日本語教師対象の教師研修会。瀋陽派遣の齊藤ジュニア専門家が講師を務めた |
| 13 | 事務所主催秋季日本語教育イベント講演会 | 北京 | 国際交流基金北京日本文化センター | | 07.10.13 | 2007年10月に国際交流基金北京日本文化センター多目的ホールにて、元NHKアナウンサーによる日本語教師を対象にした講演会を実施した |
| 14 | 遼寧省高級中学教師授業コンテスト | 瀋陽 | 遼寧教育行政学院 | 遼寧省基礎教育教研培训中心 | 07.12.20～ 07.12.23 | 遼寧省内の高等学校の日本語教師を対象に2007年から使用を始めた新日本語教科書を素材とした模擬授業コンテストを実施。 |
| 15 | 地方での中等日本語教師研修会 | 北京 | 国際交流基金北京日本文化センター | 人民教育出版社課程教材研究所 | 08.03.12～ 08.03.15 | 中国大学入試の日本語科目対策のための高校教師向け研修会。大学入試の模擬試験を配布、実際に問題を解かせ、解説を行った。国際交流基金北京日本文化センター常駐派遣専門家2名、瀋陽ジュニア専門家1名が講師として参加 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------|---|----------------------|------|-----------------------|---|
| 16 | 大学日本語教師訪日研修参加者同窓会 | 北京 | 国際交流基金 北京日本文化センター | | 08.03.15 | 1993年から毎年40名浦和に招へいする本プログラムのこれまでの参加者のうち、北京、天津在住者140名を対象にした同窓会。33名が参加し、国際交流基金北京日本文化センター常駐派遣専門家、香港派遣専門家による後援を実施。 |
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 17 | 図書館リーフレット | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 新しく開館した図書館の広報のために作成し、各方面に配布。 |
| 18 | 図書館運営 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 約14,000冊の図書資料と約700点の視聴覚資料を所蔵するほか、20種類の雑誌、8種類の新聞を閲覧に供している。事務所移転に伴い、スペースを拡大して、2007年7月に再開館。平日の10時～17時に加え、2008年1月からは毎週土曜日の13時～17時に開館。日本語教師、日本語を学ぶ中国人大学生を中心に利用されている。 |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 19 | 事務所チラシ | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金及び国際交流基金北京日本文化センターの概要について、一般配布用チラシを作成。 |
| 20 | 日本語教師向けホームページ | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 中国国内の日本語教育情報について情報発信を行う。体系的な情報発信を行うために一部コンテンツを改良した。 |
| 21 | ニュースレター | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金事業報告や日本語学習に関する文章などを掲載したニュースレターを作成。 |
| 22 | ホームページ | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金の紹介や国際交流基金北京日本文化センター事業についての情報発信を行うホームページを運営。 |
| | 【その他】 | | | | | |
| 23 | 留華ネット | 北京、上海、 瀋陽、西安、 大連、天津、 南京、成都、 広州、昆明 | 国際交流基金 北京日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 中国国内各地の大学に在籍する邦人留学生に、ボランティアとしてメンバーになってもらい、メールやミーティングを通して、留学先大学での日中文化交流活動についての情報交換を行った。また、留学生在各地で文化紹介イベントなどを行う際には、物品貸出、経費支援などを通じて協力した。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|----|----------------------|------|----------|--|
| 24 | お正月フェスティバル | 北京 | 国際交流基金 北京日本文化センター | | 08.01.12 | 2008年1月に『日本のお正月』をテーマにしたイベントを開催した。もちつき、百人一首体験や、中国人学生による狂言の披露などを行った。 |
| 25 | フェロー懇談会 | 北京 | 国際交流基金 北京日本文化センター | | 08.03.08 | 北京周辺の国際交流基金フェローOB50名あまりを集め、最近の基金事業について紹介するとともに、懇談を実施。 |
| 26 | 大平学校・北京日本学研究中心同窓会（重慶） | 重慶 | | | 08.03.29 | 重慶市周辺に在住する日本語研修センター（通称：大平学校）及び北京日本学研究中心OBを招待し、最近の基金事業について紹介するとともに、懇談を実施。 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|-----------------------------|-----------------------|---|
| | 【助成事業】 | | | |
| 27 | 広西大学外国語学院 日本文化祭 | 広西大学 | 07.04.09～ 07.04.14 | 日本語学部生による朗読・スピーチコンテストのほか、日本の映画アニメの上映会、日本料理の紹介などをあわせて実施。北京日本文化センターからは小西アドバイザーが出席 |
| 28 | 広西大学外国語学院 日本文化祭 | | 07.04.14～ 07.04.19 | 今回で3回目の学内文化祭。朗読コンテスト、スピーチコンテストの他に、日本の歌のコンサートや日本料理の試食会、茶道のデモンストレーション、日本文化に関する講義等も行なわれた。北京日本文化センターの他に、カシオ上海貿易公司、広西王子豊産林有限公司（王子製紙）が助成。当センターからは小西アドバイザーが出席し、「日本語を学ぼう」と題する講演を行なった。 |
| 29 | 「ファンキー末吉 & Friends 日中交流 ロックライブ」 | バッドニュースレコード | 07.05.04 | 1989年に初めて北京を訪れて以来、中国ロックの発展に尽力してきた、「アジアのドラムキング」ファンキー末吉（爆風スランプ/X.Y.Z.→Aドラマーとして有名）が、日本と中国からロックアーティストの友人を集め、「日中ロック交流ライブ」を開催する。 |
| 30 | 日中合同・北京児童 劇フェスティバル 「しょうぼうじどう しゃ じぶた」公演 | 劇団道化 | 07.05.12～ 07.06.10 | 福岡県太宰府市の児童劇団である「劇団道化」が北京市内で行う児童演劇の公演。劇場の他、市内幼稚園の巡回公演も行う。公演には、中国人の俳優も2名参加。北京公演終了後、福岡にて帰国公演を行う。 |
| 31 | 北京大学第二回東ア ジアフォーラム | 北京大学国際関係学 院、北京大学外交学 会 | 07.05.12～ 07.05.13 | 中国有力大学の学生及び留学生代表が、2日間にわたり東アジア共同体形成や文化交流などに関する問題について討議を行い、その結果を論文集にまとめる。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------|------------------|-----------------------|--|
| 32 | 大連サークルオリエンテーション | 大連留学生社団 | 07.05.12 | 市民サークルによる課外活動を活性化させ、大連市内で生活する様々な層（日本人留学生、日本人社会人、中国人）の人的交流、文化交流を促進することを目的に開催するサークル説明会。大連市内の文化団体（サークル）が一堂に会し、主に学生に向けてその活動を紹介・アピールする。参加団体は大連市内で活動する文化・娯楽・スポーツ団体（但し全参加団体中3分の1以上は中国人団体とする）。 |
| 33 | 三校交流日本語スピーチ大会 | 北京郵電大学 | 07.05.13 | 前年度に引き続き北京大学、北京郵電大学、河北師範大学が3校の日本語学部生の日本語力向上と交流を図るため開催した。北京日本文化センターからは藤村職員が審査員として出席 |
| 34 | 甘肅省第1回日本語コンクール | 蘭州理工大学 | 07.05.19～ 07.05.20 | 甘肅省内の教育機関9校が参加し、日本語暗誦、スピーチコンテストの他、日本文化に関する講演や日本文化の紹介、学生主体の文化的活動が合わせて実施された。北京日本文化センターからは小西日本語教育アドバイザーが出席した |
| 35 | 北京外国語大学日本文化祭 | 北京外国語大学 | 07.05.21～ 07.05.27 | 北京外国語大学を会場とし、北京外国語大学、北京大学、日本の早稲田大学との共催で行われる日中交流文化祭。開幕式では、それぞれの大学の学生が、音楽演奏などの公演を行う他、茶道体験などを開催。 |
| 36 | 中日非言語コミュニケーション研究国際シンポジウム | 中国海洋大学 | 07.05.23～ 07.05.25 | 日中文化の相違による非言語コミュニケーションの現状についてのシンポジウム。40数名の参加者の他、北京日本文化センターからは小西アドバイザーが出席 |
| 37 | 桜花杯日本語作文コンクール | 南昌大学 | 07.05.26 | 第10回目にあたる本年度は南昌大学および日中文化研究所が主催。 |
| 38 | 広西日中文化祭 | 広西師範大学 | 07.06.02～ 07.06.03 | 桂林で活動している青年海外協力隊のメンバーを中心に、日本語学習者（学生）及び市民を主な対象として、日本文化紹介のイベントを開催する。広西師範大学が主催し、駐広州総領事館他が協力。 |
| 39 | 中山市小欖実験高級中学第7回日本語スピーチ大会 | 小欖実験高級中学 | 07.06.16 | 第7回目の今回は「日本語を勉強して思った事」をテーマに申請機関所属の高校生10名が出場した |
| 40 | 北京大学「日本経済論」特別講演 | 北京大学政府管理学部政治経済学科 | 07.06.20～ 07.06.23 | 北京大学全学向け「日本経済論」コースに九州産業大学教授（名古屋大学名誉教授）の山田鋭夫先生をお招きし、学部生や院生に「市場経済多様化と日本経済の位置」についての講演。 |
| 41 | 心霊的低語～日本アニメの大御所宮崎駿作品音楽会 | 中央音楽学院 | 07.06.23 | 中央音楽学院の学生による、宮崎駿アニメ作品音楽の演奏会。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|-------------------------|-----------------------|--|
| 42 | 飯澤耕太郎日本写真講演 | 三影堂撮影芸術センター | 07.06.28 | 北京在住の写真家グループ榮榮&映里により、新しく写真美術専門の美術館である三影堂撮影芸術センターが開館した。ここでは、写真美術の展覧会を開催する他、情報集積・発信機能を持たせ、中国で初めての写真専門美術館としての活動を予定している。開館展覧会として、中国写真史（回顧）展を開催を計画しており、合わせて写真美術に関するシンポジウムも開催する。シンポジウムの際に、日本の著名な写真美術評論家飯澤耕太郎氏を招き、講演会を開催。 |
| 43 | 論文集「儒教と東アジアの近代」出版 | 中国社会科学院哲学研究所 | 07.07.04～ 07.10.30 | 2004年3月に東アジア各国の「近代化」過程における儒教の変容・再構成の姿を明らかにするため中国社会科学院哲学研究所が国際シンポジウムを開催した（基金知的交流会議助成により支援。）。東アジアの近代において、「儒教」がどのような働きを成したのかを検証し、またその検証を通して東アジアの現代について研究した。当論文集はその成果を広く社会に還元することを目的として出版するものである。 |
| 44 | 「日本高等教育近代化研究」出版助成 | 厦門大学日本語教育研究センター | 07.08.01～ 07.08.31 | 日本近代の高等教育制度、思想、教育課程などについて総合的に分析を行った呉光輝博士の博士論文の出版。 |
| 45 | 第五回学生のための国際ビジネスコンテスト---OVAL Beijing 2007 | OVAL CHINA | 07.08.07～ 07.08.13 | 日中韓の学生がビジネスプランを競い合う国際ビジネスコンテストである。自国で予選を経た三カ国の学生は自国の他の参加者と分けられ、日本、中国、韓国各国から一人ずつの3人チームでビジネスプランを作成させるコンテストであった。コンテスト本番以外には各関連分野からの専門家を招き、セミナーやレクチャーなども行われた。共通語は英語であった。 |
| 46 | Asian Body展覧会 | Asian Body展覧実行委員会 | 07.08.11～ 07.09.09 | 中国人建築ユニットTCAと、東京に拠点を置くISSHO建築設計事務所が参加し、国際的な感覚を持つ新しい世代のアジア人建築家による新しいアジア的身体を表現することを試みた展覧会。 |
| 47 | 京論壇2007 | 京論壇北京大学実行委員会 | 07.08.25～ 07.09.02 | 東京大学と北京大学の学生が、両校を相互訪問し、『環境』、『経済』、『歴史』、『安全保障』の4分野に焦点をあて、議論を行う。議論は、英語で行い、最後に経過、結果を発表する。昨年からはまったプロジェクトの2年目。北京大学側の責任者は、留華ネット北京代表メンバーが務めている。 |
| 48 | 日本イメージ、中国イメージ形成に関する日中共同研究 | 社会科学院新聞与伝播研究所メディア調査センター | 07.09.01～ 07.12.31 | 日中国交35周年を記念する日中文化・スポーツ交流年の今年に日中間の文化交流が盛んに行われている。そのなかで、中国国民の対日感情の変化、日中文化交流の拡大が人々の対日イメージ・日本観への影響をについて、世論調査で明らかにし、それを踏まえて、日中文化交流のあり方について提案を行う。 |

海外事務所

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------------|-----------------------|-----------------------|--|
| 49 | 第2回SGRA北京大学論壇 | 北京大学外国語学院 | 07.09.15 | 関口グローバル研究会 (SGRA) の主催で、緑の地球ネットワーク (GEN) と北京大学、新疆大学の共催で15年間山西省大同市の黄土高原で緑化運動を続けている認定NPO法人緑の地球ネットワーク事務局の高見邦雄氏による「黄土高原緑化協力の15年間：無理解と失敗から相互理解と信頼へ」をテーマにする講演会が実施される。 |
| 50 | 第1回SGRA新疆大学論壇 | 新疆大学研究生院 | 07.09.17 | 関口グローバル研究会 (SGRA) の主催で、緑の地球ネットワーク (GEN) と北京大学、新疆大学の共催で15年間山西省大同市の黄土高原で緑化運動を続けている認定NPO法人緑の地球ネットワーク事務局の高見邦雄氏による「黄土高原緑化協力の15年間：無理解と失敗から相互理解と信頼へ」をテーマにする講演会が実施される。 |
| 51 | 日中学生交流事業 Autumn Bird | 日中学生交流団体 freebird | 07.09.20～ 07.09.25 | 日本の関東、関西、そして中国の上海に支部を持ち、活動している日中学生交流サークル『freebird』が主催する学生の交流事業。 |
| 52 | Japan Now | JAPAN NOW実行 委員会 | 07.09.26～ 07.10.02 | 日本の現代舞台芸術を発信してきている『Japan Now』事業として、前衛劇団OM-2が上海で開催される『越界芸術祭』に参加した。 |
| 53 | 上海ジャズバンド訪 日事業 | R PRODUCTION | 07.10.05～ 07.10.10 | 上海で活動中の中国若手ジャズバンド『Possibilities』の初訪日公演。横浜市で開催される第15回「横浜ジャズプロムナード」に出演する他、洗足学園音楽大学学生との交流ライブなどを開催した。 |
| 54 | 吉林地区中学生日本語 コンクール | 吉林省永吉県朝鮮族 第一中学校 | 07.10.20 | 吉林省永吉県朝鮮族第一中学校を会場に吉林地区内の日本語教育の活性化を目指して開催。吉林省内の朝鮮族中学5校が参加、スピーチの部・演目の部をあわせて全体で39名の学生が参加。北京日本文化センターからは吉田ジュニア専門家が審査員として出席した |
| 55 | 国際会議「朝鮮半島 情勢と北東アジアの 平和と安全」 | 中国社会科学院 ア ジア太平洋研究所 | 07.10.26～ 07.10.29 | 朝鮮半島が重大な転換期を迎えている時期に、中国社会科学院アジア太平洋研究所が主催団体として、中国、アメリカ、日本、ロシア、韓国、北朝鮮など六カ国の主要なシンクタンク約30名の著名な専門家を北京へ呼んで、北朝鮮核問題など六カ国協議で議論されている諸問題について各政府の政策情報を交換し、六カ国協議をよりよく進展させる。 |
| 56 | 「将棋」出版 | 人民体育出版社 | 07.11.01 | 日本将棋の中国での普及に尽力してきた李民生氏の著による将棋の書籍発行。 |
| 57 | 寧夏大学日中友好文 化祭 | 寧夏大学 | 07.11.03～ 07.11.04 | 寧夏大学の主催により、浴衣体験や剣道デモなど日本文化を紹介した。北京日本文化センターからは、日本語教育アドバイザーが出席し、浴衣を貸し出した。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|--------------------|-----------------------|---|
| 58 | 第二回東アジアの文化アイデンティティの形成と日中韓連携の方策に関する共同シンポジウム | 中国社会科学院日本研究所 | 07.11.15～ 07.11.16 | 昨年度九州大学で開催された第1回のシンポジウムに引き続き、今回はソウルで、ほぼ同じテーマで学術シンポジウムを開催する。幹事校は韓国の東国大学校で、中国社会科学院、九州大学との共催である。日中韓の共通文化や政治問題に詳しい知識人による講演の外、文化、経済連携、高齢化、医療倫理、環境の5つの分科会を開催し、3カ国の現状や連携の可能性について意見交換を行う。分科会では、環境分科会を新しく加え、昨年度の課題をさらに発展させるほか、最近の情勢を踏まえた新しいトピックも取り上げる。 |
| 59 | 講演会「日本のアニメ制作の現場から」(南京) | 南京大学 | 07.11.23～ 07.11.25 | 江蘇ジャパンウィークの一環として、南京大学で、日本のテレビアニメプロデューサーの講演会を行った。 |
| 60 | 日本における農業共同組合についての研究 | 中国社会科学院社会政策研究中心 | 07.12.12～ 07.12.19 | 中国新農村建設に向けて、農民組織による農村現代化の例としての日本農協に関する訪日調査の第二陣。 |
| 61 | 遼寧大学日本文化祭 | 遼寧大学 | 07.12.16 | 遼寧大学に留学している日本人留学生を中心として、もちつき、浴衣試着体験などの日本文化紹介イベントを行った。 |
| 62 | 広東美術館シンポジウム「浮遊するモダニズム」 | 広東美術館 | 07.12.23～ 07.12.24 | 中国と日本の美術交流史に関するシンポジウムを、日本からの研究者を招へいして行った。 |
| 63 | 演劇公演事業「日本劇作シリーズ公演5<TRANCE-変形人間に関する実地考察>」 | 三十路組 | 08.02.21～ 08.03.02 | 鴻上尚史作「TRANCE」を、香港と日本の演劇人が共に作り上げ、香港にて上演。 |
| 64 | 日中社会起業家交流プロジェクト | グローバル・リンク・イニシアティブ | 08.03.01～ 08.03.31 | 社会的に公益性のある事業を企業の形態をとって実施する社会企業（ソーシャル・ベンチャー）の日本における活動事例を、インターネット上で中国語で紹介するプロジェクト。 |
| 65 | 「西学東漸と東アジア近代新語新概念」シンポジウム | 北京大学日本語言文化学部 | 08.03.22 | 中国、日本、韓国などから関連の学者が参集し、西洋概念の東洋化と漢字文化圏における新語彙の交流や普及に関するテーマで発表と討論を実施。 |
| | 【後援事業】 | | | |
| 66 | 第3回日中青年交流活動 | | 07.04.08 | 日本の留学生と中国人学生による交流会。全部で約100名が参加。日本大使館の公使を招き、講演会を開催した他、お互いの文化を紹介する出し物も披露された。北京事務所のホールを会場として、提供した。 |
| 67 | 中日友好シンポジウム「地球市民を目指して！！」 | 湖南師範大学国際交流処、湖南日本人会 | 07.05.19 | 『地球市民を目指して』と題したシンポジウムを開催した他、大学生や社会人によるスピーチや自由討論などを行った。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|-------------------------------|-----------------------|--|
| | 【会場提供】 | | | |
| 68 | 日中演劇人座談会 | R PRODUCTION | 07.12.08 | 当センター多目的ホールにて、日中の演劇人が、「海と日傘」に見る日中文化論や、日中演劇の変遷についての座談会を実施。 |
| | 【文化備品・視聴覚資料貸出】 | | | |
| 69 | 国際関係学院「日本・フランス文化祭」 | 国際関係学院 | 07.05.15 | 国際関係学院で外国語を学んでいる日本語学科、フランス語学科の共同主催による文化祭。事務所からは、浴衣、日本玩具、写真パネル「日本の世界遺産」の貸出を行った。 |
| 70 | 中国人民大学『北京市日本語風采コンテスト』 | 中国人民大学 | 07.05.18 | 日本語を学習する学生が、3人一組で出し物を行うイベント。事務所からは、審査員として日本語教育ジュニア専門家が参加した。また、文化備品の日本玩具を貸し出した。 |
| 71 | 成都ふれあいの場夏祭り | 広島・四川中日友好会館「成都ふれあいの場（中日交流之窗）」 | 07.06.17 | 成都ふれあいの場で夏祭りを開催。普段、運営にボランティアとして携わっている日本人留学生を中心に企画、運営。北京事務所からは浴衣の貸出を行った。 |
| 72 | 北京第二外国語学院演劇大会 | 北京第二外国語学院 | 07.06.23～ 07.06.27 | 北京第二外国語学院で日本語を学習する大学生による演劇大会。国際交流基金北京日本文化センターからは、浴衣の貸出を行った。 |
| 73 | 北京国際スポーツ映画週間 | 北京 | 07.07.08～ 07.07.15 | スポーツをテーマにした映画の上映会。日本の作品は、「Shall we dance?」「ウォーターボーイズ」を上映。 |
| 74 | 日本文化祭（北京科技職業学院日本語学院） | 北京科技職業学院日本語学院 | 07.08.14～ 07.08.21 | 北京科技職業学院日本語学院で日本語を学んでいる学生による文化祭。国際交流基金北京日本文化センターからは、浴衣の貸出を行った。 |
| 75 | 人民大学日本語学部新入生歓迎会 | 人民大学日本語学部 | 07.09.18～ 08.09.20 | 中国人民大学の日本語学科新入生歓迎会。国際交流基金北京日本文化センターからは浴衣や日本玩具などの文化備品貸し出しを行った。 |
| 76 | 北京第二外国語学院運動会 | 北京第二外国語学院 | 07.10.16 | 北京第二外国語学院で開催された運動会。国際交流基金北京日本文化センターからは、浴衣の貸出を行った。 |
| 77 | 北京大学国際文化祭 | 北京大学 | 07.10.20 | 北京大学に留学中の外国人学生が、自国の文化を紹介する国際文化祭。国際交流基金北京日本文化センターからは日本からの留学生たちに浴衣の貸出を行った。 |
| 78 | 江西農業大学南昌商学院日本文化祭 | 江西農業大学南昌商学院 | 07.10.26～ 07.10.28 | 日本語学科の学生の更なる日本文化理解と日本語力の向上、他学部生への日本文化紹介を目的に開催。国際交流基金北京日本文化センターからは浴衣の貸し出しを行った。 |

ジャカルタ日本文化センター

合計額 139,770,586円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------------------|-------|--------------------------------|------|-----------------------|---|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | 日本とインドネシアの絆～日本インドネシア水彩画展～ | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | | 07.04.23～ 07.05.04 | インドネシア水彩画家協会と東富有(あずま ふゆう)・日本国際水彩画院代表による共同水彩画展を開催し、絵画60点を展示 |
| 2 | 写真展 日本の世界遺産 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | | 07.06.08～ 07.06.27 | 「写真展 日本の世界遺産」を開催し写真家三好和義の作品61点を展示するとともに、京都・奈良や姫路城等の日本の世界遺産をテーマとしたDVD 4作品を常時上映 |
| 3 | ネオ・ピオン「アスフェガの世界展」 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー | | 07.07.20～ 07.08.02 | 若手芸術家支援事業「ネオピオン」の一環として、ジャカルタ出身の新進美術家アスフェガによる水墨画展を実施し、新旧作併せ29点を展示 |
| 4 | 「平和運動媒体としての文章」インドネシア女性参画センター討論会 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 07.08.15 | インドネシア女性参画センターは、ジャカルタ日本文化センターにて「平和運動媒体としての文章」をテーマに討論会を開催した。スピーカーには、日刊コンパス紙記者ニヌック=マルディアナ氏、「ダ・ベチ・コード」作者ベン=ソヒブ氏。モデレーターを都市の下層階層支援に携わるフェルディ=ファビアン氏が務めた |
| 5 | 「京都」写真展 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | | 07.10.22～ 07.11.02 | 写真家高崎勝二氏の写真集『そうだ、京都、行こう。』の作品30点を展示するとともに、写真展とあわせて作品についての感想文を募集 |
| 6 | OKINAWA文化紹介週間 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 07.11.05～ 07.11.09 | ジャカルタ日本文化センターは、インドネシア人エイサー集団「うーまくエイサーしんか」と共催で沖縄文化紹介事業を実施した。今回行ったのは、写真展・映画上映・討論会・エイサーワークショップとその発表会としてのエイサー公演。エイサーワークショップは2日間に渡り実施 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|----------|-------------------------------|-----------------|-----------------------|---|
| 7 | ネオ・ピオン「絵画との対話」展 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー | ファリースタジオアートスクール | 07.11.09～ 07.11.23 | 若手芸術家支援事業「ネオピオン」の一環として、自閉症の作家3名の絵画約60点を展示すると共に、ジェフレイ＝サントの創作風景を写したDVDを常時上映 |
| 8 | 第12回日伊児童画展 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | | 08.02.06～ 08.02.13 | 首都圏地域の幼稚園児から中学生を対象に「私の海」をテーマに作品を募集し優秀作を展示するとともに、養護学校とジャカルタ日本人学校からも同じテーマで作品を集め、全部で約300点を展示 |
| | 【公演】 | | | | | |
| 9 | 「FRAGILE」オクティ＝ブディアティ&サイコソマティックプロジェクト実験舞踊公演 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | | 07.04.04 | 若手芸術家支援プログラム「ネオピオン」の一環として同センター内ホールにてオクティ＝ブディアティ&サイコソマティックプロジェクト実験舞踊公演を開催した |
| 10 | パフォーマンス・クラブ・ジョグジャカルタ | ジョグジャカルタ | Dusun Gemblangan、Sewon、Bantul | | 07.04.25～ 07.04.29 | ジョグジャカルタにおいてパフォーマンス・アート・フェスティバルを実施し、日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル代表の霜田誠二氏も日本から参加 |
| 11 | 「冷静と情熱のあいだ——Rosso」演劇実験室タンジュンスニジャカルタ公演 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | | 07.05.07～ 07.05.08 | 江國香織・辻仁成が書いた同じ物語のうち、江國香織版を演劇化し、演劇実験室タンジュンスニジャカルタ公演を実施 |
| 12 | オペラシアターこんにゃく座ジャカルタ公演 | ジャカルタ | TIMテアトル・クチール | | 07.05.16～ 07.05.17 | オペラシアターこんにゃく座東南アジアツアーを実施し、マレーシア、インドネシア、ベトナム、タイ及びラオスにおいて、新作オペラ「ピノッキオ」の公演を実施 |
| 13 | トゥナス・ムダ劇団 綾の鼓 | ジャカルタ | ジャカルタ芸術劇場 | トゥナス・ムダ | 07.05.31 | 三島由紀夫原作「綾の鼓」を高校生劇団トゥナス・ムダ劇団が、インドネシア語で上演した。演劇上演のほか、関連事業として映画上映、音楽の演奏も実施 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|--------------------|--------------------------------|---------------|---------------------------|---------------------------------|-----------------------|--|
| 14 | 「踊りに行くぜ!!!」ジャカルタ公演 | ジャカルタ | ゲーテハウス | クローラ財団、ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク | 07.09.02～ 07.09.06 | 日本の各都市で開催されている「踊りに行くぜ!!!」の東南アジアツアーの一環として、ジャカルタ公演を実施した。今回は日本の若手ダンサーの紹介を行った |
| 15 | オランダ・インドネシア・日本 コンテンポラリーダンス共同制作 | ジャカルタ | ジャカルタ芸術劇場 | グマラン・サクティ | 07.09.05 | オランダ人振付家ジェラルド・モステルド氏とインドネシア人振付家ボーイ・G・サクティ氏によるコンテンポラリー・ダンス共同制作作品に、日本人ダンサーが参加する旅費に対し協力 |
| 16 | 「消えた仮面」劇団キパス公演 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | 劇団キパス | 07.09.26 | ジャカルタ芸術大学の卒業生を中心に旗揚げし、ジャカルタを中心に多くの舞台を手がけている、劇団キパスによる『消えた仮面』を上演 |
| 17 | 「ゼファとジャズのひと時を」ゼファジャズピアノコンサート | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター | | 07.11.20 | 若手芸術家支援事業「ネオピオン」の一環として、バンドウン在住の新進ジャズピアニスト・ゼファニャ=プトラ（ゼファ）のソロコンサートを開催 |
| 18 | 「月下咆哮」劇団態変金満里ソロ公演 | ジャカルタ | TIMテアトル・クチール | | 08.01.30～ 08.01.31 | 障害者劇団「態変」の主宰者である金満里を招へいし、ソロ作品「月下咆哮」の公演を実施 |
| 【講演・シンポジウム】 | | | | | | |
| 19 | アジア・フォーラム | デボック | インドネシア大学日本研究センター | インドネシア大学日本研究センター | 07.04.26 | インドネシア大学日本研究センターと共催で、シンポジウム「アジア・フォーラム」を実施 |
| 20 | 日本研究巡回セミナー（インドネシア大学大学院） | ジョグジャカルタ、スラバヤ | 各地大学日本研究センター | ガジャマダ大学、スラバヤ国立大学 | 07.05.28～ 07.06.05 | インドネシア大学大学院地域日本研究科学科長が、地域間ネットワーク強化のためジョグジャカルタ及びスラバヤにて日本研究セミナーを実施 |
| 21 | 「RONIN」出版記念討論会 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | Mata Hati出版社 | 07.05.29 | 赤穂浪士47士をテーマにした小説「RONIN」の出版を記念して、47士についての討論会を実施 |
| 22 | 漫画「ブッダ」出版記念討論会 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | KPG出版社 | 07.07.11 | 手塚治虫の作品「ブッダ」のインドネシア語版刊行を記念して、日本の漫画についての討論会を実施 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|-------|--|---|-----------------------|--|
| 23 | 「ゴジラから現在に至る怪獣映画の歴史」四方田犬彦講演会 | ジャカルタ | シネマテーク・インドネシア、インドネシア大学日本研究センター、ジャカルタ芸術学院 | シネマテーク・インドネシア、インドネシア大学日本研究センター、ジャカルタ芸術学院 | 07.08.29～ 07.09.13 | 明治学院大学教授四方田犬彦氏講演会を、「日本映画史」、「ゴジラから現在に至る怪獣映画の歴史」及び「かわいい論」をテーマとして実施 |
| 24 | 自転車世界一周！地球体験が教えてくれた本当の「自分」冒険家坂本達講演会 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | 学習塾ファイ | 07.09.09 | 在留邦人子弟を主な対象として、自転車冒険家坂本達氏講演会を実施 |
| 25 | インドネシア日本研究協会広報業務支援 | デボック | - | インドネシア日本研究協会 | 07.09.10～ 08.03.31 | インドネシア日本研究学会本部と地方支部とのネットワークの強化や発進力を高める目的で、同学会ホームページ開設費用を支援 |
| 26 | 日本及びインドネシアの政治に関するシンポジウム | デボック | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | ジャカルタ日本文化センター、インドネシア大学大学院日本地域研究科、ハビビ・センター | 07.09.12 | インドネシア大学大学院日本地域研究科に派遣された菅英輝客員教授による公開セミナーを行った。タイトルは、「『普通の国』に向かう日本とインドネシア外交」 |
| 27 | ウブド作家フェスティバルへの協力 | バリ | Pondok Pekak Library | ウブド作家フェスティバル | 07.09.25～ 07.09.27 | ウブド作家フェスティバルの公式プログラムの一つとして、漫画家 前山まち子氏が漫画のワークショップを開催するにあたり、旅費の一部について協力 |
| 28 | 前山まち子 ミャンマーにおける漫画ワークショップ及びレクチャーデモンストレーション | ヤンゴン | ホテル・日航ミャンマー | 在ミャンマー日本国大使館 | 07.12.16～ 07.12.19 | インドネシアで活躍する漫画家 前山まち子をミャンマーに派遣し日本の漫画に関する紹介事業を実施 |
| 29 | 日本研究ワンデーセミナー及びフェロー懇談会 | デボック | インドネシア大学日本研究センター | インドネシア日本研究協会 | 08.02.04 | インドネシアの日本研究者間及び研究機関間のネットワーク強化を目指し、インドネシア日本研究協会（ASJI）と共催で開催する1日セミナー。各大学の日本研究センターの代表者及び基金元フェローを集め、インドネシア大学各地の大学で研究を進める若手研究者に対し、研究発表の場を提供 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------------------|----------|---|-----------------|-----------------------|---|
| 30 | インドネシア及び日本文学に関するセミナー | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | クローラ財団 | 08.02.16 | 文学愛好者のメーリングリスト Apresiasi Sastra (APSAS) の創設3周年を記念して、日本文学及びインドネシア文学に関するセミナーを実施 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 31 | シネマ・キャラバン (ジャカルタ近郊対象) | ジャカルタ | ジャカルタ近郊の中等教育機関 | 各中等教育機関 | 07.04.01～ 08.03.31 | ジャカルタ近郊の中等教育機関を訪問し、映画上映会、折り紙教室等の日本文化紹介事業を実施 |
| 32 | 定期映画上映会 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | | 07.04.01～ 08.03.31 | ジャカルタ日本文化センター多目的ホールにおいて、フィルムライブラリーの作品上映会を開催 |
| 33 | 在留邦人向け映画上映会「二つの故国をつなぐ歌～Diva 早春賦をうたう～」 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | ジャカルタ新聞 | 07.05.10 | 日本とインドネシア・アチェの交流を描いたドキュメンタリー映画「二つの故国をつなぐ歌～Diva 早春賦をうたう～」の上映会を開催 |
| 34 | 『初戀』上映会及び写真展 | ジャカルタ、バリ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール、ブリッツメガプレックス、エラスムスハウス、Q!バー | | 07.08.25～ 07.09.02 | インドネシア国内3カ所で、『初戀』(2007年、今泉浩一監督)を上映したすると共に、田口弘樹氏による本映画写真およびH I V啓発写真の展示も開催 |
| 35 | 第4回インドネシアアニメ映画祭2007 | ジャンビ | タマンブダヤアレナ劇場、タラタックランカンブダヤ劇場、ジャンビ第31専門高校 | インドネシアアニメ映画祭事務局 | 07.10.28～ 07.11.04 | スマトラ島ジャンビ州にて第4回インドネシアアニメ映画祭2007を開催し、「NITABO」を上映 |
| 36 | アジア・アフリカ映画祭 | バンドン | ブリッツメガプレックス | インドネシア外務省 | 07.12.06～ 07.12.08 | アジア及びアフリカの映画にフォーカスを当てたアジア・アフリカ映画祭において、「NITABO」の上映 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------|-------|------------------------------|------------------------------|-----------------------|--|
| 37 | シネマ・キャラバン (マカッサル) | マカッサル | ハルモニ劇場、パンキエジェン第1高校、マカッサル第3高校 | ハルモニ劇場、パンキエジェン第1高校、マカッサル第3高校 | 08.03.19～ 08.03.23 | マカッサルにおいて、映画上映会を実施すると共に、折り紙教室等を実施 |
| | 【教室事業】 | | | | | |
| 38 | 囲碁教室 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的教室 | | 07.04.01～ 08.03.31 | ジャカルタ在住の囲碁愛好家や囲碁を学んでみたいという人たちのために、毎週金曜日16:30～20:00まで囲碁サロンを開催 |
| 39 | スクール・ビジット | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール | | 07.04.01～ 08.03.31 | 首都圏地域の高校大学その他教育機関より学生らの訪問を受け入れ、基金の活動を紹介するとともに、図書館見学や折り紙等の日本文化実演、日本映画鑑賞などを実施 |
| 40 | 第4回フレンドシップカップ囲碁大会 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター | 日本人囲碁将棋クラブ | 07.05.20 | 囲碁を通じて日本とインドネシアの友好親善を図るために、日本人・韓国人とインドネシア人棋士による個人トーナメント戦を3つのクラスに分けて実施 |
| 41 | 生け花教室 | | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的教室 | 生け花インターナショナル | 07.06.08～ 07.09.28 | 一葉流の生け花講師による生け花教室を3カ月間実施するとともに、コースの終了に際しては、受講生による生け花展覧会も開催 |
| 42 | 第1回全インドネシア囲碁選手権大会 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター | インドネシア囲碁協会 | 07.06.30～ 07.07.01 | ジャカルタ首都圏のみならず、メダンから2名・バンドンから2名・ジョグジャカルタから2名を含む総勢40名の選手が参加し、国内で初めて全国規模の囲碁大会を実施 |
| 43 | 東南アジア体育大会 (SEA GAME) 出場予選囲碁大会 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター | インドネシア囲碁協会 | 07.11.04 | インドネシア囲碁協会と共催で、東南アジア体育大会囲碁の部への出場予選大会を開催した。タイのバンコクにて行われる東南アジア体育大会では今回始めて囲碁がエキシビジョンゲームとして認定。その出場権をかけた32名の囲碁選手が参加した |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------|-------|---|---|-----------------------|---|
| 44 | 第5回4カ国 対抗国際親善 囲碁大会 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日 本文化セン ター多目的 ホール | 日本棋院、デ ンソーインド ネシア、ジャ かるた新聞、 日本人囲碁将 棋クラブ、イ ンドネシア囲 碁協会、韓国 囲碁協会、力 亭、アニメイ ンダイダー | 07.12.14～ 07.12.16 | 日本棋院の向井梢恵初段を審査委員長に招き、インドネシア人・日本人・中国人・韓国人囲碁愛好家による囲碁大会を開催するとともに、囲碁愛好家の底辺の拡大を目指し、インドネシアの若者向けに囲碁教室を開催 |
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 45 | 日本語教育学 会西ジャワ支 部支援 | バンドン | ウィディアタ マ大学 | | 08.01.19 | 日本語教育学会西ジャワ支部が発行する学会誌『WA』の発刊支援、及び同支部主催のセミナーに対する講師派遣の支援を実施 |
| 46 | 大学定期訪問 | ジャカルタ | 各大学 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 当センター所属派遣専門家による首都圏地区所在大学への定期訪問を実施。情報交換、日本語教育に関する助言を行った |
| 47 | 高校日本語教 師会 (MGMP) 支 援 | 8都市 | 各地高校 | | 07.04.01～ 08.03.31 | インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(MGMP)の活動を資金面やソフト面(ジュニア専門家の出講)で支援を実施。今年度は北スマトラ、西スマトラ、ジャカルタ及び周辺地域、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシの8つのMGMP活動が対象 |
| 48 | インドネシア 日本語教育研 究会 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日 本文化セン ター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 当センターが母体となって設立したインドネシア日本語教育研究会において、高等教育機関日本語教師向けに日本語及び日本語教授法の研究会を実施 |
| 49 | 日本語講座 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日 本文化セン ター | | 07.04.01～ 08.03.31 | ジャカルタ及び近郊の日本語学習者(中級以上)を対象に実施している1年間の日本語学習講座。3コース(中級、上級1、上級2)を設置。毎年5月に募集し、6月に入試・面接を行い、8月から授業を実施。2名の日本人講師と2名のインドネシア人講師が指導にあたった |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------|-------|-------------------------|------|-----------------------|---|
| 50 | 弁論大会全国大会高校生の部 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 07.04.07 | 日本語を学習している高校生の学習意欲向上及びレベルアップを目的として実施する弁論大会。ジャボデタベック地区、北スマトラ、西スマトラ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシの8地方大会優秀者13名をジャカルタ集め競い合った。本大会の上位入賞者は基金主催の高校生日本語学習者奨励研修、もしくはJ S A日本語スピーチコンテストの参加資格を得て訪日した |
| 51 | 平成19年度第1回ジュニア専門家会議及び中等教育支援会議 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 07.04.09～ 07.04.10 | 2007年4月9日、国際交流基金ジャカルタ日本文化センターにて実施。出席者は同センタースタッフと同国地域派遣ジュニア専門家6名とセンター派遣専門家2名、メダン地域派遣専門家1名、センターインドネシア人講師2名。各ジュニア専門家から①地域の日本語教育の現状、②2006/2007年活動評価、③2007/2008年の活動提案、活動方針を発表。問題点を捉えながら、現実に沿った日本語教育支援を検討した |
| 52 | 普通高校日本語教師基礎研修（パダン） | パダン | パダン教員研修所 | | 07.05.07～ 07.05.19 | 国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催して実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修。国際交流基金ジャカルタ日本文化センターからはジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師（センターから）2名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指した |
| 53 | 日本語弁論大会一般の部（首都圏地区大会） | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 07.05.12 | 日本語弁論大会全国大会の地区予選会（ジャボデタベック地区）、当該地区から3名が全国大会へ出場した |
| 54 | 日本語教育学会南スラウェシ支部主催セミナー開催 | マカッサル | ハサヌディン大学 | | 07.05.26 | 2日間にわたって行われたインドネシア日本語教育学会南スラウェシ支部主催セミナーを実施。ジャカルタ日本文化センターから日本語教育派遣専門家1名が講師として参加。同支部は昨年12月に設立されたばかりで、今回のセミナーは初めてのものであった。参加者約20名の中には大学講師だけではなく高校教員の姿も見られた |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------|---------------|---------------------|------|-----------------------|---|
| 55 | 日本語教育学会中部ジャワ・ジョグジャカルタ特別州支部支援 | ジョグジャカルタ・スマラン | ディアン・ヌサワントロ大学 | | 07.06.30 | 日本語教育学会中部ジャワ・ジョグジャカルタ特別州支部が実施するセミナーに対し、派遣専門家及びジュニア専門家を派遣することにより支援を行う |
| 56 | 普通高校日本語教師基礎研修(ロンボク) | ロンボク | ロンボク教員研修所 | | 07.07.10～ 07.07.23 | 国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催して実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修を実施。ジャカルタ日本文化センターからはジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師(センターから)2名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指した |
| 57 | 日本語弁論大会一般の部(全国大会) | ジャカルタ | サヒッド・ジャヤ・ホテル | | 07.07.14 | 今年度で37回目を迎える日本語弁論大会(一般の部)を実施。インドネシア各地(スマトラ、ジャカルタ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、スラウェシの7地域)での予選を勝ち抜いた14名がジャカルタで競い合った。1、2位入賞者は(社)在外企業協会主催のアセアンスピーチコンテスト(日本で実施)に参加した |
| 58 | 日本語教育学会ジャボデタベック支部支援 | ジャカルタ | バクアン大学 | | 07.08.04 | バクアン大学と共催し、大学日本語教員の教授法向上を目的とした日本語教育学会ジャボデタベック支部が実施するセミナーを実施、派遣専門家を講師として派遣した |
| 59 | ジャボデタベック地区初級教授法研修 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター | | 07.08.20～ 07.08.23 | ジャボデタベック地区の高等教育機関・民間講座講師向けに「初級の教え方を振り返るとともに導入・基本練習が実際できるようになる」を目的とした初級教授法研修を実施。当地講師が発表原稿を準備して講演する形式。発表原稿作成の際には当センター派遣専門家が随時助言を行った |
| 60 | インドネシア共和国外務省入省日本語試験 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター | | 07.09.23 | インドネシア外務省より入省試験のうち、外国語部門日本語試験の作成・実施を依頼され、日本語能力試験2級程度の試験を作成及び実施 |
| 61 | 平成19年度第2回ジュニア専門家会議及び中等教育支援会議 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター | | 07.09.24～ 07.09.25 | インドネシア各地に派遣されているジュニア専門家がジャカルタに集まり、各地域における中等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の中等教育レベルにおける業務方針に関する討議を実施 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|-------|-------------------------|------|-----------------------|--|
| 62 | 日本語教育専門家会議及び高等教育支援会議 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 07.09.26～ 07.09.27 | インドネシア各地に派遣されている専門家がジャカルタに集まり、各地域における高等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の高等教育レベルにおける業務方針に関する討議を実施 |
| 63 | 平成19年度教材寄贈プログラム教材授与式 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 07.10.04 | ジャカルタ近郊及び西ジャワ州の採用機関の代表に、ジャカルタ日本文化センターホールにて教材授与式を実施 |
| 64 | インドネシア日本語教育学会（ジャボデタベック支部）大学日本語学科長会議 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 07.10.31 | ジャボデタベック支部内12大学の日本語学科長を集め会議を開催し、今後の方針等を検討する会議を実施 |
| 65 | 日本語能力試験 | ジャカルタ | 各地大学及び高校 | | 07.12.02 | 当地7か所で実施される日本語能力試験の共催者に対し、情報交換や助言などの協力を行った |
| 66 | ジャボデタベック地区文法一日セミナー | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 07.12.08 | 「文法分析力の向上と知識の拡充」を目的とし、テーマは「使役」。若手大学教員に発表の場を提供し、文法項目を自ら学び、それを他教員に分かりやすく発表して頂くセミナーを実施 |
| 67 | 日本語教育学会本部支部支援 | スラバヤ | 1945年8月17日大学 | | 07.12.15～ 07.12.16 | 日本語教育学会本部が主催するセミナー（今回のテーマは「アンケート」）に対し、日本語教育専門家を通じた支援を実施 |
| 68 | 高校日本語教師向け日本語日本文化研修 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 07.11.13～ 07.11.14 | 私立ピナヌサントラ大学と共催、参加者30名に対し、日本語OS搭載PCでの日本語教材作成についての研修を2日間実施 |
| 69 | 2008年度インドネシア中等教育日本語教師研修事前研修 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 08.01.14～ 08.01.25 | インドネシア教育省との共催で、2006年度から5カ年計画で、計100名の高校日本語教師を日本に送り、国際交流基金日本語国際センターで約7週間の日本語・日本事情研修を行うプログラム。今年は2年目、各地域から選抜された30名の教師がジャカルタに集まり、2週間にわたって事前研修を行った。30名の事前研修参加者から最終的に20名が選抜され、4月中旬に日本へ向けて出発する |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------|-------|---------------------|------|-----------------------|--|
| 70 | インドネシア人向け日本留学フェア | ジャカルタ | ジャカルタ・コンベンション・センター | | 08.02.10 | 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)が主催するインドネシア人向け日本留学フェア。当該フェアには日本から9つの大学、7つの専門学校の他、在インドネシア日本国大使館、インドネシア元日本留学協会、インドネシア大学日本研究センターなど25のブースが設けられる。ジャカルタ日本文化センターも知名度向上のためブースを設け、事業活動の紹介や日本文化紹介事業を実施 |
| 71 | 普通高校日本語教師継続研修(ジャカルタ) | ジャカルタ | 語学教師研修所 | | 08.02.11～ 08.02.23 | 2008年2月11日～23日にかけて基礎研修修了者を対象に、日本語及び日本語教授法の研修を2週間実施。センターから日本語教育専門家1名とジュニア専門家2名、インドネシア人講師1名も講師として出講した |
| 72 | 第6回漢字カップ | スラバヤ | タマン・ブダヤ | | 08.03.08 | 東ジャワ州スラバヤで、在スラバヤ総領事館、国際交流基金、元留学生協会東ジャワ支部、国際文化交流センター、じゃすみんな共催して実施。同州各地やジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタなどから日本語を学習するインドネシア人学生、134名が参加し、早押しクイズや書き取り問題で漢字能力を競った |
| 73 | ジャポデタベック地区初級教授法フォローアップ研修 | ジャカルタ | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センター | | 08.02.26～ 08.02.28 | 前回実施した初級教授法研修に参加した大学教員及び民間講座講師を対象に、フォローアップ研修を実施 |
| 74 | 日本語弁論大会(高校生の部)地方予選大会 | ジャカルタ | 各地大学 | | 08.03.01～ 08.03.25 | 日本語を学習している高校生の日本語学習意欲向上、日本文化紹介の一環とした第6回高校生日本語弁論大会を実施。インドネシアの8地区で開催される予選に勝ち抜いた優秀者がジャカルタで実施される全国大会に出場した。予選大会が実施されるのはジャカルタ及び周辺地区、北スマトラ、西スマトラ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシの8地域。予選大会の計画・実施・運営は各地域の高校日本語教師会が執り行っている |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|-------|-------------------------|------------------|-----------------------|---|
| 75 | 日本語履修高校生向け日本関連進路推進フェア | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 08.02.19～ 08.02.21 | 日本語を履修している普通高校の生徒向けに日本語関連進路推進フェアを実施。同フェアでは、現在、仕事に就いている日本語履修卒業生による体験談、日本語学科を有しているジャカルタ近郊の10大学の日本語学科長等代表者による説明会（ブースを設け参加者に対し資料配布や大学案内を行う）を行った |
| | 【情報発信】 | | | | | |
| 76 | エッセイ・コンテスト | | | | 07.04.01～ 07.08.01 | 平成18年度に実施したエッセイコンテストで入賞した作品を集めて合冊版を作成し関係者に配布 |
| 77 | ウェブサイト運営 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | ジャカルタ日本文化センターの紹介や催し案内のために、ウェブサイトの運営を実施 |
| 78 | NUANSA | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | ジャカルタ日本文化センターの催し案内及び来日した関係者のエッセイ等を紹介する広報媒体NUANSAを隔月発行した |
| 79 | 『EGAO』（日本語事業広報誌）発行 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | インドネシアの日本語教育機関向けに日本語事業情報誌『EGAO』を年4回発行した |
| 80 | プログラム・ガイドライン関連経費 | | | | 07.08.01～ 07.12.20 | 国際交流基金のインドネシア向けプログラムを紹介することを目的として、インドネシア語版のプログラムガイドラインを作成 |
| 81 | 日本研究ジャーナル「MANABU」 | | | ジャーナル「MANABU」事務局 | 08.01.10 | 日本研究ジャーナル「MANABU」は、インドネシアの日本研究者の研究成果をインドネシア及び海外へ発信することを目的とした研究雑誌であり、製本経費の一部を負担 |
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 82 | 図書館運営 | ジャカルタ | 国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター | | 06.04.01～ 07.03.31 | 年間来訪者約19,095名、資料数26,501点、会員数は1,079名。水曜日以外の平日午前9時半より18時、奇数週土曜日の午前9時より12時半まで開館 |

バンコク日本文化センター

合計額 127,345,853円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------------|------|---------------------------------------|---------------------------|-----------------------|--|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | ファッション ～クロスカル チャーズ | バンコク | アリアンセ・ フランセー ズ・バンコク | アリアンス・ フランセー ズ・バンコク | 07.04.23～ 07.04.26 | タイ、マダガスカル、フランス、そして日本と各国の若手中堅デザイナーが集結し、ワークショップとショーを実施。日本から参加したファッションデザイナー木本建徳氏に関わる渡航費を負担した |
| 2 | 京都日本庭園 写真展 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター アートスペース | | 07.06.04～ 07.07.27 | 平安時代初期に造園された京都最古の庭園神泉苑（池泉舟遊庭園）から昭和の著名な作庭家重森三玲による瑞峯院（枯山水庭園）にいたるまで、千二百年にもわたる日本庭園の歴史が凝縮されたカラー写真40点の展示 |
| 3 | Recycled Memories | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター アートスペース | | 07.09.06～ 07.09.27 | Recycled Memories と題した Jarupatcha Achavasmitatによる、さまざまな織物素材を利用した繊細なインスタレーション作品展 |
| 4 | 阿部恭子展 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター アートスペース | | 07.10.06～ 07.11.01 | 1996年来タイ以降数々の作品を制作・発表しているタイ在住のアーティスト阿部恭子によるインスタレーション作品展 |
| 5 | 中谷翠泉展 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター アートスペース | | 07.11.08～ 07.11.29 | 古代中国の甲骨文字や金文についての長年にわたる研究をふまえ、独自の書の世界を切り開いてきた女流書家、中谷翠泉の作品展 |
| 6 | 瀬戸正人写真 展 | バンコク | Hギャラリー | Hギャラリー | 08.02.02～ 08.03.29 | 現代日本を代表する写真家のひとり瀬戸正人による写真展。瀬戸氏はタイ人を母としてタイ東北地方で生まれ育った。日本のみならずアジアを中心に数多くの作品を発表し高い評価を得ている。今回は最新作から一部を紹介した |
| 7 | 児童ポスター 展 | バンコク | 在タイ大使館 泰日協会学校 日本人会タイ 文化センター | 在タイ大使館 | 07.12.04～ 07.12.27 | 日タイ修好120周年記念事業の一環として、両国間の交流を更に深め、友好親善関係を促進することを目指し、タイ在住の日タイの児童による図画・ポスターコンクールの入選作の展示を開催した |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|---|---|---|-----------------------|--|
| | 【公演】 | | | | | |
| 8 | こんにゃく座 東北巡回公演 | バンコク, ナ コンラチャシ マー, コンケ ンウドンタ ニー | 国際交流基金 バンコク日本 文化セン ター、ナコン ラチャシマー ラチャパッド 大学、コンケ ンコミュニ ティーセン ター、ウドン タニーラチャ パッド大学 | オペラシア ターこんにゃ く座 | 07.05.23～ 07.05.27 | オペラシアターこんにゃく座による小規模編成の公演「ピノッキオ」。バンコク、ナコンラチャシマー、コンケン、ウドンタニーと巡演した |
| 9 | 「踊りに行く ぜ！！2007」 | バンコク | パトラワディ シアター | Japan Contemporary Dance Network | 07.08.17～ 07.08.19 | 日本のダンスNPO法人Japan Contemporary Dance Network主催による「踊りに行くぜ！！」東南アジア版の第1回目。日本の若手中堅のダンサーたちにタイのLifeWork Dance Company (Pichet Klunchun主宰) が加わり公演を実施、また複数回ワークショップを実施 |
| 10 | 沢井箏曲院コ ンサート | バンコク | タイ文化セン ター小ホール | | 07.11.28 | 沢井比河流・一恵と沢井箏オーケストラ。江戸時代に箏曲の形を作り上げた“近代箏曲の祖”八橋検校による曲や現代箏の偉大な奏者・作曲家沢井忠夫による曲など、歴史的な背景に目配りした演奏会を実施 |
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 11 | 四方田犬彦氏 レクチャー | バンコク | チュラロンコ ン大学 | チュラロンコ ン大学コミュニ ケーション 学部、日本財 団 | 08.03.12 | チュラロンコン大学コミュニケーション学部映画学科の教官・学生等を主対象に「現代日本映画について 三島由紀夫を中心として」と題する特別講義を実施 |
| 12 | 猪口孝中央大 学教授セミ ナー | バンコク | ロイヤルプリ ンセスホテル | J S N | 07.11.08 | タイの日本研究者ネットワーク会議において「日本政治の動向 東アジア統合への影響について」と題し特別レクチャーを実施した |
| 13 | フェローセミ ナー | バンコク | チュラロンコ ン大学 | チュラロンコ ン大学社会科 学研究所 | 08.02.15 | 水俣を事例に環境保護の問題をとりあげ、日タイのNGO、NPO関係者を中心に討議した |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------|------|--|------------------------------|-----------------------|--|
| | 【映画】 | | | | | |
| 14 | 日本映画祭 2007 | バンコク | Grand EGV Siam Discovery Center | BIOSCOPE (映画専門誌) , EGV | 08.01.18～ 08.01.25 | 国際交流基金本部所蔵作品の中から、 日本映画の黄金時代であり、秀作が数 多く生れた50年代初めから60年代前半 にかけての作品10本を選び、上映。ク ロサワ、オズ以外のタイであまり知ら れていない監督たちの名作を上映 |
| 15 | JFシアター | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター ホール | | 07.04.01～ 08.03.31 | 毎月テーマを定め、毎週金曜日、第1・ 第3火曜日の18:30及び最終土曜日の 15:00から定期的に開催する日本映画 の上映会。原則として、タイ語字幕付 きで上映。 |
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 16 | 日本語教師集 中研修会 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.04.23～ 07.10.19 | バンコクでの教師研修に参加が困難な 地方在住の日本語教師を主な対象に、 学期休みの4月及び10月を利用した短 期集中型の研修を実施。前期研修会は 4月23日～5月4日に、後期研修会は10 月8日～19日に開講 |
| 17 | 日本語教師水 曜研修会 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.06.06～ 08.02.27 | 日本語能力が比較的高いタイ人日本語 教師を主な対象に、教授法に重点をお いた研修会を実施。前期は6月6日～9 月12日、後期は11月14日～2月27日 に開講。前後期各15回実施 |
| 18 | 日本語教師土 曜研修会 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.06.09～ 08.02.23 | 日本語能力試験3・4級のタイ人日本語 教師を主な対象に総合日本語と教授法 の研修会を実施。前期は6月9日～9月 15日、後期は11月10日～2月23日 に開講。前後期各15回実施 |
| 19 | 日本語教育通 信教育講座 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 中等学校現職教員日本語教師新規養成 講座第10期生を対象にフォローアップ 研修として日本語能力試験3級対策講 座を実施 |
| 20 | 邦人日本語教 師教授法等研 修会 | バンコク | 泰日経済技術 振興協会 | 泰日経済技術 振興協会 | 07.05.14～ 07.05.25 | タイ国内の公的教育機関において日本 語教育に携わることが決定している日 本人で、教授経験1年未満の経験の浅 い日本語教師に対する研修会。タイに おける日本語教授法の基礎習得を目的 とした、日本語教授法の基礎やタイの 日本語教育に関する講義を実施 |
| 21 | 中等学校現職 教師新規養成 講座 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | タイ教育省 | 07.04.01～ 08.03.31 | タイの高校で日本語教師が不足してい る状況を解決するため、他教科の高校 教師に日本語と日本語教授法を習得を 目的とした研修を実施 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------|-------|----------------------------|---------|-----------------------|---|
| 22 | 日本語講座運営(一般講座) | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本語中・上級レベルの学生・一般社会人対象とした日本語講座。本年度は、通訳・翻訳コースなどの専門的なコースと、総合的な能力向上を目指すコースなど合計18コース19クラスを設定。前期は6/5～9/15、後期は11/6～2/23に開講 |
| 23 | 教材普及事業 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | タイの日本語教育事情に合わせた教材開発を実施 |
| 24 | 日本語教育広報誌『タウン』の発行 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | タイ日本語教育機関及び日本語教師向けニューズレターを年4回作成・配布。印刷部数は各1,800部 |
| 25 | 紀要発行 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | タイの日本語教育に関する研究結果を共有するため、タイの日本語教育に特化した紀要を年1回発行。本年度は、8月に「日本語教育紀要第4号」を700部印刷し、タイの日本語教育関係者に配布 |
| 26 | 日本語教育コンサルティング | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | コース運営やシラバス策定など、日本語教育に関する相談を随時実施 |
| 27 | 日本語教育セミナー(第1回) | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.08.04 | 教科書開発のプロセスについてカセサート大学のプランニー氏の講演を実施 |
| 28 | 日本語弁論大会 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 在タイ日本国大使館やタイ国元日本留学生協会などとの共催で、タイ国全土を対象とした弁論大会を実施 |
| 29 | 北部タイ中等日本語教師研修会 | チェンマイ | ユパラート高校 | ユパラート高校 | 07.04.01～ 08.03.31 | 北部タイに派遣中の日本語教育専門家(ジュニア専門家)による周辺のタイ人日本語教師向け週末セミナーを実施。受講者の事情に合わせ、金曜日と土曜日の2日開講。通年で各16回実施 |
| 30 | 講師室図書整備 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | タイ国内の日本語教師への情報提供を目的に主に日本で発行される日本語教育関連書籍を収集 |
| 31 | 日本語教育セミナー(第2回) | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 08.03.05 | 『エリンが挑戦! にほんごでできます。』を使用した教室活動について日本語国際センターの築島史恵講師の講演を実施 |
| 32 | 日本語教育セミナー(第3回) | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本 文化センター | | 08.03.13 | 誤用分析について広島大学の迫田久美子氏とタマサート大学のタサニー氏の講演を実施 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|------|-------------------------------|--------------|-----------------------|--|
| 33 | 日本語教育派遣専門家連絡会議 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | タイ国内で活動するJF本部派遣の日本語教育専門家及びジュニア専門家が一堂に会し、活動報告と計画を発表するとともに、情報交換や問題共有・解決を実施 |
| 34 | 広域活動強化事業(日本語) | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | バンコク日本文化センターの広域活動対象国であるラオス、カンボジア、ミャンマー、ベトナムの各国に対する事業として、タイへの①「教師研修への招へい」、②「セミナーへの招へい」、③「講師の派遣」などを実施 |
| 35 | 東北タイ中等日本語教師研修会 | ウドン | ウドンピタヤスクーン高校 | ウドンピタヤスクーン高校 | 07.04.01～ 08.03.31 | 東北部タイに派遣中の日本語教育専門家(ジュニア専門家)による周辺のタイ人日本語教師向け週末セミナーを実施。前期は関係機関を個別に訪問し参加者の教授能力等を確認し、セミナーは後期に開講 |
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 36 | 図書館運営 | バンコク | 国際交流基金 バンコク日本文化センター 図書館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 2007年度第2四半期末現在、蔵書規模(日本語図書(日本語教材含む)14,163冊、英語図書5,631冊、タイ語図書2,945冊、DVD99枚、ビデオ1,361本、CD書籍・音楽CD588枚、カセット661セット)の図書館を運営。タイにおける日本研究学者や日本語教師をはじめ、広範な利用者の用に供した |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 37 | 広報強化事業 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | マスコミ関係者との個別懇談などを実施 |
| 38 | 季刊広報誌『Japan Letter』発行 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 本広報誌は文化交流に関する記事や事業の活動報告。季刊、英語・タイ語、1600部。2007年度は54号(4-6月)、55号(7-9月)、56号(10-12月)、57号(1-3月)を発行した |
| | 【その他】 | | | | | |
| 39 | 広域活動強化事業 | ヤンゴン | ホテルニッコー | 在ミャンマー日本国大使館 | 07.09.08 | フルート(松島氏)と箏(坪井氏)の演奏会。在ミャンマー日本国大使館の要請にもとづき、広域事業の一環として実施。演奏内容は日本の歌曲を中心に実施。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------|------------------|------------------------------------|----------------|-----------------------|--|
| | 【本部事業受入】 | | | | | |
| 40 | 現代日本の陶磁器展 | チェンマイ | チェンマイ国立博物館 | 同左 | 07.04.05～ 07.04.26 | 日本の陶芸界において近年注目すべき活躍を示している中堅の作家の作品約70点を紹介する展覧会。 |
| 41 | 第10回アジア漫画展 | ナコーンシータマラート／バンコク | R I ナコーンシータマラート／国際交流基金バンコク日本文化センター | 同左 | 07.08.08～ 07.08.22 | 前年度本部が日本国内で実施した事業の海外巡回。テーマは環境問題 |
| 42 | 自然に潜む日本写真展 | バンコク／チェンマイ | サイアムソサエティ／チェンマイ大学 | 同左 | 08.01.09～ 08.01.31 | グラフィックデザインや写真、建築、評論などじつに多岐にわたる活動、業績により内外で高い評価をうけ多数の受賞歴を有する矢萩喜従郎による写真展。モノクロ写真85点より構成 |
| 43 | 塩谷哲グループJAZZコンサート | バンコク | タマサート大学講堂 | タマサート大学東アジア研究所 | 07.11.14 | ジャズはもとよりクラシック、ポップスに意欲的な音楽活動を展開するピアニスト・塩谷哲（しおのや・さとる）をリーダーに、多彩な音楽ジャンルで活躍する新進気鋭のミュージシャンにより新たに結成されたグループによるジャズコンサート |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---|-----------------------|---|
| | 【助成事業】 | | | |
| 44 | 小規模助成 Asiatopia International Performance Art Festival | Concrete House | 07.11.08～ 07.11.11 | タイを含むアジア、欧米各国の優れたパフォーマンス・アーティストを招へいし、タイにおけるこの分野の紹介、振興、アーティストをつなぐネットワーク形成を図るアートフェスティバル |
| 45 | 小規模助成 Tadu Contemporary Art/5 The Story (R) | Tadu Comtemporany Art Center | 07.09.03～ 07.09.09 | クリエイティブな日タイ演劇交流を目指し、日タイの俳優計10名が事前のワークショップを経て創りあげた小作品5つ（各作品は約20分）を上演。会場はTADU Contemporary Art Center |
| 46 | 小規模助成 120 Years Relations/Variou Thai-Japan families | 東南アジア青年の船 協会 | 07.09.17～ 07.09.23 | 日タイ修好120周年を記念し、日本人・タイ人の夫婦（家族）の肖像をテーマにした写真展 |
| 47 | 小規模助成 SPAFA Regional Centre | 東南アジア文相機構 考古芸術センター (SEAMEO- SPAFA) | 07.11.28～ 07.11.30 | 東南アジア域内の異文化・宗教間の理解と協力、平和構築について議論する国際シンポジウム。日本から招へいされた講師の新垣修氏（志學館大学法学部助教授）の渡航費を助成 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|------------------------------------|-----------------------|--|
| 48 | 小規模助成 Conference on ASEAN at 40: From Cradle to Charter | チュラロンコン大学 安全保障・国際問題 研究所 | 07.08.28 | ASEAN事務総長のSurin Pitsuwan氏を基調講演者に招き、ASEANのこれまでの40年間のあゆみ、ASEANが現在抱える問題点、将来のASEAN統合深化にむけた方策を議論する国際会議を開催 |
| 49 | 小規模助成 ラン シット大学ジャパン フェア | ランシット大学 | 07.11.23 | ランシット大学が行う日本語コンテストに対する経費助成を実施。バンコク周辺の高校を対象にした日本語コンテストで、絵、スピーチ、歌、クイズのコンテストを実施 |
| 50 | 小規模助成 第1回 東北部 タイ高校日 本語コンテスト | 東北部(北地域)タイ 高校日本語コンテ スト実行委員会 | 08.01.11 | 東北部(北地域)タイ高校日本語コンテスト実行委員会が実施する、日本語コンテストに対する経費助成を実施 |
| 51 | 小規模助成 第4回 北部タイ 高校日本 語コンテスト/北部 日本語教師会 | 北部タイ中等教育日 本語教師会 | 08.02.08 | 北部タイ中等教育日本語教師会が実施する年1回の日本語コンテストに対する経費助成。色々な活動を通じた日本語の運用能力向上を目指しており、スピーチ、朗読、聴解、クイズのジャンルに分けて実施 |
| 52 | ラチャパット日本語 教師会 | ラチャパット日本語 教師会 | 08.01.26 | ラチャパット日本語専攻大学生を対象にした日本語コンテストに対する経費助成を実施。12のラチャパット大学が参加して、日本語のスピーチコンテストと日本に関するクイズ大会を実施 |
| 53 | OJSAT北部支部 第3回北部タイ大学 日本語スピーチコン テスト | タイ国元日本留学生 協会北部支部 (OJSAT北部支部) | 08.02.09 | タイ国元日本留学生協会北部支部と在チェンマイ日本国総領事館の共催で実施する日本語スピーチコンテストに対する経費助成。本年度は第3回目で、タイ北部の大学で日本語専攻学科を有する多くの大学が参加 |
| 54 | J T A T日本語ドラ マコンテスト | J T A T (タイ国日 本語日本文化教師協 会) | 08.03.22 | J T A T (タイ国日本語日本文化教師協会)が実施する、タイの高校生・大学生による日本語ドラマ(日本語劇)コンテストへの経費助成 |
| | 【会場提供】 | | | |
| 55 | 施設開放 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本語教育に関するセミナー等への教室貸出 |
| | 【文化備品・視聴覚資料貸出】 | | | |
| 56 | 文化備品貸出し | | 07.04.01～ 08.03.31 | 所有する文化備品を、日本文化紹介などのイベントを行う公的な機関や日本語を学習する中等学校・大学の文化祭(日本祭)などに貸出 |
| | 【その他】 | | | |
| 57 | 文化事業協力 | パヤップ大学タイ日 センター | 07.11.01～ 07.11.30 | パヤップ大学日本センターが開催した日本映画祭に、バンコク日本文化センター所管の日本映画フィルムを提供 |

クアラルンプール日本文化センター

合計額 90,669,388円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------|----------|---|--|-----------------------|--|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | 田中真聡展覧会『時紡』 | クアラルンプール | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター Galeri Petronas | Galeri Petronas | 07.04.10～ 07.05.13 | KLCCのGaleri Petronasで開催した、アーティスト田中真聡によるキネティック・アートの展覧会 |
| 2 | 『そうだ、京都に行こう』写真展 | クアラルンプール | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター | | 07.06.12～ 07.07.28 | 国際交流基金ジャカルタ日本文化センターが所有する、京都の風景写真パネルセット（タイトル：『そうだ、京都に行こう』）を、国際交流基金クアラルンプール日本文化センターギャラリースペースにて展示。武者小路千家茶道デモンストレーションとの関連事業として実施 |
| 3 | 広島原爆写真パネル展 | クアラルンプール | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター | | 07.08.01～ 07.09.01 | 広島原爆写真パネルの所有者（マレーシア在住）よりパネルを借り受け、同パネルの展覧会を国際交流基金クアラルンプール日本文化センターギャラリースペースにて8月に開催 |
| 4 | こけし展 | クアラルンプール | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター | | 07.11.06～ 07.12.28 | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センターが所蔵するこけし展セットの展覧会を、同センターギャラリースペースにて実施 |
| 5 | 日本マレーシア児童画展 | クアラルンプール | クアラルンプール市立図書館 | クアラルンプール市教育局 クアラルンプール市立図書館 メイアサカ文庫 | 07.11.12～ 07.11.17 | 日本のNPO法人、メイあさかセンターが過去20年に渡って開催している、朝霞市を中心とした日本の子供達の絵画とマレーシア各地の小中学生の絵画から構成された展覧会。小中学生を中心に1,727人が来場。会場では折り紙ワークショップなど関連イベントも実施 |
| 6 | 『Super Fiction』展 by Ise | クアラルンプール | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター | | 08.03.11～ 08.05.03 | 平成19年度文化人短期招へいプログラムにて日本に招へいたRoslisham Ismail（芸名：Ise）が、日本で撮影した写真を使用したコラージュ作品の展覧会 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------|---------------------|---|---|-----------------------|---|
| | 【公演】 | | | | | |
| 7 | オペラシアターこんにゃく座公演『ピノキオ』 | クアラルンプール | The Actors Studio@BSC | オペラシアターこんにゃく座 | 07.05.12～ 07.05.13 | オペラシアターこんにゃく座東南アジアツアー（インドネシア、タイ、ラオス）の一環としてクアラルンプールで公演。ピノキオのストーリーに基づき、日本語に適宜マレー語を混ぜ、ピアノのみの伴奏によるシンプルな構成でのオペラ。2日間3回公演で来場者計598人 |
| 8 | 現代舞踊公演 パパタラフマ ラ『三人姉妹』 | クアラルンプール | Pentas 2, Kuala Lumpur Performing Arts Centre | Kuala Lumpur Performing Arts Centre | 07.07.24～ 07.07.25 | チャーホフの戯曲に発想を得て作られた現代舞踊作品を上演。2回公演で来場者380人 |
| 9 | 現代舞踊公演 『踊りに行く ぜ!!』 | クアラルンプール | The Actors Studio@BSC | NPO法人 ジャパン・コ ンテンポラ リーダンス・ ネットワーク 在マレーシア 大使館 | 07.08.10～ 07.08.11 | 日本を代表するダンサー4組（Ko & Edge Co.、康本雅子、身体表現サークル、ほうほう堂）の作品を紹介。マレーシアからも2組（Amy Len, A. Aris A. Kadir）の作品を上演。国立芸術文化遺産アカデミーでのワークショップ、クアラルンプール日本文化センターでの両国ダンス関係者のディスカッションも実施。2回公演で入場者258人 |
| 10 | 英語落語公演 | クアラルンプール ペナン | The Actors Studio@BSC Dewan Budaya, USM | マレーシア科学大学芸術学部 在ペナン総領事館 在マレーシア大使館 | 07.08.18～ 07.08.19 | 日本マレーシア友好年関連事業としてペナン（マレーシア科学大学、1回公演）とクアラルンプール（The Actors Studio@BSC、3回公演）で実施。古典、新作を交え、英語による落語解説も挟みながらの公演。クアラルンプールでは、日本語による公演1回を含め3回公演で569人が来場。 |
| 11 | フルーツフェスティバルin マレーシア | クアラルンプール | Pentas 1, Kuala Lumpur Performing Arts Centre | Kuala Lumpur Performing Arts Centre 在マレーシア大使館 | 07.09.08～ 07.09.09 | 日本、マレーシア両国のプロとアマチュアを交えたフルーツ演奏家一堂に集まり、様々な種類のフルーツからなるオーケストラを編成し演奏。日本のアンサンブル「ミ・ベモル」も参加。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------------------|-------------------------------------|---|---|-----------------------|--|
| 12 | 現代舞踊公演 珍しいキノコ舞踊団『3mm くらいズレてる部屋』 | クアラルン プール | Pentas 2, Kuala Lumpur Perfroming Arts Centre | 在マレーシ ア・オースト ラリア大使館 在マレーシア 大使館 珍しいキノコ 舞踊団 | 07.10.19～ 07.10.21 | 日豪交流年（2006年）記念事業「オーストラリアー日本ダンスエクステンジ」において、珍しいキノコ舞踊団（日本）と舞台美術家 Justin Caleo（オーストラリア）による共同制作作品の公演を在マレーシア・オーストラリア大使館との共催により実施。公演終了後にCaleoによる舞台美術ワークショップと、そこで製作された舞台美術を使用しての伊藤千枝（珍しいキノコ舞踊団）によるダンスワークショップを実施。 |
| 13 | 沖縄舞踊公演 | クアラルン プール | クアラルン プール市役所 大ホール | 沖縄文化民間 交流協会 在マレーシア 大使館 | 07.11.03～ 07.11.04 | 沖縄文化民間交流協会が組織する沖縄舞踊グループを招へいし、伝統から現代まで、沖縄の音楽と舞踊を紹介。 |
| 14 | 沢井箏曲院公 演 | クアラルン プール | Malaysia Tourism Centre | 在マレーシア 大使館 沢井箏曲院 | 07.11.30～ 07.12.01 | 世界的に有名な箏演奏家、沢井一恵、比河流を中心としたアンサンブルの公演。古典から現代曲まで、バラエティに溢れた構成。来場者は2回公演で640人 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 15 | 定期日本映画 上映会 | クアラルン プール | Malaysia Tourism Centre | Malaysia Tourism Centre 在マレーシア 大使館 | 07.04.01～ 08.03.31 | 主に東アジアフィルムライブラリー所蔵の16mmフィルムより作品を選択し、毎月第1・第3土曜日にMalaysia Tourism CentreのMini Auditoriumにて上映会を開催 |
| 16 | 日本映画祭 | クアラルン プール ペタリン・ ジャヤ ペナン | GSC Midvalley GSC One Utama GSC Gurney Plaza | Golden Screen Cinemas Sdn. Bhd. | 07.08.23～ 07.09.02 | 本映画祭は、2004年にスタートし4回目。上映作品は『武士の一分』、『花よりもなほ』、『リンダリンダリンダ』、『パッチギ』、『バーバー吉野』、『かもめ食堂』、『いつか読書する日』、『感染』の8本 |
| 17 | サバ大学日本 映画上映会 | コタ・キナバ ル | サバ大学 | サバ大学日本 文化クラブ | 08.02.16～ 08.02.17 | マレーシア・サバ大学（UMS）日本文化クラブが実施する日本文化祭に併せ、日本映画4本を1回ずつ上映。作品は『Shall We ダンス?』、『はつ恋』、『森の学校』、『ウォーターボーイズ』 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------|----------|------------------------|----------|-----------------------|--|
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 18 | 学校・機関訪問 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 主に、平成19年度日本語国際センター教材寄贈や国際交流基金クアラルンプール日本文化センター小規模日本語教材寄贈の教材を届けるため寄贈先機関を訪問。その他、地方の大学などが行なう日本文化の日などのイベントにも出席、学校長や日本語教師と面談して日本語教育の意義をアピールしたりニーズ調査を実施したほか、過去にも教材寄贈を行なっている機関では、教材の利用方法や管理状況などについてモニタリングも実施 |
| 19 | 浦和研修事前オリエンテーション | クアラルンプール | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本語国際センターの海外日本語教師研修に参加する教師に対して事前オリエンテーションを行い研修内容の説明をおこなうとともに、帰国後の報告会を視野に Personal Mini Project (PMP) を設定させて事前準備を支援するなど、研修をより実り多いものとしてもらうための手助けとして実施。平成19年度については計5名が対象。 |
| 20 | シンガポール・ブルネイネットワーク形成 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | シンガポールおよびブルネイとのネットワークを強化し、クアラルンプール日本文化センターの行なうセミナーなどの教師支援事業や日本語能力試験をはじめとする各種本部事業をより一層有効なものとするため、両国の日本語教育機関の訪問や日本語関係事業を視察、関係者と懇談 |
| 21 | 中等教育日本語教師地域セミナー(南部) | ジョホール・バル | Sekolah Tun Fatimah | マレーシア教育省 | 07.04.17～ 07.04.18 | 中等教育の日本語教師を対象に、教授法および日本語力向上のためのセミナーを実施。マレーシア教育省との共催。国内を南部、中部、北部、東海岸地域、東マレーシア地域の5ブロックに分け、それぞれのブロックで年1回実施。現在作成中の新シラバス・新教科書を視野に入れたプログラム。南部地域の参加者は14人 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------|------------|---|--|-----------------------|--|
| 22 | 高校生日本語弁論大会 | クアラ Lumpur | クアラ Lumpur 日本人会 | 在マレーシア大使館／マレーシア日本人商工会議所／クアラ Lumpur 日本人会／マレーシア教育省／東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)／マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)／在ペナン総領事館 | 07.04.28～ 07.04.29 | 2004年から開始して今年で4回目。全寮制中等学校、民間日本語学校などで日本語を学習している15歳から18歳までの高校生を対象に実施。応募者23名から原稿審査で選ばれた10名の出場者によるスピーチ。最優秀賞はエデュケーション・ガーディアンシップ・プログラム主催の第12回JASスピーチコンテストに、特別賞2名は関西国際センターの「日本語学習者訪日研修（高校生）」に参加。当日の来場者は約70人 |
| 23 | 日本語教育地域セミナー（北部） | ペナン | ペナン日本語協会 | ペナン日本語協会 | 07.05.05～ 07.05.06 | 国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回の実施。教授法をとりあげる1日目（ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象）と、日本語力向上を目的とした2日目（主にノンネイティブが対象）で構成。1日目が「～んです」2日目が「終助詞『よ』『ね』『よね』」をテーマに実施し、参加者はそれぞれ22人、16人 |
| 24 | 中等教育日本語教師地域セミナー（中部） | クアラ Lumpur | 国際交流基金クアラ Lumpur 日本文化センター | マレーシア教育省 | 07.05.16 | 中等教育の日本語教師を対象に、教授法および日本語力向上のためのセミナーを実施。マレーシア教育省との共催。国内を南部、中部、北部、東海岸地域、東マレーシア地域の5ブロックに分け、それぞれのブロックで年1回実施。現在作成中の新シラバス・新教科書を視野に入れたプログラム。中部地域の参加者は12人 |
| 25 | 中等教育日本語教師地域セミナー（東海岸） | クアantan | Sekolah Menengah Sains Sultan Haji Ahmad Shah | マレーシア教育省 | 07.06.13 | 中等教育の日本語教師を対象に、教授法および日本語力向上のためのセミナーを実施。マレーシア教育省との共催。国内を南部、中部、北部、東海岸地域、東マレーシア地域の5ブロックに分け、それぞれのブロックで年1回実施。現在作成中の新シラバス・新教科書を視野に入れたプログラム。東海岸地域の参加者は8人 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------|----------|-------------------------------------|---|-----------------------|---|
| 26 | 百人一首デモンストレーション | クアラルンプール | クアラルンプール日本文化センター | マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース (AAJ) / マレーシア工科大学高等専門学校予備教育センター (PPKTJ) / 帝京マレーシア日本語学院 (IBT) / 日本マレーシア高等教育大学連合プログラム (JAD) | 07.06.16 | 当時バンコク在住のストーン睦美 (クルンテープかるた会主宰) の来馬機会を捉え、予備教育機関の学生を対象に実施。講師によるかるた及び百人一首に関するレクチャーと競技かるたデモンストレーションの後、参加者は実際に百人一首の散らし取りを体験。予備教育4機関から約40名が参加 |
| 27 | 日本語教育地域セミナー (東マレーシア) | | | | 07.06.30～ 07.07.01 | 国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回の実施。教授法をとりあげる1日目 (ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象) と、日本語力向上を目的とした2日目 (主にノンネイティブが対象) で構成 |
| 28 | 中等教育日本語教師地域セミナー (北部) | スンガイ・プタニ | Sekolah Menengah Kebangsaan Che Tom | マレーシア教育省 | 07.07.17～ 07.07.18 | 中等教育の日本語教師を対象に、教授法および日本語力向上のためのセミナーを実施。マレーシア教育省との共催。国内を南部、中部、北部、東海岸地域、東マレーシア地域の5ブロックに分け、それぞれのブロックで年1回実施。現在作成中の新シラバス・新教科書を視野に入れたプログラム。北部地域の参加者は12人 |
| 29 | 日本語弁論大会 イポー大会 | イポー | Hotel Excelsior | ペラ馬日友好協会 / 在ペナン総領事館 | 07.08.04 | 平成19年度は21回目。本年度は日馬友好年を記念して全国大会では滞日歴に制限のある General Class と滞日歴無制限の 2007 Special Class を設けたが、イポー大会には Special Class 出場の該当者がいなかったため、General Class の上位2名が全国大会に出場。出場者は8名 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------|----------|----------------------------|--|-----------------------|---|
| 30 | 日本語弁論大会 一般の部 (KL地区大会) | クアラルンプール | クアラルンプール日本人会 | 在マレーシア大使館/マレーシア日本人商工会議所/クアラルンプール日本人会/マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)/東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)/在ペナン日本総領事館 | 07.08.05 | 1985年から始まって23回目。例年は過去5年以内の滞日経験を90日以内に制限しているが、平成19年度は日馬友好年を記念して、例年どおりの制限がある「General Class」に加え滞日歴無制限の「2007 Special Class」を特設。General Class では応募者19名のうち原稿審査で選ばれた6名が出場し、上位2名が全国大会に進出。2007 Special Class の出場者4名は全員が全国大会に進出。当日の来場者は約90人 |
| 31 | 日本語弁論大会 一般の部 (全国大会) | クアラルンプール | クアラルンプール日本人会 | 在マレーシア大使館/マレーシア日本人商工会議所/クアラルンプール日本人会/マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)/東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)/在ペナン総領事館 | 07.08.25～ 07.08.26 | 1985年から始まって23回目。例年は過去5年以内の滞日経験を90日以内に制限しているが、平成19年度は日馬友好年を記念して、例年どおりの制限がある「General Class」に加え滞日歴無制限の「2007 Special Class」を特設。地区予選から選ばれた各クラス6名計12名がスピーチを行ない、各クラスの優勝者は社団法人在外企業協会が招へいする日本研修旅行に参加。当日の来場者は約110人 |
| 32 | 手巻き寿司の達人コンテスト | クアラルンプール | クアラルンプール日本人会 | クアラルンプール日本人会 | 07.08.05 | 日本語弁論大会の幕間に行なう小規模イベントシリーズの3回目。平成19年度日本語弁論大会一般の部 (KL地区大会) の審査会議の間に実施。マレーシア人と日本人来場者の混成チーム対抗で、用意された食材を用いて、いかに美しく美味しい手巻き寿司を作るかを競った。参加上限は20人だが、多くの観客を集め盛況 |
| 33 | 日本語教育地域セミナー (東海岸-南部-中部) | クアラルンプール | 国際交流基金 クアラルンプール日本文化センター | | 07.08.11～ 07.08.12 | 国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回の実施。教授法をとりあげる1日目 (ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象) と、日本語力向上を目的とした2日目 (主にノンネイティブが対象) で構成。1日目が「～んです」2日目が「終助詞『よ』『ね』『よね』」をテーマに実施し、参加者はそれぞれ35人、14人 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------|----------|------------------------|---|----------|--|
| 34 | 日本語弁論大会 ペナン大会 | ペナン | Caring Society Complex | ペナン日本語協会／在ペナン総領事館／日本マレーシア協会 | 07.08.18 | 平成19年度で28回目。例年ペナン大会の上位入賞者は全国大会へ出場することになっており、本年度は日馬友好年を記念して全国大会に通常の General Class に加え滞日歴に制限がない 2007 Special Class が特設されたことから、ペナンからも両クラスに2名ずつ選出された。出場者はGeneral Class に11名、2007 Special Class に6名 |
| 35 | 風呂敷ワークショップ | クアラルンプール | クアラルンプール日本人会 | クアラルンプール日本人会 | 07.08.26 | 日本語弁論大会の幕間に行なう小規模イベントシリーズの4回目。平成19年度日本語弁論大会一般の部(全国大会)の審査会議の間に実施。風呂敷に関するミニレクチャーの後、参加者は実際に「すいか包み」や「ツインタワー包み」などに挑戦 |
| 36 | 日本語弁論大会 予備教育の部 | クアラルンプール | マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース | 在マレーシア大使館／マレーシア日本人商工会議所／クアラルンプール日本人会／東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)／マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)／マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース (AAJ)／マレーシア工科大学高等専門学校予備教育センター (PPKTJ)／日本マレーシア高等教育大学連合プログラム (JAD)／帝京マレーシア日本語学院 (IBT) | 07.09.08 | 日本語弁論大会一般の部から独立して12回目。日本の大学・高専に留学するための予備教育機関で日本語を勉強している学生(2年次まで)を対象に実施。各機関から3名選出×4機関の計12名がスピーチ。優勝者には在マレーシア大使館から大使杯が授与。本年度は予備教育機関のひとつであるマラヤ大学予備教育部日本留学特別コースで実施し、各機関からの応援の学生を多数収容。来場者は約450人 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------|----------|----------------------------|--------------------------------|-----------------------|--|
| 37 | みんなの日本語フェスティバル | クアラルンプール | マラヤ大学言語学部 | マラヤ大学言語学部／マレーシア日本語協会／在マレーシア大使館 | 07.09.08～ 07.09.09 | マレーシア日本語協会、マラヤ大学言語学部、在マレーシア大使館と国際交流基金クアラルンプール日本文化センターの4者共催で行う大規模イベントの2回目。年1回実施。日本語および日本文化に関するレクチャー、日本語インプットおよび日本語を使った活動のセッション、日本文化紹介・体験コーナーから構成。約60名の日本語教師・文化体験講師がボランティアとして協力、参加者約300名 |
| 38 | 中等教育日本語教師地域セミナー（東マレーシア） | コタ・キナバル | Pejabat Pelajaran Gabungan | マレーシア教育省 | 07.09.11～ 07.09.12 | 中等教育の日本語教師を対象に、教授法および日本語力向上のためのセミナーを実施。マレーシア教育省との共催。国内を南部、中部、北部、東海岸地域、東マレーシア地域の5ブロックに分け、それぞれのブロックで年1回実施。現在作成中の新シラバス・新教科書を視野に入れたプログラム。東マレーシア地域の参加者は5人 |
| 39 | 日本語教育研究発表会・浦和研修報告会 | クアラルンプール | 国際言語教員養成所 | 国際言語教員養成所（IPBA） | 07.10.27 | マレーシアにおける日本語・日本語教育（学）に関する研究発表および日本語国際センターの海外日本語教師研修の参加者による報告をおこなうセミナー。年1度開催、平成19年度は4回目。公募による口頭発表2件とポスター発表3件、日本語国際センター研修参加者による口頭発表およびポスター発表を実施。参加者は約80人 |
| 40 | 書き初めワークショップ | クアラルンプール | 国際交流基金クアラルンプール日本文化センター | クアラルンプール日本人会 | 08.01.26 | Tham Kok San（クアラルンプール日本人会一般書道部講師）を講師に迎え、中等教育機関で日本語を学習している生徒および国際言語教員養成所に在籍している研修者を対象に実施。講師によるレクチャーと参加者の書道体験から構成。優秀な作品を表彰するとともに、全員の作品をギャラリースペースに展示。参加者は16名 |
| 41 | 日本語教育セミナー | クアラルンプール | マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース | マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース | 08.03.02～ 08.03.03 | 毎年1回、マレーシア全域の日本語教師を対象に実施。平成19年度は「ことばと文化を組み合わせた教室活動」として築島史恵（国際交流基金日本語国際センター専任講師）および矢部まゆみ（津田塾大学非常勤講師）を講師に迎えて実施 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------|------------------------------|--|--------------------------------|-----------------------|--|
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 42 | 図書館運営 | クアラルン プール | 国際交流基金 クアラルン プール日本文 化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 蔵書数17,720（日本語11,578、外国語 6,142）、視聴覚資料2,287（DVD127、 ビデオ1,348、CD369、その他443）、 会員数820人、来館者数7,123人。 |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 43 | 広報誌 TEMAN BARU発行 | クアラルン プール | 国際交流基金 クアラルン プール日本文 化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | クアラルンプール日本文化センターの ニュースレターを隔月で発行。平成19 年度は計6号を発行 |
| 44 | 日本語教育広 報誌（ブンガ ラヤ） | クアラルン プール | 国際交流基金 クアラルン プール日本文 化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本語教育専門のニューズレターで年 4回発行。発行部数1,000部 マレーシ ア国内の日本語教師、教育機関、シン ガポール、ブルネイ国内の日本語教師、 機関にも配布 |
| | 【教室事業】 | | | | | |
| 45 | 一般日本語講 座 | クアラルン プール | 国際交流基金 クアラルン プール日本文 化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 民間日本語教育機関であり開講され ていない中級・上級のレベル別3クラ スを開講。中級・上級レベルの学習者 に学習の場を提供するとともに、中 級・上級の教え方のモデルを示す場と しても活用 |
| 46 | 日本語教師養 成理論実践講 座 | クアラルン プール | 国際交流基金 クアラルン プール日本文 化センター | | 06.04.01～ 08.03.31 | 日本語能力試験1級程度の日本語力を 有する日本語学習者および永続的にマ レーシアに在住する日本人に対し、初 級日本語講座で教えることができる程 度の教授能力を獲得させることを目標 とする。平成18年度から始まった2年 コースの2年目 |
| 47 | ちりめん小物 作りワーク ショップ | クアラルン プール | 国際交流基金 クアラルン プール日本文 化センター | | 07.07.14 | ちりめんの生地を素材にした小物を作 るワークショップ。参加者11人 |
| | 【その他】 | | | | | |
| 48 | 武者小路千家 茶道デモン ストレーション | クアラルン プール クアラルン プール | 駐マレーシア 大使公邸 国際交流基金 クアラルン プール日本文 化センター | 在マレーシア 大使館 武者小路千家 官休庵 | 07.06.14～ 07.06.15 | 日本から招へいた武者小路千家官休 庵グループによる茶道レクチャーデ モンストレーションを、国際交流基金ク アラルンプール日本文化センターの和 室を利用して実施。関連事業として 『そうだ、京都に行こう』写真展も併催。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----------|--|----------------|---|--|-----------------------|---|
| 49 | 在アジア・大 洋州日本文化 専門家派遣事 業：ブルネイ 邦楽 | バンドルスリ ブガワン | ブルネイ大学 ホール Library, Sek. Men. Awang Semaun | 在ブルネイ大 使館 ブルネイ日本 友好協会 ブルネイ大学 | 08.03.12～ 08.03.13 | クアラルンプール日本人会邦楽部所属 の須部久子（琴の師範免状保有者）と Hafiz Othmanをブルネイへ派遣。公 演のほか学校で琴のワークショップを 実施 |
| 【本部事業受入】 | | | | | | |
| 50 | 態変inマレー シアプロジェ クト『記憶の 森』 | クアラルン プール | Pentas 2, Kuala Lumpur Performing Arts Centre | Kuala Lumpur Performing Arts Centre The Actors Studio 劇団態変 | 07.03.10～ 07.04.08 | 日本の劇団態変とマレーシアの身体障 害者による、舞台作品『記憶の森』の 3年にわたる共同制作事業（作・演出： 金満里）の最終段階 |
| 51 | 博報財団事業 受託（教師招 へい） | クアラルン プール | 国際交流基金 クアラルン プール日本文 化センター | SBPI Temerlor Sekolah Datuk Abdul Razak SMK(P) Methodist Klang SMS Tuanku Syed Putra 財団法人博報 児童教育振興 会 マレーシア教 育省 | 07.04.01～ 08.03.31 | 財団法人博報児童教育振興会からの受 託事業を実施。3年計画事業の1年目に あたり、マレーシアからは3名の日本 語教師を日本に招へい。国際交流基金 クアラルンプール日本文化センターは 事前調査や書類等の作成・発送、同財 団からの出張者受け入れを実施 |
| 52 | マラヤ大学予 備教育部日本 留学特別コー ス現地業務費 | クアラルン プール | マラヤ大学予 備教育部日本 留学特別コー ス | マラヤ大学予 備教育部日本 留学特別コー ス | 07.04.01～ 08.03.31 | 東方政策のもと日本の大学学部留学の ための予備教育を実施しているマラヤ 大学予備教育部日本留学特別コースに 日本語教育専門家13名を派遣 |
| 53 | 『スピリトを 写す』展 | クアラルン プール | The Annexe, Central Market ペナン州立美 術館 | The Annexe, Central Market ペナン州立美 術館 | 07.07.12～ 07.10.12 | 本部巡回写真展『スピリトを写す』の 展覧会。クアラルンプールでは、The Annexe, Central Marketにて7月12 日～29日の期間、マレーシアの写真家 の作品と共に'Sharing Space'と題して 実施。ペナンでは、9月20日～10月12 日にかけてペナン州立美術館にて開催 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------|---|--|---|-----------------------|--|
| 54 | 和風作りワークショップ | クアラトレンガヌ クアラランプール クアantan コタバル テメルロー | トレンガヌ州立博物館 マレーシア国立博物館 スンガイソイ小学校 クランタン州立博物館 テメルロー中等学校 | クランタン州立博物館 テメルロー中等学校 トレンガヌ州立博物館 パハン州立文化会館 マレーシア国立博物館 | 07.07.21～ 07.07.26 | 参加者自らが和風を作り、日本の大風、連風などと一緒に実際に揚げるというワークショップ。クアラランプールのほか、マレー半島東海岸地域の地方都市で実施 |
| 55 | 第11回アジア漫画展 | イポー クアラ・トレンガヌ クアラランプール コタ・キナバル ジョホール・バル | ベラ州立図書館 トレンガヌ州立図書館 クアラランプール図書館 サバ州立美術館 AEON Jusco Tebrau Shopping Centre | クアラランプール市立図書館 サバ州立美術館 トレンガヌ州図書館公社 ベラ州図書館公社 マレーシア元日本留学生協会 (JAGAM) ジョホール支部 | 07.09.20～ 08.01.07 | 「アジアの若者文化」をテーマに、アジアの10カ国から1名ずつの漫画家が計75作品を製作（マレーシアからはTazidi Yusofが参加）したものを国内5か所で巡回展示 |
| 56 | 塩谷哲グループジャズコンサート | クアラランプール | Pentas 1, Kuala Lumpur Performing Arts Centre | 在マレーシア大使館 | 07.11.17～ 07.11.18 | ジャズはもとよりクラシック、ポップスに意欲的な音楽活動を展開し、日本の音楽シーンの次代を担う音楽家として大きな期待と注目を集めているピアニスト・塩谷をリーダーに、多彩な音楽ジャンルで活躍する新進気鋭のミュージシャン達により新たに結成されたグループによるコンサートを実施 |
| 57 | 日本語能力試験広報連絡会議 | クアラランプール | マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース | ベナン日本語協会 ベラ馬日友好協会 マレーシア・サバ大学 マレーシア日本語協会 | 08.03.03 | マレーシア国内4実施機関の代表者を集め、日本語能力試験の受験者データなどをもとにマレーシア全体や各国内実施地ごとの日本語能力試験受験傾向を分析し、翌年度の広報戦略について検討 |
| 58 | 日本語能力試験願書データ入力 | クアラランプール | 国際交流基金 クアラランプール日本文化センター | | 07.12.01～ 08.03.31 | 日本語能力試験の広報戦略等に役立てるため、願書に記載されているデータを入力 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------|--|-----------------------|--|
| | 【助成・協力事業／助成事業】 | | | |
| 59 | 小規模日本語教材寄贈 | Sekolah Menengah Jenis Kebangsaan Katholik Sekolah Menengah Kebangsaan Ghafar Baba Sekolah Menengah Kebangsaan Tinggi Perempuan Melaka Universiti Pendidikan Sultan Idris | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本語教育を始めたばかりで教材もなく日本語国際センターの教材寄贈プログラムを待っていたのでは授業が成立しないような機関・学校に対し、緊急に基本教材の寄贈をおこなう立ち上げ支援事業。2007年度は、SMJK Katholik, SMK Tinggi (P) Melaka, SMK Ghafar Baba, Universiti Pendidikan Sultan Idris の計4機関に寄贈 |
| 60 | マルチメディア大学セミナー助成 | マルチメディア大学 | 08.03.17～ 08.03.19 | マルチメディア大学Institute of Modern Languages and Communication開催の国際セミナー。川口義一（早稲田大学大学院教授）招へいにあたり、謝金および旅費を助成。 |
| 61 | シンガポール日本語教育セミナー助成 | シンガポール日本語教師の会 | 07.10.19～ 07.10.20 | シンガポール日本語教師の会が主催した「第3回日本語教育セミナー」への助成。小林ミナ（早稲田大学大学院教授）招へいにあたり、旅費、宿泊費、謝金を助成 |
| 62 | マレーシアプトラ大学セミナー助成 | マレーシアプトラ大学 | 07.08.14～ 07.08.15 | マレーシアプトラ大学が開催する国際会議（MICFL2007）。川上郁雄（早稲田大学大学院教授）招へいにあたり、渡航費および宿泊費を助成 |
| 63 | Notthatbalai Art Festival助成 | Lost Generation Space Gallery | 07.07.29～ 07.08.04 | ロストジェネレーション・スペースギャラリーが主催する芸術祭に対し、反畑幸治（映像作家）を招へいする経費の一部を助成 |
| 64 | 障害者演劇訪日研修助成 | 劇団態変 | 07.09.01～ 07.10.08 | 日本・マレーシア障害者演劇交流プロジェクト（国際交流基金主催事業）のフォローアップとして、マレーシア側の中心メンバー Maryani Abdullahが研修のために訪日する渡航費の一部を助成。日本側では劇団態変が受入。 |
| 65 | マレーシア国民大学国際シンポジウム助成 | マレーシア国民大学 | 07.05.15～ 07.05.17 | 「言語と国家」というテーマで開催された国際シンポジウムに対し、キーノートスピーカとして招へいされた吉野耕作教授（上智大学）の招へい費の一部を助成 |
| 66 | Block B | Tanjung Aru Pictures | 07.03.31～ 08.04.08 | ショートフィルム作品『Block B』制作（日本よりサウンドエンジニア招へい）及び日本・マレーシアのサウンドエンジニアによるワークショップ開催にかかる経費の一部助成 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|-----------------------|--------------------------------------|--|-----------------------|--|
| 67 | Games, Anime, Comic Circle (GACC) 08 | マルチメディア大学 マラッカキャンパス | 08.03.01～ 08.03.02 | マルチメディア大学マラッカキャンパスの学生サークル、EMiNA (Exploring Magic in Anime)によるアニメ・コミックに関するイベントに対する助成。声優の森田成一（人気アニメ『BLEACH』の黒崎一護役が有名）の招へい経費を支援 |
| 【文化備品・視聴覚資料貸出】 | | | | |
| 68 | 文化備品貸出 | Universiti Kebangsaan Malaysia School of Languages Studies and Linguistics | 08.03.05～ 08.03.12 | 日本語教育を実施している学校の授業（浴衣デモンストラーション）に対し、文化備品を貸出 |
| | | Tsun Jin High School Japanese Society | 07.04.06～ 07.04.19 | Annual Co-Curriculum Dayイベントに対し、文化備品を貸出 |
| | | Sek. Men. Keb. (P) Sri Aman | 07.06.27～ 07.07.02 | Annual Co-Curriculum Dayイベントに対し、文化備品を貸出 |
| | | Kuen Cheng Girls' High School | 07.07.03～ 07.07.11 | Cultural Exhibition Fairイベントに対し、文化備品を貸出 |
| | | Perak State Library Cooperation | 07.08.21～ 07.09.06 | Malaysia & Japan Children's Art Exchange Programmeに対し、文化備品を貸出 |
| | | Five Arts Centre | 07.09.03～ 07.09.11 | ‘Bunga Manggar Bunga Raya’ 舞台公演に対し、備品を貸出 |
| | | Universiti Kebangsaan Malaysia Lantern Festival Committee | 07.09.07～ 07.09.13 | Carnival of Jpesta Tanglung UKMイベントに対し、文化備品を貸出 |
| | | Pentas Project Theatre Production | 07.09.28～ 07.10.19 | ‘The Lost and The Ecliptic’ 舞台公演に対し、備品を貸出 |
| | | Universiti Industri Selangor Japanese Cultural Club | 07.10.26～ 07.11.09 | Japanese Cultural Festivalイベントに対し、文化備品を貸出 |
| | | New Era College Japanese Club | 07.10.30～ 07.11.07 | Japanese Club Festivalイベントに対し、文化備品を貸出 |
| | | The Temple of Fine Arts | 07.12.07～ 07.12.10 | Indian Classical Dance Concertイベントに対し、備品を貸出 |

海外事務所

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------|--|-----------------------|--|
| | | Multimedia University (Cyberjaya Campus) Japanese Cultural Society | 08.02.14～ 08.02.21 | Carnival of Japan2008イベントに対し、文化備品を貸出 |
| | 【その他】 | | | |
| 69 | 中等教育シラバス改訂 | マレーシア教育省 | 07.04.01～ 08.03.31 | マレーシア教育省の依頼を受けて、中等教育新シラバス作成委員会の会議に当センター派遣専門家がアドバイザーとして参加。また完成した中学3年生および4年生用シラバスについて日本語翻訳作業に協力 |
| 70 | 中等教育教科書改訂 | マレーシア教育省 | 07.04.01～ 08.03.31 | マレーシア教育省の依頼を受けて、中等教育教科書作成委員会の会議に国際交流基金クアラルンプール日本文化センター派遣専門家がアドバイザーとして参加。また、教科書のドラフトに対してコメントと修正案を提出 |
| 71 | 中等教育日本語教師養成協力 (IPBA) | マレーシア教育省 | 07.04.01～ 08.03.31 | マレーシア教育省の依頼を受けて、中等教育教員養成プログラムに国際交流基金クアラルンプール日本文化センター派遣専門家がアドバイザーとして協力 |

ニューデリー事務所

合計額 101,155,422円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------|--------------|------------------------------|----------------------|-----------------------|--|
| | 【公演】 | | | | | |
| 1 | 桂歌丸落語公演 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター | | 07.11.03～ 07.11.05 | 桂歌丸師匠、三笑亭茶楽師匠らによる落語公演を実施。2007年日印交流年事業。 |
| 2 | 増山美知子ソプラノコンサート | デリー | トリベニカラ サンガム劇場 | ブネ印日協会 | 07.11.19～ 07.11.21 | 増山美知子ソプラノ歌手のコンサートを実施。デリー、ブネを巡回。2007年日印交流年事業。 |
| 3 | 沢井箏曲院コンサート | デリー | シュリラムセ ンター劇場 | | 07.12.03 | 沢井箏曲院13名の琴コンサートを実施。バンコク、クアラルンプール、デリーを巡回。2007年日印交流年事業。 |
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 4 | 藤原帰一教授講演会 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター | | 07.09.03 | 「日本の政治」をテーマに藤原帰一東大教授の講演会を実施。2007年日印交流年事業。 |
| 5 | 荒木浩教授講演会 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター | | 07.09.28 | 「<すきま>と日本古典文化」をテーマに荒木浩JNU客員教授の講演会を実施。2007年日印交流年事業。 |
| 6 | 短歌ワークショップ | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター | デリー大学 | 08.02.02～ 08.02.05 | 俵万智の短歌をテーマに朗読会を実施。2007年日印交流年事業。 |
| 7 | 生け花ワークショップ・デモンストレーション | イスラマバード・ラホール | 在パキスタン 日本大使館 | | 08.03.11～ 08.03.16 | ラトナ・グハ生け花師範をデリーからパキスタンに派遣し、ワークショップ・デモンストレーションを実施。 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 8 | 第9回オシアンシネファン映画祭への参加 | デリー | インディア インターナシ ョナルセンター | オシアンシ ネファン映画 祭 | 07.07.24 | 標記映画祭における日本映画特集並びに佐藤忠男氏のLifetime Achievement Award授賞を記念した祝賀レセプションを実施。2007年日印交流年事業。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------|------------|---------------------------------------|--------------|-----------------------|---|
| 9 | 16mm映画上映会 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター | | 08.03.13 | 16mmフィルム『スウィング・ガールズ』を上映。2007年日印交流年事業並びに2008年日印映画交流年事業。 |
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 10 | 日本語教育アドバイザー事業 | デリー、バンガロール | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター／バンガロール大学 | バンガロール大学 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本語教育アドバイザー3名により、中等教育日本語科目への支援、高等教育機関や民間日本語学校へのアドバイス、日本語教育関係者のネットワーク形成支援を実施。 |
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 11 | 図書館運営 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター | | 07.07.01～ 08.03.31 | 2007年7月に開館。蔵書数10,000冊。閲覧のみ可。次年度は図書貸出サービスの開始を目指す。 |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 12 | 記者懇談会 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター | | 07.10.26 | 当地の記者を対象に基金事業のプレスリリースを実施。 |
| 13 | 美術・文芸誌『Gallerie』日本特集号出版記念会 | デリー | インディアインターナショナルセンター | Gallerie | 08.02.01～ 08.03.16 | 『Gallerie』（季刊）の1月「日本特集」号の出版記念会を3都市で実施。『Gallerie』は当国インドの総合美術・文芸誌。国際交流基金は同誌編集長をアジア・リーダーシップ・フェロー・プログラムにて招聘しており、本号の出版は同招聘の成果の一つ。2007年日印交流年事業。 |
| 14 | インドにおける日本映像祭 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター | NHKインターナショナル | 08.01.10 | 現代日本紹介を目的として、NHKインターナショナルの映像上映祭(DVD)を実施。2007年日印交流年事業。 |
| | 【その他】 | | | | | |
| 15 | バンガロール日本祭り(ジャパンハッパ)への参加 | バンガロール | カルナータカ州知事公邸 | ジャパンハッパ実行委員会 | 07.08.10～ 07.08.21 | バンガロールの州知事公邸で実施されたジャパンハッパの様子は、当地国営放送ドゥールダルジャンにより国内及び海外で放映。2007年日印交流年事業。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------|-----|---|---------------|-----------------------|--|
| | 【本部事業受入】 | | | | | |
| 16 | インドにおける現代日本美術展 | デリー | 国立近代美術館 | 国立近代美術館 | 07.10.12～ 07.12.15 | デリー、ムンバイで美術展を行ったほかインド各地でアーティスト・イン・レジデンスを実施。2007年日印交流年事業。 |
| 17 | アジアのキュビズム展 | パリ | 国際交流基金 パリ日本文化 会館 | | 07.05.16～ 07.07.07 | インドの出展作品の手配。 |
| 18 | エモーショナルドロ잉展（準備） | 東京 | 東京近代美術館 | 東京近代美術館 | 07.08.01～ 08.03.31 | 平成20年度の展覧会につき準備。 |
| 19 | 第10回アジア漫画展 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター | | 07.03.17～ 07.04.06 | 日本国内及びアジア各国を巡回する展覧会。2007年日印交流年事業。 |
| 20 | 第11回アジア漫画展 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター | | 08.02.25～ 08.03.13 | 日本国内及びアジア各国を巡回する展覧会。2007年日印交流年事業。 |
| 21 | 海外巡回展『熊本アートポリス展』 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター | | 07.12.19～ 08.02.16 | 国際交流基金海外巡回展。インド4都市を巡回。2007年日印交流年事業。 |
| 22 | 共同演劇「演じる女たち」 | デリー | 国立演劇学 校、国際交流 基金ニューデ リー日本文化 センター | 国立演劇学校 | 07.01.01～ 07.10.14 | インド・イラン・ウズベキスタン・日本の共同演劇制作。デリー、東京、ソウルで上演。2007年日印交流年事業。 |
| 23 | 津軽三味線・邦楽公演 | デリー | シュリラムセ ンター劇場 | | 08.01.27～ 08.02.05 | 福居典美氏、一大氏らアーティスト4名の津軽三味線・邦楽公演。インド4都市を巡回。2007年日印交流年事業。 |
| 24 | 俳句講演会・ワークショップ | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター | | 07.11.11～ 07.11.16 | 俳人宮下恵美子氏の講演会及びワークショップ。デリーとコルカタを巡回。2007年日印交流年事業。 |
| 25 | 日本映画祭 | デリー | インディアイ ンターナショ ナルセンター | | 07.08.20～ 08.02.02 | 安倍総理訪印に合わせて開催。2007年日印交流年事業。 |
| 26 | 中等教育日本語教師新規養成コンバート研修 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター | 中等教育中央 委員会 | 07.04.02～ 07.12.01 | 現職他科目教師を対象に日本語学習及び日本語教授法を指導。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------|-----|------------------------------|---------------|-----------------------|---|
| 27 | 中等教育8年生日本語教科書作成 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター | 中等教育中央 委員会 | 07.04.01～ 08.03.31 | 8年生用教科書及びワークブックの原稿を作成、出版化。 |
| 28 | 日本語教材寄贈 | デリー | 国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 教材の本邦からの輸送通関引取り、及び各学校への授与・配布。 |
| 29 | 第18回ニューデリー国際図書展への参加 | デリー | プラガティマイ イダン | (社) 出版文化国際交流会 | 08.02.02～ 08.02.10 | (社) 出版文化国際交流会と共催し、日本ブースを出展。図書展の参加団体数は1350社、来場者数は25万人。 |
| 30 | 文化協力プログラム | パロ | 国立博物館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | ブータン国立博物館の紀要につき英語・ブータン語の相互翻訳及び出版化をサポート。 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------|--|-----------------------|--|
| | 【助成事業】 | | | |
| 31 | パネルシアター児童教育研修 | インターナショナル インスティテュート オブパフォーマンス アーツ | 07.08.25～ 07.08.29 | デリーで行われた児童教育研修に対して助成。パネルシアターを用いた研修で、講師は本邦から訪印。 |
| 32 | ボンベイ室内オーケストラ公演 | ボンベイチェンバー オーケストラ | 07.09.09 | ムンバイで行われたボンベイ室内オーケストラ公演に対して助成。同公演にはピアニスト森麻衣子氏が訪印のうえ競演。 |
| 33 | 第12回国際ナショナル・トラスト会議 | INTACH (インド文化 芸術保存財団) | 07.12.03～ 07.12.05 | デリーで行われたINTACH主催『第12回国際ナショナル・トラスト会議』に対して助成。同会議には世界49カ国から300以上の団体が参加。 |
| 34 | 生花展示会 | 生け花インターナ ショナルグルガオン 支部 | 08.02.02 | グルガオンで行われた生花展示会に対して助成。 |
| 35 | 折り紙ワークショップ | 折り紙アクリテイク リエイションズ | 08.03.18～ 08.03.20 | ノイダで行われた折り紙ワークショップに対して助成。 |
| 36 | 「第45回全国ファッションデザインコンテスト」参加 | 杉野学園ドレスメー カー学院 | 07.10.20 | 東京で行われたファッションデザインコンテストの当地インドからの参加者に対して助成。 |
| 37 | 日本研究セミナー | デリー大学 | | デリー大学Shyam Lal Collegeにて行われた日本研究セミナーに対して助成。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------|-------------|-----------------------|--|
| | 【後援事業】 | | | |
| 38 | 福岡アジア文化賞 | 福岡市 | 07.07.27 | インド人受賞者の記者会見をインディア・インターナショナル・センターにて実施。 |
| | 【会場提供】 | | | |
| 39 | 生け花ワークショップ (定例会) | 生け花草月流デリー支部 | 07.04.12～ 08.03.18 | 生け花の展示発表会。年9回の実施。 |
| 40 | 盆栽ワークショップ (定例会) | デリー盆栽協会 | 07.10.26～ 08.03.26 | 盆栽の展示発表会。年2回の実施。 |
| 41 | 折り紙ワークショップ (定例会) | デリー折り紙クラブ | 07.05.30～ 08.02.20 | 折り紙の折り方を学び、作品を制作する講習会。毎週水曜の実施。 |
| 42 | アヌ・ジンダル絵画展 | アヌ・ジンダル | 07.04.13～ 07.04.23 | インド人作家による日本画の手法を用いた絵画展。 |
| 43 | 子守唄と詩の朗読会 | 印日文化交流友好協会 | 07.05.05～ 07.05.08 | 子供の日にちなみ、インドと日本に伝わる子守唄をインドの詩人や在留邦人により相互に紹介。この他、子供をテーマとした詩の朗読会及び展覧会を実施。 |
| 44 | マニシャ・グプタ絵画展 | マニシャ・グプタ | 07.09.20～ 07.09.24 | インド人作家による漢字をモチーフとした絵画展。 |
| 45 | 中央大学武内ゼミ | 中央大学武内ゼミ | 07.12.01 | 在留邦人やインド人による日本の大学生へ向けた講演会。 |
| 46 | 今昔物語ワーク ショップ | ネルー大学 | 07.12.15 | 今昔物語とその時代背景につき、クイズ各種を通して理解を深めるワークショップ。 |
| 47 | 関口三千香ミュージカルリサイタル& ワークショップ | 在留邦人有志 | 08.01.18～ 08.01.19 | 元ミュージカル俳優のリサイタル及びワークショップ。 |
| 48 | 日本語教師研修会 | 全インド日本語教師会 | 08.01.22 | 日本語教師を対象に教授法などの研修を実施。 |
| 49 | 日印フレンドシップ 音楽コンサート | ニムラナ財団 | 08.02.23 | 地元ミュージカル団体による音楽コンサート。 |
| 50 | デリー日本人会手芸 展 | デリー日本人会 | 08.02.14～ 08.02.16 | デリー日本人会会員による手芸作品展。 |
| 51 | 平岡達子絵画展 | 平岡達子 | 08.02.18～ 08.02.23 | ガンジス河に生きる人々をテーマとした絵画展。 |
| 52 | パドミニ・メタ絵画 展 | パドミニ・メタ | 08.03.27～ 08.04.04 | インド人作家の絵画展。 |

海外事務所

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------|-------------|-----------------------|---------------------|
| | 【文化備品・視聴覚資料貸出】 | | | |
| 53 | 凧・独楽展 | 在ムンバイ日本総領事館 | 07.12.17～ 07.12.19 | マハラシュトラ州コラプール市にて展示。 |
| 54 | 凧・独楽展 | 在ムンバイ日本総領事館 | 08.01.06～ 08.01.09 | マハラシュトラ州ナシック市にて展示。 |

シドニー日本文化センター

合計額 202,964,819円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------|------|------------------------|--------------------|-----------------------|---|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | ノーバディズ・ポートレート展 | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本文化センター | | 07.04.07～ 07.04.27 | シドニー在住のアーティスト・杉山三佐子によるポートレート版画展。多文化主義、テロ、地球温暖化などの様々な現代社会が抱える問題と日々の生活を背景に描いた作品約20点を展示。 |
| 2 | 筒描き友禅：風呂敷展 | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本文化センター | | 07.05.11～ 07.06.01 | 金沢在住の友禅染作家 小林秀明氏の風呂敷展「Furoshiki: Reviving a Dyeing Art」。「筒描き」の技法で染めた風呂敷・約30点を展示。 |
| 3 | 折り紙ワークショップ | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本文化センター | | 07.08.23 | シドニー日本文化センターのメンバー向けイベントとして折り紙ワークショップを開催。 |
| 4 | 書道ワークショップ | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本文化センター | | 07.10.02 | シドニー日本文化センターのメンバー向けイベントとして書道ワークショップを開催。 |
| 5 | 日本の陶磁器展（本部巡回展） | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本文化センター | | 07.10.08～ 07.10.29 | 有田・唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸・美濃、益子で、窯の伝統を引き継ぎながら、新しい陶芸を創り上げようとしている現代の陶芸作家35人の作品を展示。 |
| 6 | 禅画の世界 金森一咳展 | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本文化センター | | 08.01.15～ 08.01.30 | 墨絵画家・金森一咳（かなもり・いちがい）氏のオーストラリアで初の個展を開催。 |
| 7 | 福田喜重：刺繍の世界 | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本文化センター | シドニー日本人会／在シドニー総領事館 | 08.01.21～ 08.01.24 | 『刺繍』の分野で、唯一の人間国宝・福田喜重（ふくだ・きじゅう）氏の来豪にあわせて、福田氏の作品の展示会及び講演・実演会をシドニー日本人会、在シドニー総領事館との共催により開催。 |
| 8 | マッチボックス・プロジェクト | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本文化センター | | 08.02.22～ 08.03.30 | 持ち運び可能な透明なアクリルケース（マッチボックス）の中に、日豪の若手アーティストの作品を入れて、移動可能な展覧会を各地で開催するプロジェクト。当センター主催の若手アーティスト支援事業（公募による若手アーティストの企画展事業）のキックオフイベントとして開催。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------|----------------------------|---|---|-------------------|---|
| | 【公演】 | | | | | |
| 9 | JSAAオープニング・TaikOz公演 | キャンベラ | オーストラリア国立大学 | オーストラリア国立大学 | 07.06.30～07.07.04 | オーストラリア日本研究学会総会のオープニング行事に太鼓グループを派遣。 |
| 10 | 飾り巻き寿司デモンストラーション | シドニー | 国際交流基金シドニー日本文化センター | 東京寿司アカデミー | 07.07.26 | 川澄健（東京すしアカデミー校長）による、「飾り巻き寿司」作りの実演。 |
| 11 | フルート・コンサート | シドニー | 国際交流基金シドニー日本文化センター | | 07.08.24 | フルート奏者・アンタレス・ボイルによるフルートコンサートを開催。バス・アルト・コンサートの3種類のフルートを使い分けながら、武満徹、湯浅譲二、細川俊夫など、日本の代表的な作曲家の作品を演奏。 |
| 12 | 雅楽公演 | シドニー | 国際交流基金シドニー日本文化センター | | 07.11.13 | 北之台雅楽会による雅楽公演を開催。 |
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 13 | 「島」文化に関する講演会 | シドニー | 国際交流基金シドニー日本文化センター | マコーリー大学 | 07.05.04 | マコーリー大学に新設された島文化研究センターとの共催により、沖縄の文化に関する講演会を開催。 |
| 14 | アジア大洋州文化人派遣（アニメ講演会） | ウェリントン オークランド カンタベリー | 在ニュージーランド大使館 広報文化センター オークランド博物館 カンタベリー大学 | 在ニュージーランド大使館 在オークランド総領事館 在クライストチャーチ駐在官事務所 | 07.09.16～07.09.23 | 日本アニメの専門家・フィリップ・ブロフィ氏を派遣し、ニュージーランドで講演会を開催。 |
| 15 | メトロポリス会議 | メルボルン | ソフィテル・メルボルン | モナシュ大学、オーストラリア多文化財団 | 07.10.08～07.10.12 | 移民・多文化主義に関する国際会議に、明治大学・山脇教授を招聘し、日本の現状についての発表を行った。 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 16 | フィルムライブラリー | | | | 07.04.01～08.03.31 | 在豪大及び各州の総領事館、在フィジー大、NZ大及び総領事館など9公館に日本映画フィルムを貸し出し。 |
| 17 | 水曜映画会 | シドニー | 国際交流基金シドニー日本文化センター | | 07.04.01～08.03.31 | フィルムライブラリーの所蔵作品を利用して、毎週水曜日に日本映画の無料上映会を開催。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------|--|--|----------------------|-----------------------|---|
| 18 | 巡回日本映画祭 | キャンベラ シドニー パース ブリズベン メルボルン | デンディー・シネマ グレーターユニオンシネマ アレクサンダー図書館 リージェントシネマ 映像美術センター | 在オーストラリア公館 日豪友好協会 | 07.10.16～ 07.12.08 | 第11回目を迎えた巡回日本映画祭。シドニーでは規模を拡大して19本を上映。巡回作品は、『ヒノキオ』、『春の雪』、『パッチギ』、『リンダ・リンダ・リンダ』、『チルソクの夏』。シドニーでは、このほか『Always三丁目の夕日』、『花田少年史』、『早咲きの花』などを上映。 |
| 19 | 日豪学生映画フォーラム | シドニー | グレーターユニオンシネマ | 日本映画学校 | 07.12.03 | 豪州と日本の学生による卒業制作作品を上映し、若手の映画制作者の交流の場を提供。第11回日本映画祭のプログラムに組み込み、無料イベントとした。 |
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 20 | 日本語教育短期集中研修会(7月) | シドニー | 国際交流基金シドニー日本文化センター | | 07.07.09～ 07.07.12 | 全豪及びNZの初中等教育機関の日本語教師を対象とし、日本語力・教授技術の向上を目的とした研修会を開催。 |
| 21 | 日本語教育補助教材制作 | | 国際交流基金シドニー日本文化センター | NSW州立美術館 | 07.04.01～ 08.03.31 | NSW州立美術館と共同で、日本の美術を題材にしたActivity Resourceを制作。初等教育段階から中等教育段階までを対象。 |
| 22 | 日本語教育研修会支援 | シドニー | 日本語教師会など | | 07.04.01～ 08.03.31 | 各州で行われる日本語教師研修会等に、国際交流基金シドニー日本文化センターの講師が出講。 |
| 23 | オンライン日本語講座 | シドニー | 国際交流基金シドニー日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本語を母語としない教師が自分の時間に日本語運用力の向上を図れるよう、オンラインによるベーシック日本語講座を開発。 |
| 24 | 全豪日本語弁論大会 | シドニー | 国際交流基金シドニー日本文化センター | | 07.10.13 | 各州の州予選大会を勝ち抜いた20名が4部門に分かれて競い合う全豪日本語決勝大会。今回で38回目。 |
| 25 | NSW州日本語弁論大会 | シドニー | 国際交流基金シドニー日本文化センター | | 07.09.01 | 全豪日本語弁論大会の予選を兼ねたNSW州日本語弁論大会。Senior High School部門、Open Beginner部門、Open部門、Background Speaker部門の4部門。 |
| 26 | 日本語発表会 | シドニー | 国際交流基金シドニー日本文化センター | | 07.11.17 | NSW州の初等・中等前期で日本語を学習している生徒向けに日ごろの日本語学習を発表する場を提供。 |
| 27 | 教材・教具の寄贈 | | 日本語教育機関 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本語教育を行う機関に対し、教材・教具を寄贈する。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|------|----------------------------|------|-----------------------|---|
| 28 | 評価委員会 | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本 文化センター | | 07.11.02 | 各州代表者や大学関係者を招き、それぞれの州での日本語教育の現状を聞くとともに、国際交流基金シドニー日本文化センターの日本語教育支援事業について評価・助言を得る。 |
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 29 | 図書館運営 | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 図書館運営。月曜から金曜まで毎日開館。月2回週末（土曜日）開館。図書貸し出し、レファレンスサービス、Web-Opacなどのサービスを提供。蔵書数17181点、視聴覚資料数2007点。2007年度の年間来館者数は13709人、貸出冊数は8294点。 |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 30 | ニューズレター 「OMUSUBI」 発行 | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 季刊ニューズレター『OMUSUBI』を発行（年4回。各3000部） |
| 31 | 日本語教師向け教材の Web配信 (Dear Sensei) | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | ウェブサイトからダウンロード可能な日本語教育教材の配信。 |
| 32 | ホームページ 運営 | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金シドニー日本文化センターのウェブサイトを運営する。 |
| | 【教室事業】 | | | | | |
| 33 | 日本語講座 | シドニー | 国際交流基金 シドニー日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 初級および中上級の日本語口座を開講。 |
| | 【その他】 | | | | | |
| 34 | 日本語教育に関する共同研究 | シドニー | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 中等教育から高等教育にかけての日本語の継続学習の環境に関するNSW大学との共同研究 |
| | 【本部事業受入】 | | | | | |
| 35 | 日本語能力試験 | シドニー | 各地の大学など | | 07.12.02 | オーストラリア6都市で実施されている日本語能力試験を管轄。試験補助員などとして職員が出張。 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------|-------------------------|-----------------------|---|
| | 【助成事業】 | | | |
| 36 | 日本語教育セミナー 助成 | 国内各地の日本語教師会 | 07.04.01～ 08.03.31 | 地方における研修会の拡充を図り、教師ネットワークの形成を支援するために、各州の関係機関が主催する日本語教師研修会などに、教師招聘費用及び地方在住教師の参加旅費を中心に助成を行う。 |
| 37 | 井上靖賞授賞式 | シドニー大学 | 07.04.01～ 07.06.30 | 日本文学研究奨励のためにシドニー大学に設置された「井上靖賞」の実施経費の一部助成。 |
| 38 | In Repose | In Reposeチーム | 07.04.27～ 07.05.27 | タウンズビルにある日本人墓地を舞台に、音楽、ダンス、映像を組み合わせたパフォーマンス及び展示会を実施。 |
| 39 | 日本フェスティバル | 日豪友好協会（アデレード） | 07.05.02～ 07.05.06 | 豪日友好協会（アデレード）の主催する日本文化紹介のためのフェスティバルに対して助成。 |
| 40 | シドニーデザイン07 | パワーハウスミュージアム | 07.08.04～ 07.08.19 | デザインをテーマにした展示会への日本人作家の招へい費用の一部を助成。 |
| 41 | ワンダーラスト | Leigh Warren | 07.10.03～ 07.10.12 | アデレードで開催されるダンスパフォーマンス『ワンダーラスト』の公演経費の一部を助成。 |
| 42 | East Meets West | East & West Art Gallery | 07.11.03～ 07.11.30 | 日本とオーストラリアの作家による陶芸展の開催経費の一部を助成。 |
| | 【後援事業】 | | | |
| 43 | 日本の木造世界遺産 観光フォーラム | 国際観光振興機構 | 08.02.22 | ビジットジャパンキャンペーンの一環として、法隆寺や姫路城など、日本の木造世界遺産の文化的魅力についての講演会を開催する。国際観光振興機構（JNTO）主催。 |
| | 【会場提供】 | | | |
| 44 | 能楽レクチャー・デ モンストレーション | シドニー日本人会 | 07.04.27 | シドニー大学日本研究科の客員教授として来豪することになった能楽師・寺井栄氏を講師に、能楽のレクデモを開催。 |
| 45 | 第1回井上靖賞授賞 式及び記念講演会 | シドニー大学 | 07.06.08 | 日本文学研究を奨励する目的でシドニー大学に設置された「井上靖賞」の授賞式及び記念レクチャーを開催。 |

トロント日本文化センター

合計額 120,107,778円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------------|---------|----------------------------|----------------------------|-----------------------|--|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | ビビアン・リース展：里山ストーリー | トロント | 国際交流基金 トロント日本文化センター | | 07.08.08～ 07.10.25 | ビビアン・リース(画家)の作品展。新潟の米作農村に3ヶ月滞在し、その村民らを題材にした、色彩豊かな人物画を中心とした作品を展示。講演会やコンサートなども併せて実施。 |
| 2 | 90年代の日本の絵画展 | バリー | マクラーレン・アート・センター | マクラーレン・アート・センター | 07.08.16～ 07.10.08 | 基金巡回展「90年代の日本の絵画展」を次期開催地事情により空日となった期間を利用して、オンタリオ州バリー市にて開催。 |
| 3 | にほんごアートコンテスト2007 | トロント | 国際交流基金 トロント日本文化センター | にほんごアートコンテスト実行委員会／現代美術館 | 07.11.03～ 07.11.16 | 絵で漢字やひらがな単語、擬態語擬声語を表現する「にほんごアート」。この2007年度コンテストの参加作品216点を展示。 |
| 4 | 森正洋展(カルガリー) | カルガリー | トライアングルギャラリー | トライアングルギャラリー | 07.11.15～ 07.12.27 | 2007年2月から5月に国際交流基金トロント日本文化センターで開催した森正洋(陶磁器デザイナー)の陶磁器作品展をカルガリーにて実施。 |
| 5 | 武道の精神展 | トロント | 国際交流基金 トロント日本文化センター | | 07.11.27～ 08.02.26 | 国際交流基金本部巡回展。日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展観し、日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介。また、それらが現代の日本でどのように姿を変えたか、「武道の精神」はどのように表現されているのかを提示。 |
| 6 | Sharing Our Traditions 2007 | トロント | Spadina Museum | Spadina Museum／トロント市文化局 | 07.11.27～ 08.01.06 | スパディナ博物館にて毎年12月に開催されるクリスマス・新年をテーマとした国別文化紹介イベントに共催団体として参加。凧・こま展、ポスター展の常設展のほか、日曜日には音楽などの各種プログラムを実施。 |
| 7 | 武谷大介展 | トロント | 国際交流基金 トロント日本文化センター | | 08.03.11～ 08.05.09 | トロントを拠点に活躍する武谷大介(アーティスト)による、日本とカナダの「空」をテーマにした作品展。 |
| 8 | 横尾忠則ポスター展 | モントリオール | ケベック大学 モントリオール校デザインセンター | ケベック大学 モントリオール校デザインセンター | 08.03.13 | 国際交流基金トロント日本文化センター所蔵の横尾忠則ポスターを作品貸与し、ケベック大学モントリオール校デザインセンターにてポスター展を開催。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------------------|--------|----------------------------|---|-----------------------|---|
| | 【公演】 | | | | | |
| 9 | Katari Storytelling | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | Katari Story Tellers／ト ロント・ス トーリー・テ リング・フェ スティバル | 08.03.29 | トロント・ストーリーテリング・フェ スティバルの一環行事として、トロ ントで活動するKatari Storytellersのメ ンバーを迎えて日本の物語を披露。 |
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 10 | 原万希子講演 会（90年代の 日本の絵画展 関連事業） | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | | 07.07.18 | 原万希子（現代アートキュレーター、 Centre A/バンクーバー）による、現 代絵画についての講演会。 |
| 11 | キャサリン・ ゴヴィエー講 演会 | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | | 08.02.06 | カナダ人作家キャサリン・ゴヴィエー 氏による講演会「My Musashi Pilgrimage：私の宮本武蔵巡礼」を実 施。作家本人が剣聖・宮本武蔵の終焉 の地を訪ね、旅を通して見た武蔵の人 生とその人物像について語る。基金巡 回展「武道の精神展」関連事業。 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 12 | ドキュメンタ リー上映会 「Bunka Fest」 | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | | 07.07.23～ 07.07.31 | 国際交流基金トロント日本文化セン ター図書館所蔵の視聴覚資料（DVD、 ビデオ）、英語吹き替え版NHKテレビ 番組等の上映会を実施。 |
| 13 | キングストン 映画上映会 | キングストン | クイーンズ大 学 | クイーンズ大 学、在トロ ント総領事館 | 08.03.28 | 在トロント総領事館と共催。クイーン ズ大学にて映画「電車男」を上映。 |
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 14 | 日本語教育専 門家派遣 | エドモントン | アルバータ州 教育省 | アルバータ州 教育省 | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金本部よりアルバータ州 教育省へ日本語教育専門家を継続派遣。 |
| 15 | 日本語教師情 報交換会 1 | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | | 07.08.15 | 国際交流基金本部よりアルバータ州 教育省へ派遣中の室屋春光日本語教 育専門家をトロントに招き、ワー クショップを実施。2006年度日本 語教師訪日研修の参加者による報 告も併せて実施。 |
| 16 | 日本語教師情 報交換会 2 | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | | 07.11.06～ 07.11.08 | トロント及びトロント近郊の日本 語教師を対象とした情報交換会。 アルバータ州教育省に派遣中の室 屋春光専門家を迎え、6日は「 デジタル教材の活用法」に関する レクチャー、8日はウェブペー ジの作り方のPC講習会を実施。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|------|----------------------------|---|-----------------------|---|
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 17 | 図書館運営 | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | カナダの一般の人々を対象として、日本の社会・文化の幅広い分野に関する英・仏・日語の書籍や視聴覚資料を収集。一般公開を行うほか、インターネットで蔵書リストを公開し、郵送での貸し出しも実施。平成19年度末時点での蔵書数12,345冊、視聴覚資料数3,058件、会員数10,426名。同年度の来館者数のべ18,890名。 |
| 18 | かみしばい | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | | 08.02.16 | トロントで紙芝居を紹介する活動を行う堀千賀氏による日本の紙芝居の実演。 |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 19 | カレンダー・ オブ・イベン ト発行 | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 当センターの行事予定等を告知広報する目的で年2回（各500部）作成配布。 |
| 20 | カナダ向け基 金プログラム ガイド作成 | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金助成事業のうちカナダが対象となるプログラムについてプログラムガイドを作成配布。 |
| | 【その他】 | | | | | |
| 21 | Doors Open Toronto | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | トロント市役 所 | 07.05.26～ 07.05.27 | トロント市主催の「ドアーズ・オープン・トロント2007」に参加。開催日にあたる週末に開館し、普段センターを訪れる機会のない人々に国際交流基金トロント日本文化センターの活動・施設をPRする。（90年代の日本の絵画展開催中） |
| 22 | Asian Film Night (AFIN) レセ プション | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | (財)日本映像 国際振興協会 ／韓国映画振 興協会／日本 貿易振興機構 | 07.09.10 | トロント国際映画祭に合わせて、4団体共催にて、映画監督・配給会社等関係者、メディア関係者、カナダの日系・韓国系コミュニティの著名人らを招待し、日本映画及びアジア映画の紹介を行う。 |
| 23 | Nuit Blanche | トロント | 国際交流基金 トロント日本 文化センター | トロント市役 所 | 07.09.29～ 07.09.30 | トロント市内の各所で夜通し開かれるコンテンポラリー・アートイベントに参加。野田秀樹演出の歌舞伎DVDを上映。Vivian Reiss展も同時開催。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|-----------------|---------------------------------|------------|----------------------------|---|-----------------------|--|
| 24 | トロント・リール・アジア・フィルムフェスティバル レセプション | トロント | 国際交流基金 トロント日本文化センター | トロント・リール・アジア・フィルムフェスティバル | 07.10.24 | トロントで開催されるアジア系映画の国際映画祭の公式レセプションを国際交流基金トロント日本文化センターで開催。 |
| 25 | JFTボランティア・デー | トロント | 国際交流基金 トロント日本文化センター | | 07.11.02 | 国際交流基金トロント日本文化センターの運営に協力するカナダ市民ボランティア・メンバーを対象とした交流イベント。太鼓パフォーマンス実演。 |
| 【本部事業受入】 | | | | | | |
| 26 | 現代日本デザイン100選展 | トロント | デザイン・エクスチェンジ | デザイン・エクスチェンジ | 07.02.08～ 07.04.29 | プロダクト・デザイン（家具、家電、照明、文具、食器、玩具など）を中心に、1990年代に制作された日本のデザイン作品92点とその原点とも言える戦後の1950年代に制作された作品13点を紹介。 |
| 27 | 90年代の日本絵画展 | トロント | 国際交流基金 トロント日本文化センター | | 07.05.10～ 07.07.31 | 国際交流基金本部巡回展。現在高い評価を得ている会田誠、越前谷嘉高、小林孝亘、太郎千恵蔵、奈良美智、額田宣彦、福田美蘭、丸山直文、村上隆が1990年代に、どのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたのかを紹介。作品55点を展示。 |
| 28 | カナダ巡回日本映画祭 | トロント、ハミルトン | イザベルベイダーシアター、その他 | 在トロント総領事館 | | 「ホテルハイビスカス」（配給：シネカノン）、「たそがれ清兵衛」（配給：松竹）、「ガラスのうさぎ」（配給：映画「ガラスのうさぎ」製作委員会）、「下妻物語」（配給：東宝）を上映。 |
| 29 | 武道の精神展 | トロント | 国際交流基金 トロント日本文化センター | | 07.11.27～ 08.02.26 | 国際交流基金本部巡回展。日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展覧し、日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介。また、それらが現代の日本でどのように姿を変えたか、「武道の精神」はどのように表現されているのかを提示。 |
| 30 | 折り紙レクチャー&デモンストレーション | トロント | 国際交流基金 トロント日本文化センター、その他 | 在カナダ日本大使館／在カルガリー総領事館／在バンクーバー総領事館／在モントリオール総領事館 | 08.01.21～ 08.01.31 | 国際交流基金本部文化人派遣事業。神谷哲史（折り紙専門家）を日本より派遣し、カナダ主要都市を巡回して、デモンストレーション、レクチャー、ワークショップを実施。 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------|-------------------------|-----------------------|---|
| 31 | 日本語遠隔地教育関連事業 | ヨーク大学、セント・マリー大学 | 07.04.01～ 08.03.31 | ヨーク大学が行う日本語教育分野におけるビデオカンファレンス方式を利用した遠隔地教育の試験的事業に対して、技術スタッフ経費の一部を助成。 |
| 32 | グレン・グールド生誕75周年記念イベント | グレン・グールド財団 | 07.09.27～ 07.09.29 | オタワで開かれたグレン・グールド（カナダ人音楽家）の生誕75周年記念イベントに日本より招へいされた宮澤準一（教授・評論家）の旅費の一部を助成。 |
| 33 | SoundStream 加藤訓子マリンバコンサート | パーカッション国際フェスティバル | 07.05.22 | トロントで開催されたパーカッション国際フェスティバルに、加藤訓子（マリンバ演奏者）が日本より参加。その渡航費の一部を負担。 |
| 34 | 桂三枝落語公演 | トロント日系文化会館 | 07.06.21 | トロントの日系文化会館主催による桂三枝公演。広報費の一部を負担。 |
| 35 | パウエル・ストリート・フェスティバル | パウエル・ストリート・フェスティバル実行委員会 | 07.06.07～ 07.07.29 | バンクーバーで開催された日系移民のイベント。パシフィック・シネマテックにより、日本の現代映画の上映会が行われ、作品輸送費の一部を負担。 |
| 36 | Nuit Blanche | Nuit Blanche | 07.09.29 | トロント市内で夜通し行われる現代アートイベント。日本人アーティストの作品輸送費の一部を負担。 |
| 37 | オタワアニメ国際フェスティバル | オタワアニメ国際フェスティバル実行委員会 | 07.09.19～ 07.09.23 | オタワで開催されたアニメ国際フェスティバルに参加した山村浩二（アニメーター）の旅費の一部を助成。 |
| 38 | シネマテーク・オンタリオ | シネマテーク・オンタリオ | 07.08.31～ 07.10.14 | シネマテーク・オンタリオが企画中の大島渚特集のリサーチ旅行の費用の一部を負担。 |
| 39 | 少女漫画展 | ナショナル日系博物館 | 07.09.19～ 07.11.09 | ナショナル日系博物館（ブリティッシュ・コロンビア州バーナビー市）で徳 雅美（教授）監修の少女漫画展が開かれ、同氏の旅費・滞在費の一部を助成。 |
| 40 | シネマテーク・ケベコワ | シネマテーク・ケベコワ | 08.02.25～ 08.03.01 | モントリオールで開催された日本の早期アニメ映画の上映会に、とちぎあきら（東京国立近代美術館フィルムセンター主任研究員）が招待され、レクチャーを実施。その旅費・滞在費の一部を助成。 |
| 41 | 日本研究機関小規模助成（モントリオール大学） | モントリオール大学東アジア研究所 | 08.01.10～ 08.02.01 | モントリオール大学で開催される日本を含むアジア文学分野のビデオカンファレンス「Monolith2008」の活動費用の一部を助成。 |
| 42 | 加藤幸子ピアノコンサート | 在トロント総領事館 | 08.02.13 | 日本週間等支援事業として、ニューヨークより加藤幸子（ピアニスト）をトロントに招待し実施されたコンサートの費用の一部を助成。 |
| 43 | 加藤幸子ピアノコンサート | 在カナダ大使館 | 08.02.15 | 日本週間等支援事業として、ニューヨークより加藤幸子（ピアニスト）をオタワに招待し実施されたコンサートの費用の一部を助成。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------|--------------------|-----------------------|--|
| 44 | バンクーバー藤間流公演・デモンストレーション | New Works | 08.03.16 | バンクーバーで開催されたダンスイベント「Dance Allsorts」にて行われた藤間流公演・デモンストレーションに対して費用の一部を助成。 |
| | 【会場提供】 | | | |
| 45 | トロント折り紙ソサエティによる折り紙勉強会 | トロント折り紙ソサエティ | 07.04.01～ 08.03.31 | 毎月1回開催されるトロント折り紙ソサエティ主催の折り紙勉強会に、会場提供等により協力。 |
| 46 | JET出発前オリエンテーション | 在トロント総領事館 | 07.06.16～ 07.06.17 | 在トロント総領事館への協力事業として、JET参加者の出発前オリエンテーションのために会場提供等を実施。 |
| 47 | カナダ日本協会(CJS) 理事会 | カナダ日本協会(CJS) | 07.06.28 | 日加文化交流団体であるカナダ日本協会(CJS)の理事会に会場提供により協力。 |
| 48 | JET世界大会国際会議 | 在トロント総領事館、自治体国際化協会 | 07.09.14～ 07.09.15 | 在トロント総領事館、自治体国際化協会主催のJET過去参加者による国際会議。会場提供及び運営協力。 |
| 49 | JETアラムナイ・アソシエーションイベント | JETアラムナイアソシエーション | 08.02.24 | カナダのJETプログラム参加者によるイベントに会場提供などで協力。 |
| 50 | 木村悦子・加藤めぐみコンサート | 在トロント総領事館 | 08.02.25 | 木村悦子(バイオリニスト)と加藤めぐみ(ピアニスト)によるデュオコンサート。 |
| | 【文化備品・視聴覚資料貸出】 | | | |
| 51 | 横尾忠則ポスター展作品貸与 | ソウル日本文化センター | 07.08.30～ 07.09.30 | 国際交流基金トロント日本文化センター所蔵の横尾忠則ポスター作品を国際交流基金ソウル日本文化センターに貸出協力。 |
| | 【その他】 | | | |
| 52 | ヨーク大学「カルチュラル・ディプロマシー会議」 | ヨーク大学 | 08.02.01 | カルチュラル・ディプロマシーに関する専門家会議に国際交流基金トロント日本文化センター所長がパネリストとして参加協力。 |
| 53 | マクマスター大学演劇学部「ゴジラ」公演 | マクマスター大学 | 08.01.15～ 08.01.18 | 同大学演劇学部の「ゴジラ」公演への協力(広報、アドバイス)。 |

サンパウロ日本文化センター

合計額 217,907,375円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------------|---|---------------------------------|---------------------------|-----------------------|--|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | 信行信哉展 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | ブラジル裏千 家 | 07.05.05～ 07.05.12 | ブラジル裏千家との共催で、サンパウロ日本文化センターのホールにて、知的障害をもつ芸術家信行信哉氏の絵画及び陶芸作品を展示。 |
| 2 | ジャパン・フェスティバル | サンパウロ | イミгранテス見本市会場 | ブラジル日本都道府県人会連合会 | 07.07.21～ 07.07.23 | イミгранテス見本市会場にて開催されたジャパン・フェスティバル会場内にサンパウロ日本文化センターの展示スペースを設置。文化備品や日本関連書籍を展示の他、狂言を基にした創作劇の公演を実施。 |
| 3 | 「文楽の世界」展示・上映会・講演会 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.08.21～ 07.08.24 | 文楽写真展（サンパウロ日本文化センター備品）の展示に併せ、国際交流基金本部からの新規購送DVD「冥土の飛脚」上映、及び文楽研究者ダルシ・クサノ女史による講演会を実施。 |
| 4 | 東京画aqui | サンパウロ | セスキパウリスト | サンパウロ商業連盟社会サービス | 08.03.15～ 08.05.04 | セスキパウリストにて実施された「東京画aqui」（東京画ここにあり）を同団体と共催。展示、映像だけでなくパフォーマンスも実施。 |
| 5 | 七宝展 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 08.03.30～ 08.04.18 | ブラジルで活躍する「七宝Kazu」グループと日本からの七宝焼専門家7名の参加により、サンパウロ日本文化センターのホールにて作品の展示及びワークショップを実施。 |
| | 【公演】 | | | | | |
| 6 | ドミンゴ・コンサート「清水由香ピアノリサイタル」 | サンパウロ | ブラジル日本文化福祉協会 | ブラジル日本文化福祉協会 | 07.05.27 | リオデジャネイロ在住の日本人ピアニスト清水由香女史が披露するブラジル音楽の名曲を中心としたクラシックピアノリサイタル。 |
| 7 | レチシア・セキト現代舞踊巡回公演 | ヴォトランチン、サンジョゼドスカンボス、サンジョゼドリオブレット、カタンプバ、アララクアラ、カンピナス | 各都市の商業連盟社会サービス文化センター | サンパウロ州文化局、サンパウロ商業連盟社会サービス | 08.03.17～ 08.03.30 | サンパウロ州文化局との共催で、現代舞踊家レチシア・セキト女史の公演をサンパウロ州内の5都市で実施。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|-------|---------------------------------|-------------------------|-----------------------|--|
| 8 | 神楽公演 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ私 立文化セン ター | 広島県人会 | 08.01.25～ 08.01.27 | 神楽の公演と衣裳展示 |
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 9 | 「味覚の知 恵」シリーズ 第5回企画「は かなさの美学 ジュン×ジュ ン」 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.04.11 | シェフのジュン・サカモト氏とファッ ションデザイナーのジュン・ナカオ氏、 ふたりの「ジュン」による講演会。流 行が移ろいやすい食とモードを追求し ながら、高度消費社会の中で生き残っ ていくための『美学』を考える対談。 モデレーターとして、サンパウロ・カ トリック大学教授クリスチーネ・グラ イナー女史が参加。 |
| 10 | 平成18年度日 本研究フェ ローによる研 究成果発表会 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.05.23 | 平成18年度日本研究フェローの吉田ル イザ那女史及びガルシア優美ドスサ ントス女史による研究成果発表会。 各々のテーマは中世隠者文学とシング ルマザー問題。 |
| 11 | 「味覚の知 恵」シリーズ 第7回企画「寿 司の歴史」文 化講演会 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.05.30 | ブラジル人企業家セルジオ・ホルスマ ン氏が、長年の日本生活で味わった寿 司、寿司の歴史、種類、食べ方等つい て講演。 |
| 12 | 「味覚の知 恵」シリーズ 第8回企画「食 と食器」対談 講演会 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.06.13 | 陶芸家の本間ヒデコ女史とシェフのア ドリانو金城氏が、料理と器の視覚的 関係について講演。 |
| 13 | 文化講座「仏 教・西欧と東 洋の対話」 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.07.03～ 07.07.11 | シドニー大学教授クリスチナ・ロッ シャ女史（基金元フェローシップ）に よる全4回の文化講座。同講座と並行 してレオ・ラマ監督の演劇作品の紹介 や専門家の対談を実施。 |
| 14 | 「味覚の知 恵」シリーズ 第6回企画「世 界の味覚」レ クチャー・デ モンストレー ション | サンパウロ | セスキカルモ | サンパウロ商 業連盟社会 サービス | 07.07.19 | セスキカルモとの共催で日本アニメポ スター展及びシェフのカルロス・リベ イロによる日本食のレクチャー・デモ ンストレーションを実施。 |
| 15 | 国際日本文化 研究センター 教授陣による 講演会 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.08.02 | 国際日本文化研究センター教授細川周 平氏及び准教授テモテ・ケール氏によ る「笑い」をテーマとした講演。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|-------|------------------------------------|------|-----------------------|---|
| 16 | 文化講演会 「シネマ屋・ ブラジルを行 く」 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.08.09 | 国際日本文化研究センター教授細川周平氏による「ブラジルにおける日本移民の大衆娯楽であった日本映画鑑賞の歴史」をテーマとした講演及び同テーマを取り上げたオルガ普天間監督の短編映画「お茶漬け」の上映会。 |
| 17 | 第18回全ブラ ジル日本語・ 日本文学・日 本文化大学教 師学会参加者 による講演会 | サンパウロ | サンパウロ州 立パウリスタ 大学アシス キャンパス | | 07.08.27 | 基金本部助成事業「第18回全ブラジル日本語・日本文学・日本文化大学教師学会および第5回国際日本研究学会」参加者の米国Emory大学教授Jeffrey Lesser氏とフランスの研究者Le Quere David氏による講演会。 |
| 18 | 文化講座「春 画の春」 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.09.04～ 07.09.25 | サンパウロ大学日本文化研究所助教授マダレナ橋本女史（平成18年度基金フェローシップ）による全4回の文化講座。浮世絵・春画の時代背景や構図・テーマの分類などを分析する。 |
| 19 | 「味覚の知 恵」シリーズ 第11回企画 「日本酒の粋」 文化講演会 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.09.26 | 酒造メーカー「白鹿」との共催事業。日本酒のソムリエ育成や試飲についてなど、日本酒の可能性を追求する講演。関連書籍の出版記念会を含む企画。 |
| 20 | 文化講座「日 本に関わる5 つのエピソードと1つの秘 密」 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.11.06～ 07.11.14 | サンパウロ・カトリック大学教授クリスチーネ・グライナー女史(元基金フェローシップ)による日本現代文化分析講座。外国から見た日本をテーマに、映像資料を使用。ドイツ映画の巨匠ヴィム・ヴェンダースが解読した小津安二郎の「東京物語」などあらゆる視点で「外から観察された日本」を紹介。 |
| 21 | 「味覚の知 恵」シリーズ 第12回企画 「ブラジルに おける和食の 展望」対談講 演会 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.11.08 | ホテル経営者青木チエコ女史、ジャーナリストのマルセロ・カツキ氏、元ブラジル中央銀行総裁パウロ横田氏、和食研究家安本静子女史、東山農場取締役社長岩崎透氏により、「ブラジルにおける和食の変遷、将来に向けての展望」について座談会を実施。 |
| 22 | 「味覚の知 恵」シリーズ 第13回企画 「味覚と色彩」 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター | | 07.12.11 | 画家の福島隆氏を招いて、サンパウロ市在住の著名なシェフの料理を対象に、味覚、料理プレゼンテーション、器の美の接点を追求する実験の成果発表。パネルディスカッションには福島氏以外に陶芸家のシルマラ・ワタリ氏、泉シュウゴ氏、シェフのジュン・サカモト氏、小池新氏が参加。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------------------|-------|-------------------------|------------|-----------------------|--|
| 23 | 日本思想に関する第2回討論会 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日本文化センター | | 07.12.15 | サンパウロ・カトリック大学、カンピーナス大学で教鞭をとるZeljko Loparic氏を中心とする日本思想研究者グループによる討論会。 |
| 24 | 「味覚の知恵」シリーズ第14回企画「国際食文化見本市」における文化講演会 | サンパウロ | アニエンビー国際会議場 | ブラジル飲食店協会 | 08.03.10～ 08.03.12 | アニエンビー国際会議場にて行われた国際食文化見本市において、カルロス・リベイロ氏、アルナルド・ロレンサート氏、マルセロ・カツキ氏そしてパウロ・横田氏をパーソナリティに迎え講演会を実施。 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 25 | パイネイラス・クラブ日本祭り | サンパウロ | パイネイラス・クラブ | パイネイラス・クラブ | 07.04.20～ 07.04.22 | 総合文化施設パイネイラス・クラブが主催する日本祭りにおいて、同クラブおよびサンパウロ総領事館との共催で、日本映画の上映会を実施。 |
| 26 | 定例映画上映会「いつでもシネマ・青春シリーズ」 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日本文化センター | | 07.05.22～ 07.06.28 | 「あの夏一番静かな海」、「学校II」、「我が青春に悔いなし」を上映。 |
| 27 | 定例映画上映会「いつでもシネマ・山田洋次特集」 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日本文化センター | | 07.07.10～ 07.09.27 | 山田洋次の代表作品を紹介。「学校15才」、「男はつらいよ 寅さんの休日」、「男はつらいよ 紅の花」、「キネマの天地」、「家族」を上映。 |
| 28 | 「リベルダーデ」上映会 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日本文化センター | | 07.07.12 | サンパウロ市文化局と教育局が制作した市内代表区の歴史をたどる記録映画シリーズのうち、「東洋人街」として知られるリベルダーデ区をテーマとした短編映画の上映会、パネル討論会の実施。 |
| 29 | 定例映画上映会「いつでもシネマ・恐怖と笑いシリーズ」 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日本文化センター | | 07.10.09～ 07.12.20 | ホラー映画をシリーズで紹介。「怖がる人々」、「居酒屋幽霊」、「新・居酒屋幽霊」、「学校の会談4」を上映。 |
| 30 | 定例映画上映会「いつでもシネマ・スポーツシリーズ」 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日本文化センター | | 08.01.22～ 08.03.13 | 「遙かなる甲子園」、「頑張っていきまっしょい」、「800 TWO LAP RUNNERS」、「シコふんじゃった」を上映。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------|-----------|-------------------------|-------------------|-----------------------|---|
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 31 | CEL・CELEM教師研修(初任者) | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日本文化センター | サンパウロ州教育局/パラナ州教育局 | 07.04.23～ 07.04.25 | サンパウロおよびパラナ両州教育局の運営する州立学校(中等教育課程)の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、その教師の定期的研修(初任者レベル)を実施 |
| 32 | CEL・CELEM学生研修 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日本文化センター | サンパウロ州教育局/パラナ州教育局 | 07.07.20～ 07.07.21 | サンパウロ、パラナ両州教育局運営の中等教育課程日本語講座の学習者支援、学習奨励として、成績の優秀な学習者を選抜して研修を実施 |
| 33 | 大学研究会(調査・出張) | リオデジャネイロ | リオデジャネイロ連邦大学 | | 07.08.30～ 07.08.31 | リオデジャネイロ連邦大学にて開催された第17回全伯日本語日本文学日本文化大学教師学会(年1回開催)への参加 |
| 34 | 日本語スピーチコンテスト全国大会 | サンパウロ | 国際交流基金 サンパウロ日本文化センター | | 07.11.10 | ブラジル各州(全8地区)で行なわれる弁論大会で優秀な成績を修めた者を招き、全国大会を実施 |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 35 | 機関紙「TOBIRA」発行 | ブラジル全国へ配布 | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 各事業の事前広報用機関紙「TOBIRA」の発行。 |
| 36 | 「ブラジリア大学日本特集」出版記念会 | ブラジリア | ブラジリア大学 | ブラジリア大学 | 07.12.10 | サンパウロ日本文化センターが推薦する文化人および日本研究者が記事を執筆しブラジリア大学が出版した、ブラジル日本人移住100周年特別企画書籍の出版記念会。 |
| 37 | ウェブサイト管理 | サンパウロ | | | 07.04.01～ 08.03.31 | ウェブサイトを通じてセンターの事業・図書館ほか各種日本語文化関連情報を紹介したほか過去の講演記録などを掲載した。ウェブサイト使用言語はポルトガル語。URLは www.fjsp.org.br |
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 38 | 図書館運営 | サンパウロ | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 図書館における閲覧、貸し出し、各種リファレンスサービス、文化芸術事業など基金事業の展開に合わせた所蔵資料の展示を行った。年間入館者数12,653名、貸し出し冊数21,211冊。会員数約1,418名。通常開館時間は、事務所休日を除く月曜日から金曜日までの10時から20時まで。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---------------------------|---------------------------|-----------------------|-----------------------|--|
| | 【本部事業受入】 | | | | | |
| 39 | 「味覚の知恵」シリーズ第6回企画「ブラジル風日本・食と文化」レクチャー&デモンストレーション | サンパウロ、リオデジャネイロ、ブラジリア | | | 07.04.18～ 07.04.27 | サンパウロ市営市場において、国立民族学博物館名誉教授石毛直道氏による「和食の成立・変遷といった歴史的背景と近年の状況」をテーマとした講演及び、シェフ・伝統料理研究家奥村彪生氏による日本食のレクチャー・デモンストレーションを実施。別途、サンパウロ日本文化センターでも講演会を実施。 |
| 40 | 「ブラジルにおけるサンパウロ藤田嗣治」展 | サンパウロ | ブラジル銀行文化センター | ブラジル銀行文化センター | 08.03.01～ 08.06.01 | フランス在住の世界的日本人画家藤田嗣治が8ヶ月間のブラジルでの生活において、当地文化人に与えた影響を追跡する展示 |
| 41 | 「味覚の知恵」シリーズ第10回企画「日本食の定番」テレビ番組放映 | ブラジル全国 | | バンデイランテス・テレビ局 | 07.06.03～ 07.07.06 | 平成18年度・19年度テレビ番組交流促進事業の番組提供先であるBandテレビ局が、代表的な日本食の歴史・作り方とその文化的背景を紹介するNHK制作番組をシリーズで放映。6月は「すき焼き」（「味覚の知恵」シリーズ第9回企画と関連付ける）の他、「どんぶり」、「ラーメン」、「てんぷら」を毎週日曜日に放送。 |
| 42 | 「結城座」公演 | サントス、サンパウロ、ブラジリア、リオデジャネイロ | セスキサントス、セスキコンソラソン、フナルテ、セジ | サンパウロ商業連盟、ブラジル連邦政府文化省 | 08.02.14～ 08.02.28 | ブラジル国内4都市にて各2回、合計8回公演。サンパウロ市及びサントス市ではセスキとの共催。 |
| 43 | 映画特集「名作20本にみる日本映画史」 | サンパウロ | ブラジル銀行文化センター | ブラジル銀行文化センター | 08.02.19～ 08.03.08 | ブラジルで上映記録のある代表的名作20本の上映会。「日本映画がブラジル映画と文化に与えた影響」がテーマ。 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------|--------------|-----------------------|--|
| | 【助成事業】 | | | |
| 44 | 文協大総合美術展 | ブラジル日本文化福祉協会 | 07.10.10～ 07.10.21 | 日系社会の代表的な美術サロンを、今回は毎年ブラジル日本文化社会福祉協会にて行われる「工芸」展と「具象」展とを合併した形で実施。参加作品は433展、参加作家283人という規模で構成。国際交流基金サンパウロ日本文化センターはカタログ作成費の一部を負担。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------------|-----------------|-----------------------|--|
| | 【後援事業】 | | | |
| 45 | 「味覚の知恵」シリーズ第9回企画「善のすき焼き」ディナー試食会 | 「希望の家」 | 07.06.23 | シェフのアドリアノ金城氏が「すき焼き」の作り方を披露するチャリティ・ディナー。サンパウロ・グランド・ハイアットホテルを会場とし、参加予定人数500人のフェスティバル。同事業は「味覚の知恵」シリーズの一環。 |
| 46 | 合気道ワークショップ | | 07.11.29～ 07.11.30 | ブラジル合気会との共催で日本より心身統一合気道会の柏屋八段を講師として招き、国際交流基金サンパウロ日本文化センターにてワークショップを実施。 |
| | 【文化備品・視聴覚資料貸出】 | | | |
| 47 | 世界コスプレ・サミット ブラジル予選 | JBC出版 | 07.06.09 | 8月に名古屋で行なわれる「世界コスプレ・サミット」に参加するブラジル代表を決定するイベントに、国際交流基金サンパウロ日本文化センター備品の「アニメ・パネル」展を提供、また同センター職員が審査委員としても参加。 |
| 48 | ベロオリゾンテ市日本週間 | ウジミナス製鉄所文化センター | 07.10.16～ 07.10.21 | ベロ・オリゾンテ市日本名誉総領事主催事業。国際交流基金サンパウロ日本文化センターは備品である「日本庭園」、「アニメポスター」のパネルなどを送付して協力。 |
| 49 | アナポリス市日本祭り | 在ブラジル日本大使館 | 07.12.18 | ゴイアス州アナポリス市のウニ・エヴァンジェリカ・アナポリス会館にて行われた日本祭りに、在ブラジル日本大使館との共催で国際交流基金サンパウロ日本文化センター所蔵のアニメポスターパネルを貸出。 |
| 50 | セスキカルモ日本アニメポスター展 | サンパウロ商業連盟社会サービス | 07.07.16～ 07.07.31 | サンパウロ市内のSESC（商業連盟社会サービス）カルモ支部にて行われた日本アニメポスター展に、共催形態で国際交流基金サンパウロ日本文化センター所蔵のアニメポスターパネルを貸出。 |
| | 【その他】 | | | |
| 51 | 文化講演会「福留功男・崩壊する日本のテレビ」 | ブラジル日本文化福祉協会 | 07.09.01 | ブラジル日本文化福祉協会の主催による福留功男の講演会。国際交流基金サンパウロ日本文化センターは広報協力を行なった。 |
| 52 | 「ブラジル日本文化ガイドブック」調査協力 | JBC出版 | 08.01.01～ 08.03.31 | 「ブラジル日本文化ガイドブック」（2008年6月にJBC出版社より刊行）の原稿執筆のための調査に協力。 |

マニラ事務所

合計額 34,896,355円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------------------------|-----|---|-----------------------------------|-----------------------|--|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | 「トラウマ・インターラプテッド」展 | マニラ | フィリピン文化センター | フィリピン文化センター | 07.06.14～ 07.07.29 | 日本、フィリピン、米国等のアーティストによるトラウマとジェンダーをテーマとする展示とパフォーマンス |
| 2 | 「ポップスケープ」展 | マニラ | フィリピン文化センター | フィリピン文化センター | 07.06.14～ 07.07.29 | インドネシアのアーティスト5名の作品展。コーディネータは同国在住のアーティスト廣田 みどり |
| | 【公演】 | | | | | |
| 3 | パパ・タラフマラ公演 | マニラ | カルロス・ロムロ劇場 | | 07.07.20～ 07.07.21 | チェーホフの同名戯曲をモチーフにしたパパ・タラフマラのオリジナル・コンテンポラリーダンス作品『三人姉妹』の上演。演出：小池 博史 |
| 4 | ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク (JCDN) 公演 | マニラ | フィリピン文化センター | NPO法人 ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク | 07.08.24～ 07.08.25 | JCDNに参加するKo&Edge Co.、ほうほう堂、ピンク、三浦 康之、ならびにフィリピンのアヴァ マウリーン ヴィラヌエバによるコンテンポラリーダンス公演を開催 |
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 5 | フィリピン・ベン・クラブ 50周年記念会議 | マニラ | フィリピン国立博物館 | フィリピン・ベン・クラブ | 07.12.08～ 07.12.09 | フィリピン・ベン・クラブからの要請を受け、日本の作家、中上 紀を招聘、同クラブ設立50周年記念会議の際に講演を実施 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 6 | 日本映画祭 | マニラ | EDSA シャングリラ・プラザ・モール、フィリピン大学フィルムセンター、フィリピン文化センター、アヤラセンター | セブ商工会 セブ日本人会 在セブ出張駐在官事務所 | 07.06.20～ 07.07.29 | 2000年以降製作の映画10作品の上映。『下妻物語』、『Blue』、『チルソクの夏』、『この世の外へクラブ進駐軍』、『ホテルハイビスカス』、『命』、『金融破滅ニッポン』、『桃源郷の人々』、『青い春』、『害虫』、『バカのハコ船』。セブは6作品のみ |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|------------------------|--------------------|--------------------|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------|---|
| 7 | 第1回国際サイレント映画祭 | マニラ | グリーンベルト | インスティテュート・セルバンテス、ゲート・インスティテュート | 07.09.04～ 07.09.13 | 日独西の文化交流団体3機関共催によるサイレント映画祭。日本は『雄呂血』(二川文太郎)を、マキリン・アンサンブルの演奏にあわせて上映 |
| 8 | 映画祭フリンジ | マニラ | アオントニオ・モリナ・ホール、フィリピン大学フィルムセンター | アオントニオ・モリナ・ホール、フィリピン大学フィルムセンター | 07.11.08～ 07.11.17 | 北朝鮮拉致家族を扱ったドキュメンタリー『めぐみ 引き裂かれた家族の三十年』、フィリピンを舞台にした今泉光司監督の『アボン』、日本映画『風音』、『AIKI』、『父と暮らせば』、『十五歳 学校Ⅳ』を上映 |
| 9 | シネマキャラバン・イン・ヴィサヤ | イロイロ | 国立西ヴィサヤ大学 | 国立西ヴィサヤ大学 | 07.11.23 | 日本映画に接する機会の少ないヴィサヤ地方のパナイ島で、『生きる』、『たそがれ清兵衛』、『十五歳 学校Ⅳ』を上映 |
| 10 | シネマキャラバン・イン・ミンダナオ | カガヤン・デ・オロ ミンダナオ | キャピトル大学 国立ミンダナオ大学イリガン技術研究所 | キャピトル大学 国立ミンダナオ大学イリガン技術研究所 | 08.01.23～ 08.01.24 | 日本映画に接する機会の少ないミンダナオ島の2都市で、『椿三十郎』、『たそがれ清兵衛』、『十五歳 学校Ⅳ』を上映 |
| 【主催・共催事業／日本語教育】 | | | | | | |
| 11 | ウィークリーワークショップ | マニラ | 国際交流基金マニラ事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 毎週金曜日夕方に開催する日本語教師向けのワークショップ。(無料) |
| 12 | 教科書ワークショップ(セブ) | セブ | セブ日本人会 | セブ日本人会 | 07.07.27 | 教科書「みんなの日本語」の構造分析、使い方のコツなどに関するワークショップ(無料) |
| 13 | ニューズレター『みりえんだ』発行 | マニラ | 国際交流基金マニラ事務所 | | 07.05.01 | 日本語教育関係者向けニューズレター『みりえんだ』(Vol.V No.1、2)発行。発行部数3000部。国際交流基金マニラ事務所サイト上でも公開 |
| 14 | 第5回フィリピン日本語教師フォーラム | マニラ | JICAフィリピン事務所 | | 07.05.18～ 07.05.19 | 日本語教育の実践報告、研究発表、ネットワーキングのための日本語教師フォーラムの開催。テーマ「フィリピンにおける日本語教育の多様化」 |
| 15 | 第6回フィリピン日本語教師フォーラム | マニラ | JICAフィリピン事務所、アオントニオ・モリナ・ホール | フィリピン人日本語教師会(AFINITE) | 07.11.16～ 07.11.17 | 日本語教育の実践報告、研究発表、ネットワーキングのための日本語教師フォーラムの開催。フィリピン人日本語教師会との共催。テーマ「フィリピンの日本語教育：過去、現在、未来」 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----------------|-----------------|-----|---|-----------------------|-----------------------|--|
| 16 | 日本語フィエスタ | マニラ | EDSAシャングリラ・プラザ・モール | | 08.02.23 | マニラ、セブ、ダバオで予選を勝ち抜いた出場者による第35回日本語弁論大会、日本語学習者などによるパフォーマンスコンテストをメインとした日本文化紹介事業 |
| 17 | 日本語教育研究交流会 | マニラ | 国際交流基金マニラ事務所 | | 07.04.27～ 08.03.31 | 日本語教育およびその周辺領域における分野の実践/研究月例報告会。 |
| 18 | 「第1回ダバオ日本語弁論大会」 | ダバオ | ミンダナオ国際大学 | フィリピン日系人会 | 08.01.25 | 「第1回ダバオ日本語弁論大会」の審査員として、星 亨(マニラ事務所日本語教育アドバイザー)が参加。同弁論大会は、全国大会の予選を兼ねる |
| 19 | 「第6回セブ日本語弁論大会」 | セブ | SMセブシティ会議場 | セブ日本人会 | 08.02.02 | 「第5回セブ日本語弁論大会」の審査員として、和栗 夏海(マニラ事務所日本語教育アシスタントアドバイザー)が参加。同弁論大会は、全国大会の予選を兼ねる |
| 20 | 日本語キャラバン | マニラ | カロオカン市サイエンス高校、パシグ市サイエンス高校、フィリピン・サイエンス高校、マカティ市サイエンス高校、マリキナ市サイエンス高校、ムンティンルパ市サイエンス高校、F.トレス高校 | フィリピン人日本語教師会(AFINITE) | 07.11.09～ 08.02.28 | 中等教育レベルにおける日本語普及のアウトリーチ事業として、日本の伝統文化やポップカルチャーの体験プログラム、日本語授業デモンストレーションをパッケージした出前授業を、メトロマニラ首都圏の高校7校で実施。 |
| 【図書館運営】 | | | | | | |
| 21 | 図書館運営 | マニラ | 国際交流基金マニラ事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 2007年7月13日に、国際交流基金マニラ事務所の入居するビルの1階に図書館/日本語教室をオープン。マンガ、JポップCDなどをはじめとする日本文化、日本語教育関係書籍・資料の閲覧、貸出。蔵書数3,435冊、視聴覚資料367点、会員数73名、来館者数7,551名 |
| 【出版・広報】 | | | | | | |
| 22 | 事務所ホームページ | マニラ | 国際交流基金マニラ事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金マニラ事務所のイベント、グラントなどを紹介するサイト |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------|-----|--------------------|---------------------------------|-------------------|---|
| 23 | ニューズレター『SUKI』発行 | マニラ | 国際交流基金マニラ事務所 | | | 国際交流基金マニラ事務所の文化・芸術交流、日本研究・知的交流に関するニューズレター。年3回発行。発行部数6,000部 |
| | 【教室事業】 | | | | | |
| 24 | 日本語教師のためのブラッシュアップコース | マニラ | 国際交流基金マニラ事務所 | | 07.05.08～07.11.27 | 日本語能力試験3級以上の日本語教師向け講座(有料)。モジュール2(5～6月 登録16名、修了12名)、同3(7～8月 登録13名、修了9名)、同4(10～11月 登録12名、修了10名) 各48時間 |
| 25 | 日本語教育学概論講座 | マニラ | 国際交流基金マニラ事務所 | | 07.09.22～08.02.09 | 日本語能力試験2級以上の日本語教師向け講座(有料)。日本語学、日本語教授法、コースプランニングなどを学ぶ。計45時間。登録7名 |
| 26 | 日本語教師のための日本語指導法講座(RC1) | マニラ | 国際交流基金マニラ事務所 | | 08.01.08～08.02.28 | 日本語能力試験2級以上の日本語教師向け教授法講座(有料)。日本語教育の基礎的技能の整理、その発展/応用について理論、実習の両面から学ぶ。計32時間。登録10名 |
| 27 | 先生の日本語I | マニラ | 国際交流基金マニラ事務所 | | 07.10.15～08.02.20 | 日本語能力試験4級以上の日本語教師向け日本語講座(有料)。計64時間。登録9名 |
| | 【その他】 | | | | | |
| 28 | 極真空手演武会 | マニラ | マーケット・マーケット | アヤラ・モールズ マーケット・マーケット、 極真館 | 08.02.24 | 極真空手道連盟極真館による空手の演舞会共催 |
| 29 | 村上春樹感想文コンテスト | マニラ | 国際交流基金マニラ事務所 | | 07.07.13～07.11.12 | 国際交流基金マニラ事務所の図書館／日本語教室のオープニングにあわせ、村上 春樹の作品の読後感想文コンテストを実施 |
| 30 | 全国弁当コンテスト | マニラ | EDSAシャングリラ・プラザ・モール | EDSAシャングリラ・プラザ・モール | 08.02.24 | フィリピン各地から、その土地の食材を使った弁当を考案してもらう、全国弁当コンテストを開催。あわせて、日本の代表的な駅弁50選の展示、日比両国の専門家による弁当作りデモンストラーションを実施 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------|------------|---|--|-----------------------|--|
| | 【本部事業受入】 | | | | | |
| 31 | 第10回アジア漫画展 | マニラ | SMモール・オブ・アジア、ポーディアム、ザ・ブロックSMノースEDSA | SMモール・オブ・アジア、ポーディアム、ザ・ブロックSMノースEDSA | | 「アジアの環境問題」をテーマとする日本、フィリピン、中国、韓国、インド、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム、カンボジアの10カ国10名の漫画家による77作品の展示 |
| 32 | 現代日本の陶磁器展 | | アヤラ美術館、シリマン大学、タマワン・ビレッジ、ナショナル・プレスクラブ | アヤラ美術館、シリマン大学、タマワン・ビレッジ、チャナム財団、ドゥマゲッティ市、マリヤー・ギャラリー | 07.06.09～ 07.08.05 | 有田、唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸・美濃、益子の現代若手陶芸家の作品71点を展示。あわせて、フィリピン在住の萩焼陶芸家・丸山 陶心の作品展示、ワークショップを開催 |
| 33 | 日本映画祭 | マニラ | アヤラセンター、EDSA シャングリラ・プラザ・モール、フィリピン大学フィルムセンター、フィリピン文化センター | セブ商工会、セブ日本人会、在セブ出張駐在官事務所 | 07.06.20～ 07.07.29 | 2000年以降製作の映画10作品の上映。『下妻物語』、『Blue』、『チルソクの夏』、『この世の外へクラブ進駐軍』、『ホテルハイビスカス』、『命』、『金融破滅ニッポン』、『桃源郷の人々』、『青い春』、『害虫』、『バカのハコ船』。セブは6作品のみ |
| 34 | 第1回国際サイレント映画祭 | マニラ | グリーンベルト | インスティテュート・セルバンテス、ゲーテ・インスティテュート | 07.09.04～ 07.09.13 | 日独西の文化交流団体3機関共催によるサイレント映画祭。日本は『雄呂血』(二川文太郎)を、マキリン・アンサンブルの演奏にあわせて上映 |
| 35 | 歌舞伎レクチャーデモンストラーション | マニラ | カルロス・ロム口劇場 | 松竹株式会社 | 08.02.07 | 中村 京蔵、中村 又之助による歌舞伎に関する講演、デモンストラーションの開催。演目：鶯娘、石橋 |
| 36 | 和太鼓公演 | バギオ マニラ | セッション通り、バギオ市コンベンション・センター、EDSA シャングリラ・プラザ・モール | EDSA シャングリラ・プラザ・モール、バギオ市 | | 2007年度「第6回東京国際和太鼓コンテスト」最優秀賞の塩原 良(大太鼓部門)、創造和太鼓集団大太(組太鼓部門)による公演 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------------|---|-----------------------|--|
| | 【助成事業】 | | | |
| 37 | 小規模助成（日本研究・知的交流）：坂本知壽子 | フィリピン大学女性研究センター | 06.04.01～ 09.03.31 | フィリピンにおける従軍慰安婦生存者の記録映像プロジェクト経費助成 |
| 38 | 小規模助成（文化・芸術）：DAWN | 女性のための行動ネットワーク (Development Action for Women Network (DAWN)) | 07.04.16～ 07.05.15 | NGO「DAWN(女性ネットワークのための開発活動)」の演劇を通じたジャパニーズ・フィリピーノ・チルドレン(JFC)のためのセラピー/教育/アドボカシー・プロジェクト実施経費助成 |
| 39 | 小規模助成（文化・芸術）：コーディネリエラ・グリーン・ネットワーク | コーディネリエラ・グリーン・ネットワーク | 07.05.05～ 07.07.01 | ルソン島北部コーディネリエラ地方の住民に対する陶芸を通じた環境問題意識啓発ワークショップ、展示プロジェクト「世界環境デー：猿はどこへ行った？」実施経費助成 |
| 40 | 小規模助成（文化・芸術）：ザ・ライターズ・ブロック | ザ・ライターズ・ブロック | 07.06.26～ 07.07.07 | 今まで上演されたことのないフィリピンの戯曲家の脚本を上演する「第3回ヴァージン・ラブフェスト」の開催経費助成。期間中、坂手 洋二脚本の『三人姉妹』も上演 |
| 41 | 小規模助成（文化・芸術）：世界ダンス連盟フィリピン支部 | フィリピン文化センター／世界ダンス連盟フィリピン支部 | 07.07.12～ 07.07.15 | 「Wi-Fiボディ：第2回インディペンデント・コンテンポラリー・ダンス・フェスティバル」開催経費助成 |
| 42 | 小規模助成（文化・芸術）：第3回シネマラヤ | フィリピン文化センター | 07.07.20～ 07.07.29 | デジタル映画祭「第3回シネマラヤ」の開催経費助成、ならびに同映画祭期間中に実施されるシンポジウムに、木村 美砂(SKIPシティ国際Dシネマ映画祭プログラミング・ディレクター)を招へい |
| 43 | 小規模助成（日本研究・知的交流）：フィリピン心理学会 | フィリピン心理学会 | 07.08.16～ 07.08.18 | フィリピン心理学会の年次総会開催経費助成。基調講演：山口 勸(東京大学教授) |
| 44 | 小規模助成（日本研究・知的交流）：フィリピン大学国際研究センター | フィリピン大学国際研究センター | 07.09.05～ 07.09.12 | ルソン島北部のイフガオに伝わる詠唱『フドゥフドゥ』と日本の能に関するワークショップ、学術会議、公演の実施経費助成 |
| 45 | 小規模助成（日本研究・知的交流）：ピース・ウーマン・パートナーズ | ピース・ウーマン・パートナーズ | 07.09.11～ 07.09.20 | 平和と秩序構築のため、ミンダナオ地方のイスラムリーダーを含めた宗教、文化的背景の異なる女性によるフォーラム、円卓会議開催経費助成 |
| 46 | 小規模助成（文化・芸術）：ジェローム ロリコ | 学校法人杉野学園／財団法人ドレスメーカー服飾教育振興会 | 07.10.13～ 07.10.20 | 日本で行われた「第45回全国ファッションデザインコンテスト」(主催：財団法人ドレスメーカー服飾教育振興会等)の第一次審査に合格したジェローム ロリコへの作品製作経費助成。本選にて審査員特別賞を受賞 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------|--|
| 47 | 小規模助成（日本研究・知的交流）：フィリピン大学アジアセンター | フィリピン大学アジアセンター | 07.11.20～ 08.01.15 | 「ハボン：バギオにおける20世紀初頭の日本人社会」写真展の開催経費助成。「フィリピンへの日本移民の歴史、課題、今後」と題するシンポジウムをあわせて開催 |
| 48 | 小規模助成（日本研究・知的交流）：フィリピン・アニメーション協議会 | フィリピン・アニメーション協議会 | 07.11.21～ 07.11.25 | フィリピンのアニメーターによる作品を上映する「アニメマヘナション：ピノイ・アニメーション・フェスティバル」開催経費助成 |
| 49 | 小規模助成（日本研究・知的交流）：アテネオ・アジア研究センター | アテネオ・アジア研究センター | 08.02.01 | 「アジアにおける宗教多元的共存、地域主義、グローバルイズムの宗教への影響」に関する会議実施経費助成 |
| 50 | 小規模助成（文化芸術交流）TUPADA | Tupada Action and Media Art | 08.02.01～ 08.05.01 | 日本、フィリピン、中国、香港他世界各国からアーティストを招へいし、新しいメディアを活用したアート・パフォーマンスに関するフォーラム、ワークショップや公演を行う、第5回国際アクション・アート事業の開催経費助成。 |
| 51 | 小規模助成（日本研究・知的交流）：Philfeja | フィリピン元留学生協会 | 08.03.25 | フィリピン人看護師・介護士の日本での就労問題に関する会議の開催経費助成。 |
| | 【後援事業】 | | | |
| 52 | 「第5回セブ日本語弁論大会」 | セブ日本人会 | | 「第5回セブ日本語弁論大会」への後援名義付与 |
| 53 | つながりぶろじえくと企画 第2回フィリピンと日本の子どもの絵画展 | チャイルド・ファンド・ジャパン | 07.05.25～ 07.05.27 | 「愛=Love」をテーマとした、「第2回フィリピンと日本の子どもの絵画展」への後援名義付与 |
| 54 | 「ハウス・オブ・コンフォート・イン・大阪」 | 特定非営利活動法人大阪アーツ アポリア | 08.01.25～ 08.01.27 | フィリピンの現代芸術家アルマ キントによるアートワークショップ&フォーラム「ハウス・オブ・コンフォート・イン・大阪」への後援名義付与 |

ニューヨーク事務所

合計額 100,070,658円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------------------------|----|----|---|-----------------------|---|
| | 【公演】 | | | | | |
| 1 | 在米日本文化 専門家中南米 派遣（なら春 子） | | | 在パナマ大使 館／在ホン ジュラス大使 館 | 07.11.01～ 07.11.10 | 在ホンジュラス大使館および在パナマ 大使館からの要請に基づき、ニュー ヨークに活動拠点を置くジャズピアニ スト、なら春子（コロンビア大学教育 学部助教授）とカメルーン出身の ヴォーカリスト、ジーノ・シトソンを 派遣し、公演およびレクチャー・デモ ンストレーションを行なった |
| 2 | 在米日本文化 専門家中南米 派遣（石樽 雅代） | | | 在ジャマイカ 大使館 | 07.11.09～ 07.11.11 | 在ジャマイカ大使館からの要請に基づ き、ニューヨークに活動拠点を置く 箏・地歌三味線演奏家、石樽 雅代（沢 井箏曲院ニューヨーク支部代表）を代 表とする邦楽グループ「綴音」を派遣 し、公演およびレクチャー・デモンス トレーションを行なった |
| 3 | 在米日本文化 専門家中南米 派遣（加藤 幸子） | | | 在ベレン総領 事館／在マナ ウス総領事館 ／在レシフェ 総領事館 | 08.03.17～ 08.03.27 | 在ベレン総領事館、在レシフェ総領事 館および在マナウス総領事館からの要 請に基づき、ニューヨークに活動拠点 を置くコンサート・ピアニスト、加藤 幸子（ラガーディア・カレッジ人文学 部講師）とヴァイオリニストの吉岡あ いり（メリーランド大学音楽学部講師） を派遣し、公演およびレクチャー・デ モンストレーションを行なった |
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 4 | 在米日本文化 専門家中南米 派遣（徳 雅 美） | | | 在コロンビア 大使館／在チ リ大使館／在 ペルー大使館 ／在ボリビア 大使館 | 07.10.28～ 07.11.10 | コロンビア、ペルー、ボリビア、チリ の各大使館からの要請に基づき、徳 雅美（カリフォルニア州立大学チーコ 校芸術学部準教授）を派遣し、日本の 少女マンガに関する講演会を行なった |
| 5 | チャールズ・ ドゥウルフ氏 との夕べ | | | | 07.10.02 | 芥川龍之介の翻訳作品集「Mandarine」 の出版を記念を記念し、翻訳者を招い た講演会を実施（Archipelago Books 共催） |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|----------------|----|----|--|-----------------------|--|
| | 【映画】 | | | | | |
| 6 | 大学巡回日本映画祭（中西部） | | | アイオワ大学／カンザス大学／クレイトン大学／シカゴ大学／ボーリンググリーン州立大学／ワシントン大学（ミズーリ州）／西ミシガン大学 | 08.01.22～ 08.03.28 | 最近の映画から5作品を選考し、日本文化が紹介される機会が比較的少ない地域において、巡回上映を実施 |
| 7 | 周防正行監督招聘 | | | | 07.10.04～ 07.10.11 | ニューヨーク映画祭における「それでも僕はやってない」の上映にあわせ、周防正行監督を招聘。 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------|-------------------|-----------------------|--|
| | 【助成事業】 | | | |
| 8 | 『最後の炎 時を超えた怪談』（PAJ） | CAVE Organization | 07.04.01～ 07.11.08 | 在ニューヨークの黎明ダンスシアターが日本の怪談と百物語に着想を得て、新作『最後の炎 時を超えた怪談』を創作し、第3回ニューヨーク舞踏フェスティバルで発表した。石出 卓也、可世木 祐子、目黒 大路ら日本の舞踏家も参加 |
| 9 | 『暗黒の中で美を収穫する』（PAJ） | ダンサーズ・グループ | 07.04.01～ 08.03.31 | 日米両国の舞踏家、桂 勘（京都）とソー・リーダー（サンフランシスコ）が土方 巽の残した「舞踏譜」を検討し、新しいグローバルな文脈において舞踏の詩学の再生を試みる目的で、新作『暗黒の中で美を収穫する』の制作に取り組んだ |
| 10 | 『連続性／ムーヴメントの遮断：ライブ・シネマ』（PAJ） | ダンソロジー | 07.04.01～ 08.03.31 | 在ニューヨークの舞踊家・振付家、クーシルジャ・ホワン（黄本 久美子）が人間存在、地理的・空間的認識や身体政治学といった概念を探求する目的で、ジェフ・マッターズ（作曲家）、カスパー・シュトラッケ（映像作家）とともに新作の制作に取り組んだ |
| 11 | 『舞踏：アメリカ』（PAJ） | ジャパン・ソサエティ | 07.04.01～ 07.10.27 | ニューヨーク日本協会創立100周年記念事業の一環として、舞踏家の笠井 叡に新作を委嘱。オーディションで選ばれた5人の若手アメリカ人舞踏家が参加、新作は同協会の大野一雄生誕101周年記念シリーズで発表された |
| 12 | サウンド・スペース：日本／USA（PAJ） | リンクス・ホール | 07.04.01～ 08.03.31 | 日米両国の8名の音楽家・舞踊家が全米3都市でレジデンシーを行い、それぞれの空間に呼応した作品を共同創作した。日本からは石川 高（笙）、西 陽子（箏）、高田和子（三味線）、内橋 和久（ギター／電子楽器）が参加。プロジェクト・ディレクターは作曲家でクラリネット奏者のジーン・コールマン |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------|--|-----------------------|---|
| 13 | 『ねじまき鳥クロニクル』(PAJ) | 劇団マ・イー | 07.04.01～ 08.03.31 | 在ニューヨークの劇団マ・イー・シアターカンパニーが、村上春樹の長編小説『ねじまき鳥クロニクル』に基づくマルチメディア作品の創作に取り組んだ。芸術監督はスティーヴン・アーンハート |
| 14 | 現代日本戯曲の英訳と全米への紹介(PAJ) | プレイライツ・センター | 07.04.01～ 08.03.31 | 演劇の研究と開発に取り組む在ミネアポリスのプレイライツ・センターが日本の現代戯曲2作品(松田 正隆、永井 愛)を英語に翻訳し、リーディングを行なった |
| 15 | スポットライト・ジャパン 日本の新作演劇(PAJ) | ニューヨーク市立大学 | 07.04.01～ 07.11.19 | 日本の新進気鋭の劇作家と在ニューヨークの劇団の交流を促進するニューヨーク市立大学(CUNY)大学院演劇センターのプロジェクト。宮沢 章夫『ニュータウン入口』、松田 正隆『アウト・ダ・フェ』、岡田 利規『エンジョイ』、矢内原 美那『青の鳥』を日米両国の演劇人の手で英語に翻訳、その成果の一端を前衛劇団の俳優がプレリウド演劇祭においてリーディング上演した |
| 16 | c(H)ord (PAJ) | ヤーバ・ブエナ芸術センター | 07.04.01～ 08.03.31 | 韓国の伝統芸能、ロックンロール、ニューミュージック、ロイ・ハート式ヴォーカル訓練法、身体演劇など様々な分野のアーティスト9名が世界各国から集まり、新作『c(H)ord』の創作に取り組んだ。芸術監督は、サンフランシスコとベルリンに活動拠点を置くinkBoatの主宰者で舞踏家のシンイチ・コガ |
| 17 | POOOM (PAJ) | 7 Loaves, Inc. AKA GOH PRODUCTIONS | 07.04.01～ 08.03.31 | 在ニューヨークの舞踏家・振付家、中馬 芳子がマニプール(インド)、日本、米国でレジデンシーを重ね、各国の舞踏家や音楽家を巻き込みながら新作『POOOM』を創作に取り組んだ。日本からは般若帝國(尺八トリオ)、おおたか静流(ヴォーカリスト)、平野 共余子(ドラマターグ)らが参加。 |
| 18 | 東海岸日米学生リーグ2007 | タフツ大学 | 07.04.06～ 07.04.08 | 日本のソフトパワーに焦点を当てたシンポジウム「Soft Power: Exporting Japanese Culture」をタフツ大学にて開催 |
| 19 | 『不老の水』(PAJ) | ニューヨーク芸術基金 | 07.04.14～ 07.11.04 | イェーツの詩劇『鷹の井』に着想を得た舞踏家・振付家モーリーン・フレミングの新作『不老の水』の全米4都市ツアー。音楽は尺八奏者の中村 明一が担当。フレミングとともに巡回公演した |
| 20 | 『堀川波鼓』 | ペリシャブル・シアター | 07.04.19～ 07.04.29 | ロードアイランド州プロヴィデンスにおいて、在ニューヨークの劇団The Theatre of a Two-Headed Calfが近松門左衛門『堀川波鼓』を歌舞伎とパンクロックの融合による新たな解釈によって上演。アーティスト・トークや地元の学生を対象とするワークショップにも取り組んだ |
| 21 | 2007年ロングアイランド桜祭り | ニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校 | 07.05.05 | 日本文化紹介を目的として、ニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校日本センターの主催により、地元ロングアイランドの住民を対象に桜祭りを開催。盆栽や生け花から和太鼓や箏の演奏に至る多彩なプログラムを実施した |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------|--------------------------|-----------------------|--|
| 22 | 一戸小枝子ダンスカンパニー フィラデルフィア公演 | 一戸小枝子ダンス・カンパニー | 07.05.06 | フィラデルフィア美術館における「池大雅・徳山玉瀾」展の開催を祝し、一戸小枝子ダンスカンパニーが同美術館で公演を行なった |
| 23 | ウィーヴィング・ジャパニーズ・サウンドス・コンサート | フラクチャード・アトラス | 07.05.11 | 日本の現代音楽をアメリカの聴衆に紹介することを目的にするWeaving Japanese Soundsが、一柳 慧、佐藤聡明、西村 朗の名作から長田 原、藤倉 大、高野マリら若手作曲家の作品を演奏。主宰者の加藤 幸子(ピアニスト)をはじめ、ニューヨークの現代音楽シーンを中心に活動する実力派の音楽家たちが出演した |
| 24 | 『カンボジアの夢』(PAJ) | Inta, Inc. (Eiko & Koma) | 07.05.24～ 07.06.29 | 在ニューヨークの舞踏家・振付家エイコ&コマがカンボジアの若手パフォーマー2名と新作『カンボジアの夢』を共同創作し、全米3都市を巡回公演した |
| 25 | ニューヨーク国際バレエ競技会 | ニューヨーク国際バレエ競技会 | 07.06.04～ 07.06.24 | ニューヨーク国際バレエ競技会に日本から森下 洋子が審査員として参加したほか、世界各国から集まった若手バレエダンサーとの交流を通じて彼らのメンターとしても貢献した |
| 26 | 落語と太神楽の夕べ | ミドルベリー大学夏期日本語学校 | 07.07.08～ 07.07.17 | ヴァーモント州のミドルベリー大学日本語学校とボストン近郊のタフツ大学において、学生と地元の一般市民を対象に、柳家さん喬、柳家左龍、柳家仙花の3名が落語と太神楽の公演を行なった |
| 27 | 「金子潤」展 | ノックスヴィル美術館 | 07.08.24～ 07.11.11 | 日本文化の露出の低いテネシー州東部のノックスヴィル美術館において、日米両国で活躍する名古屋出身の現代陶芸作家、金子潤の回顧展を開催。リソース・キットの配布、陶芸に関するパネルディスカッション、ガイドによる展示ツアーなど、充実した教育プログラムも提供された |
| 28 | アメリカン・ダンス・フェスティバル 日本特集 | アメリカン・ダンス・フェスティバル | 07.09.15～ 07.09.24 | アメリカで最も由緒あるダンスの祭典、アメリカン・ダンス・フェスティバルが2008年の創立75周年記念シーズンにおいて日本特集を組むにあたり、同フェスティバルの共同芸術監督2名が訪日し、準備調査を行なった |
| 29 | サム・キャッツ・フロム・ジャパン2007 (PAJ) | キッチン | 07.09.16～ 07.09.28 | 東京の前衛エレクトロニクス音楽シーンで創意に富んだ活動を展開する山川 冬樹、堀尾 寛太、伊藤 篤弘の3名に焦点を当てたパフォーマンスの北米3都市ツアー |
| 30 | サギノー日本祭 | サギノー日本文化センター | 07.09.22 | ミシガン州サギノー市の日本庭園において日本文化祭を開催、地元の一般市民を対象に、茶道、日本舞踊、邦楽、日本料理などをレクデモ形式で紹介した |
| 31 | アトランタ日本祭 | ジャパンフェスト | 07.09.29～ 07.09.30 | ジョージア州アトランタで開かれる米南部最大の日本文化祭。フロリダから祭座(和太鼓)と寺沢 政次(鉛細工師)が招かれたほか、地元アトランタを中心に活躍する様々な日本文化専門家が幅広いプログラムを実施した |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------|------------------|-----------------------|--|
| 32 | 「ジャマイカ・フラックス」展 | ジャマイカ芸術学習センター | 07.09.29～ 08.01.12 | ニューヨーク・クイーンズ区のジャマイカ・アヴェニュー沿いの公共スペースで世界各国の現代美術作家のサイトスペシフィックな作品を展示。日本からは秋吉 恩、平川 滋子、市川 暁子の3名が参加。記念シンポジウムなど充実した教育プログラムも行なわれた |
| 33 | 文楽2007年全米ツアー (PAJ) | ボストン日本協会 | 07.10.02～ 07.10.20 | 文楽の全米5都市ツアー。巡回各地では各種教育アウトリーチ・プログラムも実施された |
| 34 | 鶴賀若挾掾の新内節と西川 古柳の八王子車人形 (PAJ) | ワシントン大学 (ミズーリ州) | 07.10.05～ 07.10.19 | 人間国宝の鶴賀 若挾掾 (新内節) と西川古柳座 (八王子車人形) による全米4都市ツアー。セントルイスとアマーストでは大学生向けの教育プログラムも実施された |
| 35 | 川本喜八郎『死者の書』上映会 | 人形劇芸術センター | 07.10.06 | ジョージア州アトランタの人形劇芸術センターにおいて、地元の大人と子供を対象に、川本喜八郎の人形アニメ映画『死者の書』を上映した |
| 36 | 「青山悟」展 | シカゴ文化センター | 07.10.13～ 07.12.30 | シカゴ文化センター (シカゴ文化局) 内のギャラリーにおいて、日米欧で活躍する若手現代美術作家、青山 悟の個展を開催。シカゴ・ロンドン・東京という3つの都市に焦点を当て、場所の匿名性と文化的アイデンティティーを探求する作品群が展示され、会期中はアーティスト・トークなどの教育プログラムも行なわれた |
| 37 | 「踊る男たち 能から舞踏へ」展 | ニューヨーク公共図書館 | 07.10.15～ 08.01.05 | ニューヨーク公共舞台芸術図書館において、伊藤 美露の撮影による舞踏と能の写真展を開催。ニューヨーク日本協会創立100周年およびニューヨーク舞踏フェスティバルの記念企画。 |
| 38 | 千日前青空ダンス倶楽部 ニューヨーク公演 | パフォーマンス・スペース122 | 07.10.18～ 07.10.21 | ニューヨーク日本協会創立100周年を記念し、千日前青空ダンス倶楽部がニューヨークを代表する前衛パフォーマンス・スペースPS122で『夏の器』の連続公演を行なった |
| 39 | 「田中泯」展 | P.S.1現代美術センター | 07.10.21～ 08.01.24 | P.S.1現代美術センター (ニューヨーク近代美術館の分館) において、日本を代表する舞踏家、田中 泯の芸術を紹介する回顧展を開催。岡田 正人撮影の写真作品を展示するほか、11月半ばには田中自身がニューヨークを訪れ、同センターで公演を行なった。 |
| 40 | 有原誠治『NAGASAKI1945 アンゼラスの鐘』上映会 | キッズ・フォー・ザ・フューチャー | 07.10.25 | 国連軍縮週間の一環として、有原 誠治監督の長編アニメ『NAGASAKI1945 アンゼラスの鐘』を小中高校生を対象に国連本部で上映。国連日本政府代表部、国連国際学校、国連軍縮部などが協力。 |
| 41 | 近藤譲とロバート・ウィルソン | ワークス&プロセス | 07.11.18～ 07.11.19 | グッゲンハイム美術館において、アメリカ実験音楽の系統を汲む現代音楽作曲家、近藤 譲 (お茶の水大学教授) とロバート・ウィルソンの振付・演出による共同創作作品を発表。両アーティストによるディスカッションも行なわれた |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|--|-----------------------|---|
| 42 | ジェームズ繁田映画祭 | ニューヨーク大学 | 07.12.06～ 07.12.07 | ニューヨーク大学アジア／太平洋／アメリカ研究所の主催による、日系人俳優ジェームズ繁田の出演作『クリムゾン・キモノ』『太陽にかけける橋』の上映会。戦後アメリカを代表する二枚目の日系人俳優としてアジア人に対するステレオタイプの打破の先頭に立ってきた繁田をゲストに招き、ハリウッド映画におけるアジア（系）アメリカ人のイメージ変遷を検討。 |
| 43 | 「吉田 亜世美」展 | 北イリノイ大学付属美術館 | 08.01.02～ 08.03.07 | 日本文化の露出の低いイリノイ州デカブ市の北イリノイ大学付属美術館において現代美術作家、吉田 亜世美の個展を開催。19世紀から現代までの日本版画を比較する「日本における国家／国際意識」展の一部。アーティスト・トーク、学芸員によるレクチャー、武蔵野美術大学学生との交流など充実した教育プログラムも行なわれた |
| 44 | No Borders, No Limits: 日活アクションシネマ, 1960-1964 | UW Cinemtheque | 08.02.02～ 08.02.23 | ウイスコンシン大学マディソン校に併設するCinemthequeにおいて日活アクションシリーズの上映を実施 |
| 45 | カンボジア舞台芸術支援事業 | Leveraging Investments in Creativity (LINC) | 08.02.14～ 08.02.20 | 日本とカンボジア外交関係樹立55周年を記念した舞台芸術家による文化交流事業。カンボジアのプノンペンにて現地アーティストとアメリカ、およびインドネシアのアーティストやプロデューサーと交流セミナーを行い、カンボジアの若者を刺激すると共に、訪れる外国芸術家たちの現地への理解も深めた。 |
| 46 | ネブラスカ・ウェズリアン大学国際映画祭 | ネブラスカ・ウェズリアン大学 | 08.02.17 | 日本文化の露出の低いネブラスカ州リンカーンのウェズリアン大学における国際映画祭の一環として、是枝 裕和監督『誰も知らない』の上映を行なった |
| 47 | ミュージック・フロム・ジャパン2008年フェスティバル (PAJ) | ミュージック・フロム・ジャパン・インク | 08.02.23～ 08.02.29 | 日本の打楽器奏者の第一人者、山口 恭範と龍笛・尺八演奏の第一人者、笹本 武志を中心とするアンサンブルの全米4都市ツアー |
| 48 | 春一番 - 日本から音のそよ風 | World Music Institute | 08.03.18～ 08.03.22 | ワールド・ミュージック・インスティテュートはイーストビレッジのドロムにて邦楽を紹介。日本から琴奏者八木美知依、尺八奏者大由鬼山、および前衛電気音楽家藤川清が招聘され、米国在住アーティストでは太鼓座や和風が出演した。 |
| 49 | 日本関係教育者パートナーシップ構築プロジェクト | Japan Special Interest Group | 08.03.18 | 日本の教育に関する研究者間のネットワーク構築を目的とした「Japan Special Interest Group」の設立とコロンビア大学での第一回会合を開催 |
| 50 | ミシガン日本食文化祭 | Japan America Society of Greater Detroit and Windsor | 08.03.26 | デトロイト日米協会、在デトロイト日本総領事館、およびキッコーマン社が共催し、食を通して日本文化を紹介。寿司シェフや日本酒ソムリエによるデモが実施され、日本食への関心を増強した。 |

海外事務所

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------|-------------------------|-----------------------|---|
| | 【後援事業】 | | | |
| 51 | 国際七五三 | インターナショナル・シントウ・ファンデーション | 07.11.03～ 07.11.04 | 日米両国間のより深い相互理解に寄与することを目的として、子供の成長を感謝し、将来の幸福を祈るという日本古来の伝統文化行事である七五三をニューヨーク日本協会で開催。 |

ロサンゼルス事務所

合計額 134,112,526円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|--------------------|--------------------|---|--|--|-----------------------|---|
| 【講演・シンポジウム】 | | | | | | |
| 1 | 文字レクチャー・デモンストレーション | サンタフェ ユージン ラスベガス ロサンゼルス ワシントン | サンタフェ大学 レーン・コミュニティ・カレッジ ネバダ大学ラスベガス校 アラタニ日米劇場 ワシントン大学 | サンタフェ大学 ネバダ大学 レーン・コミュニティ・カレッジ ワシントン大学 日米文化会館 | 07.09.28～ 07.10.10 | 阿辻 哲次（漢字・象形文字の専門家／京都大学院教授）を米国5都市（ロサンゼルス／ユージン／シアトル／サンタフェ／ラスベガス）に派遣し、講演及び書のデモンストレーションを実施。 |
| 2 | 着物レクチャー・デモンストレーション | ロサンゼルス（サントアナ） ラスベガス | 日米文化会館 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 韓国文化院 サハラ・ウエスト図書館 | 日米文化会館 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 韓国文化院 ネバダ日米協会 | 08.03.11～ 08.03.17 | 富田 伸明（着物スタイリスト）と熊木 馨（着付師）の両氏を招き、着物に関する講演と着付けショーをラスベガス／ロサンゼルス／サントアナで実施。本事業では韓国文化院との日韓コスチューム講演会・展覧会「スプレnder・オブ・アジア」と6つの共催機関との巡回講演会「シー・オブ・シルク」の2つの企画を同時開催。 |
| 【日本語教育】 | | | | | | |
| 3 | リーダー教師育成研修 | オックスフォード | ミシシッピ大学 | ミシシッピ大学 全米日本語教師会連合 | 07.06.18～ 07.06.22 | 日本語教師及びそのリーダー育成を目的とした地方巡回研修。オンラインと実地の2部構成。教師会設立の機運が高まりつつある南部（ミシシッピ州・アラバマ州・アーカンソー州・テネシー州・ケンタッキー州等々）周辺の教師を中心に研修を開催、教師会設立に向けての具体的な話し合いを実施。 |
| 4 | 日本語教育専門家会議 | ロサンゼルス | 国際交流基金 ロサンゼルス事務所 | 米国日本語教師会連合（AATJ） | 07.10.27～ 07.10.28 | オンラインによる教師養成講座の開発再開へ向けた専門家会議を開催。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|-----------------|--------------------------|----------|---------------------|---|-----------------------|---|
| 5 | 米国外語教育協会日本語教師会活動支援 | サン・アントニオ | マリオット・リバーセンター | 全米日本語教師会 (NCJLT) 米国外語教育協会 在ニューヨーク総領事館 | 07.11.16～ 07.11.18 | 米国外語教育協会 (ACTFL) 年次総会期間内に全米日本語教師会 (NCJLT) が主催する日本パビリオンにブースを出展。各地から参加する日本語教師の交流及び情報交換の場を提供。 また、期間内にNCJLTが主催するパンケット及び日本パビリオンの開催を支援することで、各地から参加する日本語教師の交流及び情報交換の場を提供。 |
| 6 | 日本語教育ジョイント・プロジェクト | | | | 08.01.01～ 08.03.31 | オンラインによる教師養成講座 JOINT(ジョイント) の開発を支援。 専門家による準備会合を開催。 |
| 7 | 日本語教育コンサルティング委員会 (予備審査会) | ロサンゼルス | 国際交流基金 ロサンゼルス事務所 | | 08.01.11 | 平成20年度対米日本語関係プログラムの予備審査過程として、米国在住日本語専門家3名による委員会を開催。 |
| 【図書館運営】 | | | | | | |
| 8 | 図書館運営 | ロサンゼルス | 国際交流基金 ロサンゼルス事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金ロサンゼルス事務所に併設されている図書館の運営。日本語教育専門図書館であり、主な利用者層は日本語教師。一部、日本研究、日本文化・芸術に関する書籍も所蔵。 |
| 【出版・広報】 | | | | | | |
| 9 | 日本語教師向けニューズレター発行『ブリーズ』 | ロサンゼルス | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 全米の日本語教育関係者によるエッセイや、米国における日本語教育事情の調査結果等を報告する情報誌をオンラインで刊行 |
| 10 | 中学・高校生向け日本語情報誌発行『ワフー!』 | ロサンゼルス | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 中学・高校で日本語を学習する生徒を対象に作成した日本語学習ウェブマガジン。日本文化紹介と遊びの要素を含んだ自習用日本語練習問題から構成されている。中学・高校に加えて全米各地の日米協会・在米公館にもオンラインにより紹介 |
| 11 | 広報強化策 (DVD制作) | ロサンゼルス | 国際交流基金 ロサンゼルス事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金ロサンゼルス事務所事業全般の広報を強化するための対策として、事務所主催イベントを紹介するDVDを制作。 |
| 【本部事業受入】 | | | | | | |
| 12 | 巡回展「武道の精神」 | ロサンゼルス | 日米文化会館 | | 07.09.15～ 07.11.10 | 巡回展「武道の精神」開催。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|--------|--------------------------------|------------------------|-----------------------|--|
| 13 | 日本語教材寄贈プログラム | ロサンゼルス | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 米国向け日本語教材寄贈プログラムを運営。 |
| 14 | アドバンス ト・プレース メント・プロ グラム年次総 会出張 | ラスベガス | ベラジオホテ ル | | 07.07.12～ 07.07.14 | アドバンスト・プレースメント・プログラム全国大会に伊藤 雅夫（国際交流基金ロサンゼルス事務所長）が出席し、本プログラムの日本語について協議。 |
| 15 | 米国芸術見本市 | ロサンゼルス | ビルトモアホ テル | | 07.08.29 | 米国地方芸術見本市を視察。 |
| 16 | アドバンス ト・プレース メント・プロ グラム日本語 試験作成委員 会会合 | ニューヨーク | カレッジ・ ボード | | 07.08.17～ 07.08.19 | AP日本語試験作成委員会会合に渡邊真紀（国際交流基金ロサンゼルス事務所専任講師）が出席 |
| 17 | 米国邦楽公演 | ロサンゼルス | アラタニ日米 劇場 南カリフォル ニア大学 | 日米会館 南カリフォル ニア大学 | 08.01.16 | 米国邦楽公演。南カリフォルニア大学での無料公演をアラタニ日米劇場での一般公演を開催。 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------------|---|-----------------------|---|
| 18 | 文化・芸術ミニグラ ント（マコ 岩松追 悼上映会） | オーロラ日本語奨学 基金 | 07.04.29～ 07.04.29 | 2006年永眠したマコ 岩松（ハリウッドスター）を追悼するために企画された映画上映会。山田 洋次脚本、主演マコ 岩松の作品『祖国』とマコ岩松の父である八島太郎（画家）のドキュメンタリー『画家・八島太郎 慈しむ生命』の2作品を上映。 |
| 19 | 文化・芸術ミニグラ ント（マコ岩松追悼 イベント） | イースト・ウエス ト・プレーヤーズ | 07.05.06 | 2006年永眠したマコ 岩松（ハリウッドスター）を追悼するために企画されたイベント。マコ 岩松が立ち上げたアジア系俳優のための演劇団体が主催し、主演映画『The Wash』を上映、同氏をよく知る演劇界の人々によるパネルディスカッションを開催。 |
| 20 | 文化・芸術ミニグラ ント（舞踏の夕べ） | ハイウェイズ・イン コーポレーション | 07.05.25～ 07.05.26 | 桂 勘（舞踏家）がロサンゼルスとサンフランシスコにおいて米国人ダンサーと共演した舞踏公演。現代美術作品の展示も同時に実施。 |
| 21 | 文化・芸術ミニグラ ント（床の間 日本 文化祭） | サングレ・デ・クリ スト・アーツ・アン ド・コンファランス センター | 07.06.15 | 子供美術館で開催された日本祭。2つの施設で現代日本文化としてアニメ展示（ジブリ美術館協力のネコバスやアニメセル画）及び伝統的文化として茶室や浮世絵・書道の展示を、また日本風・折り紙・しおり作り・書道のワークショップや太鼓・空手のパフォーマンスを実施。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|---------------------------|-----------------------|--|
| 22 | 日本語教育ミニグラント(米国北東部日本語教師会ニューイングランド日本語教師会合同学会) | 米国北東部日本語教師会(NECTJ) | 07.06.23～ 07.06.24 | 米国北東部における初中等レベルの教師会(米国北東部日本語教師会)と、高等レベルの教師会(ニューイングランド日本語教師会)の合同学会。これら2つの教師会は長年にわたり別々に活動してきたが、平成18年度から教育レベル間の連携向上を意識して、共同企画として教師研修会を実施。本研修では、日本語教育の教授法についての講演を開催。 |
| 23 | 日本語教育ミニグラント(米国南東部日本語教師会大会) | 米国南東部日本語教師会(SEATJ) | 08.02.29～ 08.03.02 | 米国南東部の日本語教師を対象とした学会。畑佐 一味(パデュエ大学教授)が自身の著書である日本語教材『なにかま』を取上げながら、初級教科書における周辺サポートのあり方について講演。 |
| 24 | 文化・芸術ミニグラント(ザ・サイクル・プレイヤーズ) | シアター・オブ・ユージェン | 07.07.07 | ユリコ・ドイ(パーフォーマー)はサンフランシスコ州立大学演劇学部卒業後、日本で野村 万作の弟子となり、帰米のちに西洋舞台とのコラボレーションした劇団を創設。本イベントはドイによる伝統的な能に米国人による演出を加えた実験的な舞台。 |
| 25 | 文化・芸術ミニグラント(全米相撲選手権) | 全米相撲協会 | 07.08.18 | 毎年日本で開催される世界相撲選手権の米国代表を決定する公式トーナメント。本大会は日本相撲協会から公式認定を受けた米国内唯一のトーナメントであり、今年からトロイ・コリンズ(新会長/現職ロサンゼルス市警察官)を迎え、さらに活動が活性化。 |
| 26 | 文化・芸術ミニグラント(源氏物語の世界) | パシフィック・アジア美術館 | 07.08.26 | 世羅 博昭(四国大学教授)が平安時代の文学『源氏物語』をテーマに講演し、平安時代の装束のファッションショー(着付けも含む)を同時開催。 |
| 27 | 文化・芸術ミニグラント(ジャパニーズ・アウトロー・マスターズ) | アメリカン・シネマテーク | 07.09.06～ 07.09.09 | アウトローマスターズと題し1950から1980年代の映画6本(今村 昌平、工藤 栄一、岡本 喜八、鈴木 清順作品)を特集上映。 |
| 28 | 日本語ミニグラント(ジョージ・ワシントン大学) | ジョージ・ワシントン大学 | 07.10.15～ 08.02.15 | 既存の日本語ウェブ教材に、フラッシュ・アニメーション追加、ナレーション編集、及びクイズ作成等の作業を行ない、コンテンツの改良プロジェクトを実施。 |
| 29 | 日本語ミニグラント(フロリダ州日本語教師会) | フロリダ州日本語教師会 | 07.10.18～ 07.10.20 | 「2007年フロリダ州外国語教師会大会」日本語部門においてサンディー・ガルシアを基調講演者に招き、「Total Physical Response Storytelling」を利用した日本語教授法についてのワークショップを実施。 |
| 30 | 文化・芸術ミニグラント(日本音楽および文化祭) | パシフィック大学音楽学部 | 07.10.24～ 07.10.26 | サンフランシスコ郊外ストックトンのパセフィック大学音楽学部における3日間の日本音楽祭。日本から作曲家・湯浅譲二、尺八奏者・倉橋義雄を招き、コンサートを開催。 |
| 31 | 文化・芸術ミニグラント(日本音楽コンサート、レクチャーデモンストラーション) | ハーモニー・ヒューマニティー・インコーポレーション | 07.10.27～ 07.11.03 | 太宰みつき(生田流インストラクター)とピーター・ヒル(京都琴古流)による琴と尺八の演奏会。ワークショップと和楽器展示も同時開催。 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|--------------------------------|-----------------------|---|
| 32 | 文化・芸術ミニグラ ント（大和楽ワーク ショップ） | 松豊会 | 07.10.28 | 大和楽とは大正から昭和にかけて今までにない新しい日本の音楽を創作するために大倉 喜七郎が始めたもの。米国の学生に向けて琴、三味線、太鼓を融合した大和楽を通して日本の音楽を紹介するイベント。パフォーマンスのあとにはワークショップを開き、和楽器にもっと親しんでもらう交流の場を提供。 |
| 33 | 日本語教育ミニグラ ント（全米日本語教 師会運営規約改定） | 全米日本語教師会 （NCJLT） | 08.01.01～ 08.10.31 | 2007年秋に実施した全米日本語教師会主催の代表者会議において、同教師会の抜本的な組織改革の必要性が大きく取り上げられ、その解決策の一環として、教師会運営規約の見直し・改定を行なうための手続を開始。 |
| 34 | 文化・芸術ミニグラ ント（事始め） | 日米文化会館 | 08.01.06 | 『初昔』というタイトルで3つの舞台で構成された新年行事パフォーマンス。儀式的な弓道のパフォーマンス、カルバンスクールの少女ダンサーによるコンテンポラリーのパレーダンス、日本から招待した日本舞踊家によるパフォーマンスが披露され、地元コミュニティと日系コミュニティの共同文化イベント。 |
| 35 | 文化・芸術ミニグラ ント（ヒダノ・スー パータイコ・コン サート） | ソーゼンジ・ブディ スト・テンプル | 08.02.16 | ヒダノ修一（太鼓奏者）がロサンゼルスポップミュージシャン、ジェニファー バトゥン（ギターリスト）やジョン ロビンソン（ドラマー）、ケビン メッツ（津軽三味線）そして地元タイコグループと共演したコラボレーションコンサート。伝統的な民謡を太鼓やギターを使って現代的に表現、また和太鼓でポップミュージックを演奏した先駆的コンサート。 |
| 36 | 日本語教育ミニグラ ント（カリフォルニ ア州日本語学園協会 年次総会/ワーク ショップ） | カリフォルニア州日 本語学園協会 （CAJLS） | 08.02.16 | 片岡裕子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授）を招き、継承日本語学校の教師を対象にナショナル・スタンダーズについての講演を開催。 |
| 37 | 日本語教育ミニグラ ント（アクトフル・ ガイドライン・ワー クショップ） | アリゾナ州日本語教 師会 | 08.02.17 | スワコワタナベ（ポートランド州立大学日本語講師）をゲストスピーカーに招きACTFL Proficiency Guideline（全米外国語教育協会が策定した能力ガイドライン）についての講演を開催。 |
| 38 | 日本語教育ミニグラ ント（日本語実践言 語学国際大会） | 北加日本語教師会 | 08.03.01～ 08.03.02 | 言語学の専門家が日頃の研究成果を発表するとともに、現場の日本語教師が、それらの最新専門知識をいかにして普段の指導に取入れていくべきか考察。 |
| 39 | 文化・芸術ミニグラ ント（「甘さ苦さ」現 代日本の少女写真 展） | カリフォルニア大学 ロサンゼルス校社会 学部 | 08.03.14 | 蛭川実花（写真家）と原美樹子（写真家）の写真展とパネルディスカッション。中村浩美（東京都写真美術館学芸員）、シャロット コットン（ロサンゼルス群美術館）、ローラ ミラー（ロヨラ大学シカゴ校）シャロン キンセラ（オックスフォード大学）、毛利 嘉孝（東京藝術大学）による日本のポップカルチャーと写真に関して公開討論も開催。 |

海外事務所

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|----------------------|-----------------------|--|
| 40 | 文化・芸術ミニグラ ント（フロム・ザ・ ビレッジ） | ポートランド・タイ コ | 08.03.14～ 08.03.15 | ポートランドの地元太鼓グループと日本から招待した花 結（はなゆい）の共演コンサート。花結とは小島千絵子 が率いる日本の唄や踊りの公演活動を行うグループ。 14.15日は琴・三味線・太鼓のパフォーマンスを行い、 17.18日はタイコセンターにてワークショップを開催。 |
| 41 | 日本語教育ミニグラ ント（ワシントン近 郊アドバンスト・プ レースメント・プロ グラム・フォーラム） | ジョージメイソン大 学 | 08.03.17 | ワシントンDC, メリーランド州, バージニア州の日本語 教師を対象に、アドバンスト・プレイスメント日本語テ ストをテーマに勉強会を実施。平成19年度から開始され たばかりの同日本語テストに対する理解増進および初中 等・高等教育間のアーティキュレーション向上を目的と した事業。 |
| 42 | 文化・芸術ミニグラ ント（ジャパン・イ ン・アメリカ） | タウン・ホール・ア ソシエーション | 08.03.18～ 08.03.23 | シアトルの文化会館が企画した日本音楽の紹介イベン ト。日本から山上 すずむ（三味線）、渡辺 薫（笛）を 招待し、地元のミュージシャンであるケニー 遠藤（太 鼓）やシアトル古今太鼓が共演する日本人と日系人のコ ラボレーションコンサートを開催。 |

メキシコ事務所

合計額 36,114,592円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------|-------|---------------------|------------------------|-----------------------|---|
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 1 | 日本のフィギア祭 | メキシコ市 | 3文化広場及びパサグエロ文化センター | 在メキシコ日本大使館 | 07.11.02～ 07.11.12 | 日本大使館との共催で、日本のポピュラー文化を紹介するために日本からフィギア製作師を招へいし、フィギアやポピュラー文化に関するワークショップや討論会を実施 |
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 2 | 日本語教育ボランティア事業 | メキシコ市 | メキシコ国立自治大学外国語教育センター | メキシコ日本語教師会 | 07.04.01～ 08.03.31 | メキシコの日本語学習者に日本人と会話する機会を与えるため、メキシコに在住する日本人にボランティアとして協力を求め、日本語学習機関の授業に参加するシステムを、メキシコ日本語教師会と共同で開発する |
| 3 | 日本語教師研修ブラッシュアップコース | メキシコ市 | メキシコ国立工科大学イスタカルコ校 | メキシコ日本語教師会及びメキシコ国立工科大学 | 07.05.19～ 07.11.24 | メキシコ人日本語教師の日本語運用能力の向上を目指して、5月から11月までの期間に合わせて14回のレッスンを実施。メキシコ人教師18名がこのコースに参加。 |
| 4 | 日本語教師夏期集中講座 | メキシコ市 | 在メキシコ日本大使館広報文化センター | メキシコ日本語教師会及び在メキシコ日本大使館 | 07.07.02～ 07.07.03 | メキシコ日本語教師会と共催で、テストの作成を主なテーマとするワークショップを2日間開催 |
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 5 | 図書館運営 | メキシコ市 | 国際交流基金メキシコ日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本の図書、日本語教材、日本に関するスペイン語および英語の図書、その他、日本文化を紹介するための視聴覚資料を収蔵した図書館を運営 |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 6 | 広報誌の発行 | メキシコ市 | 国際交流基金メキシコ日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | メキシコにおける日本語教育に関する情報誌「El Patio」を年3回各500部発行。日本語教授法や教材に関する情報を提供し、国内で開催される日本語教育に関する催し、日本語教育機関の活動などを紹介 |
| 7 | ホームページの運営 | メキシコ市 | 国際交流基金メキシコ日本文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | ホームページを運営し、基金の活動およびメキシコにおける当所の事業について広報する |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|-----------------|----------------|-------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------|--|
| 8 | 情報発信機能強化 | メキシコ市 | 国際交流基金 メキシコ日本 文化センター | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本の芸術に関する最新状況を紹介することで、日本の芸術に対する関心を高めるとともに、それぞれの分野の専門家が日本の芸術紹介事業を企画したいと考えた場合に役立つ情報を提供するため、スペイン語による日本の文化芸術関係情報の発信のためのホームページを運営 |
| 【本部事業受入】 | | | | | | |
| 9 | 今村昌平監督特集 | メキシコ市 | メキシコ国立 シネマテーク | メキシコ国立 シネマテーク | 07.07.12～ 07.07.22 | メキシコ国立シネマテークとの共催により今村昌平監督作品特集上映を実施 |
| 10 | 日本文学に関する講演会 | メキシコ市及び グアダハラ市 | ベジャ・エポ カ文化センター 及びエキスポ・ グアダハラ | フォンド・ デ・クル トゥーラ・エ コノミカ出版 | 07.11.25～ 07.12.03 | グアダハラ国際図書展において、日本の作家による文学の講演会を開催。メキシコシティでも講演会等を実施 |
| 11 | 第21回グアダハラ国際図書展 | グアダハラ市 | エキスポ・ グアダハラ | フォンド・ デ・クル トゥーラ・エ コノミカ出版 | 07.11.25～ 07.12.03 | 中米地域で影響力のある国際図書展において、中米スペイン語圏全体に向けて日本の出版文化の情報を提供 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------------|--------------------|-----------------------|--|
| 12 | 第3回メキシコ中部地方日本語弁論大会 | グアナファト大学語学学校 | 07.10.07 | メキシコ中部地方の日本語教育機関で学ぶ日本語学習者による日本語弁論大会をグアナファト大学にて開催 |
| 13 | 第5回ベラクルス州日本語弁論大会 | ベラクルス日本語教師会 | 07.10.27 | ベラクルス州の日本語教育機関5校が参加して、日本語学習者による日本語弁論大会をクリストバル・コロソ大学にて開催 |
| 14 | キューバ沖縄移民到着100周年記念事業 | 箏箏会(かそうかい) | 07.10.24～ 07.10.28 | キューバ沖縄移民到着100周年記念事業として実施された、メキシコ在住の箏演奏グループの旅費を助成 |
| 15 | ショート・ショート・フィルム・フェスティバル・メキシコ2007 | プロモフィルムフェスト | 07.09.06～ 07.09.13 | フェスティバルにおいて特集された日本の短編映画を上映するための経費を助成 |
| 16 | 第12回ラテンアメリカ・アジア・アフリカ研究協会(ALADAA)総会 | ラテンアメリカ アジア・アフリカ学会 | 07.10.17～ 07.10.19 | ラテンアメリカ地域のアジア、アフリカ研究者の学会であるALADAAの国際大会に参加し発表を行う日本研究者の旅費を助成 |
| 17 | ポエシア・エン・ボス・アルタ2007 | カサ・デル・ラゴ | 07.09.27～ 07.10.13 | メキシコ市で開催された国際的な詩の祭典に日本から参加した詩人の旅費を助成 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|-----------------------|------------------------|---|-----------------------|--|
| 18 | MUTEK MEXICO | MUTEK フェスティバル2007実行委 | 07.10.08～ 07.10.13 | メキシコ市で開催された電子・デジタル音楽の国際フェスティバルに参加した日本人アーティストの旅費を助成 |
| 19 | 国立芸術院におけるダンス公演 | メキシコ国立芸術院 | 07.10.25 | 国立芸術院がメキシコ市内の劇場で実施した日本のコンテンポラリーダンス公演に際して、劇場側通訳の経費を助成 |
| 20 | 戦後日本の美術に関する講演会 | エル・コレヒオ・デ・メヒコ | 07.10.29～ 07.10.31 | エル・コレヒオ・デ・メヒコにて開催された戦後日本の美術に関する講演会の通訳経費を助成 |
| 21 | ホンジュラスにおける剣道デモンストレーション | メキシコ剣道連盟 | 07.11.01～ 07.11.03 | 在ホンジュラス日本大使館、ホンジュラス剣道連盟等が主催した剣道のデモンストレーションに、メキシコ在住の剣道家が参加するための旅費を助成 |
| 【文化備品・視聴覚資料貸出】 | | | | |
| 22 | 日本生活写真パネル | グアダラハラ日本文化交流学院、銀行・商業大学校 | 07.04.01～ 08.03.31 | グアダラハラ日墨文化交流学院（グアダラハラ市）が主催した日本文化週間等のイベントに日本生活写真パネルを貸し出し |
| 23 | 日本玩具セット | | 07.04.01～ 08.03.31 | （テウアカン市役所が主催した日本文化週間等のイベントに日本玩具セットを貸し出し） |
| 24 | 京都写真 | 文化人道発展総合センター | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本文化週間等のイベントに京都写真を貸し出し |
| 25 | 茶道セット | グアダラハラ日本文化交流学院、メキシコ国立高等学校 | 07.04.01～ 08.03.31 | グアダラハラ日墨文化交流学院（グアダラハラ市）、メキシコ市内の国立高校等が主催する日本文化週間等のイベントに茶道セットを貸し出し |
| 26 | 原田泰治画伯絵画 | ソシエダ・シビル・エン・マルカ、メキシコ国立高等学校 | 07.04.01～ 08.03.31 | ソシエダ・シビル・エン・マルカ（サン・ミゲル・デ・アジェンデ市）、メキシコ市内の国立高校等が主催した日本文化週間等のイベントに原田泰治画伯絵画を貸し出し |
| 27 | 原研哉現代ポスター | メキシコ国立シネマテーク、カフェ・フィルム、サン・ルイス・ポトシ大学、文化人道発展総合センター | 07.04.01～ 08.03.31 | プエブラ大学（プエブラ市）、メキシコ市内の国立高校等が主催した、日本文化週間等のイベントに日本の世界遺産写真パネルを貸し出し |
| 28 | ふろしき | パン・アメリカン大学 | 07.04.01～ 08.03.31 | パン・アメリカン大学（メキシコ市）が主催した日本文化週間等のイベントにふろしきを貸し出し |
| 29 | 日本の世界遺産 | プエブラ大学、メキシコ国立高等学校 | 07.04.01～ 08.03.31 | プエブラ大学（プエブラ市）、メキシコ市内の国立高校等が主催した、日本文化週間等のイベントに日本の世界遺産写真パネルを貸し出し |

ロンドン事務所

合計額 201,809,998円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------------|--------------------------|---|----------------------------|-----------------------|---|
| | 【展示】 | | | | | |
| 1 | 事務所備付展示セット運営 | ウォキング ワットフォード ロンドン | RHS Garden Wisley ワットフォードカレッジ 在英国大使館 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 「日本の世界遺産」の写真パネルセットを外部機関に貸し出し、展覧会を実施 |
| | 【公演】 | | | | | |
| 2 | 在欧州専門家派遣プログラム：華道専門家派遣（イエメン） | サナア | イエメン大使館 | 在イエメン大使館 | 07.11.10～ 07.11.14 | 英国在住の華道専門家芳野 敬子他1名を、在イエメン大使館の要請によりサナアに派遣、活け花レクチャー・デモンストレーションを実施 |
| 3 | 在欧州専門家派遣プログラム：和太鼓専門家派遣（UAE） | アブダビ／ドバイ | アブダビ文化財団オーディトリウム／ドバイコミュニティシアター | 在アラブ首長国連邦大使館／在ドバイ総領事館 | 07.11.24～ 07.11.27 | 英国在住の太鼓演奏者廣田 丈自他2名を、在アラブ首長国連邦大使館の要請により、アブダビならにドバイ公演出演を目的に派遣 |
| 4 | 『東京ノート』ドラマリーディング | ロンドン | 国際交流基金ロンドン事務所 | チャプターアーツセンター | 08.02.09 | 平田 オリザ作の『東京ノート』のリーディングを、チャプターアーツセンターの協力で実施。また、リーディング後には、演出家のジェイムス タイソンと平田 オリザとの対話、また観客を交えての質疑応答の時間も設定 |
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 5 | 鴻上 尚史対談イベント | ロンドン | 国際交流基金ロンドン事務所 | ブッシュシアター／エイミーカサイリミテッド／第三舞台 | 07.06.26 | ブッシュシアターでの『トランス』の英語版上演期間に、関連事業として、鴻上 尚史とニコラス バーター（前ロイヤルアカデミーオブドラマティックアーツ校長）の対談会を開催 |
| 6 | Design Nippon イベント | ロンドン | 国際交流基金ロンドン事務所 | トップドローワー/テントロンドン/アイコノクラスム | 07.09.12 | トップドローワー、テントロンドン、アイコノクラスム、という3つのデザインショーの協力を得て、若手日本人出品作家7名による、プレゼンテーションならびに質疑応答の会を開催 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|--|---|---|-----------------------|---|
| 7 | 日本映画講座 シリーズ | ロンドン | ブリティッ シュフィルム インステイ チュート/国 際交流基金ロ ンドン事務所 | ブリティッ シュフィルム インステイ チュート | 07.10.10～ 07.12.05 | 日本映画がたどってきた軌跡を60年代から現代までを6回にわけて概説する連続講座シリーズを開催。また、ブリティッシュフィルムインステイチュートの協力を得て、「日本映画とは何か」をテーマに、講座の総まとめともいえるセミナーを12月に実施 |
| 8 | 【映画】 主催映画祭 | エディンバラ シェフィールド プリストル ベルファスト ロンドン | フィルムハウ ス ショールーム ウォーター シュッドメ ディアセン ター クィーンズ フィルムシア ター インステイ チュートオブ コンテンポラ リーアーツ | フィルムハウ ス ショールーム ウォーター シュッドメ ディアセン ター クィーンズ フィルムシア ター インステイ チュートオブ コンテンポラ リーアーツ | 08.02.09～ 08.03.22 | 日本映画を特徴づける要素として受け取られがちな暴力やセックスなどを故意に強調せず、現代の複雑な日本社会に生きる人々の生き方や思想を丁寧に描いた秀作6本を集め、巡回上映会を実施。上映作品は、『いつか読書する日』、『ストロベリーショートケイクス』等 |
| 9 | 【日本語教育】 日本語教育関 連セミナー・ 会議参加 | マンチェス ター | マンチェス ター・コン ファレンスセ ンター他 | | 07.04.30～ 08.03.01 | 情報収集及び関係者とのネットワーク構築を目的とし、WJEC会議（4月）、IBOミーティング（4月）、Language Bridgeミーティング（6、9月）、ALLセミナー（6月）、オリエンタル・ランゲージコンファレンス（6月）、BATJ発表大会（9月）、プライマリー・ランゲージショウ（2月）へ参加。又、各地の学校で開催されたJapan Dayも訪問 |
| 10 | アイルランド 日本語教師会 共催セミナー | ダブリン | ダブリン市立 大学 | アイルランド 日本語教師会 ／ポスト・プ ライマリー・ ランゲージ・ イニシアティ ブ（PPI） | 07.05.19～ 08.02.23 | アイルランド日本語教師会の要請により、支援活動として日本語アドバイザーが研修会を開催。3回開催 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------|------|-------------------------|-------------------------------------|-----------------------|--|
| 11 | 日本語教育研修会・出張指導(主催) | ロンドン | 国際交流基金 ロンドン事務所 所他 | | 07.06.06～ 08.03.03 | 日本語を導入していない学校長等に日本語教育についてレクチャーを行うHead Start、これら学校にボランティアによる日本語紹介を行うStep Out Net事業及び当該ボランティア育成のためのTraining Dayを実施。また、Talking Contemporary Japanと題して1シリーズ(全4回)の上級者向けの日本語講座を3シリーズ行った他、ロンドン事務所独自開発のGCSE用教材「CHIKARA」を取り上げたワークショップを3回実施。 |
| 12 | 日本語カップ(中等教育レベル向け日本語スピーチコンテスト) | ロンドン | 在英国大使館 | ジャパニーズランゲージコミティ(JLC)／在ロンドン大使館 | 07.06.23 | 中等レベルの日本語スピーチコンテストをJLC(Japanese Language Committee)、在英国大使館と共催で実施。 |
| 13 | BATJ共催セミナー | ロンドン | 国際交流基金 ロンドン事務所 所他 | 英国日本語教育学会(BATJ) | 07.09.06～ 08.03.16 | 英国日本語教育学会と、ヨーロッパ日本語教育シンポジウムが合同開催され、内外の講師による講演や発表が行われた。又、英国日本語教育学会との共催で3回ワークショップを開催。いづれも会場を提供 |
| 14 | 日本語教育関係展示イベント | ロンドン | ロンドンオリ ンピア | 国際観光振興 機構ロンドン 事務所 JP-BOOKS | 07.11.02～ 07.11.04 | 3日間に渡って開催される外国語教育に関する総合的な見本市の「Language Show 2007」に参加。JPブックスと、国際観光振興機構との三者共催で出展した |
| 15 | 日本語教育研修会・出張指導(共催) | ロンドン | 国際交流基金 ロンドン事務所 所 | Edexcel等 | 07.11.12～ 08.02.15 | 英国における言語に係る試験の関係機関と共に、EDEXCEL/GCE Training Day、A-Level Day、WJEC Information Dayを実施。 |
| 16 | 大学生のための日本語スピーチコンテスト | ロンドン | ロンドン大学 | 英国日本語教育学会(BATJ) | 08.02.02 | 大学レベルのスピーチコンテストを英国日本語教育学会と共催で実施。 |
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 17 | 日本語教育図書館運営 | ロンドン | 国際交流基金 ロンドン事務所 所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本語教育に関連する資料(教科書・教材・参考図書)を中心とする専門図書館を運営。年間の来館者、レファレンスおよび図書貸出実績は、それぞれ1979人、1079件、2341点。図書館の日本語教育リソースセンター化を目指して環境を整えつつある。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------|------|-----------------|-----------------|-----------------------|--|
| 18 | 【出版・広報】 広報費 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 事務所ウェブサイト内容更新・メンテナンス、Eメールニュース改訂、雑誌への事業広告掲載、日本語教材作成等を行った |
| 19 | 【その他】 英国日本研究 機関調査 | | | | 07.04.01～ 08.02.29 | 英国内で日本研究または日本語履修コースを提供している大学を対象に実態調査を実施。調査結果及び分析をウェブサイトで公表予定。平成13年度に実施した調査のフォローアップ事業 |
| 20 | アイルランド 国立博物館専 門家派遣 | ダブリン | アイルランド 国立博物館 | アイルランド 国立博物館 | 07.08.13～ 07.08.20 | アイルランド国立博物館に日本の太田記念美術館学芸員を派遣。同博物館所蔵の浮世絵を中心とする日本美術作品について鑑定及びカタログリング作業を実施 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|--------------------------------------|-----------------------|---|
| | 【助成事業】 | | | |
| 21 | 文化事業協力助成： Top Drawer-Japanese Pavillion+Japanese Design Seminar | Japanesey | 07.09.09～ 07.09.12 | オリンピックで行われたデザイン見本市において「アートとデザインの融合」をテーマに日本人若手デザイナーやバイヤーの作品を紹介する特設会場を設置。これにあわせて、招へいデザイナー数名にデザインコンセプトを語ってもらうセミナーを基金において開催 |
| 22 | 文化事業協力助成： Ghost | Viewfinder Photography Gallery | 07.08.23～ 07.09.27 | ロンドン在住の若手アーティスト、山本 圭子の写真展 |
| 23 | 文化事業協力助成： The Face of Jizo | Ichiza | 07.06.11～ 07.11.11 | 英国をベースとする日本人の演劇集団一座が、『父と暮らせば』の英語上演と広島に関する関連ワークショップを実施 |
| 24 | 文化事業協力助成： Music Lovers' Field Companion | Sage Gateshead | 07.05.11～ 07.05.13 | 世界の実験音楽を集めたフェスティバルで、日本から、三上寛、浦邊雅祥、高橋 幾郎といったミュージシャンを招へいし、英国プレミア公演を実施 |
| 25 | 文化事業協力助成： Art Summer University | Tate Modern | 07.09.21～ 07.09.24 | 次世代を担う才能ある美術学生を対象に4日間の特別講座を実施。小泉 明郎ならびに森 弘治を含む世界各国より招へいされた18名の作家が、自身の作品や制作方法の紹介。また学生を指導 |

海外事務所

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---|-----------------------|--|
| 26 | 文化事業協力助成： Secret for Snow Leopard, Yutaka Sone | Parasol Unit | 07.09.18～ 07.12.16 | 現代美術作家曾根裕のロンドン初個展。大理石のランドスケープ作品の他、ジャングルを模したインスタレーションなどを展示。また英国美術作家グライソン ペリーによる展覧会ツアーも実施 |
| 27 | 文化事業協力助成： Hiroaki Umeda Presenting 'Accumulated Layout' and 'While Going to a Condition' | New Move International | 08.02.06～ 08.02.10 | ライブアートのフェスティバル、ナショナルレビューオブライブアートに梅田 宏明を招へいし、公演を実施 |
| 28 | 文化事業協力助成： Utagawa Hiroshige | Ikon Gallery | 07.11.28～ 08.01.20 | 英国の現代作家ジュリアン オーピーのキュレーションによる、浮世絵師、安藤 広重の作品展を、大英博物館の協力を得て実施 |
| 29 | 文化事業協力助成： Pavilion Politics at the Serpentine Gallery | Goldsmith College, London Univeristy | 07.11.02 | ロンドン、サーペンタインギャラリーの外庭に設営された仮設パビリオンに関連づけ、日本、英国、ドイツから仮設建築の専門家を招へいし、その意義と社会的役割についてシンポジウムを実施。日本からは、アトリエワンの貝島 桃代を招へい |
| 30 | 文化事業協力助成： Laughing in a Foreign Language | Hayward Gallery | 08.01.24～ 08.04.13 | 現代美術における笑いとユーモアの役割を検証する企画展を実施。日本からは、木村 太陽、鳥袋 道浩、会田 誠の3名の作品を出品 |
| 31 | 文化事業協力助成： Out of Body | Open Eye Gallery | 08.01.25～ 08.03.22 | 人間の体をテーマとした、北浦 凡子を含む5人の英国内外アーティストによる写真と映像展を実施 |
| 32 | 文化事業協力助成： A Season of Contemporary Japanese Films 2008 | Japan Desk Scotland | 08.02.15～ 08.03.07 | 過去5年間にわたり実施された国際交流基金欧州フィルムライブラリーの作品を使つての上映会で、人気の高かった作品5本を集めて上映会を実施。上映作品は『のだ自慢』や『ナビィの恋』等 |
| 33 | 文化事業協力助成： Bairdcast Media: a history of machine translation | Sunderland Digital Media Research Lab | 08.01.28～ 08.02.28 | 若手メディアアーティスト、毛利 悠子を招へいし、アーティストインレジデンス事業を通して作品制作と関係者との対話を奨励するとともに、完成作品をメディアアートフェスティバルであるAVフェスティバルで紹介 |
| 34 | 日本研究者旅行支援 プログラム：Akiko Shimada | | 07.08.28～ 07.09.14 | 調査研究のための訪日旅費の一部を助成。対象者（所属機関）：Akiko Shimada (University of Warwick)、研究テーマ：Representation of Girls and Constructions of Gender Identity in Japanese Magical Girl Animations since 1966 |
| 35 | 日本研究者旅行支援 プログラム： Christopher Hood | | 07.08.08～ 07.08.13 | 調査研究のための訪日旅費の一部を助成。対象者（所属機関）：Christopher Hood (Cardiff University)、研究テーマ：Flight JL123 Air Crash in 1985 |

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|-------------------------|-----------------------|---|
| 36 | 日本研究者旅行支援プログラム：Sandy Black | | 07.10.21～ 07.10.31 | 調査研究のための訪日旅費の一部を助成。対象者（所属機関）：Sandy Black (London College of Fashion)、研究テーマ：A Fashion History of Knitting - Leisure, Industry and Livelihood |
| 37 | 日本研究・知的交流事業協力助成：The Children's Book Show 2007 | The Children's Bookshow | 07.10.10～ 07.10.11 | 海外児童文学の作家・翻訳家や芸術家などを招き、国内10都市で合計40回の青少年向けイベントを展開する大型の児童文学啓発事業。このうち2都市のイベントに日本から参加する作家の湯本 香樹実の渡航費及び謝金の一部を助成 |
| 38 | 日本研究・知的交流事業協力助成：Early Career Reserchers' Conference | University of Edinburgh | 07.10.24～ 07.10.26 | スコットランド地方の博士課程在籍者や若手研究者を対象に、東アジアに対する関心を高めてもらうことを目的とする学際的な会議「Early Career Researchers' Conference on East Asian Studies」に対し、参加者の滞在費の一部を助成 |
| 39 | 日本研究・知的交流事業協力助成：2nd White Rose European Roundtable in Japanese Studies and 2nd White Rose Distinguished Lecture | University of Sheffield | 08.03.07 | シェフィールド大学日本学研究所が主催する第2回日本研究円卓会議及び第2回特別ゲスト講演会（講師：北岡伸一東京大学教授）に関する助成。講演のテーマは、北東アジアにおける安全保障について |
| 40 | 日本研究・知的交流事業協力助成：The Power of Ritual: interdisciplinary perspectives on medieval Japanese practices | SOAS | 07.08.01～ 08.02.28 | 日本の宗教儀礼に関する会議の成果としての書籍「The Power of Ritual: interdisciplinary perspectives on medieval Japanese practices」の出版に必要な、和文英訳費の一部を助成 |
| 41 | 日本研究・知的交流事業協力助成：Opportunities and Challenges for the G8:Lessons for the UK and Japan | University of Sheffield | 08.02.29～ 08.03.01 | シェフィールド大学日本学研究所が主催する会議に対する助成。G8洞爺湖サミットを控え、G8の枠組で日英両国が果たす役割について議論する2日間の会議。英国、日本のみならず、北米、ヨーロッパから参加者が集い、また、研究者だけでなく、実務担当者も出席 |
| 42 | 日本研究・知的交流事業協力助成：Research Seminar - Creativity and Cultural Policy in East Asian Contexts | King's college London | 08.03.01～ 08.03.29 | キングスカレッジが主催する東アジアにおける創造性と文化政策に関する会議に対する助成。今回は、日本、台湾及び中国の比較研究を行った。同大学が行う、アジアにおける文化産業に関する調査の一環 |

海外事務所

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------|----------|----------|--|
| 43 | 【会場提供】 英国内日本協会ネットワーク会議 | ロンドン日英協会 | 07.05.09 | 英国内の日本協会等日英交流推進団体の連携協力を図る年次のネットワーク会議の開催に際し、会場を提供 |

ブダペスト事務所

合計額 45,210,469円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------|-------|--------------------|---------------------------------------|-----------------------|--|
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 1 | 講演会シリーズ「本が開く日本の扉」 | ブダペスト | 国際交流基金 ブダペスト事務所 | | 07.05.11～ 07.06.08 | 日本関連書籍の出版者、翻訳者を講師として講演会を行うシリーズで、村上春樹の著作を翻訳したエルデーシュ・ジョルジュ、金原ひとみの著作を翻訳したナジ・モーニカの講演会を実施。 |
| 2 | 講演会シリーズ「知的交流フェロー」 | ブダペスト | 国際交流基金 ブダペスト事務所 | | 07.10.26 | 知的交流フェロープログラムで日本の都市計画について訪日研究を行ったフェロー、クラヴァリク・ジュジャンナを講師として、一般を対象に研究テーマについての講演を実施。 |
| 3 | 講演会シリーズ「アイヌの民話」 | ブダペスト | 国際交流基金 ブダペスト事務所 | | 08.02.22 | ハンガリー日本友好協会会長で日本文学専門家のビハール・ユディット氏を講師に招き、民話の朗読を交えたアイヌ文化の講演を実施。 |
| 4 | 講演会シリーズ「なまはげ」 | ブダペスト | 国際交流基金 ブダペスト事務所 | | 08.03.21 | エトヴェシ・ロラード大学博士課程に在籍し、日本の民俗学を専攻するレスチャン・アニタ氏を講師とし、なまはげや日本の民衆文化についての講演を実施。 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 5 | 日本フィルムクラブ | ブダペスト | ウルクモズ ゴー映画館 | ハンガリー国立フィルム アーカイブ | 07.04.01～ 08.03.31 | ハンガリー国立フィルムアーカイブと共催し、『父と暮らせば』『大阪物語』等の日本映画19作品を月二回、定期的に上映。 |
| 6 | シゲットフェスティバル | ブダペスト | ハヨージャー リ島 | Sziget Cultural Management 社 | 07.08.08～ 07.08.13 | ブダペスト市内の島全体で毎年開催されるフェスティバル「シゲットフェスティバル」にて、日本のパフォーマー三組（和太鼓グループGOCOO、梅田宏明/ダンス、レニ・バツソ/ダンス）の公演を実施。 |
| 7 | アニメーション映画フェスティバル（アニローグ） | ブダペスト | ウラーニア映画館 | Szimpla Film 社 | 07.11.29～ 07.12.02 | アニメーションフィルムフェスティバル「アニローグ」において、フェスティバル事務局と共催し山村浩二監督の特集上映（『頭山』、『カフカ田舎医者』等）を実施。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|-------|----------------|-------------|-----------------------|---|
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 8 | 日本語教育アドバイザー、ジュニア専門家活動 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本から派遣される日本語教育アドバイザー、ジュニア専門家により、日本語教育関連の調査や日本語教師、日本語教育に対する支援活動を実施。 |
| 9 | 日本語教育研修会 | ブダペスト | 国際交流基金ブダペスト事務所 | ハンガリー日本語教師会 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本ハンガリー協力フォーラムのアクションプランのひとつとして実施される日本語教育支援の一プロジェクトとして、ハンガリー日本語教師会の運営協力を得て、現地日本語教師に対する研修会を実施。 |
| 10 | フォーラム事業 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本ハンガリー協力フォーラムのアクションプランのひとつとして実施される日本語教育支援を実施。 |
| 11 | 教材作成 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本ハンガリー協力フォーラムのアクションプランのひとつとして実施される日本語教育支援の一プロジェクトとして、ハンガリー向けの日本語教材(2010年刊行予定)の製作を開始。 |
| | 【図書館運営】 | | | | | |
| 12 | 図書館運営 | ブダペスト | 国際交流基金ブダペスト事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 事務所に併設された図書館において、図書収集、公開および貸出、レファレンス等の図書館運営業務を実施。蔵書数約12,000冊、視聴覚資料数約300、会員数2,819。一日の平均来訪者数は約20名。日本語学習者のための教材や日本の最新の雑誌、英語・ハンガリー語で書かれた日本に関する図書を中心に集書。 |
| | 【出版・広報】 | | | | | |
| 13 | ホームページ運営 | | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 事務所のホームページを作成し、事業情報等を広報。 |
| | 【教室事業】 | | | | | |
| 14 | 日本語講座 | ブダペスト | 国際交流基金ブダペスト事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 学習時間約50時間の初級者から中級学習者まで7レベルのクラスを設置し、日本語講座を実施。 |
| | 【本部事業受入】 | | | | | |
| 15 | 日本の現代写真(巡回展) | ブダペスト | 国際交流基金ブダペスト事務所 | | 07.04.01～ 07.04.28 | 巡回展「日本の現代写真」を実施。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------|-------|----------------------|--------------------------|-----------------------|--|
| 16 | 第14回国際 ブダペスト図 書展 | ブダペスト | kongressen ター | | 07.04.12～ 07.04.15 | 第14回国際図書展に参加。 |
| 17 | 海外日本映画 祭 | ブダペスト | ウルクモズ ゴ映画館 | ハンガリー国 立フィルム アーカイブ | 07.06.14～ 07.06.20 | 『アカルイミライ』『GO』など現代日 本映画7作品を上映する映画祭を実 施。 |
| 18 | 日本文化紹介 「映像民族誌」 | ブダペスト | エトヴェシ・ ロラード大 学 | | 07.11.15～ 07.11.19 | 大森康宏立命館大学教授による民族学 映画の上映及び講演会を実施。 |

(2) 助成・協力事業

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|-----------------------|-----------------------|--|
| | 【助成事業】 | | | |
| 19 | 演劇交流「結婚の申 し込み」上演 | マジヤール劇場 | 07.05.03 | チャーホフ「結婚の申し込み」をハンガリー側のイレー シュ・ジュラ国立劇場による演出と、日本側の劇団文芸 座(富山県)による演出で連続上演する事業に対し助成。 |
| 20 | 『日本学の現在』、 『日本の政治』出版 記念講演会(助成) | サバージャグ政治 学校財団 | 07.05.30 | 事務所が助成し出版された論文集『日本学の現在』およ び猪口孝『日本の政治』翻訳出版を記念して開催された 講演会に対し助成。 |
| 21 | 多文化フェスティバ ル(助成) | アラニヘジ財団 | 07.08.18 | アラニ・ヘジ・ファウンデーション主催の第三回多文化 フェスティバル(武道の紹介、盆栽、生け花等の展示) に対し助成。 |
| 22 | 日本語講座給与助成 (フォーラム事業) | ゲーザ・キラライ高 校他4校 | 07.09.01～ 08.03.31 | 日本ハンガリー協力フォーラムのアクションプランのひ とつとして実施される日本語教育支援として、日本語教 育を実施する教育機関4校に対し講師の謝金を助成。 |
| 23 | Fish Pullover公演 (助成事業) | アート・セクター財 団 | 07.09.07～ 07.09.27 | 日本からのダンサー、音楽家を招へいして実施するコン テンポラリーダンス、ビジュアルアートの共同制作事業 に対し助成。 |
| 24 | 盆栽クラブ25周年展 示会(助成事業) | ミシュコルツ盆栽ク ラブ | 07.09.15～ 07.09.16 | ミシュコルツ盆栽クラブの創立25周年を記念した盆栽展 の実施に対して助成。 |
| 25 | 口琴フェスティバル (助成) | ケチケメート青少年 センター | 07.09.22 | 日本人口琴アーティストを招へいして実施される第三回 口琴フェスティバルに対して助成。 |
| 26 | パパ・タラフマラ公 演(助成) | TRAFO 現代芸術 センター | 07.10.18～ 07.10.20 | ブダペストオータムフェスティバルの一プログラムとし て実施されるパパタラフマラの公演実施に対し助成。 |
| 27 | ソイル・アンド・ピ ンプ・セッション公 演(助成) | ブダペスト・フェス ティバルセンター | 07.10.20 | オータムフェスティバルの一プログラムとして実施され る日本のジャズバンド、ソイル・アンド・ピンプ・セッ ションの公演実施に対して助成。 |

海外事務所

| | 事業名 | 助成団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------|----------------|----------|---|
| 28 | 日本ハンガリー友好コンサート（助成） | シュディ・アンド・カンパニー | 08.03.18 | リスト音楽院に留学中の日本人とハンガリー人学生による、クラシック音楽を通じた両国の交流を目的としたジョイントコンサートに助成。 |

カイロ事務所

合計額 43,083,415円

(1) 主催・共催事業

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------|-----|--------------------------|-----------------|-----------------------|--|
| | 【公演】 | | | | | |
| 1 | トランペット演奏会 | カイロ | カイロ・オペラハウス小ホール | エジプト文化省国立文化センター | 08.01.19 | 曾我部清典（トランペット奏者）による、「伝統とテクノロジーの狭間で」をテーマにしたクラシックからコンピュータサウンドのコンサートを実施。阿部加奈子（ピアニスト）が共演。 |
| | 【講演・シンポジウム】 | | | | | |
| 2 | 日本研究講演会 | カイロ | カイロ事務所 | | 07.12.10 | アインシャムス大学客員教授の浦田義和佐賀大学文学部教授による講演会。「沖縄の現代文学」をテーマにカイロ大学、アインシャムス大学の学生、講師などが聴衆として参加。 |
| 3 | エジプト文化講演会 | カイロ | カイロ事務所 | | 07.05.22 | カイロ・エジプト学協会との共催により、エジプトで活動する世界各国の著名な考古学者を講師に招いて講演会を開催。平成19年度は「西の町の物語：ピラミッドの泥封と行政」をテーマに、ジョン・ノーレン（ギザ台地マッピング・プロジェクト、碑文研究者）の講演を実施。 |
| | 【映画】 | | | | | |
| 4 | 日本映画祭 | カイロ | アーティスティック・クリエイティブティ・センター | | 08.02.04～ 08.02.07 | 中東FL（アラビア語字幕付き）より『スウィングガールズ』（矢口史靖監督）、『父と暮らせば』（黒木和雄監督）、『豪姫』（勅使河原宏監督）『駅』（降旗康男監督）、『銀河鉄道999』（りんたろう監督）の5作品を上映。 |
| | 【日本語教育】 | | | | | |
| 5 | 日本語講座運営 | カイロ | 国際交流基金 カイロ事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 一般講座中級、上級、社会科学系大学生・院生向けの日本語講座を実施。 |
| 6 | 中東日本語セミナー | カイロ | フラメンコホテル | | 07.08.24～ 07.08.25 | 中東地域の日本語教育関係者のネットワーク強化と教授能力向上のため、中東域内の日本語教師を対象に、日本語教育に関する集中セミナーを実施。平成19年度の講師は、迫田久美子（広島大学大学院教授）。参加者は、13カ国58名。 |

海外事務所

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----------------|-------------------|----------|--------------|--------|-----------------------|---|
| 7 | 初級日本語講座「ことばと文化講座」 | カイロ | 国際交流基金カイロ事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 平成19年度から、旧大使館講座である初級コース（受講生約200名規模）を基金一般講座に移管し、従来の中級・上級等コースとあわせ、包括的な日本語講座の運営を開始。 |
| 8 | 日本語教育アドバイザー | カイロ | 国際交流基金カイロ事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 国際交流基金カイロ事務所に日本語教育専門家を派遣し、エジプト国内、近隣諸国における日本語教育関係者のネットワーク形成促進とコンサルティングの実施、カイロ事務所における日本語講座の運営などを実施。 |
| 9 | アレキサンドリア日本語講座 | アレキサンドリア | ファロス大学 | ファロス大学 | 07.04.01～ 08.03.31 | 平成18年度に、エジプト人実業家から教室スペースの無償提供を受け、日本語講座の開講が実現し、19年度も継続実施。平成19年度の受講生は34名。 |
| 【図書館運営】 | | | | | | |
| 10 | 図書室運営 | カイロ | 国際交流基金カイロ事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 所蔵冊数：日本語1040冊、外国語1173冊、DVD30点、ビデオ192点、その他285点、来館者数は年間2,254人。CD・ビデオデッキ3台およびインターネット接続のコンピューター2台を設置し、視聴覚による日本文化紹介にも注力。 |
| 【出版・広報】 | | | | | | |
| 11 | 広報誌『アムワグ』（WAVES） | カイロ | 国際交流基金カイロ事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | アラビア語と英語の併用（対訳形式）による、国際交流基金カイロ事務所の広報誌『アムワグ』（WAVES）の発行。各号3000部。平成19年度は、第7号（2007年8月）、第8号（2008年1月）を発行し、エジプト及び他のアラブ諸国に配布。 |
| 12 | ウェブサイト運営 | カイロ | 国際交流基金カイロ事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | アラビア語、英語による国際交流基金カイロ事務所の事業情報等の提供を継続的に実施。 |
| 【教室事業】 | | | | | | |
| 13 | 生け花コース | カイロ | 国際交流基金カイロ事務所 | | 07.04.01～ 08.03.31 | 初級コース2回、中級コース2回の計4回実施。1コース5レッスン。各コースの定員は20名。 |

| | 事業名 | 都市 | 会場 | 共催団体 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------|--------------|---|--|-----------------------|---|
| | 【その他】 | | | | | |
| 14 | お茶会（茶道同好会） | カイロ | カイロ事務所／日本大使公邸 | 茶道同好会 | 07.11.22～ 08.03.13 | エジプトの人々に茶道文化を体験してもらうことを目的とし、邦人を中心メンバーとする茶道同好会が手前を披露。11月22日と3月13日の2回実施し、それぞれ60名程度を招待。 |
| 15 | 和紙ワークショップ | アレクサンドリア／カイロ | アレキサンドリア・ワークショップセンター／エル・ナフィザ・ペーパーファクトリー | アレキサンドリア・ワークショップセンター、エル・ナフェザ・ファウンデーション | 07.11.13～ 07.11.17 | 和紙アーティスト伊部京子氏を派遣し、アーティスト、大学美術学部学生等の専門家を対象にしたワークショップを実施。11月13日～14日アレキサンドリア (Alexandria Workshop Center)、11月16日～17日カイロ (El Nafeza Paper Factory)にて実施。 |
| 16 | 凧作りワークショップ | カイロ | 日本人学校、ダルブ・エル・アハマル | 在エジプト大使館、ジャパン・エジプト・コミュニティ | 08.02.06～ 08.02.08 | 凧専門家の大橋栄二氏を派遣し、日本人学校生徒、エジプト人生徒に対して凧作りの指導を実施。あわせて、ピラミッド地区とアズハル公園で凧揚げ大会を実施。 |
| 17 | 日本語優秀者表彰 | カイロ | カイロオペラハウス | | 08.03.15 | 日本語学習者の学習意欲向上を図るため、日本語能力試験の結果通知をかねて、成績優秀者を表彰し、スピーチの機会を提供。 |

文化交流施設等協力事業に必要な経費

文化交流施設等協力事業費

1. 文化交流施設等協力事業費

- (1) 人物交流特定寄附
- (2) 日本研究特定寄附
- (3) 日本語特定寄附
- (4) 催し等特定寄附
- (5) 文化紹介特定寄附
- (6) 文化交流施設等特定寄附

文化交流施設等協力事業費

文化交流施設等協力事業費

海外の公益団体等が実施する国際文化交流事業に対して寄付を計画している場合に、当基金の業務目的に合致するものに限り当基金が寄付金を受入れ、対象となる団体に援助する。

合計額 1,092,739,550円

| | 事業名 | 寄付申込者 | 団体 | 場所国 | 期間 | 事業内容 |
|-------------|---|-------------------------------|---------------|---------|-------------------|--|
| (1)人物交流特定寄附 | | | | | | |
| 1 | ロータリー国際親善奨学支援事業 | 日本ロータリー奨学金委員会 | ロータリー財団 | 全世界区分困難 | 06.07.01～10.06.30 | 相異なる国民間の理解と友好親善の増進に寄与することを目的とする「ロータリー国際親善奨学金」および世界8カ所のロータリーセンターにて平和研究を行う「世界平和フェロシップ」の支給事業を実施 |
| 2 | 「拓けゆく理想郷 北海道」伊丸岡秀蔵大型写真展及び「日中高校生撮影技術交流会」 | 北海道日中友好協会 | 北海道日中友好協会 | 中国 | 07.01.29～08.01.31 | 北海道の風景や生活を紹介する写真展を北京（07.11.11～07.11.16）及び西安（07.12.17～07.12.20）にて開催した後、北京と日本の高校生による写真撮影会（08.1.30～08.2.3）を北海道にて実施 |
| 3 | ロータリー国際親善奨学支援事業 | 日本ロータリー奨学金委員会 | ロータリー財団 | 米国 | 07.07.01～11.06.30 | 相異なる国民間の理解と友好親善の増進に寄与することを目的とする「ロータリー国際親善奨学金」及び世界8カ所のロータリーセンターにて平和研究を行う「世界平和フェロシップ」の支給事業を実施 |
| 4 | 日米交流財団フェロシッププログラム | 日米交流財団 | 日米交流財団 | 米国 | 07.07.01～10.06.30 | 米国から日本への留学生数を増加させ、将来の日米友好関係の増進を目指すため、日本への留学を希望する米国人大学生に奨学金を支給 |
| (2)日本研究特定寄附 | | | | | | |
| 5 | 「故石川吉右衛門教授記念・比較日本法基金」の設立 | ハーバード・ロースクール・アソシエーション・オブ・ジャパン | ハーバード・ロー・スクール | 米国 | 07.01.01～09.12.31 | 故石川吉右衛門東京大学名誉教授の功績を記念する日本研究促進のための恒久基金を設置し、その運用益にて①日本法の客員教授の招へい、②日本法の学生・研究者への資金援助、③日本法の図書等拡充、④日本の若手法学研究者の同校への留学費用助成、を実施 |
| 6 | アルバータ大学高円宮殿下日本カナダ記念基金 | 高円宮殿下記念基金ファンダ・レイジング委員会 | アルバータ大学 | カナダ | 05.04.01～08.05.31 | カナダ・アルバータ大学にて「アルバータ大学大学エンダウメント・ファンド」基金内に高円宮殿下日本カナダ記念基金を創設し、同基金の運用益にて、①全カナダ日本語弁論大会、②小論文コンクール、③日本留学支援奨学金、の三事業を実施 |

文化交流施設等協力事業費

| | 事業名 | 寄付申込者 | 団体 | 場所国 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---------------|----------------------|-----|-----------------------|---|
| 7 | 日本と近隣諸国との変わり行く関係 | 坂口 功 | モントレイ国際大学・東アジア研究センター | 米国 | 07.09.01～ 08.06.30 | モントレイ国際大学東アジア研究センターにおいて、①国際セミナー「北東アジアにおけるナショナリズムの高まりと日本への影響」、②在日ロシア人に関する調査、③日本スピーカーシリーズ、を実施 |
| 8 | ミシガン大学ロースクール日本法研究プログラム | 弁護士法人大江橋法律事務所 | ミシガン大学ロースクール | 米国 | 07.07.01～ 08.06.30 | ミシガン大学ロースクールにおいて、①日本法に関連する教職員の研究活動支援、②日本法に関連する蔵書の収集、③日本法研究部門の客員教授派遣及び招へいを実施 |
| 9 | 長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム（スタンフォード・ロー・スクール） | 長島・大野・常松法律事務所 | スタンフォード・ロー・スクール | 米国 | 08.03.31～ 09.06.30 | スタンフォード・ロー・スクールにおいて、日本法・文化の研究と理解を促進するため、①日本からの留学生及び日本法に興味を持つ学生への奨学金支給、②客員研究員として招へいする日本法専門家の給与等補助、を実施 |
| 10 | 長島・大野・常松法律事務所奨学金（コロンビア・ロー・スクール） | 長島・大野・常松法律事務所 | コロンビア・ロー・スクール | 米国 | 08.03.31～ 09.06.30 | コロンビア・ロー・スクールにおいて、日本法への関心や日本語の知識を持ち、将来的に日米間の協力や日本法学に関連する経歴を積む明確な意欲を示す学生に対し、奨学金を支給 |
| 11 | 長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム（シカゴ・ロー・スクール） | 長島・大野・常松法律事務所 | シカゴ大学ロースクール | 米国 | 08.03.31～ 09.06.30 | シカゴ大学ロースクールにおいて、日本法・文化の研究と理解を促進するため、①日本法・文化を研究するJD(3年制)課程学生への奨学金支給、②日本企業で夏期インターシップを行うJD課程学生への助成金支給、③同校日本法研究会の活動支援、④学生グループの日本研修旅費支援、を実施 |
| 12 | 長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム（デューク・ロー・スクール） | 長島・大野・常松法律事務所 | デューク・ロー・スクール | 米国 | 08.03.31～ 09.06.30 | デューク・ロー・スクールにおいて、日本法・文化への研究と理解を促進するため、①JD(3年制)課程日本法紹介コースへの日本法客員教授招へい、②日本法関連図書購入、③夏期国際法講座への日本法教授招へい、④夏期国際法講座参加学生への奨学金支給、⑤同校教授の日本派遣補助、を実施 |

| | 事業名 | 寄付申込者 | 団体 | 場所国 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|---------------------------|-------------------------|-----------|-----------------------|--|
| | (3)日本語特定寄附 | | | | | |
| 13 | ジャパン・リターン・プログラム 2007年日本語サミット | 特定非営利活動法人 ジャパン・リターン・プログラム | ジャパン・リターン・プログラム募金委員会 | 全世界区分困難 | 06.10.01～ 08.02.28 | 世界で日本語を学ぶ青少年14名をパネリストとして日本に招へいし、日本代表パネリストと共に「平和-民族の壁を越えて」をテーマとして日本語でディスカッションやディベートを行う「日本語サミット」(07.6.15～07.7.19)を石川県及び東京都にて開催 |
| 14 | 特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学金 | 特定非営利活動法人 エルエスエイチアジア奨学会 | 特定非営利活動法人 エルエスエイチアジア奨学会 | アジア地域区分困難 | 05.04.01～ 08.03.31 | 新大久保駅の事故で亡くなった韓国人留学生李秀賢氏の勇気ある行動を讃え、同氏の国際交流の理念を実現するため、国内の日本語教育機関に在籍するアジアからの就学生に奨学金を支給 |
| 15 | 第二回 J R P 日本語・日本文化世界会議 in 北京 | 特定非営利活動法人 ジャパン・リターン・プログラム | ジャパン・リターン・プログラム募金委員会 | 中国 | 07.03.01～ 08.02.28 | ジャパン・リターン・プログラムが毎年夏に開催する「日本語サミット」に参加経験のある代表パネリスト9名と、北京の主要7大学の優秀な日本語学習者による「平和-民族の壁を越えて」をテーマとした日本語会議を北京大学内にて開催 (07.10.9～07.10.18) |
| 16 | ドイツ社団法人日本語普及センターの事業資金 | 日本語普及センター国内募金委員会 | ドイツ社団法人 日本語普及センター | ドイツ | 07.04.01～ 08.03.31 | ドイツ社団法人日本語普及センターにおいて、日本語・日本文化セミナーの開講、能面や漫画文化の展示会及び日本人若手ピアニストや邦楽のコンサート等の日本文化紹介事業、漫画や日本語作文のコンクール等を実施 |
| | (4)催し等特定寄附 | | | | | |
| 17 | 「日中国交正常化35周年(文化・スポーツ交流年)記念」「北京五輪開催祝賀」「第2回日中伝統芸術文化交流大会」白翔會能公演 | 白翔會北京能実行委員会 | 白翔會北京能実行委員会 | 中国 | 05.06.20～ 08.03.31 | 2007年日中文化・スポーツ交流年を記念し、日本の能楽と中国の京劇、昆曲を一つの舞台で演じる公演を、北京市頤和園等にて実施(07.9.26～07.9.29) |
| 18 | ミュージック・フロム・ジャパン2008年音楽祭 | ミュージック・フロム・ジャパン・インク | ミュージック・フロム・ジャパン・インク | 米国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 日本の中堅作曲家による委嘱新作曲を含む室内楽コンサート「委嘱新作と最近の日本の音」及び、古代と現代の音楽の接点を探るコンサート「古代の笛と日本の打楽器」をニューヨークにて開催し、後者をマホバック市、パーミングハム市、スパータンバーグ市、ワシントンDCの四都市に巡回(08.2.20～08.3.2) |

文化交流施設等協力事業費

| | 事業名 | 寄付申込者 | 団体 | 場所国 | 期間 | 事業内容 |
|----|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------|-----------------------|---|
| 19 | 四天王寺ワッソ | NPO法人 大阪ワッソ文化交流協会 | NPO法人 大阪ワッソ文化交流協会 | 韓国 | 07.05.01～ 08.04.30 | 古代衣装の人物行列や古代楽器の演奏で往時の東アジアの国際交流を再現する催し「四天王寺ワッソ」(07.11.4)を、大阪市なにわの宮跡にて実施 |
| 20 | 第14回ホノルルフェスティバル | ホノルルフェスティバル財団 | ホノルルフェスティバル財団 | 米国 | 07.04.01～ 08.05.31 | アジア太平洋諸国とハワイの文化交流を促進するため、「海は文化をつなぐ」をテーマとして、ホノルル市内各所にて日本および太平洋諸国とハワイの参加団体による伝統芸能や祭り、舞踏、音楽等の披露、日米友好をテーマとしたセミナー等を実施(08.3.14～08.3.16) |
| 21 | ワールド・パートナーシップ・フォーラム in IBARAKI | ワールド・パートナーシップ・フォーラム | ワールド・パートナーシップ・フォーラム | 日本 | 07.04.01～ 08.03.31 | 在京外国大使館関係者と経済界・芸術界のリーダー等の参加を得て、江崎玲於奈博士による「日本の文化保存と発展のためのIT産業とベンチャー育成」をテーマとした基調講演と、市民を交えての質疑応答・討論を行うフォーラムを茨城県つくば市にて開催(07.10.19～07.10.21) |
| 22 | ミ・ベモルサクソフォンアンサンブルマレーシア公演 | ミ・ベモルサクソフォンアンサンブル | ミ・ベモルサクソフォンアンサンブル | マレーシア | 07.06.01～ 07.10.31 | 「日馬国交樹立50周年」を記念し、サクソフォンアンサンブルによる日本文化紹介、国際交流を目的として、「フルートフェスティバルinマレーシア」への出演、現地高校の吹奏楽部員を主な対象とした公開レッスン及び広く市民を対象としたコンサートを実施(07.9.8～07.9.9) |
| 23 | 2007「日中文化・スポーツ交流年」記念事業 | 2007「日中文化・スポーツ交流年」実行委員会 | 2007「日中文化・スポーツ交流年」実行委員会 | 中国 | 07.03.12～ 08.03.31 | 2007年「日中文化・スポーツ交流年」を記念し、同年実行委員会企画事業として、①日中のお祭りin北京(07.9.15)、②津軽三味線&太鼓in上海(07.9.22～07.9.23)、③グランドフィナーレ・レセプション、コンサートin北京(07.11.28～07.11.29)、④特定広報事業、⑤通年広報事業、を実施 |
| 24 | 日印交流年実行委員会事業 | 日印交流年実行委員会 | 日印交流年実行委員会 | インド | 07.05.01～ 08.08.31 | 2007年「日印交流年」を記念し、同年実行委員会企画事業として、①日・印経済・産業フォーラム、②日印交流写真展(08.1.18～08.2.2)、③パパ・タラフマラ「三人姉妹」公演(08.1.18～08.2.2)、④郷土芸能「岩見神楽」公演(08.1.21～08.1.24)、⑤講演集の出版、⑥草の根事業助成、を実施 |

文化交流施設等協力事業費

| | 事業名 | 寄付申込者 | 団体 | 場所国 | 期間 | 事業内容 |
|----------------|-------------------------|---------------------|--------------------|-----------|-------------------|---|
| 25 | 日韓交流おまつり2007 in Seoul | 日韓交流おまつり2007実行委員会 | 社団法人 東アジア文化交流協会 | 韓国 | 07.04.01～07.12.31 | 2005年と2006年に実施された「日韓交流おまつり」の継続事業として、日韓両国の伝統・民俗芸能公演及びパレード、韓国側学生実行委員会企画の公演、日韓両国の自治体紹介等を行うお祭りを、ソウル市庁舎前広場及び清溪川広場にて実施（07.10.20～07.10.21） |
| 26 | 第1回とやま世界こども舞台芸術祭 | とやま世界こども舞台芸術祭実行委員会 | とやま世界こども舞台芸術祭実行委員会 | 全世界区分困難 | 07.10.30～09.03.31 | 子供のための舞台芸術作品を公演する世界各国の優れた団体を富山県に招き、大人と子供が協力して、舞台公演及び研究、討論並びに舞台研修を実施（08.7.31～08.8.5） |
| (5)文化紹介特定寄附 | | | | | | |
| 27 | 日本音楽紹介ラジオ番組制作事業 | 三菱商事株式会社 | ラジオ番組制作委員会 | 中国 | 05.09.15～08.09.14 | 中国の若者の間で人気の高い日本の最新流行音楽を、日本のファッション、テレビ、観光等の情報と織り交ぜて紹介するラジオ番組を制作し、広東、上海、北京の放送局で放送 |
| (6)文化交流施設等特定寄附 | | | | | | |
| 28 | 米国フィラデルフィア 和風建築・松風荘保全事業 | 米国松風荘友の会 | 日本松風荘友の会 | 米国 | 06.10.01～07.12.10 | 日本が建設・寄贈した和風建築・松風荘のフィラデルフィア移築50周年を記念し、建物の修理工事及び工事完了報告のための交流会を実施 |
| 29 | アジア女子大学 | アジア女子大学支援財団 | アジア女子大学の設立を支援する会 | アジア地域区分困難 | 06.11.01～09.10.31 | 南アジア及び東南アジア各国のあらゆる文化、宗教、人種、社会的背景を持つ女性を対象に、アジアの現状理解及び国際的視野を持たせることを主眼とする教育を提供する大学をバンガラデシュのチッタゴン市に設立 |
| 30 | キープ国際研修交流センター整備事業 | 財団法人キープ協会 | 財団法人キープ協会 | 全世界区分困難 | 05.09.01～08.08.31 | 草の根国際交流事業の促進と友好的な国際関係の構築のため、財団法人キープ協会の清泉寮施設を、国際文化交流の拠点となる国際研修交流センターに改築、整備 |
| 31 | フランクフルト現代茶室建設プロジェクト | フランクフルト現代茶室をサポートする会 | フランクフルト・デザイン美術館 | ドイツ | 07.01.10～07.08.17 | 日本とドイツの文化交流の促進及び日本文化紹介のため、隈研吾氏設計の現代日本建築による茶室を、フランクフルト・デザイン美術館の公園内に建設 |

文化交流施設等協力事業費

| | 事業名 | 寄付申込者 | 団体 | 場所国 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------|-----------------------|--|
| 32 | ブラジル日本移民百周年記念モニュメント制作および展示 | ブラジル日本移民百周年記念モニュメント制作プロジェクト実行委員会 | ブラジル日本移民百周年記念モニュメント制作プロジェクト実行委員会 | ブラジル | 07.04.01～ 09.08.31 | 2008年ブラジル日本移民百周年を記念し、日伯両国間の相互理解と交流に資するため、彫刻家 絹谷幸太氏による日伯の花崗岩を用いたモニュメント施設を、サンパウロ市郊外のカルモ公園内に設置すると共に、設置過程の資料の両国内外での展示及び記念出版を実施 |

プログラム名索引 (50音順)

| | | |
|---|-------------------------------|----------------------------------|
| あ | アジア地域研究センター支援 (催し等) …………… 248 | 事業開発 (文化資料) …………… 59 |
| | アジア・ユースフェロシップ | 事業開発 (催し) …………… 59 |
| | 高等教育奨学金訪日研修…………… 193 | 事業評価 (企画評価) …………… 295 |
| | アニメ文化大使…………… 121 | 指導的日本語教師の養成 |
| | 安倍フェロシップ…………… 273 | (海外日本語教師上級研修) …………… 175 |
| い | 異文化理解ワークショップ…………… 55 | 指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者) …………… 173 |
| | インターネット…………… 290 | シドニー日本文化センター…………… 395 |
| う | 内田奨学金フェロシップ (招へい) …………… 84 | 市民交流・教育アウトリーチ支援 (助成): |
| え | 映画・テレビ番組制作 (助成) …………… 139 | ニューヨーク日米センター小規模助成 |
| | 映像出版情報交流 (招へい) …………… 121 | (教育アウトリーチ: 南部・中西部特別助成) …… 285 |
| | 映像出版情報交流 (文化資料) …………… 139 | 市民交流・教育アウトリーチ支援 (助成): |
| | 映像出版情報交流 (催し) …………… 133 | ニューヨーク日米センター小規模助成 |
| お | 小測フェロシップ (派遣) …………… 207 | (教育助成) …………… 287 |
| か | 海外公演 (主催) …………… 85 | 市民交流支援 |
| | 海外公演 (助成) …………… 90 | (市民交流/教育アウトリーチ支援・助成) …………… 284 |
| | 海外展 (企画展) …………… 62 | 市民交流支援 |
| | 海外展 (巡回展) …………… 63 | (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI) …… 283 |
| | 海外展 (助成) …………… 71 | 市民青少年交流 (主催/招へい) …………… 38 |
| | 海外日本映画祭 (主催) …………… 121 | 市民青少年交流 (主催/派遣) …………… 37 |
| | 海外日本映画祭 (助成) …………… 125 | 市民青少年交流 (助成) …………… 39 |
| | 海外日本語教育機関等調査…………… 146 | ジャカルタ日本文化センター…………… 355 |
| | 海外日本語教育支援 N G O 助成…………… 147 | 受託研修 (関西国際センター) …………… 194 |
| | 海外日本語教師研修 (国別) …………… 179 | 受託研修 (日本語国際センター) …………… 179 |
| | 海外日本語教師研修 (在外邦人) …………… 178 | 受託事業…………… 61 |
| | 海外日本語教師研修 (短期) …………… 177 | 受託事業 (アジア・大洋州) …………… 227 |
| | 海外日本語教師研修 (長期) …………… 176 | 受託事業 (日中交流センター) …………… 199 |
| | 開高健記念アジア作家招へい…………… 35 | 出版・翻訳 (主催) …………… 141 |
| | カイロ事務所…………… 447 | 出版・翻訳 (助成) …………… 141 |
| き | 京都支部…………… 301 | せ |
| く | クアラルンプール日本文化センター…………… 374 | 専門日本語研修 (外交官) …………… 186 |
| け | ケルン日本文化会館…………… 311 | 専門日本語研修 (研究者・大学院生) …………… 188 |
| こ | 高校生等招へい事業…………… 199 | 専門日本語研修 (公務員) …………… 187 |
| | 交流拠点設置運営事業 (招へい) …………… 200 | 専門日本語研修 (司書) …………… 188 |
| | 交流拠点設置運営事業 (催し) …………… 201 | そ |
| | 国際交流顕彰事業 (基金賞・奨励賞) …………… 291 | 造形美術情報交流 (催し) …………… 79 |
| | 国際交流顕彰事業 (地球市民賞) …………… 292 | ソウル日本文化センター…………… 332 |
| | 国際展 (国際展参加) …………… 61 | ち |
| | 国際展 (トリエンナーレ) …………… 80 | 地域交流研修 (関西国際センター) …………… 193 |
| | 国際図書展参加…………… 137 | 地域交流研修 (日本語国際センター) …………… 180 |
| | 国際舞台芸術共同制作…………… 115 | 知的交流会議 (企画企画助成) [アジア・大洋州] …… 245 |
| | 国内映画祭 (主催) …………… 130 | 知的交流会議 (主催) [アジア・大洋州] …………… 246 |
| | 国内映画祭 (助成) …………… 131 | 知的交流会議 (主催) [欧州・中東・アフリカ] …… 264 |
| | 国内公演 (助成) …………… 116 | 知的交流会議 (主催) [米州] …………… 212 |
| | 国内展 (助成) …………… 78 | 知的交流会議 (助成) [アジア・大洋州] …………… 239 |
| | 国内連携促進…………… 289 | 知的交流会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ] …… 265 |
| さ | サンパウロ日本文化センター…………… 406 | 知的交流会議 (助成) [米州] …………… 213 |
| し | JFICライブラリー…………… 291 | 知的交流支援 (主催) …………… 278 |
| | J F サポーターズクラブ…………… 291 | 知的交流支援 (主催): |
| | | ニューヨーク日米センター企画開発事業…………… 281 |
| | | 知的交流支援 (助成) …………… 274 |

| | |
|--|---|
| 知的交流支援（助成）： ニューヨーク日米センター小規模助成……………277 | 日本研究組織強化支援（助成）〔米州〕……………205 |
| 知的交流フェローシップ （招へい）〔アジア・大洋州〕……………238 | 日本研究調査〔アジア・大洋州〕……………217 |
| 知的交流フェローシップ （招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕……………261 | 日本研究図書拡充〔アジア・大洋州〕……………224 |
| 知的交流フェローシップ （派遣）〔アジア・大洋州〕……………238 | 日本研究図書拡充〔欧州・中東・アフリカ〕……………254 |
| 知的交流フェローシップ （派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕……………260 | 日本研究図書拡充〔米州〕……………206 |
| 知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕……………237 | 日本研究フェローシップ （学者・研究者）〔アジア・大洋州〕……………230 |
| 知的リーダー交流（派遣）〔アジア・大洋州〕……………238 | 日本研究フェローシップ （学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕……………255 |
| 中学高校教員交流（招へい）……………33 | 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米州〕……………207 |
| 中学高校教員交流（派遣）……………35 | 日本研究フェローシップ（社会科学院研究生院）……………236 |
| 調査研究……………295 | 日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）……………237 |
| 調査研究……………299 | 日本研究フェローシップ （短期）〔アジア・大洋州〕……………236 |
| て 定期刊行物……………289 | 日本研究フェローシップ （短期）〔欧州・中東・アフリカ〕……………259 |
| テレビ番組交流促進……………133 | 日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕……………211 |
| と 東南アジア元日本留学生生活動支援……………219 | 日本研究フェローシップ （論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕……………257 |
| 図書館運営（関西国際センター）……………186 | 日本研究フェローシップ （論文執筆者）〔アジア・大洋州〕……………233 |
| 図書館運営（日本語国際センター）……………184 | 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕……………209 |
| 図書寄贈〔アジア・大洋州〕……………248 | 日本研究リサーチ・会議 （助成）〔アジア・大洋州〕……………218 |
| 図書寄贈〔欧州・中東・アフリカ〕……………269 | 日本研究リサーチ・会議 （助成）〔欧州・中東・アフリカ〕……………253 |
| 図書寄贈〔企画調整〕……………197 | 日本研究リサーチ・会議（助成）〔米州〕……………205 |
| 図書寄贈〔米州〕……………214 | 日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）……………190 |
| トロント日本文化センター……………400 | 日本語学習者訪日研修（高校生）……………192 |
| に 日米センターNPOフェローシップ……………283 | 日本語学習者訪日研修（大学生）……………191 |
| 日本研究ウェブサイト運営……………197 | 日本語教育学会助成……………157 |
| 日本研究機関支援（その他）〔アジア・大洋州〕……………225 | 日本語教育企画開発型事業……………148 |
| 日本研究機関支援 （その他）〔欧州・中東・アフリカ〕……………254 | 日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）……………158 |
| 日本研究機関支援 （その他：ニューヨーク事務所小規模グラント） 〔米州〕……………206 | 日本語教育機関支援（専任講師給与助成）……………158 |
| 日本研究基本図書目録……………197 | 日本語教育協力事業……………195 |
| 日本研究客員教授派遣 （経費助成）〔アジア・大洋州〕……………218 | 日本語教育情報交流……………146 |
| 日本研究客員教授派遣 （経費助成）〔欧州・中東・アフリカ〕……………252 | 日本語教育専門家派遣 （JFボランティア・指導助手）……………168 |
| 日本研究客員教授派遣 （自主企画）〔欧州・中東・アフリカ〕……………251 | 日本語教育専門家派遣 （JFボランティア・シニア客員教授）……………169 |
| 日本研究客員教授派遣 （直接派遣）〔アジア・大洋州〕……………217 | 日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）……………155 |
| 日本研究客員教授派遣 （直接派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕……………251 | 日本語教育専門家派遣（専門家）……………148 |
| 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米州〕……………204 | 日本語教育プロジェクト支援 （ネットワーク形成助成）……………166 |
| 日本研究教員拡充助成〔欧州・中東・アフリカ〕……………252 | 日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）……………160 |
| 日本研究教員拡充助成〔米州〕……………204 | 日本語教材寄贈……………183 |
| 日本研究組織強化支援（助成）〔アジア・大洋州〕……………226 | 日本語教材自主制作・普及……………180 |
| 日本研究組織強化支援 （助成）〔欧州・中東・アフリカ〕……………253 | 日本語教材制作支援（助成）……………182 |
| | 日本語能力試験実施……………170 |
| | 日本文化紹介派遣（主催）……………20 |
| | 日本文化紹介派遣（助成）……………25 |

| | | |
|---|--------------------------|-----|
| | 日本マンガ大賞 | 132 |
| | ニューデリー事務所 | 389 |
| | ニューヨーク事務所 | 420 |
| ね | ネットワーク整備事業（文化資料） | 202 |
| | ネットワーク整備事業（催し・主催） | 200 |
| | ネットワーク整備事業（催し・助成） | 200 |
| | 年次報告 | 290 |
| は | パリ日本文化会館 | 318 |
| | バンコク日本文化センター | 367 |
| ひ | 評価開発 | 171 |
| ふ | フィルムライブラリー充実（海外） | 136 |
| | フィルムライブラリー充実（本部） | 136 |
| | 舞台芸術情報交流（招へい） | 83 |
| | 舞台芸術情報交流（派遣） | 82 |
| | 舞台芸術情報交流（催し） | 118 |
| | ブダペスト事務所 | 443 |
| | 文化協力（主催） | 13 |
| | 文化協力（助成） | 13 |
| | 文化協力（派遣） | 12 |
| | 文化交流企画運営補助（JFボランティア） | 36 |
| | 文化交流施設等協力事業費 | 451 |
| | 文化事情調査 | 297 |
| | 文化人短期招へい | 17 |
| へ | 北京日本学研究センター研究支援（北京外国語大学） | 223 |
| | 北京日本学研究センター研究支援（北京大学） | 224 |
| | 北京日本学研究センター招へい（北京外国語大学） | 222 |
| | 北京日本学研究センター招へい（北京大学） | 223 |
| | 北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学） | 220 |
| | 北京日本学研究センター派遣（北京大学） | 221 |
| | 北京日本文化センター | 346 |
| ま | マニラ事務所 | 413 |
| め | メキシコ事務所 | 433 |
| ろ | ローマ日本文化会館 | 305 |
| | ロサンゼルス事務所 | 427 |
| | ロンドン事務所 | 436 |